

---

---

こどもに関するアンケート調査  
報告書

---

---

令和7年3月

行 田 市



## 目 次

I 調査概要	1
II 調査結果(未就学児童保護者)	2
III 調査結果(小学生児童保護者)	131
IV 調査結果(小学5年生)	204
V 調査結果(中学2年生)	240
VI 調査結果(小学5年生保護者)	277
VII 調査結果(中学2年生保護者)	297
VIII 調査結果(市民(18～39歳))	317



# I 調査概要

## (1) 未就学児童・小学生児童保護者調査

- ①調査時期 令和6年3月3日～令和6年3月22日
- ②調査対象 行田市内に居住する未就学児童の保護者及び小学生児童の保護者
- ③調査方法 郵送による配付・回収
- ④回収状況

対象者	配付数	回収件数	回収率
未就学児童保護者	1,600件	726件	45.4%
小学生児童保護者	1,000件	455件	45.5%

## (2) 小学5年生及び保護者、中学2年生及び保護者、若者調査

- ①調査時期 令和6年7月～令和6年8月
- ②調査対象 行田市内に居住する小学5年生の児童及びその保護者  
行田市内に居住する中学2年生の生徒及びその保護者  
行田市内に居住する18～39歳の若者2,000人（無作為抽出）
- ③調査方法 郵送による配付・回収及びインターネットによる回収
- ④回収状況

対象者	配付数	回収件数	回収率
小学5年生	582件	238件	40.9%
中学2年生	573件	238件	41.6%
小学5年生保護者	582件	186件	32.0%
中学2年生保護者	573件	107件	18.7%
市民(18～39歳)	2,000件	410件	20.5%

## (3) 集計上の留意点

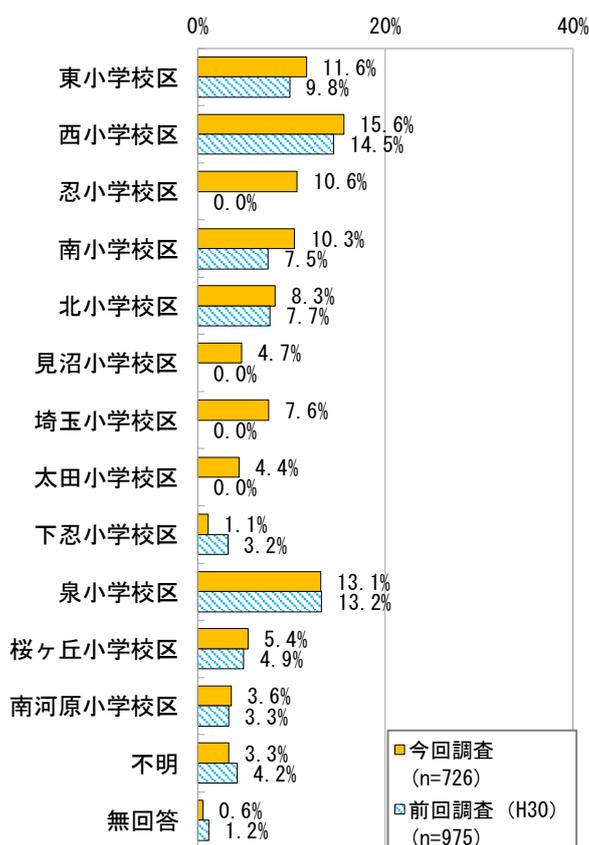
- ・グラフ中の「n=」は、母数となるサンプル数(回答者数)を示している。
- ・集計結果は百分率で算出し、四捨五入の関係上、百分率の合計が100%にならない場合がある。
- ・複数回答の場合は、回答者実数より多くなっている場合がある。
- ・回答者が無い場合の設問では一部集計表・グラフを省いている。

## II 調査結果（未就学児童保護者）

### 1. 住まいの地域について

問1 お住まいの地域は、どの小学校区ですか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

居住する小学校区については、「西小学校区」15.6%が最も高く、次いで「泉小学校区」13.1%、「東小学校区」11.6%となっている。



項目	回答数	構成比
東小学校区	84	11.6%
西小学校区	113	15.6%
忍小学校区	77	10.6%
南小学校区	75	10.3%
北小学校区	60	8.3%
見沼小学校区	34	4.7%
埼玉小学校区	55	7.6%
太田小学校区	32	4.4%
下忍小学校区	8	1.1%
泉小学校区	95	13.1%
桜ヶ丘小学校区	39	5.4%
南河原小学校区	26	3.6%
不明	24	3.3%
無回答	4	0.6%
合計	726	100.0%

問1-1 【問1で「13 不明」に○をつけた方にかがいます。】

お住まいの地区名をご記入ください。

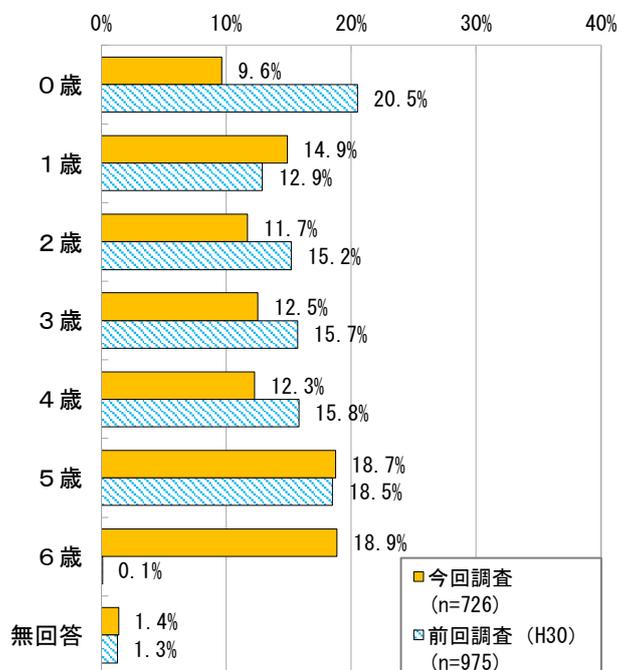
居住する地区名については、以下のとおり。

居住地区名	
持田	城西
緑町	藤原町
長野1丁目	佐間2丁目
大字持田	天満
城西4丁目	藤原町2丁目
旭町	棚田町
城西5丁目	忍1丁目5-5
棚田市	持田一丁目
栄町	谷郷3丁目

## 2. お子さんご家族の状況について

### 問2 宛名のお子さんの生年月をご記入ください。

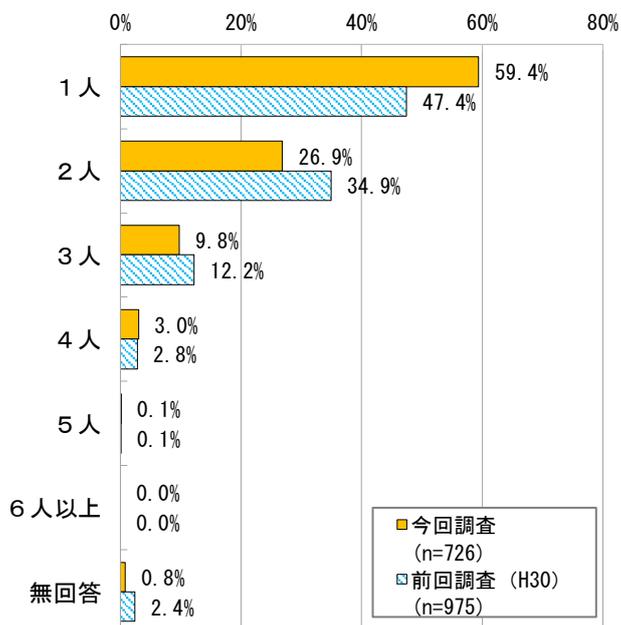
年齢については、「6歳」18.9%が最も高く、次いで「5歳」18.7%、「1歳」14.9%となっている。



項目	回答数	構成比
0歳	70	9.6%
1歳	108	14.9%
2歳	85	11.7%
3歳	91	12.5%
4歳	89	12.3%
5歳	136	18.7%
6歳	137	18.9%
無回答	10	1.4%
合計	726	100.0%

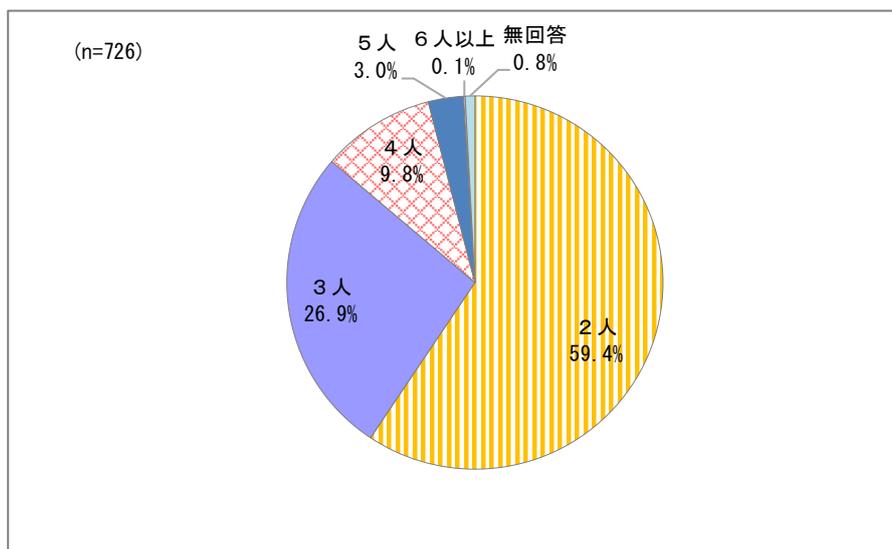
### 問3 宛名のお子さんのきょうだいは何人おられますか。

きょうだいの人数については、「1人」59.4%が最も高く、次いで「2人」26.9%、「3人」9.8%となっている。



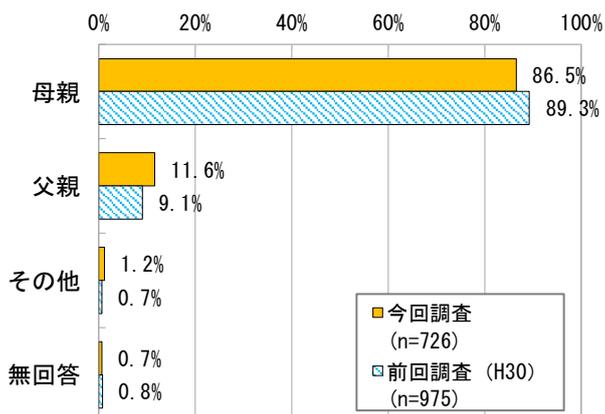
項目	回答数	構成比
1人	431	59.4%
2人	195	26.9%
3人	71	9.8%
4人	22	3.0%
5人	1	0.1%
6人以上	0	0.0%
無回答	6	0.8%
合計	726	100.0%

● (参考) 本人を含むきょうだいの人数



問4 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。宛名のお子さんからみた関係でお答えください。

回答者の続柄については、「母親」86.5%、「父親」11.6%、「その他」1.2%となっている。



項目	回答数	構成比
母親	628	86.5%
父親	84	11.6%
その他	9	1.2%
無回答	5	0.7%
合計	726	100.0%

【その他の回答】

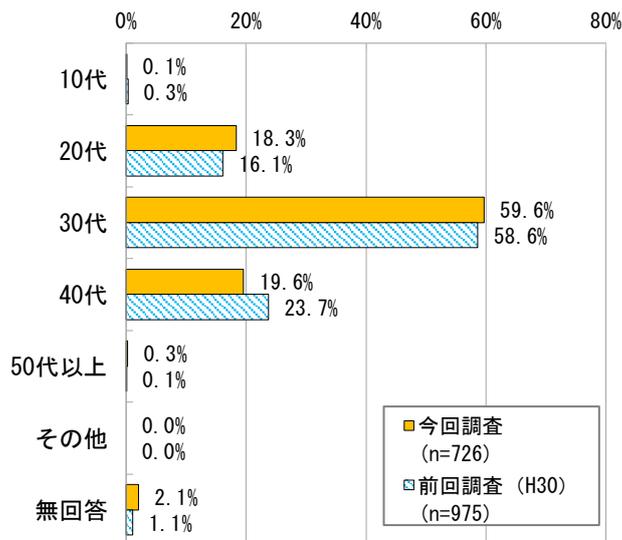
- ・ 祖父母
- ・ 児童養護施設ケヤキホーム職員
- ・ 施設職員
- など

問4-1 母親及び父親の年齢(R5.4.2 時点)について、当てはまる番号1つに○をつけてください。

母親の年齢については、「30代」59.6%が最も高く、次いで「40代」19.6%、「20代」18.3%となっている。

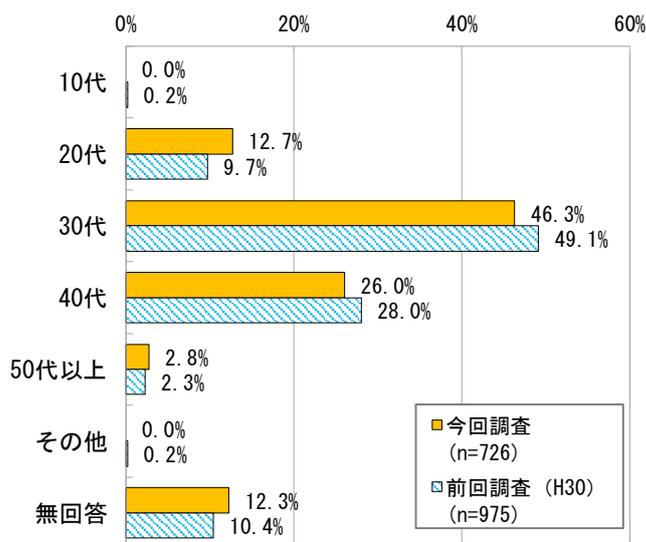
父親の年齢については、「30代」46.3%が最も高く、次いで「40代」26.0%、「20代」12.7%となっている。

【母親の年齢】



項目	回答数	構成比
10代	1	0.1%
20代	133	18.3%
30代	433	59.6%
40代	142	19.6%
50代以上	2	0.3%
その他	0	0.0%
無回答	15	2.1%
合計	726	100.0%

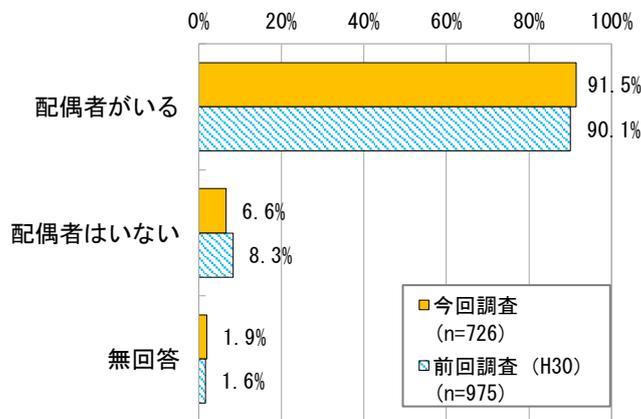
【父親の年齢】



項目	回答数	構成比
10代	0	0.0%
20代	92	12.7%
30代	336	46.3%
40代	189	26.0%
50代以上	20	2.8%
その他	0	0.0%
無回答	89	12.3%
合計	726	100.0%

問5 この調査票にご回答いただいている方の配偶関係についてお答えください。当てはまる番号1つに○をつけてください。(問4で「3. その他」と回答した方は回答不要です)。

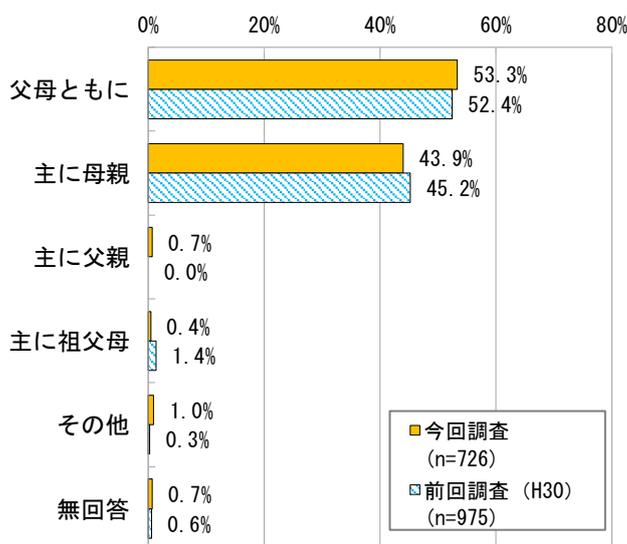
配偶者の有無については、「配偶者がいる」91.5%、「配偶者はいない」6.6%となっている。



項目	回答数	構成比
配偶者がいる	664	91.5%
配偶者はいない	48	6.6%
無回答	14	1.9%
合計	726	100.0%

問6 お子さんの子育て(教育を含む)を主に行っているのはどなたですか。お子さんからみた関係で当てはまる番号1つに○をつけてください。

子育て(教育を含む)を主に行っている方については、「父母ともに」53.3%が最も高く、次いで「主に母親」43.9%となっている。



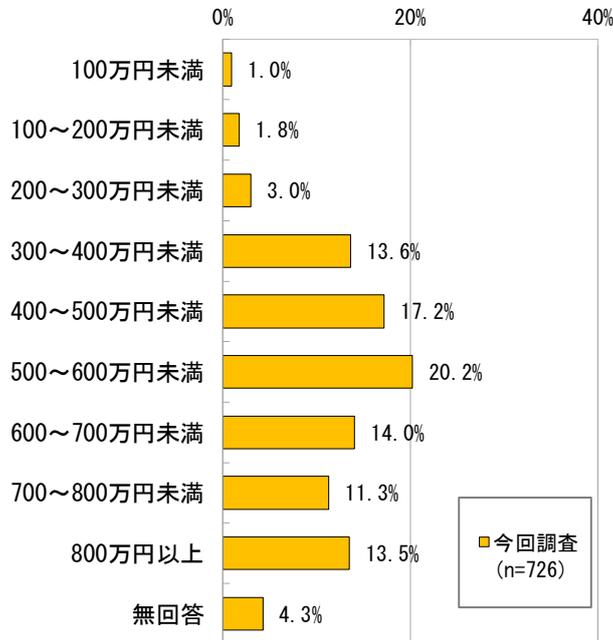
項目	回答数	構成比
父母ともに	387	53.3%
主に母親	319	43.9%
主に父親	5	0.7%
主に祖父母	3	0.4%
その他	7	1.0%
無回答	5	0.7%
合計	726	100.0%

【その他の回答】

- ・ 児童養護施設ケヤキホーム職員
- ・ 施設職員
- ・ ユニット職員 など

問7 宛名のお子さんの世帯全員の収入をお答えください。当てはまる番号1つに○をつけてください。

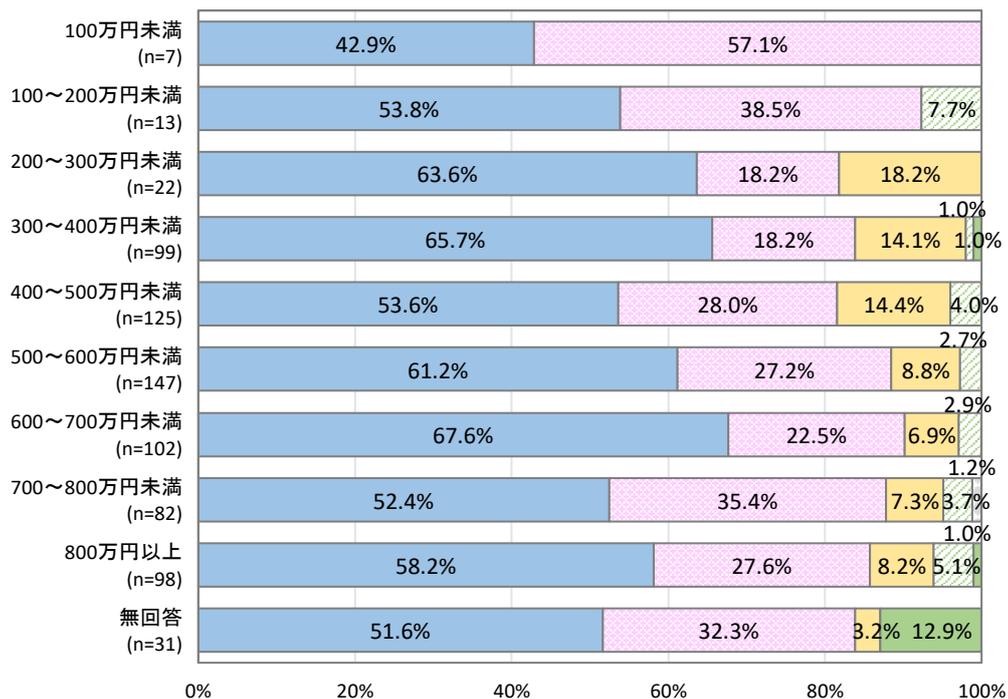
世帯全員の収入については、「500～600万円未満」20.2%、「400～500万円未満」17.2%、「600～700万円未満」14.0%となっている。



項目	回答数	構成比
100万円未満	7	1.0%
100～200万円未満	13	1.8%
200～300万円未満	22	3.0%
300～400万円未満	99	13.6%
400～500万円未満	125	17.2%
500～600万円未満	147	20.2%
600～700万円未満	102	14.0%
700～800万円未満	82	11.3%
800万円以上	98	13.5%
無回答	31	4.3%
合計	726	100.0%

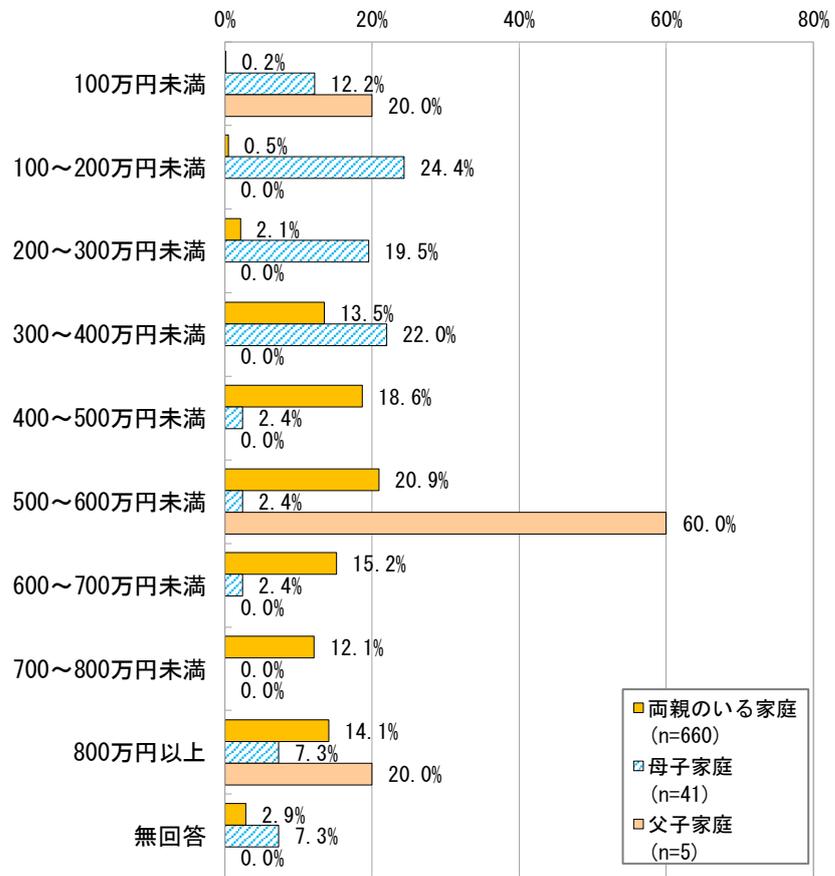
● (参考) : 子どもの数×世帯全員の収入

■ 1人   ■ 2人   ■ 3人   ■ 4人   ■ 5人   ■ 6人以上   ■ 無回答



● (参考)：世帯構成別

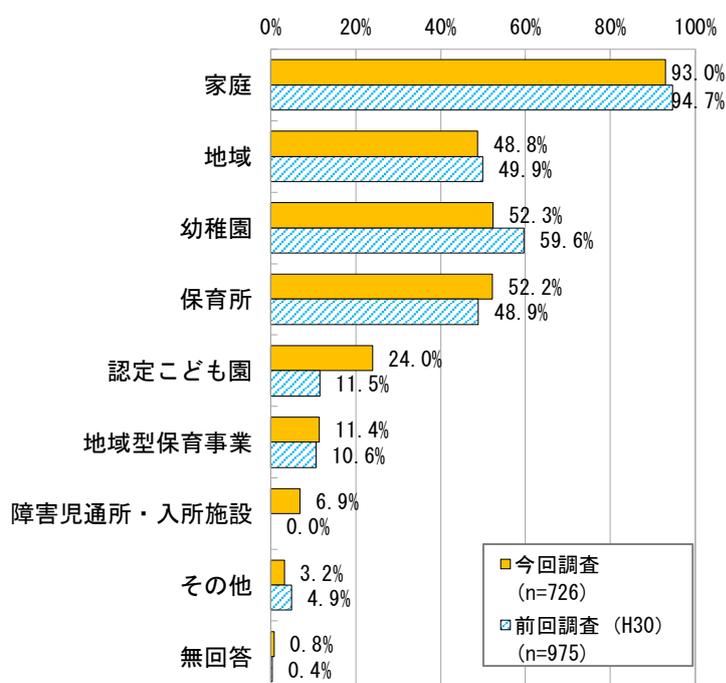
世帯構成別で見ると母子家庭では、約8割が世帯年収400万円未満と答えている。  
 ※父子家庭についてはサンプル数が少ないためコメントを省略している。



### 3. 子どもの育ちをめぐる環境について

問8 宛名のお子さんの子育て(教育を含む)に、影響すると思われる環境すべてに○をつけてください。

子育て(教育を含む)に影響すると思われる環境については、「家庭」93.0%が最も高く、次いで「幼稚園」52.3%、「保育所」52.2%となっている。



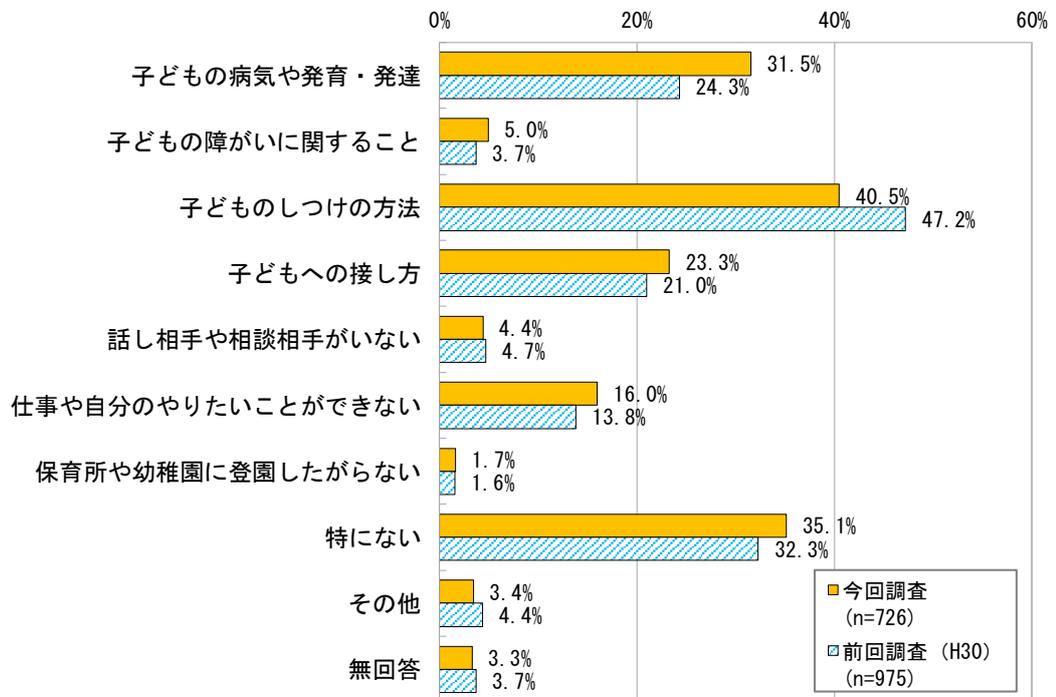
項目	回答数	構成比
家庭	675	93.0%
地域	354	48.8%
幼稚園	380	52.3%
保育所	379	52.2%
認定こども園	174	24.0%
地域型保育事業	83	11.4%
障害児通所・入所施設	50	6.9%
その他	23	3.2%
無回答	6	0.8%
サンプル数	726	-

#### 【その他の回答】

- ・ 習い事    ・ 児童養護施設    ・ 児童センター    ・ 託児所    ・ 教育支援センター
- ・ 家族以外との交流    ・ 子育て支援センター    ・ 児童デイサービス    ・ 病院    など

問9 子育てに関して悩んでいること、又は気になることはありますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

子育てに関する悩みや気になることについては、「子どものしつけの方法」40.5%が最も高く、次いで「特にない」35.1%、「子どもの病気や発育・発達」31.5%となっている。



項目	回答数	構成比
子どもの病気や発育・発達	229	31.5%
子どもの障がいに関すること	36	5.0%
子どものしつけの方法	294	40.5%
子どもへの接し方	169	23.3%
話し相手や相談相手がいない	32	4.4%
仕事や自分のやりたいことができない	116	16.0%
保育所や幼稚園に登園したがる	12	1.7%
特にない	255	35.1%
その他	25	3.4%
無回答	24	3.3%
サンプル数	726	-

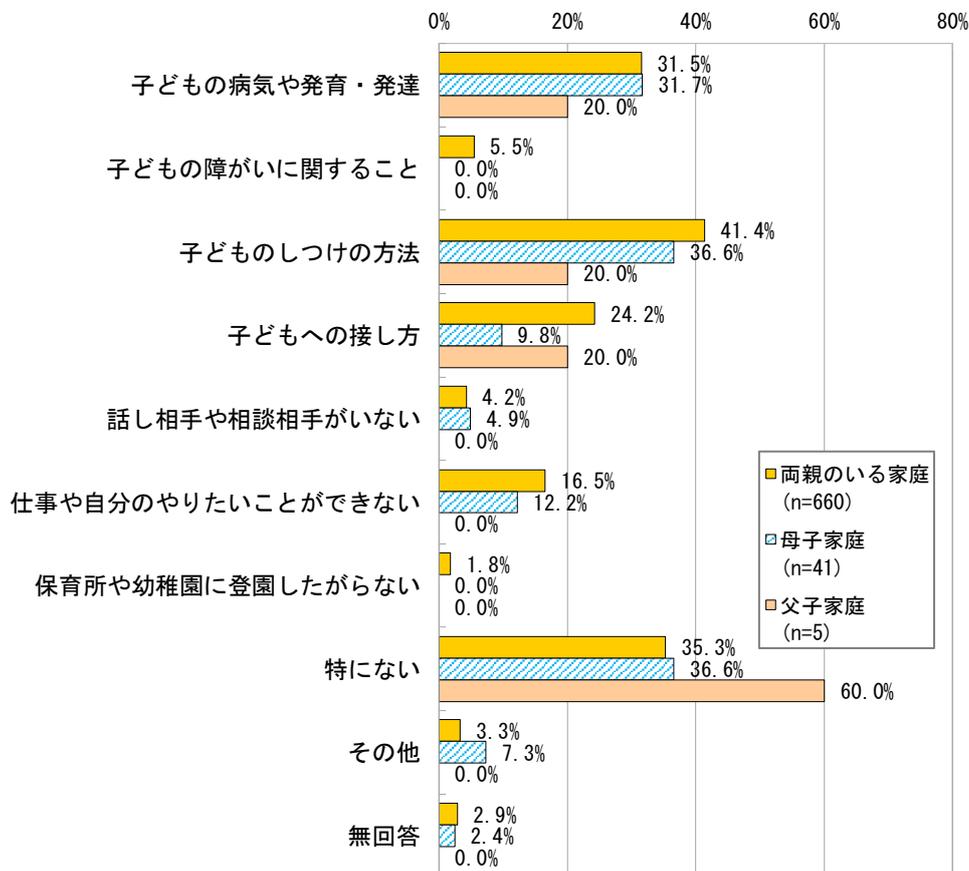
【その他の回答】

- ・子どもがお友だちを叩いたり引っ掻いたりすること
- ・将来の教育資金
- ・金銭的な不安
- ・学童に入れなかった
- ・食事（偏食・小食）
- ・保育園でも文字書き学習を多めにさせてほしい
- ・虫歯
- ・保育環境について
- ・便秘
- ・仕事と子育ての両立
- ・保育所探し
- ・毎日どこで遊ばせるか
- ・人口が少ない
- ・ワンオペになりがち
- など

● (参考)：世帯構成別

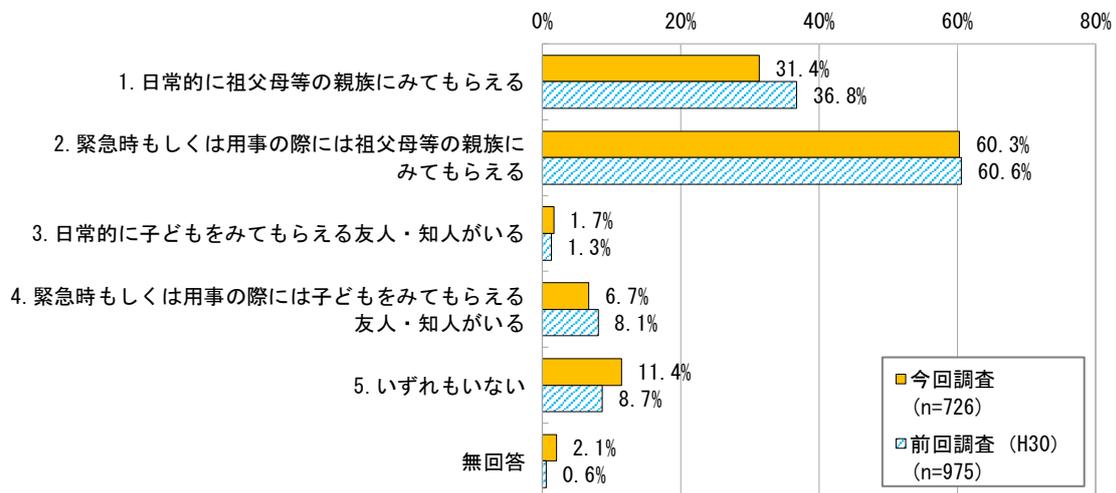
世帯構成別で見ると母子家では、「子どもの病気や発育・発達」、「子どものしつけの方法」と回答した割合が他の項目と比較して高くなっている。

※父子家庭についてはサンプル数が少ないためコメントを省略している。



問10 日頃、宛名のお子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

子どもをみてくれる親族・知人については、「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」60.3%が最も高く、次いで「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」31.4%、「いずれもない」11.4%となっている。

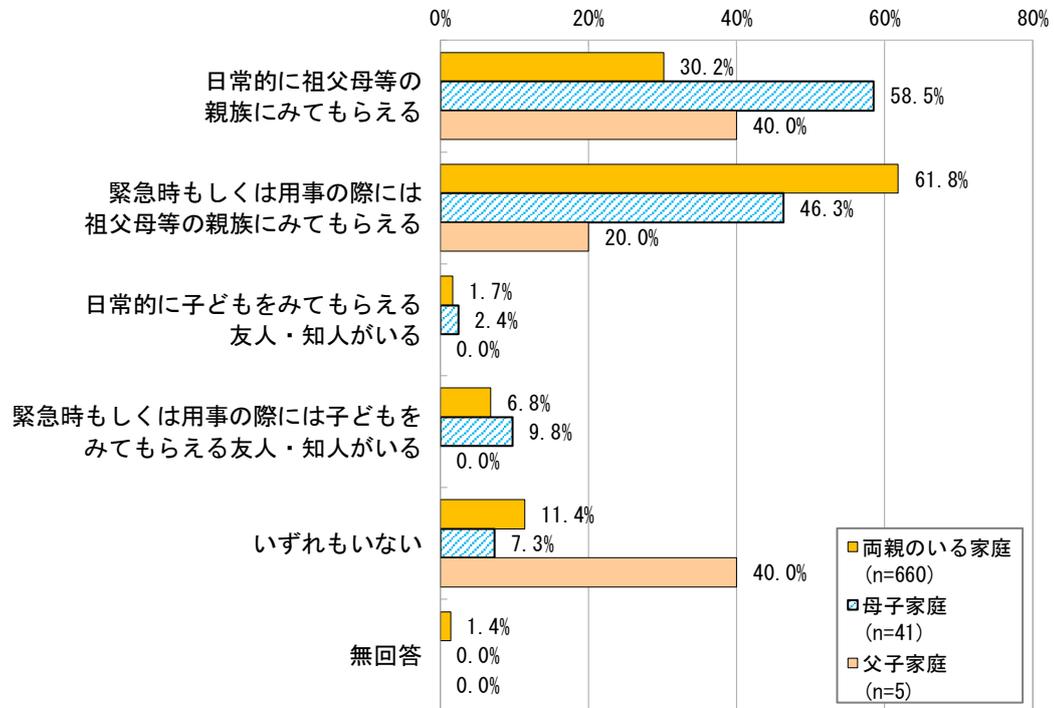


項目	回答数	構成比
日常的に祖父母等の親族にみてもらえる	228	31.4%
緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる	438	60.3%
日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる	12	1.7%
緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる	49	6.7%
いずれもない	83	11.4%
無回答	15	2.1%
サンプル数	726	-

● (参考)：世帯構成別

世帯構成別でみると母子家庭では、日常的に子どもをみてもらえると回答した割合は約6割と高くなっている。

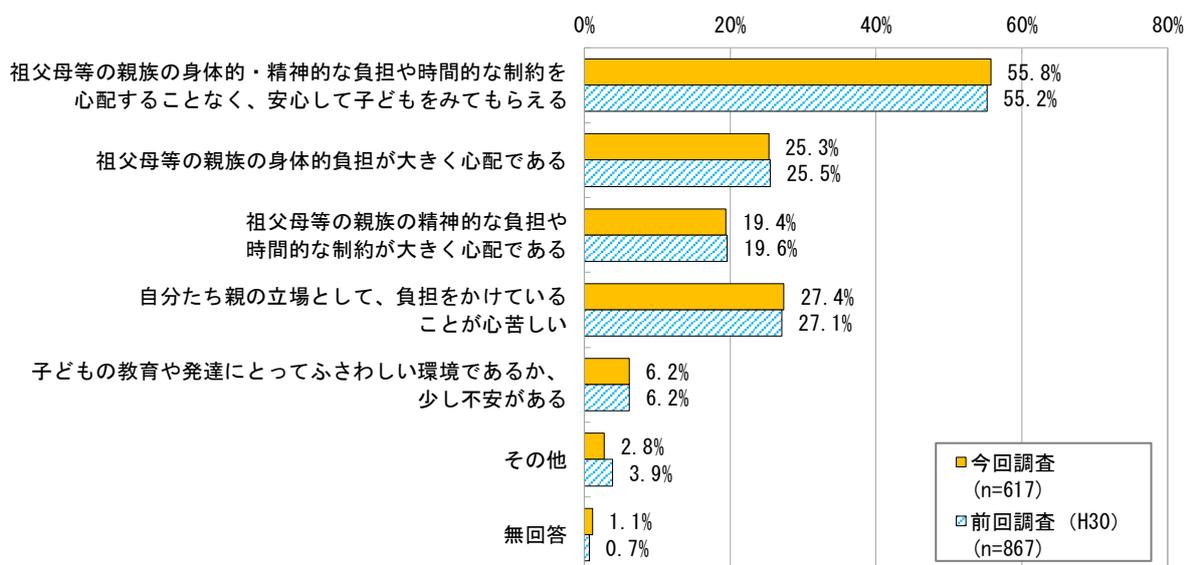
※父子家庭についてはサンプル数が少ないためコメントを省略している。



問 10-1 【問10で「1」または「2」に○をつけた方にうかがいます。】

祖父母等の親族にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。  
 当てはまる番号すべてに○をつけてください。

祖父母等の親族に子どもをみてもらう状況については、「祖父母等の親族の身体的・精神的な負担や時間的な制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる」55.8%が最も高く、次いで「自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい」27.4%、「祖父母等の親族の身体的負担が大きく心配である」25.3%となっている。



項目	回答数	構成比
祖父母等の親族の身体的・精神的な負担や時間的な制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる	344	55.8%
祖父母等の親族の身体的負担が大きく心配である	156	25.3%
祖父母等の親族の精神的な負担や時間的な制約が大きく心配である	120	19.4%
自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい	169	27.4%
子どもの教育や発達にとってふさわしい環境であるか、少し不安がある	38	6.2%
その他	17	2.8%
無回答	7	1.1%
サンプル数	617	-

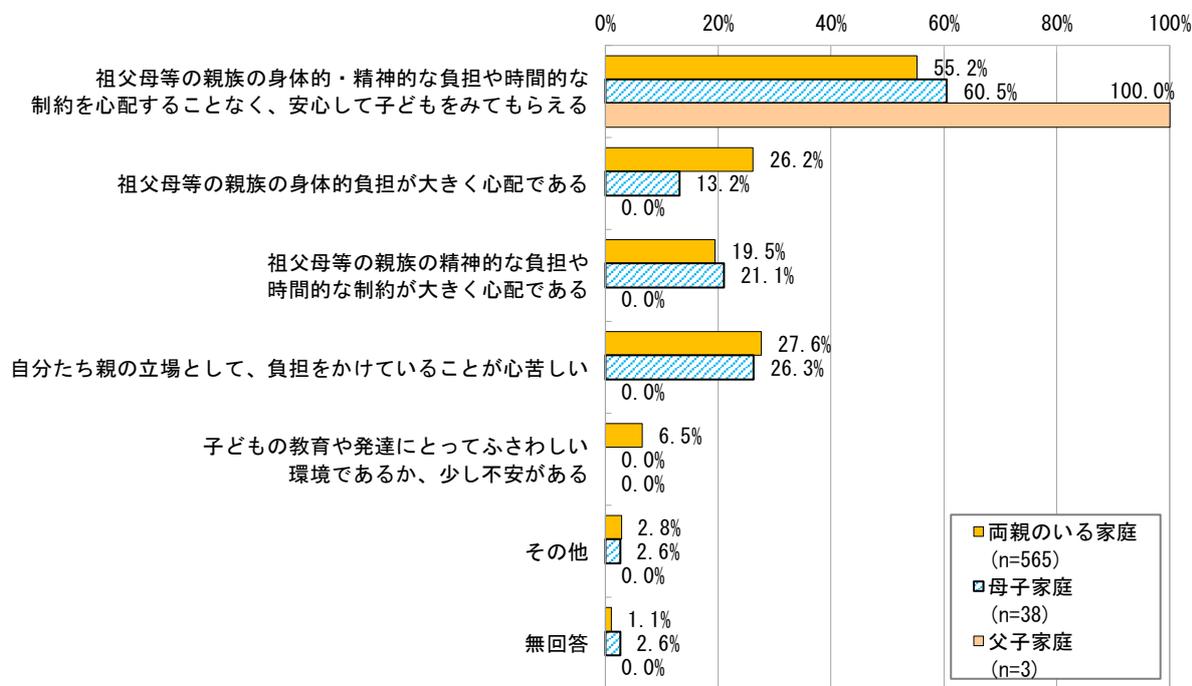
【その他の回答】

- ・ 祖父母だけの状況で預けたくない、安心できない
- ・ 子どもの安全面に不安がある
- ・ 預けると必ず後で風邪をひく、体調管理に気を遣って欲しくない
- ・ 完全に預ける形ではなく、母も必ず同行の上祖父母の手を借りている
- ・ 金銭面に負担がかかってしまい心苦しい
- ・ 実妹の仕事の兼ね合いもあるため、事前に伝える事で預かってもらえるが、緊急時は預かりが難しい時もある
- ・ 近くに住んでいないので、移動時間や車での距離が心配、また親への負担となっていると感じる など

● (参考)：世帯構成別

世帯構成別で見ると母子家庭では、祖父母等の親族に子どもをみてもらっている状況については、祖父母等の身体的・精神的負担や時間的制約、負担をかけていることが心苦しいとの回答が約6割と高くなっている。

※父子家庭についてはサンプル数が少ないためコメントを省略している。

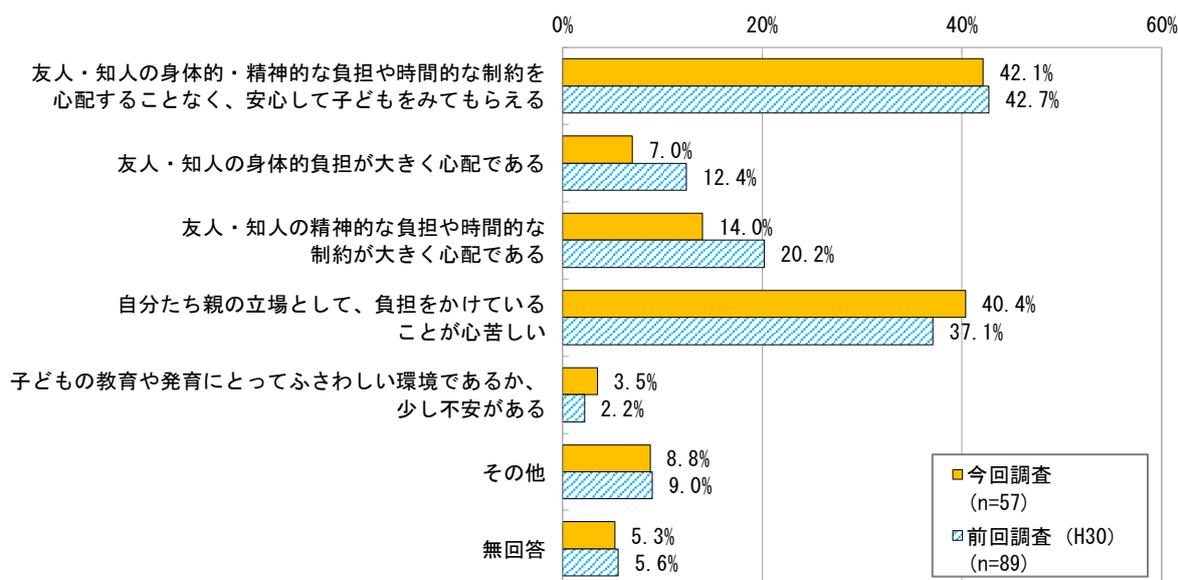


問10-2 【問10で「3」または「4」に○をつけた方にかがいます。】

友人・知人にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。

当てはまる番号すべてに○をつけてください。

友人・知人に子どもをみてもらう状況については、「友人・知人の身体的・精神的な負担や時間的な制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる」42.1%が最も高く、次いで「自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい」40.4%、「友人・知人の精神的な負担や時間的な制約が大きく心配である」14.0%となっている。



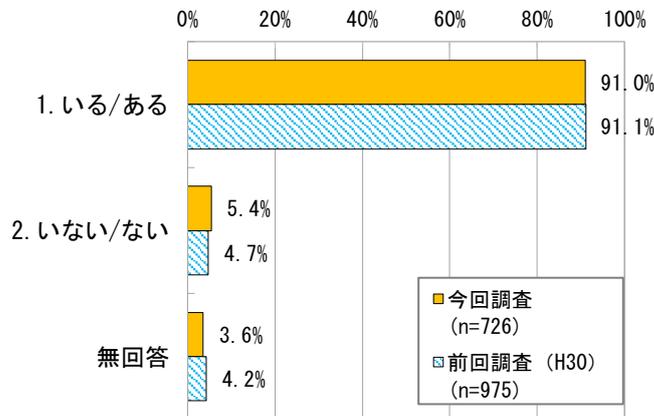
項目	回答数	構成比
友人・知人の身体的・精神的な負担や時間的な制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる	24	42.1%
友人・知人の身体的負担が大きく心配である	4	7.0%
友人・知人の精神的な負担や時間的な制約が大きく心配である	8	14.0%
自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい	23	40.4%
子どもの教育や発育にとってふさわしい環境であるか、少し不安がある	2	3.5%
その他	5	8.8%
無回答	3	5.3%
サンプル数	57	-

【その他の回答】

- ・ケガをしないか心配
- ・本当の緊急時として考えているので、みてもらったことはまだない
- ・友人も学校行事などで同じ日に用事があるため、頼むのは限られるようになった など

問11 宛名のお子さんの子育て(教育を含む)をする上で、気軽に相談できる人はいますか。  
また、相談できる場所がありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

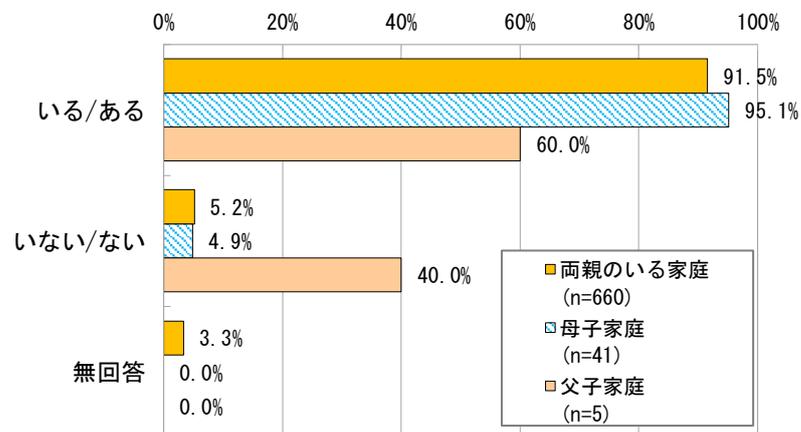
気軽に相談できる人や場所については、「いる/ある」91.0%、「いない/ない」5.4%となっている。



項目	回答数	構成比
いる/ある	661	91.0%
いない/ない	39	5.4%
無回答	26	3.6%
合計	726	100.0%

● (参考) : 世帯構成別

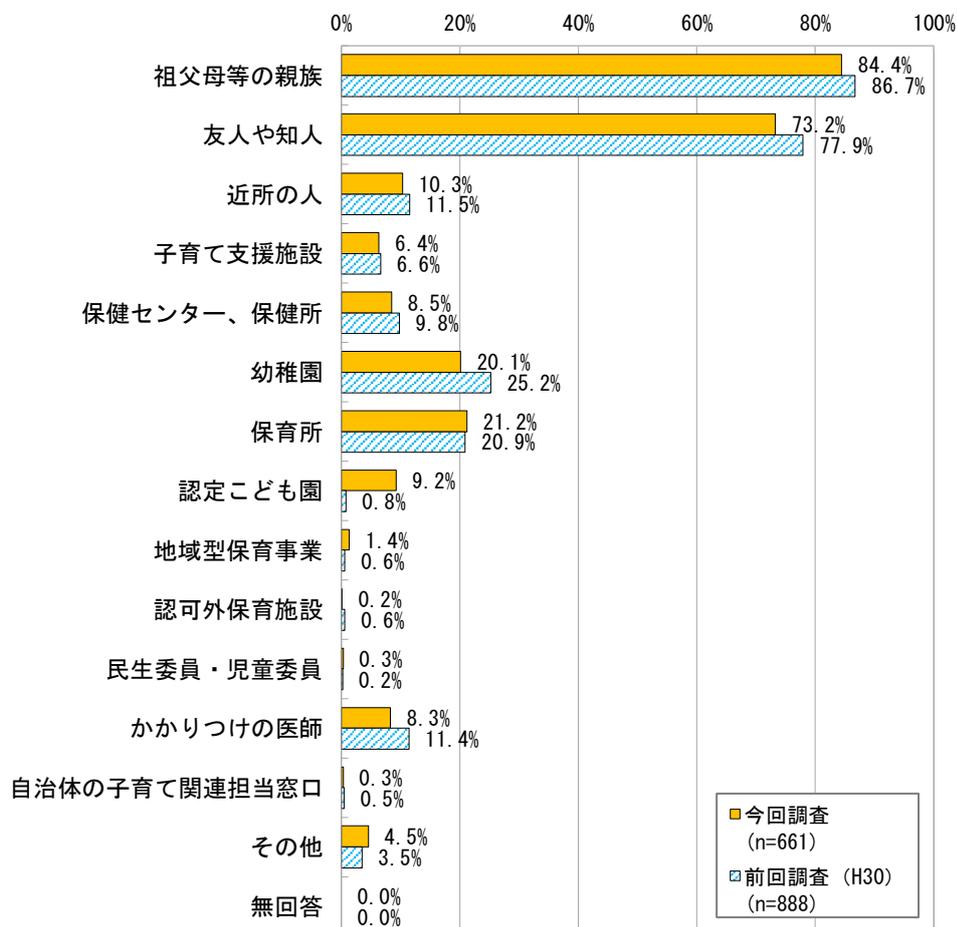
世帯構成別でみると母子家庭では、「いる/ある」と回答した割合は95.1%と高くなっている。  
※父子家庭についてはサンプル数が少ないためコメントを省略している。



問 11-1 【問 11 で「1.いる／ある」に○をつけた方にうかがいます。】

お子さんの子育て(教育を含む)に関して、気軽に相談できる先は、誰(どこ)ですか。  
 当てはまる番号すべてに○をつけてください。

気軽に相談できる先については、「祖父母等の親族」84.4%が最も高く、次いで「友人や知人」73.2%、「保育所」21.2%となっている。



項目	回答数	構成比
祖父母等の親族	558	84.4%
友人や知人	484	73.2%
近所の人	68	10.3%
子育て支援施設	42	6.4%
保健センター、保健所	56	8.5%
幼稚園	133	20.1%
保育所	140	21.2%
認定こども園	61	9.2%
地域型保育事業	9	1.4%
認可外保育施設	1	0.2%
民生委員・児童委員	2	0.3%
かかりつけの医師	55	8.3%
自治体の子育て関連担当窓口	2	0.3%
その他	30	4.5%
無回答	0	0.0%
サンプル数	661	-

【その他の回答】

- ・ 習い事の先生      ・ 療育施設      ・ ステップ教室、教育支援センター
- ・ 障がい者、障がい児の通所施設      ・ 病院      ・ SNS（インスタグラムやボイシー）
- ・ 車がない人に対して子どもの緊急時に病院へ送迎してくれるような無料のシステム
- ・ 職場の同僚      ・ 配偶者      ・ 母乳外来の助産師      ・ 教育支援センター
- ・ インターネット      ・ 児童発達支援デイサービス      など

問12 子育て(教育を含む)をする上で、周囲(身近な人、行政担当者など)からどのようなサポートがあればよいとお考えでしょうか。ご自由にお書きください。

■ 分類と回答数

分類	回答数(件)
1. 子育て支援全般のサポート	54
2. 一時預かり等についてのサポート	75
3. 施設・公園・遊び場についてのサポート	19
4. 病院・医療等についてのサポート	24
5. 経済的なサポート	28
6. 地域のサポート	8
7. 職場・仕事についてのサポート	3
8. 子供の安心・安全についてのサポート	3
9. その他サポート	51
合計	265

## ■ 主な意見

### 1. 子育て支援全般のサポート

- 初めての子育て（出産を含む）はコロナ禍で何もかも分からず、子供に何かあったらという恐怖もあって身内以外とはほぼ接触せずに来たので、正直よく分からない。相談やサポートを受ける前に接触を拒否してきたので、今後はまず話を聞いて、受け止めてくれるサポートがあると良いと思う。何が分からないかがそもそも分からないので、色々聞いてから始まる場や環境があると嬉しい。
- 土日等で工作などのイベントを月2～3回参加自由で定期的に行ってほしい。行田市のラインで通知してほしい。
- 現在の幼稚園や小学校についての情報をもっとほしい。
- 育休期間中の孤立感の解消。例えば行政発信で同世代の子供と保護者が集えるような企画。川越市などではNPO法人がやっていたりしますが…。
- 子育ては孤独が一番良くないと思うので、育児している人がいっぱいいないにならないように、身近な人に頼れる環境を作ってほしい。また、希望する保育園に全く入れなかったのが、行政の方には、そこをもっと入りやすくしてほしい。
- 市役所に窓口を作るなど分かりやすくしてほしい。
- 子の健診の時に保健センターで希望者のみ面談ができると伺いましたが、いざ希望すると2時間待ちや後日など、じっとしてられない、泣き叫ぶ等の困りごとがある幼児を連れていけると、面談にこぎつけること自体が困難であり、不可能でした。面談に2時間もかかる（行田のような少子過疎地で）のは明らかに人員不足です。

### 2. 一時預かり等についてのサポート

- 短時間子供をみてもらいたい時に、行田市にはまだまだ気軽に頼めるサービスがない。ベビーシッターなども遠い場合が多く現実的ではないので、未就学児の近場で短時間預けられる（学童のような）施設があったら良いと思う。
- 共働き世帯が多いが、保育所や学童等の利用時間が短く、今まで続けていた仕事（働き方）では、お迎え等の時間を考えると女性は正社員からパートタイムに切り替えなくては行けないのが現状のように思う。もう少し長く預けられたらと思うことがある。
- 必要なときに必要な時間、適切な環境で預かってほしい。手続き関係を簡素化してほしい。
- 父母が万が一の状態（風邪など）になった際、土日でも子供を預けるなどの対応をしてくれる。
- 病気になった時に気軽に預けられる場所、手続き。
- 無料の一時預かり、家事サポートなど。子供の事ばかりに注力していて、母のフォローアップをより大きくしてほしい。
- 長期休みや土日祝日に預けられるような環境があるとありがたいです。

### 3. 施設・公園・遊び場についてのサポート

- 子供同士が話をするスペースの提供。子育て（教育だけでなく子供が遊べるスポットの情報提供等）に関するオープンチャットのようなコミュニティの提供。
- 相談できる場を設けてもらっても行きにくいので、子育てサロンを充実させてほしい。そこで顔見知りになった人と気軽に話せるようになれば、メリットが大きい。行きたいと思える子育てサロンがない。プラザあおいもおもちゃも遊具も少なくて飽きる→行かなくなる→利用者が減る。行田市に一つでも行きたいと思える子育てサロンがあれば、皆利用すると思うので、是非頑張ってほしい。
- 屋内で公園のような遊具がある施設があればいいなと思います(すべり台、鉄棒、ぶらんこなど)。小学校に上がるまでは時短勤務で働けるよう行政で決めてほしい。
- 子育て中のママ、こどもが集う場所の充実。公園や室内遊び場(広い場所)。
- 児童館を作ってほしい。
- 子供が遊べる施設やプールなどがもっとあると良い。
- 市の公園マップ(対象年齢遊具が分かりやすいと助かります)。雨天時の遊び場が分かるもの。
- 大きな小学生まで遊べる児童施設を作ってほしい(戸田みたいな)。
- 休日1人で子供をみるより、数家族で遊んだ方が楽なので、そういうイベントや場所の提供があると助かる。
- 支援センターの数が少ない。時間帯も14時までの所もあるので、時間の幅を広げてほしい。

### 4. 病院・医療等についてのサポート

- 病児保育が1ヶ所しかなく定員も少ないので、もう少し増えてくれたら良いと思う時もある。(特に月曜日は、朝の電話予約がなかなか繋がらない)
- 病児保育制度があることは知っているが、事前に登録をする事や勤務時間前に利用することは結局できない。利用したいと思うが、どのような制度なのか分かりづらいため敷居が高く感じる。
- 小児科がほとんどないので増やしてほしいです。
- 今は1年間の育休のため仕事は休みで、上の子が保育園で具合が悪くなったときはすぐにお迎えに行けますが、熱がある場合は病児保育にお願いして、仕事をしたくても病児保育所では他院でPCR検査を受けてからと言われてしまうと1日仕事を休まなくてはいけなくなってしまいます。病児保育所ですぐに検査結果が出るようなものを設置して頂ければ、仕事に支障が出なくて済むと思いました。
- 健診後のフォロー電話(発達や虫歯の状況など不安を抽出してくれる)。
- 産後ケアホテルなど産後退院してすぐ利用できる施設。
- 子供も親もメンタルをケアできる医療機関が市内にない。作ってほしいです。

### 5. 経済的なサポート

- 定期的な物資援助(服・オムツ・ミルクなど)。

- 収入に関係なく「子供」に対する手当(児童手当の金額など)の一律化。よく非課税世帯への手当や給付などがあると市報でみるが、収入に関係なく子供一人を教育、養育するのにかかるお金や時間は一緒なのに区別されるのはおかしいです。例えば児童扶養手当は児童を扶養するための手当なので、そこに親の収入は関係ない。同じようにひとり親家庭のサポートなども親自身の判断でひとり親になっているのだからその人たちがどうにかすればいい。両親がいる家庭はその人たちがどうにかしているから。「公平」にしてほしい。
- やはり金銭面でのサポートはあった方がいいと思います。深谷市のように保育料無償にしてほしいです(0才~)。保育料はかなり負担が大きいので二人目を産もうと思えない。悩みを相談できる人や、育児で精神的に疲弊している時に気軽に預けられる場所があると良いと思います(保育所入園前に)。
- 収入の低い世帯(低所得世帯)は小学校の学童保育を無料にしてほしい。長期休暇のときのみでも無料だと働きやすいと思います。また長期休暇の時の学童保育の昼食を無料提供してほしいです。

## 6. 地域のサポート

- 近くに親族がないので、自分が体調不良の時にシッターさんのように来てくれる(安く)方が地域にいてくれると不安が少しなくなる。一時保育は敷居が高く感じる。
- 発達障害の子に対する支援。どうしたら一人の人間として自立し生活していくことが出来るのか。親はもちろんだが、地域社会も一緒になって育てていく体制がもっと整備されると嬉しい。
- 自治会やPTA制度などが廃止され、子育てに専念できる環境。
- 学童などの小学校以降の預け先問題。旗振りなどの担当を親ではなく、外注してほしいです。
- 親だけで子育てすることは大変だと思います。祖父母や身近に頼れる人がいない家庭については地域の子育て支援サポートを利用するなど、周囲の力を借りながら子育てしていける環境が大事だと思います。

## 7. 職場・仕事についてのサポート

- 仕事の時、熱で休みたいときやインフル・コロナの長期休みのときに仕事が休みづらい。
- 時給が高い仕事のため扶養内で働こうとすると2号認定が受けられなかったりします。同居の祖母がいるため保育園への入園もしづらいため働きにくい環境です。
- 職場の子育て休も、1人は7日、2人以上は10日と、2人も4人も同じ扱いになっていて子育て休暇を増やしてほしい。働く上で急な病気の際、学童、幼稚園、保育園が休みの際、助けてほしい。

## 8. 子供の安心・安全についてのサポート

- 道路整備(街頭や車道と歩道の分け目をはっきりさせる)など安全面。公園(遊具がやキッチンカーがあるといいな)夏のじゃぶじゃぶ池の所など。
- 地域内で安全に移動できるような環境を整える。
- 不審者や事故に遭わないようなサポートがほしい(平日、親の目が届かない時間帯)。

## 9. その他サポート

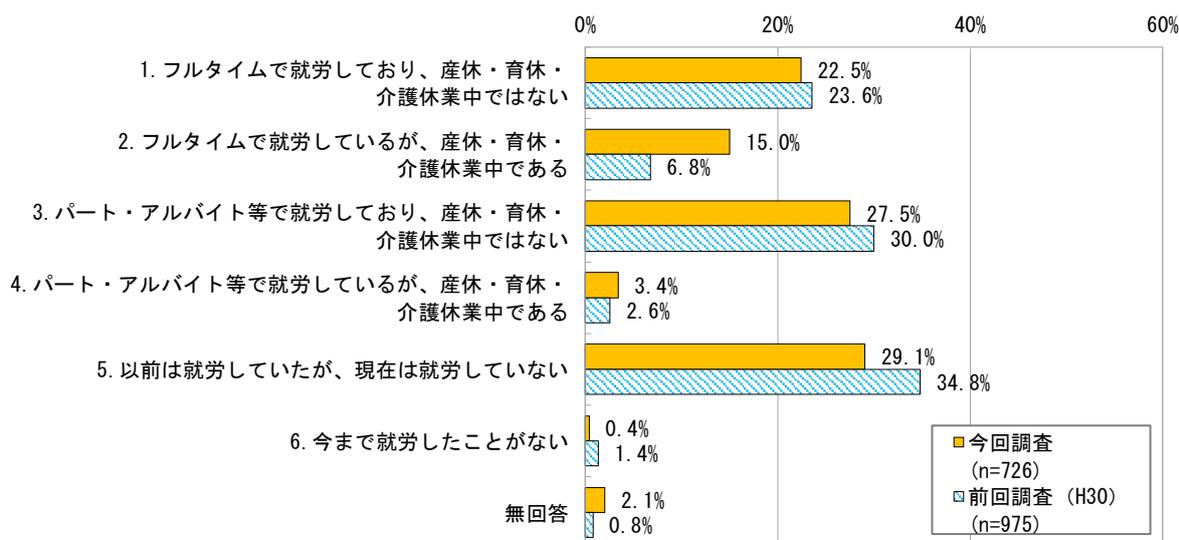
- 同じ月齢くらいママさんたちと定期的な交流できたりする場がほしい。もう少し育児相談しやすい場がほしい(以前、ちょっとしたことで健康センターの育児相談をお願いしたら、拍子抜けされてしまったため。育児相談は、大層な事しかしたらいけないのかと思ってしまった。雑談程度に育児相談をしてみたい)。
- 夕方の時間に手助けがあると私に心の余裕もでき、子供たちも甘えることができると思うが、今の我が家ではみんな仕事が遅いので難しい。平日に習い事をさせたいが、自分が仕事をしていると帰宅時間的に難しいので、送迎のサポートなどがあれば良いと思う。
- 肉体的というより精神的な負担が大きすぎる。核家族、共働きの現代で、自分から発信しないと助けてもらえない環境ではなく、気軽にサポートさせてもらえる環境が必要だと思う。例えば、保育・児童施設の無料券を配る等。誰も気にせず一人になる時間がほしい。
- 一番困るのは、自分が体調を崩した時に家の事や子供の事ができなくなる事である。体調不良時に、家事代行してくれるサポートがあると助かる。
- 習い事など子供が興味を持ったことをいろいろとやらせてあげたいが、1つ1つにかなりの金額が必要なため、なかなか習わせてあげられない。本格的ではなくても、体操やサッカーなど手頃な金額で習わせてもらう場所がほしい。
- コロナの流行で保護者会が開催されず、同じ保育園の保護者の顔もよく知りません。遠方から嫁いできたので知人もいません。平日は仕事、土日は子供を預ける相手もおらず、交友関係を広げる手立てがありません。自分はそれでもいいのですが、そのせいで子供が孤立しないか心配です。何か集まれる機会があればいいのですが。
- 夫の教育、夫が属する会社に対する子育て参画への教育が必要不可欠と思います。子供が熱を出した時に、夫も迎えに行くことを検討できる社会が日本にもくれば良いと思います。
- 最初はなかなか外出することができないため、情報はほとんどネットからになってしまう。そのため SNS 等で気軽に相談できるものがあると利用しやすいと思う。
- 保育士や保健師などのプロの方と気軽に相談できるものがあれば良いと思う(LINE など)。近所の高齢者などは昔の知識を押しつけてくることがあるので、プロの新しい知識を知りたい。
- 学童の給食サービスがあると助かります。

## 4. 保護者の就労状況について

問13 宛名のお子さんの保護者の現在の就労状況(自営業、家族従事者含む)をうかがいます。

### (1) 母親

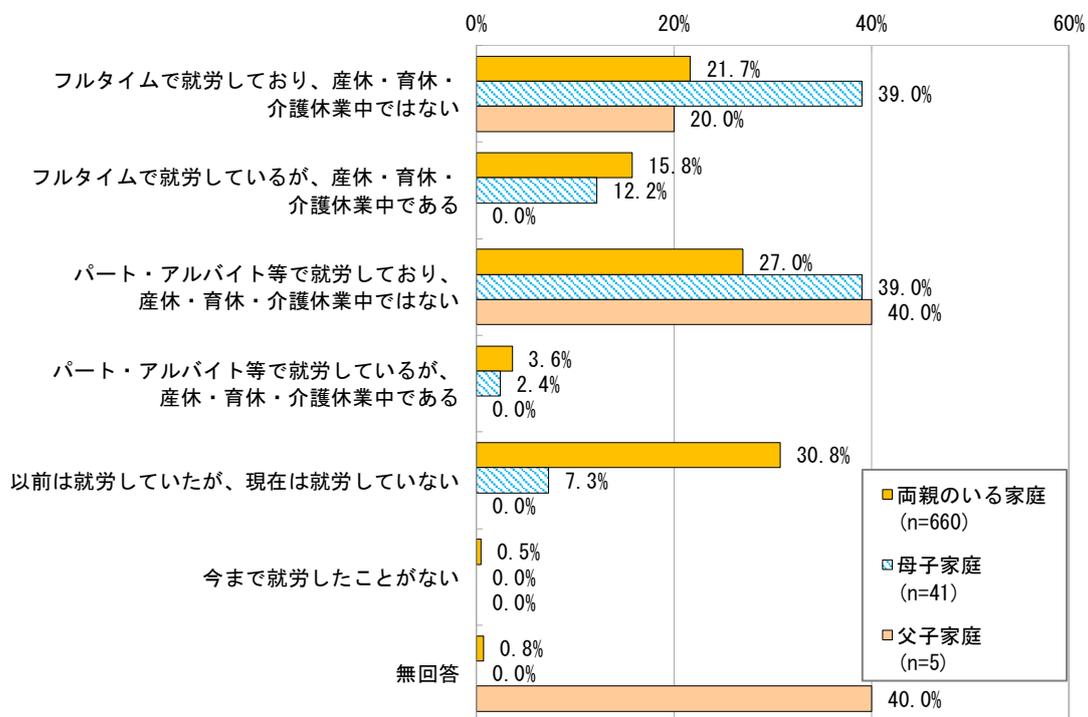
母親の就労状況については、「以前は就労していたが、現在は就労していない」29.1%が最も高く、次いで「パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」27.5%、「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」22.5%となっている。



項目	回答数	構成比
フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	163	22.5%
フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である	109	15.0%
パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	200	27.5%
パート・アルバイト等で就労しているが、産休・育休・介護休業中である	25	3.4%
以前は就労していたが、現在は就労していない	211	29.1%
今まで就労したことがない	3	0.4%
無回答	15	2.1%
合計	726	100.0%

● (参考)：世帯構成別

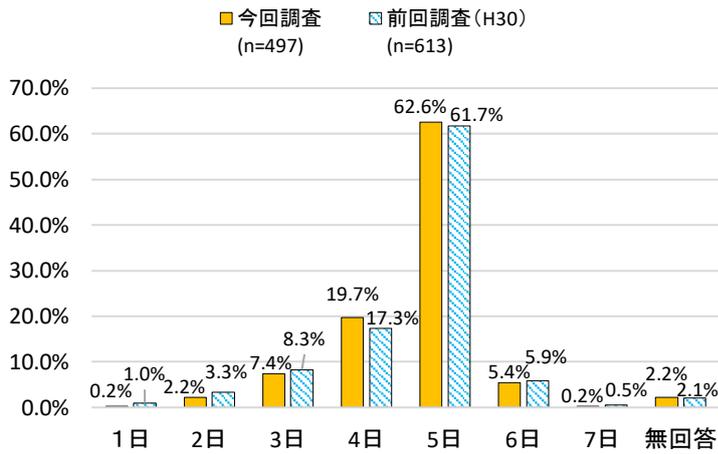
世帯構成別でみると母子家庭では、フルタイム 51.2%、パートタイム 41.4%となっている。  
 ※父子家庭についてはサンプル数が少ないためコメントを省略している。



問13(1)-1 【問13(1)で「1」～「4」(就労している)に○をつけた方にかがいます。】  
 週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間(残業時間を含む)」をお答えください。就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。

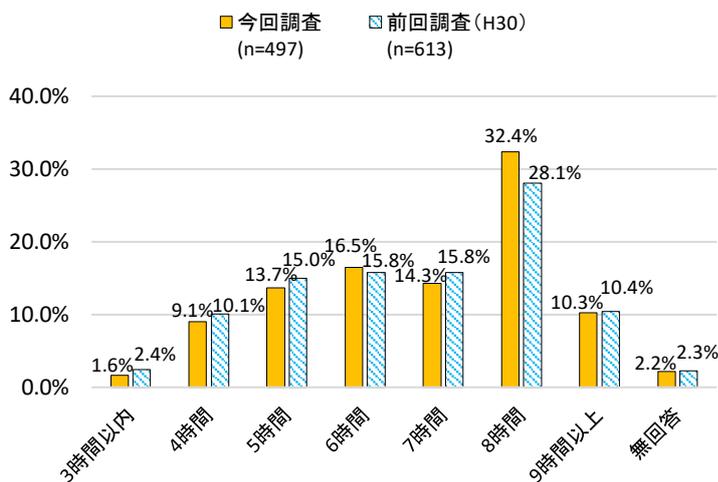
母親の就労状況をみると、週5日、1日8時間が最多となっている。

【1週当たり日数(母親)】



項目	回答数	構成比
1日	1	0.2%
2日	11	2.2%
3日	37	7.4%
4日	98	19.7%
5日	311	62.6%
6日	27	5.4%
7日	1	0.2%
無回答	11	2.2%
合計	497	100.0%

【1日当たり時間(母親)】



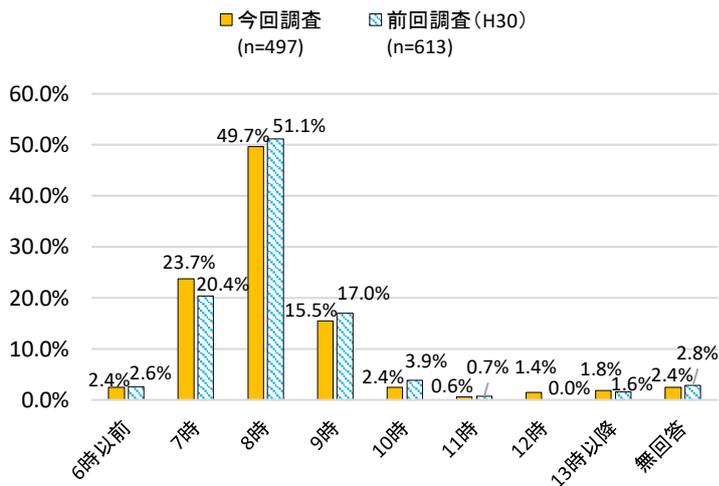
項目	回答数	構成比
3時間以内	8	1.6%
4時間	45	9.1%
5時間	68	13.7%
6時間	82	16.5%
7時間	71	14.3%
8時間	161	32.4%
9時間以上	51	10.3%
無回答	11	2.2%
合計	497	100.0%

問13(1)-2 【問13(1)で「1」～「4」(就労している)に○をつけた方にかがいます。】

家を出る時刻と帰宅時刻をお答えください。時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。

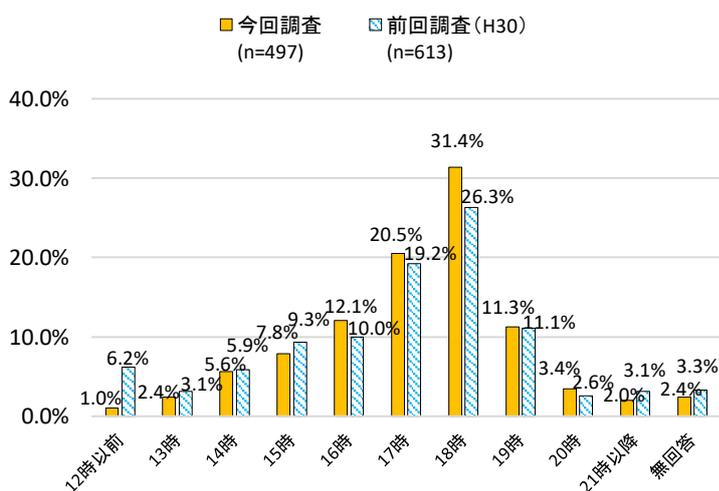
母親の家を出る時刻は8時、帰宅時刻は18時が最多となっている。

【家を出る時刻（母親）】



項目	回答数	構成比
6時以前	12	2.4%
7時	118	23.7%
8時	247	49.7%
9時	77	15.5%
10時	12	2.4%
11時	3	0.6%
12時	7	1.4%
13時以降	9	1.8%
無回答	12	2.4%
合計	497	100.0%

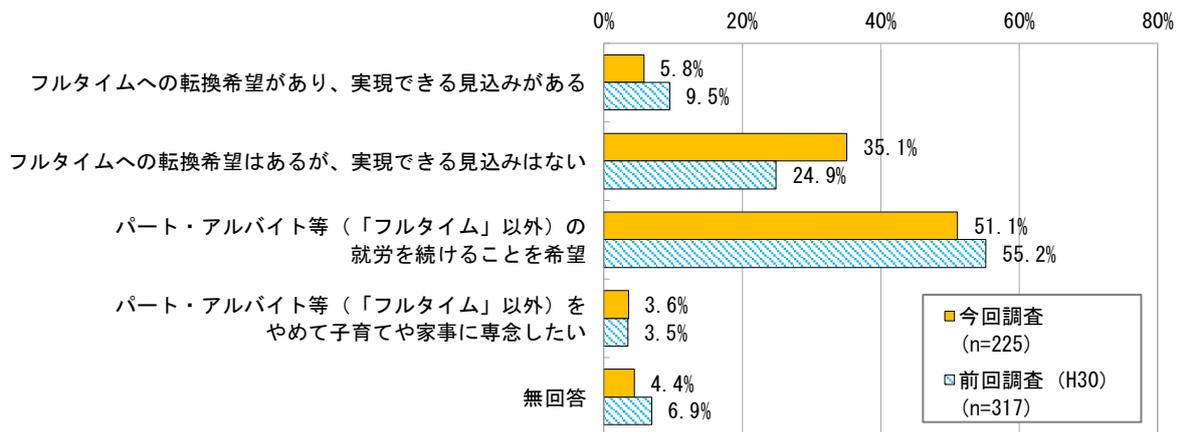
【帰宅時刻（母親）】



項目	回答数	構成比
12時以前	5	1.0%
13時	12	2.4%
14時	28	5.6%
15時	39	7.8%
16時	60	12.1%
17時	102	20.5%
18時	156	31.4%
19時	56	11.3%
20時	17	3.4%
21時以降	10	2.0%
無回答	12	2.4%
合計	497	100.0%

問13(1)-3 【問13(1)で「3」または「4」(パート・アルバイト等で就労している)に○をつけた方  
 にかがいます。】フルタイムへの転換等の希望はありますか。  
 当てはまる番号1つに○をつけてください。

母親のフルタイムへの転換希望については、「パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）の就労を続けることを希望」51.1%が最も高く、次いで「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」35.1%、「フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある」5.8%となっている。

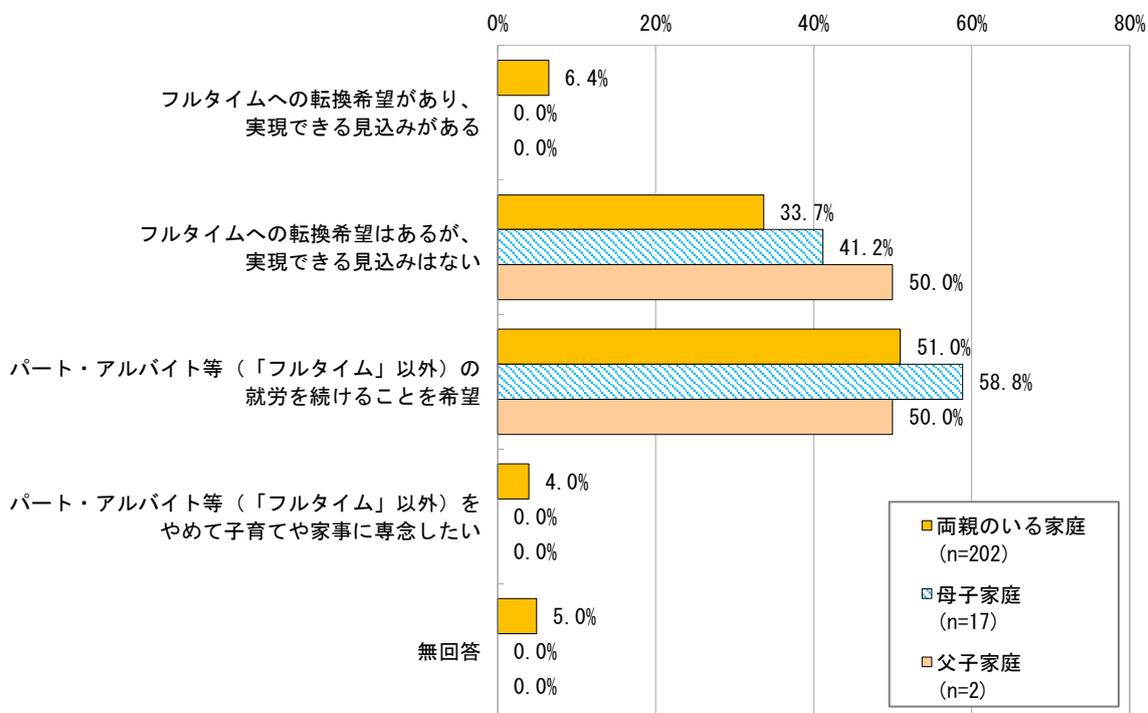


項目	回答数	構成比
フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある	13	5.8%
フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない	79	35.1%
パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）の就労を続けることを希望	115	51.1%
パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）をやめて子育てや家事に専念したい	8	3.6%
無回答	10	4.4%
合計	225	100.0%

● (参考)：世帯構成別

世帯構成別でみると母子家庭のフルタイムへの転換希望については、パート・アルバイト等が約6割とフルタイムへの希望よりも高くなっている。

※父子家庭についてはサンプル数が少ないためコメントを省略している。

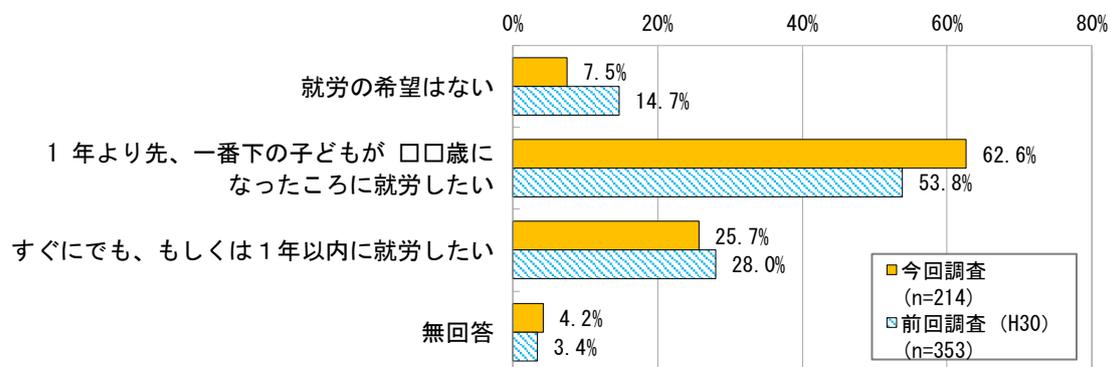


問13(1)-4 【問13(1)で「5.以前は就労していたが、現在は就労していない」または「6.今まで就労したことがない」に○をつけた方にうかがいます。】  
 就労したいという希望はありますか。当てはまる番号・記号それぞれ1つに○をつけてください。

就労していない母親の就労希望については、「1年より先、一番下の子どもが□□歳になったところに就労したい」62.6%が最も高く、次いで「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」25.7%、「就労の希望はない」7.5%となっている。

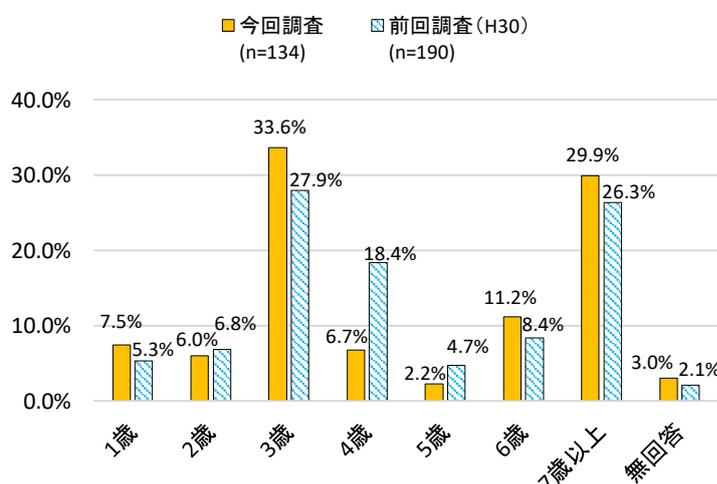
「1年より先、一番下の子どもが□□歳になったところに就労したい」と回答した人が就労を希望する時期（一番下の子ども年齢）については、「3歳」33.6%が最も高くなっている。

「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」と回答した人の働き方については、「フルタイム」12.7%、「パートタイム・アルバイト等」74.5%となっている。また、「パートタイム・アルバイト等」の働き方については、週3日、1日3～5時間との回答が最も高くなっている。



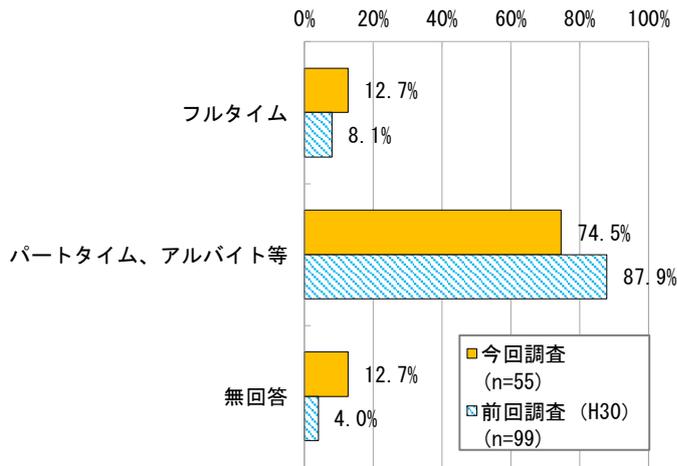
項目	回答数	構成比
就労の希望はない	16	7.5%
1年より先、一番下の子どもが □□歳になったところに就労したい	134	62.6%
すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい	55	25.7%
無回答	9	4.2%
合計	214	100.0%

【就労を希望する時期（一番下の子ども年齢） 母親】



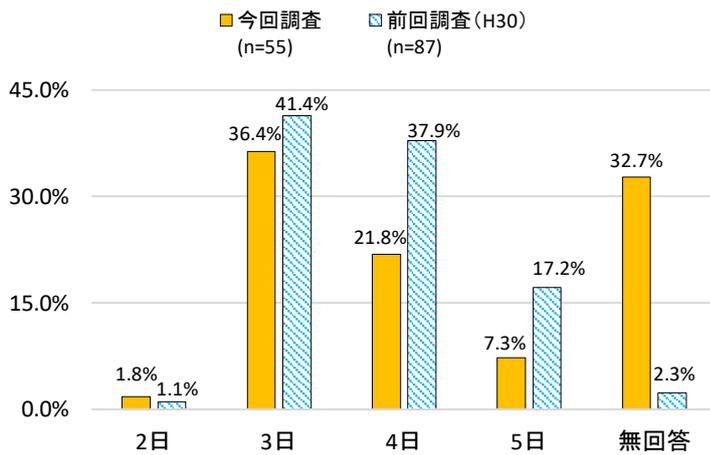
項目	回答数	構成比
1歳	10	7.5%
2歳	8	6.0%
3歳	45	33.6%
4歳	9	6.7%
5歳	3	2.2%
6歳	15	11.2%
7歳以上	40	29.9%
無回答	4	3.0%
合計	134	100.0%

【希望する就労形態（母親）】



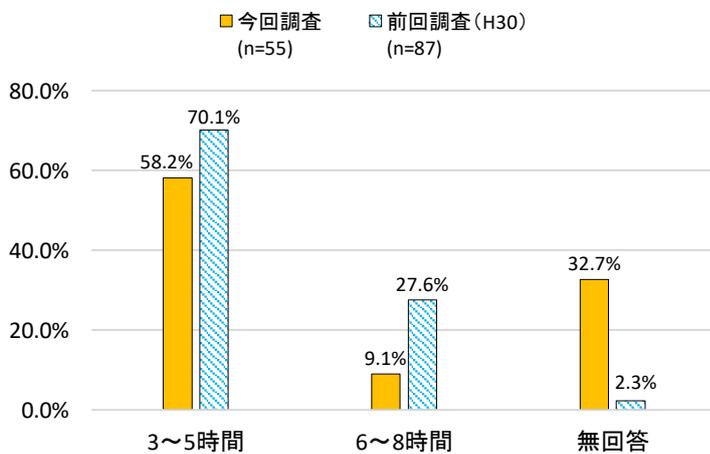
項目	回答数	構成比
フルタイム	7	12.7%
パートタイム、アルバイト等	41	74.5%
無回答	7	12.7%
合計	55	100.0%

【1週当たり日数（母親）】



項目	回答数	構成比
1日	0	0.0%
2日	1	1.8%
3日	20	36.4%
4日	12	21.8%
5日	4	7.3%
6日	0	0.0%
7日	0	0.0%
無回答	18	32.7%
合計	55	100.0%

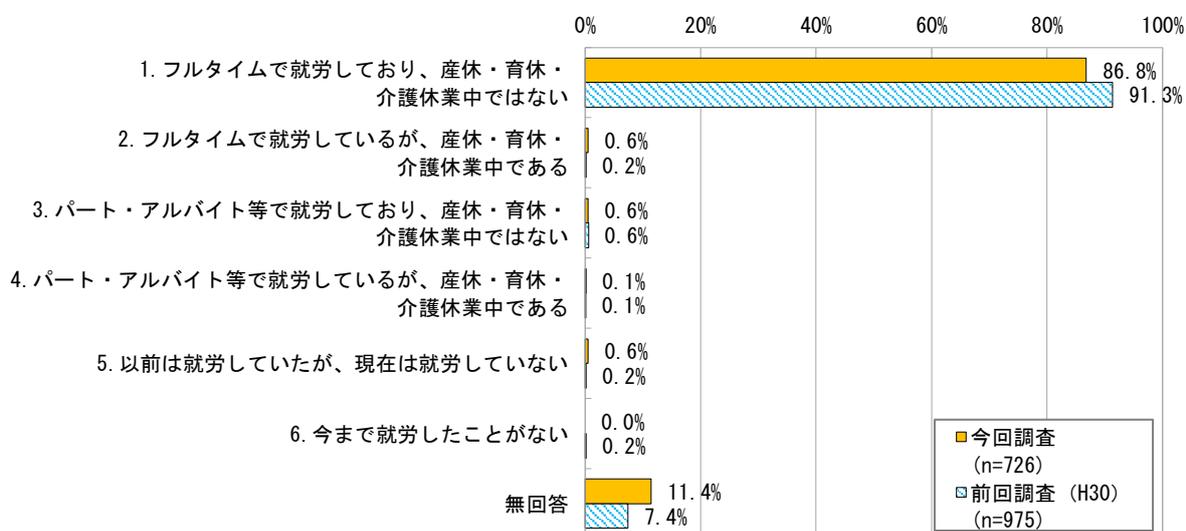
【1日当たり時間（母親）】



項目	回答数	構成比
1～2時間	0	0.0%
3～5時間	32	58.2%
6～8時間	5	9.1%
無回答	18	32.7%
合計	55	100.0%

## (2) 父親

父親の就労状況については、「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」86.8%が最も高くなっている。



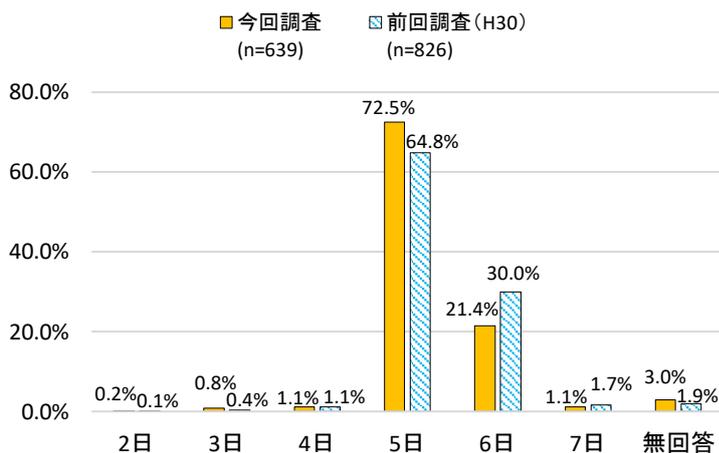
項目	回答数	構成比
フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	630	86.8%
フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である	4	0.6%
パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	4	0.6%
パート・アルバイト等で就労しているが、産休・育休・介護休業中である	1	0.1%
以前は就労していたが、現在は就労していない	4	0.6%
今まで就労したことがない	0	0.0%
無回答	83	11.4%
合計	726	100.0%

問13(2)-1 【問13(2)で「1」～「4」(就労している)に○をつけた方にかがいます。】

週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間(残業時間を含む)」をお答えください。就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。

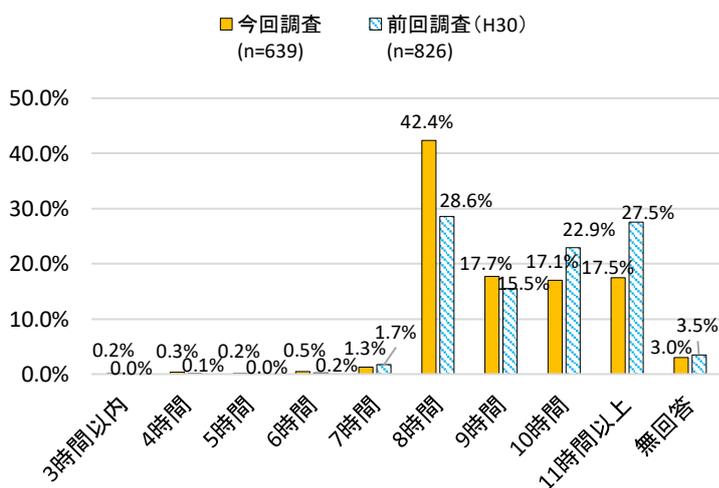
父親の就労状況をみると、週5日、1日8時間が最多となっている。

【1週当たり日数(父親)】



項目	回答数	構成比
1日	0	0.0%
2日	1	0.2%
3日	5	0.8%
4日	7	1.1%
5日	463	72.5%
6日	137	21.4%
7日	7	1.1%
無回答	19	3.0%
合計	639	100.0%

【1日当たり時間(父親)】

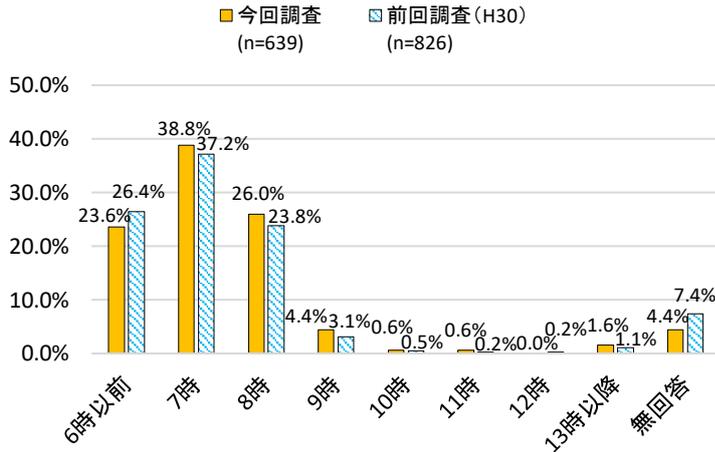


項目	回答数	構成比
3時間以内	1	0.2%
4時間	2	0.3%
5時間	1	0.2%
6時間	3	0.5%
7時間	8	1.3%
8時間	271	42.4%
9時間	113	17.7%
10時間	109	17.1%
11時間以上	112	17.5%
無回答	19	3.0%
合計	639	100.0%

問13(2)-2 【問13(2)で「1」～「4」(就労している)に○をつけた方にかがいます。】  
 家を出る時刻と帰宅時刻をお答えください。時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。

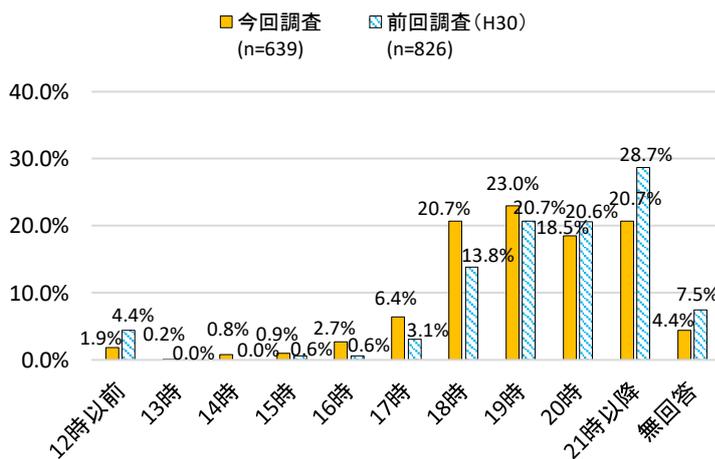
父親の家を出る時刻は7時、帰宅時刻は19時が最多となっている。

【家を出る時刻（父親）】



項目	回答数	構成比
6時以前	151	23.6%
7時	248	38.8%
8時	166	26.0%
9時	28	4.4%
10時	4	0.6%
11時	4	0.6%
12時	0	0.0%
13時以降	10	1.6%
無回答	28	4.4%
合計	639	100.0%

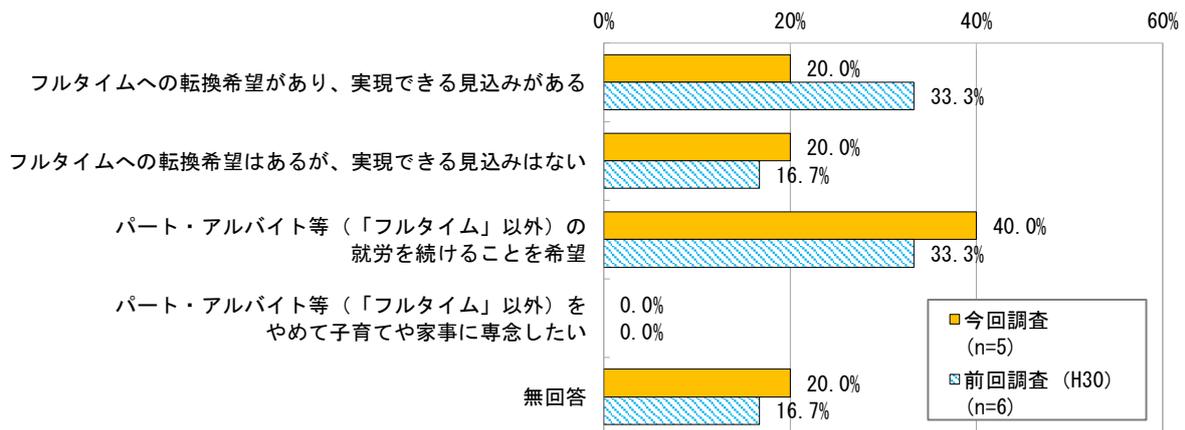
【帰宅時刻（父親）】



項目	回答数	構成比
12時以前	12	1.9%
13時	1	0.2%
14時	5	0.8%
15時	6	0.9%
16時	17	2.7%
17時	41	6.4%
18時	132	20.7%
19時	147	23.0%
20時	118	18.5%
21時以降	132	20.7%
無回答	28	4.4%
合計	639	100.0%

問13(2)-3 【問13(2)で「3」または「4」(パート・アルバイト等で就労している)に○をつけた方  
 にかがいます。】フルタイムへの転換希望はありますか。当てはまる番号1つに○  
 をつけてください。

父親のフルタイムへの転換希望については、「パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）の就労を続けることを希望」40.0%が最も高く、次いで「フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある」、「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」がいずれも20.0%となっている。

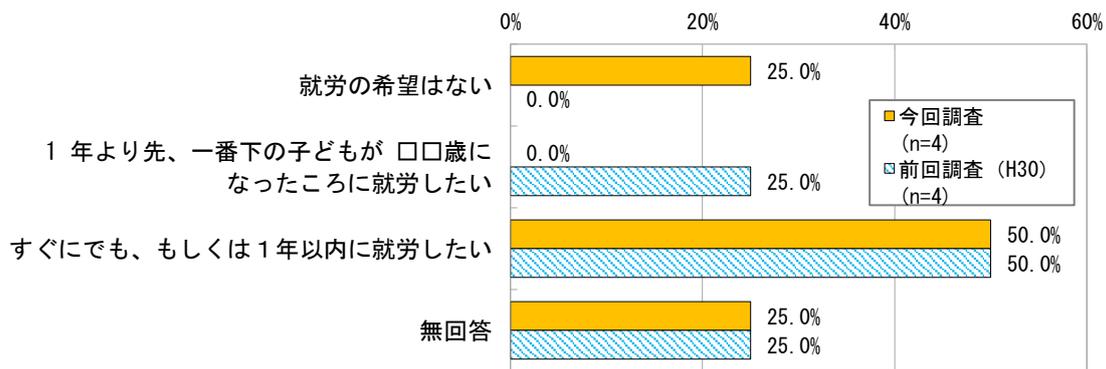


項目	回答数	構成比
フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある	1	20.0%
フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない	1	20.0%
パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）の就労を続けることを希望	2	40.0%
パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）をやめて子育てや家事に専念したい	0	0.0%
無回答	1	20.0%
合計	5	100.0%

問13(2)-4 【問13(2)で「5.以前は就労していたが、現在は就労していない」または「6.今まで就労したことがない」に○をつけた方にうかがいます。】  
 就労したいという希望はありますか。当てはまる番号・記号それぞれ1つに○をつけてください。

就労していない父親の就労希望については、サンプル数が少ないことに留意する必要があるが、「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」50.0%が最も高く、次いで「就労の希望はない」25.0%となっている。

「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」と回答した人の働き方については、回答が得られなかった。

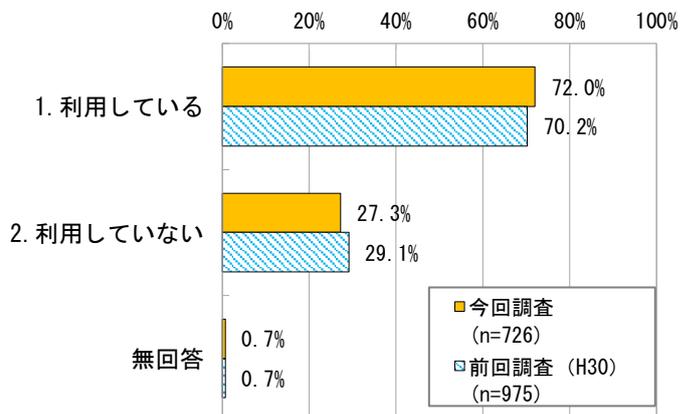


項目	回答数	構成比
就労の希望はない	1	25.0%
1年より先、一番下の子どもが〇〇歳になったときに就労したい	0	0.0%
すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい	2	50.0%
無回答	1	25.0%
合計	4	100.0%

## 5. 平日の定期的な教育・保育事業の利用状況について

問14 宛名のお子さんは現在、幼稚園や保育所などの「定期的な教育・保育事業」を利用されていますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

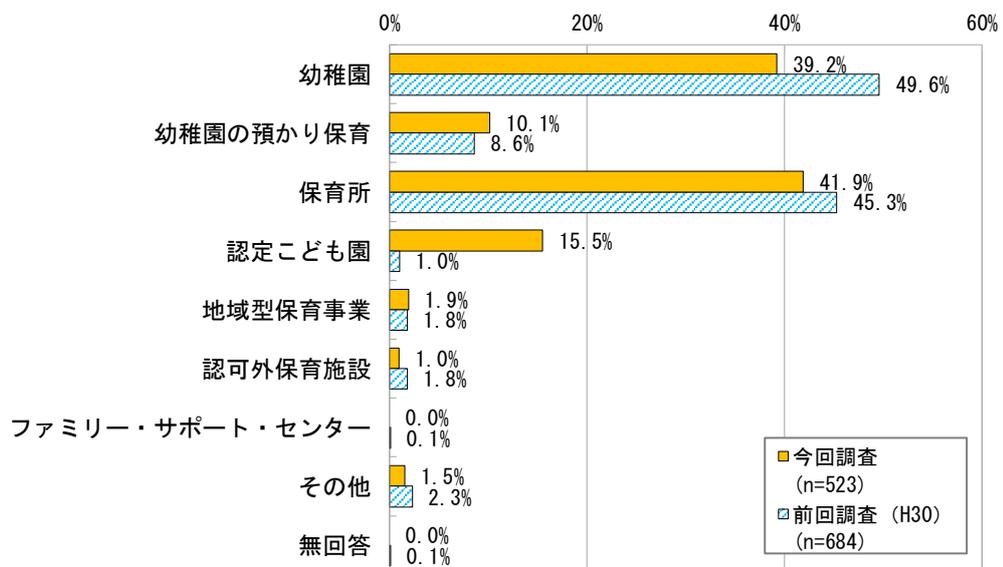
定期的な教育・保育事業の利用については、「利用している」72.0%、「利用していない」27.3%となっている。



項目	回答数	構成比
利用している	523	72.0%
利用していない	198	27.3%
無回答	5	0.7%
合計	726	100.0%

問14-1 【問14-1～問14-4 は、問14で「1 利用している」に○をつけた方にかがいます。】  
 宛名のお子さんは、平日どのような教育・保育事業を利用していますか。年間を通じて「定期的に」利用している事業をお答えください。  
 当てはまる番号すべてに○をつけてください。

平日に「定期的に」利用している教育・保育事業については、「保育所」41.9%が最も高く、次いで「幼稚園」39.2%、「認定こども園」15.5%となっている。



項目	回答数	構成比
幼稚園	205	39.2%
幼稚園の預かり保育	53	10.1%
保育所	219	41.9%
認定こども園	81	15.5%
地域型保育事業	10	1.9%
認可外保育施設	5	1.0%
ファミリー・サポート・センター	0	0.0%
その他	8	1.5%
無回答	0	0.0%
サンプル数	523	-

【その他の回答】

- ・ 幼稚園の週1回のプレ
- ・ 療育施設
- ・ 子育て支援センター、未就学児教室等
- ・ 児童発達支援デイサービス
- ・ 習い事 など

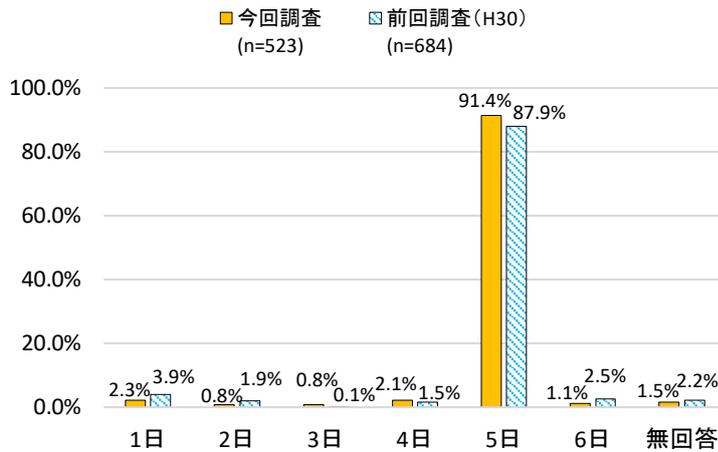
問14-2 平日に定期的に利用している教育・保育事業について、どのくらい利用していますか。  
また、希望としてはどのくらい利用したいですか。

(1) 現在

現在の利用状況については、週に5日、1日7時間～10時間が最多となっている。

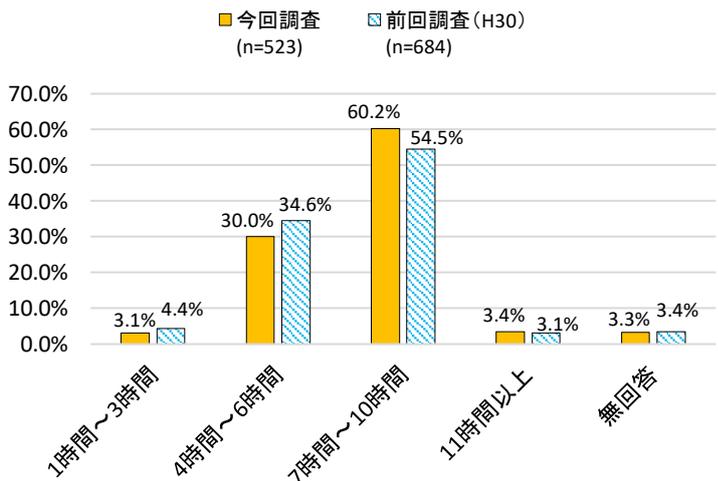
利用時間については、開始時刻は8時、9時がそれぞれ高く、終了時刻は16時が最多となっている。

【利用日数/週】



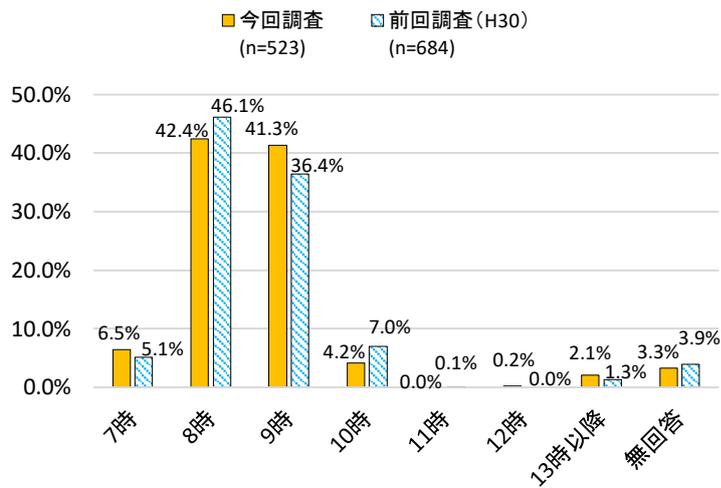
項目	回答数	構成比
1日	12	2.3%
2日	4	0.8%
3日	4	0.8%
4日	11	2.1%
5日	478	91.4%
6日	6	1.1%
7日	0	0.0%
無回答	8	1.5%
合計	523	100.0%

【利用時間/日】



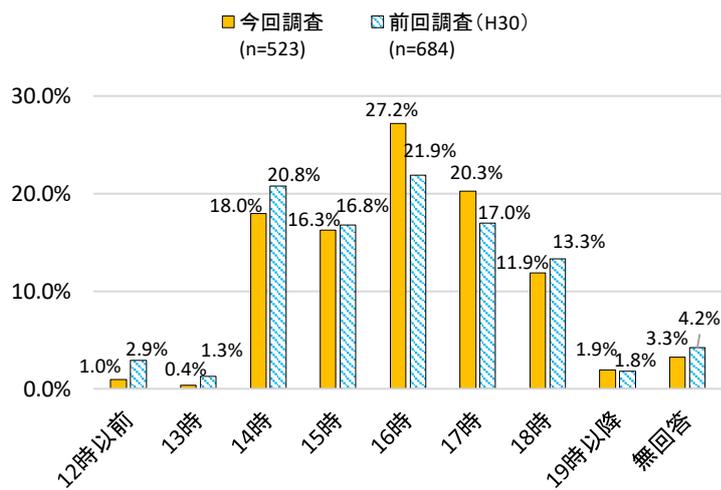
項目	回答数	構成比
1時間～3時間	16	3.1%
4時間～6時間	157	30.0%
7時間～10時間	315	60.2%
11時間以上	18	3.4%
無回答	17	3.3%
合計	523	100.0%

### 【開始時刻】



項目	回答数	構成比
6時以前	0	0.0%
7時	34	6.5%
8時	222	42.4%
9時	216	41.3%
10時	22	4.2%
11時	0	0.0%
12時	1	0.2%
13時以降	11	2.1%
無回答	17	3.3%
合計	523	100.0%

### 【終了時刻】



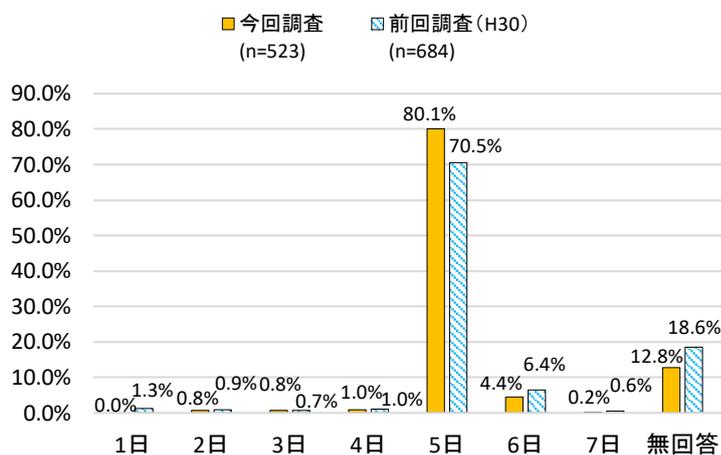
項目	回答数	構成比
12時以前	5	1.0%
13時	2	0.4%
14時	94	18.0%
15時	85	16.3%
16時	142	27.2%
17時	106	20.3%
18時	62	11.9%
19時以降	10	1.9%
無回答	17	3.3%
合計	523	100.0%

## (2) 希望

利用希望については、週に5日、1日7時間～10時間が最多となっている。

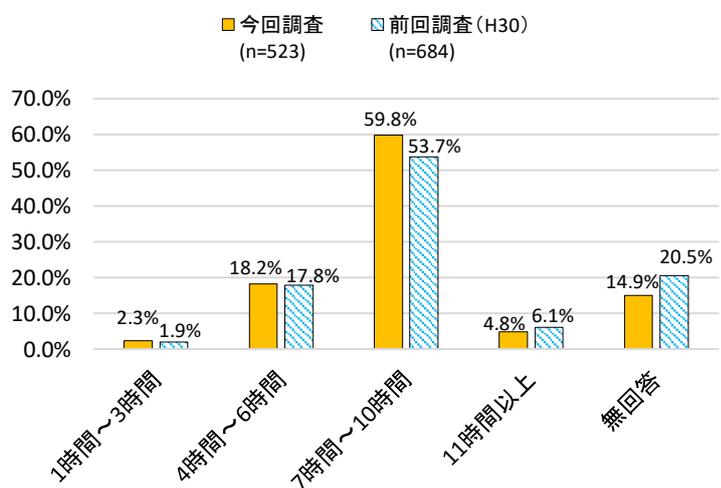
利用時間については、開始時刻は8時、終了時刻は16時が最多となっている。

### 【利用希望日数/週】



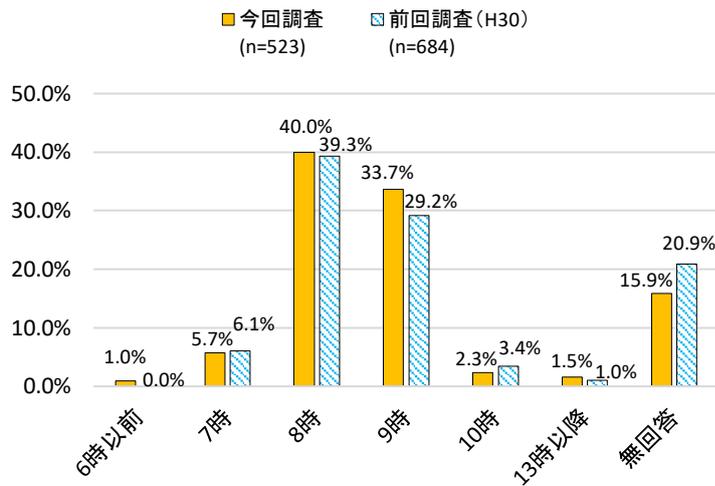
項目	回答数	構成比
1日	0	0.0%
2日	4	0.8%
3日	4	0.8%
4日	5	1.0%
5日	419	80.1%
6日	23	4.4%
7日	1	0.2%
無回答	67	12.8%
合計	523	100.0%

### 【利用希望時間/日】



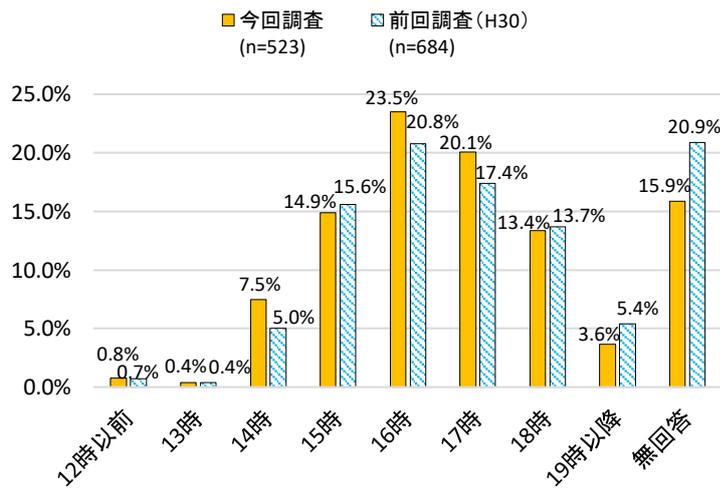
項目	回答数	構成比
1時間～3時間	12	2.3%
4時間～6時間	95	18.2%
7時間～10時間	313	59.8%
11時間以上	25	4.8%
無回答	78	14.9%
合計	523	100.0%

### 【開始時刻】



項目	回答数	構成比
6時以前	5	1.0%
7時	30	5.7%
8時	209	40.0%
9時	176	33.7%
10時	12	2.3%
11時	0	0.0%
12時	0	0.0%
13時以降	8	1.5%
無回答	83	15.9%
合計	523	100.0%

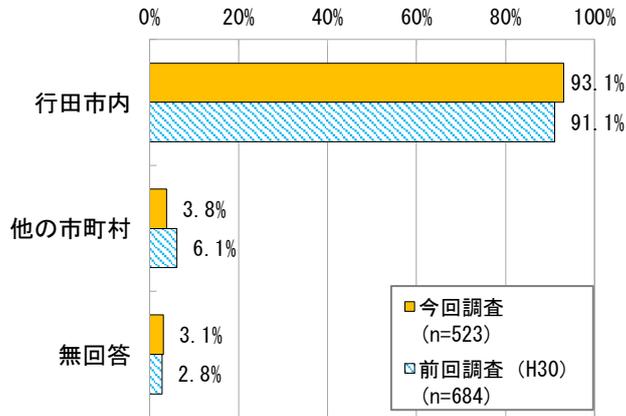
### 【終了時刻】



項目	回答数	構成比
12時以前	4	0.8%
13時	2	0.4%
14時	39	7.5%
15時	78	14.9%
16時	123	23.5%
17時	105	20.1%
18時	70	13.4%
19時以降	19	3.6%
無回答	83	15.9%
合計	523	100.0%

問14-3 現在、利用している教育・保育事業の実施場所についてうかがいます。当てはまる番号1つに○をつけてください。「2. 他の市町村」を選んだ場合は、実施場所の市町村名を記入してください。

教育・保育事業の実施場所については、「行田市内」93.1%、「他の市町村」3.8%となっている。



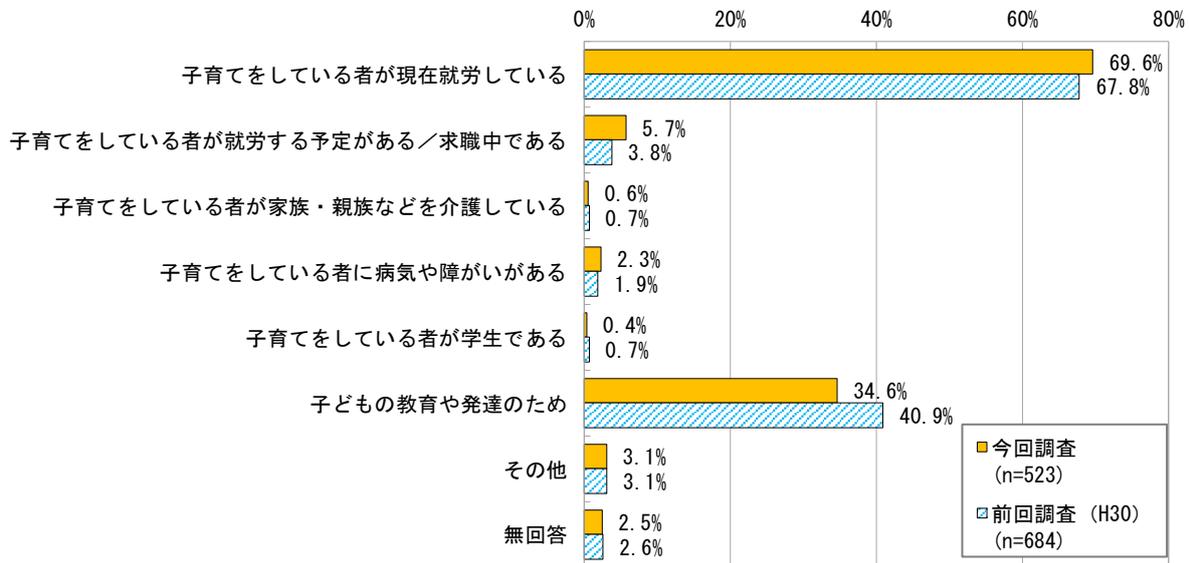
項目	回答数	構成比
行田市内	487	93.1%
他の市町村	20	3.8%
無回答	16	3.1%
合計	523	100.0%

【その他の回答】

・熊谷市 ・鴻巣市 ・久喜市 ・川越市 ・上尾市 など

問14-4 平日に定期的に教育・保育事業を利用されている理由についてうかがいます。主な理由として当てはまる番号すべてに○をつけてください。

平日に定期的に教育・保育事業を利用している理由については、「子育てをしている者が現在就労している」69.6%が最も高く、次いで「子どもの教育や発達のため」34.6%となっている。



項目	回答数	構成比
子育てをしている者が現在就労している	364	69.6%
子育てをしている者が就労する予定がある／求職中である	30	5.7%
子育てをしている者が家族・親族などを介護している	3	0.6%
子育てをしている者に病気や障がいがある	12	2.3%
子育てをしている者が学生である	2	0.4%
子どもの教育や発達のため	181	34.6%
その他	16	3.1%
無回答	13	2.5%
サンプル数	523	-

【その他の回答】

- ・ 幼稚園に入園する前になれるために親子で一緒に幼稚園へ行っている、まだ一人で行かせるには不安なので、親子で幼稚園に行き、先生やお友達と関わることで今後スムーズに幼稚園へ入園できるようにするために
- ・ 育休から復職する際に預け先を確保したかったため、いつでも復帰できるように
- ・ 母子家庭なので自分が働かなければならない ・ 下の子の出産、育児のため
- ・ 同年齢の子とのコミュニケーションのため ・ 産休中
- ・ 子育てをしている者が下の子の育休中で復帰の予定があるため など

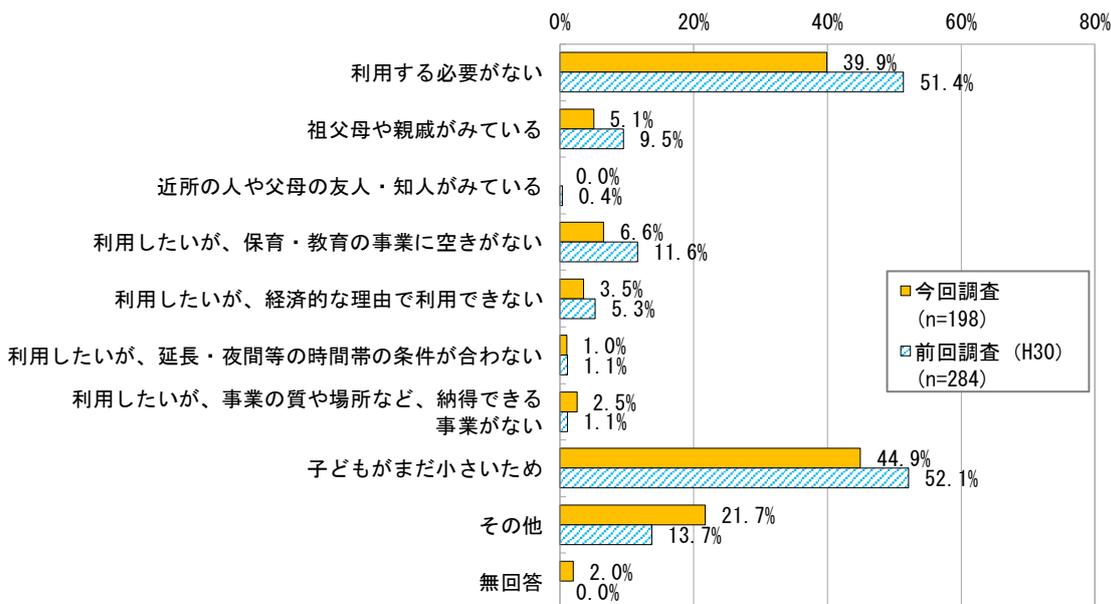
問14-5 【問14で「2. 利用していない」に○をつけた方にうかがいます。】

事業を利用していない理由は何ですか。

当てはまる番号すべてに○をつけてください。

事業を利用していない理由については、「子どもがまだ小さいため」44.9%が最も高く、次いで「利用する必要がない」39.9%、「その他」21.7%となっている。

「子どもがまだ小さいため」と回答した方について、利用を検討する子どもの年齢は「3歳」41.6%が最も高くなっている。

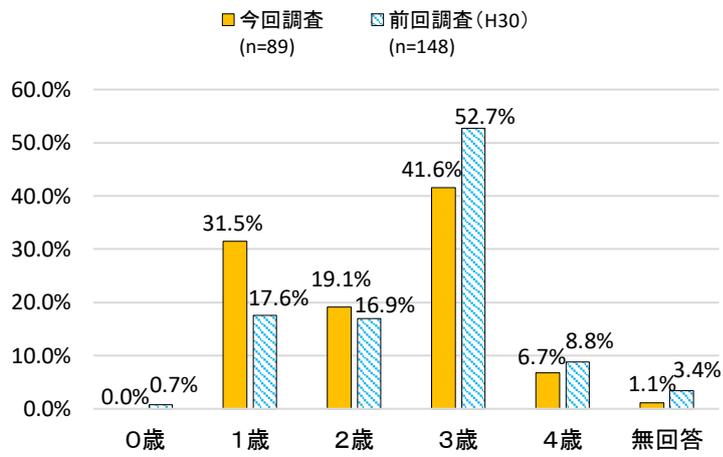


項目	回答数	構成比
利用する必要がない	79	39.9%
祖父母や親戚がみている	10	5.1%
近所の人や父母の友人・知人がみている	0	0.0%
利用したいが、保育・教育の事業に空きがない	13	6.6%
利用したいが、経済的な理由で利用できない	7	3.5%
利用したいが、延長・夜間等の時間帯の条件が合わない	2	1.0%
利用したいが、事業の質や場所など、納得できる事業がない	5	2.5%
子どもがまだ小さいため	89	44.9%
その他	43	21.7%
無回答	4	2.0%
サンプル数	198	-

【その他の回答】

- ・ 育休中のため
- ・ 年度初めからのため
- ・ 保育料が高い
- ・ 1歳で入園したが、喘息になり退園してしまったため
- ・ 利用したいが母親がけがをしていて子をだっこできず連れていけない、送迎不可
- ・ アレルギーが多く、まだ心配なので入れられない
- ・ 後日利用予定 など

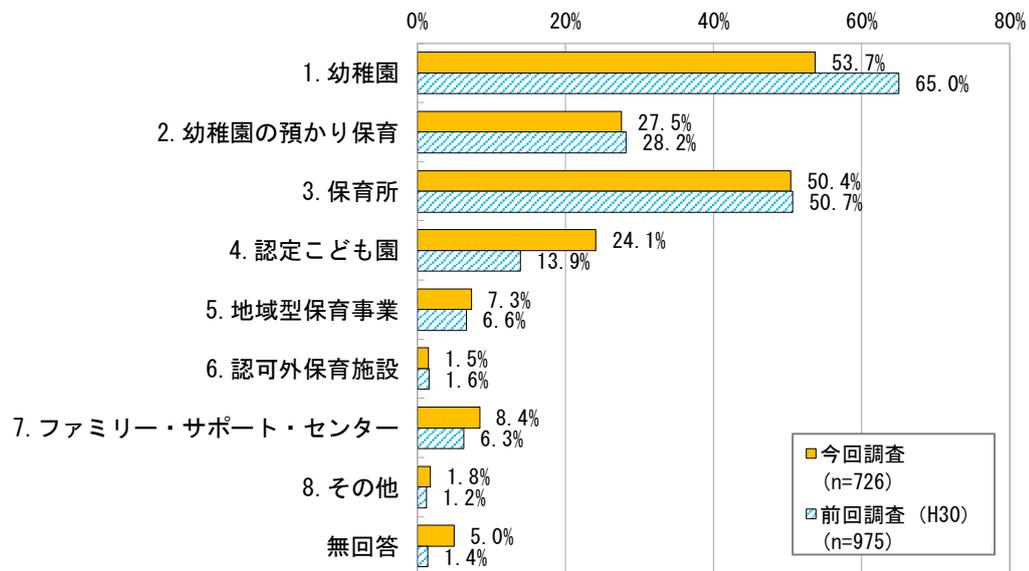
【教育・保育事業の利用開始年齢（子どもの年齢）】



項目	回答数	構成比
0歳	0	0.0%
1歳	28	31.5%
2歳	17	19.1%
3歳	37	41.6%
4歳	6	6.7%
5歳	0	0.0%
6歳以上	0	0.0%
無回答	1	1.1%
合計	89	100.0%

問15 現在、利用している、利用していないにかかわらず、宛名のお子さんの平日の教育・保育事業として、「定期的に」利用したいと考える事業をお答えください。  
 当てはまる番号すべてに○をつけてください。

定期的に利用したいと考える事業については、「幼稚園」53.7%が最も高く、次いで「保育所」50.4%、「幼稚園の預かり保育」27.5%となっている。



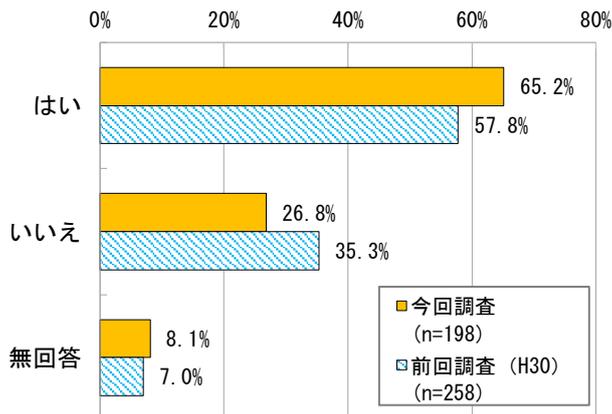
項目	回答数	構成比
幼稚園	390	53.7%
幼稚園の預かり保育	200	27.5%
保育所	366	50.4%
認定こども園	175	24.1%
地域型保育事業	53	7.3%
認可外保育施設	11	1.5%
ファミリー・サポート・センター	61	8.4%
その他	13	1.8%
無回答	36	5.0%
サンプル数	726	-

【その他の回答】

- ・教育支援センター      ・障がい児通所      ・病児保育、インクルーシブ教育
- ・習い事      ・療育施設      ・児童発達支援      ・企業内託児所
- ・児童発達支援デイサービス      など

問15-1 【問15で「1」または「2」に○をつけ、かつ「3」～「8」のいずれかにも○をつけた方(幼稚園と幼稚園以外の教育・保育事業を利用されている方)にうかがいます】  
 両方の事業を利用されていますが、特に幼稚園(幼稚園の預かり保育をあわせて利用する場合を含む)の利用を強く希望しますか。  
 当てはまる番号1つに○をつけてください。

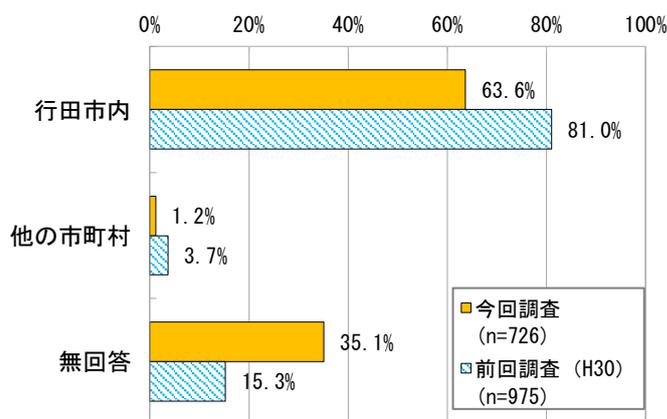
特に幼稚園(幼稚園の預かり保育をあわせて利用する場合を含む)の利用を強く希望するかについては、「はい」65.2%、「いいえ」26.8%となっている。



項目	回答数	構成比
はい	129	65.2%
いいえ	53	26.8%
無回答	16	8.1%
合計	198	100.0%

問15-2 教育・保育事業を利用したい場所についてうかがいます。当てはまる番号1つに○をつけてください。「2. 他の市町村」を選んだ場合は、実施場所の市町村名を記入してください。

教育・保育事業を利用したい場所については、「行田市内」63.6%、「他の市町村」1.2%となっている。「他の市町村」については、以下のとおり。



項目	回答数	構成比
行田市内	462	63.6%
他の市町村	9	1.2%
無回答	255	35.1%
合計	726	100.0%

【他の市町村】

- ・熊谷市
- ・鴻巣市
- ・深谷市
- ・通勤途中のところ色々
- ・北本市
- など

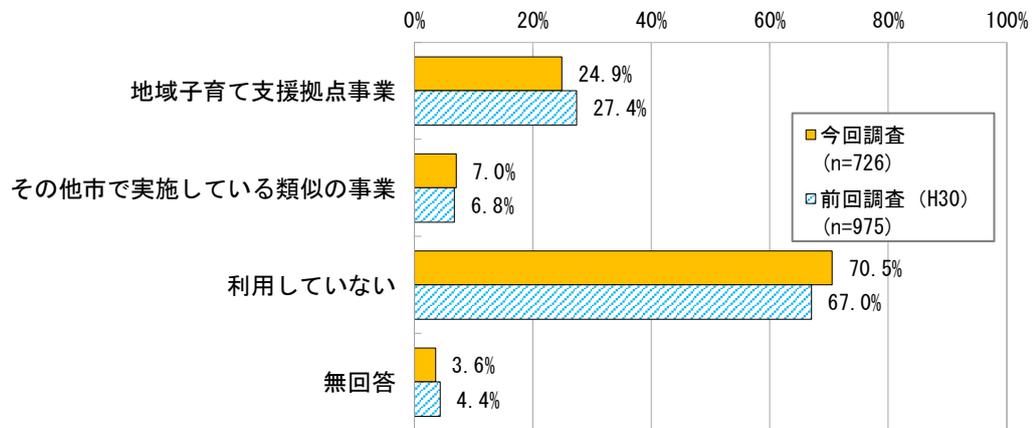
## 6. 地域における子育て支援事業の利用状況について

問16 宛名のお子さんは、現在、地域子育て支援拠点事業(親子が集まって過ごしたり、相談をしたり、情報提供を受けたりする場で、本市では「きっずプラザあおい」や「つどいの広場」が該当します)を利用していますか。次の中から、利用されているものすべてに○をつけてください。また、おおよその利用回数(頻度)を記入してください。

地域子育て支援拠点事業の利用については、「利用していない」70.5%が最も高く、次いで「地域子育て支援拠点事業」24.9%、「その他市で実施している類似の事業」7.0%となっている。

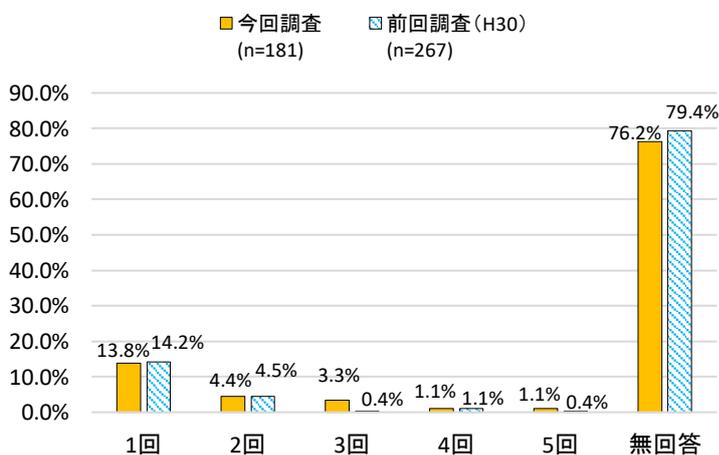
地域子育て支援拠点事業の利用回数については、1週当たり1回、1か月当たり1回～3回が最多となっている。

その他市で実施している類似の事業の利用回数についても、1週当たり1回、1か月当たり1回～3回が最多となっている。



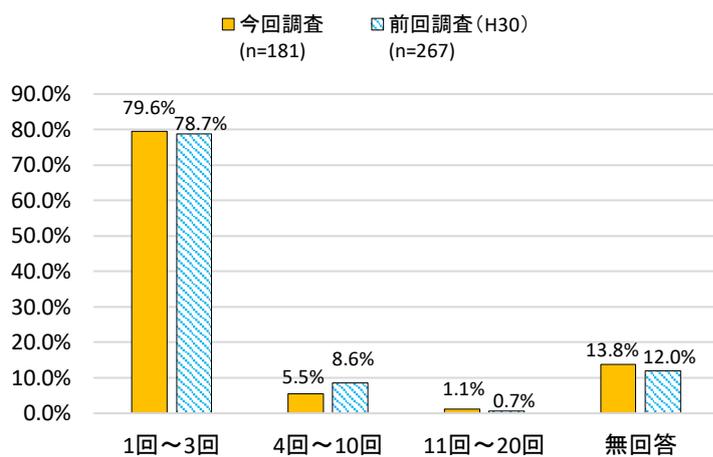
項目	回答数	構成比
地域子育て支援拠点事業	181	24.9%
その他市で実施している類似の事業	51	7.0%
利用していない	512	70.5%
無回答	26	3.6%
サンプル数	726	-

地域子育て支援拠点事業の利用回数（1週当たり回数）



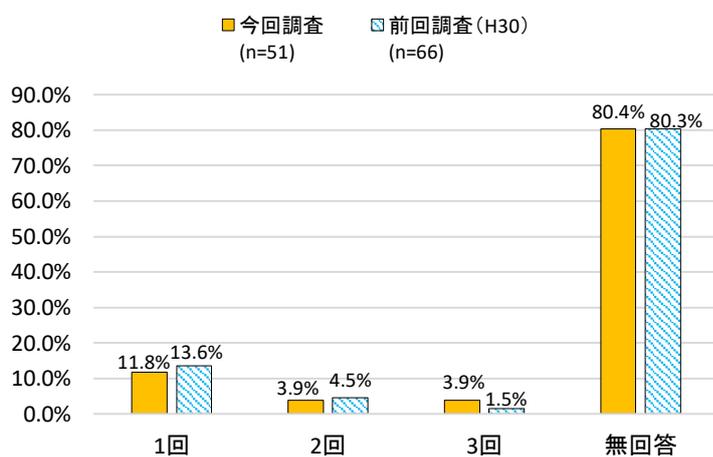
項目	回答数	構成比
1回	25	13.8%
2回	8	4.4%
3回	6	3.3%
4回	2	1.1%
5回	2	1.1%
6回	0	0.0%
7回	0	0.0%
無回答	138	76.2%
合計	181	100.0%

### 地域子育て支援拠点事業の利用回数（1か月当たり回数）



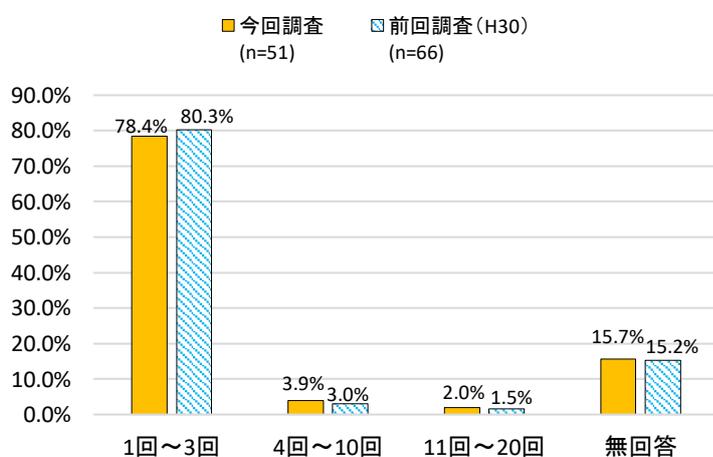
項目	回答数	構成比
1回～3回	144	79.6%
4回～10回	10	5.5%
11回～20回	2	1.1%
21回～30回	0	0.0%
無回答	25	13.8%
合計	181	100.0%

### その他類似の事業の利用回数（1週当たり回数）



項目	回答数	構成比
1回	6	11.8%
2回	2	3.9%
3回	2	3.9%
4回	0	0.0%
5回	0	0.0%
6回	0	0.0%
7回	0	0.0%
無回答	41	80.4%
合計	51	100.0%

### その他類似の事業の利用回数（1か月当たり回数）



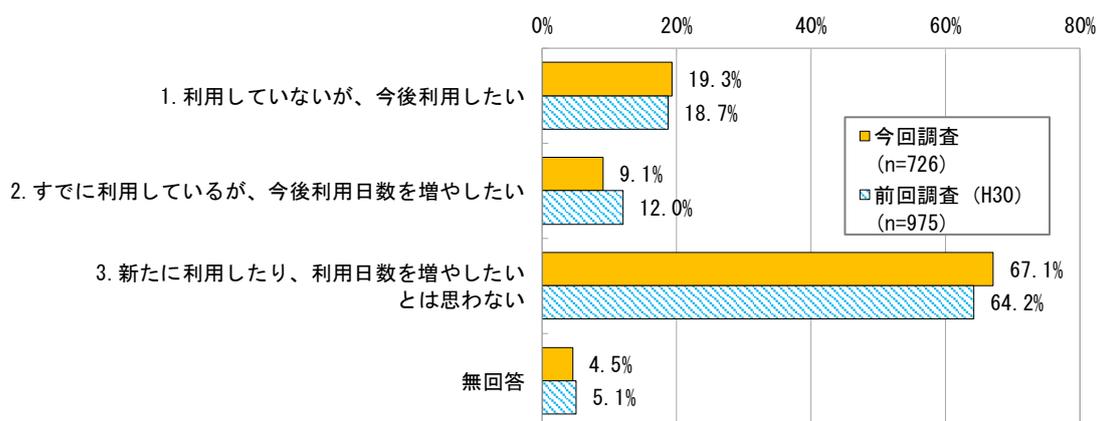
項目	回答数	構成比
1回～3回	40	78.4%
4回～10回	2	3.9%
11回～20回	1	2.0%
21回～30回	0	0.0%
無回答	8	15.7%
合計	51	100.0%

問17 地域子育て支援拠点事業について、今は利用していないが、できれば今後利用したい、あるいは利用日数を増やしたいと思いますか。当てはまる番号1つに○をつけ、また、おおよその利用回数(頻度)を記入してください。

地域子育て支援拠点事業の今後の利用意向については、「新たに利用したり、利用日数を増やしたいと思わない」67.1%が最も高く、次いで「利用していないが、今後利用したい」19.3%、「すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい」9.1%となっている。

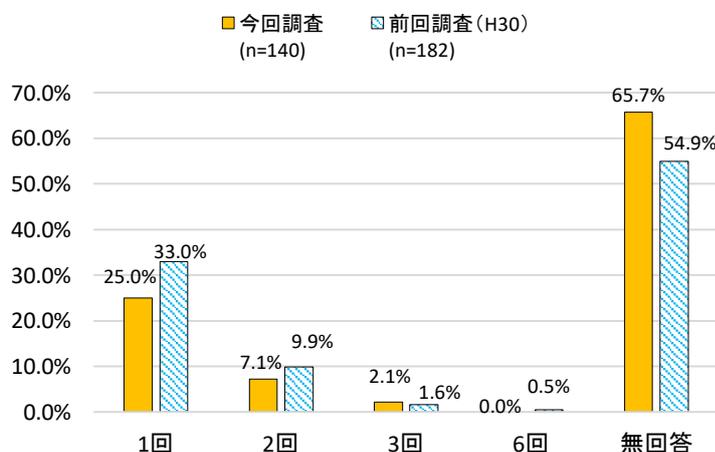
「利用していないが、今後利用したい」については、1週当たり1回、1か月当たり1回～3回が最多となっている。

「すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい」についても、1週当たり1回、1か月当たり1回～3回が最多となっている。



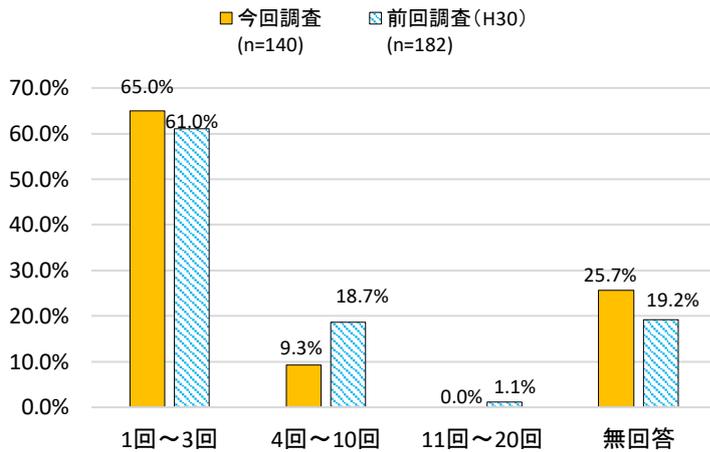
項目	回答数	構成比
利用していないが、今後利用したい	140	19.3%
すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい	66	9.1%
新たに利用したり、利用日数を増やしたいと思わない	487	67.1%
無回答	33	4.5%
合計	726	100.0%

#### 利用していないが、今後利用したい（1週当たり回数）



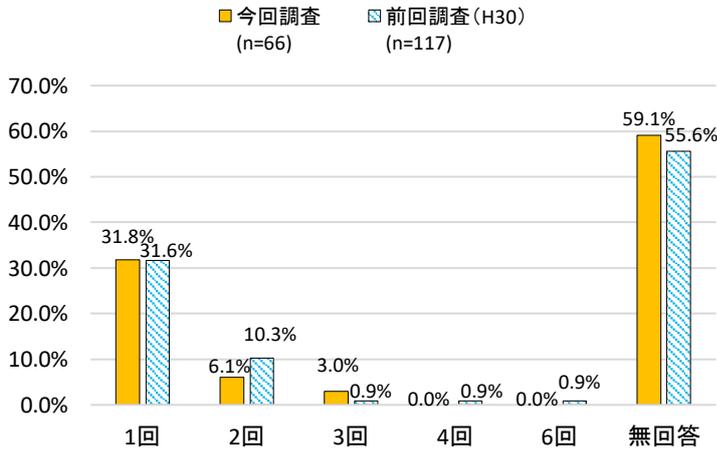
項目	回答数	構成比
1回	35	25.0%
2回	10	7.1%
3回	3	2.1%
4回	0	0.0%
5回	0	0.0%
6回	0	0.0%
7回	0	0.0%
無回答	92	65.7%
合計	140	100.0%

利用していないが、今後利用したい（1か月当たり回数）



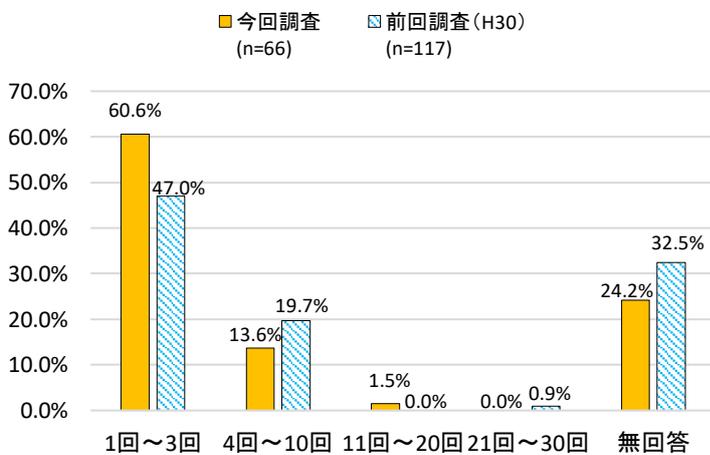
項目	回答数	構成比
1回～3回	91	65.0%
4回～10回	13	9.3%
11回～20回	0	0.0%
21回～30回	0	0.0%
無回答	36	25.7%
合計	140	100.0%

すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい（1週当たり回数）



項目	回答数	構成比
1回	21	31.8%
2回	4	6.1%
3回	2	3.0%
4回	0	0.0%
5回	0	0.0%
6回	0	0.0%
7回	0	0.0%
無回答	39	59.1%
合計	66	100.0%

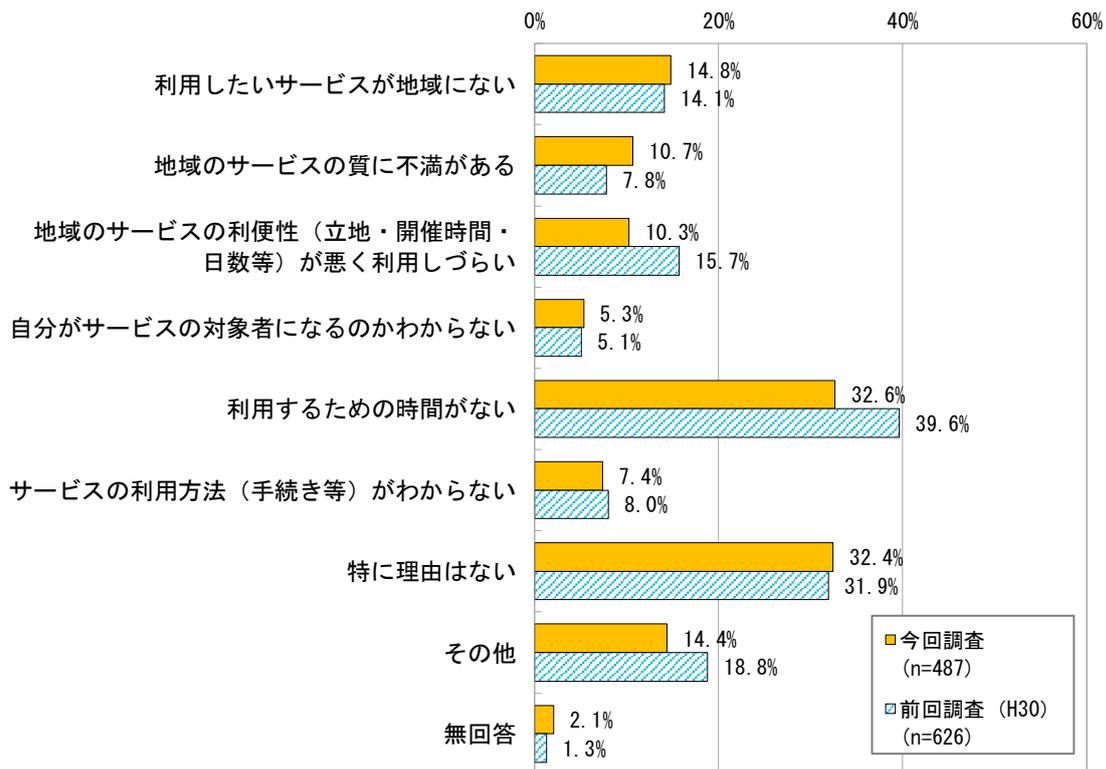
すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい（1か月当たり回数）



項目	回答数	構成比
1回～3回	40	60.6%
4回～10回	9	13.6%
11回～20回	1	1.5%
21回～30回	0	0.0%
無回答	16	24.2%
合計	66	100.0%

問18 【問17で「3.新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない」に○をつけた方にかがいます。】事業を利用したいと思わない理由は何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

事業を利用したいと思わない理由については、「利用するための時間がない」32.6%が最も高く、次いで「特に理由はない」32.4%、「利用したいサービスが地域にない」14.8%となっている。



項目	回答数	構成比
利用したいサービスが地域にない	72	14.8%
地域のサービスの質に不満がある	52	10.7%
地域のサービスの利便性(立地・開催時間・日数等)が悪く利用しづらい	50	10.3%
自分がサービスの対象者になるのかわからない	26	5.3%
利用するための時間がない	159	32.6%
サービスの利用方法(手続き等)がわからない	36	7.4%
特に理由はない	158	32.4%
その他	70	14.4%
無回答	10	2.1%
サンプル数	487	-

問19 下記の事業で知っているものや、これまでに利用したことがあるもの、今後、利用したいと思うものをお答えください。①～⑰の事業ごとに、A～Cのそれぞれについて、「はい」「いいえ」のいずれかに○をつけてください。

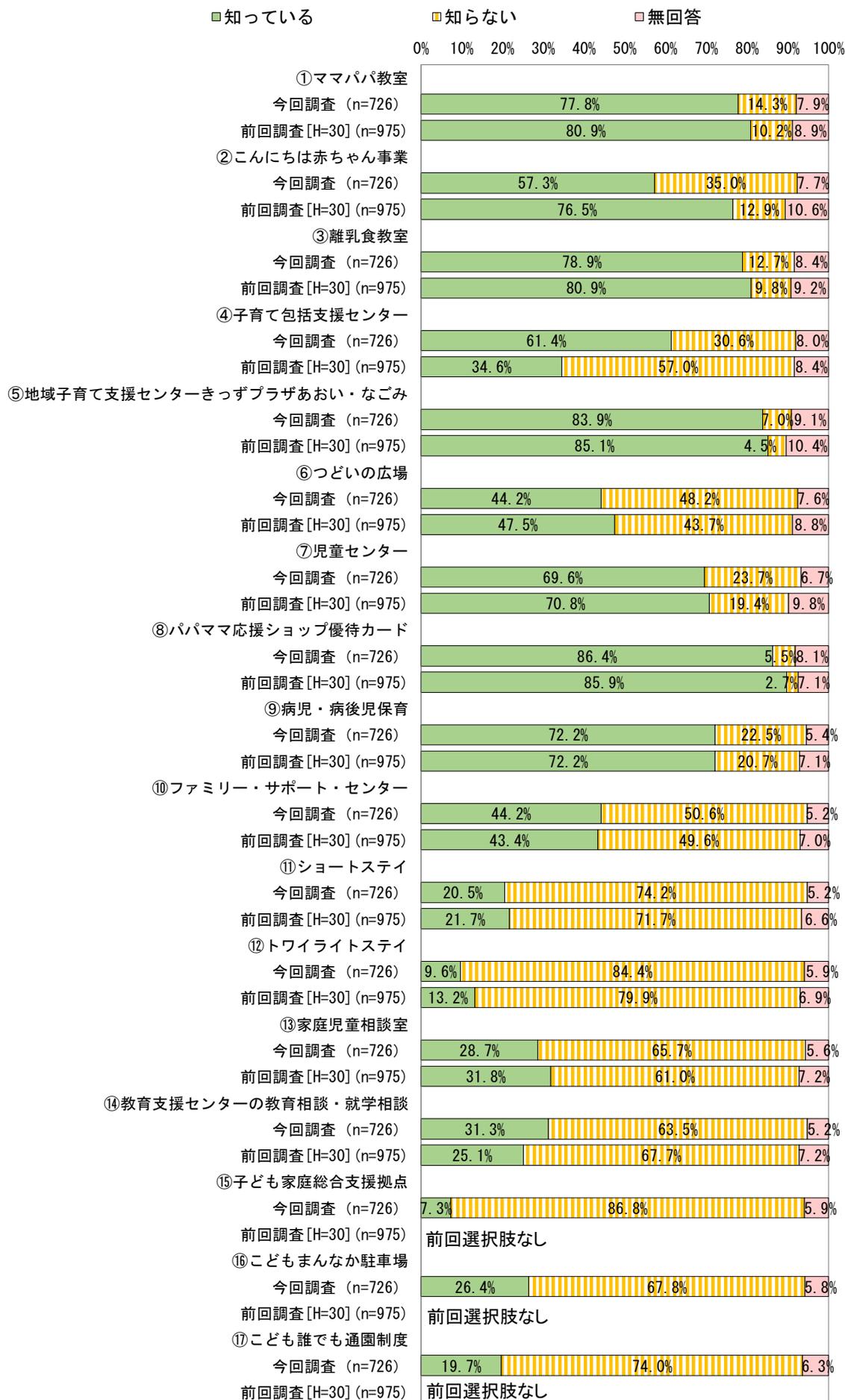
認知度については、「パパママ応援ショップ優待カード」86.4%が最も高く、次いで「地域子育て支援センターきつずプラザあおい・なごみ」83.9%、「離乳食教室」78.9%となっている。一方、認知度が最も低いのは「子ども家庭総合支援拠点」7.3%となっている。

利用状況については、「パパママ応援ショップ優待カード」75.2%が最も高く、次いで「地域子育て支援センターきつずプラザあおい・なごみ」66.1%、「離乳食教室」44.2%となっている。

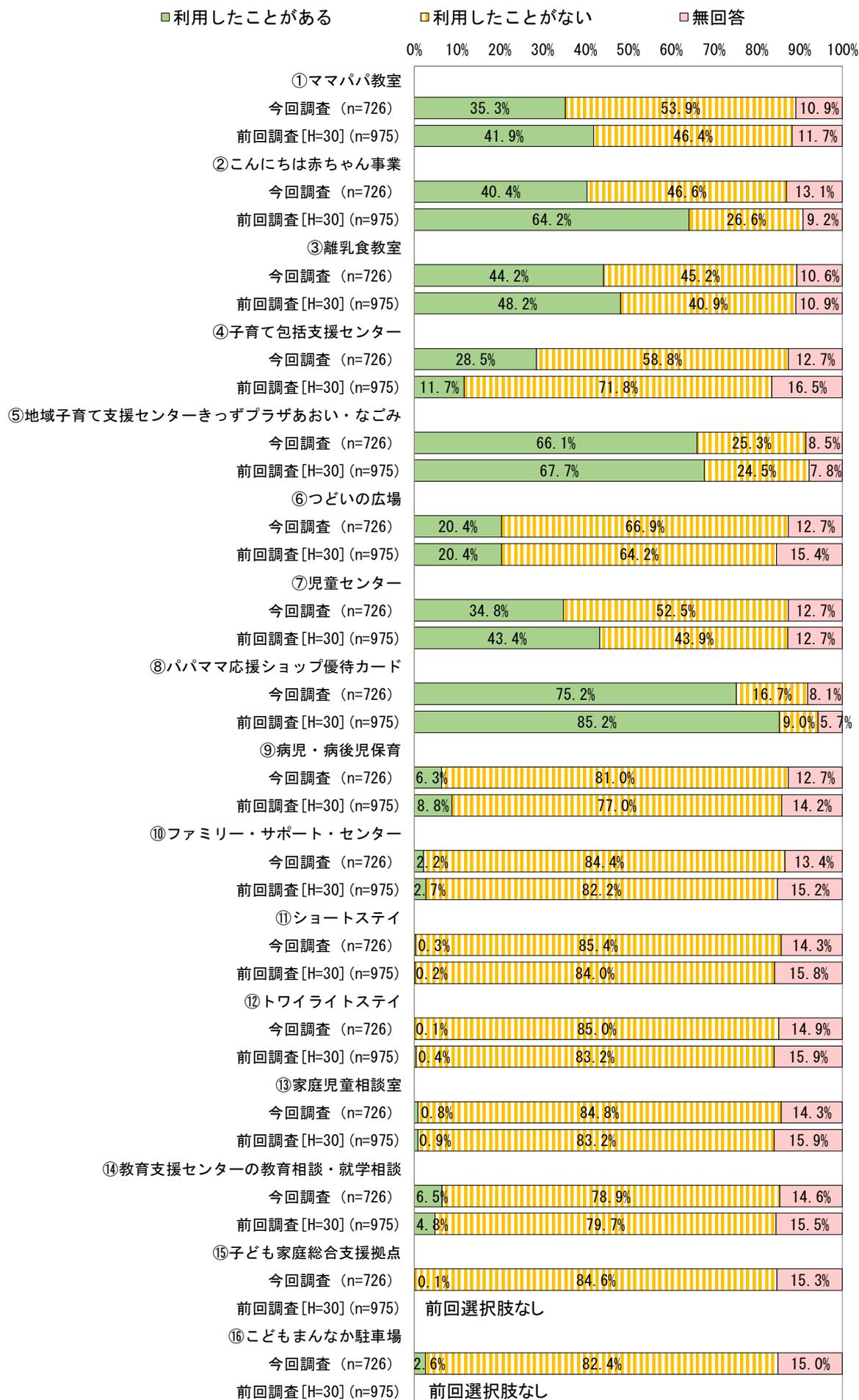
今後の利用意向については、「パパママ応援ショップ優待カード」77.7%が最も高く、次いで「地域子育て支援センターきつずプラザあおい・なごみ」50.1%、「児童センター」46.8%となっている。

項目	サンプル数	認知度			利用状況			利用意向		
		はい	いいえ	無回答	はい	いいえ	無回答	はい	いいえ	無回答
①ママパパ教室	今回調査(n=726)	565	104	57	256	391	79	132	467	127
	前回調査(n=975)	789	99	87	409	452	114	199	580	196
②こんには赤ちゃん事業	今回調査(n=726)	416	254	56	293	338	95	164	429	133
	前回調査(n=975)	746	126	103	626	259	90	297	472	206
③離乳食教室	今回調査(n=726)	573	92	61	321	328	77	142	457	127
	前回調査(n=975)	789	96	90	470	399	106	244	537	194
④子育て包括支援センター	今回調査(n=726)	446	222	58	207	427	92	225	370	131
	前回調査(n=975)	337	556	82	114	700	161	224	530	221
⑤地域子育て支援センターきつずプラザあおい・なごみ	今回調査(n=726)	609	51	66	480	184	62	364	252	110
	前回調査(n=975)	830	44	101	660	239	76	507	285	183
⑥つどいの広場	今回調査(n=726)	321	350	55	148	486	92	205	395	126
	前回調査(n=975)	463	426	86	199	626	150	299	468	208
⑦児童センター	今回調査(n=726)	505	172	49	253	381	92	340	266	120
	前回調査(n=975)	690	189	96	423	428	124	488	293	194
⑧パパママ応援ショップ優待カード	今回調査(n=726)	627	40	59	546	121	59	564	51	111
	前回調査(n=975)	838	26	111	831	88	56	763	44	168
⑨病児・病後児保育	今回調査(n=726)	524	163	39	46	588	92	317	300	109
	前回調査(n=975)	704	202	69	86	751	138	428	384	163
⑩ファミリー・サポート・センター	今回調査(n=726)	321	367	38	16	613	97	196	406	124
	前回調査(n=975)	423	484	68	26	801	148	278	508	189
⑪ショートステイ	今回調査(n=726)	149	539	38	2	620	104	102	494	130
	前回調査(n=975)	212	699	64	2	819	154	128	648	199
⑫トワイライトステイ	今回調査(n=726)	70	613	43	1	617	108	77	515	134
	前回調査(n=975)	129	779	67	4	811	160	98	671	206
⑬家庭児童相談室	今回調査(n=726)	208	477	41	6	616	104	134	461	131
	前回調査(n=975)	310	595	70	9	811	155	223	549	203
⑭教育支援センターの教育相談・就学相談	今回調査(n=726)	227	461	38	47	573	106	208	392	126
	前回調査(n=975)	245	660	70	47	777	151	281	502	192
⑮子ども家庭総合支援拠点	今回調査(n=726)	53	630	43	1	614	111	120	466	140
	前回調査(n=975)	-	-	-	-	-	-	-	-	-
⑯こどもまんなか駐車場	今回調査(n=726)	192	492	42	19	598	109	216	378	132
	前回調査(n=975)	-	-	-	-	-	-	-	-	-
⑰こども誰でも通園制度	今回調査(n=726)	143	537	46	-	-	-	216	376	134
	前回調査(n=975)	-	-	-	-	-	-	29.8%	51.8%	18.5%

## 【事業の認知度】



## 【事業の利用状況】



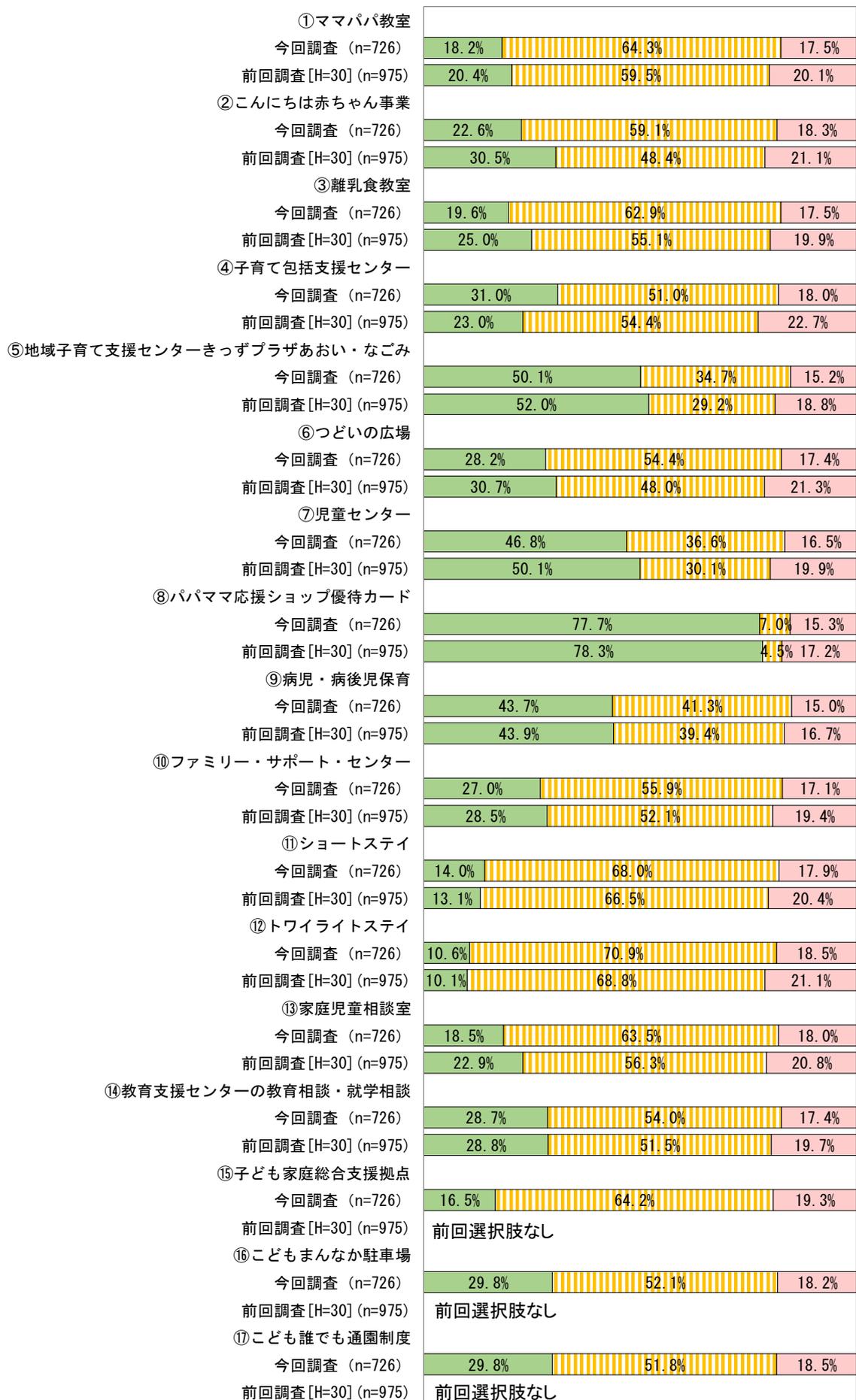
【事業の利用意向】

■ 利用したい

▨ 利用の予定はない

□ 無回答

0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%

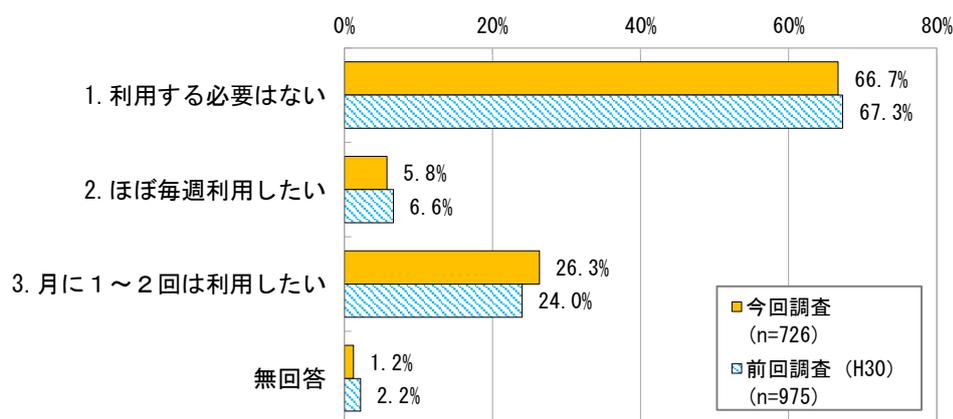


## 7. 土・日曜日、祝日及び長期休暇中の「定期的」な教育・保育事業の利用希望について

問20 宛名のお子さんについて、土・日曜日及び祝日に定期的な教育・保育事業の利用希望はありますか。(一時的な利用は除きます)。

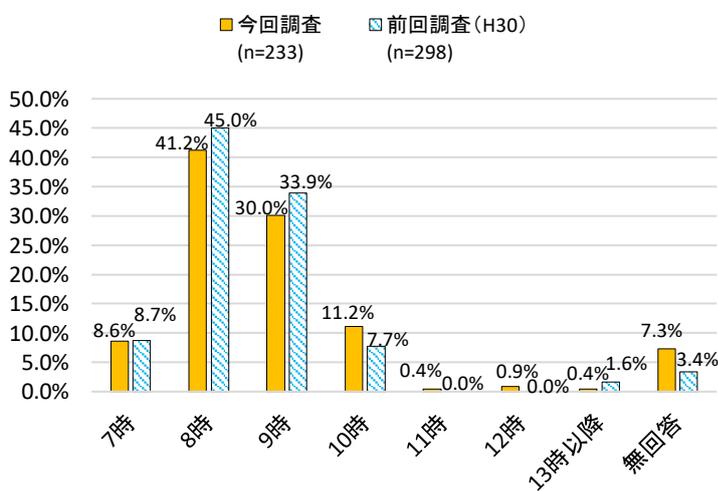
### (1) 土曜日

土曜日の教育・保育事業の利用希望については、「利用する必要はない」66.7%が最も高く、次いで「月に1～2回は利用したい」26.3%、「ほぼ毎週利用したい」5.8%となっている。利用したい時間帯については、利用開始時刻は8時、利用終了時刻は17時が最多となっている。



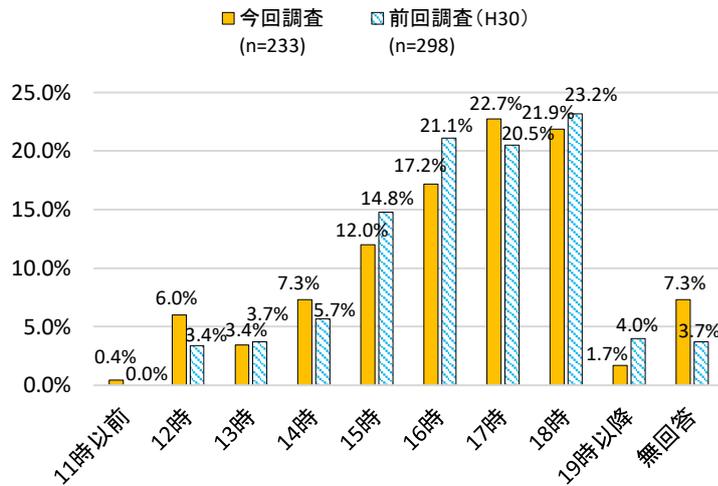
項目	回答数	構成比
利用する必要はない	484	66.7%
ほぼ毎週利用したい	42	5.8%
月に1～2回は利用したい	191	26.3%
無回答	9	1.2%
合計	726	100.0%

### 【利用開始時刻】



項目	回答数	構成比
6時以前	0	0.0%
7時	20	8.6%
8時	96	41.2%
9時	70	30.0%
10時	26	11.2%
11時	1	0.4%
12時	2	0.9%
13時以降	1	0.4%
無回答	17	7.3%
合計	233	100.0%

### 【利用終了時刻】

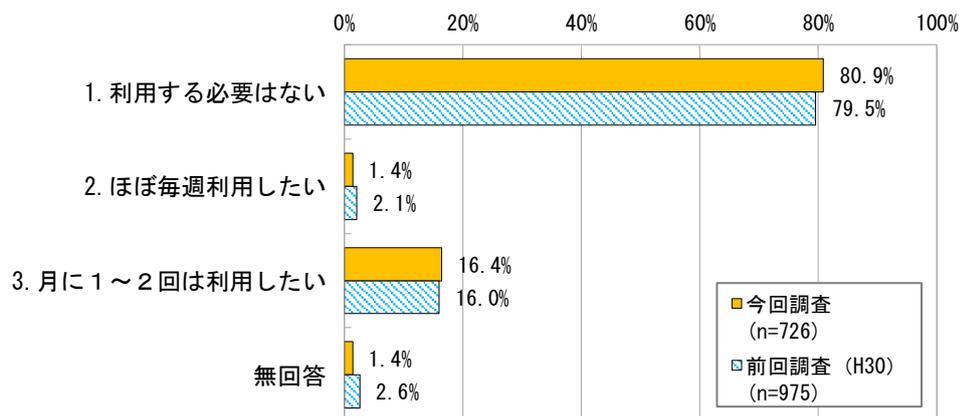


項目	回答数	構成比
11時以前	1	0.4%
12時	14	6.0%
13時	8	3.4%
14時	17	7.3%
15時	28	12.0%
16時	40	17.2%
17時	53	22.7%
18時	51	21.9%
19時以降	4	1.7%
無回答	17	7.3%
合計	233	100.0%

### (2) 日曜日・祝日

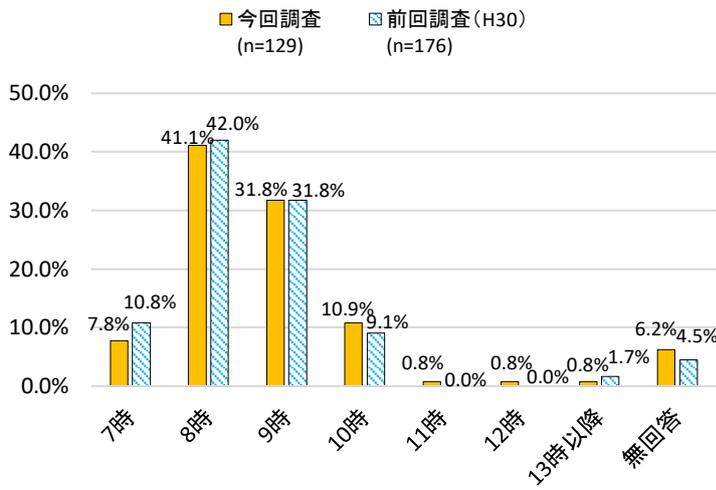
日曜日・祝日の教育・保育事業の利用希望については、「利用する必要はない」80.9%が最も高く、次いで「月に1～2回は利用したい」16.4%、「ほぼ毎週利用したい」1.4%となっている。

利用したい時間帯については、利用開始時刻は8時、利用終了時刻は17時が最多となっている。



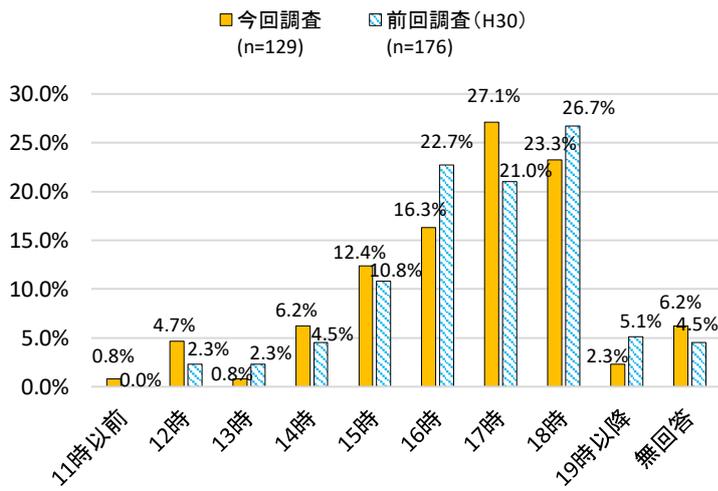
項目	回答数	構成比
利用する必要はない	587	80.9%
ほぼ毎週利用したい	10	1.4%
月に1～2回は利用したい	119	16.4%
無回答	10	1.4%
合計	726	100.0%

【利用開始時刻】



項目	回答数	構成比
6時以前	0	0.0%
7時	10	7.8%
8時	53	41.1%
9時	41	31.8%
10時	14	10.9%
11時	1	0.8%
12時	1	0.8%
13時以降	1	0.8%
無回答	8	6.2%
合計	129	100.0%

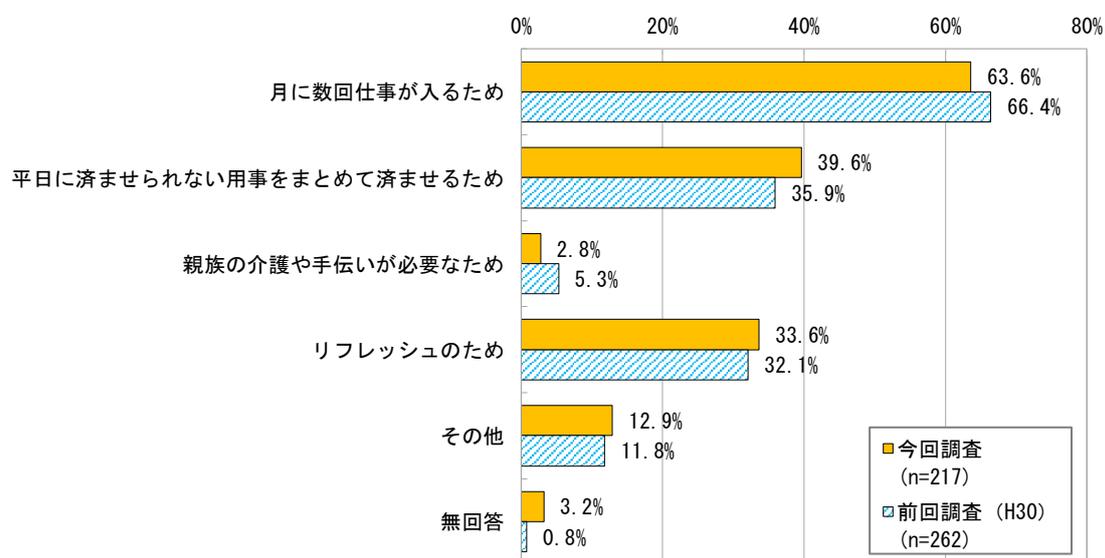
【利用終了時刻】



項目	回答数	構成比
11時以前	1	0.8%
12時	6	4.7%
13時	1	0.8%
14時	8	6.2%
15時	16	12.4%
16時	21	16.3%
17時	35	27.1%
18時	30	23.3%
19時以降	3	2.3%
無回答	8	6.2%
合計	129	100.0%

問20-1 【問20の(1)もしくは(2)で、「3月に1～2回は利用したい」に○をつけた方にうかがいます。】毎週ではなく、たまに利用したい理由は何ですか。  
 当てはまる番号すべてに○をつけてください。

毎週ではなく、たまに利用したい理由については、「月に数回仕事が入るため」63.6%が最も高く、次いで「平日に済ませられない用事をまとめて済ませるため」39.6%、「リフレッシュのため」33.6%となっている。



項目	回答数	構成比
月に数回仕事が入るため	138	63.6%
平日に済ませられない用事をまとめて済ませるため	86	39.6%
親族の介護や手伝いが必要なため	6	2.8%
リフレッシュのため	73	33.6%
その他	28	12.9%
無回答	7	3.2%
サンプル数	217	-

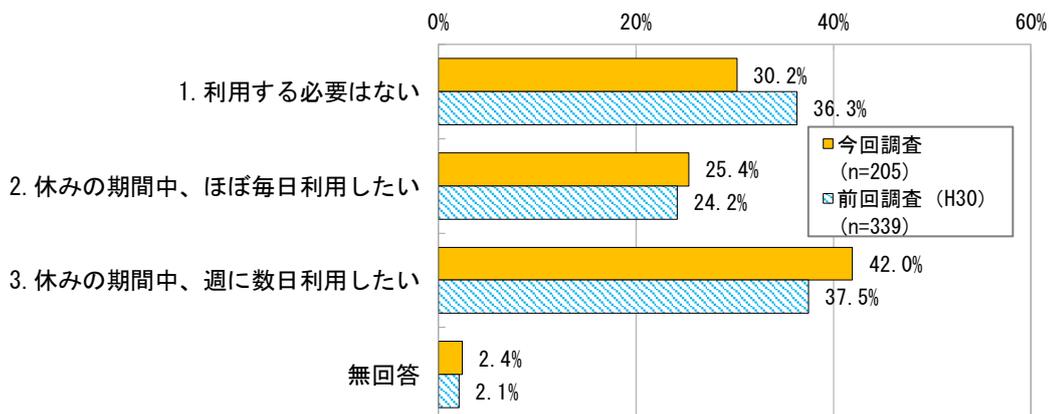
【その他の回答】

- ・周りに頼れる人がいないので、自分の時間が欲しい
- ・特別な用事がある時に利用したい
- ・単発のアルバイトがしたい
- ・夫が仕事でワンオペ育児が続くため
- ・他の子どもと二人の時間を作りたい
- ・祝日が休みではない
- ・仕事での学会参加など
- ・兄弟の習い事参加時の負担を減らす
- ・祖父母が子どもを見てくれるが、体調が悪くみられない時に利用したい
- ・持病のため
- ・上の子の学校行事
- ・妊娠中のため、かわりにたくさん遊んであげてほしい
- ・部活動指導があるため
- ・趣味のスポーツで遠征や大会参加のため
- など

問21 【「幼稚園」を利用されている方にうかがいます。】

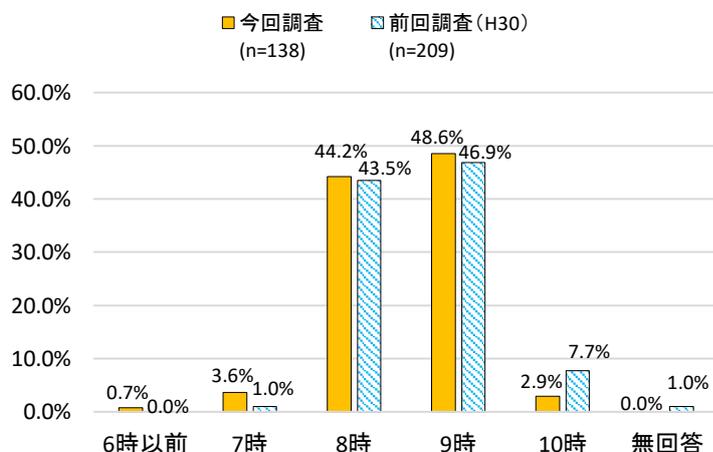
宛名のお子さんについて、夏休みや冬休みなど長期の休暇期間中の教育・保育事業の利用を希望しますか。希望がある場合は、利用したい時間帯を記入してください。

長期休暇期間中の教育・保育事業の利用希望については、「休みの期間中、週に数日利用したい」42.0%が最も高く、次いで「利用する必要はない」30.2%、「休みの期間中、ほぼ毎日利用したい」25.4%となっている。



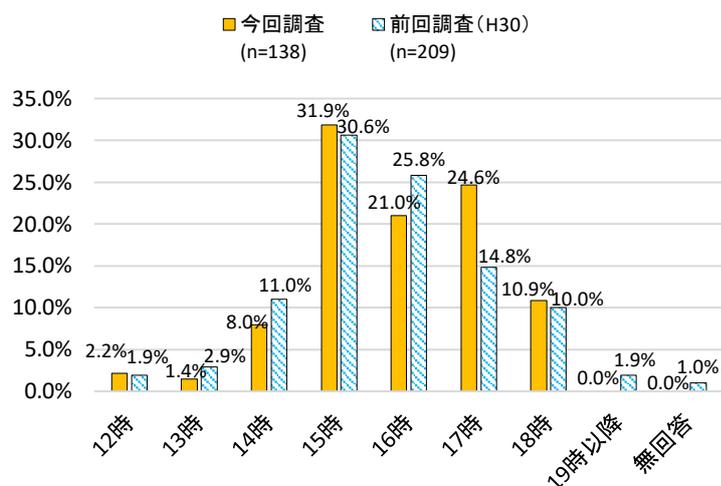
項目	回答数	構成比
利用する必要はない	62	30.2%
休みの期間中、ほぼ毎日利用したい	52	25.4%
休みの期間中、週に数日利用したい	86	42.0%
無回答	5	2.4%
合計	205	100.0%

【利用開始時刻】



項目	回答数	構成比
6時以前	1	0.7%
7時	5	3.6%
8時	61	44.2%
9時	67	48.6%
10時	4	2.9%
11時	0	0.0%
12時	0	0.0%
13時以降	0	0.0%
無回答	0	0.0%
合計	138	100.0%

### 【利用終了時刻】

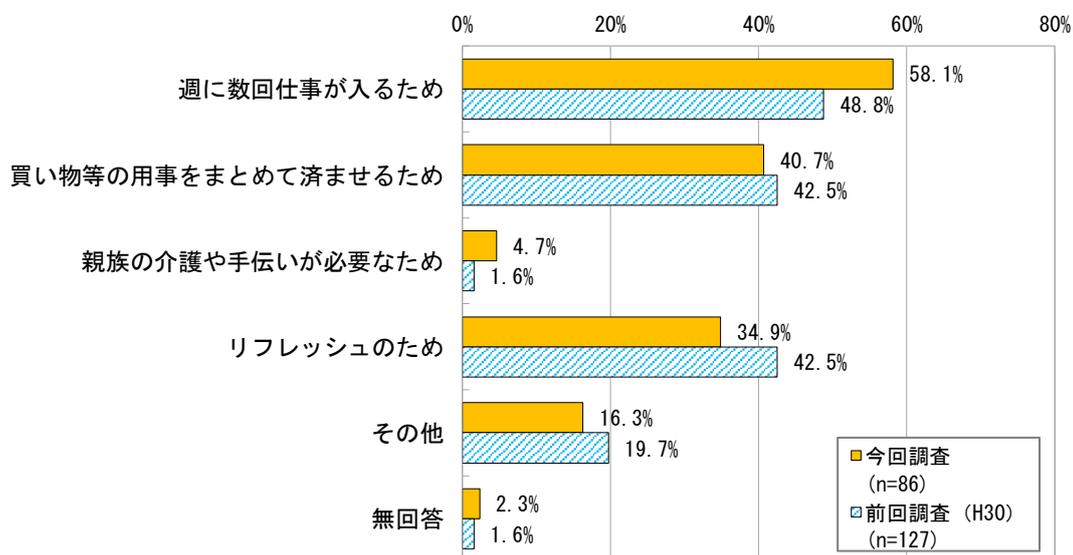


項目	回答数	構成比
11時以前	0	0.0%
12時	3	2.2%
13時	2	1.4%
14時	11	8.0%
15時	44	31.9%
16時	29	21.0%
17時	34	24.6%
18時	15	10.9%
19時以降	0	0.0%
無回答	0	0.0%
合計	138	100.0%

問21-1 【問21で、「3. 週に数日利用したい」に○をつけた方にうかがいます。】

毎日ではなく、たまに利用したい理由は何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

毎週ではなく、たまに利用したい理由については、「週に数回仕事が入るため」58.1%が最も高く、次いで「買い物等の用事をまとめて済ませるため」40.7%、「リフレッシュのため」34.9%となっている。



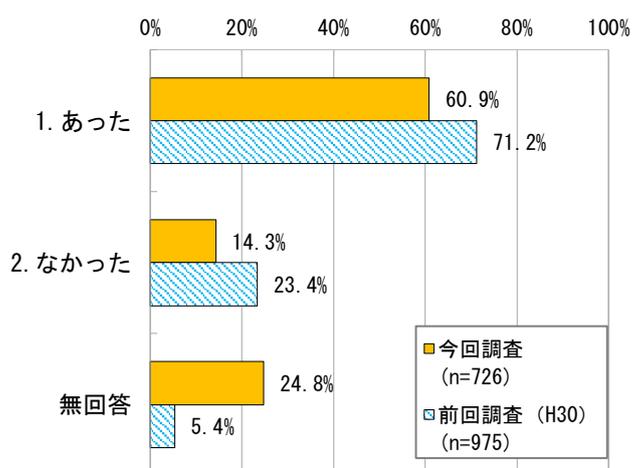
項目	回答数	構成比
週に数回仕事が入るため	50	58.1%
買い物等の用事をまとめて済ませるため	35	40.7%
親族の介護や手伝いが必要なため	4	4.7%
リフレッシュのため	30	34.9%
その他	14	16.3%
無回答	2	2.3%
サンプル数	86	-

## 8. 病気の際の対応について

問22 【平日の定期的な教育・保育事業を利用していると答えた保護者の方(問14で「1」に○をつけた方)にうかがいます。】

この1年間に、宛名のお子さんが病気やケガで通常の事業が利用できなかったことはありますか。

子どもが病気やケガで通常の事業が利用できなかったことがあるかについては、「あった」60.9%、「なかった」14.3%となっている。

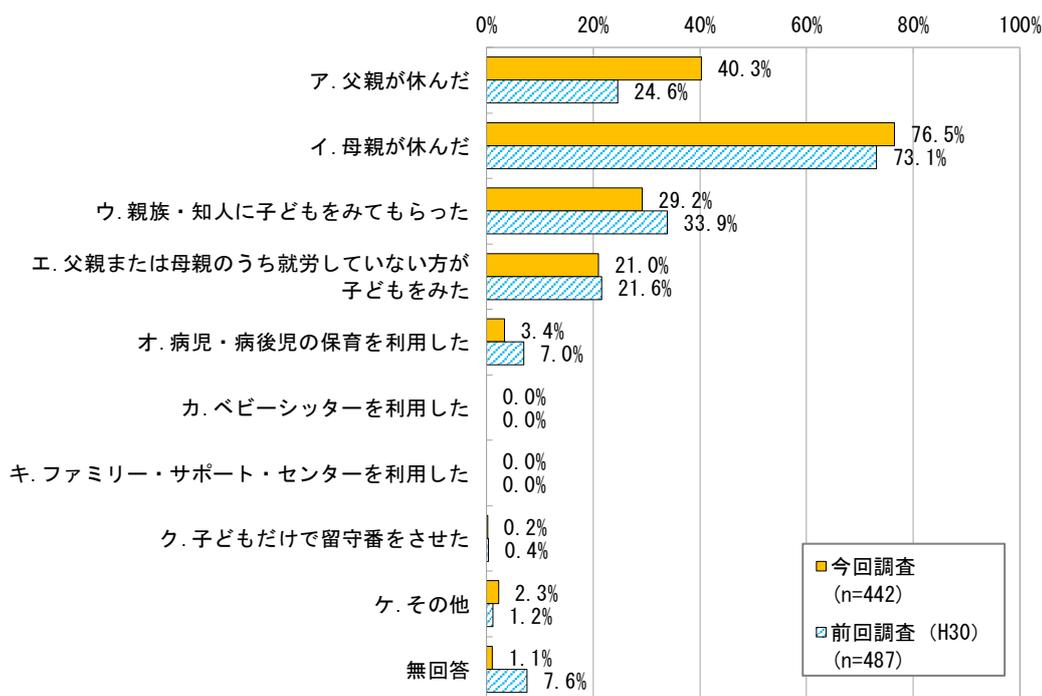


項目	回答数	構成比
あった	442	60.9%
なかった	104	14.3%
無回答	180	24.8%
合計	726	100.0%

問22-1 【問22で「1.あった」に○をつけた方にうかがいます。】

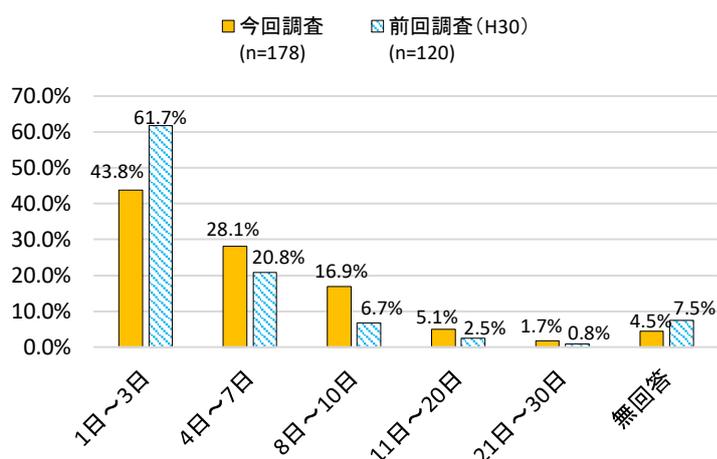
宛名のお子さんが病気やけがで普段利用している教育・保育の事業が利用できなかった場合に、この1年間に行った対処方法として当てはまる記号すべてに○をつけ、それぞれの日数を記入してください。

この1年間に行った対処方法については、「母親が休んだ」76.5%が最も高く、次いで「父親が休んだ」40.3%、「親族・知人に子どもをみてもらった」29.2%となっている。



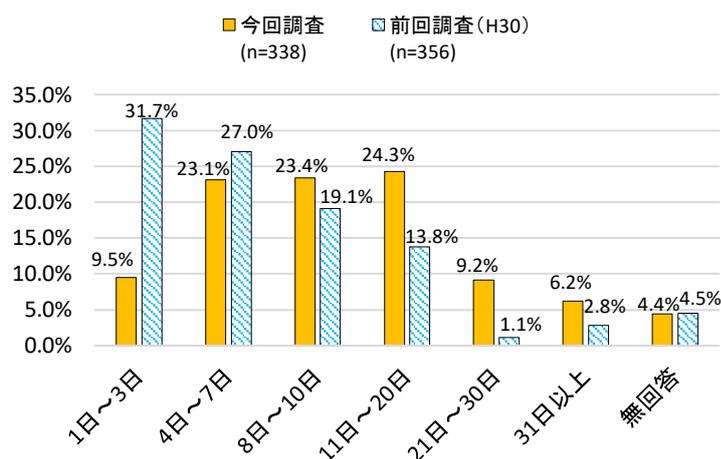
項目	回答数	構成比
父親が休んだ	178	40.3%
母親が休んだ	338	76.5%
親族・知人に子どもをみてもらった	129	29.2%
父親または母親のうち就労していない方が子どもをみた	93	21.0%
病児・病後児の保育を利用した	15	3.4%
ベビーシッターを利用した	0	0.0%
ファミリー・サポート・センターを利用した	0	0.0%
子どもだけで留守番をさせた	1	0.2%
その他	10	2.3%
無回答	5	1.1%
サンプル数	442	-

### 【ア. 父親が休んだ】日数/年



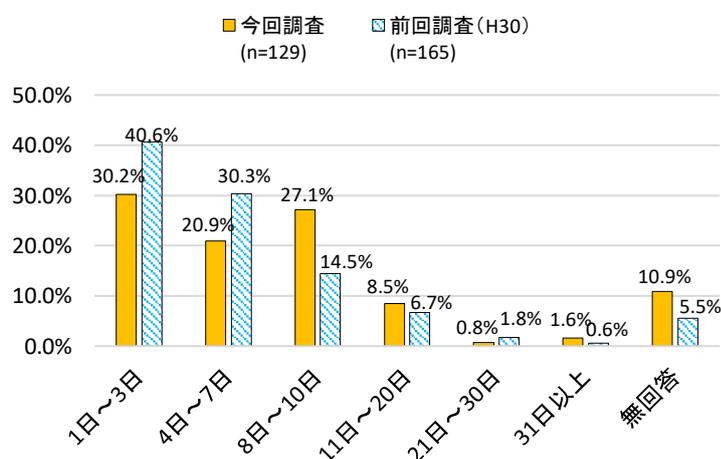
項目	回答数	構成比
1日～3日	78	43.8%
4日～7日	50	28.1%
8日～10日	30	16.9%
11日～20日	9	5.1%
21日～30日	3	1.7%
31日以上	0	0.0%
無回答	8	4.5%
合計	178	100.0%

### 【イ. 母親が休んだ】日数/年



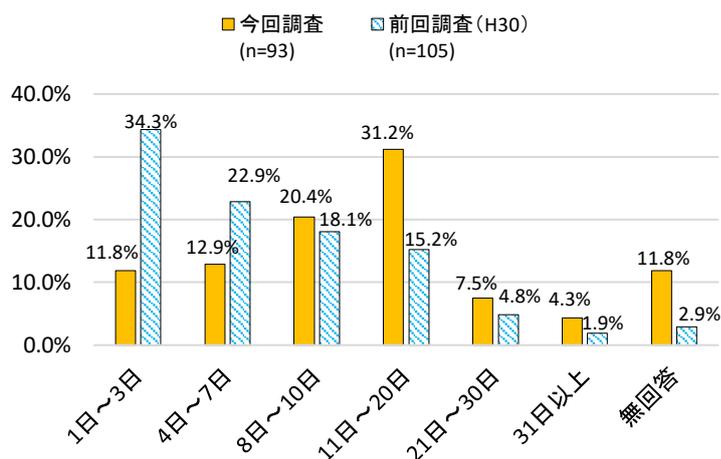
項目	回答数	構成比
1日～3日	32	9.5%
4日～7日	78	23.1%
8日～10日	79	23.4%
11日～20日	82	24.3%
21日～30日	31	9.2%
31日以上	21	6.2%
無回答	15	4.4%
合計	338	100.0%

### 【ウ. 親族・知人に子どもをみてもらった】日数/年



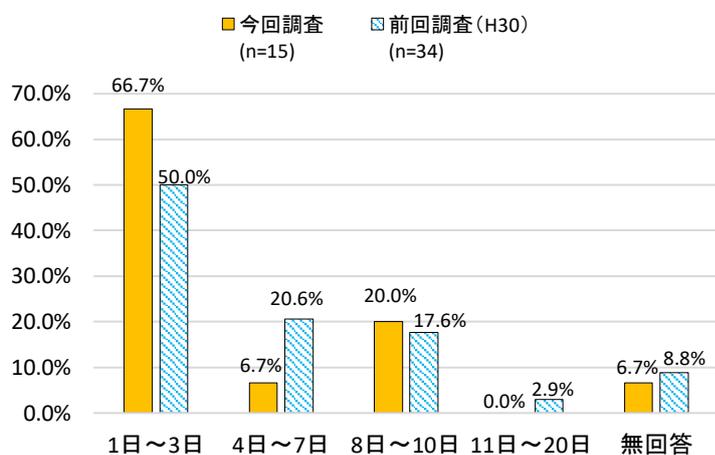
項目	回答数	構成比
1日～3日	39	30.2%
4日～7日	27	20.9%
8日～10日	35	27.1%
11日～20日	11	8.5%
21日～30日	1	0.8%
31日以上	2	1.6%
無回答	14	10.9%
合計	129	100.0%

【エ. 父親または母親のうち就労していない方が子どもをみた】日数/年



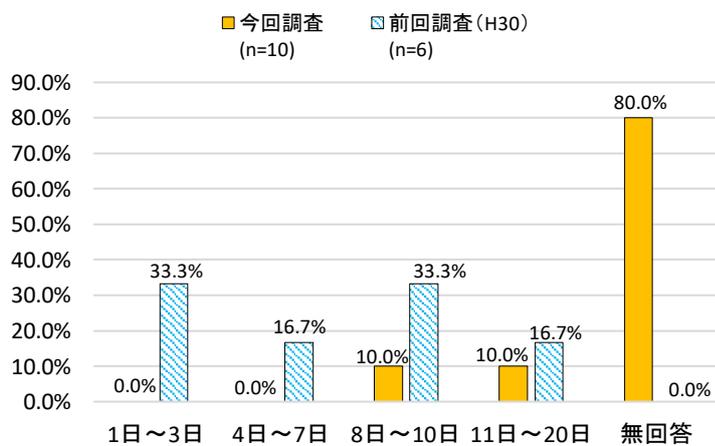
項目	回答数	構成比
1日～3日	11	11.8%
4日～7日	12	12.9%
8日～10日	19	20.4%
11日～20日	29	31.2%
21日～30日	7	7.5%
31日以上	4	4.3%
無回答	11	11.8%
合計	93	100.0%

【オ. 「病児・病後児の保育を利用した」日数/年



項目	回答数	構成比
1日～3日	10	66.7%
4日～7日	1	6.7%
8日～10日	3	20.0%
11日～20日	0	0.0%
21日～30日	0	0.0%
31日以上	0	0.0%
無回答	1	6.7%
合計	15	100.0%

図表 7-8 【ケ. その他】日数/年



項目	回答数	構成比
1日～3日	0	0.0%
4日～7日	0	0.0%
8日～10日	1	10.0%
11日～20日	1	10.0%
21日～30日	0	0.0%
31日以上	0	0.0%
無回答	8	80.0%
合計	10	100.0%

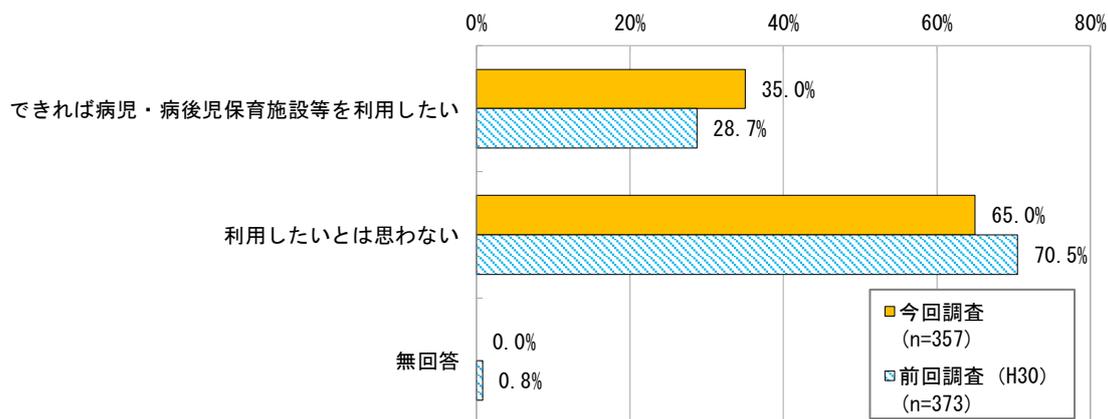
【カ. ベビーシッターを利用した】：該当なし

【キ. ファミリー・サポート・センターを利用した】：該当なし

【ク. 仕方なく子どもだけで留守番をさせた(n=1)】：無回答 (100.0%)

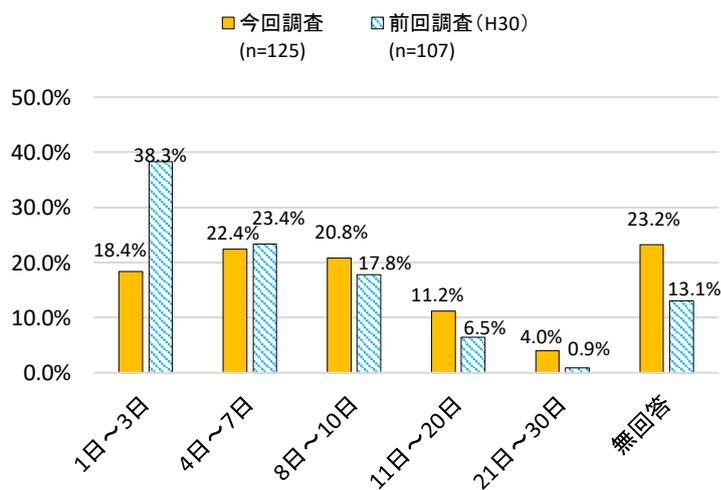
問22-2 【問22-1で「ア.」「イ.」のいずれかに回答した方にかがいます。】  
 その際、「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思われましたか。  
 当てはまる番号1つに○をつけ、日数を記入してください。

病児・病後児のための保育施設等の利用希望については、「できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」35.0%、「利用したいとは思わない」65.0%となっている。  
 利用希望日数については、「4日～7日」22.4%が最も高くなっている。



項目	回答数	構成比
できれば病児・病後児保育施設等を利用したい	125	35.0%
利用したいとは思わない	232	65.0%
無回答	0	0.0%
合計	357	100.0%

【利用希望 日数/年】

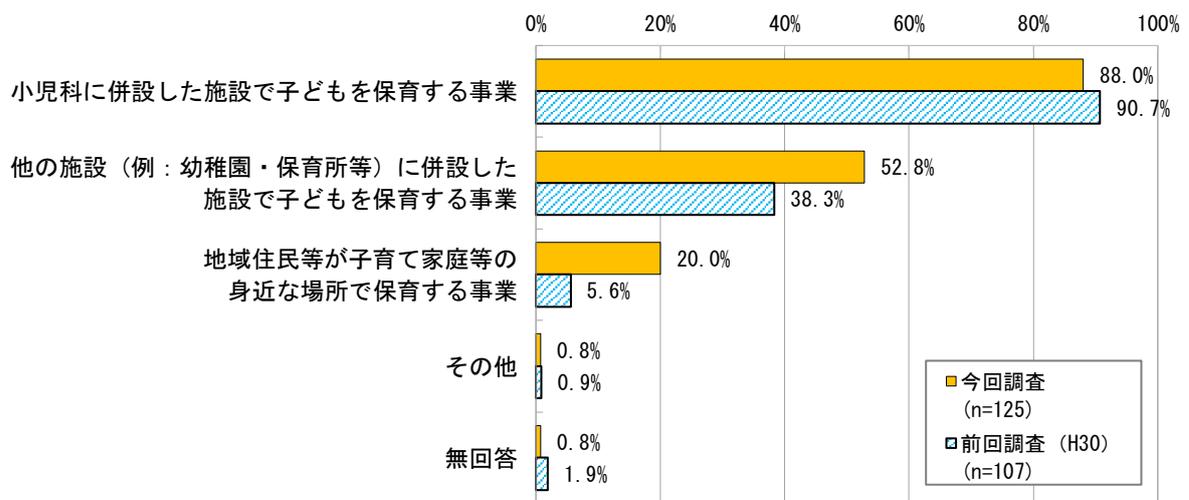


項目	回答数	構成比
1日～3日	23	18.4%
4日～7日	28	22.4%
8日～10日	26	20.8%
11日～20日	14	11.2%
21日～30日	5	4.0%
31日以上	0	0.0%
無回答	29	23.2%
合計	125	100.0%

問22-3 【問22-2 で「1.できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」に○をつけた方にうかがいます。】

上記の目的で子どもを預ける場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思われますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

子どもを預ける場合の望ましい事業形態については、「小児科に併設した施設で子どもを保育する事業」88.0%が最も高く、次いで「他の施設（例：幼稚園・保育所等）に併設した施設で子どもを保育する事業」52.8%、「地域住民等が子育て家庭等の身近な場所で保育する事業」20.0%となっている。

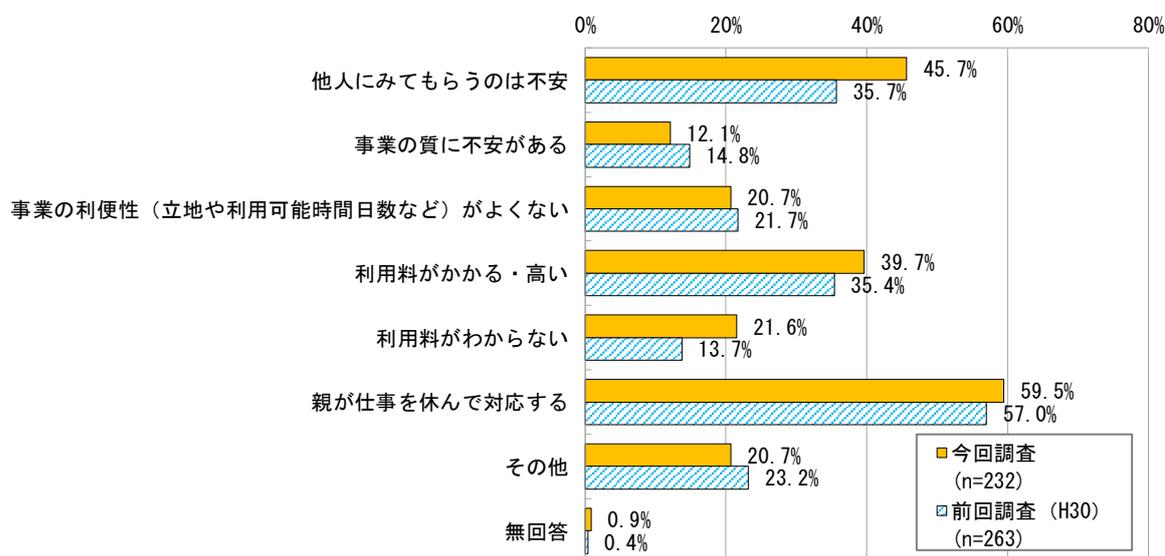


項目	回答数	構成比
小児科に併設した施設で子どもを保育する事業	110	88.0%
他の施設（例：幼稚園・保育所等）に併設した施設で子どもを保育する事業	66	52.8%
地域住民等が子育て家庭等の身近な場所で保育する事業	25	20.0%
その他	1	0.8%
無回答	1	0.8%
サンプル数	125	-

問22-4 【問22-2で「利用したいと思わない」に○をつけた方にうかがいます。】

そう思われる理由について当てはまる番号すべてに○をつけてください。

保育施設等を利用したいと思わない理由については、「親が仕事を休んで対応する」59.5%が最も高く、次いで「他人にみてもらうのは不安」45.7%、「利用料がかかる・高い」39.7%となっている。



項目	回答数	構成比
他人にみてもらうのは不安	106	45.7%
事業の質に不安がある	28	12.1%
事業の利便性(立地や利用可能時間日数など)がよくない	48	20.7%
利用料がかかる・高い	92	39.7%
利用料がわからない	50	21.6%
親が仕事を休んで対応する	138	59.5%
その他	48	20.7%
無回答	2	0.9%
サンプル数	232	-

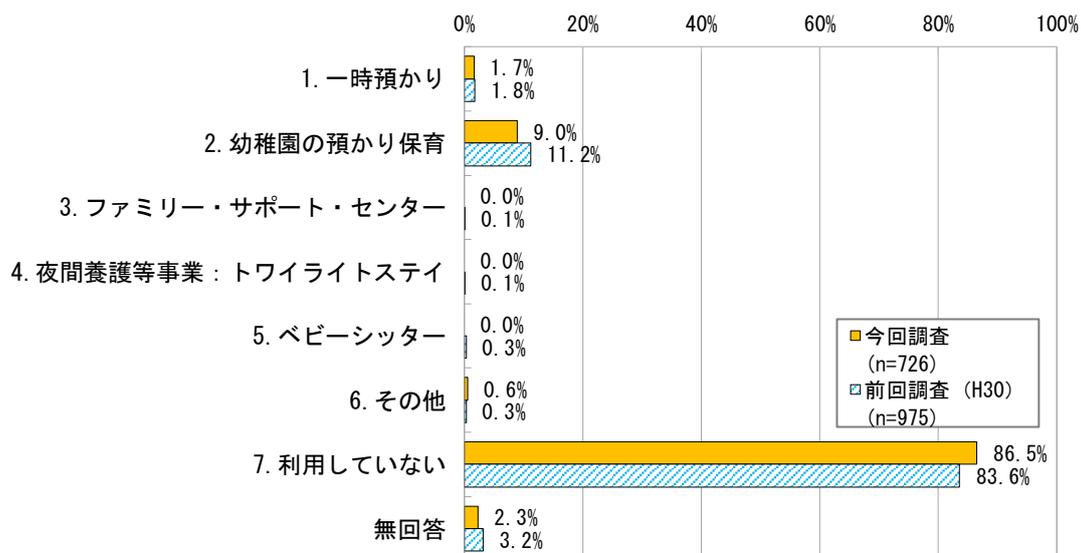
【その他の回答】

- ・子どもがかわいそうだから
- ・別の病気がうつったりしないか心配
- ・病児預りの予約が面倒
- ・病院の診察で半日潰れ、大体子どもと共倒れしてしまうため
- ・体調が悪い時は、子どものそばにいて安心させてあげたい
- ・定員が少ない、手続きが面倒そう
- ・リモートワークで対応
- ・子どもがきついと行きたがらないので
- ・子どもが、知らない人や場所が苦手
- ・父母以外にみてくれる親族がいるから
- など

## 9. 不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用について

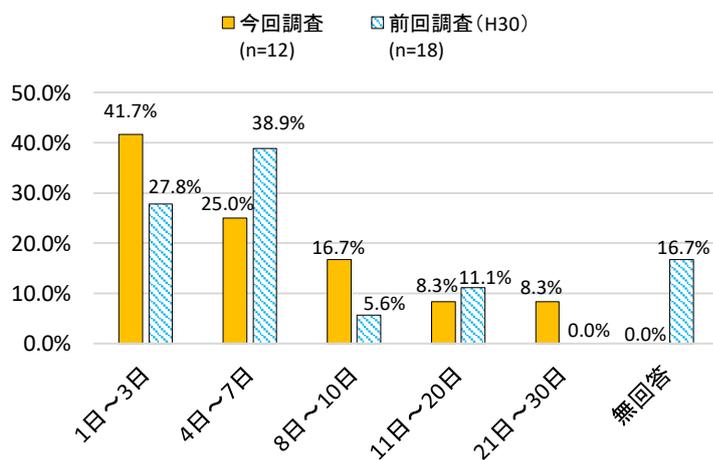
問23 宛名のお子さんについて、日中の定期的な保育や病気のため以外に、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で不定期に利用している事業はありますか。ある場合は、当てはまる番号すべてに○をつけ、1年間の利用日数(おおよそ)を記入してください。

不定期に利用している事業については、「利用していない」86.5%、「幼稚園の預かり保育」9.0%となっている。



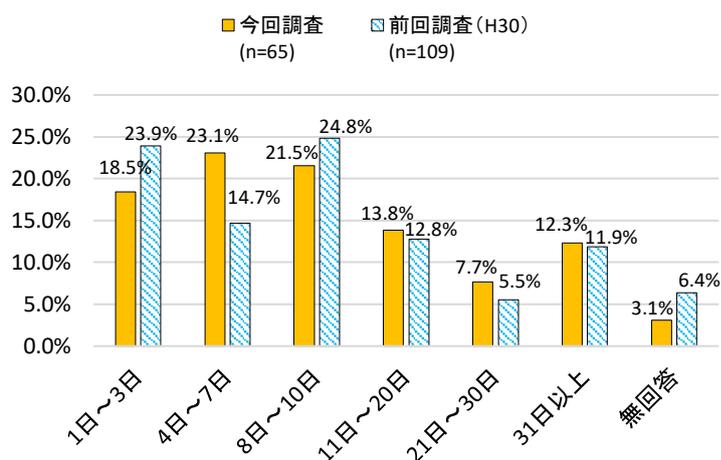
項目	回答数	構成比
一時預かり	12	1.7%
幼稚園の預かり保育	65	9.0%
ファミリー・サポート・センター	0	0.0%
夜間養護等事業：トワイライトステイ	0	0.0%
ベビーシッター	0	0.0%
その他	4	0.6%
利用していない	628	86.5%
無回答	17	2.3%
サンプル数	726	-

### 【1.一時預かり】日数/年



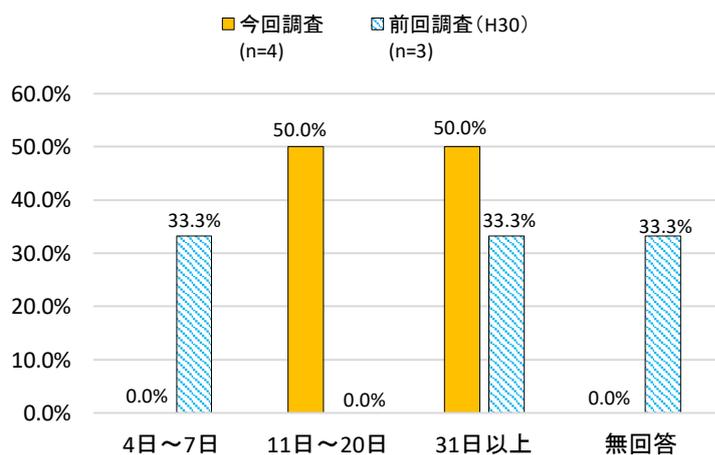
項目	回答数	構成比
1日～3日	5	41.7%
4日～7日	3	25.0%
8日～10日	2	16.7%
11日～20日	1	8.3%
21日～30日	1	8.3%
31日以上	0	0.0%
無回答	0	0.0%
合計	12	100.0%

## 【2. 幼稚園の預かり保育】日数/年



項目	回答数	構成比
1日~3日	12	18.5%
4日~7日	15	23.1%
8日~10日	14	21.5%
11日~20日	9	13.8%
21日~30日	5	7.7%
31日以上	8	12.3%
無回答	2	3.1%
合計	65	100.0%

## 【6. その他】日数/年



項目	回答数	構成比
1日~3日	0	0.0%
4日~7日	0	0.0%
8日~10日	0	0.0%
11日~20日	2	50.0%
21日~30日	0	0.0%
31日以上	2	50.0%
無回答	0	0.0%
合計	4	100.0%

【3. ファミリー・サポート・センター】：該当なし

【4. トワイライトステイ】：該当なし

【5. ベビーシッター】：該当なし

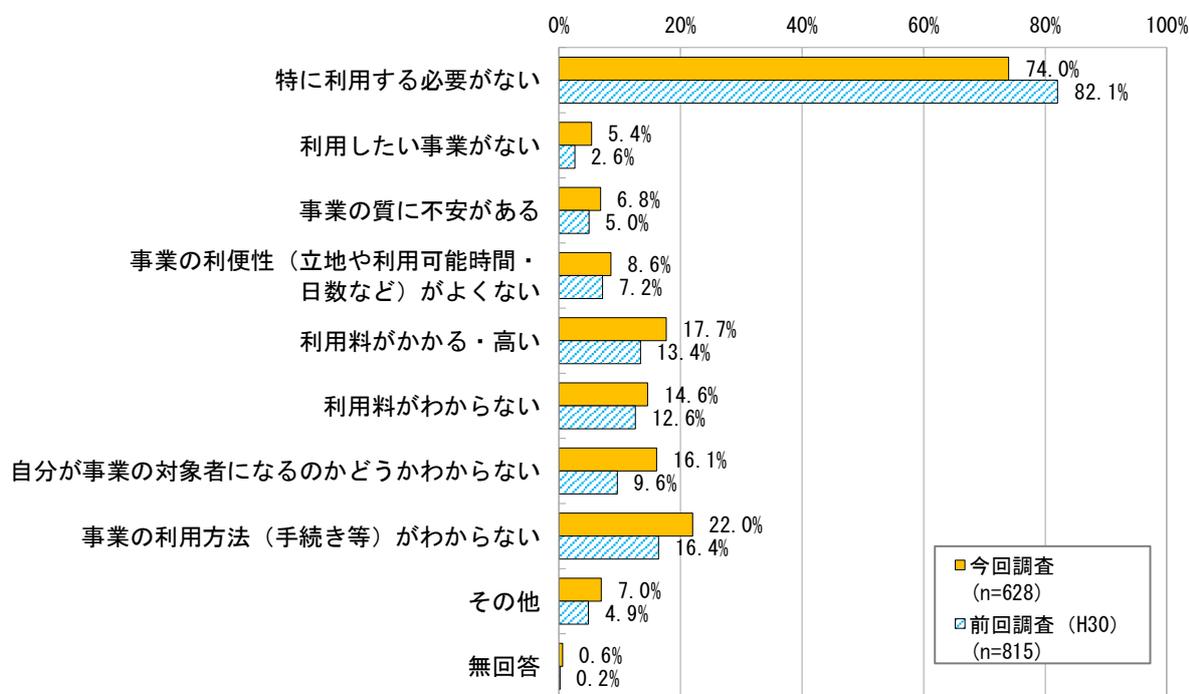
### 【その他の回答】

- ・ 幼稚園プレ
- ・ 託児所
- ・ 祖父母にみてもらう
- ・ 土日に職場と併設の託児所
- など

問23-1 【問23で「7. 利用していない」と回答した方にうかがいます。】

現在利用していない理由は何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

事業を利用していない理由については、「特に利用する必要がない」74.0%が最も高く、次いで「事業の利用方法（手続き等）がわからない」22.0%、「利用料がかかる・高い」17.7%となっている。



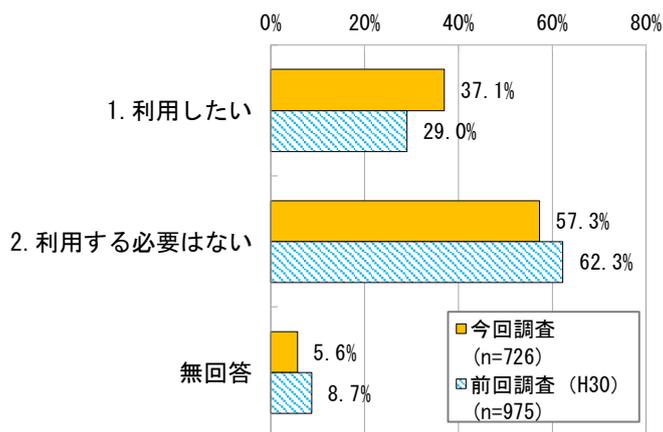
項目	回答数	構成比
特に利用する必要がない	465	74.0%
利用したい事業がない	34	5.4%
事業の質に不安がある	43	6.8%
事業の利便性(立地や利用可能時間・日数など)がよくない	54	8.6%
利用料がかかる・高い	111	17.7%
利用料がわからない	92	14.6%
自分が事業の対象者になるのかわからない	101	16.1%
事業の利用方法(手続き等)がわからない	138	22.0%
その他	44	7.0%
無回答	4	0.6%
サンプル数	628	-

【その他の内容】

- ・子どもが嫌がる ・存在や内容を知らない ・手続きが面倒
- ・準備が多い（物や本人の慣らし） ・慣れない所に預けるのに心配がある
- ・現状子どもが1番なので宿泊を伴う一時預かりをする必要が出てくる用事はすべて断ることにしている
- ・生後6か月以下は利用できない ・児童養護施設に入所中のため
- ・利用したいが、自宅から距離がある、前日までに要予約というのがネック
- ・事件等あったら不安 など

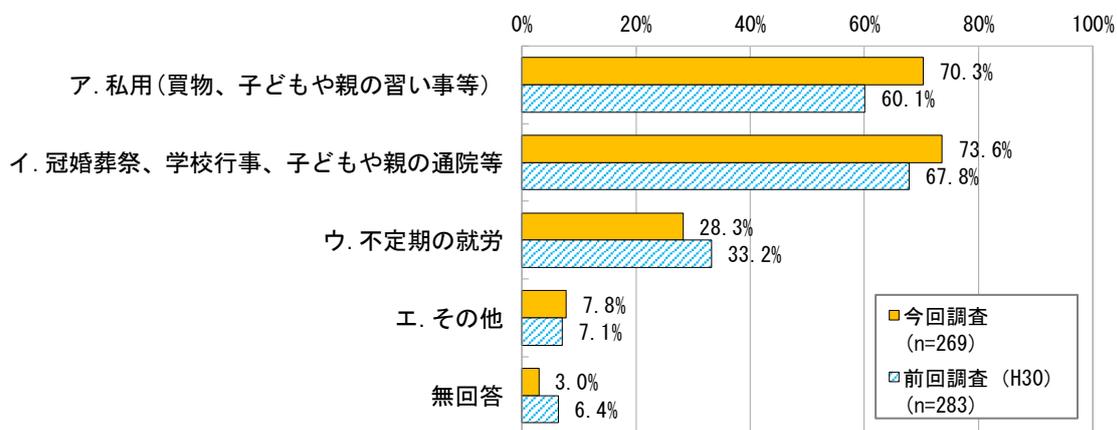
問24 宛名のお子さんについて、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で、年間何日くらい事業を利用する必要があると思いますか。利用希望の有無について当てはまる番号・記号すべてに○をつけ、必要な日数をご記入ください。

私用、親の通院、不定期の就労等の目的による事業の利用意向については、「利用したい」37.1%、「利用する必要はない」57.3%となっている。利用理由については、「冠婚葬祭、学校行事、子どもや親の通院等」73.6%が最も高く、次いで「私用、リフレッシュ目的」70.3%、「不定期の就労」28.3%となっている。利用日数の合計については、全体の22.7%が「11日～20日」と回答している。



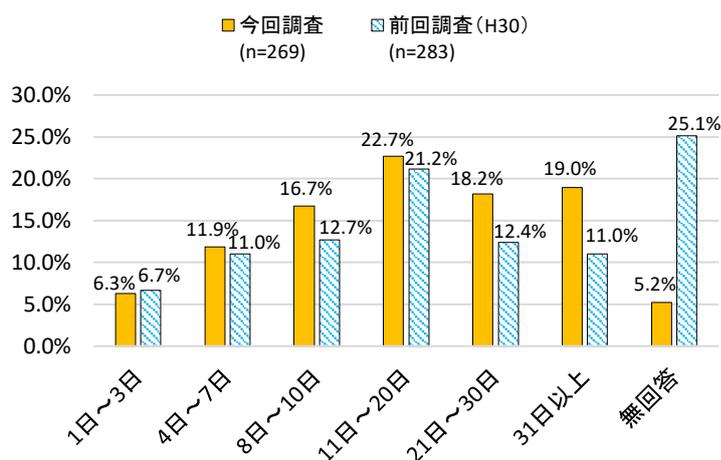
項目	回答数	構成比
利用したい	269	37.1%
利用する必要はない	416	57.3%
無回答	41	5.6%
合計	726	100.0%

【事業の利用理由の内訳】



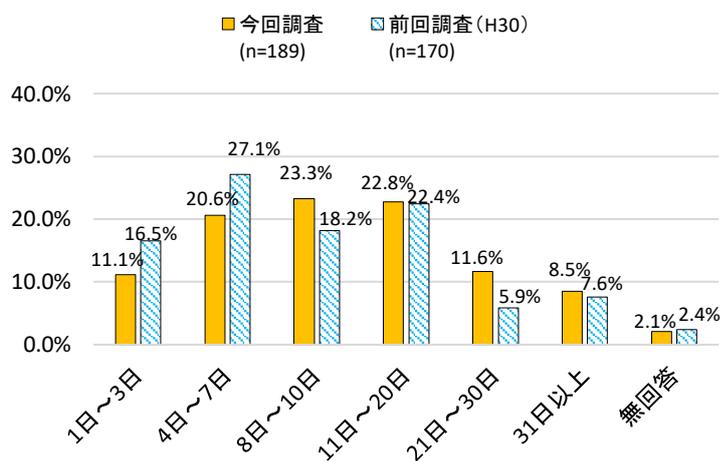
項目	回答数	構成比
私用(買物、子ども(兄弟姉妹を含む)や親の習い事等)	189	70.3%
冠婚葬祭、学校行事、子どもや親の通院等	198	73.6%
不定期の就労	76	28.3%
その他	21	7.8%
無回答	8	3.0%
サンプル数	269	-

【合計利用】日数/年



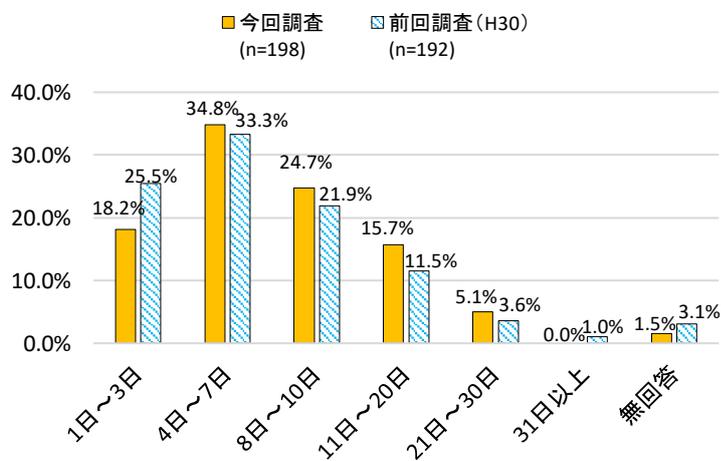
項目	回答数	構成比
1日～3日	17	6.3%
4日～7日	32	11.9%
8日～10日	45	16.7%
11日～20日	61	22.7%
21日～30日	49	18.2%
31日以上	51	19.0%
無回答	14	5.2%
合計	269	100.0%

【ア. 私用（買物、子どもや親の習い事等）】日数/年



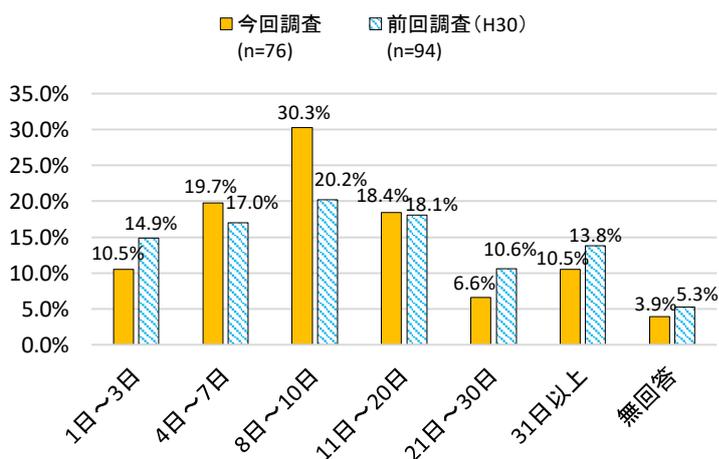
項目	回答数	構成比
1日～3日	21	11.1%
4日～7日	39	20.6%
8日～10日	44	23.3%
11日～20日	43	22.8%
21日～30日	22	11.6%
31日以上	16	8.5%
無回答	4	2.1%
合計	189	100.0%

【イ. 冠婚葬祭、学校行事、子どもや親の通院等】日数/年



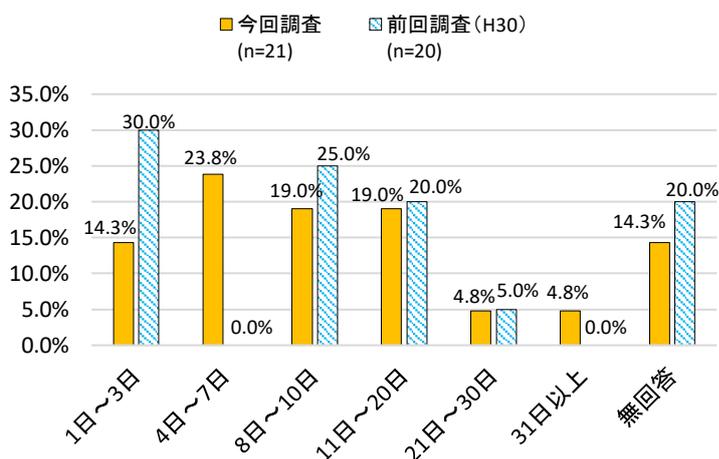
項目	回答数	構成比
1日～3日	36	18.2%
4日～7日	69	34.8%
8日～10日	49	24.7%
11日～20日	31	15.7%
21日～30日	10	5.1%
31日以上	0	0.0%
無回答	3	1.5%
合計	198	100.0%

【ウ. 不定期の就労】 日数/年



項目	回答数	構成比
1日~3日	8	10.5%
4日~7日	15	19.7%
8日~10日	23	30.3%
11日~20日	14	18.4%
21日~30日	5	6.6%
31日以上	8	10.5%
無回答	3	3.9%
合計	76	100.0%

【エ. その他】 日数/年



項目	回答数	構成比
1日~3日	3	14.3%
4日~7日	5	23.8%
8日~10日	4	19.0%
11日~20日	4	19.0%
21日~30日	1	4.8%
31日以上	1	4.8%
無回答	3	14.3%
合計	21	100.0%

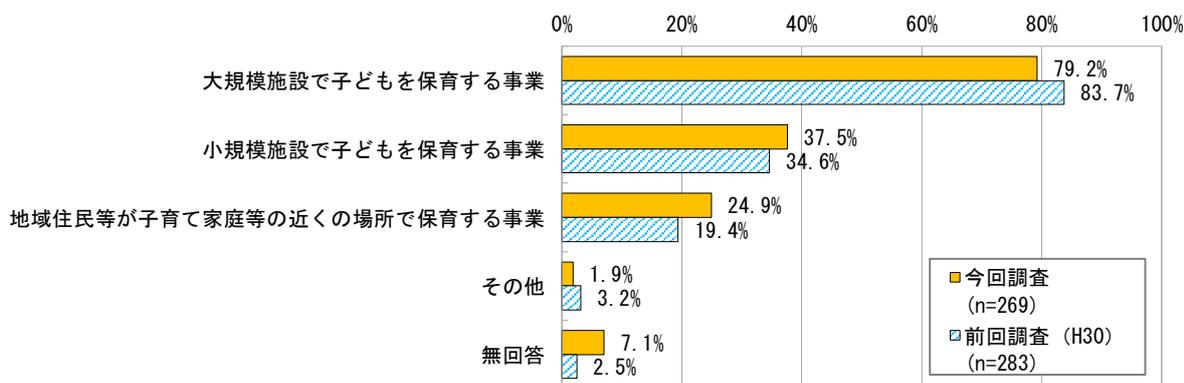
【その他の回答】

- ・ 親の介護
- ・ リフレッシュのため
- ・ 検診
- ・ 主人単身赴任、両親遠方の中、自分が病気の時 など

問24-1 【問24で「1.利用したい」に○をつけた方にうかがいます。】

問24の目的でお子さんを預ける場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思われますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

子供を預ける場合の望ましい事業形態については、「大規模施設で子どもを保育する事業」79.2%が最も高く、次いで「小規模施設で子どもを保育する事業」37.5%、「地域住民等が子育て家庭等の近くの場所で保育する事業」24.9%となっている。



項目	回答数	構成比
大規模施設で子どもを保育する事業	213	79.2%
小規模施設で子どもを保育する事業	101	37.5%
地域住民等が子育て家庭等の近くの場所で保育する事業	67	24.9%
その他	5	1.9%
無回答	19	7.1%
サンプル数	269	-

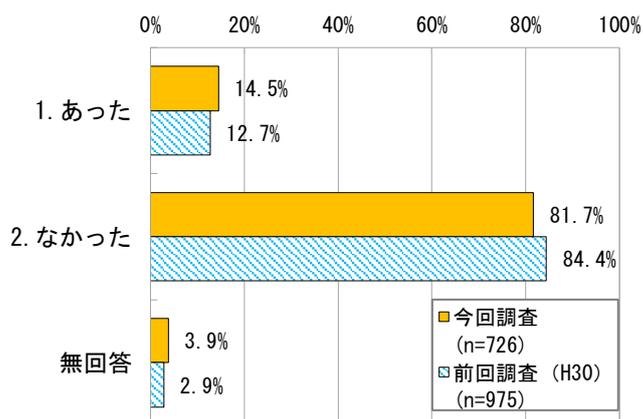
【その他の回答】

- ・急な深夜や夜間、宿泊保育が可能な事業
- ・たまにリフレッシュしたい時なので、どこでも可
- ・子どもを預かってくれれば、どこでも大丈夫です
- ・スーパー、ドラッグストア、図書館

問25 この1年間に、保護者の用事(冠婚葬祭、保護者・家族の病気など)により、宛名のお子さんを泊りがけで家族以外にみてもらわなければならないことがありましたか(預け先が見つからなかった場合も含みます)。あった場合は、この1年間の対処方法として当てはまる番号と記号すべてに○をつけ、日数を記入してください。

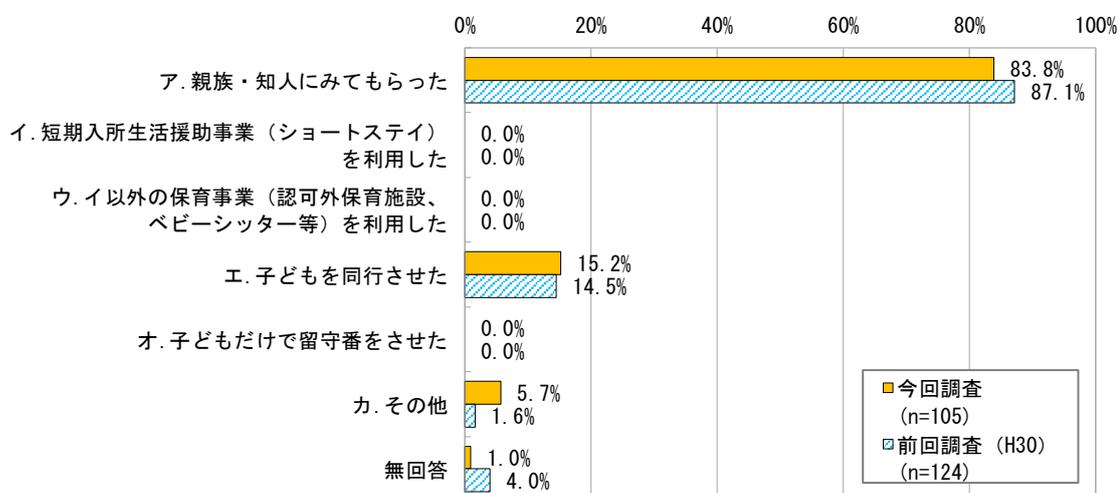
泊りがけでみてもらわなければならないことがあったかについては、「あった」14.5%、「なかった」81.7%となっている。

この1年間の対処方法については、「親族・知人にみてもらった」83.8%が最も高く、次いで「子どもをを同行させた」15.2%となっている。



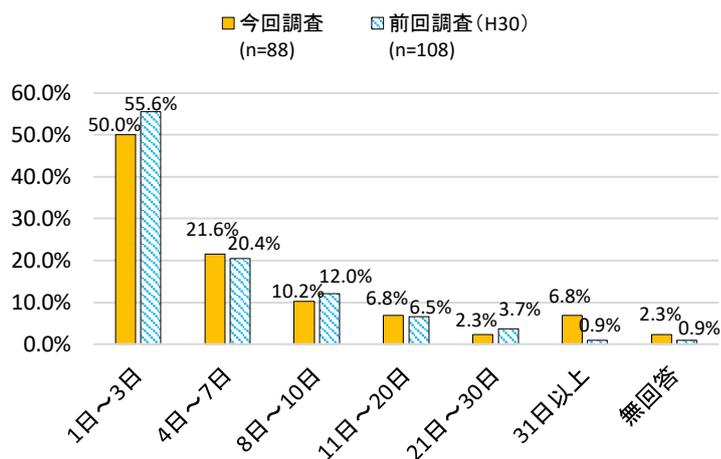
項目	回答数	構成比
あった	105	14.5%
なかった	593	81.7%
無回答	28	3.9%
合計	726	100.0%

【1年間の対処方法】



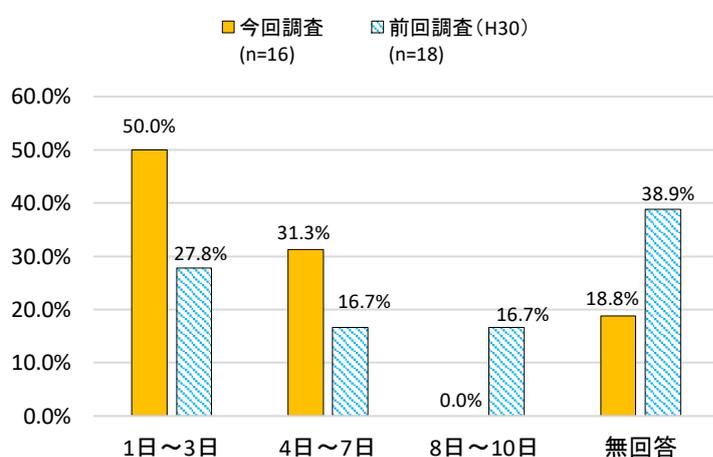
項目	回答数	構成比
親族・知人にみてもらった	88	83.8%
短期入所生活援助事業(ショートステイ)を利用した	0	0.0%
イ以外の保育事業(認可外保育施設、ベビーシッター等)を利用した	0	0.0%
子どもを同行させた	16	15.2%
子どもだけで留守番をさせた	0	0.0%
その他	6	5.7%
無回答	1	1.0%
サンプル数	105	-

【ア. 親族・知人にみてもらった】泊数/年



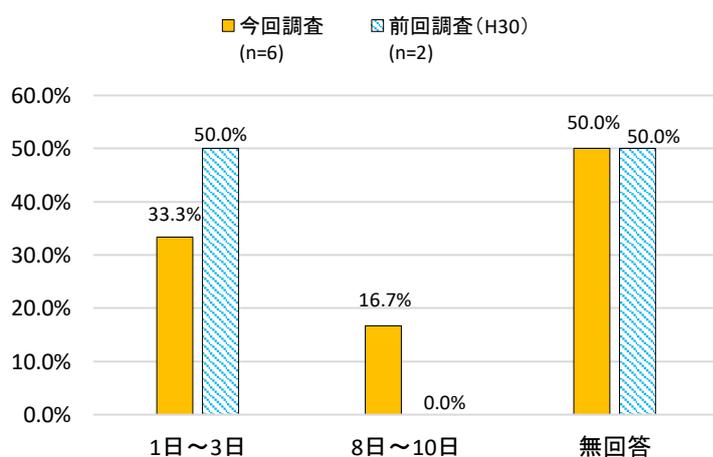
項目	回答数	構成比
1日～3日	44	50.0%
4日～7日	19	21.6%
8日～10日	9	10.2%
11日～20日	6	6.8%
21日～30日	2	2.3%
31日以上	6	6.8%
無回答	2	2.3%
合計	88	100.0%

【エ. 子どもを同行させた】泊数/年



項目	回答数	構成比
1日～3日	8	50.0%
4日～7日	5	31.3%
8日～10日	0	0.0%
11日～20日	0	0.0%
21日～30日	0	0.0%
31日以上	0	0.0%
無回答	3	18.8%
合計	16	100.0%

【カ. その他】泊数/年



項目	回答数	構成比
1日～3日	2	33.3%
4日～7日	0	0.0%
8日～10日	1	16.7%
11日～20日	0	0.0%
21日～30日	0	0.0%
31日以上	0	0.0%
無回答	3	50.0%
合計	6	100.0%

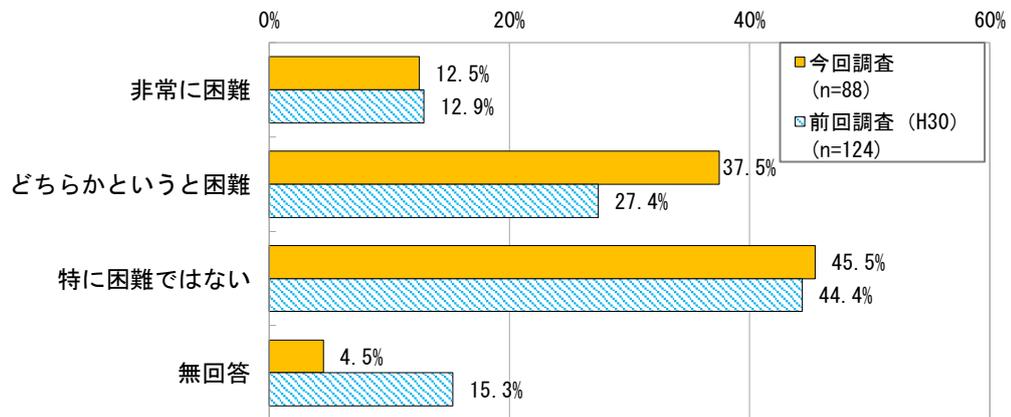
【イ. 短期入所生活援助事業（ショートステイ）を利用した】：該当なし

【ウ. イ以外の保育事業（認可外保育施設、ベビーシッター等）を利用した】：該当なし

【オ. 子どもだけで留守番をさせた】：該当なし

問25-1 【問25で「1.あった ア.(同居者を含む)親族・知人にみてもらった」と答えた方にうかがいます。】その場合の困難度はどの程度でしたか。  
 当てはまる番号1つに○をつけてください。

困難度については、「特に困難ではない」45.5%が最も高く、次いで「どちらかというと困難」37.5%、「非常に困難」12.5%となっている。

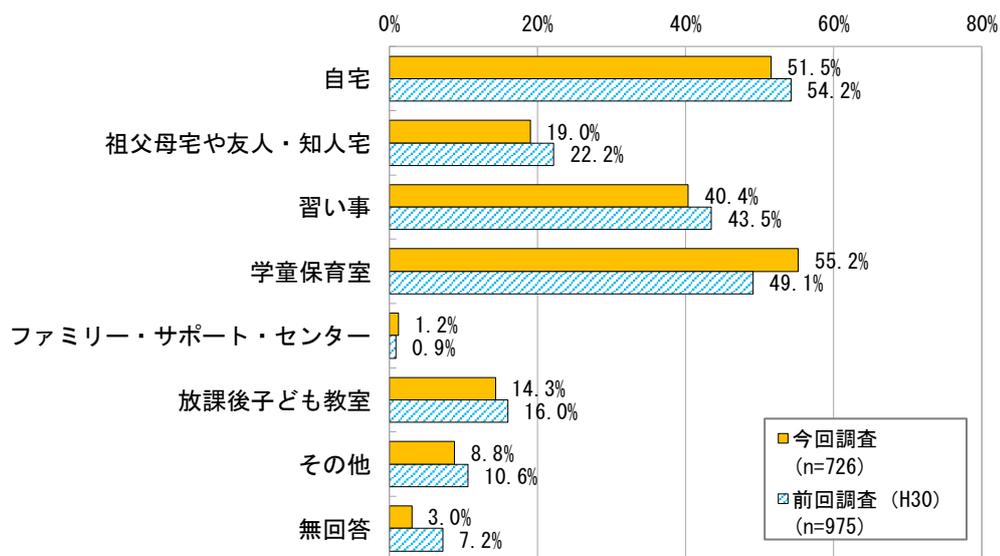


項目	回答数	構成比
非常に困難	11	12.5%
どちらかというと困難	33	37.5%
特に困難ではない	40	45.5%
無回答	4	4.5%
合計	88	100.0%

## 10. 小学校就学後における放課後の過ごし方について

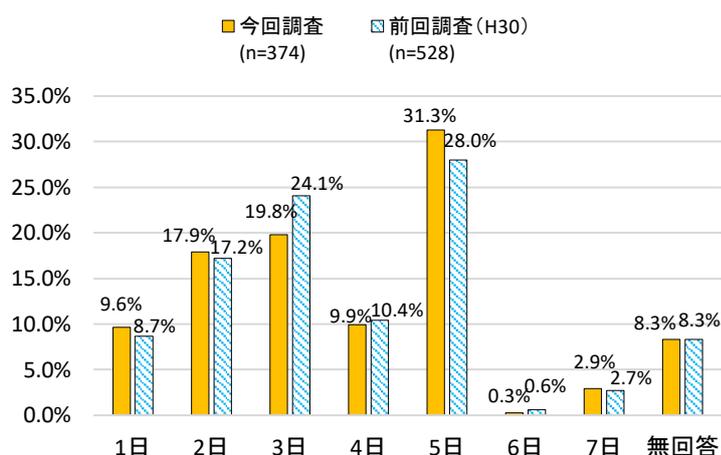
問26 宛名のお子さんについて、小学校低学年(1～3年生)のうちは、放課後(平日の小学校終了後)の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれ希望する日数を記入してください。また、「学童保育室」の場合には、利用希望時間も記入してください。

小学校低学年のうちの放課後の過ごし方については、「学童保育室」55.2%が最も高く、次いで「自宅」51.5%、「習い事」40.4%となっている。



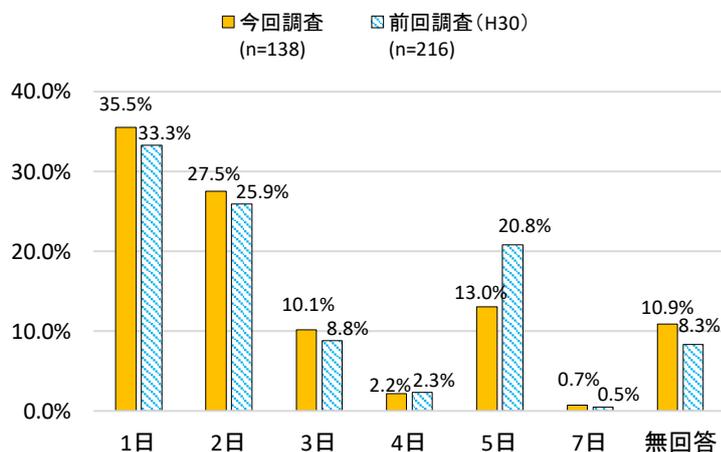
項目	回答数	構成比
自宅	374	51.5%
祖父母宅や友人・知人宅	138	19.0%
習い事	293	40.4%
学童保育室	401	55.2%
ファミリー・サポート・センター	9	1.2%
放課後子ども教室	104	14.3%
その他	64	8.8%
無回答	22	3.0%
サンプル数	726	-

### 【自宅】日数/週



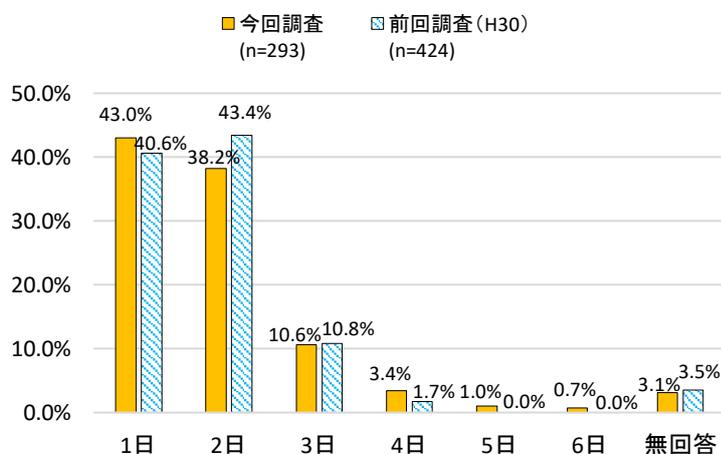
項目	回答数	構成比
1日	36	9.6%
2日	67	17.9%
3日	74	19.8%
4日	37	9.9%
5日	117	31.3%
6日	1	0.3%
7日	11	2.9%
無回答	31	8.3%
合計	374	100.0%

### 【祖父母宅や友人・知人宅】日数/週



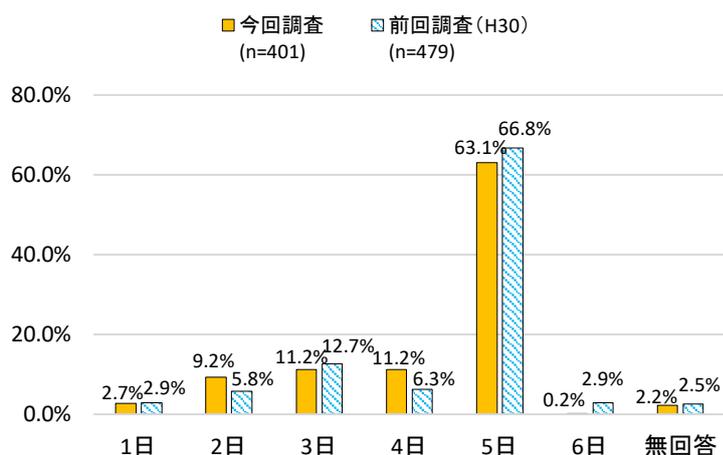
項目	回答数	構成比
1日	49	35.5%
2日	38	27.5%
3日	14	10.1%
4日	3	2.2%
5日	18	13.0%
6日	0	0.0%
7日	1	0.7%
無回答	15	10.9%
合計	138	100.0%

### 【習い事】日数/週



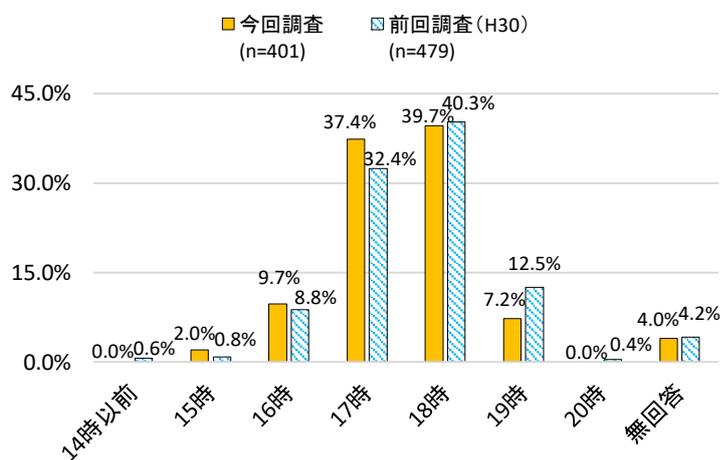
項目	回答数	構成比
1日	126	43.0%
2日	112	38.2%
3日	31	10.6%
4日	10	3.4%
5日	3	1.0%
6日	2	0.7%
7日	0	0.0%
無回答	9	3.1%
合計	293	100.0%

### 【学童保育室】日数/週



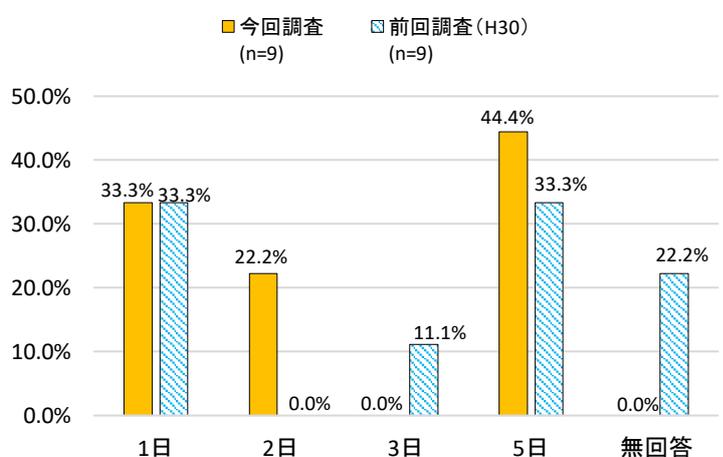
項目	回答数	構成比
1日	11	2.7%
2日	37	9.2%
3日	45	11.2%
4日	45	11.2%
5日	253	63.1%
6日	1	0.2%
7日	0	0.0%
無回答	9	2.2%
合計	401	100.0%

### 【学童保育室】終了時刻



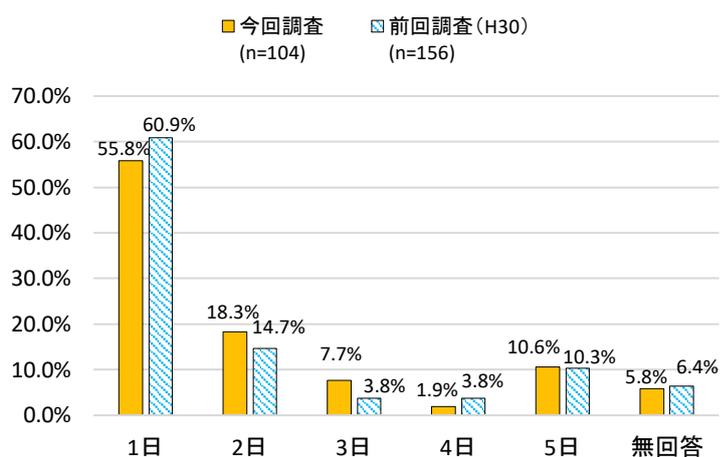
項目	回答数	構成比
14時以前	0	0.0%
15時	8	2.0%
16時	39	9.7%
17時	150	37.4%
18時	159	39.7%
19時	29	7.2%
20時	0	0.0%
21時以降	0	0.0%
無回答	16	4.0%
合計	401	100.0%

### 【ファミリー・サポート・センター】日数/週



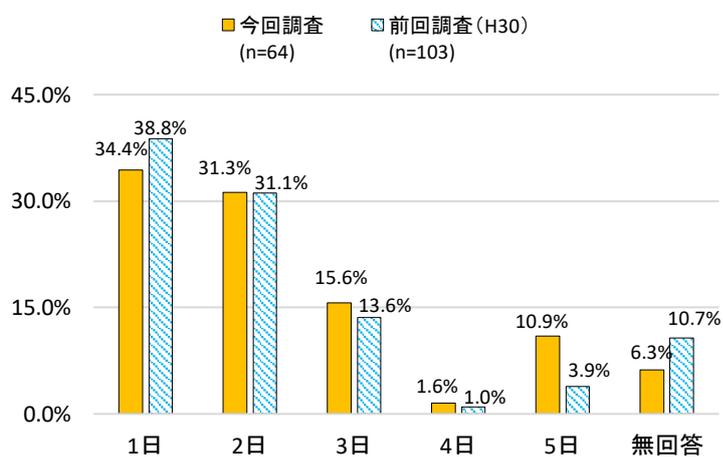
項目	回答数	構成比
1日	3	33.3%
2日	2	22.2%
3日	0	0.0%
4日	0	0.0%
5日	4	44.4%
6日	0	0.0%
7日	0	0.0%
無回答	0	0.0%
合計	9	100.0%

### 【放課後子ども教室】日数/週



項目	回答数	構成比
1日	58	55.8%
2日	19	18.3%
3日	8	7.7%
4日	2	1.9%
5日	11	10.6%
6日	0	0.0%
7日	0	0.0%
無回答	6	5.8%
合計	104	100.0%

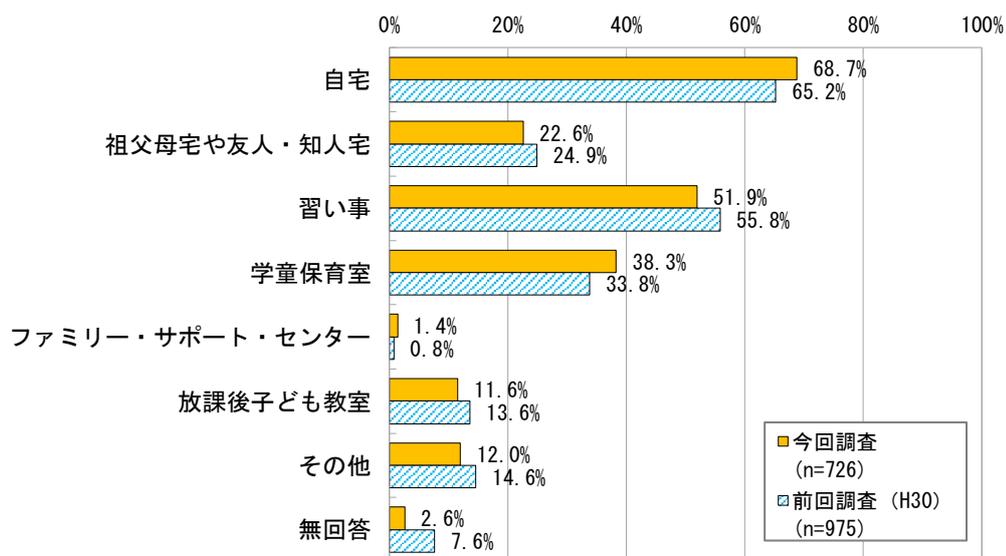
### 【その他】日数/週



項目	回答数	構成比
1日	22	34.4%
2日	20	31.3%
3日	10	15.6%
4日	1	1.6%
5日	7	10.9%
6日	0	0.0%
7日	0	0.0%
無回答	4	6.3%
合計	64	100.0%

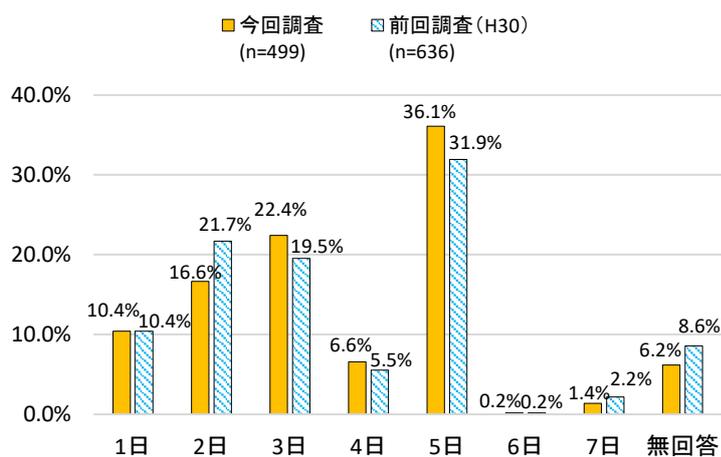
問27 宛名のお子さんについて、小学校高学年(4～6年生)になったら、放課後(平日の小学校終了後)の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれの週当たり日数を記入してください。また、「学童保育室」の場合には利用希望時間も記入してください。

小学校高学年になった際の放課後の過ごし方については、「自宅」68.7%が最も高く、次いで「習い事」51.9%、「学童保育室」38.3%となっている。



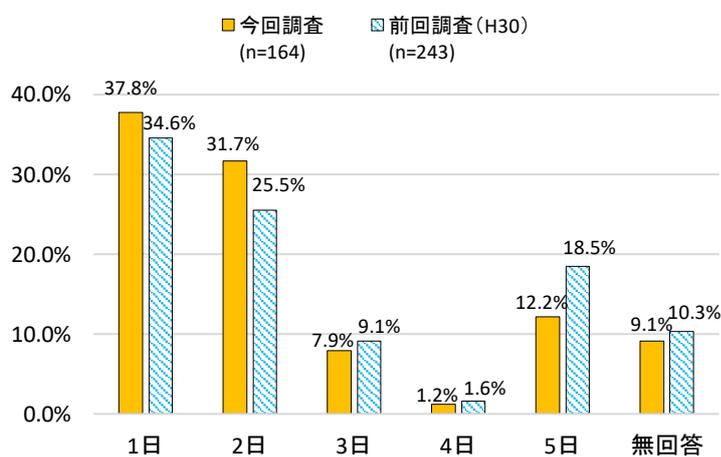
項目	回答数	構成比
自宅	499	68.7%
祖父母宅や友人・知人宅	164	22.6%
習い事	377	51.9%
学童保育室	278	38.3%
ファミリー・サポート・センター	10	1.4%
放課後子ども教室	84	11.6%
その他	87	12.0%
無回答	19	2.6%
サンプル数	726	-

### 【自宅】日数/週



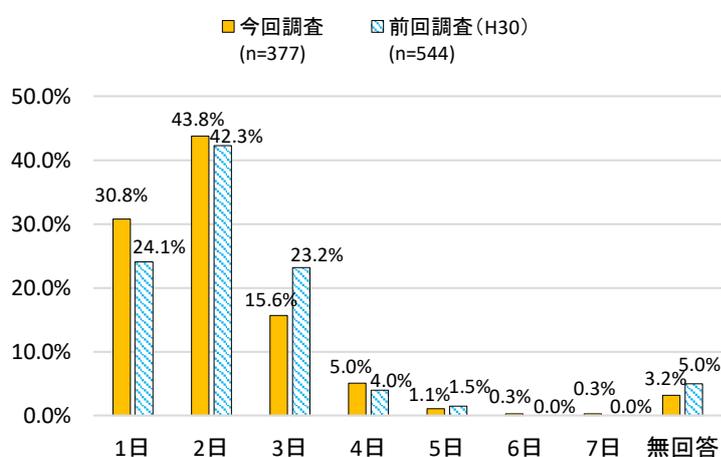
項目	回答数	構成比
1日	52	10.4%
2日	83	16.6%
3日	112	22.4%
4日	33	6.6%
5日	180	36.1%
6日	1	0.2%
7日	7	1.4%
無回答	31	6.2%
合計	499	100.0%

### 【祖父母宅や友人・知人宅】日数/週



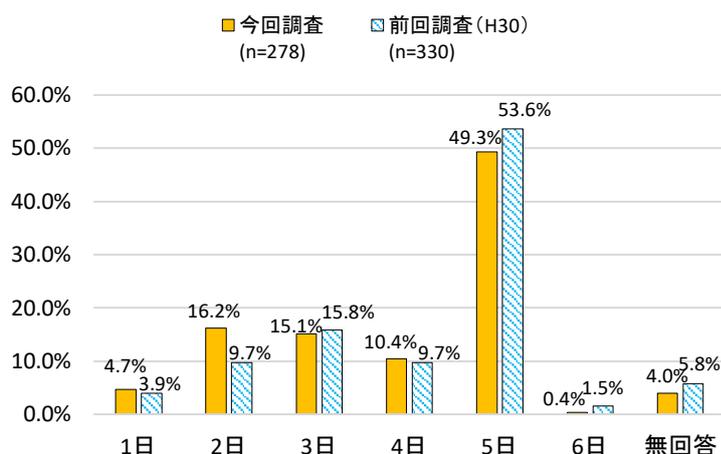
項目	回答数	構成比
1日	62	37.8%
2日	52	31.7%
3日	13	7.9%
4日	2	1.2%
5日	20	12.2%
6日	0	0.0%
7日	0	0.0%
無回答	15	9.1%
合計	164	100.0%

### 【習い事】日数/週



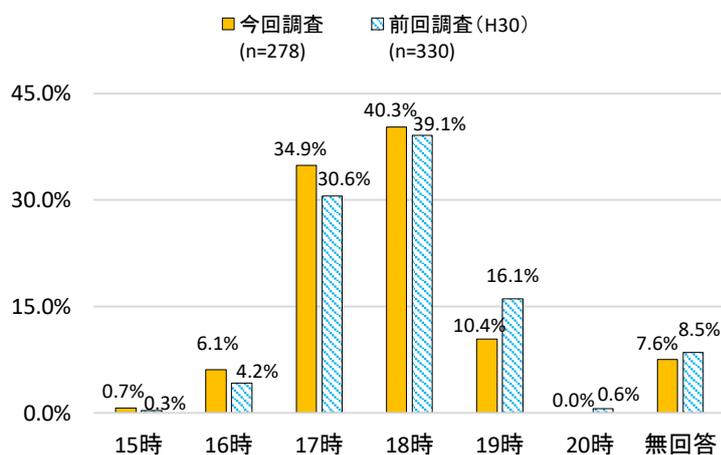
項目	回答数	構成比
1日	116	30.8%
2日	165	43.8%
3日	59	15.6%
4日	19	5.0%
5日	4	1.1%
6日	1	0.3%
7日	1	0.3%
無回答	12	3.2%
合計	377	100.0%

### 【学童保育室】日数/週



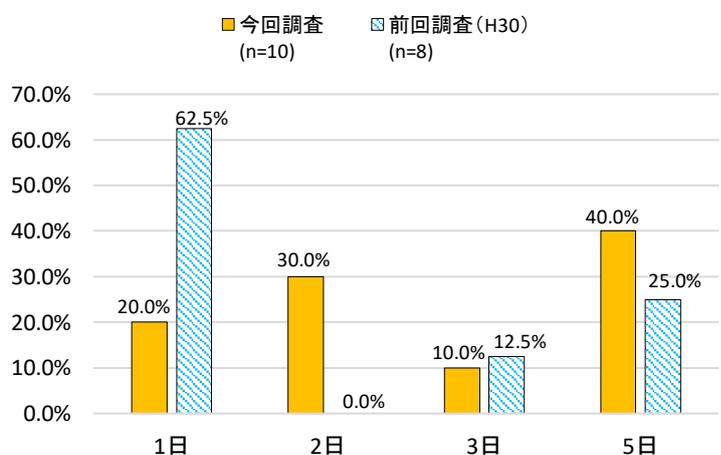
項目	回答数	構成比
1日	13	4.7%
2日	45	16.2%
3日	42	15.1%
4日	29	10.4%
5日	137	49.3%
6日	1	0.4%
7日	0	0.0%
無回答	11	4.0%
合計	278	100.0%

### 【学童保育室】終了時刻



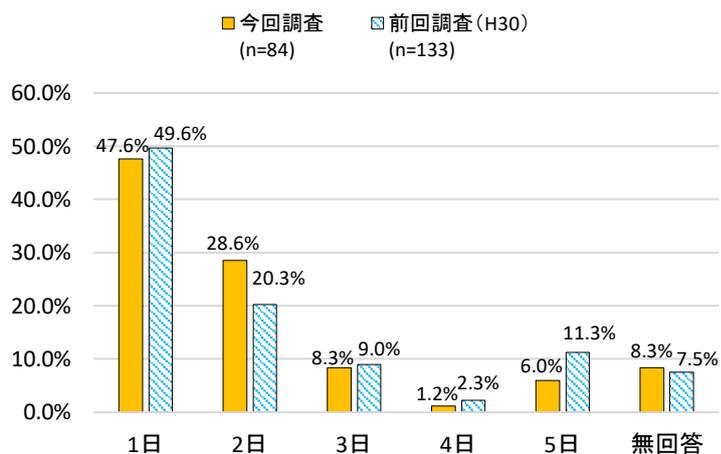
項目	回答数	構成比
14時以前	0	0.0%
15時	2	0.7%
16時	17	6.1%
17時	97	34.9%
18時	112	40.3%
19時	29	10.4%
20時	0	0.0%
21時以降	0	0.0%
無回答	21	7.6%
合計	278	100.0%

### 【ファミリー・サポート・センター】日数/週



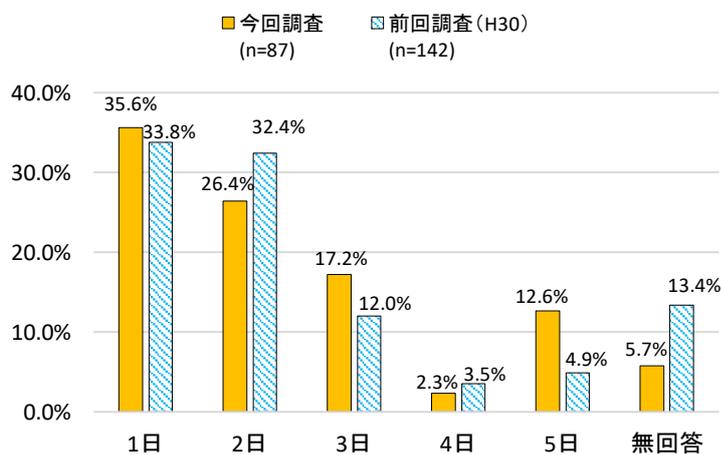
項目	回答数	構成比
1日	2	20.0%
2日	3	30.0%
3日	1	10.0%
4日	0	0.0%
5日	4	40.0%
6日	0	0.0%
7日	0	0.0%
無回答	0	0.0%
合計	10	100.0%

### 【放課後子ども教室】日数/週



項目	回答数	構成比
1日	40	47.6%
2日	24	28.6%
3日	7	8.3%
4日	1	1.2%
5日	5	6.0%
6日	0	0.0%
7日	0	0.0%
無回答	7	8.3%
合計	84	100.0%

### 【その他】日数/週

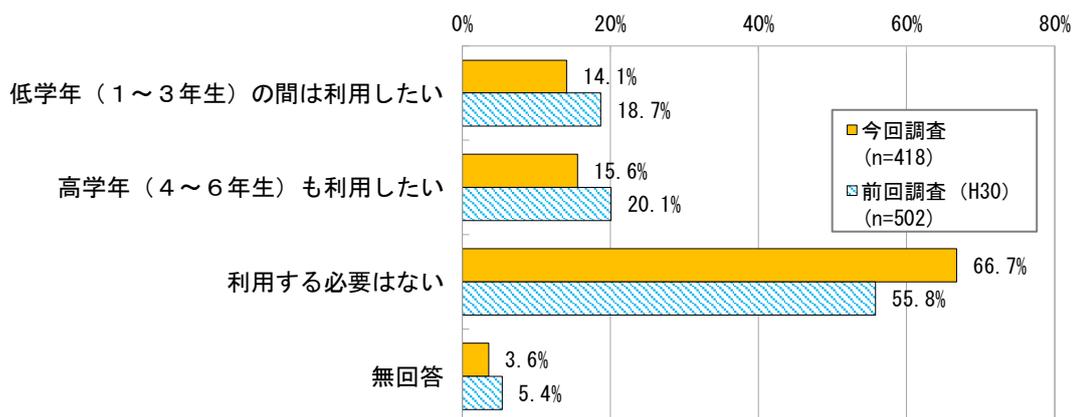


項目	回答数	構成比
1日	31	35.6%
2日	23	26.4%
3日	15	17.2%
4日	2	2.3%
5日	11	12.6%
6日	0	0.0%
7日	0	0.0%
無回答	5	5.7%
合計	87	100.0%

問28 【問26または問27で「4. 学童保育室」に○をつけた方にうかがいます。】  
 宛名のお子さんについて、土・日曜日及び祝日に、学童保育室の利用希望はありますか。  
 それぞれについて、当てはまる番号1つに○をつけてください。

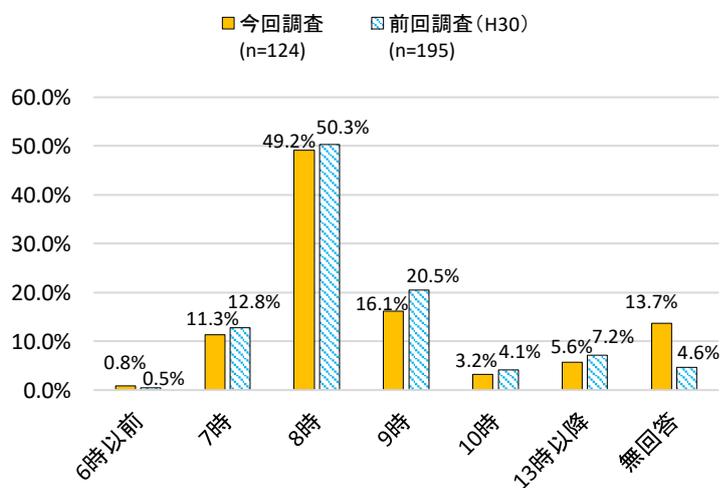
(1) 土曜日

土曜日の学童保育室の利用希望については、「利用する必要はない」66.7%が最も高く、次いで「高学年（4～6年生）も利用したい」15.6%、「低学年（1～3年生）の間は利用したい」14.1%となっている。利用したい時間帯については、利用開始時刻は8時、利用終了時刻は18時が最多となっている。



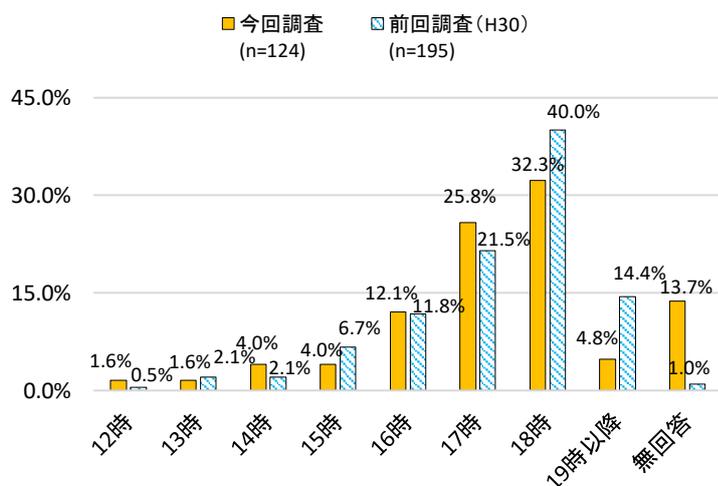
項目	回答数	構成比
低学年（1～3年生）の間は利用したい	59	14.1%
高学年（4～6年生）も利用したい	65	15.6%
利用する必要はない	279	66.7%
無回答	15	3.6%
合計	418	100.0%

【利用開始時刻】



項目	回答数	構成比
6時以前	1	0.8%
7時	14	11.3%
8時	61	49.2%
9時	20	16.1%
10時	4	3.2%
11時	0	0.0%
12時	0	0.0%
13時以降	7	5.6%
無回答	17	13.7%
合計	124	100.0%

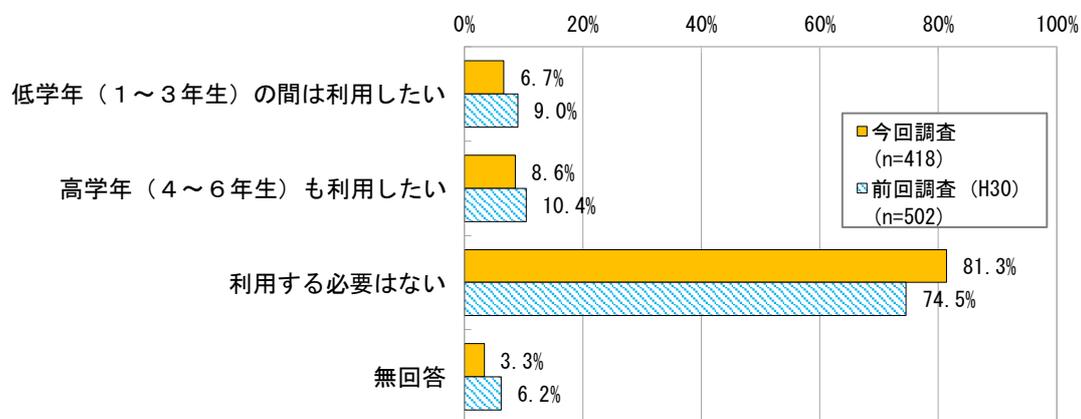
### 【利用終了時刻】



項目	回答数	構成比
11時以前	0	0.0%
12時	2	1.6%
13時	2	1.6%
14時	5	4.0%
15時	5	4.0%
16時	15	12.1%
17時	32	25.8%
18時	40	32.3%
19時以降	6	4.8%
無回答	17	13.7%
合計	124	100.0%

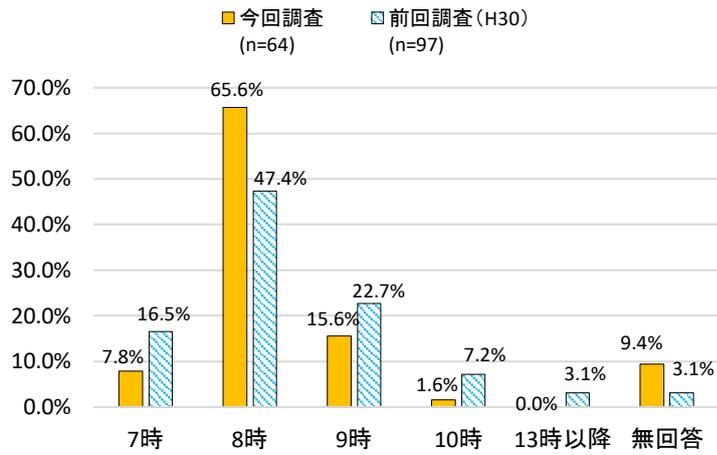
### (2) 日曜日・祝日

日曜日・祝日の学童保育室の利用希望については、「利用する必要はない」81.3%が最も高く、次いで「高学年（4～6年生）も利用したい」8.6%、「低学年（1～3年生）の間は利用したい」6.7%となっている。利用したい時間帯については、利用開始時刻は8時、利用終了時刻は16時が最多となっている。



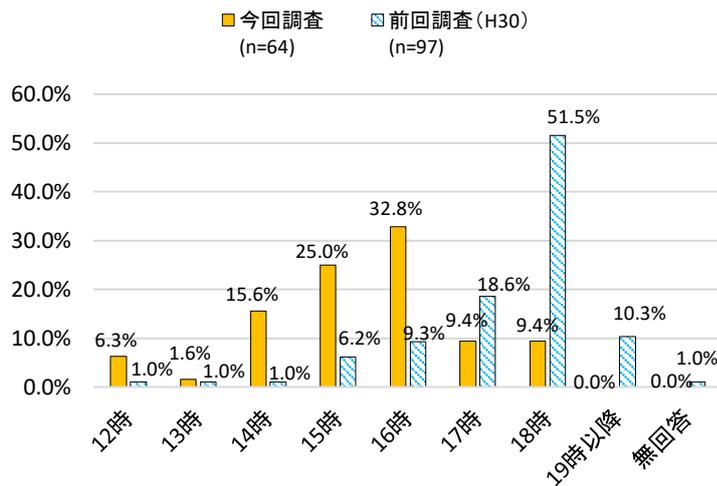
項目	回答数	構成比
低学年（1～3年生）の間は利用したい	28	6.7%
高学年（4～6年生）も利用したい	36	8.6%
利用する必要はない	340	81.3%
無回答	14	3.3%
合計	418	100.0%

### 【利用開始時刻】



項目	回答数	構成比
6時以前	0	0.0%
7時	5	7.8%
8時	42	65.6%
9時	10	15.6%
10時	1	1.6%
11時	0	0.0%
12時	0	0.0%
13時以降	0	0.0%
無回答	6	9.4%
合計	64	100.0%

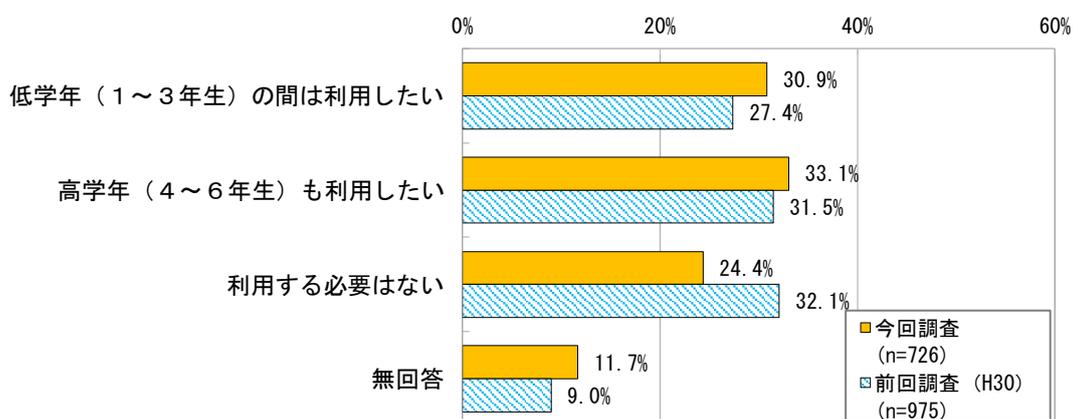
### 【利用終了時刻】



項目	回答数	構成比
11時以前	0	0%
12時	0	0%
13時	0	0%
14時	4	6%
15時	1	2%
16時	10	16%
17時	16	25%
18時	21	33%
19時以降	6	9%
無回答	6	9%
合計	64	100%

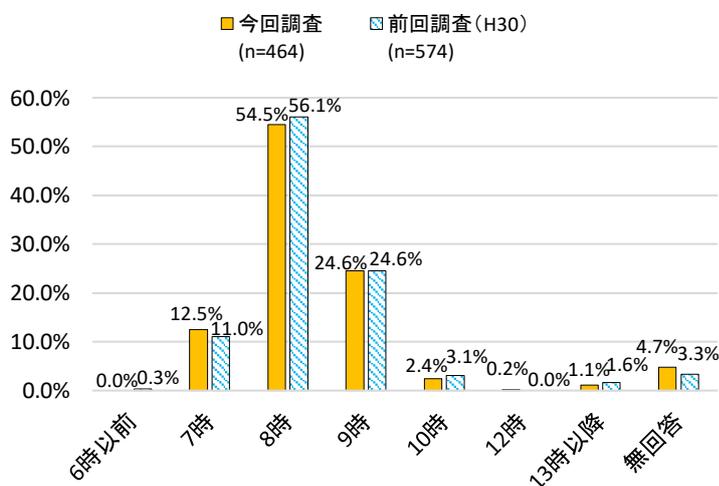
問29 宛名のお子さんについて、お子さんの夏休みなどの長期休暇期間中の学童保育室の利用希望はありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

長期休暇期間中の学童保育室の利用希望については、「高学年（4～6年生）も利用したい」33.1%が最も高く、次いで「低学年（1～3年生）の間は利用したい」30.9%、「利用する必要はない」24.4%となっている。利用したい時間帯については、利用開始時刻は8時、利用終了時刻は15時が最多となっている。



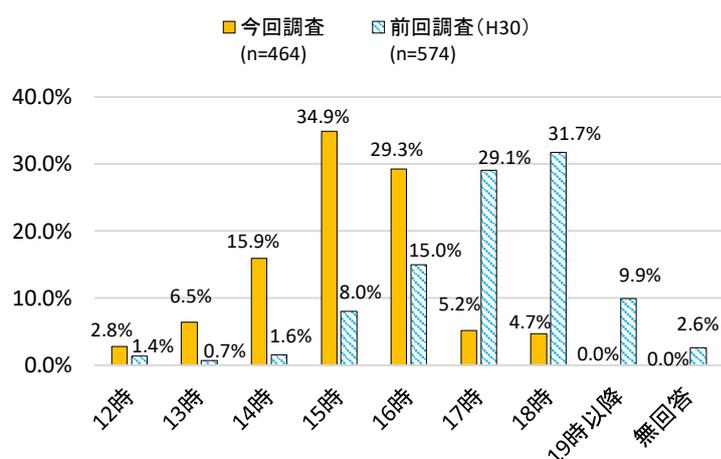
項目	回答数	構成比
低学年(1～3年生)の間は利用したい	224	30.9%
高学年(4～6年生)も利用したい	240	33.1%
利用する必要はない	177	24.4%
無回答	85	11.7%
合計	726	100.0%

### 【利用開始時刻】



項目	回答数	構成比
6時以前	0	0.0%
7時	58	12.5%
8時	253	54.5%
9時	114	24.6%
10時	11	2.4%
11時	0	0.0%
12時	1	0.2%
13時以降	5	1.1%
無回答	22	4.7%
合計	464	100.0%

## 【利用終了時刻】

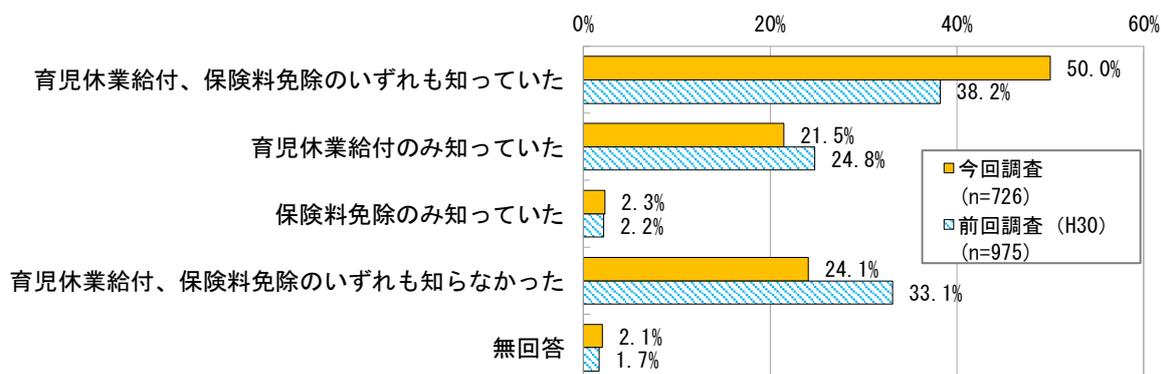


項目	回答数	構成比
11時以前	0	0.0%
12時	2	0.4%
13時	1	0.2%
14時	13	2.8%
15時	30	6.5%
16時	74	15.9%
17時	162	34.9%
18時	136	29.3%
19時以降	24	5.2%
無回答	22	4.7%
合計	464	100.0%

## 11. 育児休業や短時間勤務制度など職場の両立支援制度について

問30 育児休業給付が支給される仕組みや健康保険及び厚生年金保険の保険料が免除になる仕組みがあることをご存じですか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

育児休業給付、保険料免除の仕組みについては、「育児休業給付、保険料免除のいずれも知っていた」50.0%が最も高く、次いで「育児休業給付、保険料免除のいずれも知らなかった」24.1%、「育児休業給付のみ知っていた」21.5%となっている。



項目	回答数	構成比
育児休業給付、保険料免除のいずれも知っていた	363	50.0%
育児休業給付のみ知っていた	156	21.5%
保険料免除のみ知っていた	17	2.3%
育児休業給付、保険料免除のいずれも知らなかった	175	24.1%
無回答	15	2.1%
合計	726	100.0%

問31 宛名のお子さんが生まれた時、父母のいずれかもしくは双方が育児休業を取得しましたか。母親、父親それぞれについて、当てはまる番号1つに○をつけてください。また、取得していない方は、その理由についての番号を記入してください。

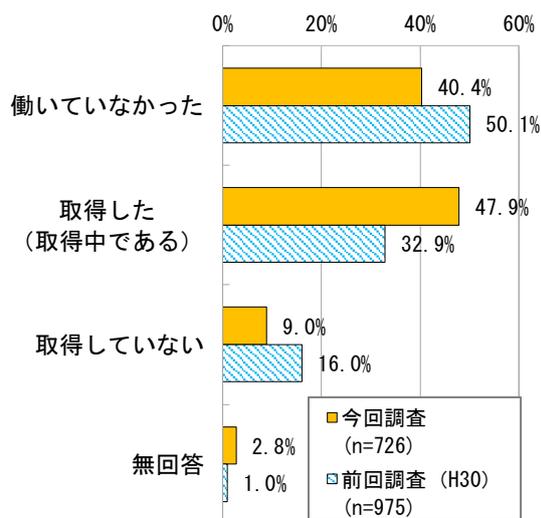
母親の育児休業取得については、「取得した（取得中である）」47.9%が最も高く、次いで「働いていなかった」40.4%、「取得していない」9.0%となっている。

取得していない理由については、「子育てや家事に専念するため退職した」40.0%が最も高く、次いで「職場に育児休業の制度がなかった（就業規則に定めがなかった）」24.6%、「収入減となり、経済的に苦しくなる」13.8%となっている。

父親の育児休業取得については、「取得していない」75.6%が最も高く、次いで「取得した（取得中である）」16.7%、「働いていなかった」2.1%となっている。

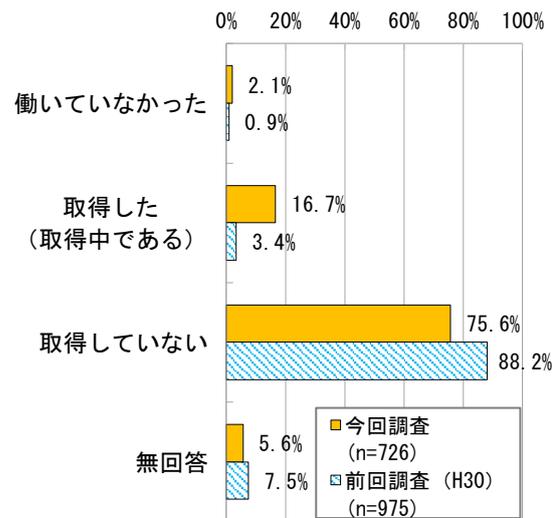
取得していない理由については、「仕事が忙しかった」41.7%が最も高く、次いで「収入減となり、経済的に苦しくなる」35.0%、「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」33.9%となっている。

### 【母親】



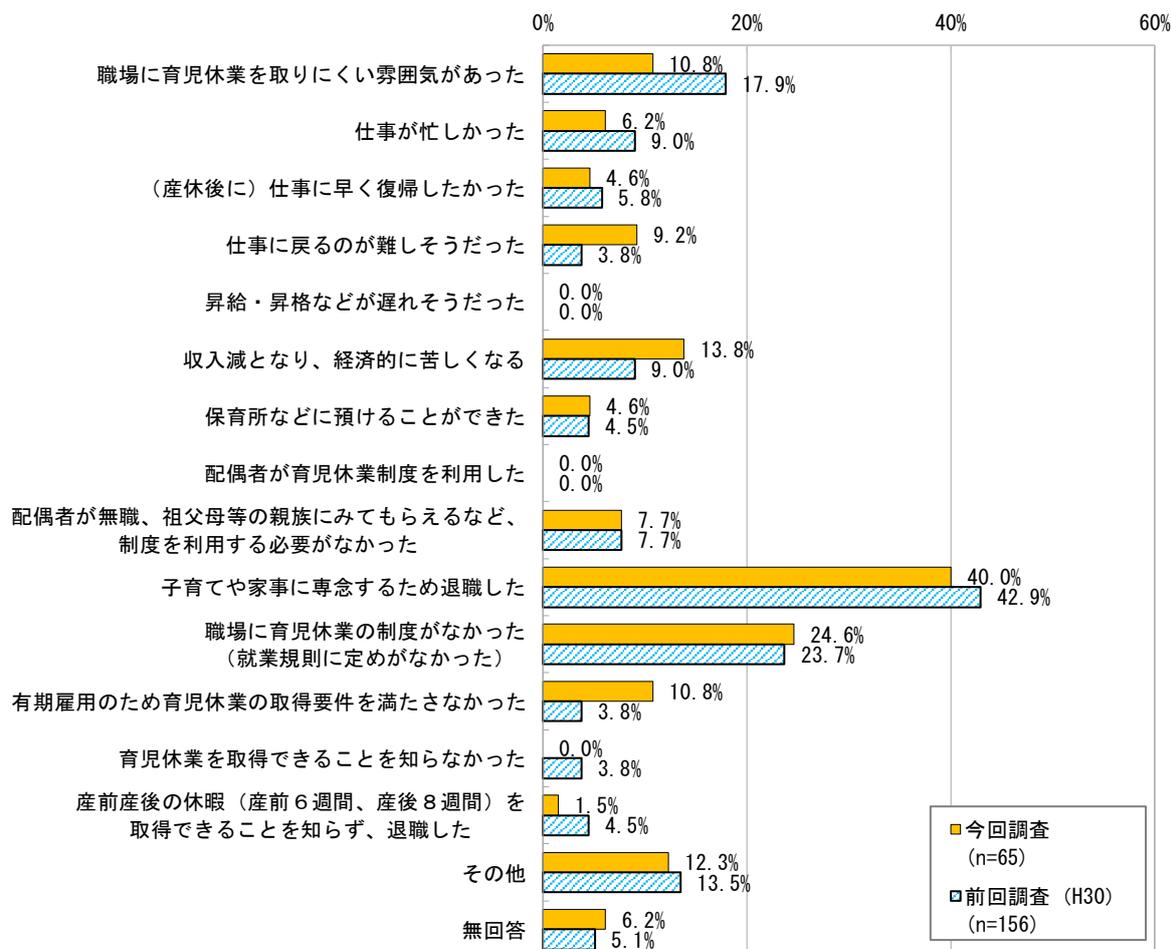
項目	回答数	構成比
働いていなかった	293	40.4%
取得した(取得中である)	348	47.9%
取得していない	65	9.0%
無回答	20	2.8%
合計	726	100.0%

### 【父親】



項目	回答数	構成比
働いていなかった	15	2.1%
取得した(取得中である)	121	16.7%
取得していない	549	75.6%
無回答	41	5.6%
合計	726	100.0%

### 育児休業を取得していない理由（母親）

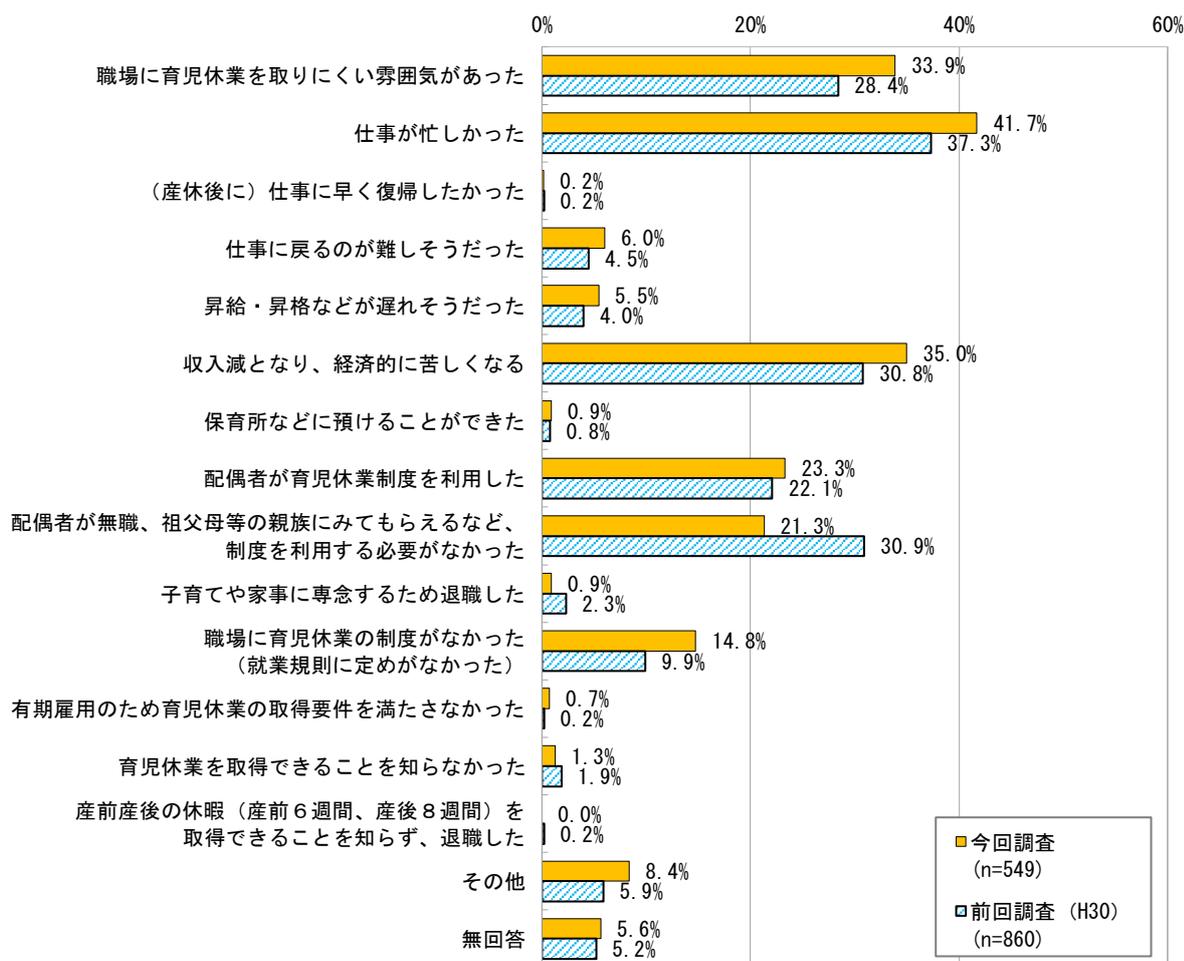


項目	回答数	構成比
職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった	7	10.8%
仕事が忙しかった	4	6.2%
(産休後に) 仕事に早く復帰したかった	3	4.6%
仕事に戻るのが難しそうだった	6	9.2%
昇給・昇格などが遅れそうだった	0	0.0%
収入減となり、経済的に苦しくなる	9	13.8%
保育所などに預けることができた	3	4.6%
配偶者が育児休業制度を利用した	0	0.0%
配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった	5	7.7%
子育てや家事に専念するため退職した	26	40.0%
職場に育児休業の制度がなかった(就業規則に定めがなかった)	16	24.6%
有期雇用のため育児休業の取得要件を満たさなかった	7	10.8%
育児休業を取得できることを知らなかった	0	0.0%
産前産後の休暇(産前6週間、産後8週間)を取得できることを知らず、退職した	1	1.5%
その他	8	12.3%
無回答	4	6.2%
サンプル数	65	-

#### 【その他の回答】

- ・ 就業したばかりだった
- ・ パートのため、制度が使えるか分からなかった
- ・ 産前は妊娠直後から入院になり家計が苦しいから など

### 育児休業を取得していない理由（父親）



項目	回答数	構成比
職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった	186	33.9%
仕事が忙しかった	229	41.7%
(産休後に) 仕事に早く復帰したかった	1	0.2%
仕事に戻るのが難しそうだった	33	6.0%
昇給・昇格などが遅れそうだった	30	5.5%
収入減となり、経済的に苦しくなる	192	35.0%
保育所などに預けることができた	5	0.9%
配偶者が育児休業制度を利用した	128	23.3%
配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった	117	21.3%
子育てや家事に専念するため退職した	5	0.9%
職場に育児休業の制度がなかった(就業規則に定めがなかった)	81	14.8%
有期雇用のため育児休業の取得要件を満たさなかった	4	0.7%
育児休業を取得できることを知らなかった	7	1.3%
産前産後の休暇(産前6週間、産後8週間)を取得できることを知らず、退職した	0	0.0%
その他	46	8.4%
無回答	31	5.6%
サンプル数	549	-

【その他の回答】

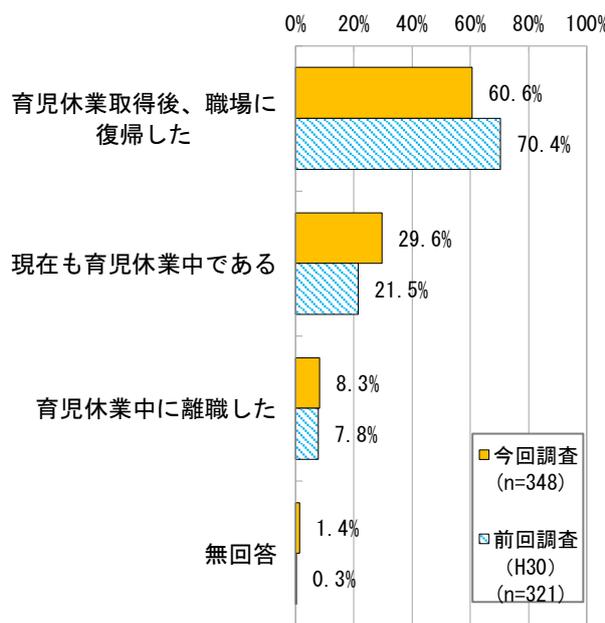
- ・自営業のため
- ・里帰り出産で母子共にいなかった
- ・前例がないと断られた
- ・育児休業という制度は利用していなかったが、有休などを利用して1ヶ月程休みを取った
- ・取得を申し出たが体制、認識が職場になく、孤立・疎外に遭った結果、取得できなかった
- ・在宅勤務で対応した
- ・男性の育休が今より認知されていなかった
- など

問31-1 【問31で「2. 取得した(取得中である)」と回答した方にかがいます。】  
 育児休業取得後、職場に復帰しましたか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

母親の育児休業取得後の職場復帰については、「育児休業取得後、職場に復帰した」60.6%が最も高く、次いで「現在も育児休業中である」29.6%、「育児休業中に離職した」8.3%となっている。

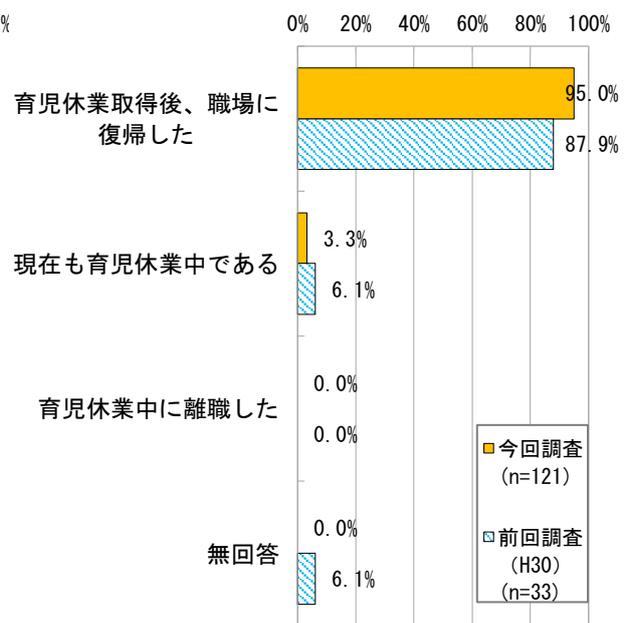
父親の育児休業取得後の職場復帰については、「育児休業取得後、職場に復帰した」95.0%が最も高く、次いで「現在も育児休業中である」3.3%となっている。

【母親】



項目	回答数	構成比
育児休業取得後、職場に復帰した	211	60.6%
現在も育児休業中である	103	29.6%
育児休業中に離職した	29	8.3%
無回答	5	1.4%
合計	348	100.0%

【父親】



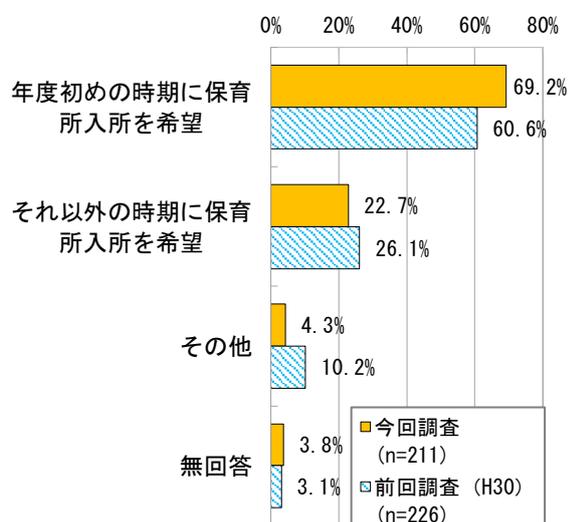
項目	回答数	構成比
育児休業取得後、職場に復帰した	115	95.0%
現在も育児休業中である	2	1.7%
育児休業中に離職した	0	0.0%
無回答	4	3.3%
合計	121	100.0%

問31-2 【問31-1で「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」と回答した方にかがいます。】  
 育児休業から職場復帰するにあたり、お子さんを保育所へ預けることを希望されましたか。当てはまる番号1つに○をつけてください。保育所への入所を希望されなかった場合は、「3」とし、お子さんの預け先を記入してください。

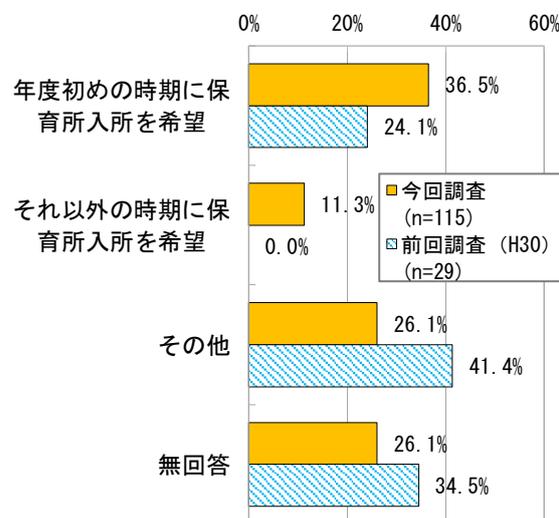
母親が職場復帰の際に子どもを保育所へ預けることを希望したかについては、「年度初めの時期に保育所入所を希望」69.2%が最も高く、次いで「それ以外の時期に保育所入所を希望」22.7%、「その他」4.3%となっている。

父親が職場復帰の際に子どもを保育所へ預けることを希望したかについては、「年度初めの時期に保育所入所を希望」36.5%が最も高く、次いで「その他」26.1%、「それ以外の時期に保育所入所を希望」11.3%となっている。

【母親】



【父親】



項目	回答数	構成比
年度初めの時期に保育所入所を希望	146	69.2%
それ以外の時期に保育所入所を希望	48	22.7%
その他	9	4.3%
無回答	8	3.8%
合計	211	100.0%

項目	回答数	構成比
年度初めの時期に保育所入所を希望	42	36.5%
それ以外の時期に保育所入所を希望	13	11.3%
その他	30	26.1%
無回答	30	26.1%
合計	115	100.0%

【その他の回答（母親）】

- ・ 祖父母にみてもらう
- ・ 自宅
- ・ 義実家に預ける など

【その他の回答（父親）】

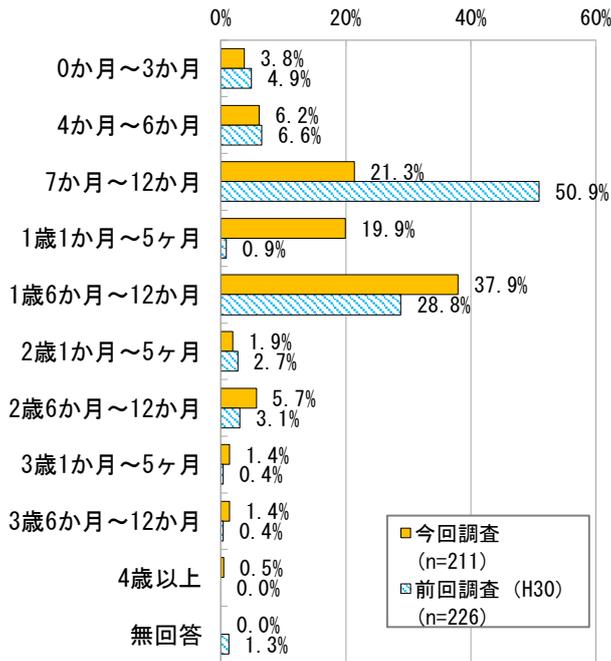
- ・ 母親
- ・ 祖父母にみてもらう
- ・ 自宅 など

問31-3 お子さんが何歳何か月のときに職場復帰しましたか。また、お勤め先の育児休業の制度の期間内で、何歳何か月のときまで取りたかったですか。

(1) 母親

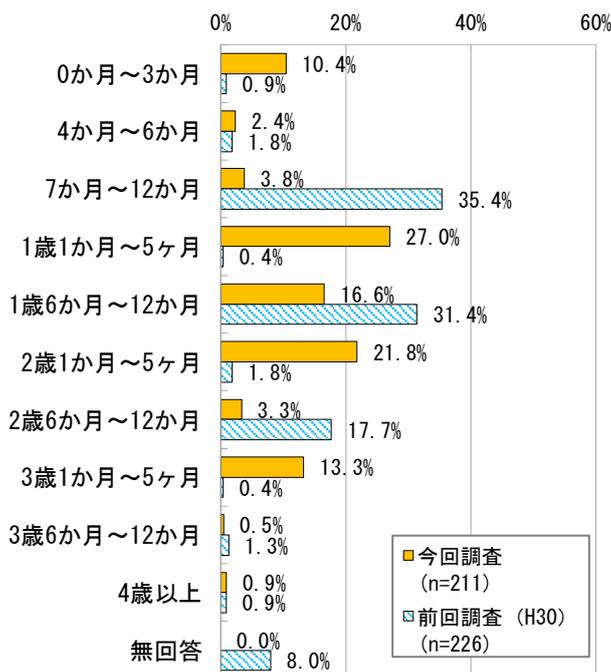
育児休業から「実際」に子どもが何歳何か月のときに職場復帰したかについては、「1歳6か月～12か月」37.9%が最も高く、次いで「7か月～12か月」、「1歳1か月～5ヶ月」となっている。「希望」する職場復帰の時期については、「1歳1か月～5ヶ月」27.0%が最も高く、次いで「2歳1か月～5ヶ月」21.8%、「1歳6か月～12か月」16.6%となっている。

【職場復帰の時期（実際）母親】



項目	回答数	構成比
0か月～3か月	8	3.8%
4か月～6か月	13	6.2%
7か月～12か月	45	21.3%
1歳1か月～5ヶ月	42	19.9%
1歳6か月～12か月	80	37.9%
2歳1か月～5ヶ月	4	1.9%
2歳6か月～12か月	12	5.7%
3歳1か月～5ヶ月	3	1.4%
3歳6か月～12か月	3	1.4%
4歳以上	1	0.5%
無回答	0	0.0%
合計	211	100.0%

【職場復帰の時期（希望）母親】

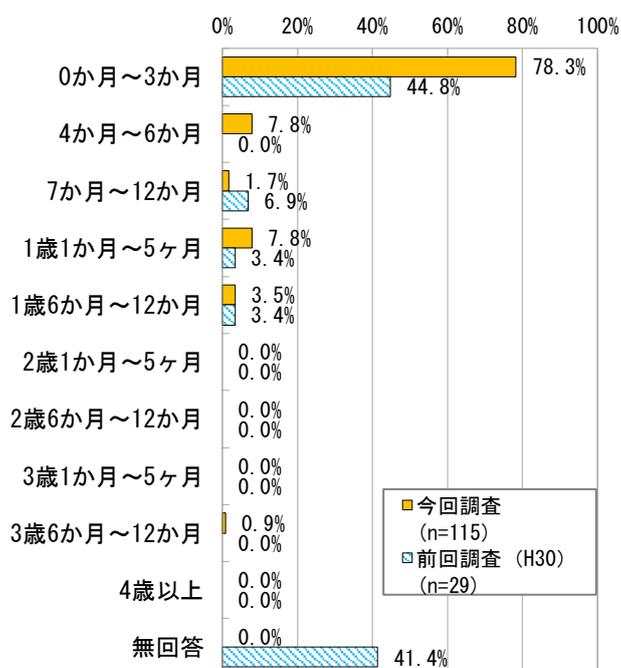


項目	回答数	構成比
0か月～3か月	22	10.4%
4か月～6か月	5	2.4%
7か月～12か月	8	3.8%
1歳1か月～5ヶ月	57	27.0%
1歳6か月～12か月	35	16.6%
2歳1か月～5ヶ月	46	21.8%
2歳6か月～12か月	7	3.3%
3歳1か月～5ヶ月	28	13.3%
3歳6か月～12か月	1	0.5%
4歳以上	2	0.9%
無回答	0	0.0%
合計	211	100.0%

## (2) 父親

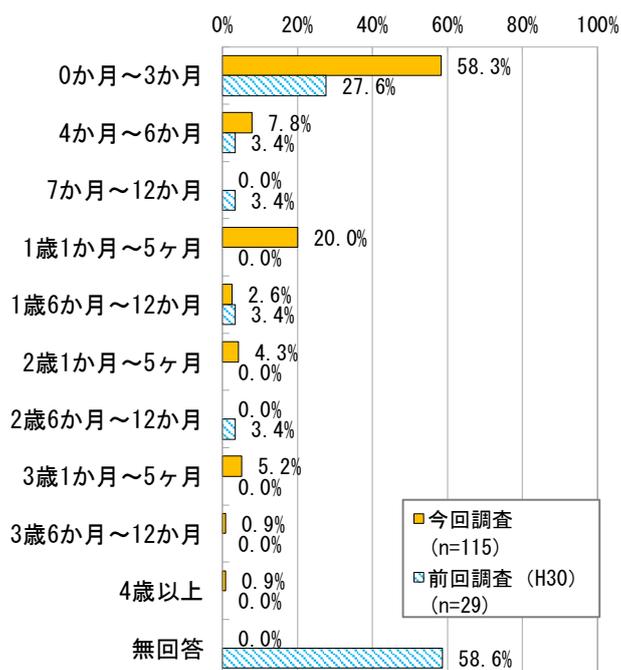
育児休業から「実際」に子どもが何歳何か月のときに職場復帰したかについては、「0か月～3か月」78.3%が最も高くなっている。「希望」する職場復帰の時期についても、「0か月～3か月」58.3%が最も高くなっている。

【職場復帰の時期（実際）父親】



項目	回答数	構成比
0か月～3か月	90	78.3%
4か月～6か月	9	7.8%
7か月～12か月	2	1.7%
1歳1か月～5ヶ月	9	7.8%
1歳6か月～12か月	4	3.5%
2歳1か月～5ヶ月	0	0.0%
2歳6か月～12か月	0	0.0%
3歳1か月～5ヶ月	0	0.0%
3歳6か月～12か月	1	0.9%
4歳以上	0	0.0%
無回答	0	0.0%
合計	115	100.0%

【職場復帰の時期（希望）父親】



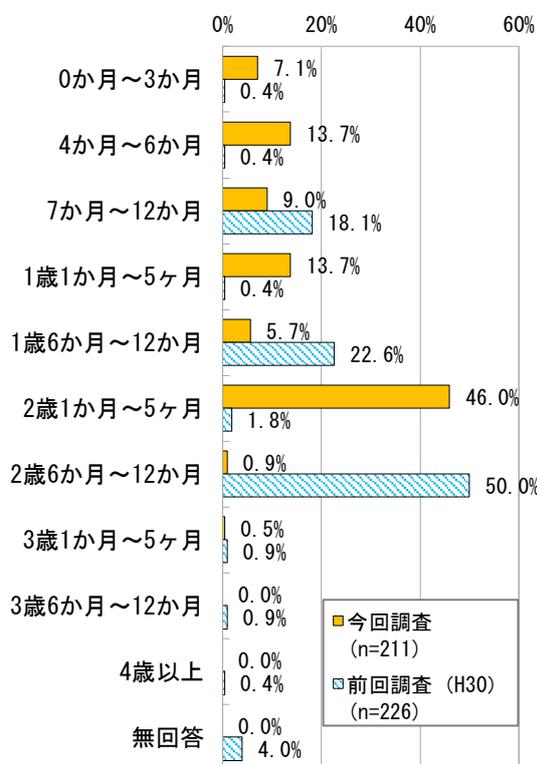
項目	回答数	構成比
0か月～3か月	67	58.3%
4か月～6か月	9	7.8%
7か月～12か月	0	0.0%
1歳1か月～5ヶ月	23	20.0%
1歳6か月～12か月	3	2.6%
2歳1か月～5ヶ月	5	4.3%
2歳6か月～12か月	0	0.0%
3歳1か月～5ヶ月	6	5.2%
3歳6か月～12か月	1	0.9%
4歳以上	1	0.9%
無回答	0	0.0%
合計	115	100.0%

問31-4 お勤め先に育児のために3歳まで休暇を取得できる制度があった場合、「希望」としてはお子さんが何歳何ヶ月のときまで取りたかったですか。

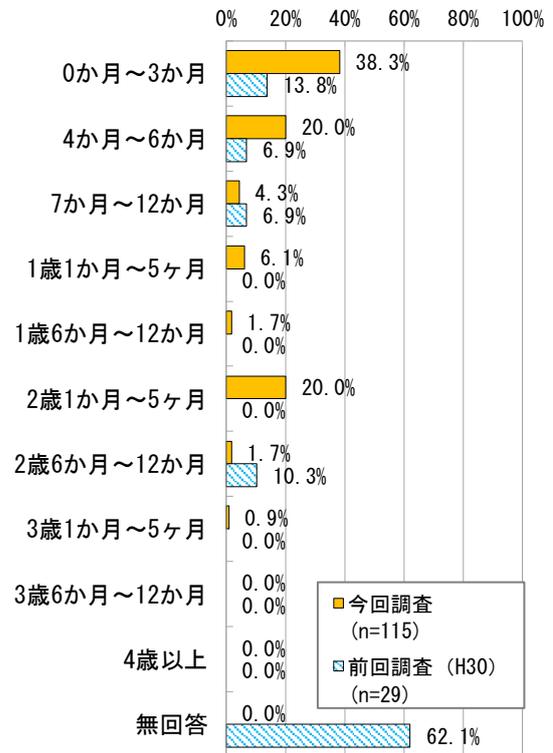
3歳まで休暇を取得できる制度があった場合に希望する職場復帰の時期について、母親では「2歳1か月～5ヶ月」46.0%が最も高く、次いで「4か月～6か月」、「1歳1か月～5ヶ月」がいずれも13.7%となっている。

3歳まで休暇を取得できる制度があった場合に希望する職場復帰の時期について、父親では「0か月～3か月」38.3%が最も高く、次いで「4か月～6か月」、「2歳1か月～5ヶ月」がいずれも20.0%となっている。

【母親】



【父親】



項目	回答数	構成比
0か月～3か月	15	7.1%
4か月～6か月	2	0.9%
7か月～12か月	5	2.4%
1歳1か月～5ヶ月	29	13.7%
1歳6か月～12か月	19	9.0%
2歳1か月～5ヶ月	29	13.7%
2歳6か月～12か月	12	5.7%
3歳1か月～5ヶ月	97	46.0%
3歳6か月～12か月	2	0.9%
4歳以上	1	0.5%
無回答	0	0.0%
合計	211	100.0%

項目	回答数	構成比
0か月～3か月	44	38.3%
4か月～6か月	8	7.0%
7か月～12か月	0	0.0%
1歳1か月～5ヶ月	23	20.0%
1歳6か月～12か月	5	4.3%
2歳1か月～5ヶ月	7	6.1%
2歳6か月～12か月	2	1.7%
3歳1か月～5ヶ月	23	20.0%
3歳6か月～12か月	2	1.7%
4歳以上	1	0.9%
無回答	0	0.0%
合計	115	100.0%

問31-5 【問31-3で実際の復帰と希望が異なる方にうかがいます。】

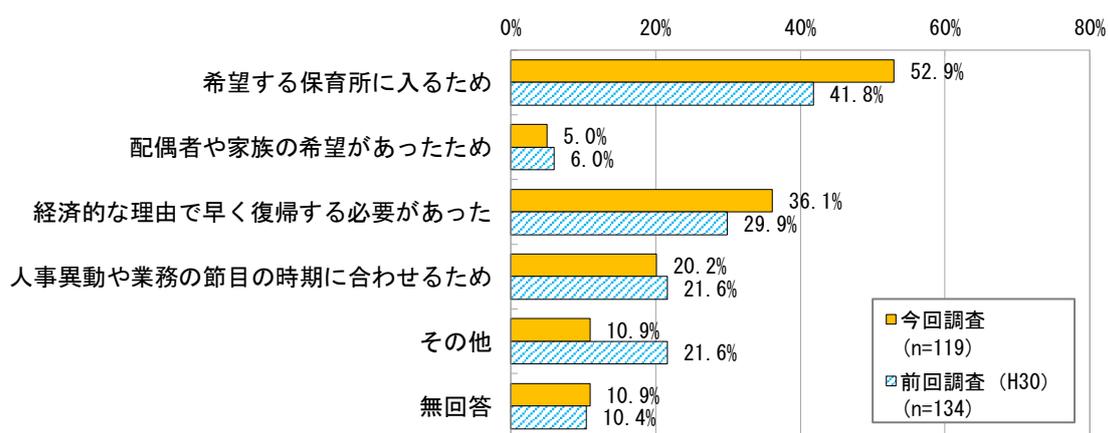
希望の時期に職場復帰しなかった理由についてうかがいます。

当てはまる番号すべてに○をつけてください。

(1) 「希望」より早く復帰した方

母親の希望の時期に職場復帰しなかった理由については、「希望する保育所に入るため」52.9%が最も高く、次いで「経済的な理由で早く復帰する必要がある」36.1%、「人事異動や業務の節目の時期に合わせるため」20.2%となっている。

【母親】



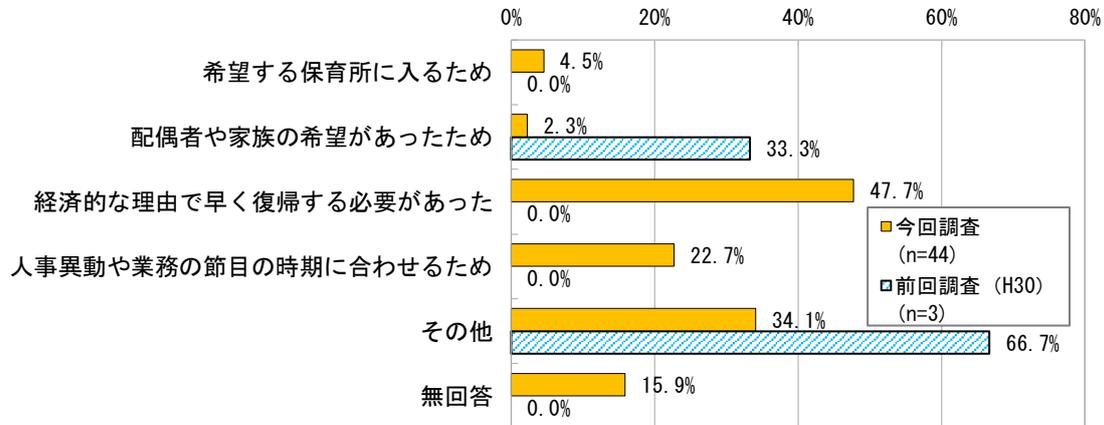
項目	回答数	構成比
希望する保育所に入るため	63	52.9%
配偶者や家族の希望があったため	6	5.0%
経済的な理由で早く復帰する必要がある	43	36.1%
人事異動や業務の節目の時期に合わせるため	24	20.2%
その他	13	10.9%
無回答	13	10.9%
サンプル数	119	-

【その他の回答】

- ・同居家族と長時間一緒にいるのが辛かった
- ・休暇が長期になると復帰が難しくなる不安があった
- ・初めての子育てで働いている方が精神的に楽だったため
- ・一年で復帰という空気が職場にあった
- ・職場に戻りづらくなりそうのため
- ・人員不足のため早く復帰するように上司から言われた
- ・育休中だと上の子の学童利用ができず、途中利用だと学童に入れるか分からないと市の人に言われたため など

父親の希望の時期に職場復帰しなかった理由については、「経済的な理由で早く復帰する必要があった」47.7%が最も高く、次いで「その他」34.1%、「人事異動や業務の節目の時期に合わせるため」22.7%となっている。

【父親】



項目	回答数	構成比
希望する保育所に入るため	2	4.5%
配偶者や家族の希望があったため	1	2.3%
経済的な理由で早く復帰する必要があった	21	47.7%
人事異動や業務の節目の時期に合わせるため	10	22.7%
その他	15	34.1%
無回答	7	15.9%
サンプル数	44	-

【その他の回答】

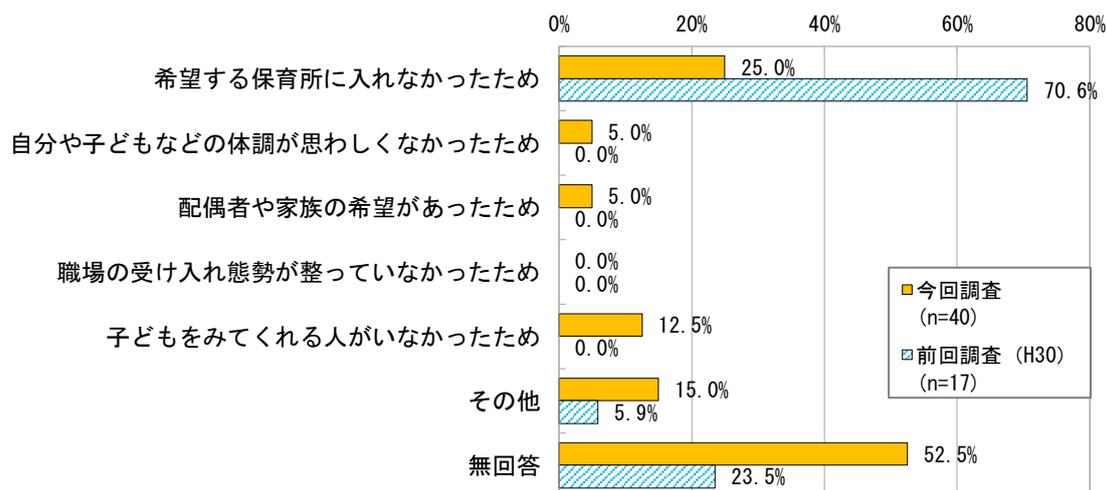
- ・会社が認めてくれなかった ・長く育休をとると周りの反応が気になるから
- ・会社が決めている日数を取り終えたため ・仕事が忙しいから
- ・職場の人員不足 ・仕事のスキルや立場のため など

## (2) 「希望」より遅く復帰した方

母親の希望の時期に職場復帰しなかった理由については、「希望する保育所に入れなかったため」25.0%が最も高く、次いで「その他」15.0%、「子どもをみてくれる人がいなかったため」12.5%となっている。

父親の希望の時期に職場復帰しなかった理由については、回答が得られなかった

### 【母親】



項目	回答数	構成比
希望する保育所に入れなかったため	10	25.0%
自分や子どもなどの体調が思わしくなかったため	2	5.0%
配偶者や家族の希望があったため	2	5.0%
職場の受け入れ態勢が整っていなかったため	0	0.0%
子どもをみてくれる人がいなかったため	5	12.5%
その他	6	15.0%
無回答	21	52.5%
サンプル数	40	-

### 【その他の回答】

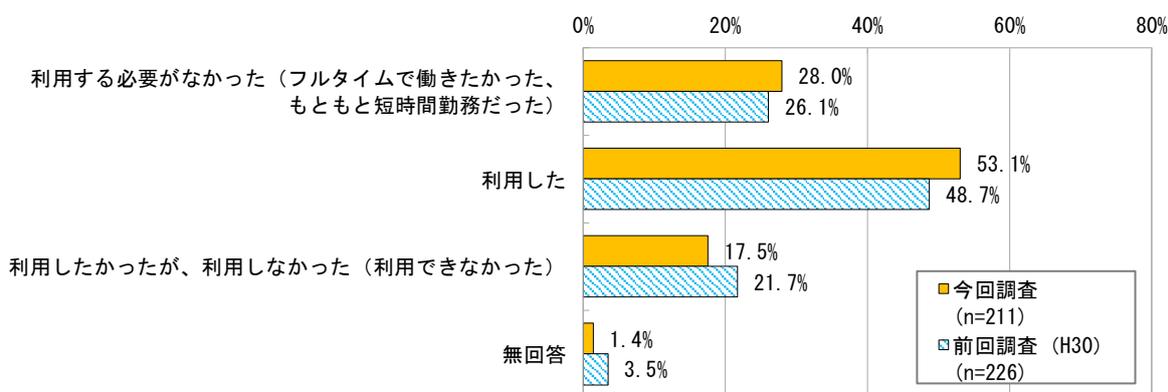
- ・ 第2子妊娠のため
- ・ 子どもの病気の事があり、手術などの予定で
- ・ 途中入園できる保育所がないと言われたため（子ども未来課にて） など

問31-6 【問31-1で「1.育児休業取得後、職場に復帰した」と回答した方にうかがいます。】  
 育児休業からの職場復帰時には、短時間勤務制度を利用しましたか。  
 当てはまる番号1つに○をつけてください。

母親の短時間勤務制度の利用については、「利用した」53.1%が最も高く、次いで「利用する必要がなかった（フルタイムで働きたかった、もともと短時間勤務だった）」28.0%、「利用したかったが、利用しなかった（利用できなかった）」17.5%となっている。

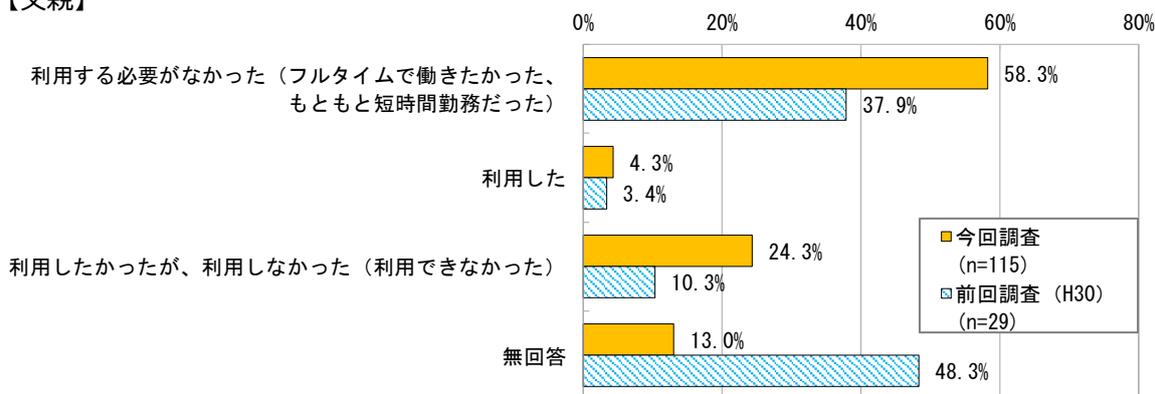
父親の短時間勤務制度の利用については、「利用する必要がなかった（フルタイムで働きたかった、もともと短時間勤務だった）」58.3%が最も高く、次いで「利用したかったが、利用しなかった（利用できなかった）」24.3%となっている。

### 【母親】



項目	回答数	構成比
利用する必要がなかった（フルタイムで働きたかった、もともと短時間勤務だった）	59	28.0%
利用した	112	53.1%
利用したかったが、利用しなかった（利用できなかった）	37	17.5%
無回答	3	1.4%
合計	211	100.0%

### 【父親】



項目	回答数	構成比
利用する必要がなかった（フルタイムで働きたかった、もともと短時間勤務だった）	67	58.3%
利用した	5	4.3%
利用したかったが、利用しなかった（利用できなかった）	28	24.3%
無回答	15	13.0%
合計	115	100.0%

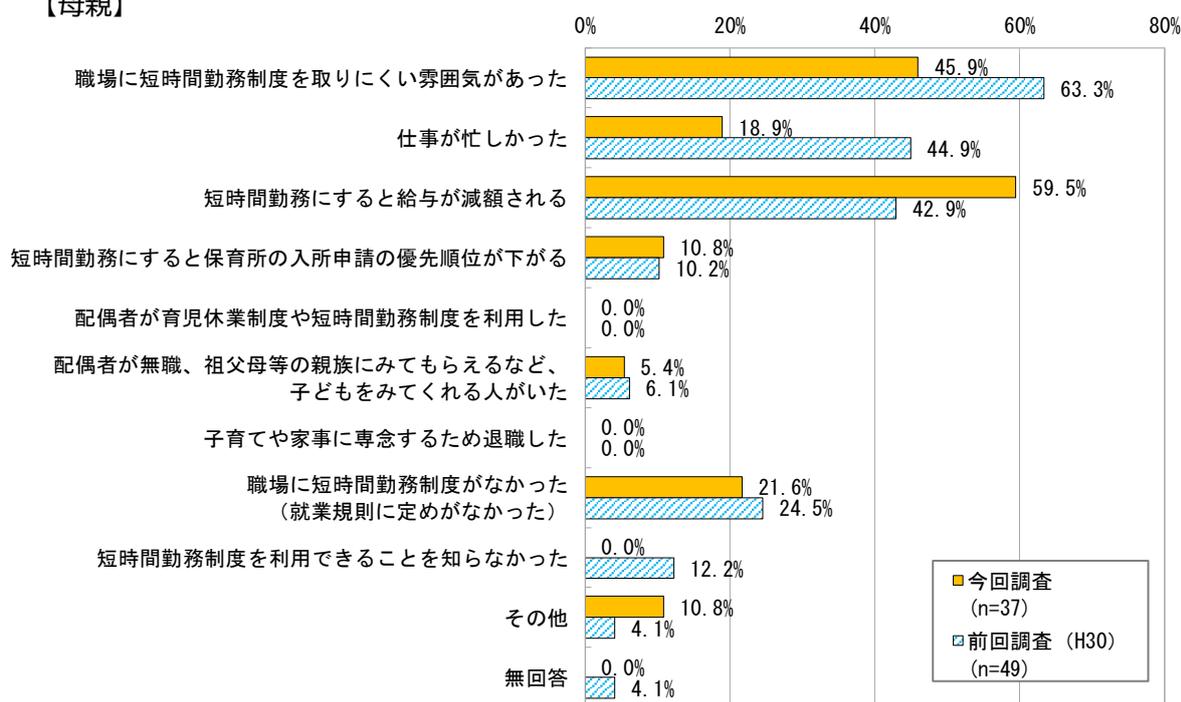
問31-7 【問31-6で「3.利用したかったが、利用しなかった(利用できなかった)」と回答した方  
 にかがいます。】

短時間勤務制度を利用しなかった(利用できなかった)理由は何ですか。

当てはまる理由すべてに○をつけてください。

母親の短時間勤務制度を利用しなかった(できなかった)理由については、「短時間勤務に  
 すると給与が減額される」59.5%が最も高く、次いで「職場に短時間勤務制度を取りにくい  
 雰囲気があった」45.9%、「職場に短時間勤務制度がなかった(就業規則に定めがなかつ  
 た)」21.6%となっている。

【母親】



項目	回答数	構成比
職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった	17	45.9%
仕事が忙しかった	7	18.9%
短時間勤務にすると給与が減額される	22	59.5%
短時間勤務にすると保育所の入所申請の優先順位が下がる	4	10.8%
配偶者が育児休業制度や短時間勤務制度を利用した	0	0.0%
配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、子どもをみてくれる人がいた	2	5.4%
子育てや家事に専念するため退職した	0	0.0%
職場に短時間勤務制度がなかった(就業規則に定めがなかった)	8	21.6%
短時間勤務制度を利用できることを知らなかった	0	0.0%
その他	4	10.8%
無回答	0	0.0%
サンプル数	37	-

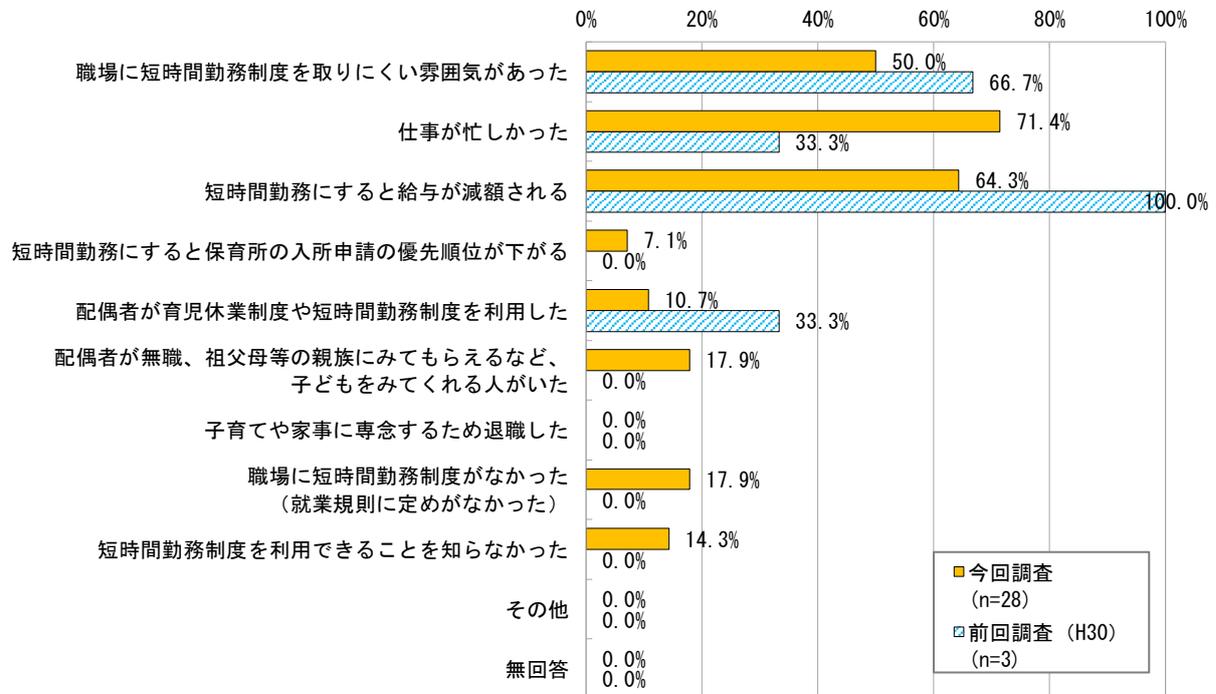
【その他の回答】

- ・ 配偶者のサポート
- ・ パートタイマーとなり、短時間勤務するより短い時間帯で働いた
- ・ 勤務時間を延長するよう、上長から半ば圧力があつた

・時短が認められていない職種だった など

父親の短時間勤務制度を利用しなかった（できなかった）理由については、「仕事が忙しかった」71.4%が最も高く、次いで「短時間勤務にすると給与が減額される」64.3%、「職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった」50.0%となっている。

【父親】

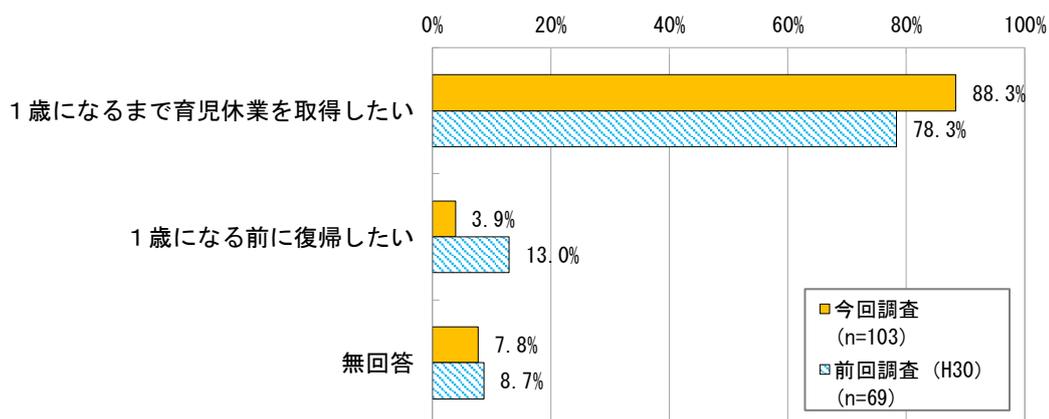


項目	回答数	構成比
職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった	14	50.0%
仕事が忙しかった	20	71.4%
短時間勤務にすると給与が減額される	18	64.3%
短時間勤務にすると保育所の入所申請の優先順位が下がる	2	7.1%
配偶者が育児休業制度や短時間勤務制度を利用した	3	10.7%
配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、子どもをみてくれる人がいた	5	17.9%
子育てや家事に専念するため退職した	0	0.0%
職場に短時間勤務制度がなかった(就業規則に定めがなかった)	5	17.9%
短時間勤務制度を利用できることを知らなかった	4	14.3%
その他	0	0.0%
無回答	0	0.0%
サンプル数	28	-

問31-8 【問31-1で「2.現在も育児休業中である」と回答した方にうかがいます。】  
 宛名のお子さんが1歳になったときに必ず利用できる事業があれば、1歳になるまで育児休業を取得しますか。または、預けられる事業があっても1歳になる前に復帰しますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

(1) 母親

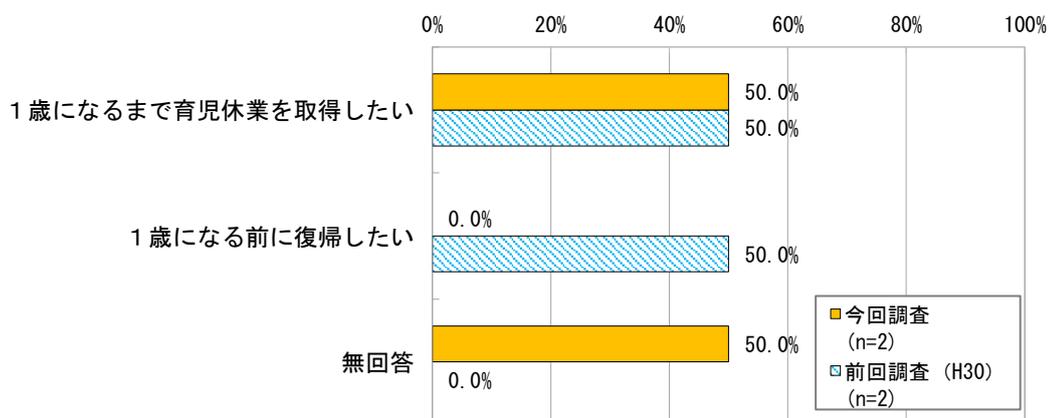
母親の育児休業取得の意向については、「1歳になるまで育児休業を取得したい」88.3%、「1歳になる前に復帰したい」3.9%となっている。



項目	回答数	構成比
1歳になるまで育児休業を取得したい	91	88.3%
1歳になる前に復帰したい	4	3.9%
無回答	8	7.8%
合計	103	100.0%

(2) 父親

父親の育児休業取得の意向については、サンプル数が少ないことに留意する必要があるが、「1歳になるまで育児休業を取得したい」50.0%が最も高くなっている。



項目	回答数	構成比
1歳になるまで育児休業を取得したい	1	50.0%
1歳になる前に復帰したい	0	0.0%
無回答	1	50.0%
合計	2	100.0%

問32 あなたのお勤め先に望む子育て支援があれば、記入してください。

## ■ 分類と回答数

分類	回答数(件)
1. 預かりに関する支援	52
2. 勤務時間に関する支援	38
3. 休みに関する支援	80
4. 金銭に関する支援	38
5. 働き方に関する支援	23
6. 育児への理解	19
7. その他	7
合計	257

## ■ 主な意見

### 1. 預かりに関する支援

- 職場に託児所がある。戻れる場所があること。子連れ出勤 OK。時短、寛容・柔軟であること。
- 職場に保育所(託児所)があるが、給食制度にしてほしい。
- 従業員が優先的に利用できる会社などが運営する子供を預けられる施設があれば良いと思う。
- 病児保育をしてほしい。
- 子供が病気などで登園できない場合、子供を預けられる託児所を併設して頂けると仕事を休まなくて済むのでありがたい。
- 子連れ出勤。
- 時短勤務が小学校就学まで可能ですが、実際には学童は小3以降入れないとききます。子供の安全を考えると小学校卒業まで時短可能にしないと、女性が離職するしかないのでは、と思います。近くに預けられる人がいる人ばかりではありません。乳児～幼児期の保育だけでなく、学童も充実させてください。

## 2. 勤務時間に関する支援

- 短時間勤務制度が3歳の誕生日までしか取得できず、せめて小学校1年生まで取得できると、仕事と子育ての両立が取れると思う。ワンオペ育児の人はフルタイムは本当にきつい。世の中がもっと仕事と子育ての両立を取れるシステムになってほしい。
- 時短勤務の年齢制限をなくしてほしい（高校生まで可など）。
- 小学生以下の子供を育てる職員は就業時間が一定で残業なしで帰れるようにしてほしい。
- 時短勤務の時期を選べれば良いと思う。小学校入学後も使えるなど、小1の壁という言葉があるくらい、入学後の預け先がなく不安があるかもしれない。
- 正社員として時短勤務ができるとありがたい。

## 3. 休みに関する支援

- 育児休業の取得のしやすさ。収入の補償。復帰後の昇進等に影響が出ないこと。
- 子供が病気の時に休みを取りやすい環境。
- 学校が休みの日には休みたい。
- 男性でも育休の取得しやすい環境になってくれると嬉しい。子育てに協力的な会社であるという市や県からの評価があれば、若い子育て世代の求人のアピールポイントになると思う。
- 看病休暇、育児時短、育児休暇、時間休暇がほしい。子供が小さくても働ける場所を増やしてほしい。出来ればやりたい仕事をして子供たちを育てていきたい。
- 産休や育休期間がもっと長ければ仕事を辞めずに済んだと思う。
- 子育て休暇（1人目年7日、2人目年10日）があるが、2人いると発熱等であつという間に10日使い切る。倍の14日に増やしてほしい。
- 子供の体調不良の時は気にせず休んで看病に専念したい。
- 行事や子供の体調が悪くなった時に普通に休める職場。
- 誰でもきちんととれる育児休業制度。
- パートでの子供の看護休暇(有給)がほしい。
- 看護休暇を小学校就学前から小学校3年生修了まで延長。
- 出席停止の病気の時に、休暇制度があると良い。
- パートでも育休がとれ、時短ができる。
- 育児休業を取ってもキャリアに影響しないほしい。また、祝日を休みにしてほしい（保育園に預けられないので）。

## 4. 金銭に関する支援

- 保育園（こども園）に入ると、慣らし保育や病気、呼び出しなどがあり収入減となる。コロナやインフルといった登園まで待機が必要な病には、補助がほしい。
- 育児休業給付金の給付率100%。
- 短時間でも基本給が継続されると嬉しい。

- 産休育休で給料が減額は辛いです。お金がないので2人産むのが限界です。というか、今後育てていけるかなとも思います。
- 手当が少ない。
- 自分が早退などをして仕事を他の人に任せる時、周りの人にも少しお金が出れば働きやすくなりそう。

## 5. 働き方に関する支援

- フレックスタイム制、テレワーク、出勤日はフルで働く代わりに、週5ではなく週4の出勤など、もっと自由に働く時間を選べると有難い。
- 病児保育所の設置。全ての就労体系においてテレワーク可。給与保障制度。
- 3歳まで育休取得ができる。3歳まで在宅勤務メイン。
- 産休育休が終了後は在宅勤務で復帰する約束でしたが、反故にされ、離職せざるをえませんでした。全体的に在宅勤務を取りやめたためだそうですが、在宅で復帰できるのが理想でした。
- 職場復帰の時は部署異動ではなく、もとの部署のままにしてほしい。
- 夜勤をしなくてよい。日勤のみでも正職で雇ってほしい。
- リモートワーク。週休3日制。育児を理由とした短時間勤務は合理的な理由があれば時間の制限なく取得でき、給与は減額がない。子の看護休暇(5日)は少ないので、証明するものがあれば無制限にしてほしい。子の看護休暇で複数の子がいる場合、上限が厳しくなるのがおかしいので改善してほしい。
- 人員が少なすぎて、病気で休むのさえ抵抗がある会社なので、管理職では無理だと諦めている。

## 6. 育児への理解

- 遅刻や早退などしやすく、急な体調不良の際などの休み易さ、周りの理解やお互いの協力する思い。
- 男性でも育休の取りやすい会社が増えてほしい（夫が育休取得の際に悪口や嫌がらせを受けた為）。
- 
- 育児休業をとりにくい雰囲気強い。経済的な不安が強い。育児中にサポートをするという雰囲気がうすい。妊娠中の支援がうすい(時短など取りにくい、つわりなどで休みづらい)。
- 子供のカゼなどの病気で仕事を休まなければならない時、嫌な顔せずに対応してほしい。
- 育児休暇が取りやすい会社、そして社会全体がそうなるような仕組みをさらに作ってほしい。少しのお金だけでは子供は増えていきません。
- 男性でも育休をとるのが当たり前の社会になってほしい。
- すべての人が育休をとれる環境。復帰時に給与、働き方等条件面で配慮してもらえる支援。

- 現在育休を取得させてもらって1年1か月経過しているが、1年の区切りの際など電話面談などの機会がまったくなく勤務先の環境も分からない状態で不安しかない。給付金の申請も不定期で休んでいても安心できず子育てに集中できない。短時間勤務、建前としてのリモートワーク制度はあるが、独身の方が多いため、あまり理解が得られないように感じた。制度はあっても実際に気兼ねなく使えていないと感じる。
- 現在勤めている職場は育休をとりづらい雰囲気の中で精神的に辛かったです。結局、人が足りているということで育休が終了したら退職することに決まりました。次の職場では子育てに理解のあるところだと良いなと思います。
- 子の事情で仕事を休む際、陰口を言われたり非難されたりすることがないように、規則で定めてほしい。
- 子育て支援の制度を周知徹底できるよう、世の中が変化するような働きがなければ勤め先には何も望めない。

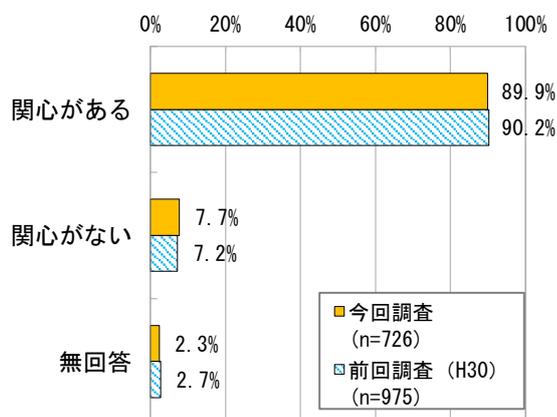
## 7. その他

- ベビーシッター券の支給。
- 子育て支援の制度的なものは充実しているが、それを実行するための資金や人員が足りていない状況がある（福祉業界）。
- 人材不足の改善。
- 短時間勤務（6時間）でもフルタイムの時と業務量が同じだったので、そこをカバーできる人材の確保。

## 12. 児童虐待について

問33 あなたは児童虐待について、関心をお持ちですか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

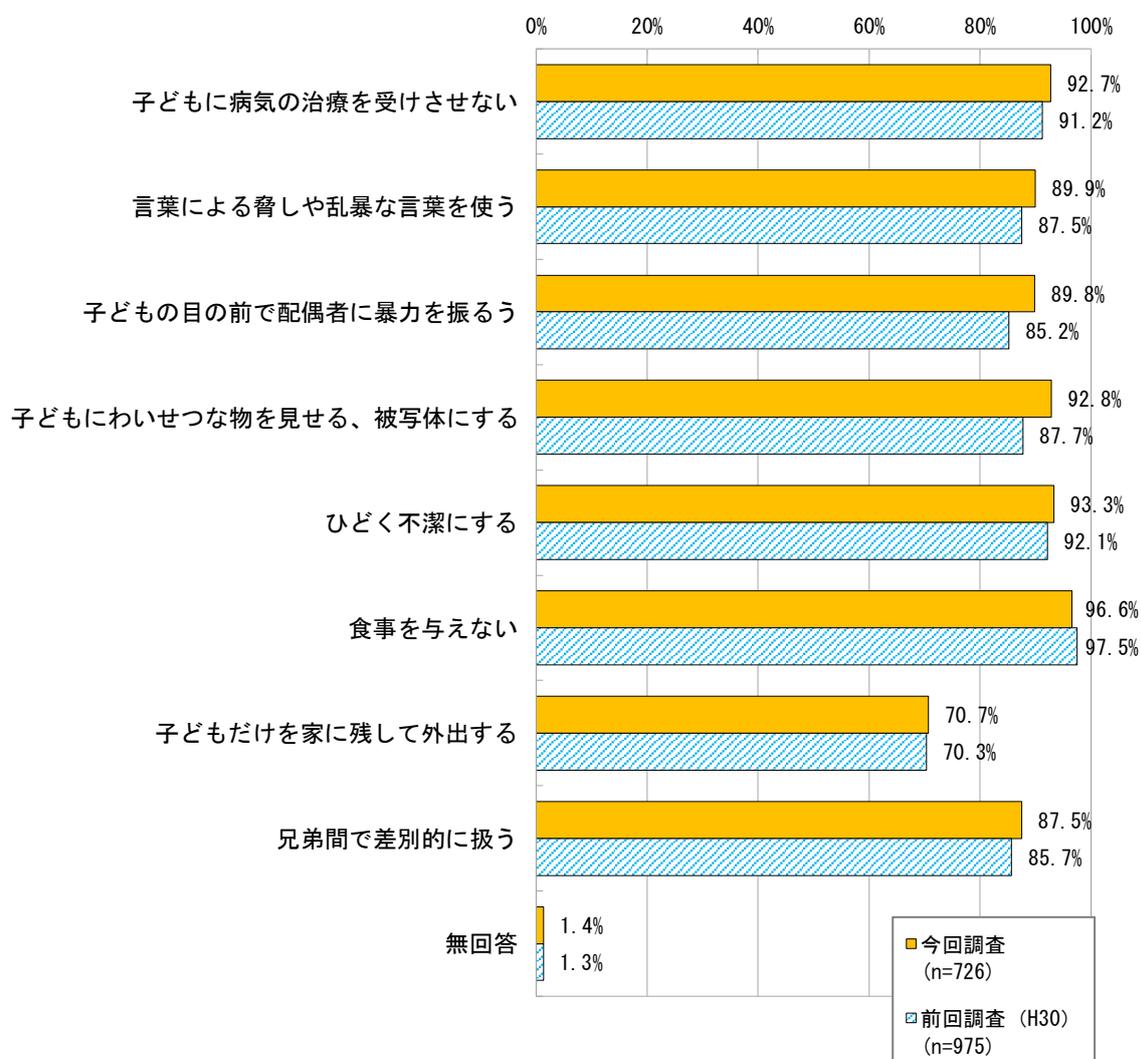
児童虐待への関心については、「関心がある」89.9%、「関心がない」7.7%となっている。



項目	回答数	構成比
関心がある	653	89.9%
関心がない	56	7.7%
無回答	17	2.3%
合計	726	100.0%

問33-1 あなたが児童虐待と感じるものは何ですか。  
 当てはまる番号すべてに○をつけてください。

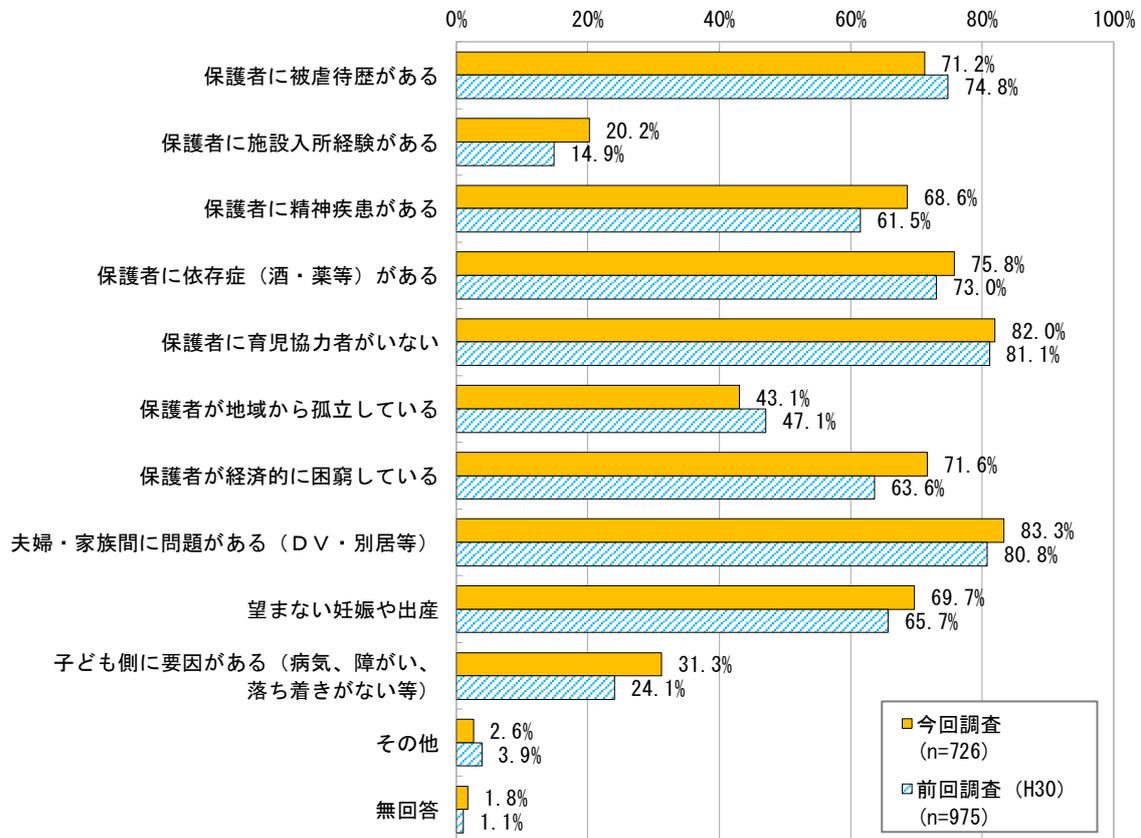
児童虐待と感じるものについては、「食事を与えない」96.6%が最も高く、次いで「ひどく不潔にする」93.3%、「子どもにわいせつな物を見せる、被写体にする」92.8%となっている。



項目	回答数	構成比
子どもに病気の治療を受けさせない	673	92.7%
言葉による脅しや乱暴な言葉を使う	653	89.9%
子どもの目の前で配偶者に暴力を振るう	652	89.8%
子どもにわいせつな物を見せる、被写体にする	674	92.8%
ひどく不潔にする	677	93.3%
食事を与えない	701	96.6%
子どもだけを家に残して外出する	513	70.7%
兄弟間で差別的に扱う	635	87.5%
無回答	10	1.4%
サンプル数	726	-

問33-2 児童虐待が起こる原因について、あなたのお考えに近い番号すべてに○をつけてください。

児童虐待が起こる原因については、「夫婦・家族間に問題がある（DV・別居等）」83.3%が最も高く、次いで「保護者に育児協力者がいない」82.0%、「保護者に依存症（酒・薬等）がある」75.8%となっている。



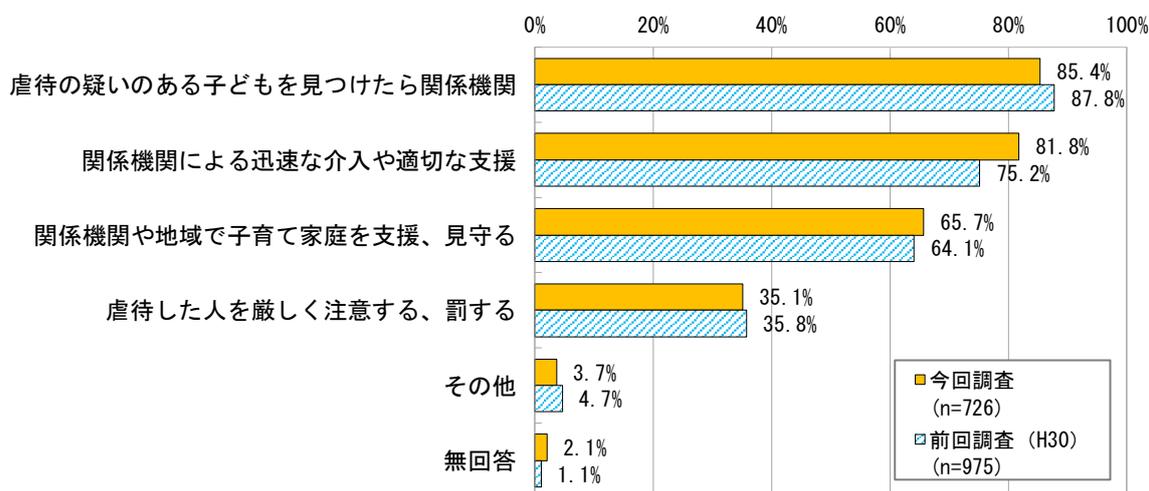
項目	回答数	構成比
保護者に被虐待歴がある	517	71%
保護者に施設入所経験がある	147	20%
保護者に精神疾患がある	498	69%
保護者に依存症（酒・薬等）がある	550	76%
保護者に育児協力者がいない	595	82%
保護者が地域から孤立している	313	43%
保護者が経済的に困窮している	520	72%
夫婦・家族間に問題がある（DV・別居等）	605	83%
望まない妊娠や出産	506	70%
子ども側に要因がある（病気、障がい、落ち着きがない等）	227	31%
その他	19	3%
無回答	13	2%
サンプル数	726	

【その他の回答】

- ・ 周囲からの嫉に対する指摘
- ・ 再婚
- ・ 子どもに関心がない
- ・ 心に余裕がない
- ・ 夫婦で思いやりのズレ
- ・ 育児や親のケアについて学ぶ機会がなかった
- など

問33-3 児童虐待を防止するために必要なことについて、当てはまる番号すべてに○をつけてください。

児童虐待を防止するために必要なことについては、「虐待の疑いのある子どもを見つけたら関係機関」85.4%が最も高く、次いで「関係機関による迅速な介入や適切な支援」81.8%、「関係機関や地域で子育て家庭を支援、見守る」65.7%となっている。



項目	回答数	構成比
虐待の疑いのある子どもを見つけたら関係機関	620	85.4%
関係機関による迅速な介入や適切な支援	594	81.8%
関係機関や地域で子育て家庭を支援、見守る	477	65.7%
虐待した人を厳しく注意する、罰する	255	35.1%
その他	27	3.7%
無回答	15	2.1%
サンプル数	726	-

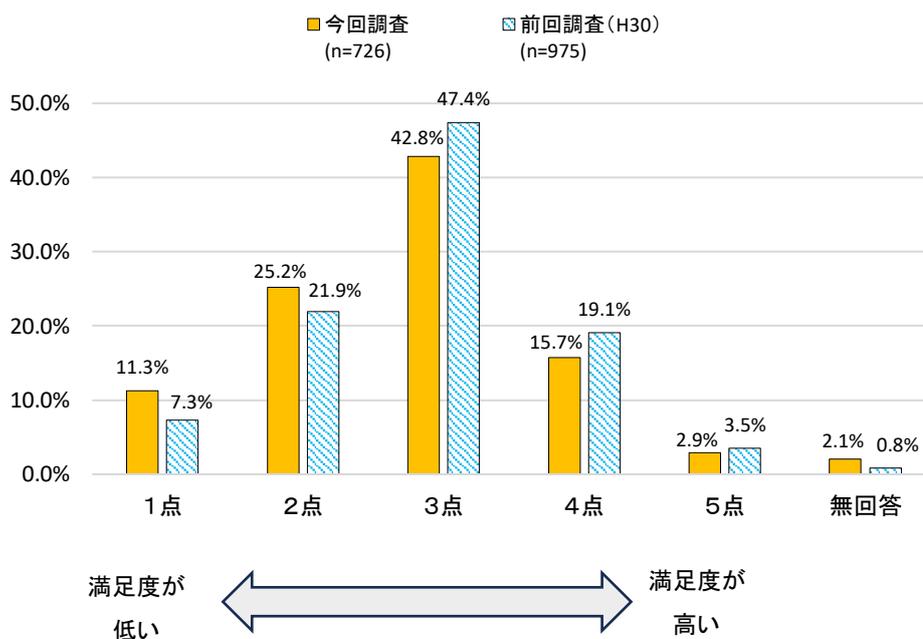
【その他の回答】

- ・ 何に悩んでいたのか等、虐待をした人の話を聞く
- ・ 全てを母親の責任にしないこと
- ・ 虐待した人の保護、教育
- ・ 子育てにまつわる制度や保障の充実
- ・ 子供が逃げてこれる場所
- ・ 2～4か月の時点だけでなく定期的な家庭訪問の実施
- ・ 虐待親にバレずに通報しやすい仕組み
- ・ 子どもと離れる時間を作る
- ・ 共働き、1人親で働いている人へのサポート など

### 13. 行田市の子育ての環境や支援について

問33 お住まいの地域における子育ての環境や支援への満足度について、当てはまる番号1つに○をつけてください。

行田市の子育ての環境や支援への満足度については、「3点」42.8%が最も高く、次いで「2点」25.2%、「4点」15.7%となっている。



項目	回答数	構成比
1点	82	11.3%
2点	183	25.2%
3点	311	42.8%
4点	114	15.7%
5点	21	2.9%
無回答	15	2.1%
合計	726	100.0%

問34 最後に、教育・保育環境の充実など子育ての環境や支援に関してご意見がございましたら、ご自由にご記入ください。

■ 分類と回答数

分類	回答数(件)
1. 行政の施策、対応等について	110
2. 子育ての施設や環境等について	86
3. 保育・教育施設、学童、一時預かり等について	48
4. 学校・教育について	9
5. 経済的な支援等について	68
6. 地域における子育てについて	1
7. 子供の安全・安心について	5
8. 就労環境、職場等について	9
9. 医療、病院、病児保育等について	17
10. その他	13
合計	367

## ■ 主な意見

### 1. 行政の施策、対応等について

- 子育ての事で相談する所が分からなくて子供未来課に相談したが、「親が悪い」ということを言われた。市外の子供未来課へ同じことを相談したら、親身になって話を聞いてくれ、「親が悪い」と言われたことを話したら、対応が悪いと言われた。行田に引っ越してきて後悔している。子供未来課の発言や対応を考えてもらいたい。
- 子育て支援の行事が平日ばかりで参加しづらい。3歳児健診等は仕事を休んでいくが、歯科検診や自身（親）の為の健診等には休みを取って行きにくい。
- 子育てにまつわる事業の情報が入ってこない。どんなときにどんなサポートが受けられるのか、相談先をもっと分かりやすくしてほしい。
- 近隣の市では子育ての関する制度や保障が充実しているように見られます。2人出産しましたが、市からはよくわからないキャラクターのタオルをもらい、なんだろうと思いました。行田市の人口も減っているようですが、余計なことに財源を使わずに見直した方がいいと思います。元明石市長のように。
- 第一子の時は静岡県藤枝市で子育てをしていました。その時には保育園すべてに未就学園児(3歳未満)を対象とした支援センターがあり、日中過ごすことができました。生後6か月になる前の間に何十時間か無料でサポートを受けられる事業もあり、一緒に通院や自宅での育児、離乳食作りなどで利用しました。行田市に引っ越してきて、子育てに関する事業が充実していないなど感じました。地域性もあるとは思いますが、身近に祖父母などの親族がいない方にとっては厳しい環境なのかなと思います。
- 幼稚園入園前まで、二人以上の子供家庭への支援が少なすぎる。夫や両親のサポートを得られない人も沢山います。経済的な問題も大きいでしょうが、サポートサービスが増えれば出産率はあがると思います。子供が沢山ほしい人はいっぱいいます。ただサポートがないので諦めている方も多いです。また、行田市はファミサポがおそまつすぎます。何度か電話しましたが「サポート館員がいない」と言われました。それではサービスを受けられません。会員がいないのであれば増やす努力はされているのでしょうか。形だけのファミサポなら必要ないと思います。ほかのサービスを検討してください。交流会などやっている場合ではないと思います。「あおい」に関しては職員の方の役割が不明です。白髪のおばあちゃん先生は、出てきて声かけもたくさんしてくださいますが、他の職員の方はほとんど1時間職員のお部屋にいます。時々消毒の時間に遊び場に出てきて「子供をよくみてください。」「線から外で遊んでください。」と注意をするだけ。支援センターなら、遊び場においてママやパパや子供に声かけし、ちょっとした相談や日常の話などコミュニケーションをとるべきではないですか？子育ては孤独です。ちょっとした声かけが救いの一言になることは沢山あります。こういったアンケートで意見を募ってくださってありがとうございます。子育てしやすい・子供が増えていく、そんな状況になることを切に願っています。自分や周りの子育て家庭の方のためだけでなく、これからパパママになっていく若い世代のためにもどうぞよろしく願いいたします。

- 今後の行田市の小中学校合併計画に関心があるので、具体的に”〇年に〇〇小合併”など予定を一度提示してみたいです。合併を急ぐ必要性はないと思います。
- 子育ての相談窓口が本当にあるのでしょうか？どこの窓口も全体を把握できていないと感じます。児童デイサービスを利用しようとした際にどこの施設が良いのか全く分からず結局自分で1つずつ見学でまわって利用するまで一苦労でした。子育てに関するサービスをまとめて知る部署が必要だと思います。もっと羽生や熊谷から勉強してください。また小児科病院の少なさ、緊急課題だと思います。子供の発熱時に行ける病院がありません！！
- 毎年病児保育の案内チラシを頂きますが、車がないといけない距離で、いつも断念しています。1歳半健診の保健センターも遠い上に近くにバス停がないので行くのが大変でした。バスの1日の本数もかなり少なく。どこへ行くにも苦労します。公共交通期間を充実してくださると暮らしやすいのにと、いつも思っています。
- 伴走型の子育て支援を謳っていますが、産後の助産師訪問ではマニュアル通りの事しか言わず大量の案内用紙を置いて行かれ、支援とは名ばかりの訪問営業にあった気分でした。相談に乗らないのなら訪問の有無を希望制にしてほしいです。かかわりを持ちたくて母親が慣れない乳幼児を連れて子育てセンターなどへ外出しても、ただ場所を開放しているだけではコミュニティは築けず、行くことそのものを辞めてしまう人も少なくないと思います。頑張って足を運んだところで一時間以上こどもに泣き叫ばれば、母親は外出したがらなくなります。その時に声をかけてくれたり、その後のサポートまでしてくれる素振りは全く見られませんでした。「大変よね」と言われるのには聞き飽きます。サービスが行届かないのであれば利用価値はありません。小中学校の給食費を無料にいただいた方が余程助かります。出産祝いのコゼニちゃんのタオルも要りません。誰が使うのを喜ぶのか疑問です。他の市はもっと喜ばれる物を送っているのに、そこにコゼニちゃんのタオルをつかって市のキャラクターの営業(PR)をしているだけです。全然嬉しくないです。
- 0～2才の保育料を無料にいただいたこと、本当に感謝しています。ありがとうございます。行田市の未来に希望を抱くことができました。時々「行田市が考える子育ての枠の中には「フルタイムで働く母」のことは想定されていないのだと感じることがあります。女性がキャリアをつみやすい社会ができるといいなと思います。また、学校(見沼小)が作る案内文書が分かりにくくて苦痛です。「代々行田に住んでいるのだから説明しなくともわかっていて当然」と思われることが多く、ママ友の情報を集めてなんとかなることも多いです。これだと知り合いの居ない人はやっていけないと思います。新しい市民を増やすには、「暗黙の了解」をなくしていくことが重要と考えます。
- アンケートを出す以前に子供未来課の対応が悪いので考えてほしい。色々聞くと嫌な態度をされたので何も聞けない。子育て支援に取り組むなら私達は何も分からないのでちゃんとした対応をしてほしい。何の為に子供未来課があるのですか？対応が悪いなら子育て支援に取り組まないでほしい。
- 今回送付いただいたアンケートは子供が生まれてからの制度がメインのようだが、実際には妊娠が分かった時から子育ての準備も含めて当事者は始まっています。特に行田市は生まれて30年近く住み育って来ましたが、自分が大人になってから不便を感

じることが多く、産婦人科病院はないし。ここ1年で産前産後事業も出てきましたが初めて経験するにはもの足りなく感じました。育児中の支援については、まず健康診断が4か月の次が1歳6か月は間が空きすぎるので、他の市でもあるような10か月にあると嬉しいです。支援センター、保健センターに自ら行けば測定や相談は可能ですが、うちは頻繁に病気にならないのでそのような機会がないと医療専門家とお会いする機会がありません。予防接種の際はあまりそういった療育の話はできませんでした。実際の支援でいうと手当などお金でなくてもミルクやオムツ、少しでも支給があるだけで生活の安定さがまったく異なります。

- 保育園入園を希望している場合、親が希望する園に必ず(またはそれに近い確率で)入園出来るようにしてほしい。保育園が実際に子育てをしている家庭が多く住んでいる地区(太井、持田)に少なく利便性が大変悪い。障がいや病気を持つ子が教育保育機関に通いやすくしてほしい。民間の学童や幼稚園に対し市からもっと支援して事業の充実をはかってほしい。小学校でのPTA活動地域の子供会などでの親の負担を軽減してほしい。子育て支援の充実を図るため子供未来課の人員を増員し、新しい事業を行えるようにしてほしい。
- 教育や保育、子育てに関するサービスなどをまとめたサイトだったり、ラインなどを活用したりして、もう少し分かりやすく使いやすくなると良いと思う。電話やラインなどで相談すると、それに応じて適したサービスなどを教えてくれるコンシェルジュ的な窓口があると良いと思う。行田邦子市長さんは子育てについて、いろいろと考えてくれてありがたい。子育て世代にとっては希望が持てるし、期待しています。
- 他県から来た人は全く分からない(どこの幼稚園が良いかなど)ので、サポートしてほしい。あと、この回答をスマホからできるようにしてほしい。
- 長時間(11時間)保育で認定されて入所しても「小さいから、かわいそうだから」等の理由で早く迎えに行かざるを得なくなり、予定とは違う勤務状況になってしまいます。保育園の特色と言えばそれまでだが、市として統一してほしい。
- もう少し市をあげて何かやってほしい。例えば、自転車教室や土日に親子で参加出来るようなイベント等。
- 配偶者以外に頼る人(気軽に)がいない場合の受けれるサポートが少なすぎます。配偶者が育休を取れる会社でない(助成は取れる。職種でとれない)ため、孤独な育児でした。保健センターの方に相談したりしましたが、「今だけ」と言われ、0~3歳あたりの未就学児をみてもらえる所が一つも無く、非常に辛かった。主人の地元で仕方なく住んでいますが、実家の方が田舎ですがよっぽどサポートが充実しています。病院も少ないので、子供が発熱以外の重病の時は電話をかけまくるしかなく、助けてくれる人は誰もいないということを思い知らされました。産後鬱の様な症状でも病院もわかりませんでした。男の人に(パパ)産前産後の母体や母子の身体、精神的なところについての何か(半強制ぐらいのもの)がないと分からないと思います。パパママ教室も平日ばかりで土日休みの日とは参加できません。
- 他県から夫の実家がある行田に仕方なく転居してきたが、子育ての環境、何も無い、知り合いもいない。諦めて、何も望まなくなった。田舎すぎて豊かでない。
- 子供医療の無償化など助かっている支援も多くありがたいですが、利用しにくいと思う点があります。病児病後児保育に関して利用する施設の数や受け入れる人数に限り

があるので、いざという時頼めない、頼みにくいと感じ利用できずにいます。サイトなど一括で、それぞれの施設の空き状況を確認でき、申込みできるとありがたいです。

- 一度に多く調査、的が絞れてないこと。回答時間、子育て世代を考慮すべき点の配慮に関して疑問、非効率で有益な結果をもたらすか、アンケートの質が良くなかった。

## 2. 子育ての施設や環境等について

- 他市で子供の習い事サークルに入った。行田市でも、英会話や工作、料理、空手、体操といった公民館施設などで子供の習い事があつたら嬉しい。子育ては楽しくやれたらと思うが、ママ友が少ないと情報を集めるのも大変なので、気軽に足を運べる場がほしい。
- 結婚、妊娠を機に行田に移り住んだ。子育て支援に対する特別な取り組みはなく、公園や児童館も少なく、子育てをしたいと感じる場所ではない。公園や児童館を増やし、整備してほしい。公園が年寄折の集まりにより、利用しづらい雰囲気なのも怖い。
- 子供が遊べる環境が少なすぎる。公園の数一つにしても他の市より少なすぎる。こういうところで、いくつぐらいの年の子が遊べる場を用意しているなど知らせる所がない。他の市のように、きれいな室内の児童館がない。子育てする中で不安な事が多すぎる。不安がなくなるように、色々発信してほしい。広々遊べる遊具のある公園を造ってほしい。いつも他市に連れて行っている。
- 雨の日でも子供が遊び楽しめる場所がほしい。「あおい」は室内が狭く、0歳～の使用の為、0～2歳と3～6歳の子が同じ空間で遊ぶ際、危ない事が多い、児童センターも体を動かして過ごせる物が少ない。
- 子育て支援センターについて、利用前に毎回住所や名前、時間を書くのが大変である。小さい子供がいるのだから、利用カード等を作り、バーコードで管理するなど簡素化してほしい。
- 未就学児が遊べる施設が少ない。あつたとしても小規模で、ハイハイの子から走り回る子までが区切りなく一つの部屋で遊ぶので、危ないと感じる。また、曜日や時間帯の制限が多く利用しにくい。公園の遊具が少ないので、増やしてほしい（特にバスケット型ブランコ等、未就学児が遊べるもの）。きつぷらざあおいのイベントや、図書館の読み聞かせ会など、Webで日程を見れるようにしてほしい。
- 市内の公立保育園は設備が古すぎる。JR駅前の方に大きな保育所をつくったらどうか。また、子供が遊べる大きな公園（池や水遊びができる所、大きな遊具など）を造ってほしい。小さい、もしくは中途半端な大ききの施設しかない。今まで2回アンケート（町づくり）に答えてきたが、何も変わっていない。やる必要はあるのか？
- 現在利用している「たんぽぽ」だが、2ヶ月に1回というペースなので、1ヶ月に1回ぐらいのペースで開催してほしい。子供を完全に預けて大人同士で意見交換ができるという時間は、育児をしている親にとって貴重である。
- 先日、公園で自転車に乗る練習をしていたところ、「公園の自転車の乗り入れは禁止だ。」と注意を受けた。道路で自転車の練習は出来ない（車が通るため）し、他の公

園まで行けない（車に乗れない為）し、どこで練習させるべきか分からない。グラウンドゴルフ等で利用するときには轍が邪魔だというなら、その人たちが整備し、子供の遊び場や練習する場を奪わないでほしいと切に思った。何もない公園は練習するのに有難い場なので、改善を願う（雨の日やぬかるんでいる時の乗り入れは禁止等に変更）。

- 公園、遊び場（コミセンなどエアコンが壊れている）。プールも故障、じゃぶじゃぶ池などもない。子育てが楽しめる行田になってほしい。子供と市外へ行って遊ぶ事が多い。楽しい公園遊び場がない。プールも、グリーンアリーナのプールもなくなり、残念である。
- 通学路の安全（ガードレールや事故防止柵など）を整備してほしい。健診後の電話サポート、幼稚園の満3才入園は助かります。（預かり保育も）仕事をしていると平日は子供の保育が安心してできるところが一番必要だと思います。土曜日など兄弟一緒に預けるところがあるといいなと思います。
- 令和6年度当初予算の主な取組で市内全幼稚園へのALT派遣とあったが、保育園にも拡大してほしい。子供が楽しめる公園が増えてほしい。徒歩圏内に一つあるとうれしい。「あおい」は年齢制限があるため小学生になると遊べないので。
- 子供が遊べる施設や公園等、子供を遊ばせながらランチができるような場所がもっとあったら助かるなと思います。
- 行田市内の地図を見た際に秩父鉄道の線路より上にコンビニはあるが、スーパーがファミリーマートしかないのでスーパーを作ってほしい。例えば行田市駅北口前に家族葬専用会場ファミール行田がある。斜め前の大きな空いている土地にスーパーができれば便利だと思う。
- 公園の環境が良くない（ゴミや動物のフンが多い）。遊具で遊ばせたくても、自分の子供より大きい子（小学生、中学生）が占領していることがあり遊べない。大きい遊具がある公園があれば良いのと思うことがある。物価高の影響が少しあるので、市独自で給付金をしてもらえたらありがたい（児童手当に上乘せしてほしい）。若い人が子育てしたいと思われる市にしてもらいたいと思いました（子供達が大きくなった時にこの市で子育てしなさいとは今のところ言えない）。
- 大小関係なく公園など子供が利用する場所の管理をしっかりしてほしい。修理されず、カラーコーンを置いてあるだけの危険な場所など目に付く。
- 持田保育園から道路に出る際、見通しが非常に悪いので、ミラーを設置してほしいです。

### 3. 保育・教育施設、学童、一時預かり等について

- 学校内の学童保育を利用したいのだが、毎週土曜日でも利用できるようにしていただきたい。夫も私もサービス業なので、土曜だけでも学童保育を利用したい。土日祝日お仕事の親への負担をもっと軽くしていただきたい。平日お仕事の方と平等にしてほしい。
- 3歳未満の保育の無償化について、同じ3歳未満という条件にも関わらず、満3歳児クラスが対象外であることに納得がいかない。保育園の入所が難しく、幼稚園の満3歳児クラスを利用して仕事をしている人はたくさんいる。不公平だと思う。それなら、保育園の待機児童の解消に力を入れてほしい。一部の人しか得をしない制度の価値が見出せない。また、多子世帯は保育料無料なのに、この制度のせいで倍率が上がり、働きにくく、多子世帯が軽視されている。少子化に貢献しているのだから、その点優遇してほしい。
- どの時期、どの年齢であっても希望の保育所に入所できるようにしてほしい。
- 子育て中はとにかく時間がないので、提出書類をもっと簡素化してほしい。子供が通っている保育園は、親が育休中の場合は長期休みの間預かってもらうことができない。その為、休み明け1ヶ月程元のリズムに戻るまで子供の行き渋りに悩まされ、親も子も精神的にとっても疲弊する。また、休みたくて休んでいるわけではないのに、保育料は変わらず引き落とされることについても納得できない。市に問い合わせてもその保育園での決まりだからと言われたが、本当にそうなのだろうか？普段から家でみているなら良いのだが、普段は保育園で預かってもらっている子供が1か月間ずっと家にいて、生まれたばかりの子供の面倒もみるのは、親にとってもとても負担である。どうかこの事について良い方向に進めていただきたいと強く願う。
- これから学童に通うのだが、上の子も学童を利用しており周りのお母さんたちともよく話しているのだが、学校の長期休みの学童での昼食がお金を出しても良いので、仕出し等お弁当を作らなくても良い環境になれば良いと言っている。皆仕事をしているので、ただでさえ忙しい朝には負担かと思う。
- 保育園への希望→日常的な写真をONLINEへアップしてほしい。月に一度でも良いので、様子を知りたい。先生目線の監視的カメラは保育の邪魔になりそうなので、写真で良い。さいたま市では写真を見れて、好きにダウンロードできるらしい。羨ましいなと思った。
- 0歳児の保育所などの空きがなく、1歳の誕生日に預け先がなく育休の復帰が遅れてしまう時に、気軽に預けることのできる託児サービスがあったら良いのにと考えた。また、育休中でも通院等で預けたい時に、託児サービスのある病院等探さなければならなかったのが、一時保育ももっと気軽に利用できるようになったら良いと思った。
- 下の子を産んだ時に、上の子の短時間保育ではなく、3、5か月は普通時間預けられるのを最近知った。申請すると、たくさん延長料金を払った（1日7,000円程）。知らずに損をするのは嫌なので、全てサービスは知りたい。
- 地元の子育てサポートに市が運営している一時預かり保育施設がある。職員が全員保育士免許を所持しているので、安心して預けられる。その市在住者だけではなく、誰でも利用できる。1時間300円という料金も預けやすい点。行田市にもファミリーサポートセンターなどがあるが、預けるという点で不安要素があり、登録しづらい。

同じ市の中で交流できるという面では良いと思うが、何か事故やトラブルがあったらと思うと、気軽には出来ない。なので、定期的に帰省し、地元の子育てサポートを利用している。行田市にも市が運営し、安心面でも料金面でも家庭に負担のない一時預かり保育施設を検討してほしいと思う。非課税世帯へ給付するお金があるならば、税金を支払っている世帯への対応もしっかり行ってほしいと思う。

- 学童保育に申し込める条件を緩くしてほしい。フルタイムではなく、扶養範囲内でも仕事をしていることには変わらないので、学童に入れないと職を失う可能性もあるのですごく困る。女性の市長さんになったので、とても期待している。
- 困っていることはないが、『子育てしやすい町』という認識はない。子供を預けたいと思える保育所が少なく、復職を断念した。本アンケートについて無作為に選ばれたはずだが、兄弟の分も届いて負担が大きかった、一通でまとめて回答できるように考えてほしい。
- 子育て支援センターのスタッフの方々は事務所にいるのではなく、直接子供と遊んだり、声を掛けたりして関わってほしい。ずっと親が子供をみて遊ばせるのでは、正直家に居るのと変わらない。
- 行田市の保育園は仕事が休みの時は原則として子供を休ませるようにと保育園を申し込む際に説明書きがあり、保育園でも先生から休みの日に預けようとする理由を聞かれたことがありました。親のリフレッシュの為でもありますが、3歳以上になったら生活リズムを整えるなど、小学校就学の準備のために保護者の休みの日でも平日は毎日通園してもいいのではないかと考えています。
- 保育士の給料を引き上げてほしい(人材確保)子供が好きという気持ちとやりがいだけで働いている。常勤が少ない。親への子育て支援、障害児の増加、アレルギー児の対応等、現場の負担が大きい。負担が大きいとやりがいが削れて行ってしまうときがある。学童保育の土曜日、仕事があるので堂々とあずけたい。保育士(先生)から子供の人数が少ないから休めないか」と言われたということをよく聞く。
- 子供会の縮小が進むとありがたいなと思っています。保育園によりますが、現在利用中の園は体調不良などで緊急のお迎えが必要となった場合は30分以内に行かなくてはならず、近所に親戚など頼める人がいないので勤務先があまり遠くにできません。とても細かな困りごとですが、共働きが増えているので園ごとの決まりが少なくなってくれたらありがたいです。
- 短時間でも良いのでみてもらいたいと問い合わせた事があったが、行田市内にはありませんでした。熊谷市、羽生市にはありました。これからを期待します。産後のケアしてくれる施設もなかった。産後1~2ヶ月くらいで良いので、子供(乳児)と一緒に1日24時間過ごすことができる施設(病院)があると良いなと思いました。
- 子育て世代に対する経済的支援をより充実させてほしいです。子供を安心して保育所などにあずけられるよう、保育士の確保など、保育所に対する支援もより充実させてほしいです。
- 仕事をしていない人でも、子供を一時的に預けられる場所がもっとあれば良いなと思います。普段ワンオペのことが多い人に対して、リフレッシュできる時間を少しでも取れるように、料金もそこまで高くない方が良いと思います。

#### 4. 学校・教育について

- クラスで問題のある子を隔離するクラスを作ってほしい。支援級に入れるのではなく、海外の小学校のように、いじめの被害者が逃げるのではなく、加害者をカウンセリング等して対応してほしい。
- 教育はもっと障がいがある子への対応（身体的なもの、発達障がいまで）をできる専門の教育者を増やしてほしい。教師だけでなく、幼稚園教諭も障がいについて学校で勉強したり研修を増やしたりして、インクルーシブ教育への対応を考えてほしい。そして、前段階で行政（保健センター）が子の発達遅延があれば積極的に療育の介入をしてほしい（全国の自治体には積極的に介入する場所もあるが、自治体によって対応がバラバラの為）。
- 教育では、インクルーシブ教育を最近よく耳にしますが、それに対応できる人員の確保ができていないと感じます。通わせている子供園では、障害がある子に対応できる人が何人かいそうなので安心ですが、小学校にあがると、すごく人が少ないと感じます。担任1人でたくさん見ることもそうですが、見ていて明らかに個別の支援が必要なのに、特別支援の教室ではなく、通常級で過ごす子がたくさんいます（親の同意が得られないそうです）。通常級で過ごすことで、出来る子は待つ。出来ない子は個別で対応してもらってる現状があります。出来る子が、もっと出来るようにするために支援が必要な子にはサポートの人を増やして待つことがなくなると良いと思います。また、学童の説明を聞きに行った別のママ友が言っていたのですが、学童の現1年生か2年生ぐらいの子の言動がとても気になると言っていました。「触るな」「うるせー」「死ね」のような言葉を学童の説明会中であるにも係わらず学童の先生に対して言っている子がいたため、その学童に自分の子を入れるのが心配だと言っていました。その学童の質、学校の質が保護者としてとても気になります。誓約も書いているので、体の暴力だけでなく、言葉の暴力でも学童を辞めてもらって良いのではないかと思います。自分の子への悪い影響があると嫌だなと思います。そのような環境だと落ち着いて宿題もできないだろうな、学力も上がらないだろうなと思ってしまいます。子供たちを長く預ける学校や学童の環境をよりよく（学校・学童ともに人員増）していただくと、保護者として安心です。最近耳にした話だと、学校のサポーターさんの削減や学習支援の人の削減があると聞きました。教育に必要な部分のお金を削減して、どうするのだろと思いました。より他市で学ばせた方が良いのではと感じてしまいます。子育て、教育に必要な予算は削ってほしくないです。
- 追級がどこの小学校でも受けられる様にしてほしい。発達障害の子供の対応に慣れている知識のある先生をどこの小学校にも配置してほしい。
- 児童数の減少で小学校が1クラス。友達関係が難しくても、逃げ場がない。
- 公共的なものだが、様々な施設が少なく感じる。子供の数が少ないため、小学校に入ると特に人が少ない。学年に1クラスはさすがに少なすぎる。手厚い教育というより、作れる友達が少なく、クラブ活動や行事の制限などデメリットの方が多い。もう少し小学校、中学校ともに合併など、もう少しどうにかしてほしい。

## 5. 経済的な支援等について

- ひとり親家庭に給付金が沢山出るが、夫婦2人で働いていたとしても決して裕福な訳ではない。給付するのであれば、子供一人一人平等にしてほしい（お金をもらうために、籍を入れずに男女で一緒に暮らしている人たちもたくさんいる）。そういうのを聞くと、なんだかな、と思う。
- 補助金に関して非課税だとか扶養がどうだとか、補助を受けたくても受けられず困っている家庭はたくさんあるのに、どうして何も対策・支援をしてくれないのか？少子化対策するならば、子供がいる家庭には平等に補助金を配布するべきではないのだろうか？今までの支援など、もう一度見直してほしい。
- 小学校の給食無償化や給付や子育て等にもう少し力を入れてほしい。学校入学準備や毎月の学級費等が少し高い気がするので、援助などがもう少しあってほしい。
- おむつの補助金、体操着（小学生の）の補助金があれば助かる。
- 保育料の無償化を早く決定してほしいです。また出産後にかかる費用(オムツ、ミルクなど)を補助してくれるような仕組みがほしい。保育園のオムツのサブスクもすすめてほしいです。また、今後の小中高大学などの教育費の減額も希望。
- 少子化対策というわりに子供に対する補助金を受け取れないことが多く思います。非課税世帯だけや扶養内ではないなど様々な理由があるようですが、シングルで子供を沢山育てているのにこれらに当てはまらなくて補助金はもらえないや事情があって片親しか働けず子供も3人いるけど当てはまらなくて補助金はもらえないなど話をよく聞きます。子供がいる家庭は本当にお金がかかるので子供が居る家庭は平等にみんなが補助金を受け取れるよう、考えていただけたら嬉しいです。
- 子育て世帯(特に低所得世帯)は経済的に厳しいので住宅ローン補助金や固定資産税免除措置をとるなどの対策をしてほしいです。3人目が生まれた時に両親が無職・専業主婦でしたので保険料や年金、固定資産税などの支払いが本当に大変でした。当時3人子供がいましたので先が不安でした。小中だけではなく高校の給食も小中学校のように就学支援支給していたけると助かります。給食がなくなると親の負担が増えますし定期代金など生活費や学費がかかわるので一人目を生んだ時から不安はつきものです。外出もほとんどできず、好きなものもろくに買ってあげられず外食も何年もしていません。子供に対して不便な思いをさせていることに罪悪感があります。現在は物価高でお菓子もほとんど買っていません。子供にとって幸せなのかいつも考えています。しかし贅沢はできません。これが少子化の始まりだったのだと思います。習い事も3人子供がいますが1人も何もやったことがありません。これが教育格差につながる現状だと思います。春休み、夏休み、冬休みの絵日記の宿題が辛いです。
- 自己負担の予防接種（インフル、おたふく等）の補助金を出してほしい。鴻巣市在住時は補助が出ていたが、行田市に引っ越して無い事に驚いた。できれば、子育て世代にもう少し金銭面での補助がほしい。何度か補助金が出たが、物価が上がっているため、それだけでは正直厳しいです。
- よく平日に無料で子供と一緒にできるイベントがありますが（何かを作ったりするイベント）土日祝にもあるとありがたい。行きたい、参加したくても平日は行けない。保育園での縄跳びやひらがなの勉強をしてほしい。一人親で正社員ではあるが、子供2人母親（年金受給者）を扶養している。収入の上限額を超していて、子供扶養手当

がもらえず、かなり厳しい生活。パート勤務とかでもらっている人もいる中、上限超してもらえないのは不公平だと思っている。もう少し柔軟になってくれるとすごくありがたいです。生活のために、子供と一緒にいる時間を削ってフルタイムで働いているので、手当が厚くなってくれると、少しうらおいます。気持ちも。

- 育児休業給付金の金額を上げてほしい（安心して育休をとりたい）。子供が遊べる遊具がある公園が少ない。さきたま古墳や水城公園などに広いのびのび遊べる遊具を設置してほしい。市からの出産祝いのものがちゃっちい。バスタオルはいらない。だったらお金がほしい。
- PTA 会費等の支払いを無くしてもらいたい。学校に支払うお金が多すぎる。非課税世帯ばかりお金（給付金）がもらえたりするのはおかしい。
- 産後ケアにもっと力を入れてほしい。産後ケア施設を利用するために助成金をだしてもらえると助かります。
- 幼稚園などの料金は統一してほしい。（特に延長保育料金）。
- 一時的な給付金などありがたいですが、それよりも保育料無償化や給食費無償化などのほうが助かります。あと、保育園も保護者の仕事が休みの日も登園させられるならそのほうがリフレッシュできて子供にもより優しく接する事が出来ると思います。（ずっと一緒だとイライラしてしまうこともあるので）。

## 6. 地域における子育てについて

- 保育園に預けて仕事をするので精いっぱいである。保育園から出る汚れた洋服を洗うのが大変である。行田市は田んぼが多く、いつもどこかで火がついているため、洗濯物を外で乾かすことができず、大変である。近所の方が落ち葉や枝などを外に干した洗濯物の近くで燃やすので「燃やすなら言って」と言うと、「しょうがない。いやだったら出て行けばいい」と言われた。毎日悩まされていたので行田市役所に電話して相談したが、「何もできない」と言われた。火をつける時間を決めてほしい。農家の人はドラム缶の中でごみを燃やす為、すごい異臭がする時がある。子供を育てていくには向かない場所だと思うため、将来的には行田市を出ようと思っている。

## 7. 子供の安全・安心について

- 安心して遊べる所を充実してほしい。公園のトイレが汚い。雑草がたくさん生えている。子供のイベントを増やしてほしい。安心して学校に通わせられる道路、見守り隊を継続してほしい。安心安全な町づくりをお願いしたい。事故のない町にしてほしい。小さな命を守って、未来を子供たちに、という思いである。
- 近くに小児科が少なく不便である。近くに公園が全くなくて困る。歩道が狭くて歩きづらい所が多い。小学校合併の噂があり、今後は不安である（学校が遠くなるため）。
- 子供が中学生になると、学校までが遠く、ギリギリ自転車通学ではない場所で心配なので、自転車通学の距離を見直してほしい。

- 他県に比べて生まれてからの検診の数が少ない気がするので、もう少しあると良いと思う（安心）。
- 現在通っている保育園や制度への新たな希望は特にありませんが、子供が住みやすい安心安全な街づくりを希望します（道路の整備、ガードレールの設置、横断歩道や信号の見直し等）。車社会なので今後子供が安心して利用できる道が増えると嬉しいです。

## 8. 就労環境、職場等について

- 上の子が学校に上がり、保育園のありがたみを肌で感じた。短時間勤務制度が小学校1年生まで取れるような環境だと、心にも余裕が出ると思う。フルタイムでワンオペ育児は想像以上に大変である。もう少し世の中が正社員で働くお母さんに優しい環境になってほしい。
- 育児休業の期間が希望する年数取れるようになってほしい。保育園の不承諾通知がないと延長できないのは煩わしいと思う。
- 2人目を妊娠中だが、1人目が幼稚園の為職場復帰を考えるとどうしても別の園になってしまい、送迎が困難である。会社の問題だが、育休が3年取得できるようになってほしいことと、育休延長に無駄な手続きが発生しなくなると良いと思う（給付金などなくても良いので、子供と一緒に過ごしたい）。
- 子育てと仕事を両立させたくても、職場の人に休むといろいろ言われるためできない。子供が体調を崩す事が多く、仕事も有休もすぐなくなるため欠勤続きで、収入を得ることが難しい。病児保育を利用したら良いと考えたこともあるが、保育園にも行きたがらないので、病気の時に知らない人に預けるのはかわいそうだし、子供にも負担になると考えるため利用できない。職場を探すのも、小さい子供がいると働ける場所が少ない。職場に子育て支援がないため、収入が得られないことに悩み、熱などの看病で休むといろいろ言われてしまうので、子育てを楽しむ余裕がない。1年に一度は子供を預けて自分の時間を作り、リフレッシュしたいと考える時もある。行田市は子供が少ないイメージ。子供より高齢者を優先して支援しているイメージ。同等ではないイメージ。病児保育ではなくて、病気の時も保育園の別の場所で保育してくれるところがあったら預けたい。慣れた保育園の先生だったら、安心して預けることができる。保育園に看護師も雇うと良いと思う。病児保育という場所を利用するのではなく、保育所内でそのような事業をしてほしい。
- 女性の社会復帰に関してはまだまだ問題があります。キャリアを考える上で難しいです。働きたくても働けない状況ができるだけ改善することを願います。
- 祖父母の協力をえられているので現状大きく困ることは起きていないが、それがないと現在の仕事を続けていくことはできない。多様なニーズに合わせた保育支援が求められるが、それには現場で働く人たちの働きやすい環境が大切になってくると思う。保育・教育支援の場で働く人をふやすこと働きやすい環境をまずは見直してほしい。

## 9. 医療、病院、病児保育等について

- 病児保育の増設や予約方法（ネットやラインなど）。今現在どのような支援があり対象者なのかも分からないので、「このサービスが利用できます」的な案内があれば、予定が合えば参加してみたいと思う。金銭面も大きいと思うので、利用料なども高くない良いと思う。
- 病児保育を充実させてほしい。定員などで断られてしまう。仕事が忙しいため、土曜日に預けられると有難い（今あることは知っているが、費用が高い）。朝早く出る仕事もあり、早朝から預けられると有難い。土日のキャンプなど、子供が外に行ける企画がほしい。全体的に子育て支援サービスの情報発信をもっとしてほしい。
- ベビーシッターや病児・病後児保育等の利用の仕方を分かりやすく紹介した資料を出産時にもらえると嬉しい。
- げんきキッズどうかしてください。前日の方が優先で新規の病気だと予約とれませせん。朝に毎日キャンセルが出たか確認しないといけないなんて、予定が立てられませせん。個人情報だけ聞くだけ聞いてはっきりしない物言いで、回りくどい言い方のすえ、予約がいっぱいだとされました。初めから分かっていることならはっきり早く断ってください。ほかを探しますから。3人くらいしかとれないみたいですね。もう少し増やしてください。あと平日の休みもやめてください。頼みの綱なので本当に頼みます！困ってます！利用しようとTELしたが、病院が休みの為(平日)ことわられ、またキャンセルまちしかないと断られ、前日しか予約がとれないとことわられた。事業の意味ありますか？
- 病気の際に利用できる施設が増えたらいいなと思っています。実際にかぜ症状があり南川元気クリニックさんへ電話したこともあります。利用の方がいっぱい利用できませんでした。会社を休み看病することは親の役目ではありますが、長引いたときにすごく必要だなと毎度思います。
- 医療（皮膚科、心のケアをできる科）が不足している。
- コロナ禍になり、小児科、病児保育があきらかに不足と感じます。発熱で呼び出され、そのまま病院に行こうにも、いつ診てもらえるか。そもそも熱が出ていると門前払い。子育てで1番辛いです。行政の方がどうにかできるのであればお願いしたいくらいです。隣の市は第2子0~2歳児の保育料が無料になり落胆しております。ぜひ和田市も。
- 病院（夜間）に緊急で対応してくれる病院があまりにもない。電話しても断られるのが普通。教育よりもそちらに目を向けるべきでは。
- 小児科の病院が少なく、予約をネットで出来るようにしてほしい（上尾市とても良いです）。道に街灯が少ないので増やしてほしい。一時保育場所を増やしてほしい（上尾とても多いです）。

## 10. その他

- 学校のPTAの活動や地区の子供会役員など、母親の負担が大きく、周りに頼れる人がいないと大変である。役員の仕事は強制ではなく、任意で行ってほしい。また、学童に入れたくても、費用が高く入れられない。幼稚園と同じように、17時までは無償等の対策があったら有難い。

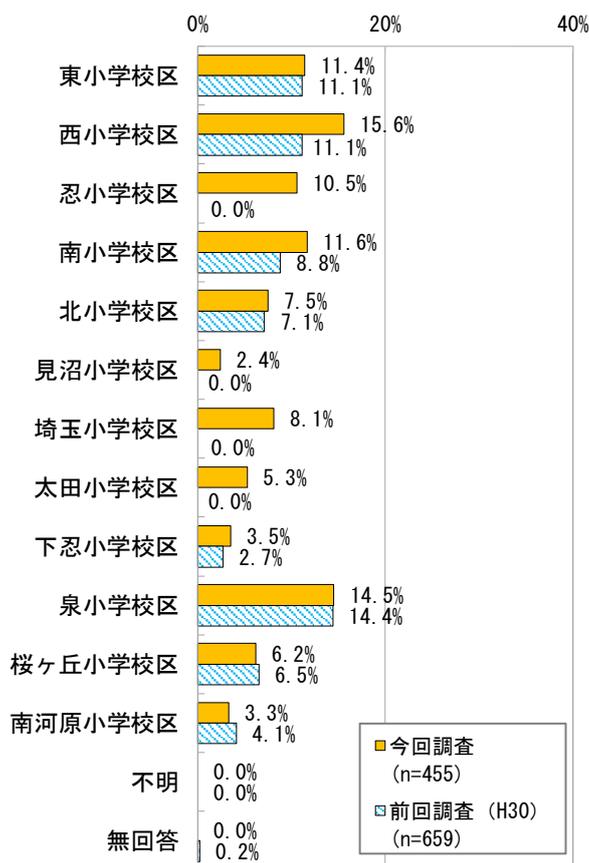
- 制度など、年々充実していく様子に安心感がある。できることなら私も助けて欲しかった。過渡期でグレーゾーンにいる人間に育児は本当に辛いものだった。一人を育てるのが限界である。でも何とかその一人を守る事ができている。生活保護を受けるほどでもない収入の人が一番きついというのは、育児においてもそうかもしれないと思う。中の下のゾーンにいと、使える支援がなくて結局ほとんど自力、自己責任、一人の力でこなしていかないといけない。世の中変化しているようで、よどんで変化しない所は昔からずっと変わらないと感じている。育児中にうつになったがSOSが出せない。子供を園に預けている間はほとんど動けずに休んでいる。子供が小学校に上がればきっと楽になると信じて日々をこなしている。
- 今年子供が小学校に入学するが、自治会の強制をやめていただきたい。朝夕の旗振り出来る限りするが、シングルの為、こちらも働かなくては生活ができない、皆やっているからとか、やらなくては自分がやりにくくなると脅してくるなど、皆シングルの人間の大変さが分かってなさ過ぎだと思う。地域の協力が全くなく、行田市内でも自治会でこんなにも違いがあるのが驚いている。こちらとしても融通の利かない地域でこの先生活するのも大変なので、引っ越しを考えているが、それさえお金が掛かる。とてもこれから不安が募る小学生生活になりそうである。
- もっと市が小中学校のPTA連合の負担について介入してほしい。各学校、子供の為なら保護者も動くと思うが、共生のような講演会の参加や感想文。仕事を休んでまでやることなのだろうか？共働き、近くに預け先がないのに、という保護者が多いのに、時代に合っていない活動は止めてほしい。
- 学区の決め方に柔軟さが無い。ある程度は学区を選べるようにしてほしい。班で登校することが古すぎる。保育・教育に関しては、特に他の地域と比べて酷い。周りの子供はある程度（小学校前が多い）になると、他の市へ引っ越してしまう。不自由な学区のせいで、子供が減っている。せめて隣接する学区ならば、親の責任で登校させてほしい。

### Ⅲ 調査結果（小学生児童保護者）

#### 1. お住まいの地域について

問1 お住まいの地域は、どの小学校区ですか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

居住する小学校区については、「西小学校区」15.6%が最も高く、次いで「泉小学校区」14.5%、「南小学校区」11.6%となっている。



項目	回答数	構成比
東小学校区	52	11.4%
西小学校区	71	15.6%
忍小学校区	48	10.5%
南小学校区	53	11.6%
北小学校区	34	7.5%
見沼小学校区	11	2.4%
埼玉小学校区	37	8.1%
太田小学校区	24	5.3%
下忍小学校区	16	3.5%
泉小学校区	66	14.5%
桜ヶ丘小学校区	28	6.2%
南河原小学校区	15	3.3%
不明	0	0.0%
無回答	0	0.0%
合計	455	100.0%

問1-1 【問1で「13 不明」に○をつけた方にうかがいます。】

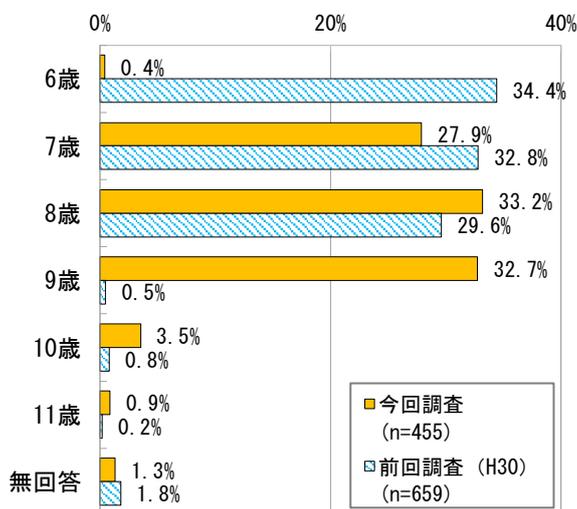
お住まいの地区名をご記入ください。

居住する地区名については、該当者がいなかった。

## 2. お子さんご家族の状況について

問2 宛名のお子さんの生年月をご記入ください。

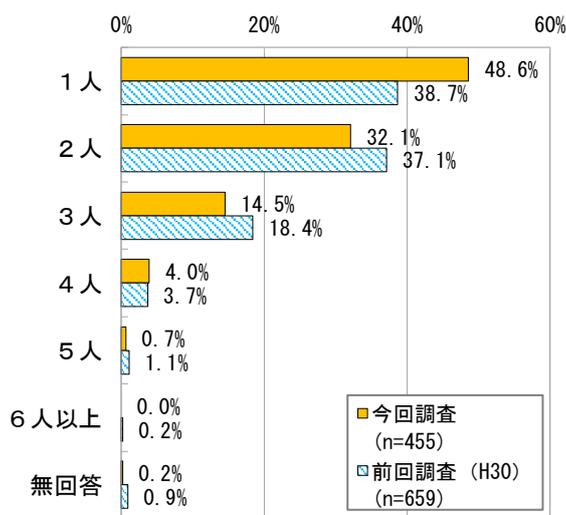
年齢については、「8歳」33.2%が最も高く、次いで「9歳」32.7%、「7歳」27.9%となっている。



項目	回答数	構成比
6歳	2	0.4%
7歳	127	27.9%
8歳	151	33.2%
9歳	149	32.7%
10歳	16	3.5%
11歳	4	0.9%
無回答	6	1.3%
合計	455	100.0%

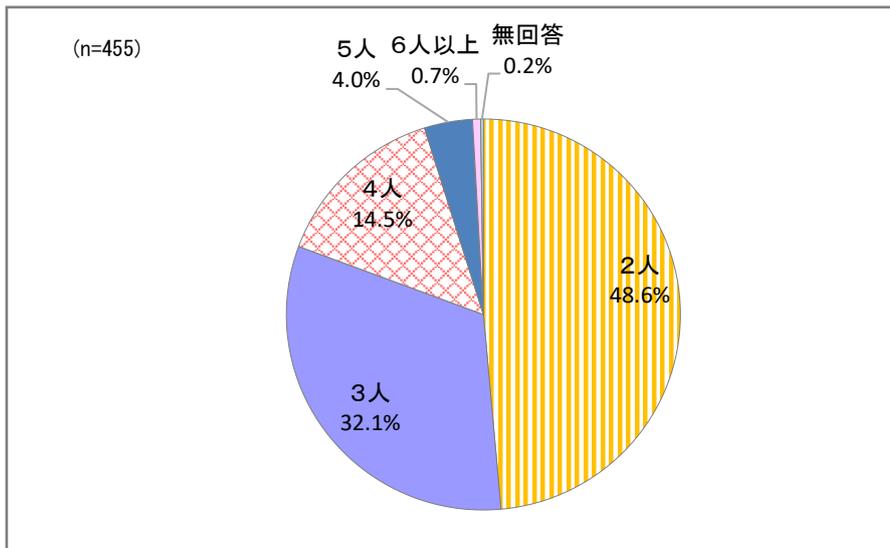
問3 宛名のお子さんのきょうだいは何人おられますか。

きょうだいの人数については、「1人」48.6%が最も高く、次いで「2人」32.1%、「3人」14.5%となっている。



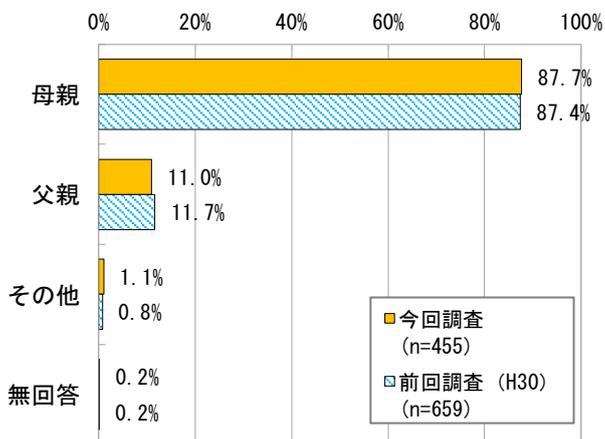
項目	回答数	構成比
1人	221	48.6%
2人	146	32.1%
3人	66	14.5%
4人	18	4.0%
5人	3	0.7%
6人以上	0	0.0%
無回答	1	0.2%
合計	455	100.0%

● (参考) 本人を含むきょうだいの人数



問4 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。宛名のお子さんからみた関係でお答えください。当てはまる番号1つに○をつけてください。

回答者の続柄については、「母親」87.7%、「父親」11.0%、「その他」1.1%となっている。



項目	回答数	構成比
母親	399	87.7%
父親	50	11.0%
その他	5	1.1%
無回答	1	0.2%
合計	455	100.0%

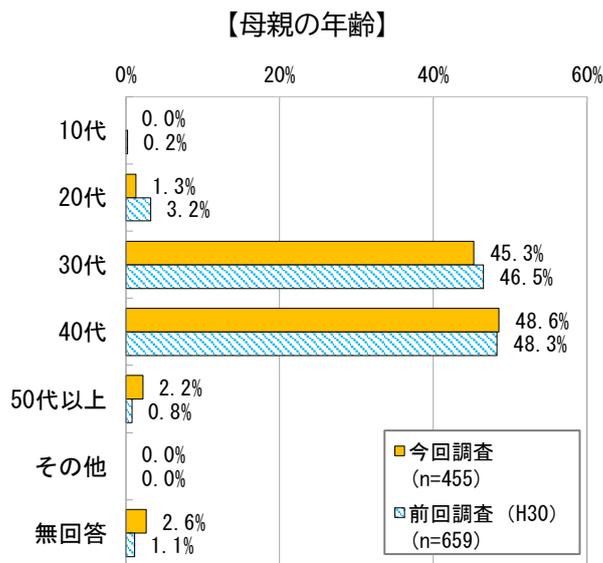
【その他の回答】

- ・ 児童養護施設ケヤキホーム職員
- ・ 施設職員
- ・ 祖母

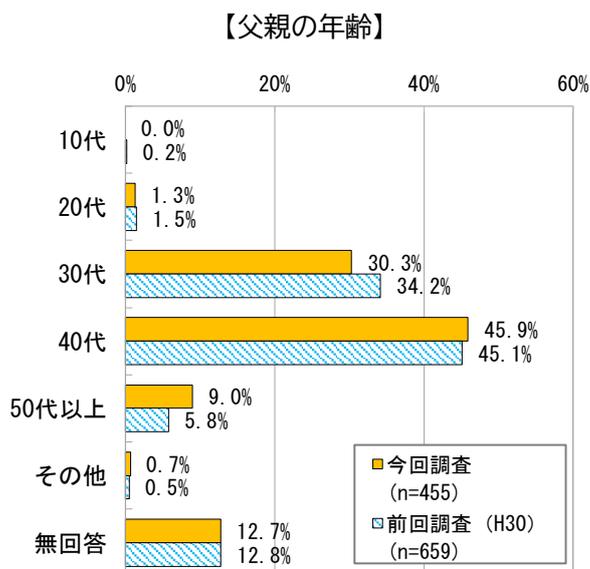
問4-1 母親及び父親の年齢(R5.4.2 時点)について、それぞれ当てはまる番号1つに○をつけてください。

母親の年齢については、「40代」48.6%が最も高く、次いで「30代」45.3%となっている。

父親の年齢については、「40代」45.9%が最も高く、次いで「30代」30.3%、「50代以上」9.0%となっている。



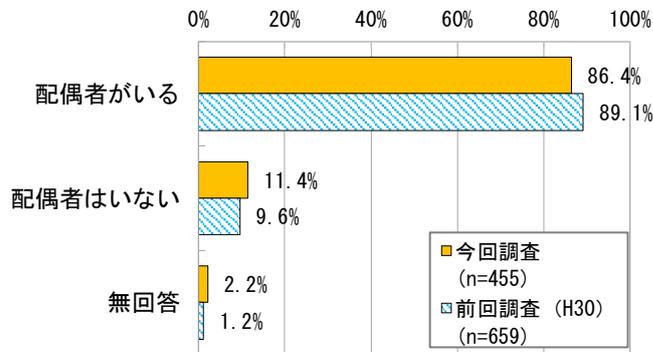
項目	回答数	構成比
10代	0	0.0%
20代	6	1.3%
30代	206	45.3%
40代	221	48.6%
50代以上	10	2.2%
その他	0	0.0%
無回答	12	2.6%
合計	455	100.0%



項目	回答数	構成比
10代	0	0.0%
20代	6	1.3%
30代	138	30.3%
40代	209	45.9%
50代以上	41	9.0%
その他	3	0.7%
無回答	58	12.7%
合計	455	100.0%

問5 この調査票にご回答いただいている方の配偶関係についてお答えください。当てはまる番号1つに○をつけてください(問4で「3. その他」と回答した方は回答不要です)。

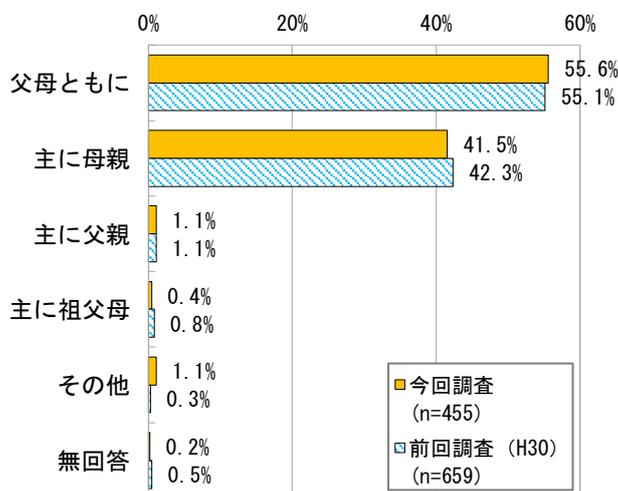
配偶者の有無については、「配偶者がいる」86.4%、「配偶者はいない」11.4%となっている。



項目	回答数	構成比
配偶者がいる	393	86.4%
配偶者はいない	52	11.4%
無回答	10	2.2%
合計	455	100.0%

問6 お子さんの子育て(教育を含む)を主に行っているのはどなたですか。お子さんからみた関係で当てはまる番号1つに○をつけてください。

子育て(教育を含む)を主に行っている方については、「父母ともに」55.6%が最も高く、次いで「主に母親」41.5%となっている。



項目	回答数	構成比
父母ともに	253	55.6%
主に母親	189	41.5%
主に父親	5	1.1%
主に祖父母	2	0.4%
その他	5	1.1%
無回答	1	0.2%
合計	455	100.0%

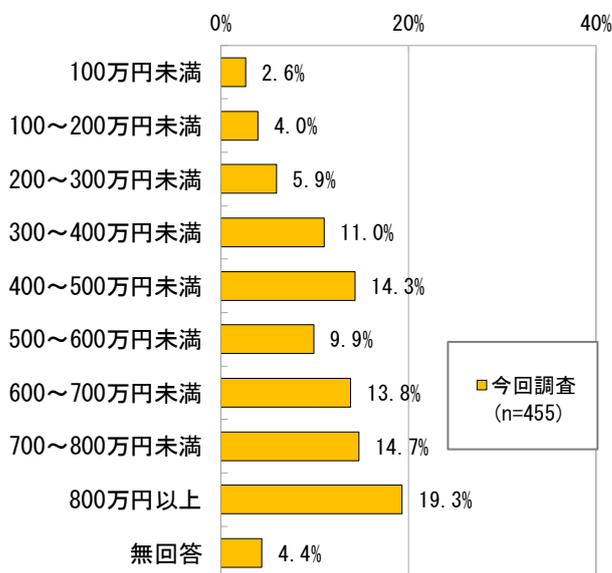
【その他の回答】

- ・ ユニット職員
- ・ 施設職員
- ・ 父、祖父
- ・ ケヤキホーム職員

問7 宛名のお子さんの世帯全員の収入をお答えください。

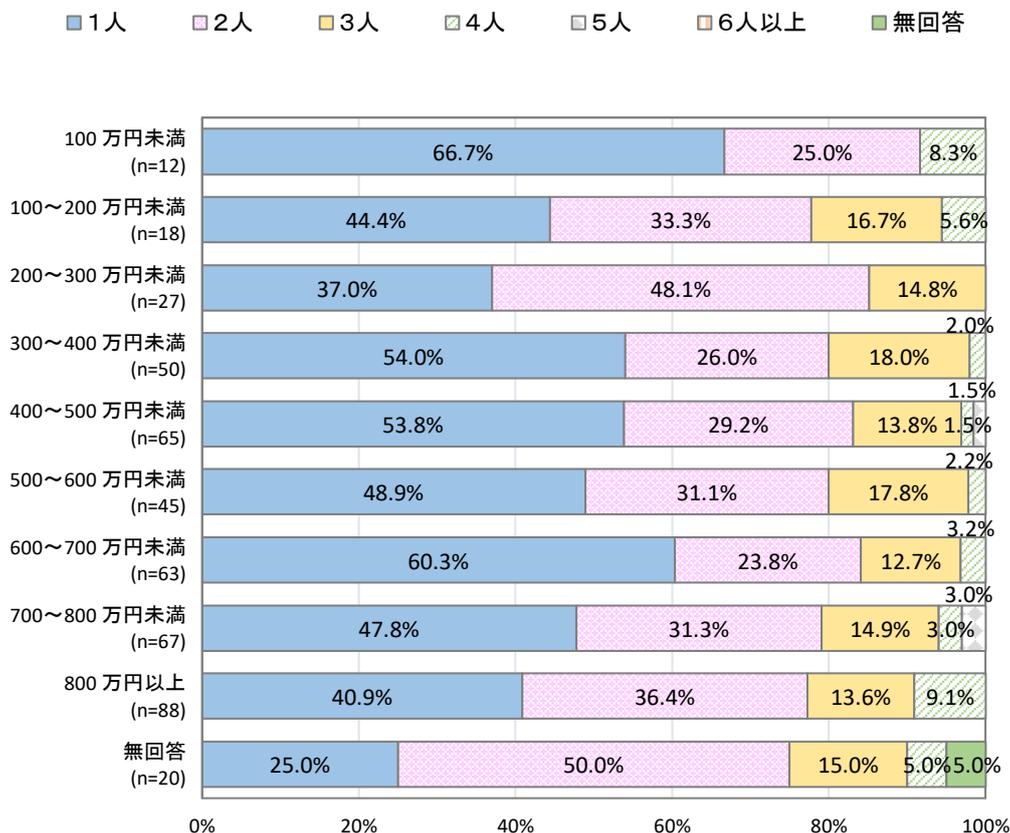
当てはまる番号1つに○をつけてください。

世帯全員の収入については、「800万円以上」19.3%が最も高く、次いで「700～800万円未満」14.7%、「400～500万円未満」14.3%となっている。



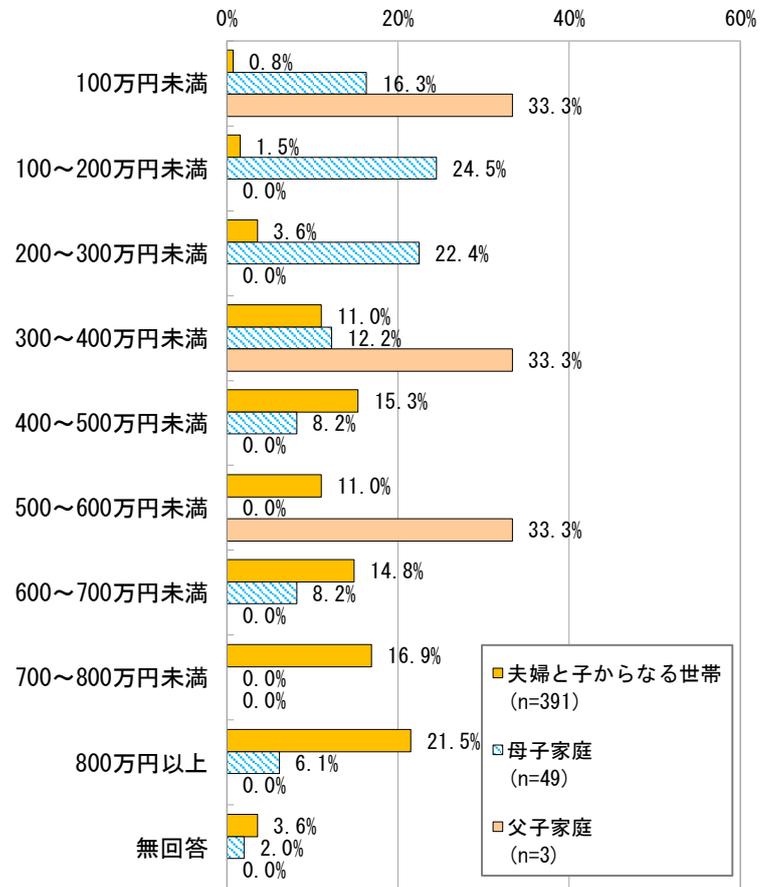
項目	回答数	構成比
100万円未満	12	2.6%
100～200万円未満	18	4.0%
200～300万円未満	27	5.9%
300～400万円未満	50	11.0%
400～500万円未満	65	14.3%
500～600万円未満	45	9.9%
600～700万円未満	63	13.8%
700～800万円未満	67	14.7%
800万円以上	88	19.3%
無回答	20	4.4%
合計	455	100.0%

● (参考) : 子どもの数×世帯全員の収入



● (参考)：世帯構成別

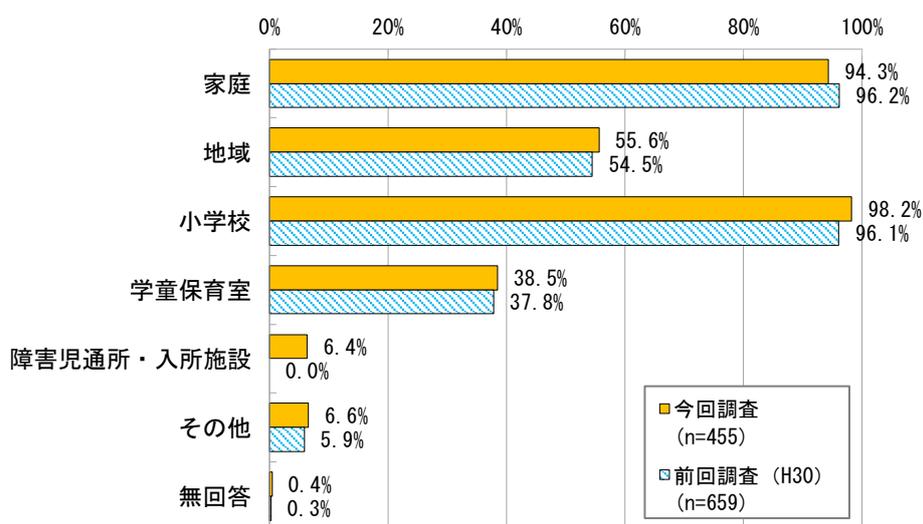
世帯構成別で見ると母子家庭では、約8割が世帯年収400万円未満と答えている。  
 ※父子家庭についてはサンプル数が少ないためコメントを省略している。



### 3. 子どもの育ちをめぐる環境について

問8 宛名のお子さんの子育て(教育を含む)に、影響すると思われる環境すべてに○をつけてください。

子育て(教育を含む)に影響すると思われる環境については、「小学校」98.2%が最も高く、次いで「家庭」94.3%、「地域」55.6%となっている。



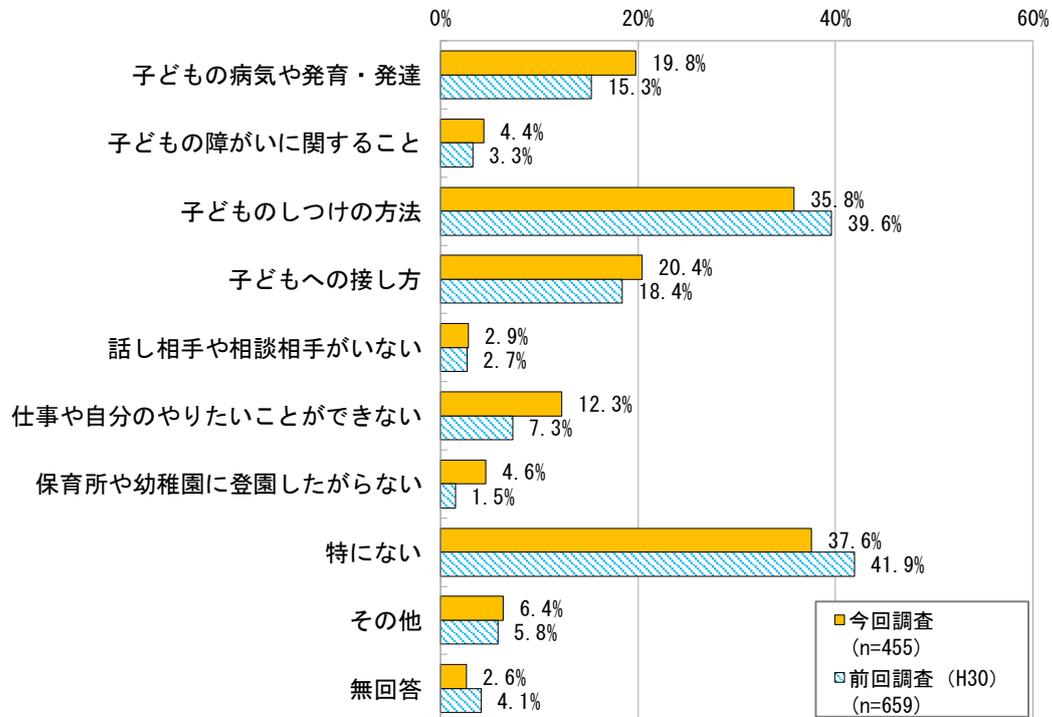
項目	回答数	構成比
家庭	429	94.3%
地域	253	55.6%
小学校	447	98.2%
学童保育室	175	38.5%
障害児通所・入所施設	29	6.4%
その他	30	6.6%
無回答	2	0.4%
サンプル数	455	-

#### 【その他の回答】

- ・ 習い事    ・ コミュニティ    ・ メディア、インターネット関係
- ・ 課外活動（主にスポーツクラブ）    ・ 仕事    ・ 実家    ・ 学習塾    ・ 放課後デイ
- ・ 密接に関わる人の存在    など

問9 子育てに関して悩んでいること、又は気になることはありますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

子育てに関する悩みや気になることについては、「特にない」37.6%が最も高く、次いで「子どものしつけの方法」35.8%、「子どもへの接し方」20.4%となっている。



項目	回答数	構成比
子どもの病気や発育・発達	90	19.8%
子どもの障がいに関すること	20	4.4%
子どものしつけの方法	163	35.8%
子どもへの接し方	93	20.4%
話し相手や相談相手がいない	13	2.9%
仕事や自分のやりたいことができない	56	12.3%
保育所や幼稚園に登園したがるらない	21	4.6%
特にない	171	37.6%
その他	29	6.4%
無回答	12	2.6%
サンプル数	455	-

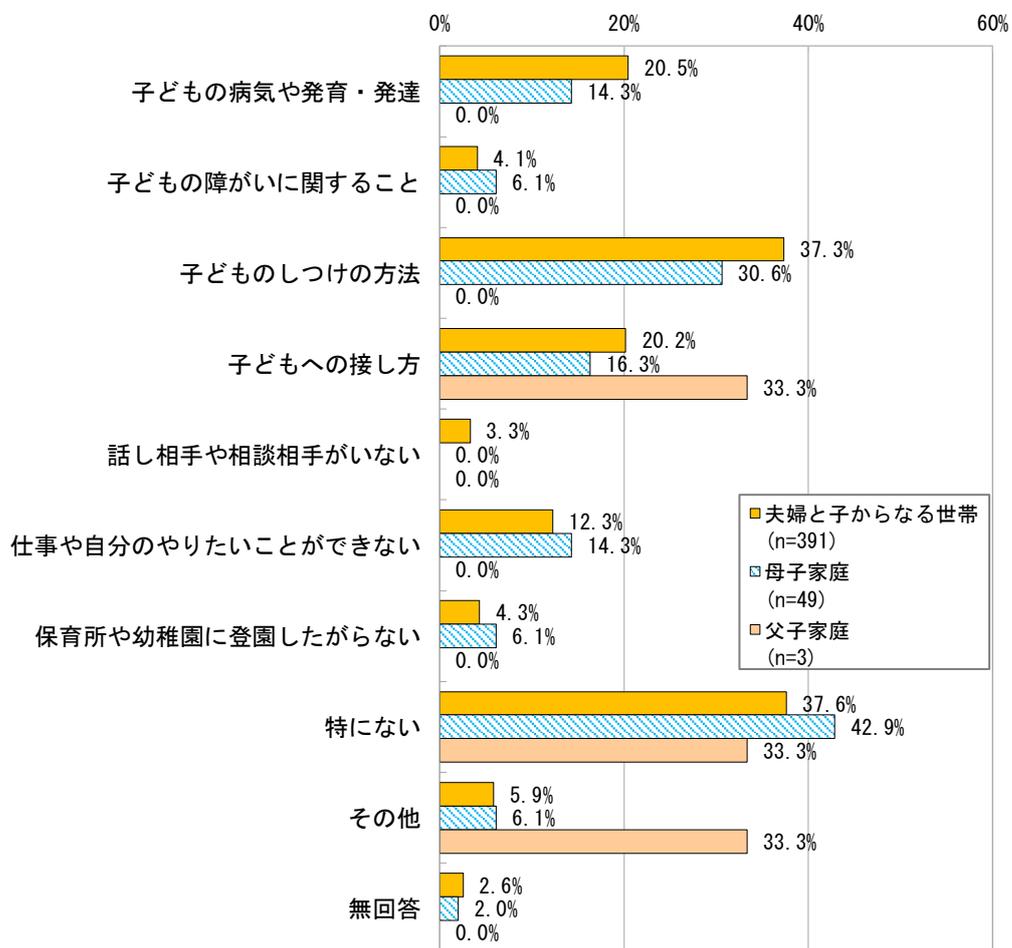
【その他の回答】

- ・PTA や子ども会が煩わしい
- ・父母間で考え方が一致しないことが多い
- ・教育のコスト
- ・子供の学びの場が少ない、塾やスポーツクラブ、スポーツ施設など
- ・食物アレルギーをもっていること
- ・子どもの友人関係
- ・父親が子育てに参加しない
- ・仕事と子育ての両立
- ・仕事と学校保護者役員との両立
- など

● (参考)：世帯構成別

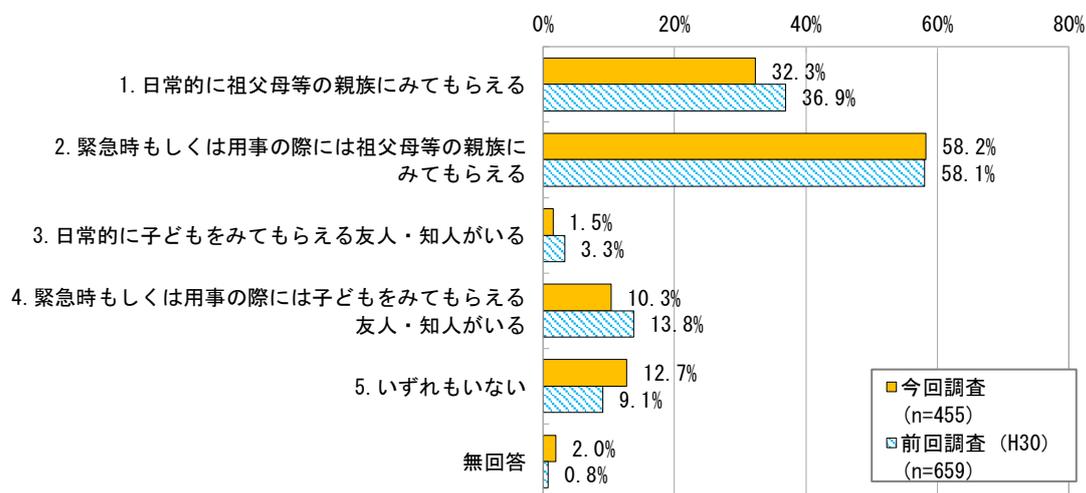
世帯構成別でみると母子家庭では、「子どものしつけの方法」、「子どもへの接し方」の割合が高くなっている。

※父子家庭についてはサンプル数が少ないためコメントを省略している。



問 10 日頃、宛名のお子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。  
 当てはまる番号すべてに○をつけてください。

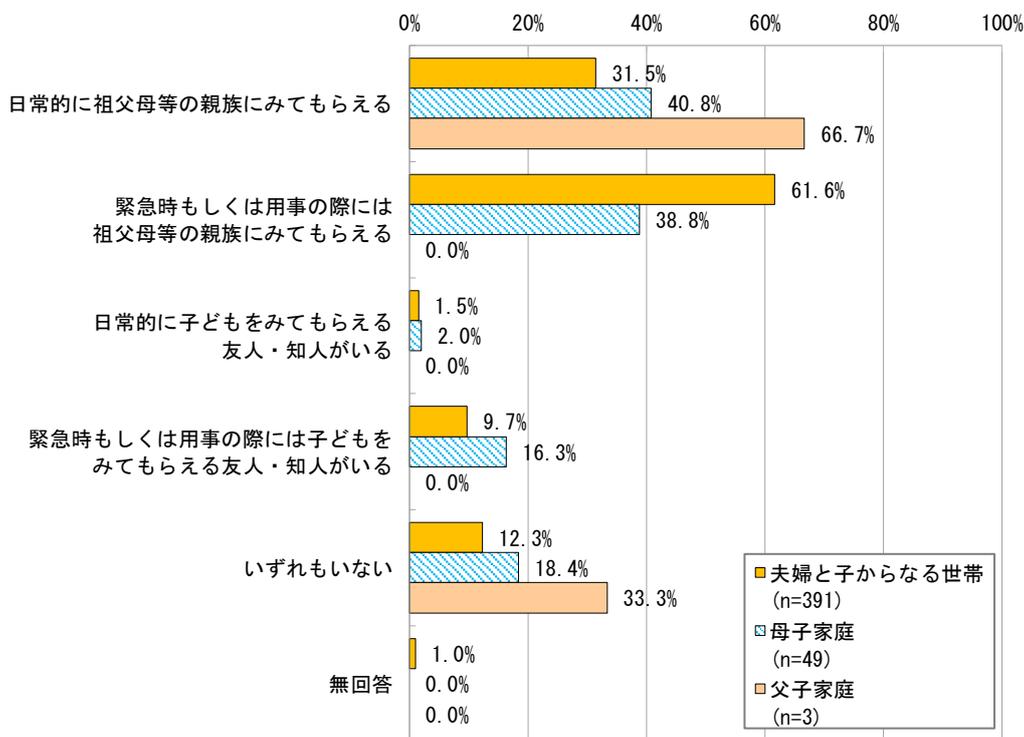
子どもをみてくれる親族・知人については、「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」58.2%が最も高く、次いで「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」32.3%、「いずれもない」12.7%となっている。



● (参考)： 世帯構成別

世帯構成別でみると母子家庭では、「日常的に子どもをみてもらえる」と「緊急時」回答した割合は約8割と高くなっている。

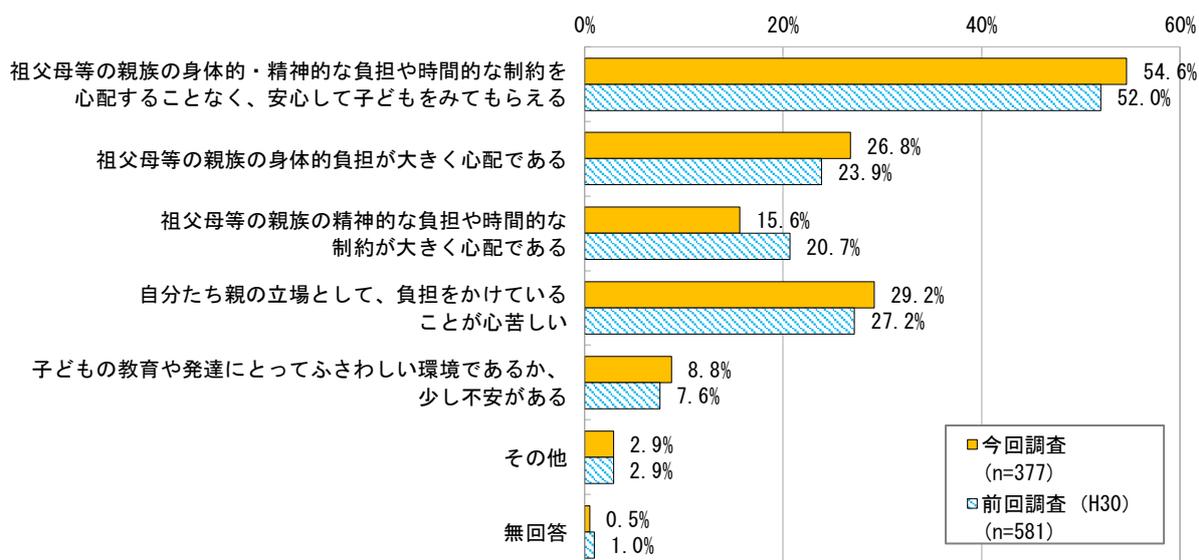
※父子家庭についてはサンプル数が少ないためコメントを省略している。



問10-1 【問 10 で「1」または「2」に○をつけた方にかがいます。】

祖父母等の親族にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。  
 当てはまる番号すべてに○をつけてください。

祖父母等の親族に子どもをみてもらう状況については、「祖父母等の親族の身体的・精神的な負担や時間的な制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる」54.6%が最も高く、次いで「自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい」29.2%、「祖父母等の親族の身体的負担が大きく心配である」26.8%となっている。



項目	回答数	構成比
祖父母等の親族の身体的・精神的な負担や時間的な制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる	206	54.6%
祖父母等の親族の身体的負担が大きく心配である	101	26.8%
祖父母等の親族の精神的な負担や時間的な制約が大きく心配である	59	15.6%
自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい	110	29.2%
子どもの教育や発達にとってふさわしい環境であるか、少し不安がある	33	8.8%
その他	11	2.9%
無回答	2	0.5%
サンプル数	377	-

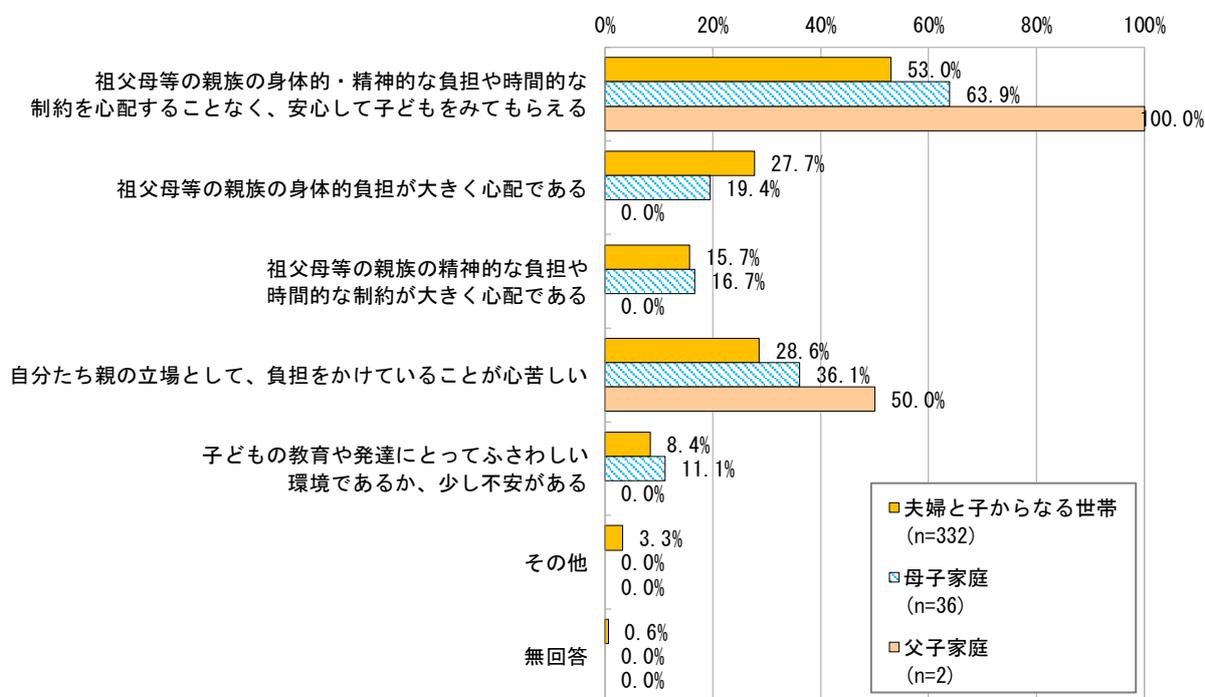
【その他の回答】

- ・負担にならない範囲と内容で、子と接点をもってもらっている
- ・近所にいるわけではないため、交通費などもかかり何度も呼べるわけではない、病気の時は親族への感染も心配するので簡単ではない
- ・祖母も仕事があるため生活に負担をかけてしまうし、時間の制約が大きい
- ・預けることにそれ程心配はないが(精神的負担)、緊急時以外に預けようとは思わない など

● (参考)：世帯構成別

世帯構成別で見ると母子家庭の祖父母等の親族に子どもをみてもらっている状況については、祖父母等の身体的・精神的負担や時間的制約、負担をかけていることが心苦しいとの回答が約7割を占めている。

※父子家庭についてはサンプル数が少ないためコメントを省略している。

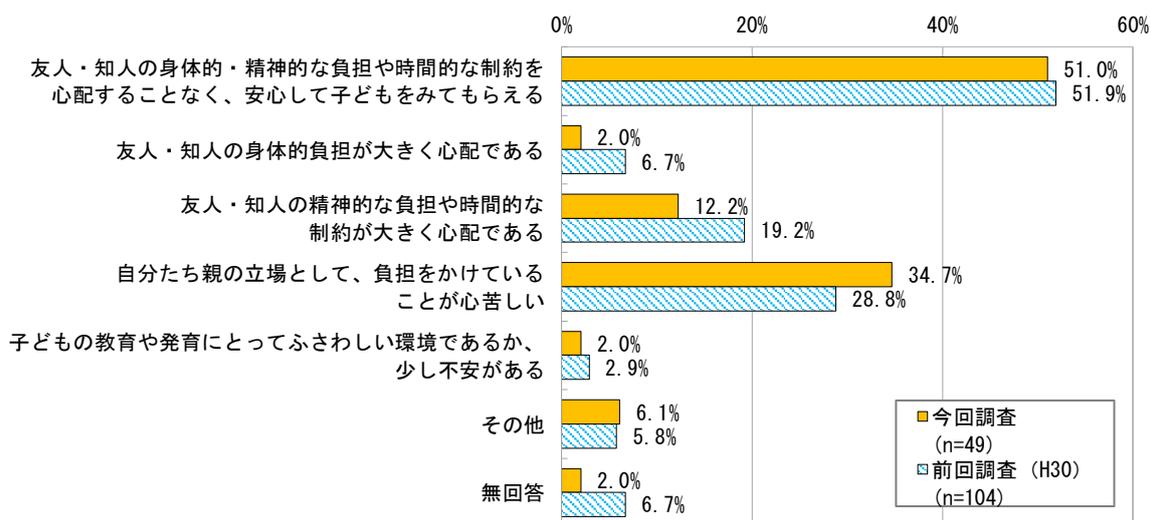


問 10-2 【問 10 で「3」または「4」に○をつけた方にうかがいます。】

友人・知人にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。

当てはまる番号すべてに○をつけてください。

友人・知人に子どもをみてもらう状況については、「友人・知人の身体的・精神的な負担や時間的な制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる」51.0%が最も高く、次いで「自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい」34.7%、「友人・知人の精神的な負担や時間的な制約が大きく心配である」12.2%となっている。



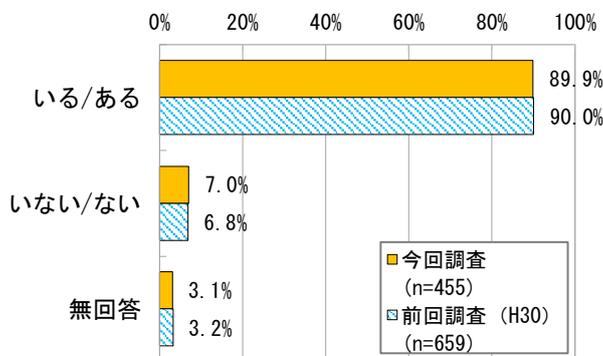
項目	回答数	構成比
友人・知人の身体的・精神的な負担や時間的な制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる	25	51.0%
友人・知人の身体的負担が大きく心配である	1	2.0%
友人・知人の精神的な負担や時間的な制約が大きく心配である	6	12.2%
自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい	17	34.7%
子どもの教育や発育にとってふさわしい環境であるか、少し不安がある	1	2.0%
その他	3	6.1%
無回答	1	2.0%
サンプル数	49	-

【その他の回答】

- ・ 預け先の友人の負担にならない程度で、みてもらうようにしている
- ・ 友人とはいえ気はつかう など

問 11 宛名のお子さんの子育て(教育を含む)をする上で、気軽に相談できる人はいますか。  
また、相談できる場所がありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

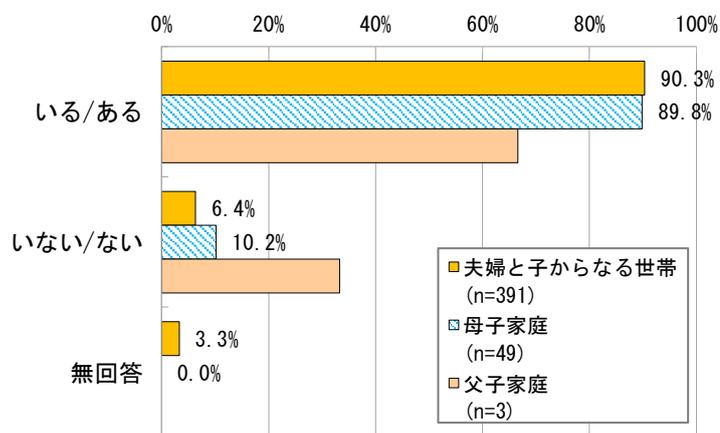
気軽に相談できる人や場所については、「いる/ある」89.9%、「いない/ない」7.0%となっている。



項目	回答数	構成比
いる/ある	409	89.9%
いない/ない	32	7.0%
無回答	14	3.1%
合計	455	100.0%

● (参考)：世帯構成別

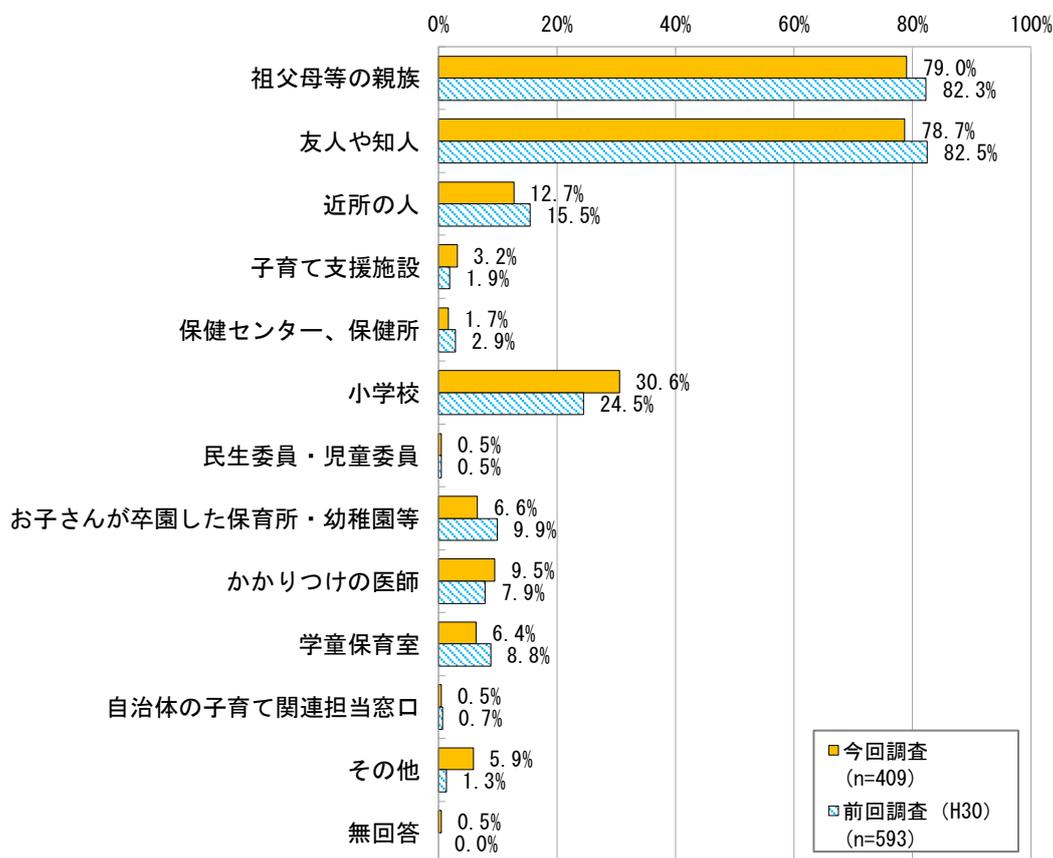
世帯構成別でみると母子家庭の「いる/ある」と回答した割合は、約9割を占めている。  
※父子家庭についてはサンプル数が少ないためコメントを省略している。



問 11-1 【問 11 で「1.いる／ある」に○をつけた方にうかがいます。】

お子さんの子育て(教育を含む)に関して、気軽に相談できる先は、誰(どこ)ですか。  
 当てはまる番号すべてに○をつけてください。

気軽に相談できる先については、「祖父母等の親族」79.0%が最も高く、次いで「友人や知人」78.7%、「小学校」30.6%となっている。



項目	回答数	構成比
祖父母等の親族	323	79.0%
友人や知人	322	78.7%
近所の人	52	12.7%
子育て支援施設	13	3.2%
保健センター、保健所	7	1.7%
小学校	125	30.6%
民生委員・児童委員	2	0.5%
お子さんが卒園した保育所・幼稚園等	27	6.6%
かかりつけの医師	39	9.5%
学童保育室	26	6.4%
自治体の子育て関連担当窓口	2	0.5%
その他	24	5.9%
無回答	2	0.5%
サンプル数	409	-

【その他の回答】

- ・ 配偶者      ・ 児童相談所      ・ 放課後等デイサービスの先生方      ・ 習い事の先生
- ・ 職場の人      ・ 子ども食堂      ・ 療育施設      など

問 12 子育て(教育を含む)をする上で、周囲(身近な人、行政担当者など)からどのようなサポートがあればよいとお考えでしょうか。

## ■ 分類と回答数

分類	回答数(件)
1. 学童・学校・教育等についてのサポート	21
2. 一時預かり等についてのサポート	34
3. 市(行政)のサポート	34
4. 地域社会からのサポート	3
5. 職場・仕事についてのサポート	1
6. 病院・医療等についてのサポート	3
7. 公園・遊び場等についてのサポート	11
8. 経済的なサポート	16
9. その他サポート	14
合計	137

## ■ 主な意見

### 1. 学童・学校・教育等についてのサポート

- 育児、教育を気軽に相談できるサポート場所がほしい。幼児の時であれば「あおい」のような。幼稚園や保育園では先生に相談できたので助かったが、学校に入ると突然相談できる場所がないように思う。学校によるが、学校の先生やカウンセラーの先生は信用ならない。(たくさんの児童がトラブル多々のため)学校の先生や園の先生にこれ以上負担はかけられないので、民間で話を聞いてくれるカウンセラーさんが必要と考える。ただ「あおい」のサポートする方々は幼児対象に思うので、もっと上の子を対象とした方。なお、年配の方で、入学説明会等で講話をされている方は本当に現代に合っていないように思う。入学時に昭和初期の話をされても何も響かない。なら今、現代教育における発達障害の話の方が必要性を感じる。
- 仕事をしても2年生からも支援教室が通えるサポート。(毎週〇〇の〇時と決められていると、常勤でいられない。パートにならなくてはいけない環境は何か違うと思う)

- 少子化で児童が少ないので逆に「何か」に特化した授業や教育ができると思う。特にさいたま市のように英語力は絶対必要である。
- 障害児相談支援先、放デイは連携がなされているが、学校はあまり積極的ではない。障害がある子は支援級に任せるといった感じでインクルーシブとは程遠い。インクルーシブに賛成というわけでもないが、今後グレーゾーンも含めて教員の減少傾向も考えると相互に理解を持つ機会が増えると良い。
- 親だけが出席しなければならない学校行事(懇談会や役員会議 ect)で子供の預け先がない人も多いと思うので、こういったことは子供達の授業中や、自習している間にやってほしいです。
- ステップ教室を利用していました。2年生から利用できなくなることに不安がありましたが、その前に終わってしまいました。残念です。専門知識のある方と1対1で接することで息子に心身共に変化が出てきていたように感じていました。それを見学していた私自身も子供との関わり方を学ばせて頂いていました。ステップ教室のように1対1で学べる場があると良いと思います。(月1回でも良いので)また、長期間続けて頂けたらもっと良いと思います。
- 学校のPTA、子供会について親の仕事が多すぎる。平日は夕方のみ、土日は1日時間があっても、会議があったり研修会に出席しなければならなかったり子供との時間が作りにくい。また、会議は基本的に夜行われているのにも疑問がある。子供のためと言いながら、夜の会議に子供を連れていかなければならず、生活習慣が乱れる。そのようなサポートはいらないと思う。

## 2. 一時預かり等についてのサポート

- 長期休暇の際、学童に入る程働いているわけではないが、見てくれる人が必要になる。祖父母の負担もあるので、そういう時にちょっと預けられる所がほしい。一番は、会社で自習室などあるのが理想。
- 母親が病気の時に短時間子供を預かるか見てくれるサポート。小学校低学年で学童に通っていない場合、母親が単独で家をあげられる時間は限られている。子供をつれて病院や薬局へ行くことが難しく、自分が病院にかかることを後まわしにせざるを得ない。
- 母親の方は、友人や知人が多く、気軽に相談できる環境にあると考えられますが、父親の立場として、行政から、「包括的なサポート」があれば良いと思います。それから、具体的な担当窓口を訪問してサポートを受けられるようにすれば良いと思います。サポートの内容として思い浮かぶのは、やはり緊急時の預かり先の紹介です。(既に同様のサポートが実施されているようであれば、申し訳ございません)
- 子供が小さい時、預かりサポートみたいな所へ電話したことがあったが、実家が近いという理由で断られた。実家に頼れないから助けを求めたのに。なので行政のサポートは期待していない。実家が近かろうが助けを求められる、一人の時間がほしいからという理由でも簡単に預けられる所があれば今から出産する方などの魅力の一つになるのでは。
- すぐ近くに病児保育所がない。

- 学童に通わせる程働いていないので、学童などの行政にあずけることはできない。そういった短時間の人へ向けての学童の一手手前の場所がほしい。
- 夏休み等の長期休暇の時に見てもらえる施設、人員の確保。
- 学童保育を6年生まで預ける環境を作ってほしい。
- 幼児や乳児期に精神的に辛くなっているママたちが心置きなく子供を一時的(数時間)に預けられる場所。(うしろめたさを感じないことが必須)
- 2時間200円~500円の気軽な金額で子供(1~3歳くらい)を預けられるサービスがあれば母親たちももっと気軽に美容院などに行ける。
- 学童保育室の入室の制限(勤務日数、時間帯など)が厳しすぎる。
- 平日の学童保育を利用していませんが、パートで働いています。夏休み中もパートへ行かなくてはいけないので子供たちの預け先がなく困っています。夏休み中のみ短期で預けられる場所がほしいです。(既存のところではなく短期の子たちのみ)
- 両親が仕事をしている間、子を見てもらえるサービスを制限なしで受けられるサポート。就業に向けた活動も含めて、学校や習い事の送迎サービス。両親が子供と関わる時間を作るための社会的支援(金銭、時間)。

### 3. 市(行政)のサポート

- 相談窓口の実施場所をわかりやすくしてほしい。
- 自分から動かないと、どんな情報でも入ってこないのが辛い。行政や福祉、保健所、育委員会が持っている情報はどんどん開示、提供してもらいたい。
- 私立小でも受け入れてもらえる行政。学童保育等希望するものはすべて対象外になる。
- 制度などわかりやすく教えてくれる所があると良い。
- 子育てをしている環境で祖父母等の親族の手を借りることができない(行田が地元ではない)ママさんたちが集まれる場所。自分は子育ての途中で地元に戻った者ですが、とにかくママさんを孤立させないサポートを希望します。
- LINEのオープンチャット的なフラットに匿名でチャットができたらいいと思う。本当に気軽に会話的に共感してもらえるだけで心は軽くなる。行田市限定が理想。
- 学校の先生について、トラブル等会った時相談しやすい行政窓口があると良いと思います(学校に行っても改善されない時の外部窓口)。
- 自治体等で休みなどに短期間でやる教室などが冬休み、春休みにもあると嬉しい。色々なことを経験させてあげたい。
- 私は主人の転勤に伴い5.6年で各地(全国)を回っています。行田に来て2年目の頃、主人が海外駐在となり、単身赴任を決めました。子供が小さく幼稚園に入る前は気軽に相談できる場所が少なく大変だった記憶があります。その頃、家にいるのも息詰まるので、よく子育て支援センターに行きました。行田の支援センターはスタッフこそ多いですが、受付をしたらスタッフのいない別室で自由に遊ぶスタイルで、スタッフの人(高齢の方多い)に相談できる雰囲気でもないし、子供にトラブルがあってもスタッフが見ていないという状況であまり足が向かなかったです。熊谷の支援センターの「にこにこ」ではスタッフの方が親身になり話を聞いてくれて救われました。ただ場

所を提供するというだけでなく、親子に向き合ってくれる人がいるか、信頼相談しやすいかということが大事だと思います。電話やメールより実際に顔を見て子供を見て頂いてアドバイスいただくことが安心できました。

- 子育て(教育を含む)に特化した情報誌(無料)があったらうれしいです。塾や習い事の情報もほしいです。
- グレーゾーンの発達遅延があるので同じ子を持つ方との交流がない。
- サポートを受けるまでに1年以上待ちといわれる。行政の仕事の仕組みを変えてほしい。助けてほしいのは今だから相談しているのです。
- 気軽に相談できる所はないし、「様子を見ましょう」というのが一番空しい回答。
- サポートよりも、障害児に関する情報が少なすぎる。
- 小学校入学前のように、保健センターなどから「何か困ったことはありませんか？」と電話などがあると安心材料になる。

#### 4. 地域社会からのサポート

- 朝と夕方の旗振りを代わりにやってくれる方探して下さい。もしくは、信号のある所の旗振りを廃止して下さい。
- 働いている親が多いため、地域をふくめて支援して頂けると助かります。
- 作業的なことよりも、近所での過ごし方や移動の支援において気持ちの上で風通しのよい人間関係づくりができると生きやすいと思っています。

#### 5. 職場・仕事についてのサポート

- 子供の急病時、困ることが多い。職場にも頭を下げ嫌な顔をされ、家族を頼りたいが自分がパートと立場が下であることから一人で抱え込むことが多い。当たり前母親だけが苦しむ社会をどうにかしてほしい。

#### 6. 病院・医療等についてのサポート

- 相談できる場所はあるが、発達障害等専門的な知識があるわけではないので、そのような場所、病院等が行田にもあるといいなと思います。
- 夫婦共働きのため、子の体調不良の際に急な預け先がないことに困っています。予約なしでも利用できる病児保育のようなサポートがほしいです。
- 病児保育所の拡大、高校の無償化。

#### 7. 公園・遊び場等についてのサポート

- せっかく近くに埼玉古墳があるのに遊具が一つもないのがとても残念です。さきたまテラスができて期待していたのですが一度行けば十分…大きな広場にたくさんの親子が集まりたいと思える魅力的な遊具を作ってもらえれば、さきたまテラスでも休憩でき、もっと盛り上がるのではないかと思います。例えば、古墳ローラーすべり台みたいなを作り、足利日赤のそばにある五十部公園みたいな遊具があれば毎週のように

遊びに行きたいです。それと田舎っぺうどんをもう一度復活してもらいたいです。田舎っぺファンいっぱいいます。

- 近くに公園がないので、外で遊ばせるところがほしい。
- 「コミュニティセンターみずしろ」のような、子供が自由に遊べる場所が各学区内にあるとすごくいいなと思います。(おもちゃの貸し出しや小さな図書館、自習室が完備されている場所)夏は暑いので、空調のきいた場所があると安心です。
- 人が集まるイベントを増やしてほしい。
- 子供が気軽に遊びに行ける場所を増やしてほしい。埼玉は大きな公園はあるが、近所に遊べる場所がない(小さな公園等)。また、公園でキックボードやスケボーができないことも子供の遊びの選択肢を減らしていると思う。
- 子供が小さい頃は子供が遊ぶ所と親が息抜きできる所が併設されている施設がほしいと思っていました。公園の中にカフェがある等。(別の県の公園には屋根付きベンチがたくさんあり、キッチンカーが来ていました。それでも親にとってありがたいです)
- 近くに公園がないため、公園を増やしてほしい。
- 友だちと安全に遊ぶ場所の提供、特に室内。学童以外の子供たちと保護者が気軽に集まれる場所がほしいです。今は友だちの家にお邪魔するしかなく、来られる家も負担が大きく、行く人も申し訳ないから会う機会が持てません。

## 8. 経済的なサポート

- 給食などの無償化や、義務教育といってもなんだかんだ学校関係の支払いが多く、補助がほしいです。
- お金の面を援助していただけると助かります(給食費、保育料等)。
- 子供が3人いると水道、電気、食費などから教育費まですべてに負担が大きいの、やはり金銭につながる支援があればありがたいです。
- 非課税世帯の給付金だけでなく均等割りのみの世帯にももっと補助をしてほしい。相談より支給や免除を増やしてほしいです。私は人を信用しないので相談は要らないです。資格をとるために奨学金等うけながら生活費を充分出してほしい。
- 学校の授業に少し遅れが出ているが、塾に行くお金がなく、学校(担任の先生)に説明相談してもおうちで頑張ってください。塾に行かせたら…特別学級に行った方が…と親身になってくれている感じがしない。仕事も日常も精一杯で、教えてあげているが心身共につらいです。
- かた親の児童扶養手当の金額や所得制限が少なすぎる。
- 金銭面の補助。(収入に関係なく)

## 9. その他サポート

- 悪いことをしたら注意をしてくれるような人がいてほしいです。
- 働く親でも習い事に送迎してもらえるサポート。音楽や芸術などを身近に感じられるようなイベントやプロのコンサートを主催するサポート。
- 学校が休みの日(土日祝日や長期休み)の食事や見守り。

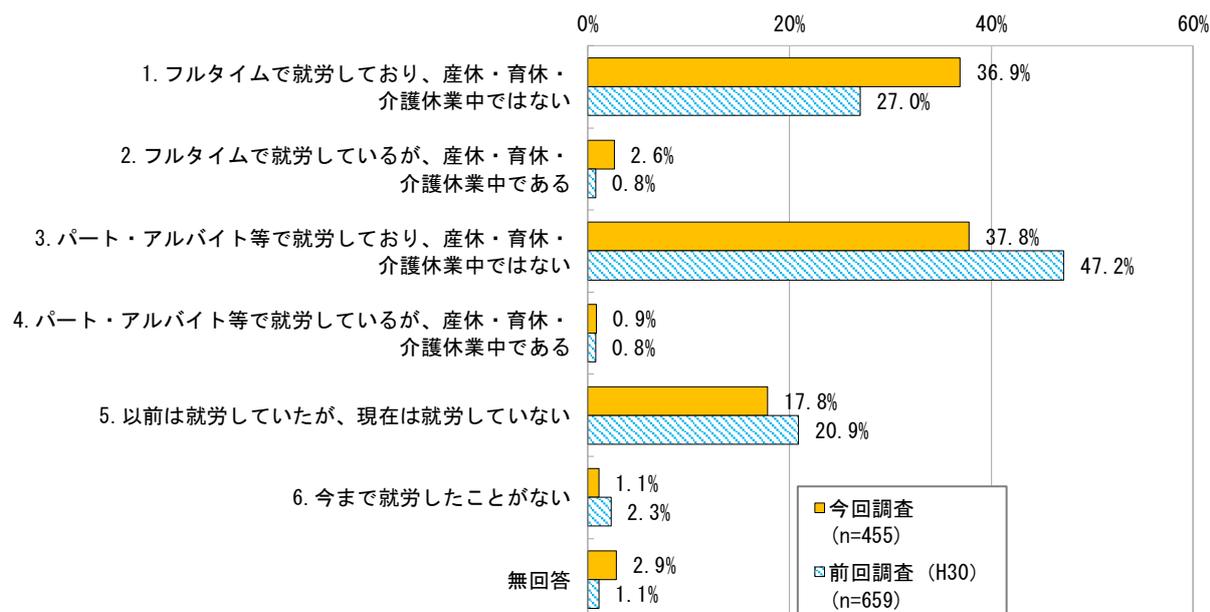
- 小学校まで片道 2.5km の距離があり、行き、帰りのどちらかだけでも送迎のサポートがほしい。
- 学校からの下校時、一人で歩いている子供を見かけることが多く、心配です。昨今は事件も多いため外国のように登下校送迎にしてほしい。
- 子供たちが安全に登下校できる通学路の確保(車がすぐ脇を通るため、いつ子供達の列に突っ込んでくるか日々心配です)※ガードレールなし、縁石無し。(本当に危ないです)
- 急な病気の時のシッターさん、習い事の送迎、習い事を相談できる場所や近所の集まり。
- 無料で使えるタクシーやバスが近くにあるといい。交通手段が自転車だけなので病院など待つ時や行くときなどにとっても困る。
- 登下校時、公共施設(公園など)における、安全防犯対策、また単純に大人の見守る目が多く、わかりやすくあるとありがたいです。
- 肢体不自由であるため、車に乗せたり降ろしたりが大変なため、兄や妹の習い事等にも送迎の関係で制限が出てしまうので、兄弟等へのフォローをしてくれるようなサポートがあると嬉しいです。
- 車の中で子供(赤ちゃんや小さな子)が眠ってしまうことがよくあります。しかし、スーパーに行くよ！と起こすとグズグズで大変です。できればそのまま眠らせてあげたいなあ…そんな時、私の母は車で来てくれて駐車場の隣で見守ってくれました。その間にスーパーで買い物していたのですが、すごく助かったのを覚えています。そんなサポート難しいと思いますが、あったらいいなあと思います。

## 4. 保護者の就労状況について

問 13 宛名のお子さんの保護者の現在の就労状況(自営業、家族従事者含む)をうかがいます。

### (1) 母親

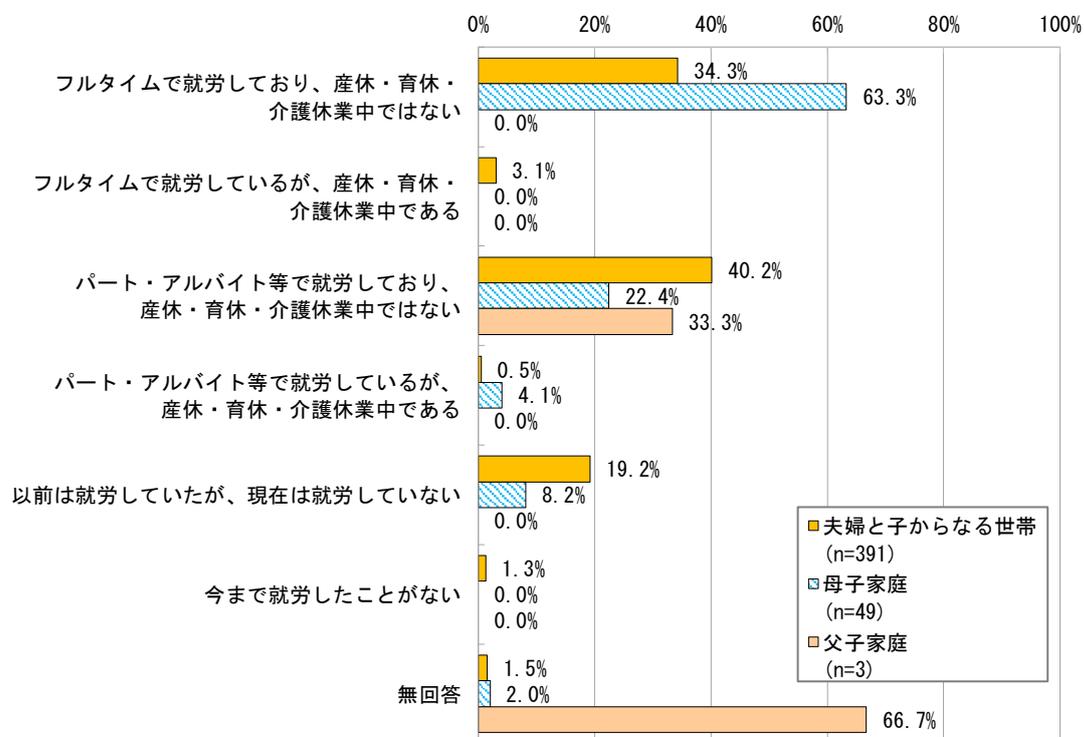
母親の就労状況については、「パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」37.8%が最も高く、次いで「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」36.9%、「以前は就労していたが、現在は就労していない」17.8%となっている。



項目	回答数	構成比
フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	168	36.9%
フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である	12	2.6%
パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	172	37.8%
パート・アルバイト等で就労しているが、産休・育休・介護休業中である	4	0.9%
以前は就労していたが、現在は就労していない	81	17.8%
今まで就労したことがない	5	1.1%
無回答	13	2.9%
合計	455	100.0%

● (参考)：世帯構成別

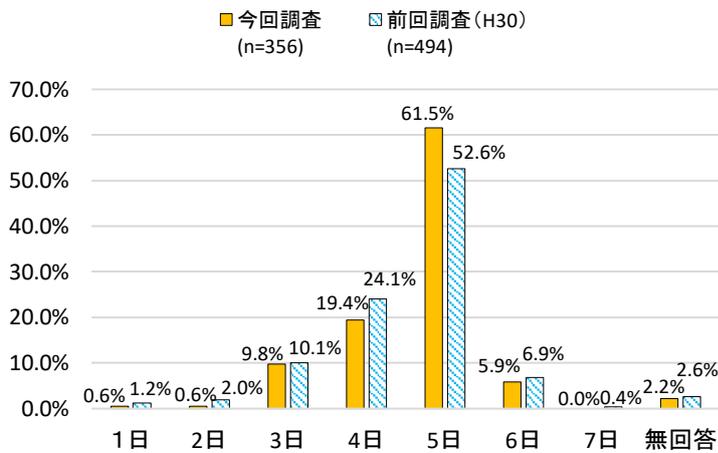
世帯構成別で見ると母子家庭では、フルタイム 63.3%、パートタイム 26.5%となっている。  
 ※父子家庭についてはサンプル数が少ないためコメントを省略している。



問 13(1)-1 【問 13(1)で「1」～「4」(就労している)に○をつけた方にうかがいます。】  
 週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間(残業時間を含む)」をお答えください。就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。

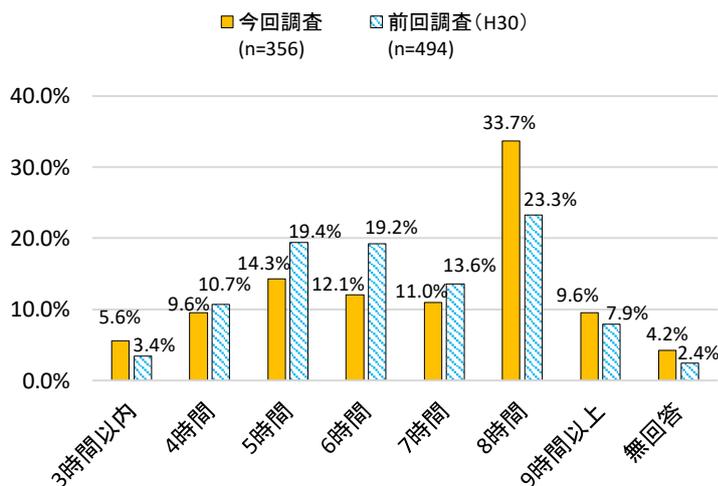
母親の就労状況をみると、週5日、1日8時間が最多となっている。

【1週当たり日数(母親)】



項目	回答数	構成比
1日	2	0.6%
2日	2	0.6%
3日	35	9.8%
4日	69	19.4%
5日	219	61.5%
6日	21	5.9%
7日	0	0.0%
無回答	8	2.2%
合計	356	100.0%

【1日当たり時間(母親)】



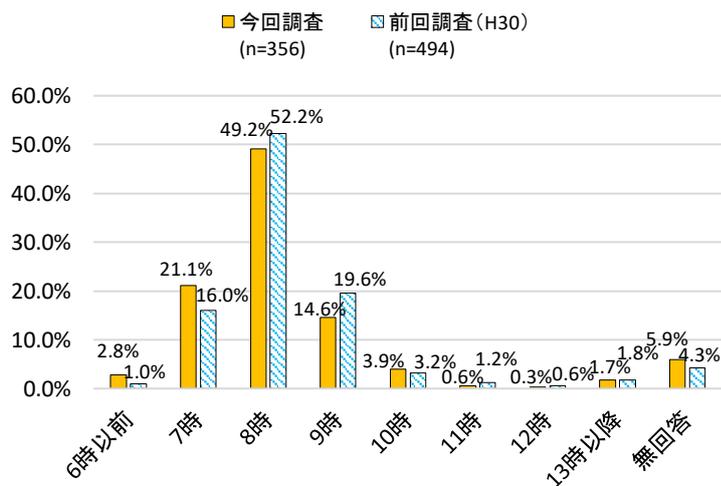
項目	回答数	構成比
3時間以内	20	5.6%
4時間	34	9.6%
5時間	51	14.3%
6時間	43	12.1%
7時間	39	11.0%
8時間	120	33.7%
9時間以上	34	9.6%
無回答	15	4.2%
合計	356	100.0%

問 13(1)-2 【問 13(1)で「1」～「4」(就労している)に○をつけた方にうかがいます。】

家を出る時刻と帰宅時刻をお答えください。時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。

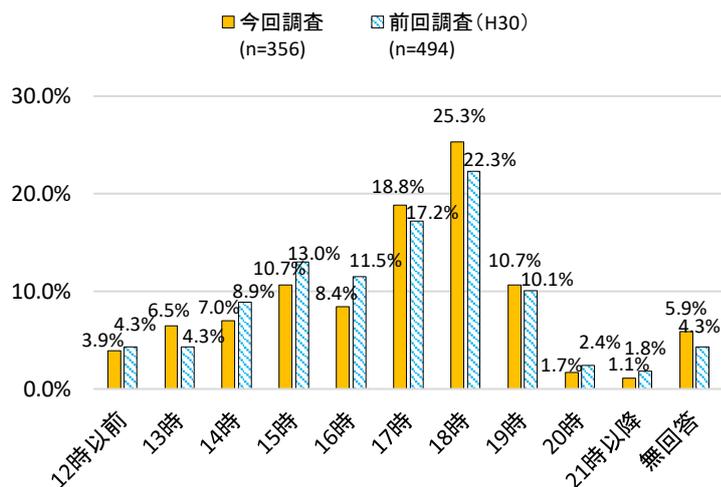
母親の家を出る時刻は8時、帰宅時刻は18時が最多となっている。

### 【家を出る時刻（母親）】



項目	回答数	構成比
6時以前	10	2.8%
7時	75	21.1%
8時	175	49.2%
9時	52	14.6%
10時	14	3.9%
11時	2	0.6%
12時	1	0.3%
13時以降	6	1.7%
無回答	21	5.9%
合計	356	100.0%

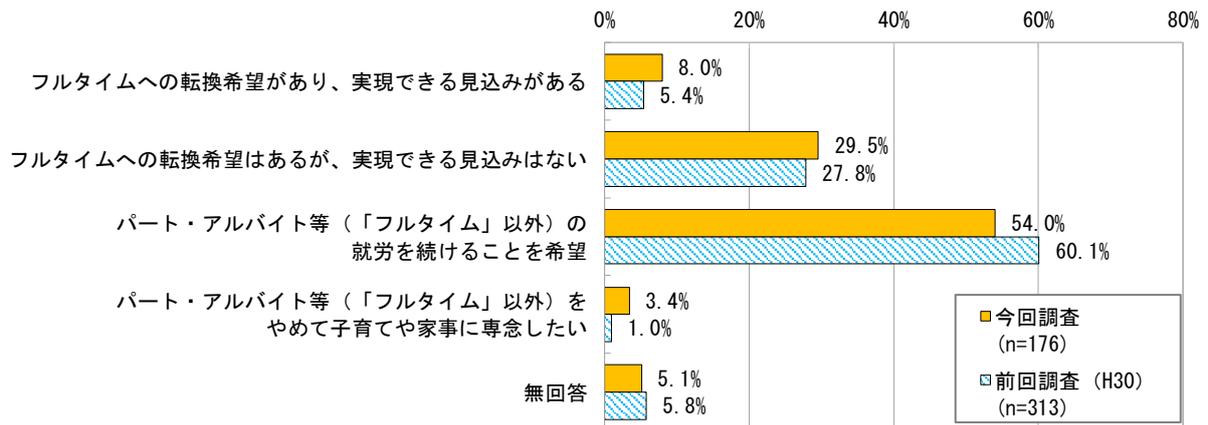
### 【帰宅時刻（母親）】



項目	回答数	構成比
12時以前	14	3.9%
13時	23	6.5%
14時	25	7.0%
15時	38	10.7%
16時	30	8.4%
17時	67	18.8%
18時	90	25.3%
19時	38	10.7%
20時	6	1.7%
21時以降	4	1.1%
無回答	21	5.9%
合計	356	100.0%

問13(1)-3 【問13(1)で「3」または「4」(パート・アルバイト等で就労している)に○をつけた方  
 にかがいます。】フルタイムへの転換等の希望はありますか。  
 当てはまる番号1つに○をつけてください。

母親のフルタイムへの転換希望については、「パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）の就労を続けることを希望」54.0%が最も高く、次いで「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」29.5%、「フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある」8.0%となっている。

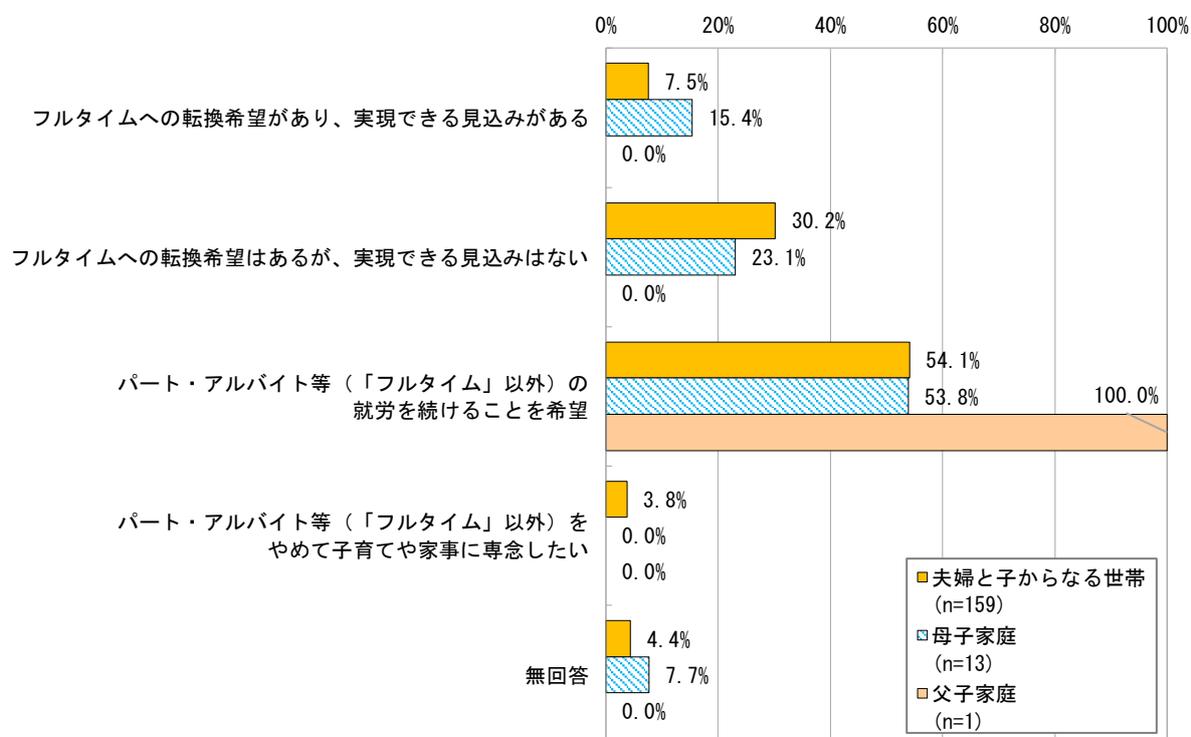


項目	回答数	構成比
フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある	14	8.0%
フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない	52	29.5%
パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)の就労を続けることを希望	95	54.0%
パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)をやめて子育てや家事に専念したい	6	3.4%
無回答	9	5.1%
合計	176	100.0%

● (参考)：世帯構成別

世帯構成別でみると母子家庭のフルタイムへの転換希望については、フルタイム 38.5%、パート・アルバイト等 53.8%となっている。

※父子家庭についてはサンプル数が少ないためコメントを省略している。

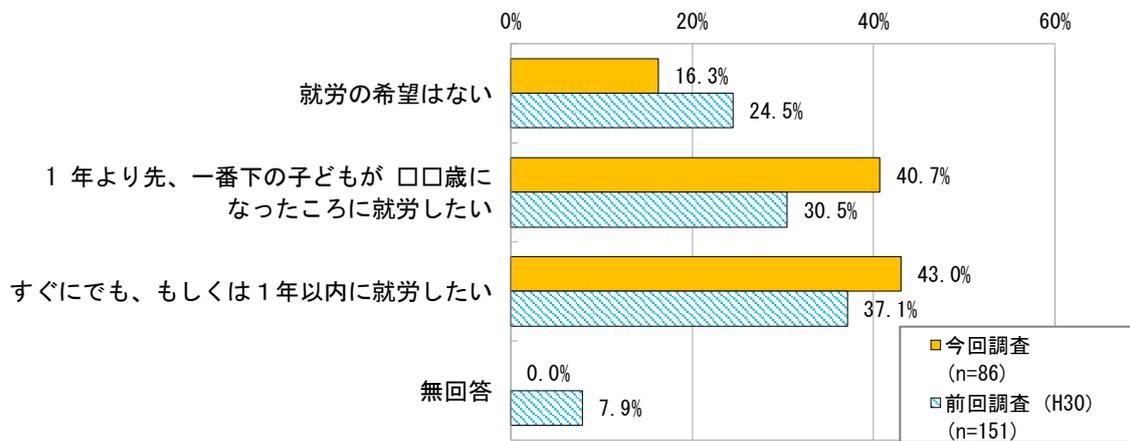


問13(1)-4 【問13(1)で「5.以前は就労していたが、現在は就労していない」または「6.今まで就労したことがない」に○をつけた方にうかがいます。】  
 就労したいという希望はありますか。当てはまる番号・記号それぞれ1つに○をつけてください。

就労していない母親の就労希望については、「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」43.0%が最も高く、次いで「1年より先、一番下の子どもが□□歳になったところに就労したい」40.7%、「就労の希望はない」16.3%となっている。

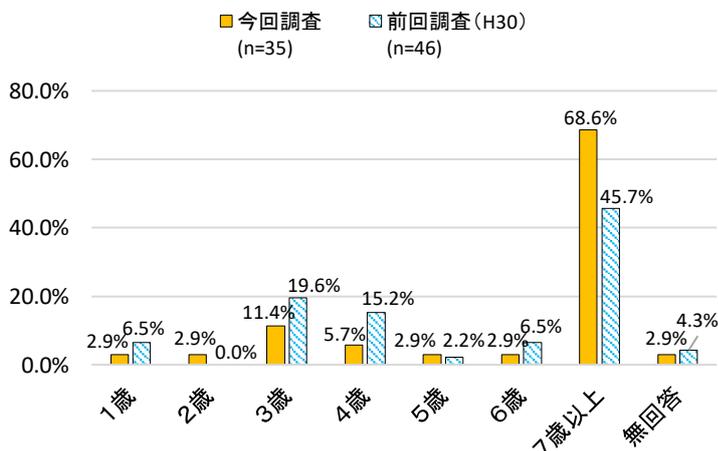
「1年より先、一番下の子どもが（ ）歳になったところに就労したい」と回答した人が希望する復帰時の子どもの年齢については、「7歳以上」68.6%が最も高くなっている。

「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」と回答した人の働き方については、「フルタイム」5.4%、「パートタイム・アルバイト等」91.9%となっている。また、「パートタイム・アルバイト等」の働き方については、週3日、1日3～5時間との回答が最も高くなっている。



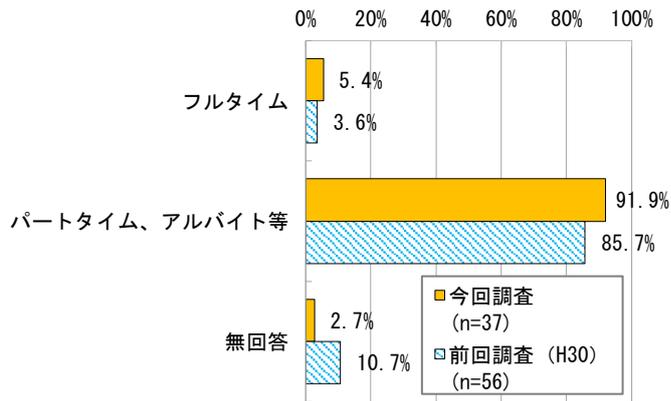
項目	回答数	構成比
就労の希望はない	14	16.3%
1年より先、一番下の子どもが□□歳になったところに就労したい	35	40.7%
すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい	37	43.0%
無回答	0	0.0%
合計	86	100.0%

【就労を希望する時期（一番下の子どもの年齢）母親】



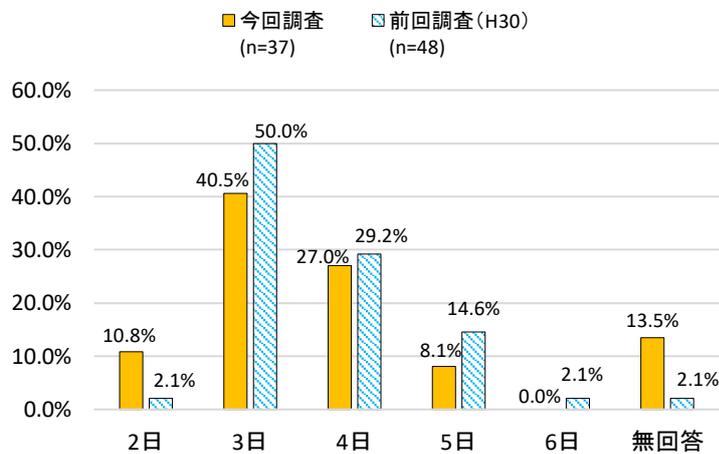
項目	回答数	構成比
1歳	1	2.9%
2歳	1	2.9%
3歳	4	11.4%
4歳	2	5.7%
5歳	1	2.9%
6歳	1	2.9%
7歳以上	24	68.6%
無回答	1	2.9%
合計	35	100.0%

【希望する就労形態（母親）】



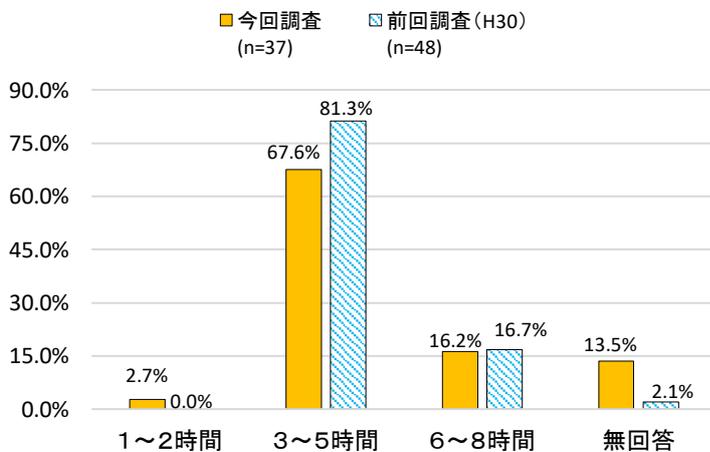
項目	回答数	構成比
フルタイム	2	5.4%
パートタイム、アルバイト等	34	91.9%
無回答	1	2.7%
合計	37	100.0%

【1週あたり日数（母親）】



項目	回答数	構成比
1日	0	0.0%
2日	4	10.8%
3日	15	40.5%
4日	10	27.0%
5日	3	8.1%
6日	0	0.0%
7日	0	0.0%
無回答	5	13.5%
合計	37	100.0%

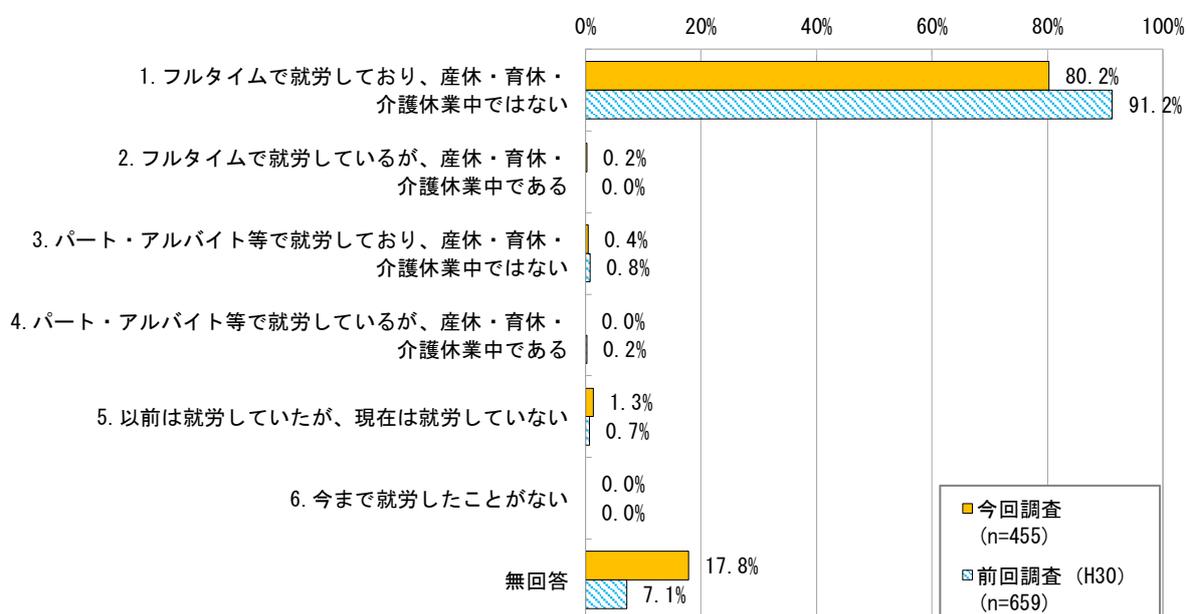
【1日あたり時間（母親）】



項目	回答数	構成比
1～2時間	1	2.7%
3～5時間	25	67.6%
6～8時間	6	16.2%
無回答	5	13.5%
合計	37	100.0%

## (2) 父親

父親の就労状況については、「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」80.2%が最も高くなっている。

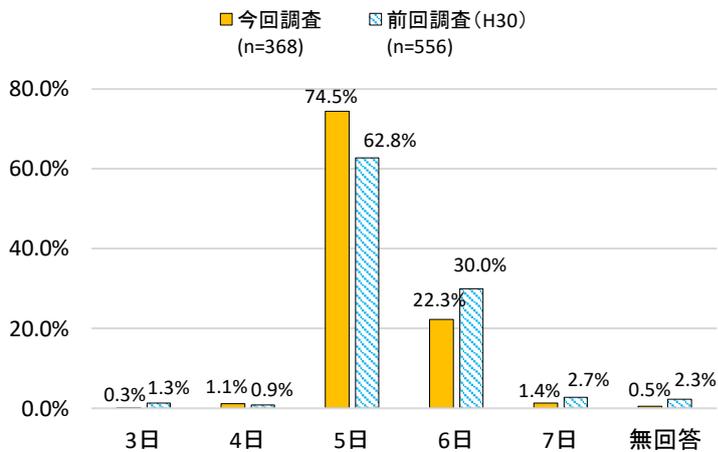


項目	回答数	構成比
フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	365	80.2%
フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である	1	0.2%
パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	2	0.4%
パート・アルバイト等で就労しているが、産休・育休・介護休業中である	0	0.0%
以前は就労していたが、現在は就労していない	6	1.3%
今まで就労したことがない	0	0.0%
無回答	81	17.8%
合計	455	100.0%

問 13(2)-1 【問 13(2)で「1」～「4」(就労している)に○をつけた方にうかがいます。  
 週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間(残業時間を含む)」をお答えください。就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。

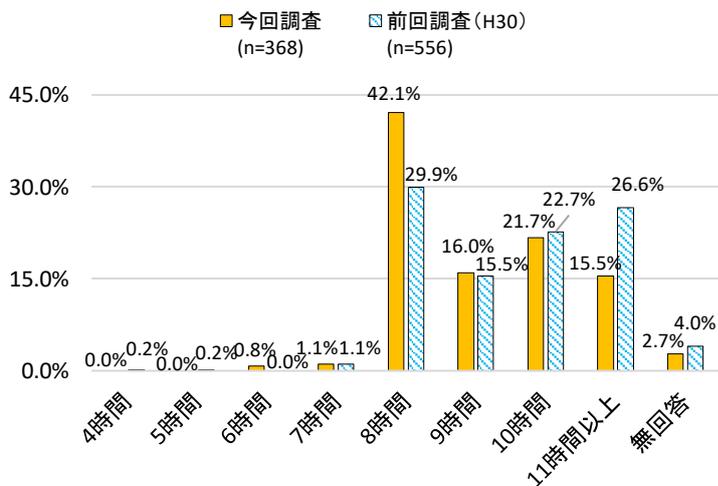
父親の就労状況をみると、週5日、1日8時間が最多となっている。

【1週当たり日数(父親)】



項目	回答数	構成比
1日	0	0.0%
2日	0	0.0%
3日	1	0.3%
4日	4	1.1%
5日	274	74.5%
6日	82	22.3%
7日	5	1.4%
無回答	2	0.5%
合計	368	100.0%

【1日当たり時間(父親)】

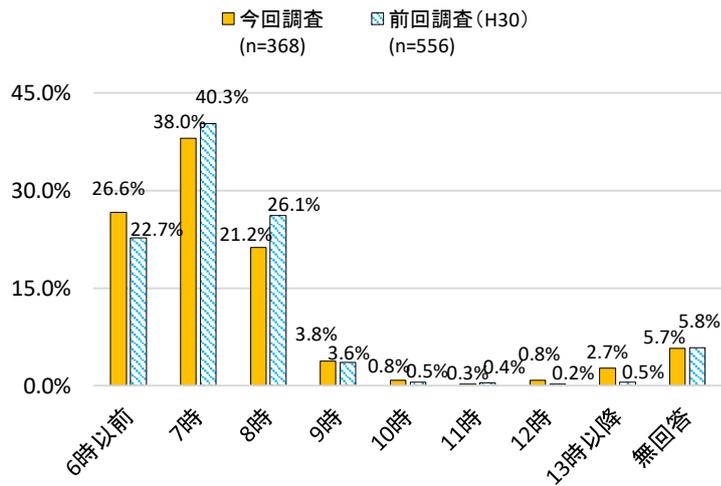


項目	回答数	構成比
3時間以内	0	0.0%
4時間	0	0.0%
5時間	0	0.0%
6時間	3	0.8%
7時間	4	1.1%
8時間	155	42.1%
9時間	59	16.0%
10時間	80	21.7%
11時間以上	57	15.5%
無回答	10	2.7%
合計	368	100.0%

問 13(2)-2 【問 13(2)で「1」～「4」(就労している)に○をつけた方にうかがいます。】  
 家を出る時刻と帰宅時刻をお答えください。時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。

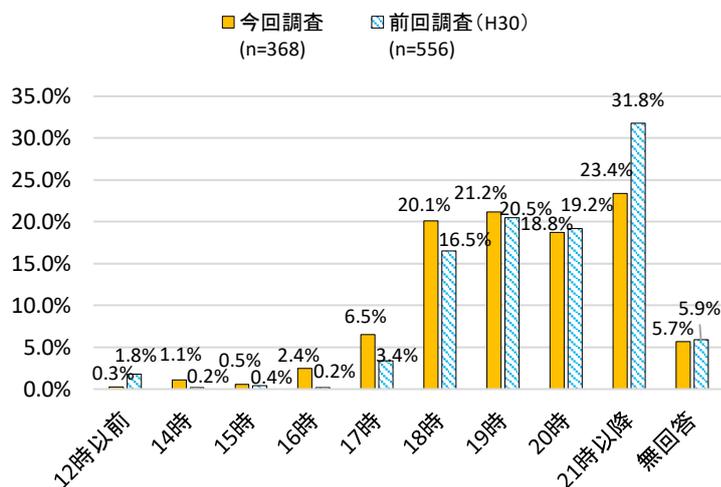
父親の家を出る時刻は7時、帰宅時刻は21時以降が最多となっている。

【家を出る時刻（父親）】



項目	回答数	構成比
6時以前	98	26.6%
7時	140	38.0%
8時	78	21.2%
9時	14	3.8%
10時	3	0.8%
11時	1	0.3%
12時	3	0.8%
13時以降	10	2.7%
無回答	21	5.7%
合計	368	100.0%

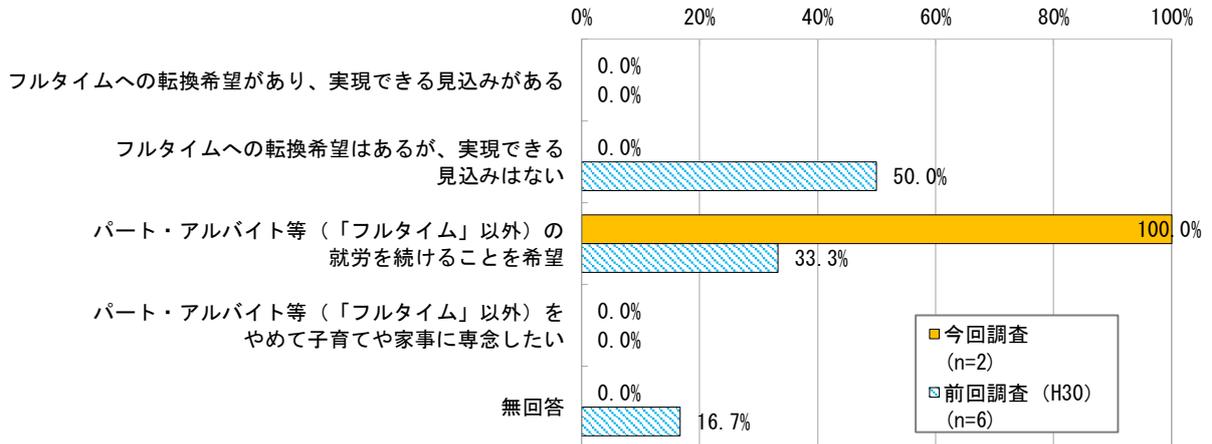
【帰宅時刻（父親）】



項目	回答数	構成比
12時以前	1	0.3%
13時	0	0.0%
14時	4	1.1%
15時	2	0.5%
16時	9	2.4%
17時	24	6.5%
18時	74	20.1%
19時	78	21.2%
20時	69	18.8%
21時以降	86	23.4%
無回答	21	5.7%
合計	368	100.0%

問 13(2)-3 【問 13(2)で「3」または「4」(パート・アルバイト等で就労している)に○をつけた方  
 にかがいます。】フルタイムへの転換等の希望はありますか。  
 当てはまる番号1つに○をつけてください。

父親のフルタイムへの転換希望については、サンプル数が少ないことに留意する必要があるが、「パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）の就労を続けることを希望」が100.0%となっている。



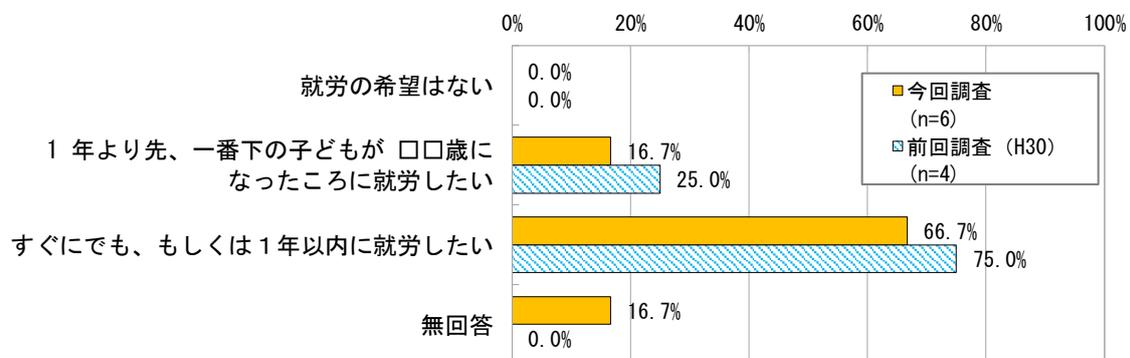
項目	回答数	構成比
フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある	0	0.0%
フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない	0	0.0%
パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）の就労を続けることを希望	2	100.0%
パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）をやめて子育てや家事に専念したい	0	0.0%
無回答	0	0.0%
合計	2	100.0%

問 13(2)-4 【問 13(2)で「5.以前は就労していたが、現在は就労していない」または「6.今まで就労したことがない」に○をつけた方にうかがいます。】  
 就労したいという希望はありますか。当てはまる番号・記号それぞれ1つに○をつけてください。

就労していない父親の就労希望については、「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」66.7%が最も高く、次いで「1年より先、一番下の子どもが□□歳になったところに就労したい」16.7%となっている。

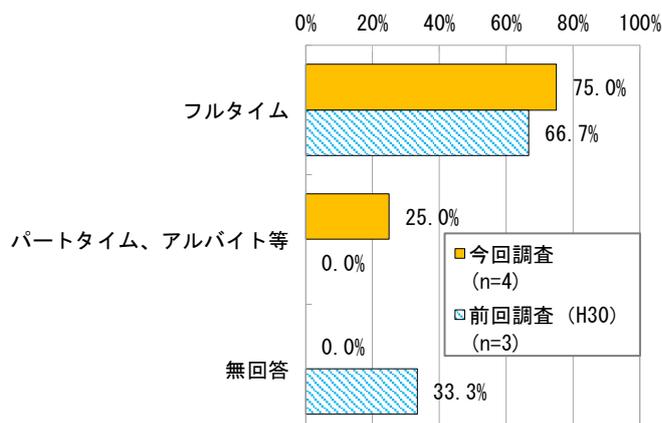
「1年より先、一番下の子どもが（ ）歳になったところに就労したい」と回答した人が希望する復帰時の子どもの年齢については、回答が得られなかった。

「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」と回答した人の働き方については、「フルタイム」75.0%、「パートタイム・アルバイト等」25.0%となっている。また、「パートタイム・アルバイト等」の働き方については、週3日、1日3～5時間との回答がそれぞれ1件であった。



項目	回答数	構成比
就労の希望はない	0	0.0%
1年より先、一番下の子どもが□□歳になったところに就労したい	1	16.7%
すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい	4	66.7%
無回答	1	16.7%
合計	6	100.0%

【希望する就労形態（父親）】

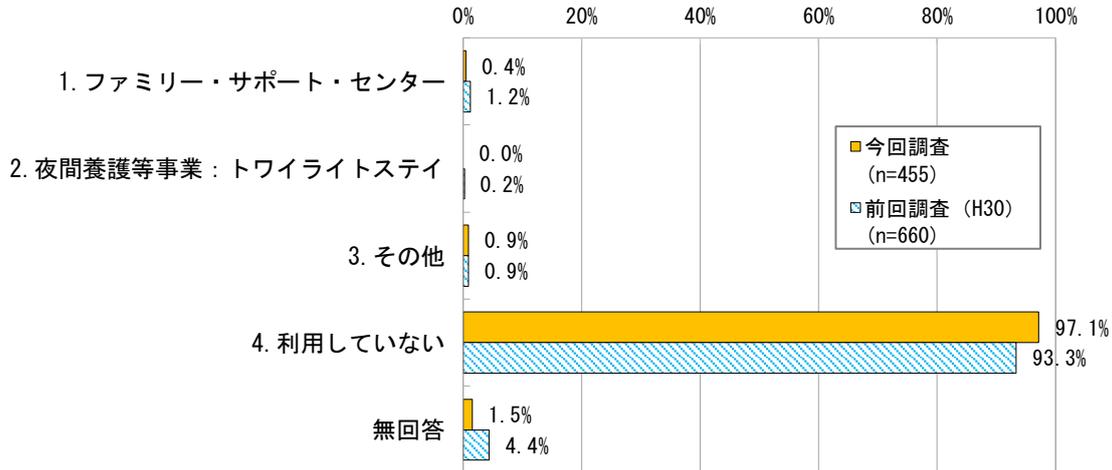


項目	回答数	構成比
フルタイム	3	75.0%
パートタイム、アルバイト等	1	25.0%
無回答	0	0.0%
合計	4	100.0%

## 5. お子さんの不規則の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用について

問14 宛名のお子さんについて、日中の定期的な保育や病気のため以外に、私用、親の通院、不規則の就労等の目的で不規則に利用している事業はありますか。ある場合は、当てはまる番号すべてに○をつけ、1年間の利用日数(おおよそ)を記入してください。

不規則に利用している事業については、「利用していない」97.1%が最も高くなっている。

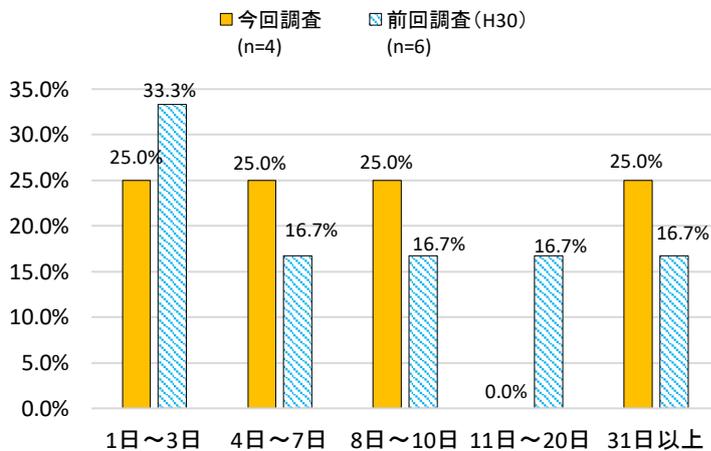


### 【その他の回答】

- ・職場の併設している託児所
- ・朝の送り出しヘルパー
- ・NPO法人わわわ工房の学習支援 など

項目	回答数	構成比
ファミリー・サポート・センター	2	0.4%
夜間養護等事業：トワイライトステイ	0	0.0%
その他	4	0.9%
利用していない	442	97.1%
無回答	7	1.5%
サンプル数	455	-

### 【3.その他】日数/年



項目	回答数	構成比
1日～3日	1	25.0%
4日～7日	1	25.0%
8日～10日	1	25.0%
11日～20日	0	0.0%
21日～30日	0	0.0%
31日以上	1	25.0%
無回答	0	0.0%
合計	4	100.0%

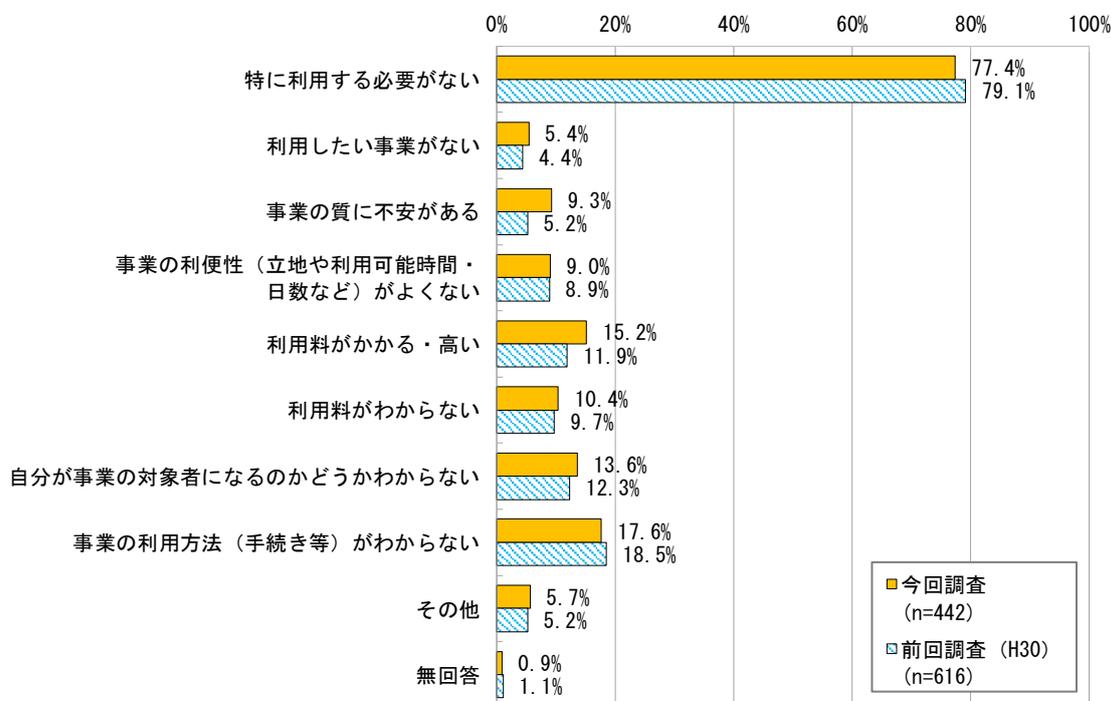
【1.ファミリー・サポート・センター(n=2)】：11～20日 (50.0%)、無回答 (50.0%)

【2.トワイライトステイ】：該当なし

問 14-1 【問14で「4. 利用していない」と回答した方にうかがいます】

現在利用していない理由は何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

現在事業を利用していない理由については、「特に利用する必要がない」77.4%が最も高く、次いで「事業の利用方法（手続き等）がわからない」17.6%、「利用料がかかる・高い」15.2%となっている。



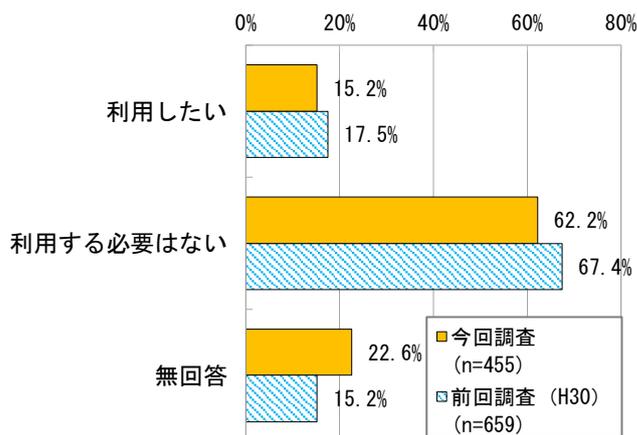
項目	回答数	構成比
特に利用する必要がない	342	77.4%
利用したい事業がない	24	5.4%
事業の質に不安がある	41	9.3%
事業の利便性(立地や利用可能時間・日数など)がよくない	40	9.0%
利用料がかかる・高い	67	15.2%
利用料がわからない	46	10.4%
自分が事業の対象になるのかわからない	60	13.6%
事業の利用方法(手続き等)がわからない	78	17.6%
その他	25	5.7%
無回答	4	0.9%
サンプル数	442	-

【その他の回答】

- ・子どもの友人がいない
- ・預けることへの不安
- ・手続きが面倒そうで使っていない
- ・利用対象外の事業しかない
- ・子どもが嫌がる
- ・児童養護施設に入所しているため
- ・子どもがアレルギーを持っているので不安がある
- など

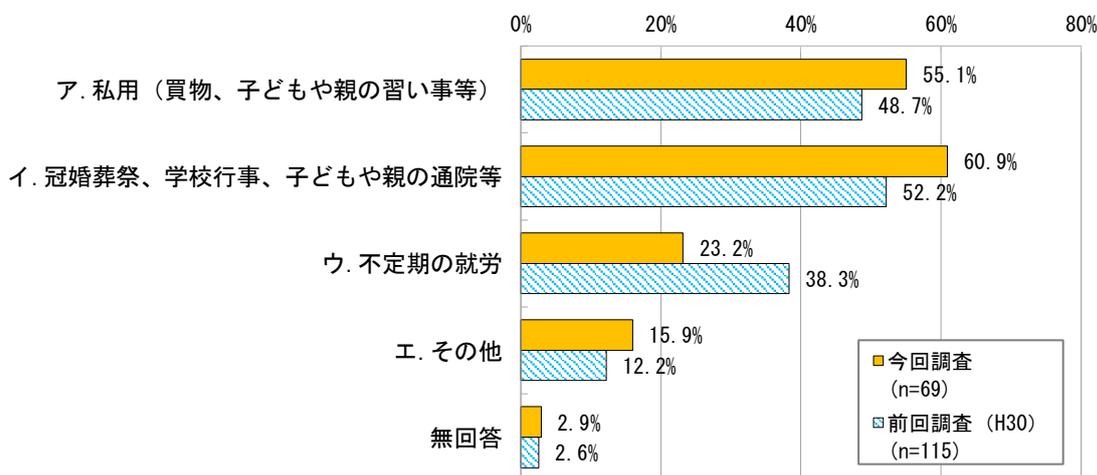
問15 宛名のお子さんについて、私用、親の通院、不特定の就労等の目的で、年間何日くらい事業を利用する必要があると思いますか。利用希望の有無について当てはまる番号・記号すべてに○をつけ、必要な日数をご記入ください。

私用、親の通院、不特定の就労等の目的による事業の利用意向については、「利用したい」15.2%、「利用する必要はない」62.2%となっている。利用理由については、「冠婚葬祭、学校行事、子どもや親の通院等」60.9%が最も高く、次いで「私用（買物、子どもや親の習い事等）」55.1%、「不特定の就労」23.2%となっている。利用日数の合計については、全体の37.7%が「11日～20日」と回答している。



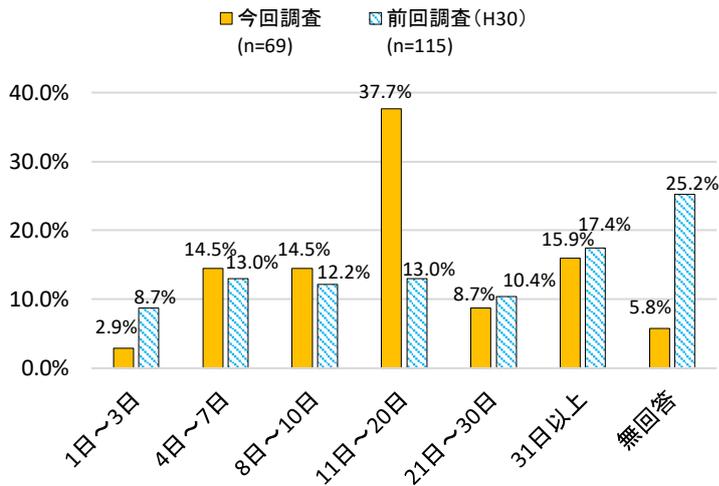
項目	回答数	構成比
利用したい	69	15.2%
利用する必要はない	283	62.2%
無回答	103	22.6%
合計	455	100.0%

【事業の利用理由の内訳】



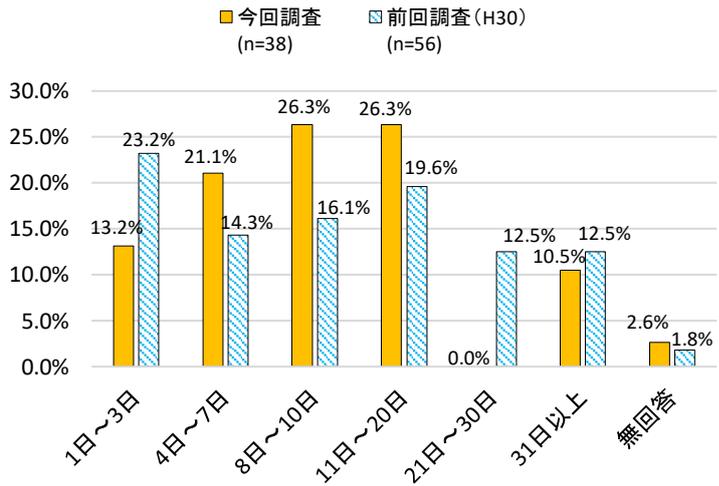
項目	回答数	構成比
私用（買物、子どもや親の習い事等）	38	55.1%
冠婚葬祭、学校行事、子どもや親の通院等	42	60.9%
不特定の就労	16	23.2%
その他	11	15.9%
無回答	2	2.9%
サンプル数	69	-

【合計利用】日数/年



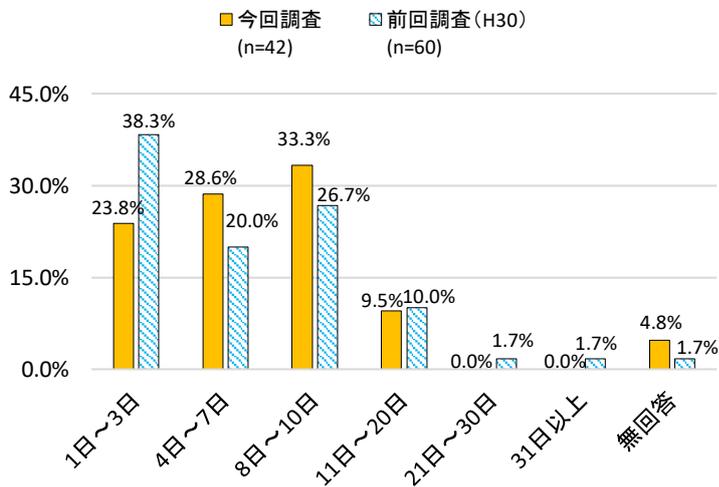
項目	回答数	構成比
1日~3日	2	2.9%
4日~7日	10	14.5%
8日~10日	10	14.5%
11日~20日	26	37.7%
21日~30日	6	8.7%
31日以上	11	15.9%
無回答	4	5.8%
合計	69	100.0%

【ア. 私用（買物、子どもや親の習い事等）】日数/年



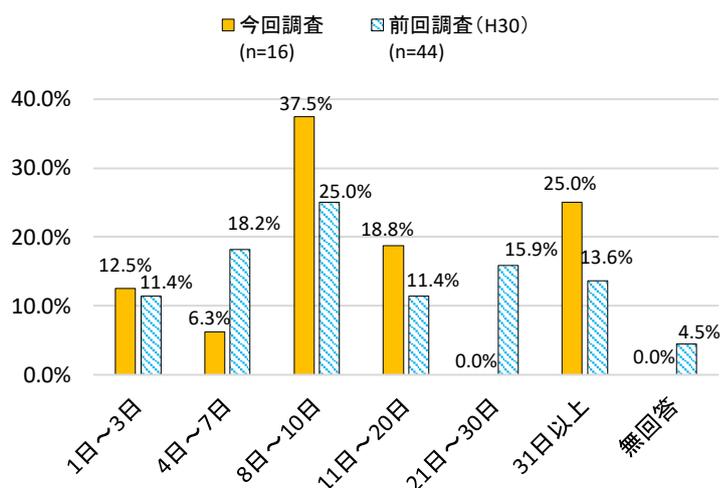
項目	回答数	構成比
1日~3日	5	13.2%
4日~7日	8	21.1%
8日~10日	10	26.3%
11日~20日	10	26.3%
21日~30日	0	0.0%
31日以上	4	10.5%
無回答	1	2.6%
合計	38	100.0%

【イ. 冠婚葬祭、学校行事、子どもや親の通院等】日数/年



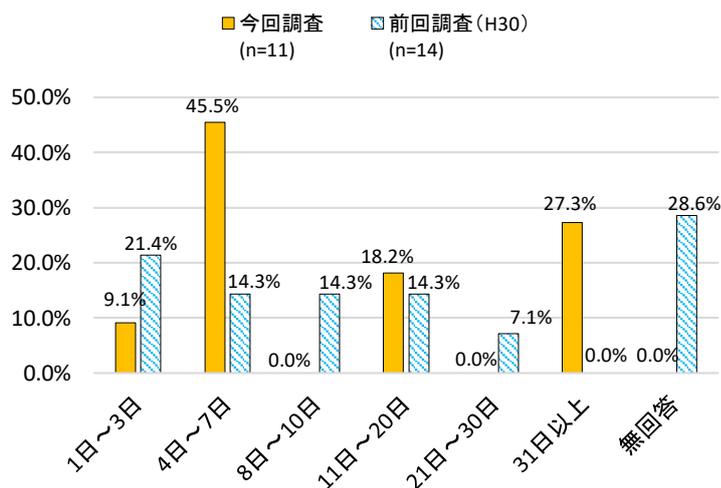
項目	回答数	構成比
1日~3日	10	23.8%
4日~7日	12	28.6%
8日~10日	14	33.3%
11日~20日	4	9.5%
21日~30日	0	0.0%
31日以上	0	0.0%
無回答	2	4.8%
合計	42	100.0%

【ウ. 不定期の就労】 日数/年



項目	回答数	構成比
1日～3日	2	12.5%
4日～7日	1	6.3%
8日～10日	6	37.5%
11日～20日	3	18.8%
21日～30日	0	0.0%
31日以上	4	25.0%
無回答	0	0.0%
合計	16	100.0%

【エ. その他】 日数/年



項目	回答数	構成比
1日～3日	1	9.1%
4日～7日	5	45.5%
8日～10日	0	0.0%
11日～20日	2	18.2%
21日～30日	0	0.0%
31日以上	3	27.3%
無回答	0	0.0%
合計	11	100.0%

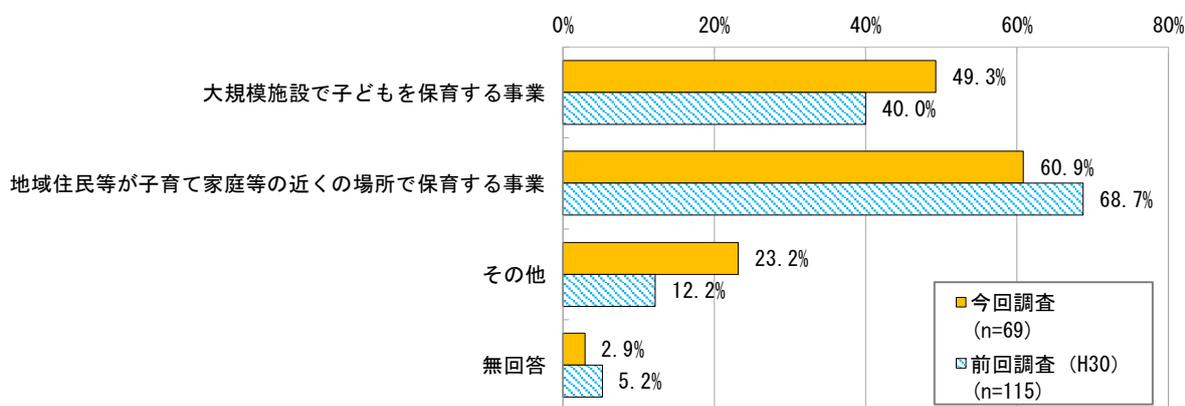
【その他の回答】

- ・ 学校の午前帰りの日
- ・ 長期休みの時
- ・ 休みたい時
- ・ 祖父母が子供を預かれない時 など

問 15-1 【問 15 で「1.利用したい」に○をつけた方にうかがいます。】

問 14 の目的でお子さんを預ける場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思われるか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

子供を預ける場合の望ましい事業形態については、「地域住民等が子育て家庭等の近くの場所で保育する事業」60.9%が最も高く、次いで「大規模施設で子どもを保育する事業」49.3%、「その他」23.2%となっている。



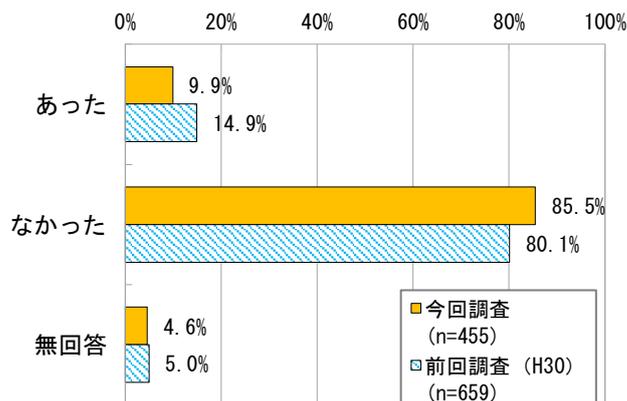
項目	回答数	構成比
大規模施設で子どもを保育する事業	34	49.3%
地域住民等が子育て家庭等の近くの場所で保育する事業	42	60.9%
その他	16	23.2%
無回答	2	2.9%
サンプル数	69	-

【その他の回答】

- ・ 小規模でよいので機動力と柔軟性のある預かりや送迎サービス
- ・ 長期休みや午前帰りの時、無料で学校を開放してほしい
- ・ 放課後デイサービスのように、障害のある子を預けられる事業 など

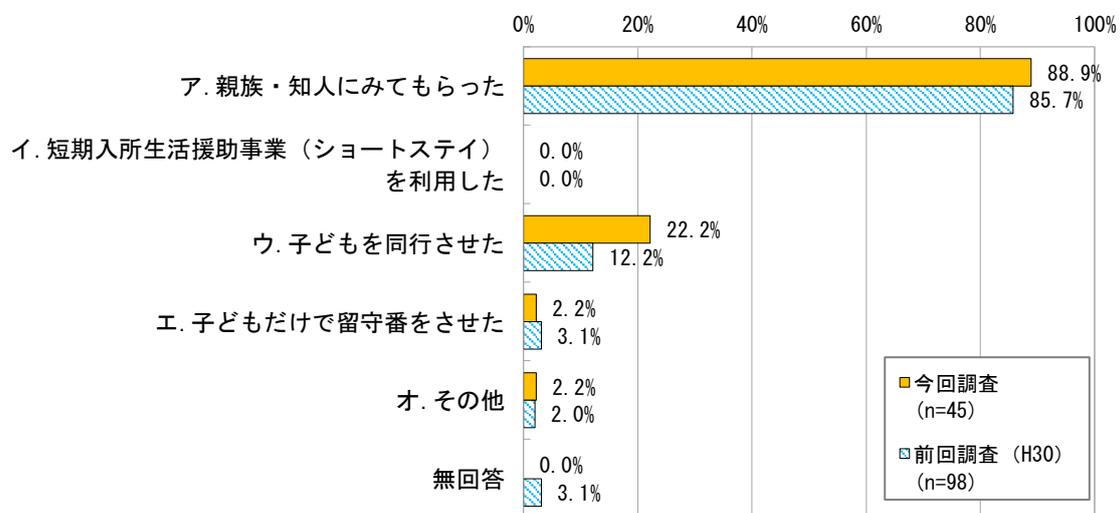
問16 この1年間に、保護者の用事により、宛名のお子さんを泊りがけで家族以外にみてもらわなければならないことがありましたか(預け先が見つからなかった場合も含みます)。あった場合は、この1年間の対処方法として当てはまる番号と記号すべてに○をつけ、日数を記入してください。

泊りがけでみてもらわなければならないことがあったかについては、「あった」9.9%、「なかった」85.5%となっている。この1年間の対処方法については、「親族・知人にみてもらった」88.9%が最も高く、次いで「子どもを同行させた」22.2%となっている。



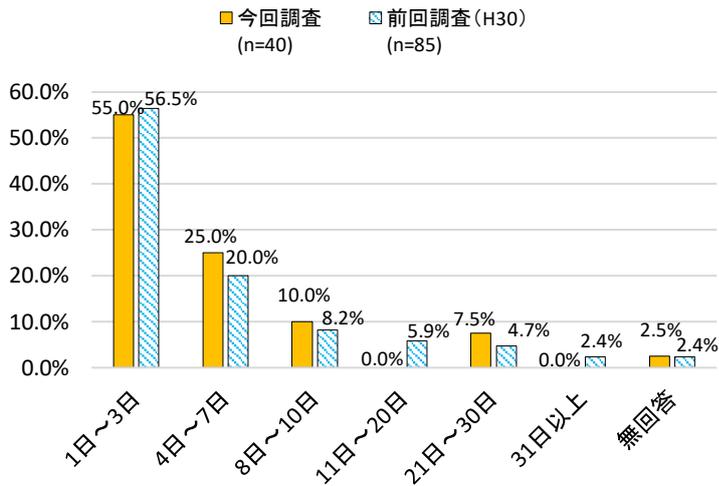
項目	回答数	構成比
あった	45	9.9%
なかった	389	85.5%
無回答	21	4.6%
合計	455	100.0%

【1年間の対処方法】



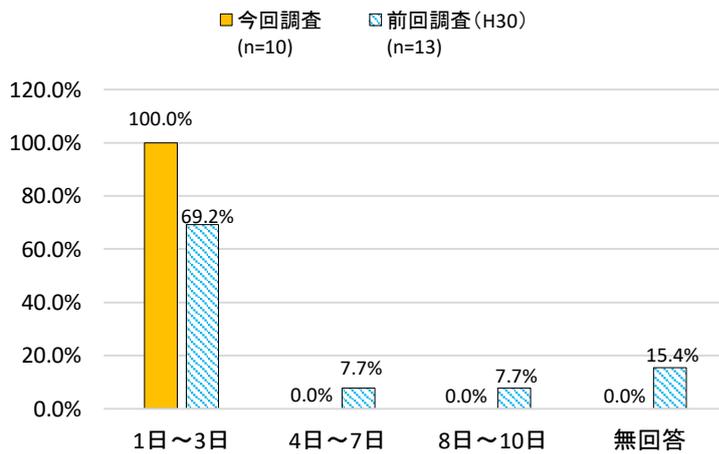
項目	回答数	構成比
親族・知人にみてもらった	40	88.9%
短期入所生活援助事業(ショートステイ)を利用した	0	0.0%
子どもを同行させた	10	22.2%
子どもだけで留守番をさせた	1	2.2%
その他	1	2.2%
無回答	0	0.0%
サンプル数	45	-

【ア. 親族・知人にみてもらった】泊数/年



項目	回答数	構成比
1日～3日	22	55.0%
4日～7日	10	25.0%
8日～10日	4	10.0%
11日～20日	0	0.0%
21日～30日	3	7.5%
31日以上	0	0.0%
無回答	1	2.5%
合計	40	100.0%

【ウ. 子どもを同行させた】泊数/年



項目	回答数	構成比
1日～3日	10	100.0%
4日～7日	0	0.0%
8日～10日	0	0.0%
11日～20日	0	0.0%
21日～30日	0	0.0%
31日以上	0	0.0%
無回答	0	0.0%
合計	10	100.0%

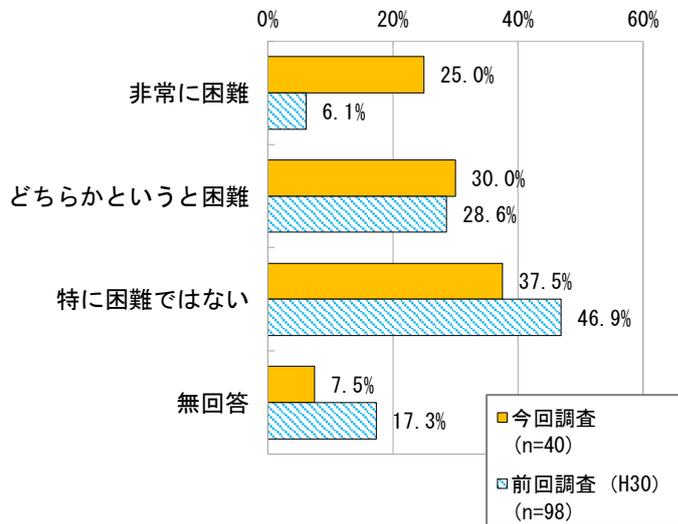
【イ. 短期入所生活援助事業（ショートステイ）を利用した】：該当なし

【エ. 子どもだけで留守番をさせた(n=1)】：31日以上（100.0%）

【オ. その他(n=1)】：4日～7日（100.0%）

問 16-1 【問16で「1.あった ア.(同居者を含む)親族・知人にみてもらった」と答えた方にうかがいます。】  
 その場合の困難度はどの程度でしたか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

困難度については、「特に困難ではない」37.5%が最も高く、次いで「どちらかという困難」30.0%、「非常に困難」25.0%となっている。

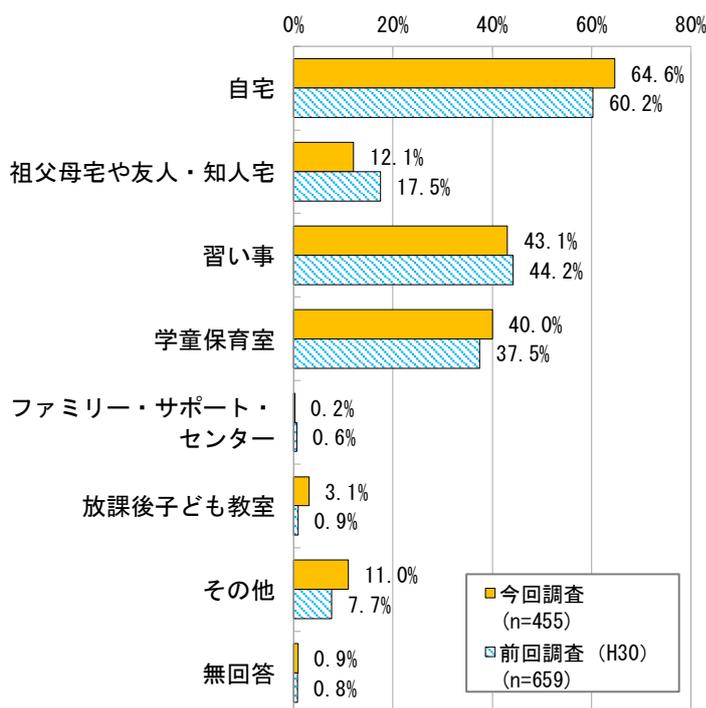


項目	回答数	構成比
非常に困難	10	25.0%
どちらかという困難	12	30.0%
特に困難ではない	15	37.5%
無回答	3	7.5%
合計	40	100.0%

## 6. 放課後の過ごし方について

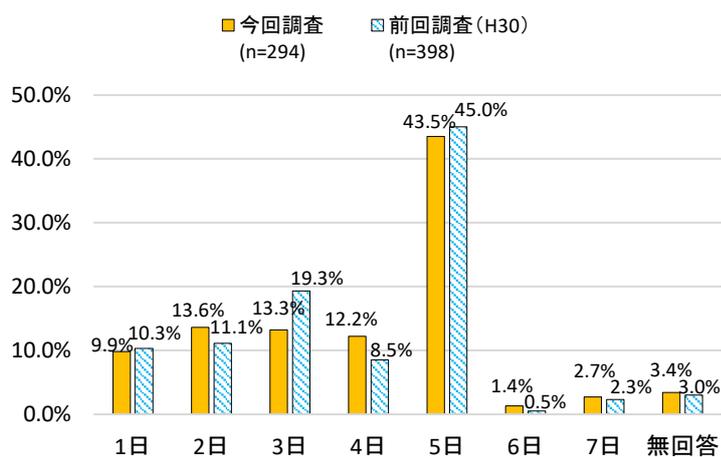
問17 宛名のお子さんは、現在、放課後(平日の小学校終了後)の時間をどのような場所で過ごしていますか。当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれの日数を記入してください。  
 また、「学童保育室」の場合には、利用時間も記入してください。

平日の放課後に過ごす場所については、「自宅」64.6%が最も高く、次いで「習い事」43.1%、「学童保育室」40.0%となっている。



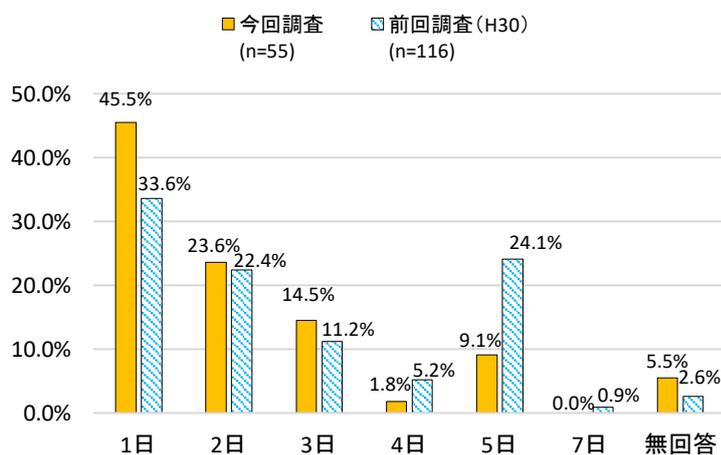
項目	回答数	構成比
自宅	294	64.6%
祖父母宅や友人・知人宅	55	12.1%
習い事	196	43.1%
学童保育室	182	40.0%
ファミリー・サポート・センター	1	0.2%
放課後子ども教室	14	3.1%
その他	50	11.0%
無回答	4	0.9%
サンプル数	455	-

### 【自宅】日数/週



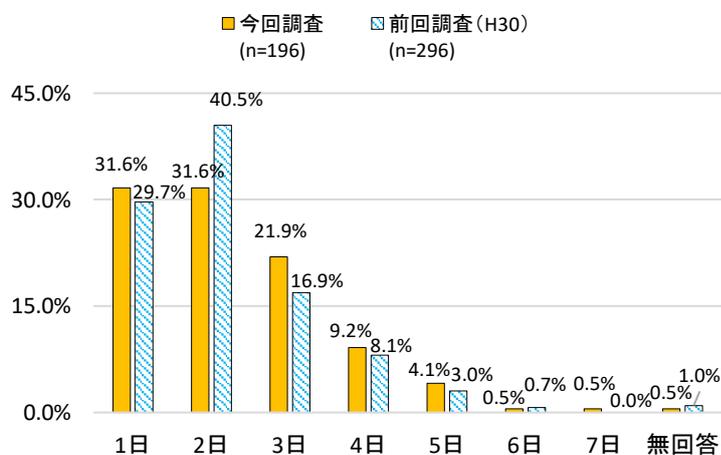
項目	回答数	構成比
1日	29	9.9%
2日	40	13.6%
3日	39	13.3%
4日	36	12.2%
5日	128	43.5%
6日	4	1.4%
7日	8	2.7%
無回答	10	3.4%
合計	294	100.0%

### 【祖父母宅や友人・知人宅】日数/週



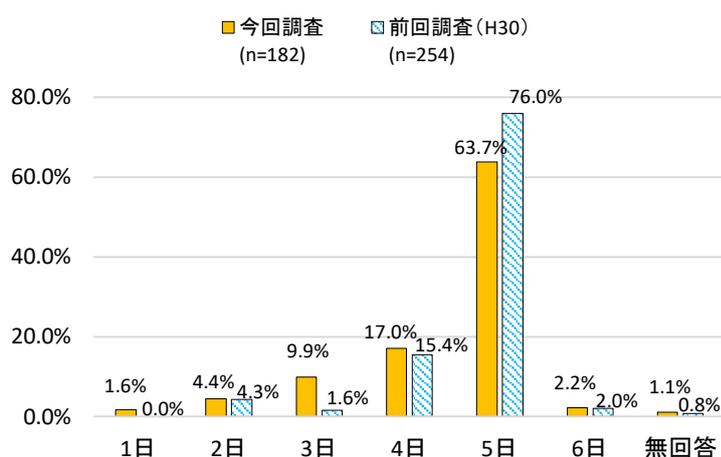
項目	回答数	構成比
1日	25	45.5%
2日	13	23.6%
3日	8	14.5%
4日	1	1.8%
5日	5	9.1%
6日	0	0.0%
7日	0	0.0%
無回答	3	5.5%
合計	55	100.0%

### 【習い事】日数/週



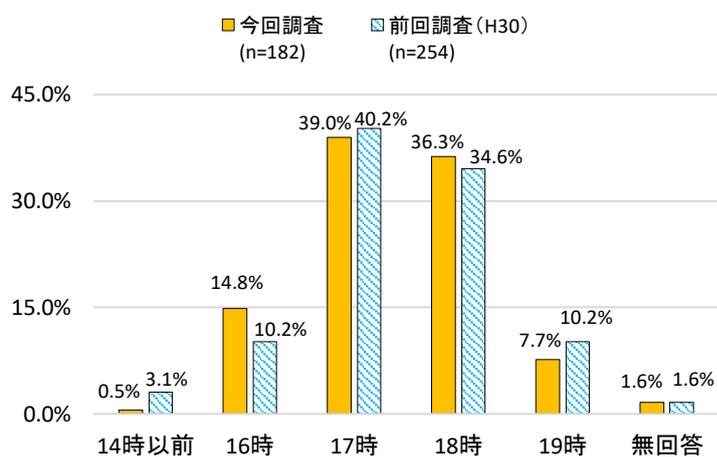
項目	回答数	構成比
1日	62	31.6%
2日	62	31.6%
3日	43	21.9%
4日	18	9.2%
5日	8	4.1%
6日	1	0.5%
7日	1	0.5%
無回答	1	0.5%
合計	196	100.0%

### 【学童保育室】日数/週



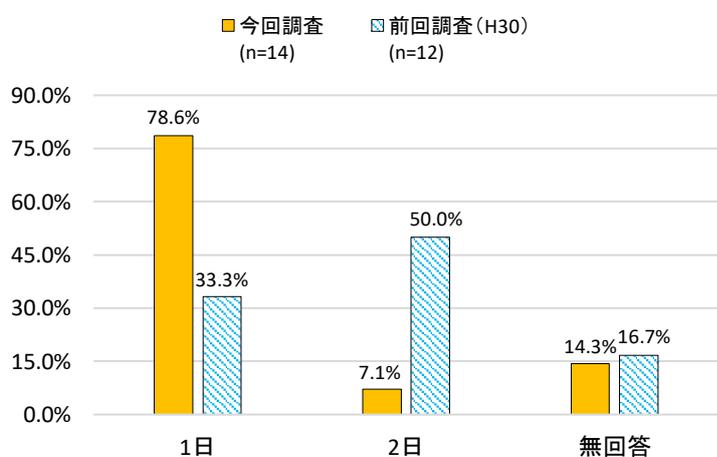
項目	回答数	構成比
1日	3	1.6%
2日	8	4.4%
3日	18	9.9%
4日	31	17.0%
5日	116	63.7%
6日	4	2.2%
7日	0	0.0%
無回答	2	1.1%
合計	182	100.0%

### 【学童保育室】終了時刻



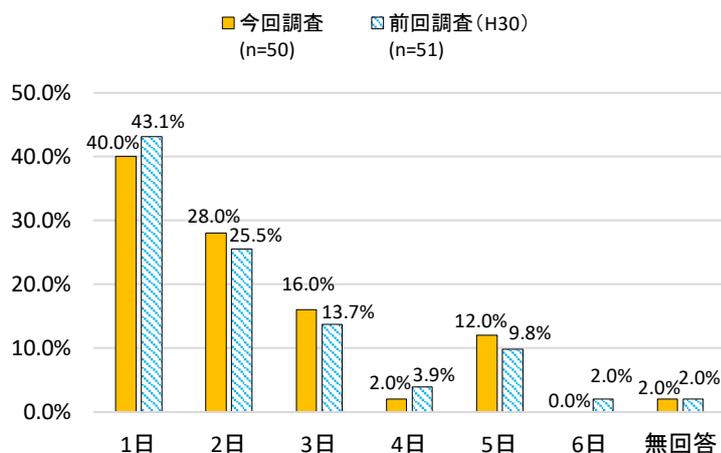
項目	回答数	構成比
14時以前	1	0.5%
15時	0	0.0%
16時	27	14.8%
17時	71	39.0%
18時	66	36.3%
19時	14	7.7%
20時	0	0.0%
21時以降	0	0.0%
無回答	3	1.6%
合計	182	100.0%

### 【放課後子ども教室】日数/週



項目	回答数	構成比
1日	11	78.6%
2日	1	7.1%
3日	0	0.0%
4日	0	0.0%
5日	0	0.0%
6日	0	0.0%
7日	0	0.0%
無回答	2	14.3%
合計	14	100.0%

【その他】日数/週

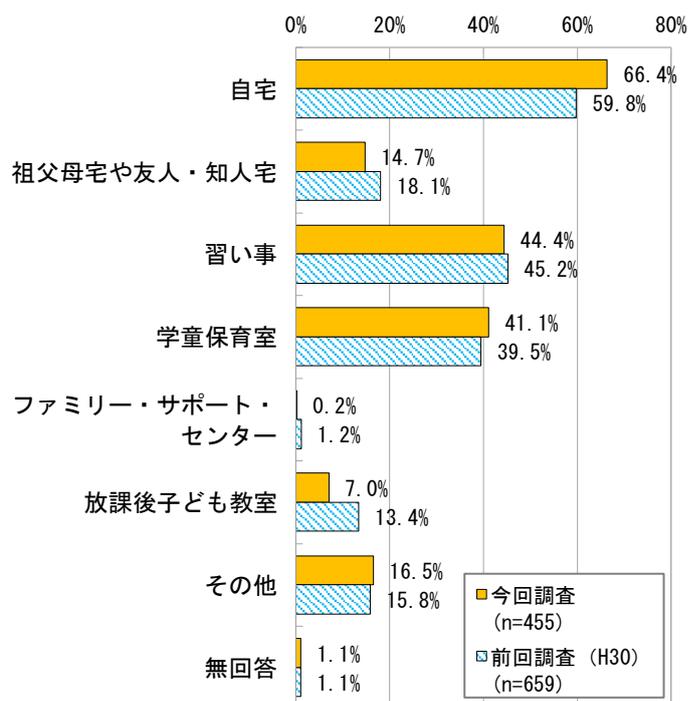


項目	回答数	構成比
1日	20	40.0%
2日	14	28.0%
3日	8	16.0%
4日	1	2.0%
5日	6	12.0%
6日	0	0.0%
7日	0	0.0%
無回答	1	2.0%
合計	50	100.0%

【ファミリー・サポート・センター(n=1)】：5日 (100.0%)

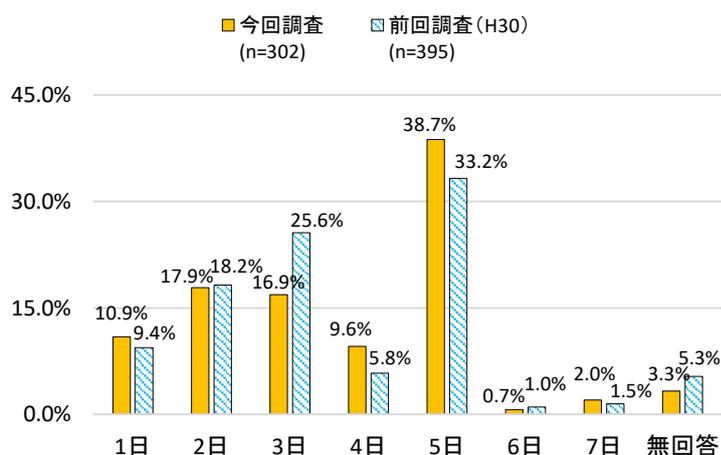
問 18 宛名のお子さんについて、小学校低学年(1～3年生)のうち、放課後(平日の小学校終了後)の時間をどのような場所で過ごさせることを望んでいますか。当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれ希望する日数を記入してください。また、「学童保育室」の場合には、利用希望時間も記入してください。

小学校低学年のうちの放課後の過ごし方については、「自宅」66.4%が最も高く、次いで「習い事」44.4%、「学童保育室」41.1%となっている。



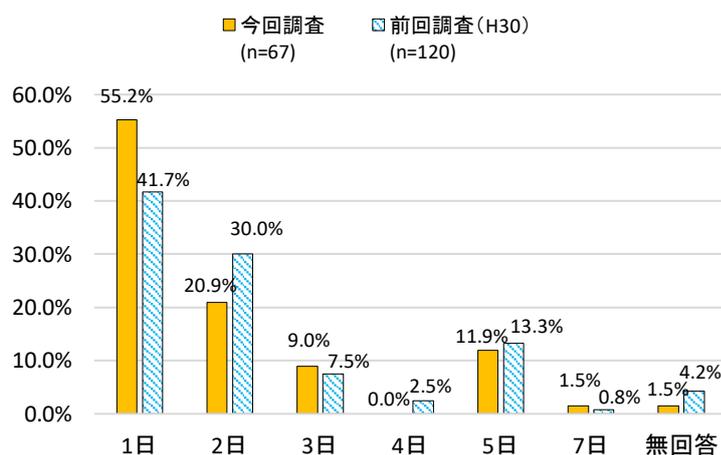
項目	回答数	構成比
自宅	302	66.4%
祖父母宅や友人・知人宅	67	14.7%
習い事	202	44.4%
学童保育室	187	41.1%
ファミリー・サポート・センター	1	0.2%
放課後子ども教室	32	7.0%
その他	75	16.5%
無回答	5	1.1%
サンプル数	455	-

### 【自宅】日数/週



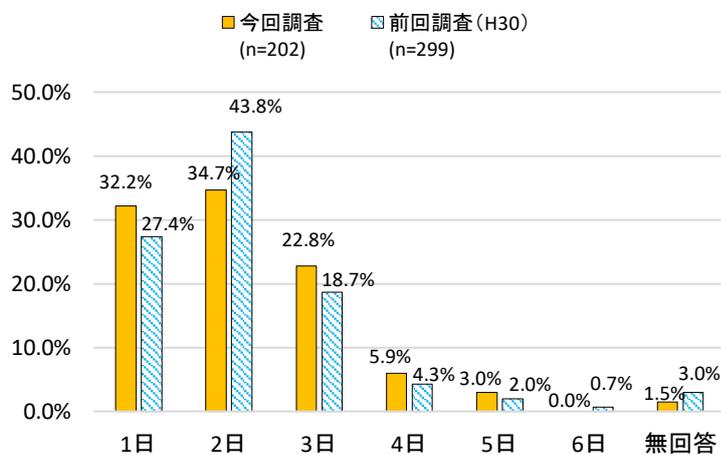
項目	回答数	構成比
1日	33	10.9%
2日	54	17.9%
3日	51	16.9%
4日	29	9.6%
5日	117	38.7%
6日	2	0.7%
7日	6	2.0%
無回答	10	3.3%
合計	302	100.0%

### 【祖父母宅や友人・知人宅】日数/週



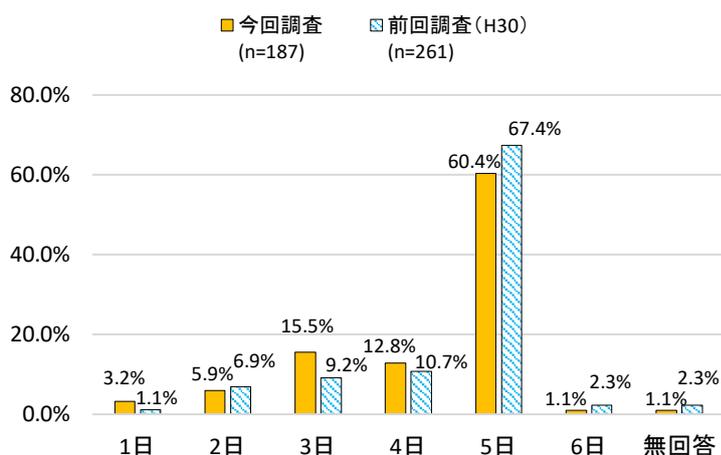
項目	回答数	構成比
1日	37	55.2%
2日	14	20.9%
3日	6	9.0%
4日	0	0.0%
5日	8	11.9%
6日	0	0.0%
7日	1	1.5%
無回答	1	1.5%
合計	67	100.0%

### 【習い事】日数/週



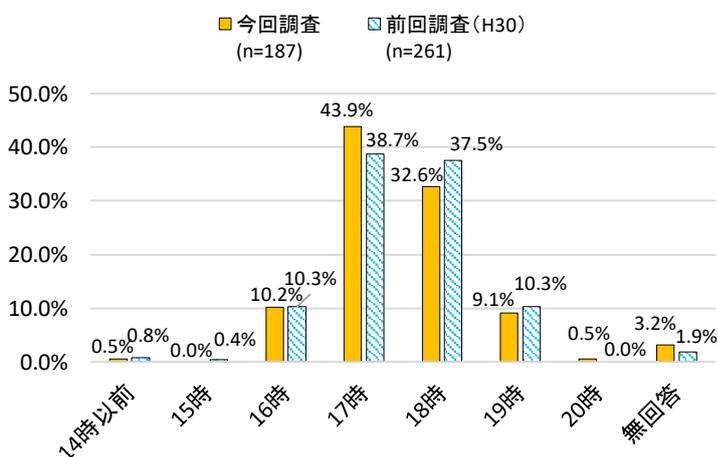
項目	回答数	構成比
1日	65	32.2%
2日	70	34.7%
3日	46	22.8%
4日	12	5.9%
5日	6	3.0%
6日	0	0.0%
7日	0	0.0%
無回答	3	1.5%
合計	202	100.0%

### 【学童保育室】日数/週



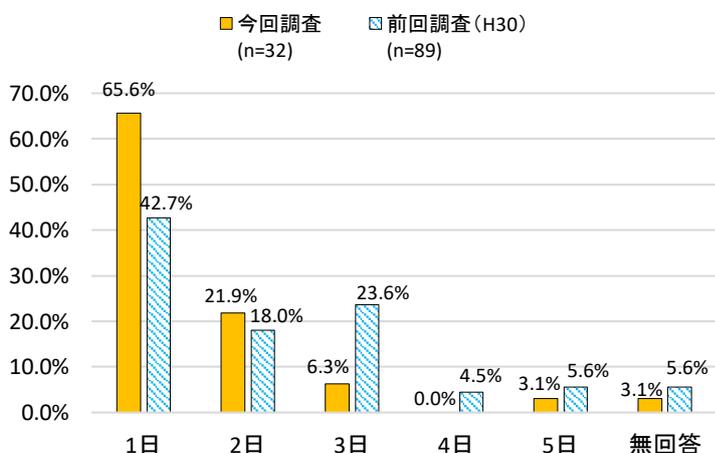
項目	回答数	構成比
1日	6	3.2%
2日	11	5.9%
3日	29	15.5%
4日	24	12.8%
5日	113	60.4%
6日	2	1.1%
7日	0	0.0%
無回答	2	1.1%
合計	187	100.0%

### 【学童保育室】終了時刻



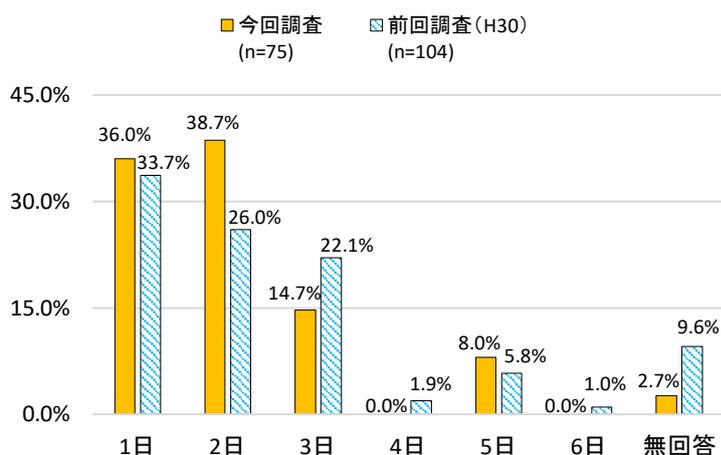
項目	回答数	構成比
14時以前	1	0.5%
15時	0	0.0%
16時	19	10.2%
17時	82	43.9%
18時	61	32.6%
19時	17	9.1%
20時	1	0.5%
21時以降	0	0.0%
無回答	6	3.2%
合計	187	100.0%

### 【放課後子ども教室】日数/週



項目	回答数	構成比
1日	21	65.6%
2日	7	21.9%
3日	2	6.3%
4日	0	0.0%
5日	1	3.1%
6日	0	0.0%
7日	0	0.0%
無回答	1	3.1%
合計	32	100.0%

【その他】日数/週

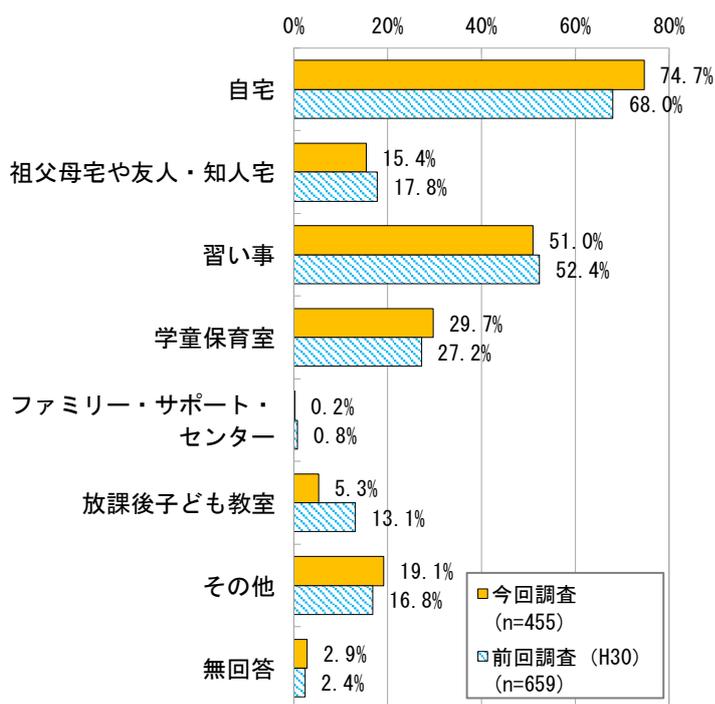


項目	回答数	構成比
1日	27	36.0%
2日	29	38.7%
3日	11	14.7%
4日	0	0.0%
5日	6	8.0%
6日	0	0.0%
7日	0	0.0%
無回答	2	2.7%
合計	75	100.0%

【ファミリー・サポート・センター(n=1)】：5日 (100.0%)

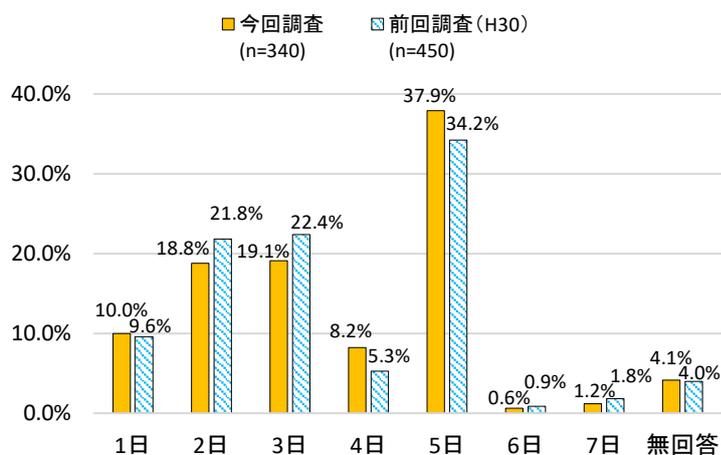
問19 宛名のお子さんについて、小学校高学年(4～6年生)になったら、放課後(平日の小学校終了後)の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれの週当たり日数を記入してください。  
また、「学童保育室」の場合には利用希望時間も記入してください。

小学校高学年になった際の放課後の過ごし方については、「自宅」74.7%が最も高く、次いで「習い事」51.0%、「学童保育室」29.7%となっている。



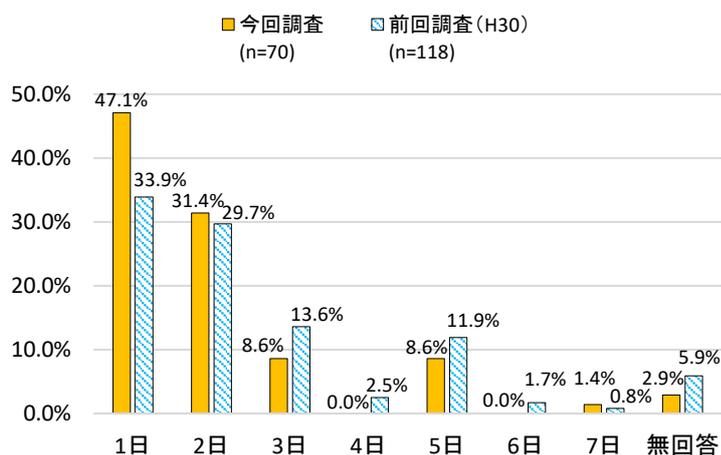
項目	回答数	構成比
自宅	340	74.7%
祖父母宅や友人・知人宅	70	15.4%
習い事	232	51.0%
学童保育室	135	29.7%
ファミリー・サポート・センター	1	0.2%
放課後子ども教室	24	5.3%
その他	87	19.1%
無回答	13	2.9%
サンプル数	455	-

### 【自宅】日数/週



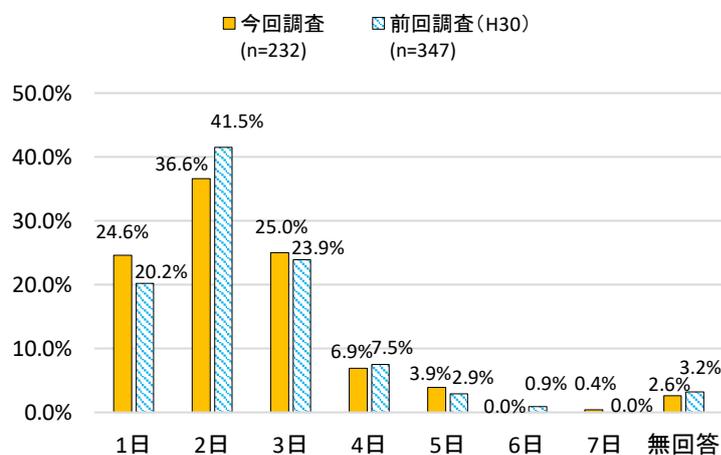
項目	回答数	構成比
1日	34	10.0%
2日	64	18.8%
3日	65	19.1%
4日	28	8.2%
5日	129	37.9%
6日	2	0.6%
7日	4	1.2%
無回答	14	4.1%
合計	340	100.0%

### 【祖父母宅や友人・知人宅】日数/週



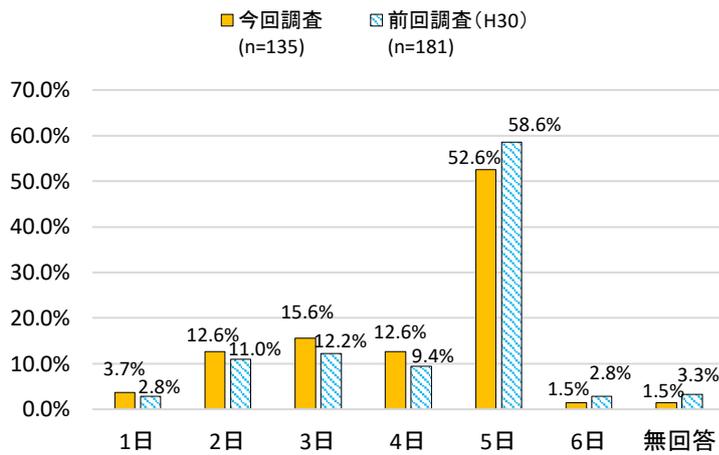
項目	回答数	構成比
1日	33	47.1%
2日	22	31.4%
3日	6	8.6%
4日	0	0.0%
5日	6	8.6%
6日	0	0.0%
7日	1	1.4%
無回答	2	2.9%
合計	70	100.0%

### 【習い事】日数/週



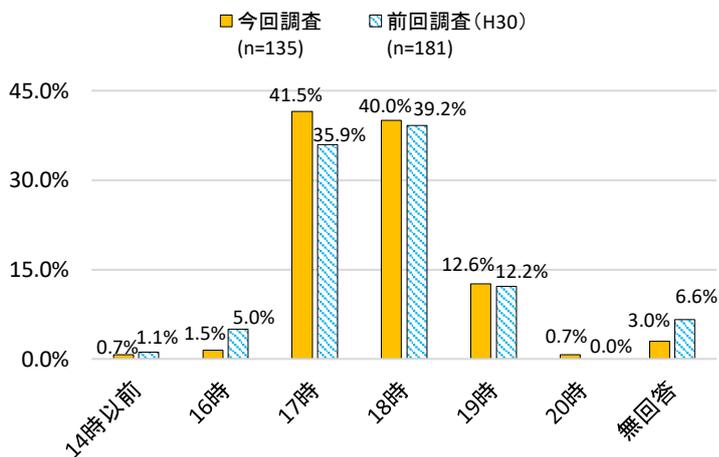
項目	回答数	構成比
1日	57	24.6%
2日	85	36.6%
3日	58	25.0%
4日	16	6.9%
5日	9	3.9%
6日	0	0.0%
7日	1	0.4%
無回答	6	2.6%
合計	232	100.0%

### 【学童保育室】日数/週



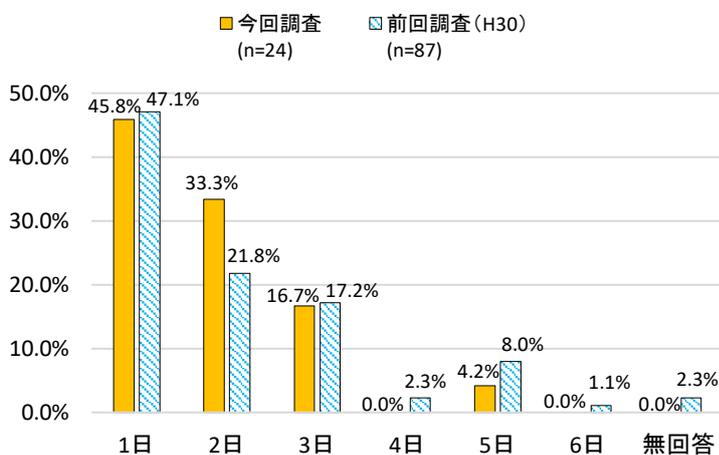
項目	回答数	構成比
1日	5	3.7%
2日	17	12.6%
3日	21	15.6%
4日	17	12.6%
5日	71	52.6%
6日	2	1.5%
7日	0	0.0%
無回答	2	1.5%
合計	135	100.0%

### 【学童保育室】終了時刻



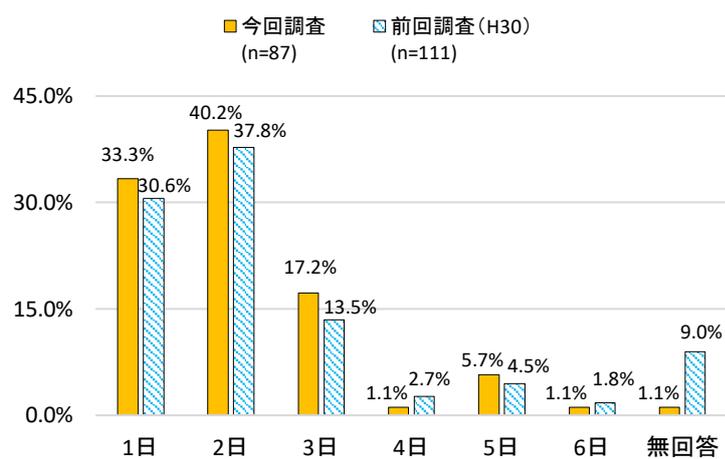
項目	回答数	構成比
14時以前	1	0.7%
15時	0	0.0%
16時	2	1.5%
17時	56	41.5%
18時	54	40.0%
19時	17	12.6%
20時	1	0.7%
21時以降	0	0.0%
無回答	4	3.0%
合計	135	100.0%

### 【放課後子ども教室】日数/週



項目	回答数	構成比
1日	11	45.8%
2日	8	33.3%
3日	4	16.7%
4日	0	0.0%
5日	1	4.2%
6日	0	0.0%
7日	0	0.0%
無回答	0	0.0%
合計	24	100.0%

【その他】日数/週



項目	回答数	構成比
1日	29	33.3%
2日	35	40.2%
3日	15	17.2%
4日	1	1.1%
5日	5	5.7%
6日	1	1.1%
7日	0	0.0%
無回答	1	1.1%
合計	87	100.0%

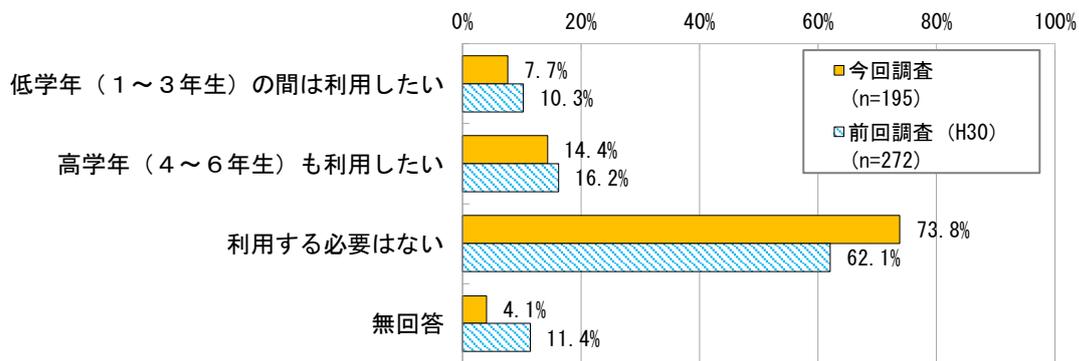
【ファミリー・サポート・センター(n=1)】：5日 (100.0%)

問 20 【問 18 または問 19 で「4. 学童保育室」に○をつけた方にうかがいます。  
 宛名のお子さんについて、土・日曜日及び祝日に、学童保育室の利用希望はありますか。  
 それぞれについて、当てはまる番号1つに○をつけてください。

(1) 土曜日

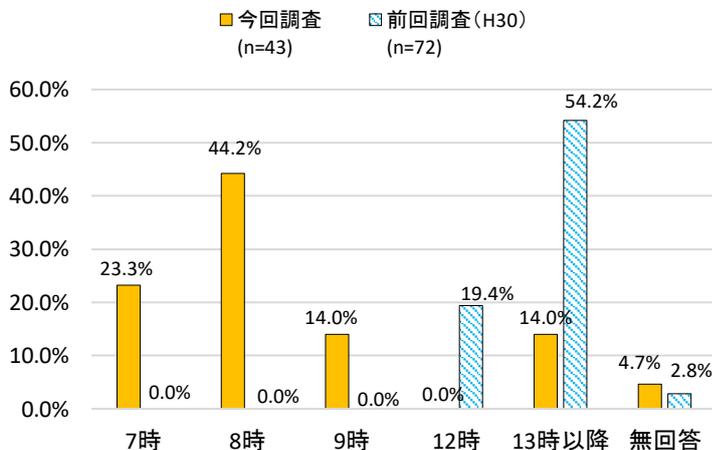
土曜日の学童保育室の利用希望については、「利用する必要はない」73.8%が最も高く、次いで「高学年（4～6年生）も利用したい」14.4%、「低学年（1～3年生）の間は利用したい」7.7%となっている。

利用したい時間帯については、利用開始時刻は8時、利用終了時刻は18時が最多となっている。



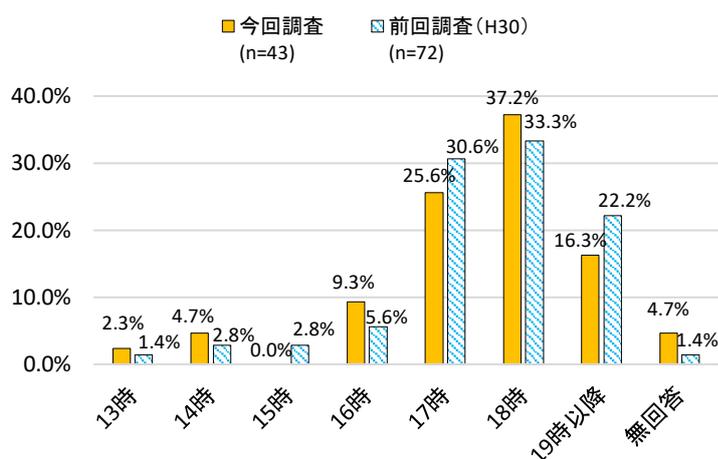
項目	回答数	構成比
低学年(1～3年生)の間は利用したい	15	7.7%
高学年(4～6年生)も利用したい	28	14.4%
利用する必要はない	144	73.8%
無回答	8	4.1%
合計	195	100.0%

【利用開始時刻】



項目	回答数	構成比
6時以前	0	0.0%
7時	10	23.3%
8時	19	44.2%
9時	6	14.0%
10時	0	0.0%
11時	0	0.0%
12時	0	0.0%
13時以降	6	14.0%
無回答	2	4.7%
合計	43	100%

## 【利用終了時刻】

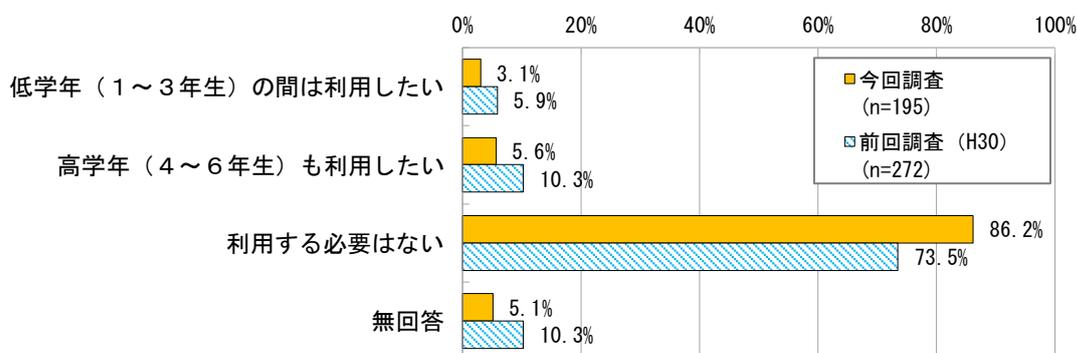


項目	回答数	構成比
11時以前	0	0.0%
12時	0	0.0%
13時	1	2.3%
14時	2	4.7%
15時	0	0.0%
16時	4	9.3%
17時	11	25.6%
18時	16	37.2%
19時以降	7	16.3%
無回答	2	4.7%
合計	43	100.0%

## (2) 日曜日・祝日

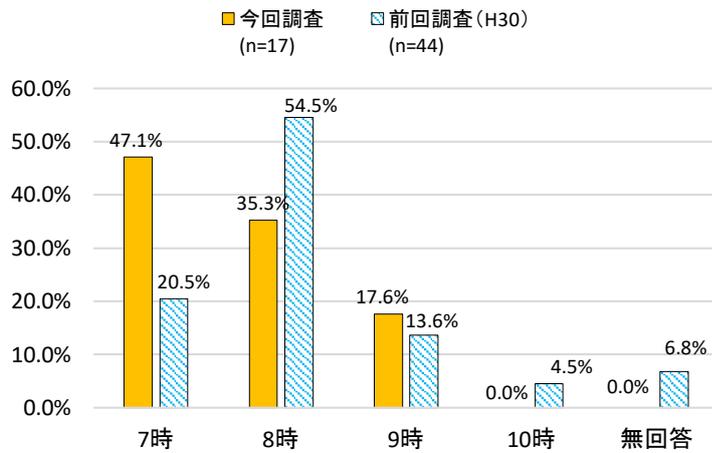
日曜日・祝日の学童保育室の利用希望については、「利用する必要はない」86.2%が最も高く、次いで「高学年（4～6年生）も利用したい」5.6%、「低学年（1～3年生）の間は利用したい」3.1%となっている。

利用したい時間については、利用開始時刻は7時、利用終了時刻は18時が最多となっている。



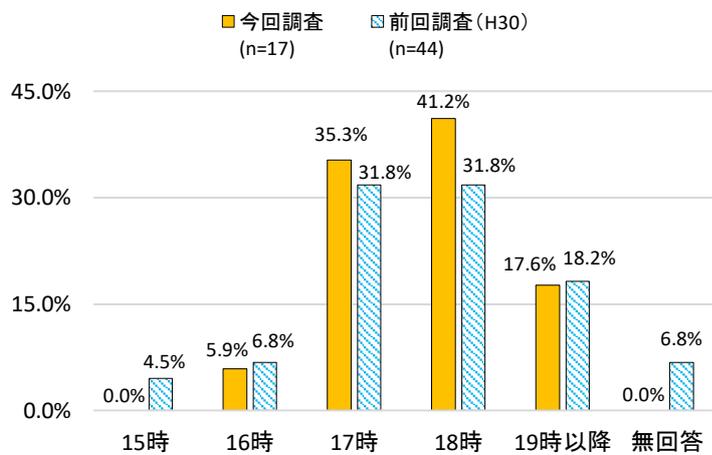
項目	回答数	構成比
低学年（1～3年生）の間は利用したい	6	3.1%
高学年（4～6年生）も利用したい	11	5.6%
利用する必要はない	168	86.2%
無回答	10	5.1%
合計	195	100.0%

### 【利用開始時刻】



項目	回答数	構成比
6時以前	0	0.0%
7時	8	47.1%
8時	6	35.3%
9時	3	17.6%
10時	0	0.0%
11時	0	0.0%
12時	0	0.0%
13時以降	0	0.0%
無回答	0	0.0%
合計	17	100.0%

### 【利用終了時刻】

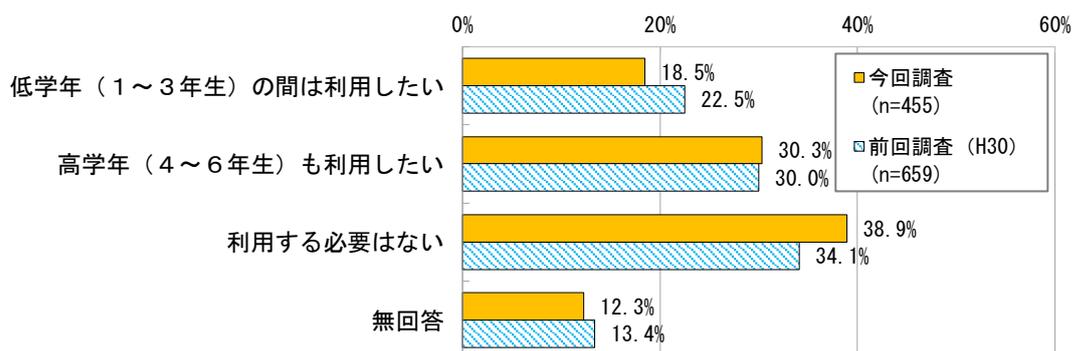


項目	回答数	構成比
11時以前	0	0.0%
12時	0	0.0%
13時	0	0.0%
14時	0	0.0%
15時	0	0.0%
16時	1	5.9%
17時	6	35.3%
18時	7	41.2%
19時以降	3	17.6%
無回答	0	0.0%
合計	17	100.0%

問 21 宛名のお子さんについて、お子さんの夏休みなどの長期休暇期間中の学童保育室の利用希望はありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

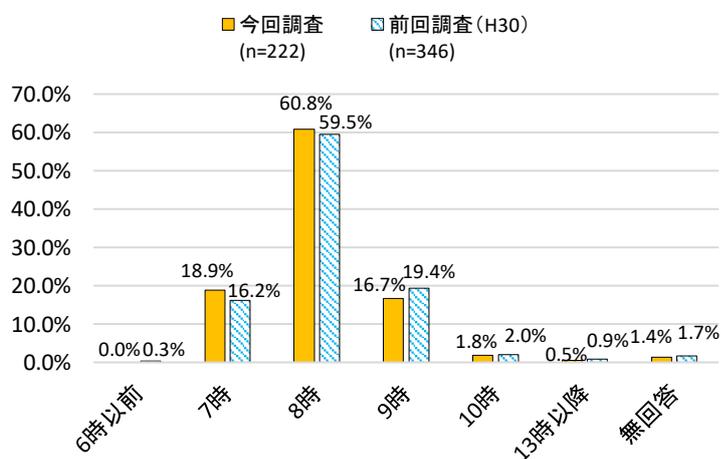
長期休暇期間中の学童保育室の利用希望については、「利用する必要はない」38.9%が最も高く、次いで「高学年（4～6年生）も利用したい」30.3%、「低学年（1～3年生）の間は利用したい」18.5%となっている。

利用したい時間については、利用開始時刻は8時、利用終了時刻は17時が最多となっている。



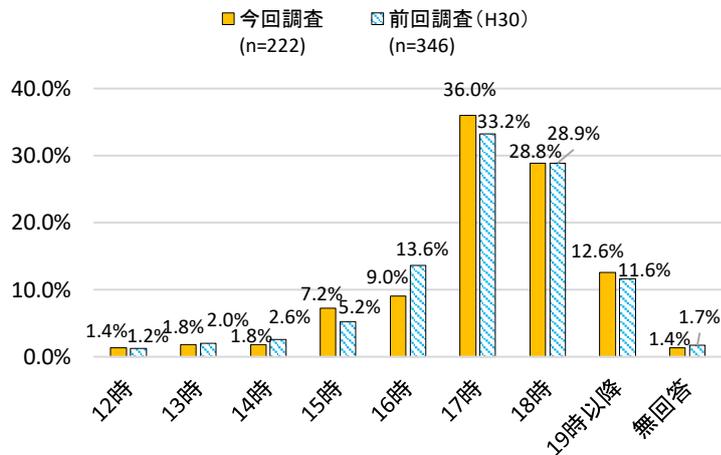
項目	回答数	構成比
低学年(1～3年生)の間は利用したい	84	18.5%
高学年(4～6年生)も利用したい	138	30.3%
利用する必要はない	177	38.9%
無回答	56	12.3%
合計	455	100.0%

【利用開始時刻】



項目	回答数	構成比
6時以前	0	0.0%
7時	42	18.9%
8時	135	60.8%
9時	37	16.7%
10時	4	1.8%
11時	0	0.0%
12時	0	0.0%
13時以降	1	0.5%
無回答	3	1.4%
合計	222	100.0%

## 【利用終了時刻】

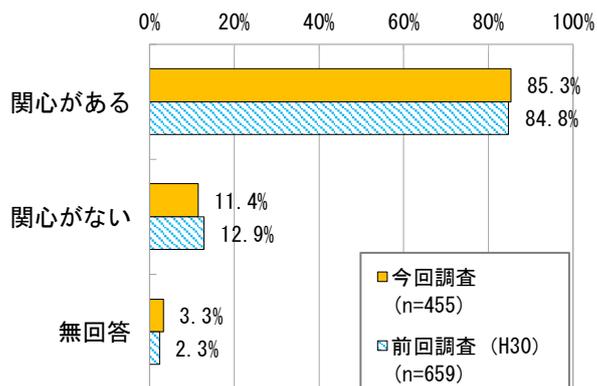


項目	回答数	構成比
11時以前	0	0.0%
12時	3	1.4%
13時	4	1.8%
14時	4	1.8%
15時	16	7.2%
16時	20	9.0%
17時	80	36.0%
18時	64	28.8%
19時以降	28	12.6%
無回答	3	1.4%
合計	222	100.0%

## 7. 児童虐待について

問 22 あなたは児童虐待について、関心をお持ちですか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

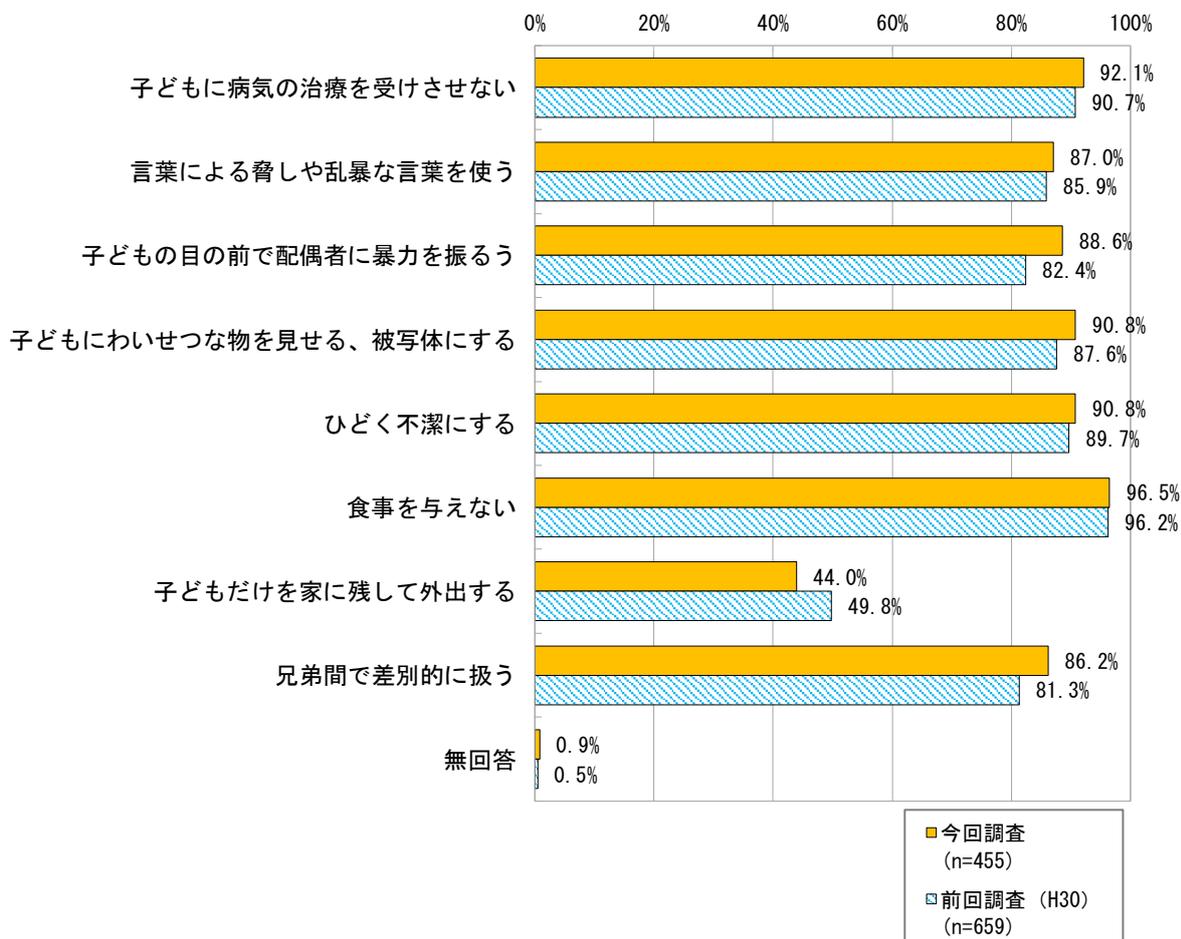
児童虐待への関心については、「関心がある」85.3%、「関心がない」11.4%となっている。



項目	回答数	構成比
関心がある	388	85.3%
関心がない	52	11.4%
無回答	15	3.3%
合計	455	100.0%

問 22-1 あなたが児童虐待と感じるものは何ですか。  
 当てはまる番号すべてに○をつけてください。

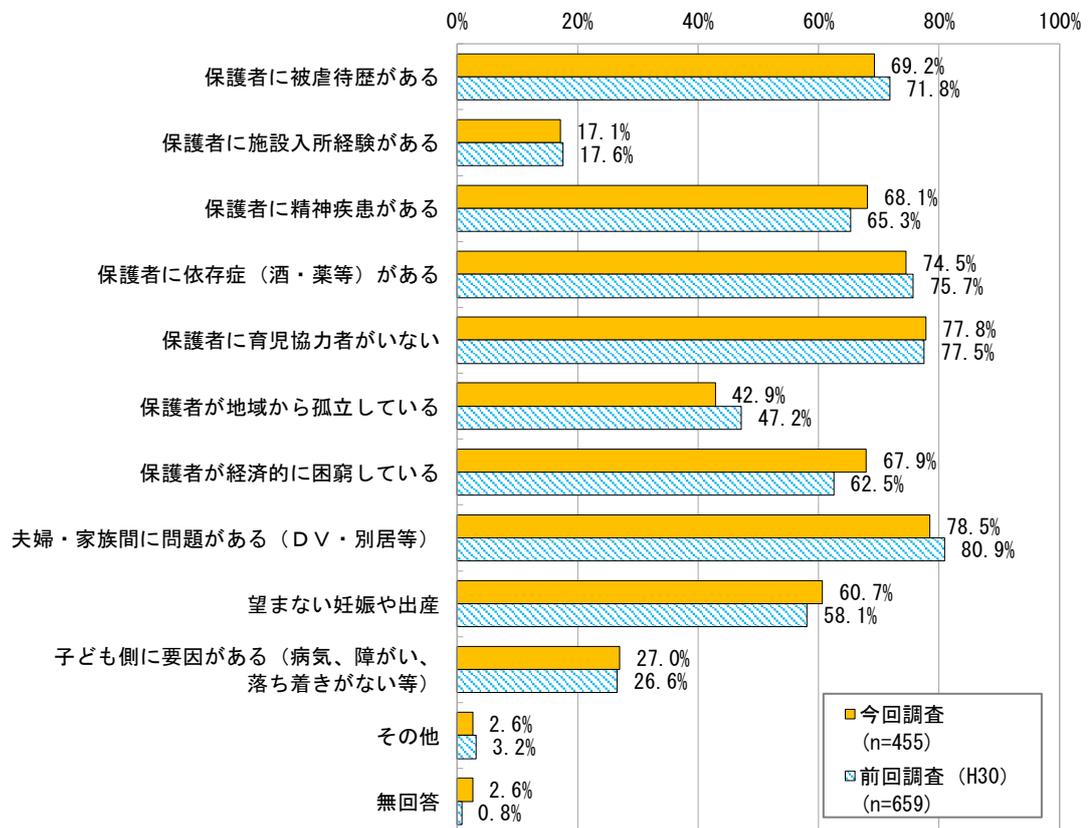
児童虐待と感じるものについては、「食事を与えない」96.5%が最も高く、次いで「子どもに病気の治療を受けさせない」92.1%、「子どもにわいせつな物を見せる、被写体にする」、「ひどく不潔にする」がいずれも90.8%となっている。



項目	回答数	構成比
子どもに病気の治療を受けさせない	419	92.1%
言葉による脅しや乱暴な言葉を使う	396	87.0%
子どもの目の前で配偶者に暴力を振るう	403	88.6%
子どもにわいせつな物を見せる、被写体にする	413	90.8%
ひどく不潔にする	413	90.8%
食事を与えない	439	96.5%
子どもだけを家に残して外出する	200	44.0%
兄弟間で差別的に扱う	392	86.2%
無回答	4	0.9%
サンプル数	455	-

問 22-2 児童虐待が起こる原因について、あなたのお考えに近い番号すべてに○をつけてください。

児童虐待が起こる原因については、「夫婦・家族間に問題がある（DV・別居等）」78.5%が最も高く、次いで「保護者に育児協力者がいない」77.8%、「保護者に依存症（酒・薬等）がある」74.5%となっている。



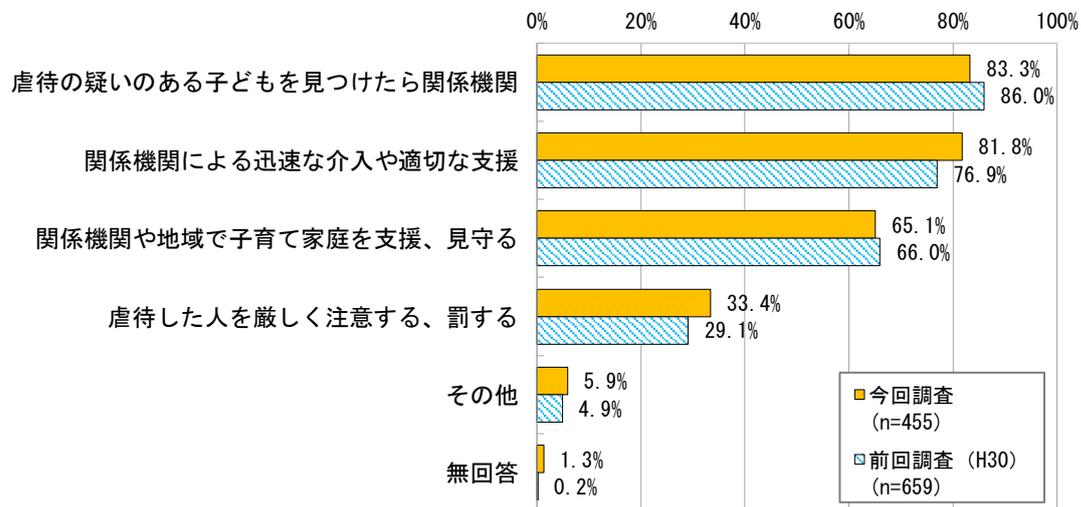
項目	回答数	構成比
保護者に被虐待歴がある	315	69.2%
保護者に施設入所経験がある	78	17.1%
保護者に精神疾患がある	310	68.1%
保護者に依存症（酒・薬等）がある	339	74.5%
保護者に育児協力者がいない	354	77.8%
保護者が地域から孤立している	195	42.9%
保護者が経済的に困窮している	309	67.9%
夫婦・家族間に問題がある（DV・別居等）	357	78.5%
望まない妊娠や出産	276	60.7%
子ども側に要因がある（病気、障がい、落ち着きがない等）	123	27.0%
その他	12	2.6%
無回答	12	2.6%
サンプル数	455	-

【その他の回答】

- ・配偶者の協力（母親がワンオペ）
- ・ストレス、心にゆとりがないことによる
- ・一時的な体調不良やその時の親の心身によることもあると思う（突発的な虐待）
- ・保護者が子供理解できていないこと（発達や親不在の場所での状況等） など

問 22-3 児童虐待を防止するために必要なことについて、当てはまる番号すべてに○をつけてください。

児童虐待を防止するために必要なことについては、「虐待の疑いのある子どもを見つけたら関係機関」83.3%が最も高く、次いで「関係機関による迅速な介入や適切な支援」81.8%、「関係機関や地域で子育て家庭を支援、見守る」65.1%となっている。



項目	回答数	構成比
虐待の疑いのある子どもを見つけたら関係機関	379	83.3%
関係機関による迅速な介入や適切な支援	372	81.8%
関係機関や地域で子育て家庭を支援、見守る	296	65.1%
虐待した人を厳しく注意する、罰する	152	33.4%
その他	27	5.9%
無回答	6	1.3%
サンプル数	455	-

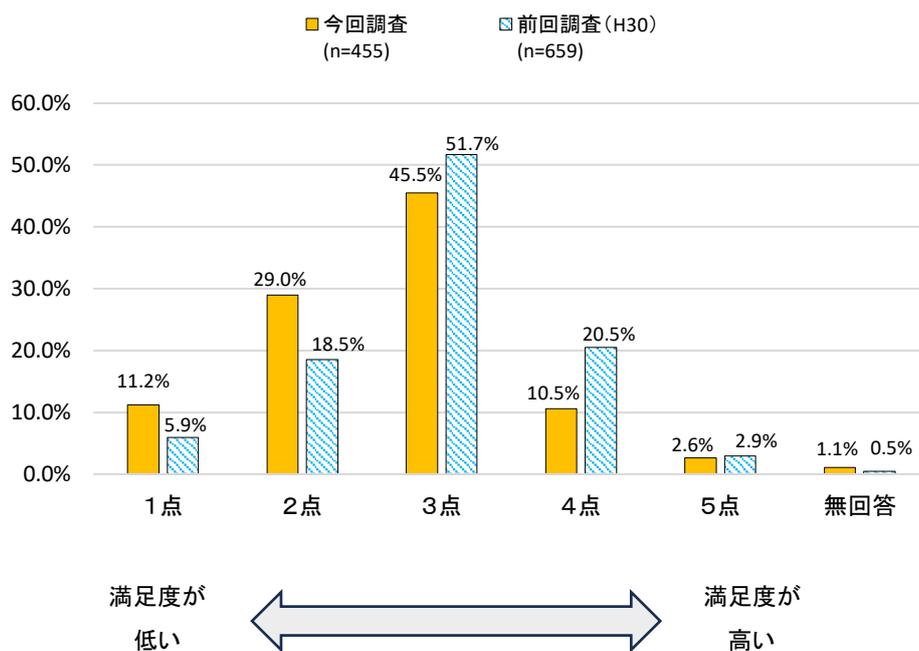
【その他の回答】

- ・ 貧困へのサポート      ・ 共働き、一人親で働いている人へのサポート
- ・ 虐待してしまう人の心のケア      ・ 親の仕事の軽減
- ・ 子どもが親から逃げる場所を市から提供する      ・ 加害者へのカウンセリング等の支援
- ・ 関係機関の権限の強化、関係機関の連携(学校や警察)      など

## 8. 行田市の子育ての環境や支援について

問 23 行田市の子育ての環境や支援への満足度について、当てはまる番号1つに○をつけてください。

子育ての環境や支援への満足度については、「3点」45.5%が最も高く、次いで「2点」29.0%、「1点」11.2%となっている。



項目	回答数	構成比
1点	51	11.2%
2点	132	29.0%
3点	207	45.5%
4点	48	10.5%
5点	12	2.6%
無回答	5	1.1%
合計	455	100.0%

問 24 最後に、教育・保育環境の充実など子育ての環境や支援に関してご意見がございましたら、ご自由にご記入ください。

### ■ 分類と回答数

分類	回答数(件)
1. 教育施設・学童・一時預かり等について	32
2. 学校・教育について	23
3. 子育てに係る施設、環境等について	72
4. 行政(市)の施策、対応等について	30
5. 地域における子育てについて	2
6. 子供の安全・安心について	2
7. 経済的な支援等について	33
8. 就労環境、職場等について	2
9. 医療、病院、病児保育等について	7
10. その他	10
合計	213

## ■ 主な意見

### 1. 教育施設・学童・一時預かり等について

- 学童及び保育環境について 現在父の私が 14:45 まで仕事で、母が 17:00～18:00 までの仕事をしています。子供が小学校に入学する際、15:00 以降まで仕事でなければ入室できないとのことでした。これは仕方ないとは思いますが、線引きがなければ誰もかれもとなってしまうと思います。ですが、15:00 以降ではないので学童に入れないのに短縮日課の日がそれなりの日数あり、その日は父母どちらかが仕事を早上がりするか、開始を遅らせるかしなければなりません。他の家庭では少しの間子供一人で留守番をさせているということもあると思います。ですが、それができない家庭もあります。もちろん、私の家庭だけではないことはわかっています。ですが、時間の区切りで学童に入れないということであれば、せめて短縮日課の日くらいは図書室を開放するなどして、通常の時間まで学校にいられるようにしてもらいたいと思います。かなり散らかった分になってしまいましたが、検討よろしくお願い致します。冬休み、春休みは片親が仕事を休んでいます。
- 市長が変わり、色々と政策を実現していただきありがとうございます。うちの子供は今小1で、支援学校に通学しています。就学にあたり、親自身の働き方を考えるきっかけとなりました。私はフルタイムの仕事に戻りたかったのですが、(今までは時短勤務で正職でした)支援校の始業時間と私の通勤時間、放デイサービスの終了時間と仕事の退勤時間あるいは土曜日の預かりサービスなど、スキマの時間をうめるサービスがない、あるいは有料(毎日)、利用できる条件が合わないなどがあり、フルタイムの仕事をあきらめて、上司とも相談して、パートの仕事に移行することになってしまいました。世帯としての収入も激減してしまったため、自分自身を含め、子供たち、家族全体で、色々なことを諦め、我慢してもらうことも増えました。小1の子も、障害の為に、将来的にも一人で留守番ができる見込みもなく、これからも何らかのサービスを利用しながらやりくりしていくしかありません。私自身もキャリアをあきらめることに対してかなり葛藤もあり、今も、もやもやする面は残っている状況です。小規模でも柔軟性のあるサービスが何カ所かあれば利用側も選択の幅も増え、親たちの生き方や働き方、ワークライフバランスの選択肢が増えるとよりよい生活がお互いに送れるようになるのではないかと思います。また、法律上、介護による時短勤務は3年と定められており、私もめいっぱい利用しましたが、特に子供の介護としてはずっと続くものかと思うので、行田市からぜひ発信してよりよい案を検討して頂けるとさらに良いかと思います。長くなりましたが、市長さんの話を聴く姿勢には感銘を受けていますので、もし機会がありましたら障害児の家族の話も聞いていただければ助かります。どうぞよろしくお願いいたします。
- 土日など子供向けのイベントがあると助かることがある。長期休暇に学童を利用しているが、いつも預けられるかどうかの瀬戸際でストレスになることがある。(毎回、状況を汲み取ってくださり、預けることができ助かっています)
- 学童を小学校卒業まで利用できない。中学年くらいで新一年が多いからと出されてしまうのには困った。子供達に対して不適切な言動をする職員、教員は速やかに対処していただきたい。

- 毎年12月は28日で学童や保育園が利用最終日となり、29日以降の預け先が行田市にはありません。仕事の勤務日は30日までであり、毎月月末は繁忙期で年末は最も忙しいと言っても過言ではないのですが、自身や夫の両親や知人は近くにいないため誰かに預けることもできず、やむを得ず仕事を休むということになります。職場の人達からは非難轟轟で、「子供は家においておけばいいでしょ。必ず出勤して」とまで言われたこともあり、体調不良という嘘をついて休んだこともあります。特別料金になっても構わないので、12月29日以降の子供の預け先を作ってもらいたいです。切実に望みます。
- 夏休みなどの勤務時間や週3以上などの厳しいしぼりを見直してほしいです。14時までとかの仕事の方もいるので預ける場所がないと仕事を休まざるを得なくなるので。夏休み学童にはない、場所などあれば教えてほしいです。すぐに入室できる施設など。
- 普段学童は利用していないが、春、夏、冬休みになると預け先がないという家庭が気軽に預けられる環境があるとすごく助かると思います。
- 保育園の一時預かりですが、何度も依頼しましたが一度も預けることができず(行田市)熊谷までお願いして預かってもらいました。保育園に入れない方のサポートも考えてほしいです。
- 子供を気軽に預けられる場所がほしい。1年中学童の申し込みを受け付けてほしい。
- 以前、母親の急な長期入院のため、保育園に通っていない子供の預け先に困りました。認可外保育施設にも預けましたが、費用も高額だったこともあり、そんな時にすぐに対応して頂ける保育園、こども園、幼稚園があると大変助かります。そういった方も多くいるのではないかと思います。
- 私はサービス業で土曜、祝日が仕事です。学校内の学童に入れる際に市役所で土曜日の利用はできると確認をとりましたが入ってみたら息子一人での利用だとかわいそうだと学童の教員に言われ土曜日の利用はあきらめざるを得ませんでした。土曜日などの学校が休みの日に仕事を頑張っている親への負担が大きいと思います。平日は利用できるのに土曜日は児童の人数が少ないからと利用できないのは不公平です。うちは夫もサービス業なのでせめて土曜日だけでも学校内の学童をあけていただきたいです。どうかしてください。3年前から言っていますが何も変わらず私の声は届いているのでしょうか。
- 学童には希望者全員入れるようにすべき。家族の就業状況、通院、体調不良等、様々な理由においても子供を預けられる場所がないと子育ては困難なものになってしまう。
- 学級閉鎖の時に学童に預けられないのが困ります。何日も仕事を休まなければならないし、1年に何回かあり、何かいい対策があればお願いします。

## 2. 学校・教育について

- 小学校、中学校、地区、子供が減っているため親の役員の負担が大きすぎます。夜の会

議があったりして、子供を留守番させなければならない時もあります。子供会など親の負担を減らしていく余裕も生まれ子育てのしやすさにつながるのではと思います。

- 泉小3年の保護者ですが、娘の同級生の子供(男子)で、かなり乱暴で、授業もまともに受けていられないようで困っています。1.2年生の時にも乱暴な行動を多々起こしており、被害を受けている児童は数少なくないと思います。その児童は普段から先のとがった鉛筆を持ち歩き、何か気に入らないことがあると、それを振りかざして威嚇してくるようです。先日、学年末PTAがあり、教室に伺ったのですが、その児童の机は、鋭利な物で掘ったとみられるキズが机の真ん中(10cm程)ありました。今はまだ低学年で、「力」もそれほどではないと思いますが、これから高学年・中学生となる中、もっと大きな事件にならないか心配でなりません。
- 放課後学校で希望者にフォロー授業があるそうです。行田市にもそのようなサポートがあればうれしいです。現在は公文の先生のサポートを受けて次年度小4になる子供は、今、小1の足し算から頑張っています。
- 先生の働き方改革については、大いに賛同いたしますが、その方法は子供達から教育の時間、学校で過ごす時間などを減らしているだけで、子供達への教育の質を下げずにできる方法も考えてもらいたいと感じます。行田市内の小学校の特に体育館は、他市、近隣市と比べて、整ってなさすぎだと思います。避難所としても十分に役割が果たせるようにもう少し整えてほしいです。夏は暑すぎて危険です。トイレも足りないし、男女一緒の所もまだあります。雨もれしている所もあります。床もはがれており、落ちそうになっている所もあります。
- 小学校の学習支援員を減らすというのはなぜですか？我が子のクラスには授業中に教室を飛び出す児童がいるそうですが支援員の先生がその子を追いかけ、担任は授業を続けてくれるので中断されることはありません。また、長期間休んだ時も横に来てくださって、教えてもらえたそうです。学力は政治と違ってすぐに結果は出ません。すぐ結果が出ないからと言って、減らすのはなぜでしょう。そして、その減らした分を保育園や幼稚園のALT派遣に使うというのは、誰かが、得をする政策ですか？公立の小中学校に学力向上の魅力がなければ、子育て世帯(税金を納めてくれる世帯)は集まりません。「家を建てよう」と本気で考えるのは、小学校に入るタイミングが多いと思う。(実際、私たちは小学校入学のタイミングで熊谷から行田に移住しました。私の子の同級生も同じく)ですが、今はちょっと失敗だったかなと思っています。(熊谷の方が学力向上に力が入っています。) 公立小中学校に力をいれてください。そして教育長には教育の理解のある方をお願いします。
- 発達障害やグレーゾーンの子供がいる家庭への支援があるととても助かります。成長がゆっくりな子供達が繰り返し学べるような支援があると嬉しいです。1対1、複数人と選べるともっと良いと思います。
- 学校教育の質の改善を求めます。先生方の働く環境改善する話を最近よく耳にしますが、それにより教育の質が低下することのないよう注力していただきたいです。授業内容がしっかり定着するような工夫ある指導を願います。授業も駆け足で進み、定着しないまま進んでいくため、家庭での予習復習の差がそのまま学力差に直結し、格差

が広がっています。特に高学年。行田市内全体の教育の質を上げていく為には、その改善が必要不可欠だと思います。算数は理解度・定着度に合わせた少人数制授業を希望します。

- 特別支援級の情緒のクラスをタイプで分けてほしい。教員にも差があるので正直がっかりすることが多々ありますが、環境の改善、増員願っています。教員の資格がなくてもできることは積極的に外注してほしい。プロに任せればいい。
- 

### 3. 子育てに係る施設、環境等について

- いろいろな多様性を認める時代において、昔ながらの価値観のおしつけや、選択肢の少なさの改善が必要と感じる。全ての子供がのびのびと楽しい日々を送るためには、学校だけではない、選択できる居場所(申請などいらぬ)の確保、教育者の知識の向上が必要だと思う。
- 幼稚園、保育園は良かったが学校に入ると本当にひどい。今後もっと発達障害、不登校の子などに寄り添った教育をしていただきたい。あと子供が遊べる場所が本当にない。皆長期休みになると市外へ流れる(行田は何もないので)。外出すればそれだけお金も出るので、市外でお金が出る。夏は酷暑なので、室内遊び場や他の季節は大きい遊具のある公園など。そういった場所があれば市外から人が来るのに、何もないので市外にみんな出かける。他にも支援等市外より遅れている部分が多々あるように思う。昔からの流れが終わり、新しくしない限り、人は増えない来ない。
- スポーツ施設がない(屋内、ナイター)人工芝等。習い事への送迎手段がない(バス等)。他学年だが、日々の宿題が多すぎて習い事の時間まで余裕がない。(土日でも自主学習が出される。平日は2ページ以上)。他学年だが、学校、教室でスマホを使っている教師がいるとのこと(ゲーム、漫画)。教育者として律してほしい。
- 学校のクラブ活動が充実しておらず、民間の習い事をさせようにも、公共交通機関が充実していないため負担が大きい。この点を改善いただきたい。
- 行田市では子育て環境や支援について頑張ってくれていると感じます。子供が小学生になると地域とのかかわりが増える一方で役員活動などが多くなり、時に役員も重複してやらなければならないときも発生しています。地域の運動会などもなかば参加は強制的な圧力を感じます。共働き世帯が大多数をしめる中、仕事の合間での役員、地域活動が結果的に子供と過ごす時間を削っているように感じます。コロナ禍を経験し、大きく価値観も変化していると感じます。従来のやり方を続けていくばかりでなく、組織の在り方や活動の在り方も時代背景にそって見直してほしいと思います。
- 朝、夕の立哨当番が苦痛です。私の地区ではシルバーさんが集合場所(朝)で見てるだけ(立ってるだけ)なら立哨をやってほしい。夕方も1時間弱の間立哨。学校によってはシルバーさんが協力してくれています。北小では夕方は90%保護者、仕事をしている人は途中抜け出して終わったら仕事に戻る状況です。特に夕方の立哨に関しては、

名だけの地域交流だと思います。毎日見守っているシルバーさんは一人しかいません。登録している他のシルバーさんはどこに。

- 少子化に伴い、行田の子供たちが減少している現状はちょっとさみしく思っています。今後、新しい若い家族世代が行田市を子育てがしやすい街として選んでもらうためには親族に手を借りることができない(とっても大変です)状態のママさんたちが快適に、困ったことを分かり合える相談できる。そういった場所を希望します。ママさんたちが生き生きしている街はきっと子供達にもすばらしい街に映ると思います。
- 長期休暇(春、夏、冬休み等)時に小学生以上の子供が遊べる場所が少ない。晴天、雨天で過ごせる場所。
- 子供が遊べる施設や公園など、子供を遊ばせながらランチができるような場所がもっとあったら助かるなと思います。
- シングルマザーで子育てをしています。フルタイムで働きながらクラス役員、地区役員、PTA、自治体役員とたくさんの仕事を無償でさせられ、大変困っています。子供を育てるために仕事をしなければいけないのに、それを休んでまで役員をするのは何のためですか？子供と過ごす時間も減ります。教育、子育てについて本気で考えているのなら無駄なことをなくして負担を少しでも減らしてください。

#### 4. 行政(市)の施策、対応等について

- 実際小学生を持つ親が具体的にどう負担なのかを全然理解していない。昭和の専業主婦がやっているような役割を今の令和の保護者に求めるのは時代錯誤。学校行事のために有給や休みを入れてやらせている時点で、物価が上がっているのに稼ぐ時間を搾取されている。本当に支援の充実を考えるなら、利用に急を要さなくてもいいように保護者の負担を減らしてください。お隣の鴻巣市はすでに子供会は全域で廃止されているし登下校の旗振りはボランティアのおじさんたち(おやじの会)に一任している。そのボランティアが成り立つのは、市の事業として助成金が支払われているから。近くのスイミングスクールも下校後自宅付近でスクールバスが拾ってくれるから、学童がわりに通わせる親も多数。学校の先生なんて、自分の非を認めないどころか隠ぺいに力をそそぐ毎日で、行田に家買うんじゃないかと後悔している。
- 教師の働き方改革が進む中で、親である私達への改革は全くないと思います。昔ながらの風潮や、PTA活動など、働く親が多い、頼れる場所がなくほぼ一人で子育てしてる母からすると、PTAなどの活動も負担が多い。学校運営に必要なならば、外部委託するなど、親への働き方改革も進めてほしい。熊谷や他市より行田は遅れていると思う。今の時代に合ったことをもっとしてほしいです。
- 現状の市の教育システムに魅力がなく、もっと独自性のある教育環境の構築が必要と思う。小中一貫校に関しても、教育の中身を一新して過酷な気候に対応できる設備、施設の充実、教育者の知識の向上が必要と思う。一人一人の子供の個性を尊重できる教育が、これから(今)の時代に求められていると思う。
- デジタル化してほしい。予防接種を毎年記入したり、家族構成学校までの地図とかを省略してくれるだけで助かります。

- 保育園の入園が可能かどうか、空き情報がネット上で見れたら良いのと思った。市は色々やってくれていると思うが、もっとオンラインを活用してもいいのでは？と感じる。
- 子育てがしやすいとは思えないです。他市より転入して出産をしたが、心細い思いをずっとしている。仕事をしながら育児をするにも児童会など大変。そこで育児の話をするわけでもないで…もう少し、その家庭にあった子育てができるような支援をしてほしい。
- 学校活動、地域活動など保護者がやらなければならない仕事が多い。PTA 活動など地域に応じて生徒数が違うにもかかわらず、すべて同じように選出するなど不公平と感じる。また、地域活動に関しても同様であり、かつ老人は若い人たちを暇か何かと勘違いをおこしているように感じる。世代間ギャップを何とかしてほしい。行田市として人数の多い老人の意見を中心とした政策に予算をつぎ込むのではなく、未来ある子供達のための施策に予算をつぎ込んでほしい。アンケートは無作為に選んだとのことだが、子供全員分のアンケートがあたるのはどういった確率なのか？作為的に選んだとしか思えない。子育て支援の充実を図るため、子供未来課の人数を拡充してほしい。
- 保育園入園を望んでいる子は、親が希望する園に必ず(またはそれに近い確率で)入園できるようにしてほしい。障がいや病気の子が教育、保育機関に通いやすくしてほしい。民間の学童や幼稚園に対して市からもっと支援をして事業の充実をはかってほしい。小学校での PTA 活動、地域の子供会などでの親の負担を軽減してほしい。保育園の立地がかたよっていて、実際に子供を育てている家庭が住んでいる太井地区や持田地区に少なく、利便性が悪い。子育て支援の充実を図るためにまず子供未来課の人員を増員し、新たな事業を行えるようにしてほしい。(そうしないとこのアンケートを忙しい中で答えた意味がなくなるのではないのでしょうか)
- 他の市で実施している援助を行田市は行っていない(児童育成手当など)。子供未来課の職員にアドバイスをもらいに行っても親身になって聞いてくれない。自分がある程度の知識を持って行かないとあしらわれる。実際手続きを取れる方法があったのに提案してくれなかった。
- 行政のサービス等知らないことが多い気がします。地域の自治体との関わりがうすい子育て世帯もあるのでもう少し学校も含めて寄り添うことはできないのだろうか。
- 少子化と言われているのに市のサポートがわかりにくい。また、サポートが少なくない。給食費無償化とか給付金を出した方がいいと思う。このままでは市全体があぶない。子供にやさしい市になってほしいです。あと、外で子供がボール遊びができると思います。市にクレームがいきそっちの味方をされ子供が外でボール遊びできなくなりました。自宅の敷地内でもダメとのことでした。
- 小学校での授業崩壊等では迅速な加配等をしてもらい、授業を受けたい勉強したいという子をきちんと守ってほしい。共働きが増える中、PTA で保護者の負担が増えると子供と過ごす時間等が減り、本末転倒に。行政の面で解決できる部分に対応してほしい。
- <子育て支援について>幼児から小学生になってしまうと敷居が高くなり、情報も行田市はわかりにくい(周知されていない)印象です。<教育環境について>小中一貫に

なるそうですが、決めてからではなく保護者にアンケートやお願い、説明が先ではないでしょうか。市報や市のHPにそんな影響があると思っていることに驚きを隠せません。子供達が我慢しながら(地域の高齢者、案外子供に冷たいですよ、ご存知ですか)育つ未来はないと思います。

- 小学校でサポートに入る方がいると子供から(5年生)ききますが、一時期「説明がわかりづらい」対応に対する不安、不満を言っていることがありました。クラスに入るサポートの方が色々な年齢層でいるといいなと思いました。パート時間が短くても入れる学童の充実があるといいですね。グレーゾーンや発達障害を持つ子供に対して、小学校は学校内でできることで対応していると感じています。市ではどんな支援があるのか、どんな支援をしているのかあまり伝わってないと思います。
- 子供が楽しめる無料イベントがたくさんあるといい。
- 行田市の小中学校の合併計画についてですが20校→3校は減らしすぎだと思います。少子化で廃校になる学校はあるかと思いますが、小中の合併は子供も望んでいませんし慎重をお願いします。
- 小学生になり、本人が出来ることが増え、親の手が離れつつあるが、学校の仕事、地域の子供会の仕事が多すぎる。子供が減っているのに変わらない行事の数を割り当てると1人1人の負担が増える。今後PTA活動や子供会を辞める方向でいるが、任意の組織にも関わらず登校班に入れない、行事等に出られないなど子供への弊害が大きい。義務教育の場へ行くための登校班には任意で入るかどうかが決められるのはおかしい。親の都合(時間的・心身的)で加入しない方は、学校に行く際に子供が1人になることに違和感はないのだろうか。先日この件について市役所に問い合わせたところ、そのような事実は承知していないとのことだった。知らないの一言で万が一登校中に事件や事故にあったらどうするのか。今一度子供を取り巻く環境のあり方について考えてほしい。世の中が変わるにつれ、色んなことを変えていく必要がある。あまりにも変わらなさすぎる。

## 5. 地域における子育てについて

- お金の問題もとても大切です。しかし地域など人と人が関わることも親にとっても子供にとっても大切なことだと思います。気軽に地域の方などと関わったり、話をする場所があっても良いと思います。
- 私は行田市で店舗を持っております。下校の時間など子供の人数が少なくなっているのでは仕方ないとは思いますが、小さな小学1~3の子が一人で帰っているのをよくみます。不審者などの情報があると心配になります。万が一何かあった時、子供達の逃げ込める場所(自宅の前に子供110などを掲げているお宅は、ほとんどが高齢の方や、日中いらっしゃいません)子供達に認識させる、また、私のような店舗に逃げてきていいんだよという目印など作って頂けないでしょうか。ボランティアで、小学校から下校班について帰って下さる方など募ってみるのはいかがでしょうか。ご高齢の方とのつながりや、地域の目も子供達に対してよりしっかりすると思います。

## 6. 子供の安全・安心について

- 下校時の見守りボランティアをもう少し増やしてほしい。家の近所(棚田町2丁目セブンイレブン付近)でも不審者出没が何回かあり、持田地区でもたまに聞くので、正直子供を下校させるのが怖いです。
- 通学路の安全面を考慮して早急に対応してほしいです。西小にもずっと打ち上げております。(特に、持田駅前信号(熊谷方面左折)～バイパスまでの道。) ※マルテローラー前の道は生徒のストレスを通ります。

## 7. 経済的な支援等について

- 放課後等デイサービスに通っているので受給者証をいただいているが、世帯年収によつての支払い額の幅がありすぎると思います。かたや9000円、かたや3万円超える…我が家は私のパート代から支払いをしているので、世帯年収で金額が変わってくる点については見直しを検討していただけると幸いです。みんなが平等に支援を受けられる行田になるよう願ってます。世帯年収が多い家庭ばかり出るものが多くて辛すぎます。ずっと思っている事です。
- 子供が多い世帯に何も支援がなくお金がかかる。非課税世帯だけが大変ではない。子供を多く産めないのは支援が少ないから。5人育てると2人育てるのではお金のかかり方が違う。少子化というのが現実産めば産むほど大変。これが現実です。子供が多い世帯の話をもっと聞いて、行田に子供が多くなるにはどうすれば良いか考えるべき。学校を一本にするもよし、その前にやるべきことがあるはずです。現実中学校、高校の修学旅行費が払えず、行かせられません。非課税ではないので支援はありません。
- 小学校、中学校は義務教育になりますが、それに関わるものに対しての費用が高すぎます。必ずそろえなければならない体操着やジャージ、その他用品(裁縫セット、彫刻刀、算数セット、学校のみで使う教材は貸し出しでも良いのでは?)SDGsの世の中、今までのやり方は変えても良いと思います。体操着等も着なければ寄付すれば商品券に変えられるとかして、バザーとか各小学校で行い購入できるようにするとか。兄が今年より中学生になりますが、制服等合わせて10万かかりました。何とかしてほしいです。
- 私立小のため、支援を受けにくい状況です。学童は入れず、下校時のファミリーサポート etc 利用は難しく感じました。私立中に在籍の場合給食費の補助があると聞きましたが、私立小にも対応して頂けたらありがたいです。
- 現在シングルマザーで二人の子を育てていますが、給与が一定程度あるため、各手当や制度が受けられません。手当や支給などを受けられる給与金額があまりにも低いように感じます。これでは、わざとパートや短時間勤務に変更して手当をもらおうとする方も増えるでしょうし、私のようにフルタイムで働いて、普通の両親がそろったご家庭との差別化がないと正直平等ではないなと思ってしまいます。子供により多くの経験、そして安定した生活を送るためにも、シングルマザーへの対応について考えていただきたいと切に願っております。
- 母子家庭の支援が少ない。所得が少し超えてしまい手当が0になってしまった。

- 学童利用料が高く感じる。子供が小学校から下校する時の地域の見守りの充実をしてほしい。登下校の道が悪いところがたくさんある。直してほしい。給食費を無料にしてほしい。中学校では無料になっていた時もあるのに、なぜ小学校はならないのか疑問に感じます。もっと子育てしやすい環境を望みます。手厚い支援をお願いします。インフルエンザの予防接種の支援があってほしい。高齢者には支援があるのに、子供に支援がないのは疑問です。
- 一人親ばかりではなく多子世帯や難病をもっている家庭への支援をお願いしたい。
- 小学校の給食費無償化。高校授業料無償化、大学授業料無償化。保育園、幼稚園無償化(保育料、給食費)。中学校の制服は、ジェンダーレスを意識し、取り組んでいってほしいので、男はズボン、女はスカートの廃止をし、ユニクロなどのファストアイテムを取り入れて、経済的負担を減らしてほしい。男子と女子の兄弟がいる家庭の経済的負担が大きく、生活困難。中学校のジャージについても男女で統一したカラーを希望。西中は男子が黒(紺)で女子が青のため、生理が漏れた時に目立ってしまい、精神的苦痛を感じたことがあると聞きました。学童保育室の外で遊ぶ時間をもっと増やしたり、学童で習い事ができるシステムを構築して、行田市の学力や体力の向上目指し、または専門の先生を派遣して子供達の未来を大きく広げてほしいです。

## 8. 就労環境、職場等について

- 教育、子育てに関して両親の役割が望まれますが、女性の社会進出等家庭外での役割との両立はとても困難と感じています。また子育ての悩みについての支援や補助の情報がわかりません。私も育児休業を申請しましたが、上司にとっても嫌な顔をされました。男性の育児への参加が歓迎されていないことが伝わりました。限られた子供との関わりの時間の大切さ、将来を担う子供、子育て世帯、世代の重要性、大切さを理解してもらえよう行政として情報発信、様々な支援をしていただきたいです。

## 9. 医療、病院、病児保育等について

- 療育の病院がなく、東松山やさいたま市に通うのが大変です。仕方のないことですが、支援級の先生が毎年かわってしまいます。支援級の子は環境が変わるのが苦手な子もいるので、短くても2.3年は異動しないでほしいなと思います。学童も4~6年生も預かってもらえるようにしてほしい。学童の条件も学年ごとに増やす(親の働く時間)とかにすると、パートしてる親は職場を変えたりしないといけなくなったりするので大変です。
- 行田市への満足度が低い理由は医療関係に不満があるからです。小児科は何ヵ所かありますが、病気の子供に触れず診察する医師、熱がしょっちゅう出る子供を心配して相談すると、聞く耳持たずで見放す医師、まともな医者が行田市にはいません。コロナ禍も5類になった今、発熱外来の見直しもしてもらいたい。子供が発熱しても全然診察してもらえません。
- 行田市に小児科がなくて困っています。大人の内科と一緒に小児科がある病院や総合病院の中にはありますが、他の感染症にうつりやすかったり待ち時間が長かったりするるので、小児科がもっとたくさんあるといいなと思います。
- 他市の例をあげると子供医療費の証書はカードになっていて持ち運びやすいので取り入れてほしい。インフルエンザの予防接種は子供にも助成があるべきだと思う。
- 陣痛タクシーを作ってほしい。夜間診療所を作ってほしい。
- 子供が病気の時病児保育を利用するが、行田には一つしか施設がないから利用したい時に電話すると必ずと言っていい程「もういっぱい受け入れできない」と言われる。もう一つ施設が増えてくれたらありがたい。利用料もかかる。子供が病気だと側においてあげたい気持ちはあるが、働かないと生活できないから受け入れ人数を増やすか病児保育施設を増やしてほしい。

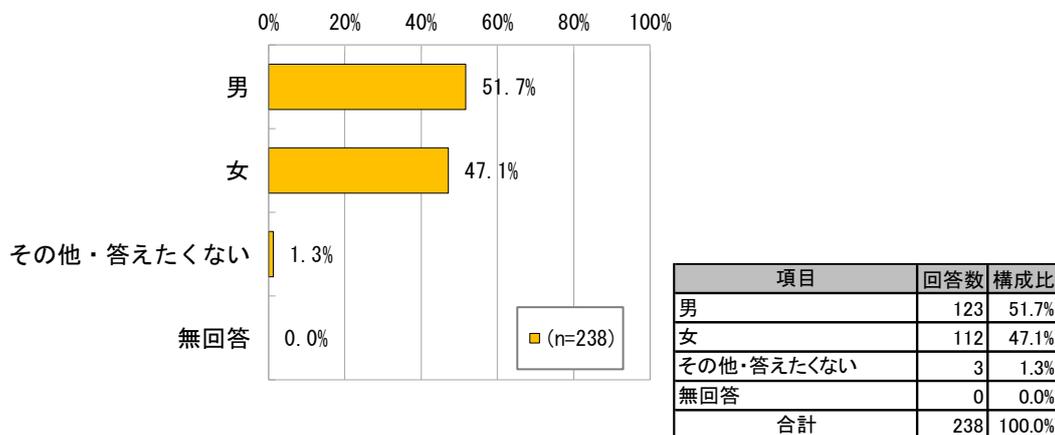
## 10. その他

- 放課後等デイサービスが選択肢に入っていないのがダメだと思う。地域外の特別支援学校に通学する子供、親への負担が大きいのが、そのあたりの補助的なものはないのか？このアンケートはなぜ健常者だけが対象なのか。
- よく考えたことがない。たとえ、意見があったとしても、それを行政に伝える術も機会もないし、市議員が考えて可決したことを受け入れる事だけ。
- 小中卒業後、不要になったジャージや制服を寄付できるようにし、必要な方へゆづれるようにできるとよい(卒業間近になって新しく買い返すのはもったいない経験をしました) 経済的な負担も減ると思います。

## IV 調査結果（小学5年生）

問2 あなたの性別を教えてください。(あてはまるもの1つに○)

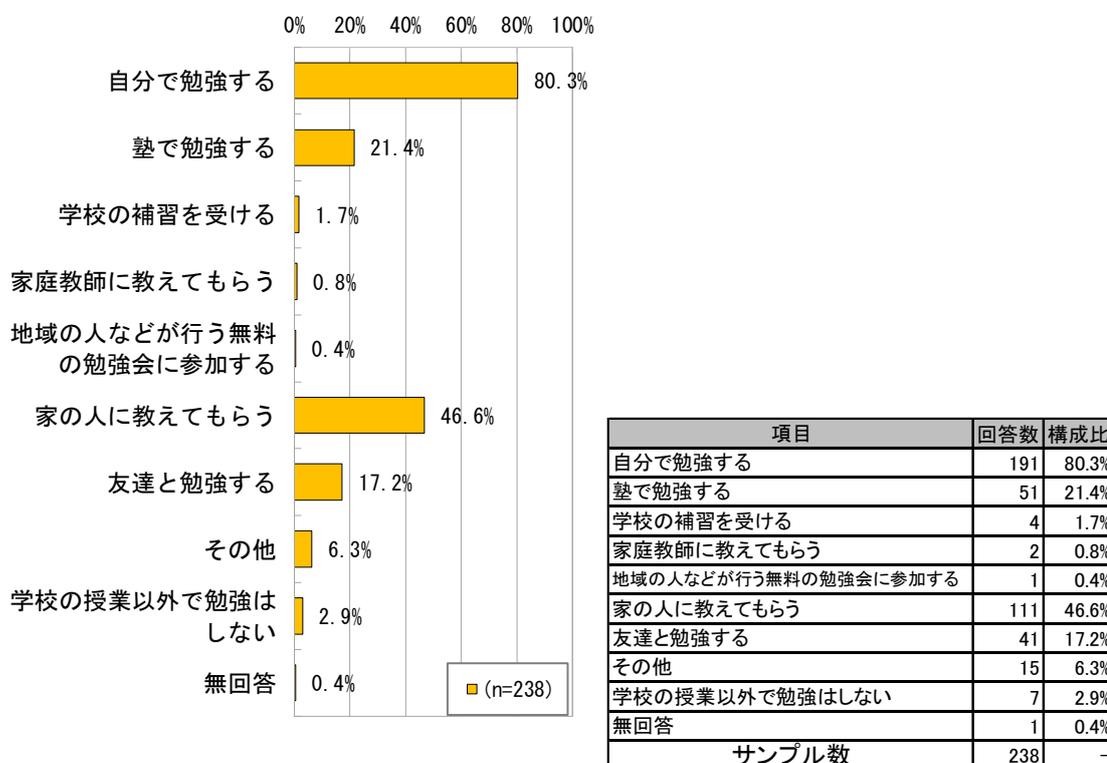
性別については、「男」51.7%、「女」47.1%、「その他・答えたくない」1.3%となっている。



問3 あなたは、ふだん学校の授業以外で、どのように勉強をしていますか。

※勉強には学校の宿題もふくみます。(あてはまるものをすべてえらんでください。)

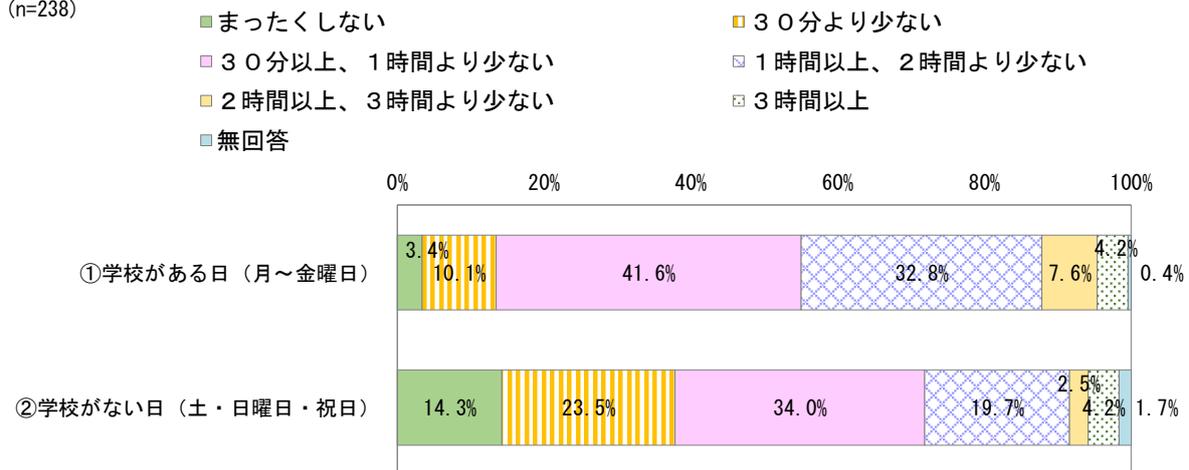
ふだんの学校の授業以外の勉強については、「自分で勉強する」80.3%が最も高く、次いで「家の人に教えてもらう」46.6%、「塾で勉強する」21.4%となっている。



問4 あなたは、ふだん学校の授業以外に、1日あたりどれくらいの時間勉強をしますか。(①、②それぞれについて、あてはまるものを1つえらんでください。)  
 ※ 学校の宿題をする時間や、塾などでの勉強時間もふくみます。

ふだんの学校の授業以外の1日あたりの勉強時間については、学校がある日(月～金曜日)では「30分以上、1時間より少ない」41.6%が最も高く、次いで「1時間以上、2時間より少ない」32.8%となっている。学校がない日(土・日曜日・祝日)では「30分以上、1時間より少ない」34.0%が最も高く、次いで「30分より少ない」23.5%となっている。

(n=238)

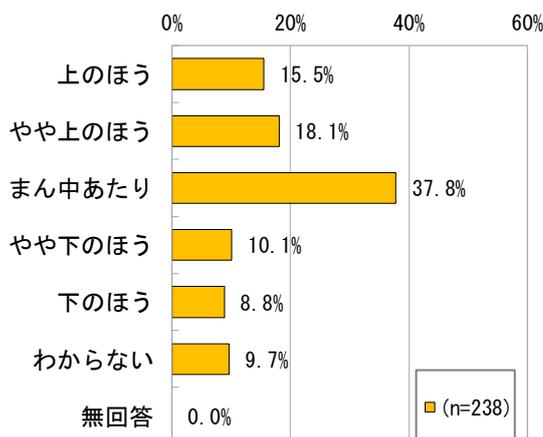


項目	サンプル数	勉強時間						無回答
		まったくしない	30分より少ない	30分以上、1時間より少ない	1時間以上、2時間より少ない	2時間以上、3時間より少ない	3時間以上	
①学校がある日(月～金曜日)	238	8	24	99	78	18	10	1
	100.0%	3.4%	10.1%	41.6%	32.8%	7.6%	4.2%	0.4%
②学校がない日(土・日曜日・祝日)	238	34	56	81	47	6	10	4
	100.0%	14.3%	23.5%	34.0%	19.7%	2.5%	4.2%	1.7%

小数点第2位を四捨五入しているため、合計は100%と一致しない場合があります  
 上段: 回答者数  
 下段: 構成比  
 ■ 上位1項目

問5 あなたの成績は、クラスの中でどのくらいだと思いますか。(あてはまるもの1つに○)

クラスの中で成績がどれくらいであるかについては、「まん中あたり」37.8%が最も高く、次いで「やや上のほう」18.1%、「上のほう」15.5%となっている。

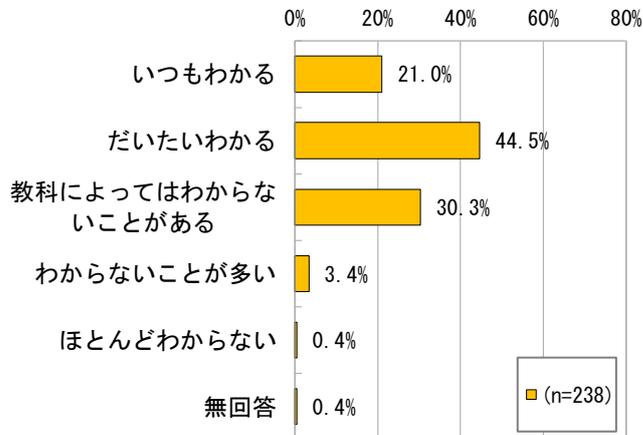


項目	回答数	構成比
上のほう	37	15.5%
やや上のほう	43	18.1%
まん中あたり	90	37.8%
やや下のほう	24	10.1%
下のほう	21	8.8%
わからない	23	9.7%
無回答	0	0.0%
合計	238	100.0%

問6 あなたは、学校の授業がわからないことがありますか。

(あてはまるものを1つえらんでください。)

学校の授業がわからないことがあるかについては、「だいたいわかる」44.5%が最も高く、次いで「教科によってはわからないことがある」30.3%、「いつもわかる」21.0%となっている。



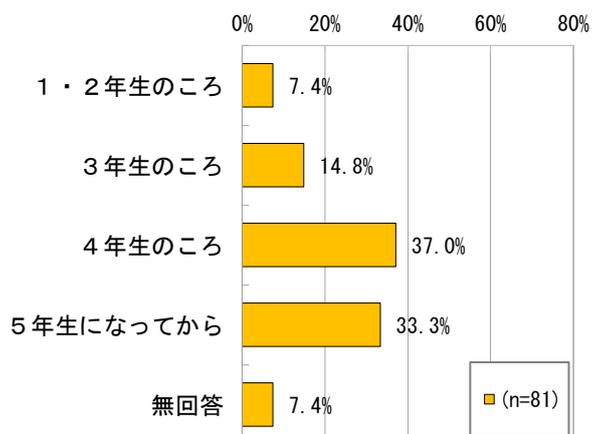
項目	回答数	構成比
いつもわかる	50	21.0%
だいたいわかる	106	44.5%
教科によってはわからないことがある	72	30.3%
わからないことが多い	8	3.4%
ほとんどわからない	1	0.4%
無回答	1	0.4%
合計	238	100.0%

問7 前の質問で、学校の授業が「3 教科によってはわからないことが多い」「4 わからないことが多い」「5 ほとんどわからない」と答えた方にお聞きします。

いつごろから、授業がわからないことがあるようになりましたか。

(あてはまるものを1つえらんでください。)

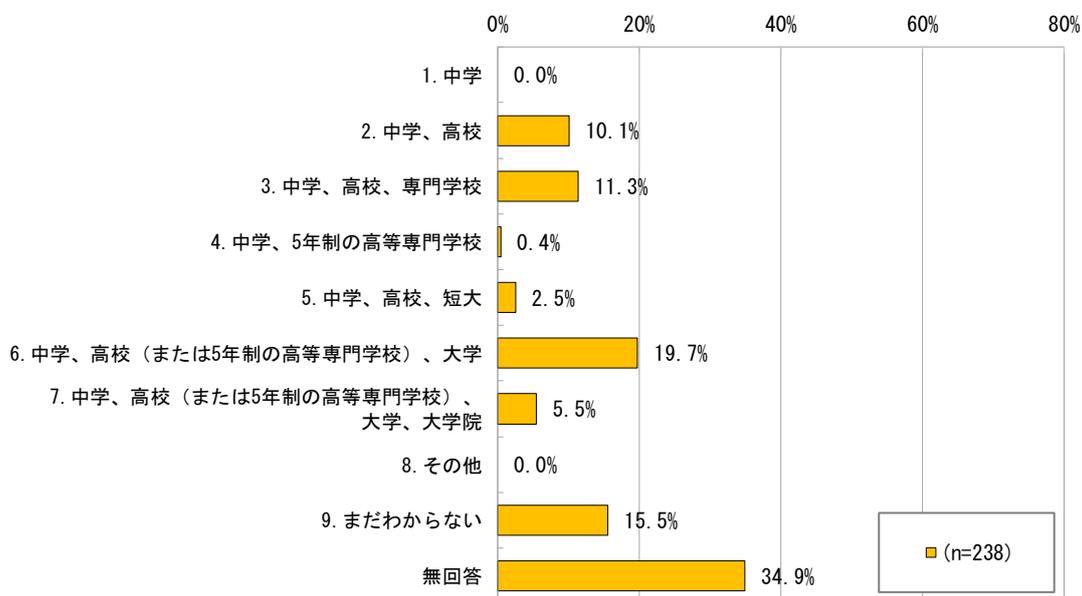
いつごろから、授業がわからないことがあるようになったかについては、「4年生のころ」37.0%が最も高く、次いで「5年生になってから」33.3%、「3年生のころ」14.8%となっている。



項目	回答数	構成比
1・2年生のころ	6	7.4%
3年生のころ	12	14.8%
4年生のころ	30	37.0%
5年生になってから	27	33.3%
無回答	6	7.4%
合計	81	100.0%

問8 あなたは、将来、どの学校まで進学したいですか。  
(あてはまるものを1つえらんでください。)

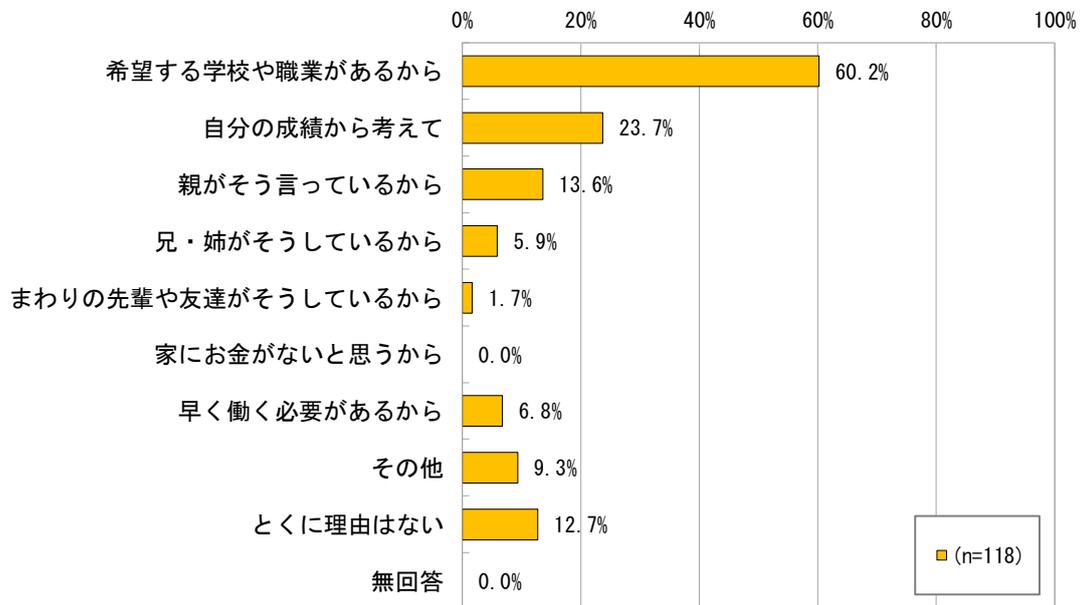
将来、どの学校まで進学したいかについては、「中学、高校（または5年制の高等専門学校）、大学」19.7%が最も高く、次いで「まだわからない」15.5%、「中学、高校、専門学校」11.3%となっている。



項目	回答数	構成比
中学	0	0.0%
中学、高校	24	10.1%
中学、高校、専門学校	27	11.3%
中学、5年制の高等専門学校	1	0.4%
中学、高校、短大	6	2.5%
中学、高校(または5年制の高等専門学校)、大学	47	19.7%
中学、高校(または5年制の高等専門学校)、大学、大学院	13	5.5%
その他	0	0.0%
まだわからない	37	15.5%
無回答	83	34.9%
合計	118	49.6%

問9 前の質問で1～8をえらんだ場合、その進学先をえらんだ理由をえらんでください。  
 (あてはまるものをすべてえらんでください。)

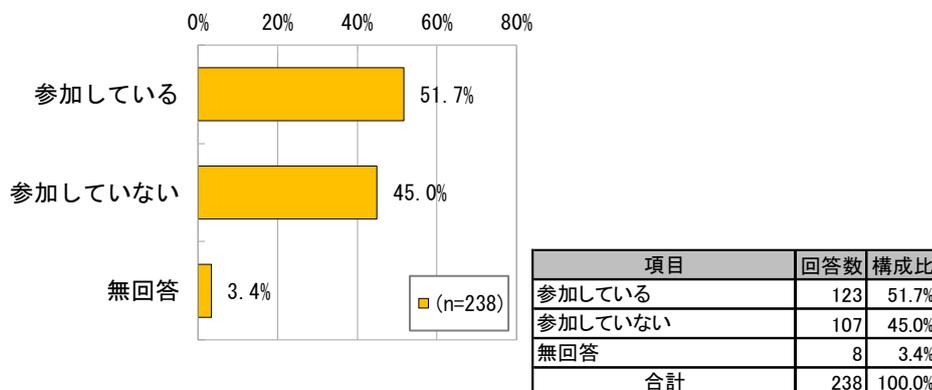
選択した進学先の回答理由については、「希望する学校や職業があるから」60.2%が最も高く、次いで「自分の成績から考えて」23.7%、「親がそう言っているから」13.6%となっている。



項目	回答数	構成比
希望する学校や職業があるから	71	60.2%
自分の成績から考えて	28	23.7%
親がそう言っているから	16	13.6%
兄・姉がそうしているから	7	5.9%
まわりの先輩や友達がそうしているから	2	1.7%
家にお金がないと思うから	0	0.0%
早く働く必要があるから	8	6.8%
その他	11	9.3%
とくに理由はない	15	12.7%
無回答	0	0.0%
サンプル数	118	-

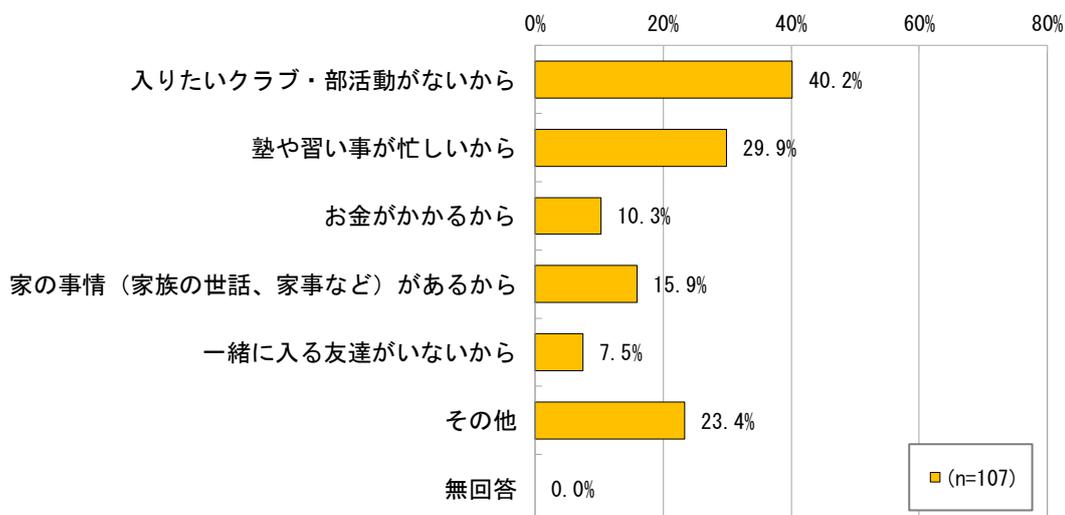
問10 あなたは、地域のスポーツクラブや文化クラブ、学校の部活動に参加していますか。  
(あてはまるものを1つえらんでください。)

地域のスポーツクラブや文化クラブ、学校の部活動に参加しているかについては、「参加している」51.7%、「参加していない」45.0%となっている。



問11 前の質問で「2 参加していない」と答えた方にお聞きします。  
参加していない理由はなんですか。(あてはまるものをすべてえらんでください)

参加していない理由については、「入りたいクラブ・部活動がないから」40.2%が最も高く、次いで「塾や習い事が忙しいから」29.9%、「その他」23.4%となっている。

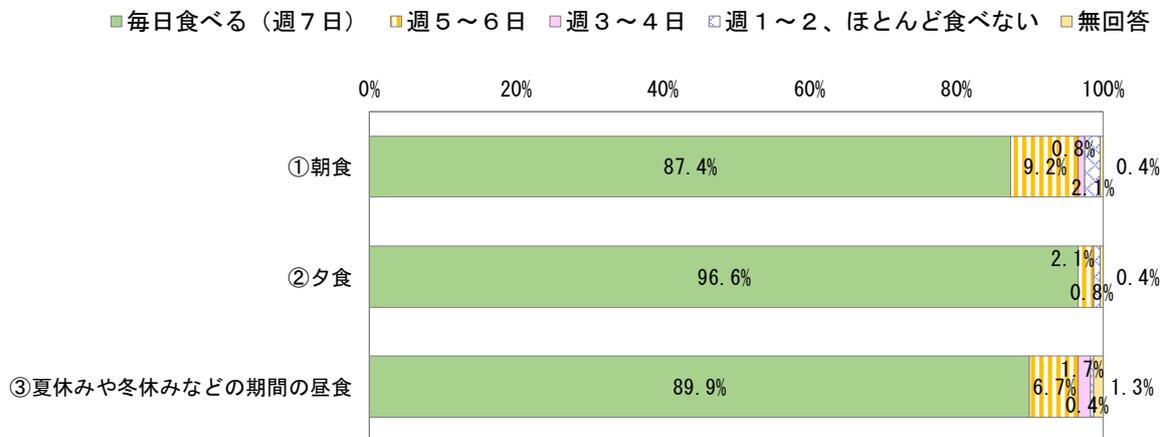


項目	回答数	構成比
入りたいクラブ・部活動がないから	43	40.2%
塾や習い事が忙しいから	32	29.9%
お金がかかるから	11	10.3%
家の事情(家族の世話、家事など)があるから	17	15.9%
一緒にいる友達がいないから	8	7.5%
その他	25	23.4%
無回答	0	0.0%
サンプル数	107	-

問12 あなたは週にどのくらい、食事をしていますか。(①～③のそれぞれについて、あてはまるものを1つえらんでください。)

週にどれくらい食事をしているかについては、全ての項目で「毎日食べる（週7日）」が8割以上を占めている。

(n=238)



小数点第2位を四捨五入しているため、合計は100%と一致しない場合がある

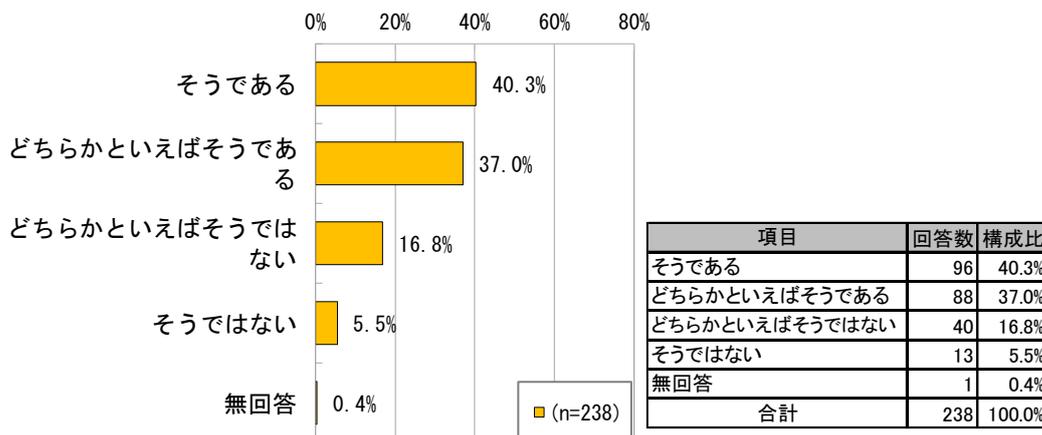
上段: 回答者数  
下段: 構成比

■ 上位1項目

	サンプル数	日（毎日）食べる（週7）	週5～6日	週3～4日	週1～2、ほとんど食べない	無回答
①朝食	238	208	22	2	5	1
	100.0%	87.4%	9.2%	0.8%	2.1%	0.4%
②夕食	238	230	5	0	2	1
	100.0%	96.6%	2.1%	0.0%	0.8%	0.4%
③夏休みや冬休みなどの期間の昼食	238	214	16	4	1	3
	100.0%	89.9%	6.7%	1.7%	0.4%	1.3%

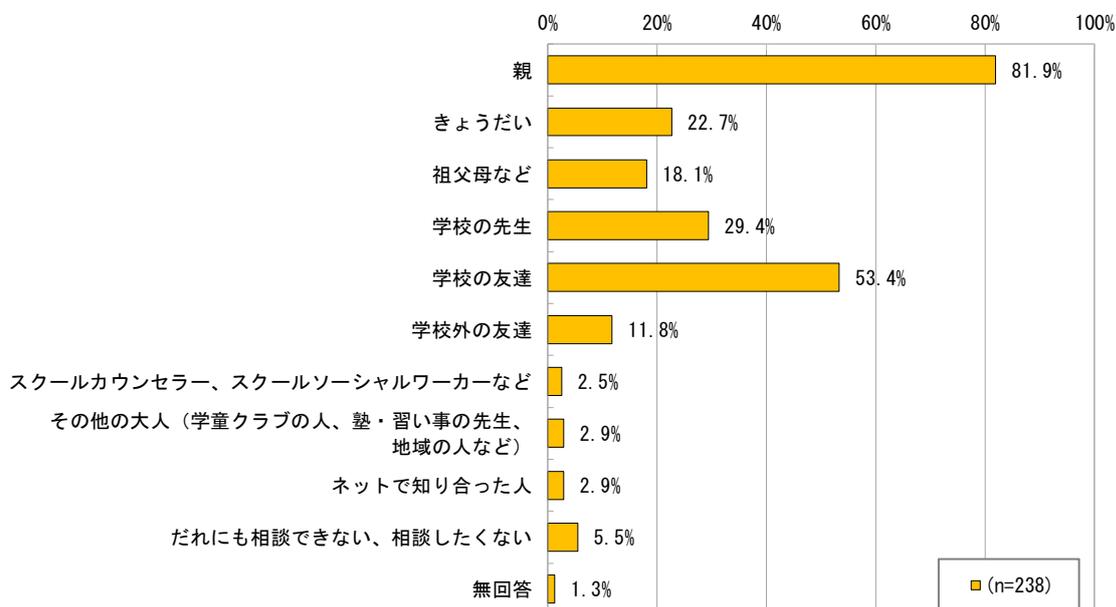
問13 あなたは、ふだん(月曜日～金曜日)、ほぼ同じ時間に寝ていますか。(あてはまるものを1つえらんでください。)

ふだん(月曜日～金曜日)、ほぼ同じ時間に寝ているかについては、「そうである」40.3%が最も高く、次いで「どちらかといえばそうである」37.0%、「どちらかといえばそうではない」16.8%となっている。『そうである』（「そうである」+「どちらかといえばそうである」）と回答した方は全体の77.3%を占める。



問14 あなたに困っていることや悩みごとがあるとき、あなたが相談できると思う人はだれですか。(あてはまるものをすべてえらんでください。)

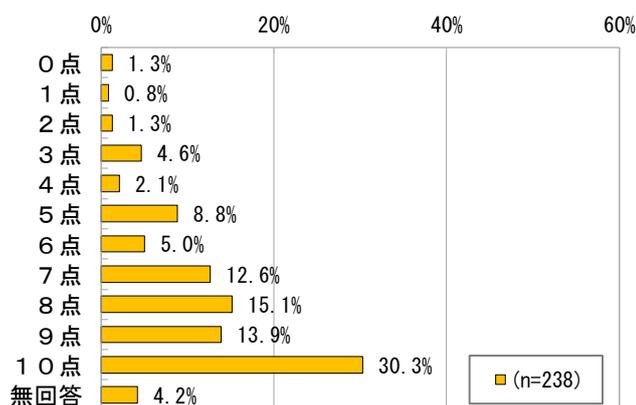
困りごとや悩みごとを相談できると思う相手については、「親」81.9%が最も高く、次いで「学校の友達」53.4%、「学校の先生」29.4%となっている。



項目	回答数	構成比
親	195	81.9%
きょうだい	54	22.7%
祖父母など	43	18.1%
学校の先生	70	29.4%
学校の友達	127	53.4%
学校外の友達	28	11.8%
スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーなど	6	2.5%
その他の大人 (学童クラブの人、塾・習い事の先生、地域の人など)	7	2.9%
ネットで知り合った人	7	2.9%
だれにも相談できない、相談したくない	13	5.5%
無回答	3	1.3%
サンプル数	238	-

問15 全体として、あなたは最近の生活に、どのくらい満足していますか。(「0」(まったく満足していない)から「10」(十分に満足している)までのうち、あてはまるものを1つえらんでください。)

最近の生活に対する満足度については、「10点」30.3%が最も高く、次いで「8点」15.1%、「9点」13.9%となっている。

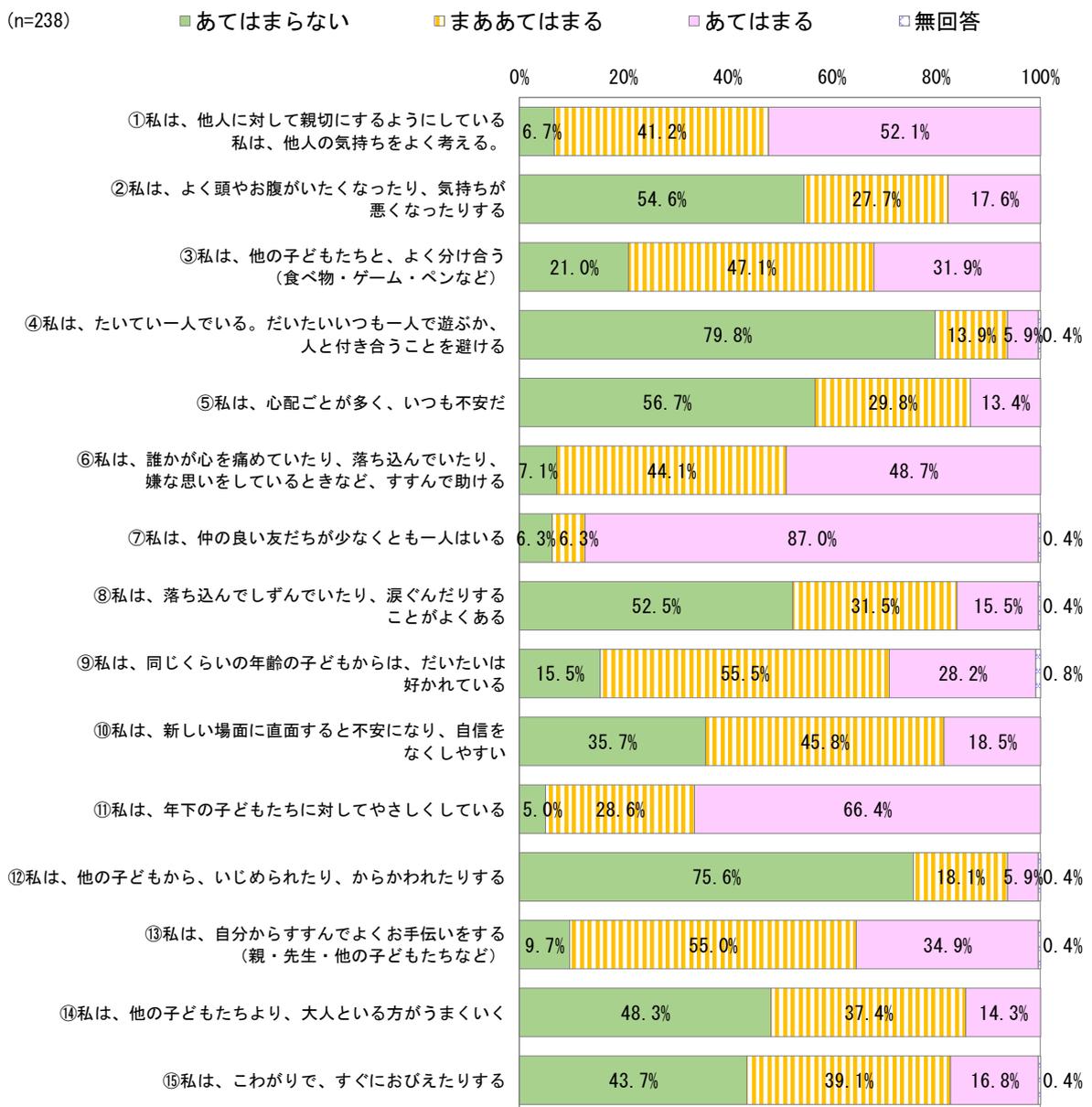


項目	回答数	構成比
0点	3	1.3%
1点	2	0.8%
2点	3	1.3%
3点	11	4.6%
4点	5	2.1%
5点	21	8.8%
6点	12	5.0%
7点	30	12.6%
8点	36	15.1%
9点	33	13.9%
10点	72	30.3%
無回答	10	4.2%
合計	57	23.9%

問16 ①～⑮のそれぞれの質問について、「1 あてはまらない」「2 まああてはまる」「3 あてはまる」のどれかから、あてはまるものを1つえらんでください。答えに自信がなくても、あるいは、その質問がばからしいと思えたとしても、全部の質問に答えてください。あなたのご半年くらいのことを考えて答えてください。

『あてはまる』（「まああてはまる」＋「あてはまる」）は「私は、年下の子どもたちに対してやさしくしている」95.0%が最も高く、次いで「私は、他人に対して親切にしようとしている。私は、他人の気持ちをよく考える」、「私は、仲の良い友だちが少なくとも一人はいる」がいずれも93.3%となっている。

一方、『あてはまらない』では「私は、たいいてい一人でいる。だいたいいつも一人で遊ぶか、人と付き合うことを避ける」79.8%が最も高く、次いで「私は、他の子どもから、いじめられたり、からかわれたりする」75.6%、「私は、心配ごとが多く、いつも不安だ」56.7%となっている。

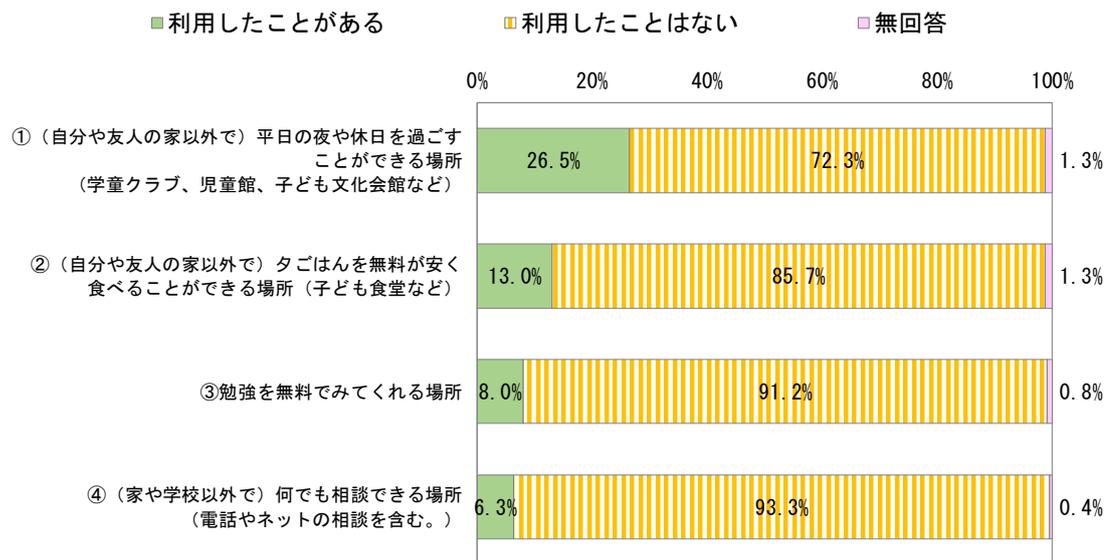


小数点第2位を 四捨五入しているため、 合計は100%と一致しない 場合がある  上段: 回答者数 下段: 構成比  ■ 上位1項目	サ ン プ ル 数	あ て は ま ら な い	ま あ て て は ま る	あ て は ま る	無 回 答
①私は、他人に対して親切にしようとしている。私は、他人の気持ちをよく考える。	238 100.0%	16 6.7%	98 41.2%	124 52.1%	0 0.0%
②私は、よく頭やお腹がいたくなったり、気持ちが悪くなったりする。	238 100.0%	130 54.6%	66 27.7%	42 17.6%	0 0.0%
③私は、他の子どもたちと、よく分け合う(食べ物・ゲーム・ペンなど)。	238 100.0%	50 21.0%	112 47.1%	76 31.9%	0 0.0%
④私は、たいてい一人でいる。だいたいいつも一人で遊ぶか、人と付き合うことを避ける。	238 100.0%	190 79.8%	33 13.9%	14 5.9%	1 0.4%
⑤私は、心配ごとが多く、いつも不安だ。	238 100.0%	135 56.7%	71 29.8%	32 13.4%	0 0.0%
⑥私は、誰かが心を痛めていたり、落ち込んでいたり、嫌な思いをしているときなど、すすんで助ける。	238 100.0%	17 7.1%	105 44.1%	116 48.7%	0 0.0%
⑦私は、仲の良い友だちが少なくとも一人はいる。	238 100.0%	15 6.3%	15 6.3%	207 87.0%	1 0.4%
⑧私は、落ち込んでずんできていたり、涙ぐんだりすることがよくある。	238 100.0%	125 52.5%	75 31.5%	37 15.5%	1 0.4%
⑨私は、同じくらいの年齢の子どもからは、だいたい好かれている。	238 100.0%	37 15.5%	132 55.5%	67 28.2%	2 0.8%
⑩私は、新しい場面に直面すると不安になり、自信をなくしやすい。	238 100.0%	85 35.7%	109 45.8%	44 18.5%	0 0.0%
⑪私は、年下の子どもたちに対してやさしくしている。	238 100.0%	12 5.0%	68 28.6%	158 66.4%	0 0.0%
⑫私は、他の子どもから、いじめられたり、からかわれたりする。	238 100.0%	180 75.6%	43 18.1%	14 5.9%	1 0.4%
⑬私は、自分からすすんでよくお手伝いをする(親・先生・他の子どもたちなど)。	238 100.0%	23 9.7%	131 55.0%	83 34.9%	1 0.4%
⑭私は、他の子どもたちより、大人という方がうまくいく。	238 100.0%	115 48.3%	89 37.4%	34 14.3%	0 0.0%
⑮私は、こわがりで、すぐにおびえたりする。	238 100.0%	104 43.7%	93 39.1%	40 16.8%	1 0.4%

問17 あなたは、次の①～④のような場所を利用したことがありますか。また、利用したことはない場合、(無料、または低料金で)今後利用したいと思いますか。(①～④のそれぞれについて、あてはまるものを1つえらんでください。)

各施設の利用状況について、「利用したことがある」と回答した割合が高いのは、「(自分や友人の家以外で)平日の夜や休日を過ごすことができる場所(児童育成クラブ、児童館、子ども文化会館など)」26.5%が最も高くなっている。その他の項目については、「利用したことはない」が8割以上を占めている。

(n=238)



項目	サンプル数	利用したことがある	利用したことはない	無回答
①(自分や友人の家以外で) 平日の夜や休日を過ごすことができる場所(学童クラブ、児童館、子ども文化会館など)	238	63	172	3
②(自分や友人の家以外で) タごはんを無料が安く食べることができる場所(子ども食堂など)	238	31	204	3
③勉強を無料でみてくれる場所	238	19	217	2
④(家や学校以外で) 何でも相談できる場所(電話やネットの相談を含む。)	238	15	222	1

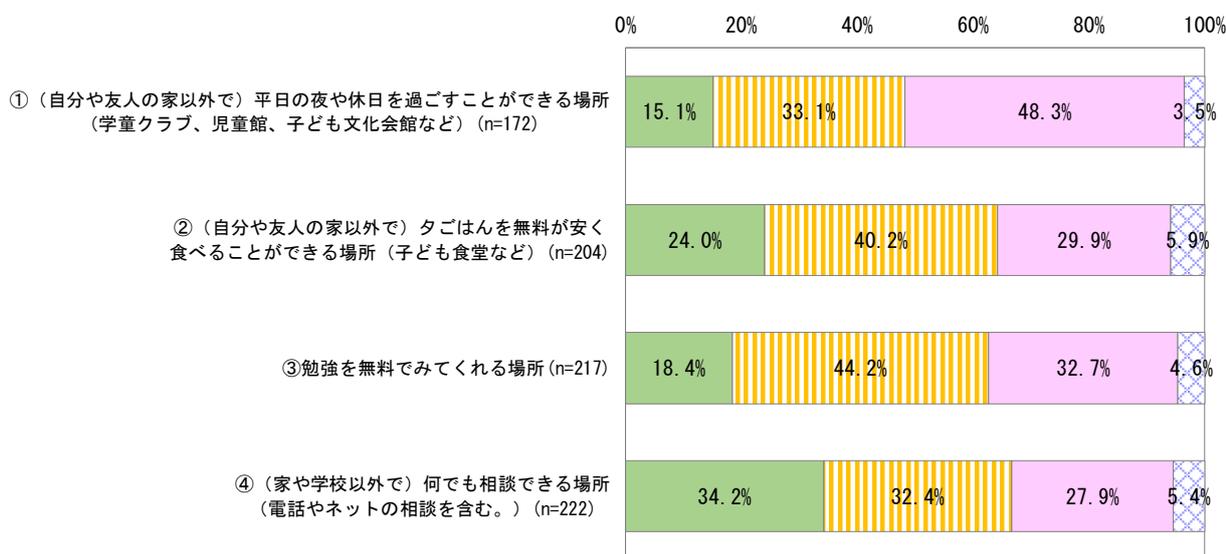
小数点第2位を四捨五入しているため、合計は100%と一致しない場合があります

上段: 回答者数  
下段: 構成比

■ 上位1項目

「利用したことはない」と答えた人の今後の利用意向について、「あれば利用したいと思う」と回答した割合が高いのは、「(家や学校以外で)何でも相談できる場所(電話やネットの相談を含む。)」34.2%が最も高く、次いで「(自分や友人の家以外で)夕ごはんを無料が安く食べることができる場所(子ども食堂など)」24.0%となっています。

■ あれば利用したいと思う ■ 今後も利用したいと思わない ■ 今後利用したいかどうか分からない ■ 無回答



施設の種類	サンプル数	思えば利用したいと	思今後も利用したいと	う今後利用したいかどうか	無回答
① (自分や友人の家以外で) 平日の夜や休日を過ごすことができる場所 (学童クラブ、児童館、子ども文化会館など)	172	26	57	83	6
② (自分や友人の家以外で) 夕ごはんを無料が安く食べることができる場所 (子ども食堂など)	204	49	82	61	12
③ 勉強を無料でみてくれる場所	217	40	96	71	10
④ (家や学校以外で) 何でも相談できる場所 (電話やネットの相談を含む。)	222	76	72	62	12

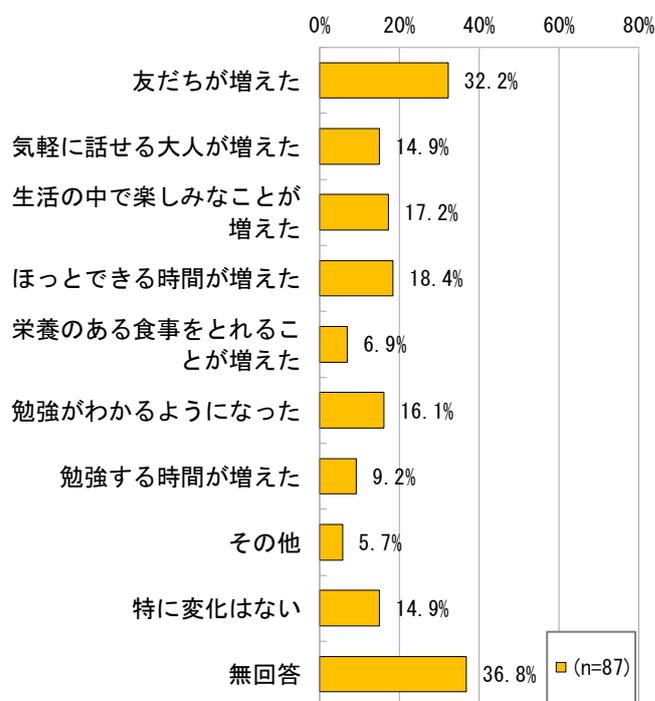
小数点第2位を四捨五入しているため、合計は100%と一致しない場合があります

上段: 回答者数  
下段: 構成比

■ 上位1項目

問18 前の質問で、1つでも「1 利用したことがある」と答えた方にお聞きします。  
 そこを利用したことで、どのような変化がありましたか。  
 (あてはまるものをすべて教えてください。)

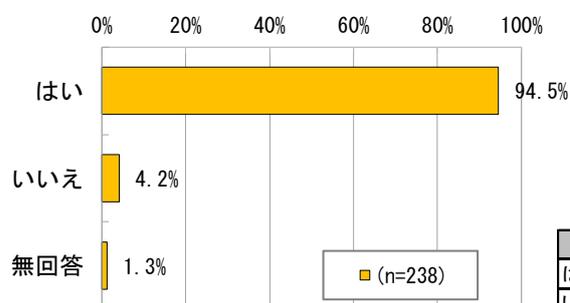
各施設等の利用後の変化については、「友だちが増えた」32.2%が最も高く、次いで「ほっとできる時間が増えた」18.4%、「生活の中で楽しみなことが増えた」17.2%となっている。



項目	回答数	構成比
友だちが増えた	28	32.2%
気軽に話せる大人が増えた	13	14.9%
生活の中で楽しみなことが増えた	15	17.2%
ほっとできる時間が増えた	16	18.4%
栄養のある食事をとれることが増えた	6	6.9%
勉強がわかるようになった	14	16.1%
勉強する時間が増えた	8	9.2%
その他	5	5.7%
特に変化はない	13	14.9%
無回答	32	36.8%
サンプル数	87	-

問19 あなたにとって、家(普段寝起きをしている場所)は「ここに居たい」と感じる場所ですか？

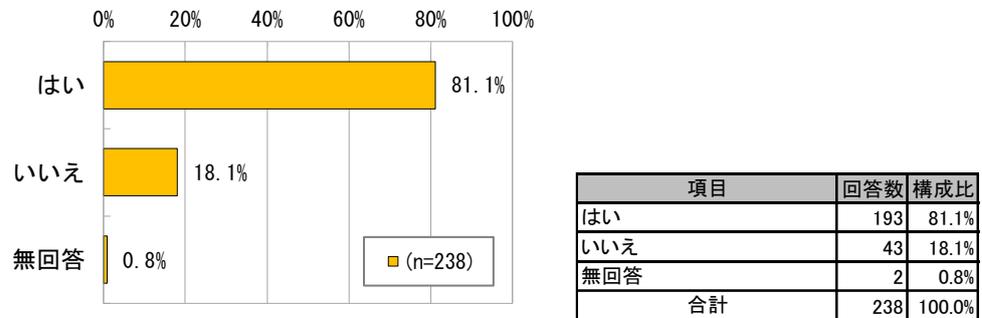
家(普段寝起きをしている場所)は「ここに居たい」と感じる場所かどうかについては、「はい」94.5%、「いいえ」4.2%となっている。



項目	回答数	構成比
はい	225	94.5%
いいえ	10	4.2%
無回答	3	1.3%
合計	238	100.0%

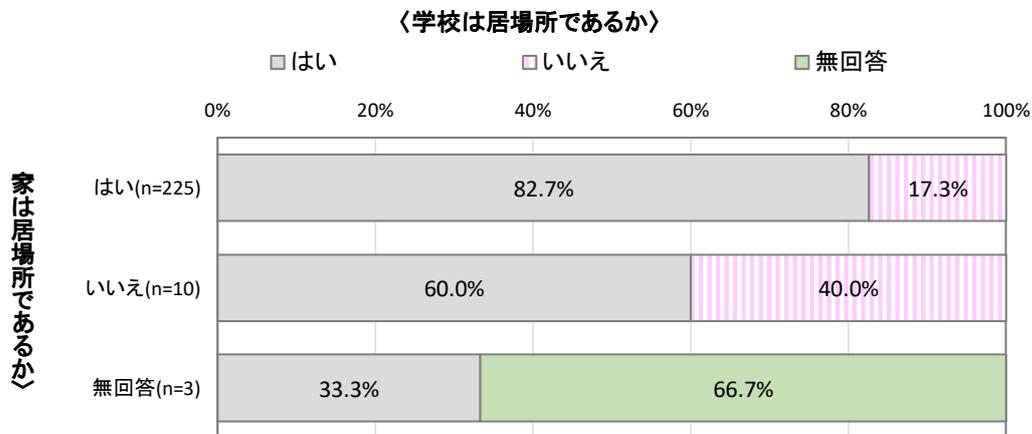
問20 あなたにとって、学校(授業や部活、クラブ活動)は「ここに居たい」と感じる居場所ですか？

学校(授業や部活、クラブ活動)は「ここに居たい」と感じる居場所かどうかについては、「はい」81.1%、「いいえ」18.1%となっている。



● (参考) : 【問 19】家は居場所であるか×【問 20】学校は居場所であるか

家は「ここに居たい」と感じる場所ではないと回答した方に、学校は「ここに居たい」と感じる場所であるかをたずねたところ、「はい」と回答した割合は60.0%となっている。

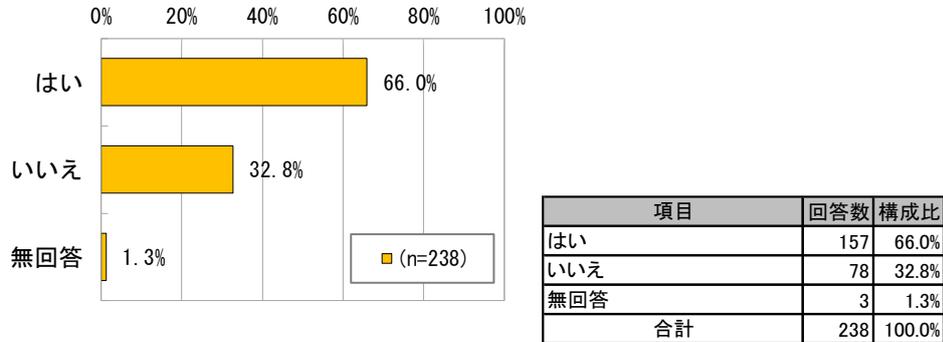


	サンプル数	はい	いいえ	無回答
		回答者数	構成比	回答者数
全体	238	193 81.1%	43 18.1%	2 0.8%
家は居場所であるか	はい	225 100.0%	186 82.7%	39 17.3%
	いいえ	10 100.0%	6 60.0%	4 40.0%
	無回答	3 100.0%	1 33.3%	2 66.7%

小数点第2位を四捨五入しているため、合計は100%と一致しない場合がある  
 上段: 回答者数  
 下段: 構成比  
 ■ 上位1項目

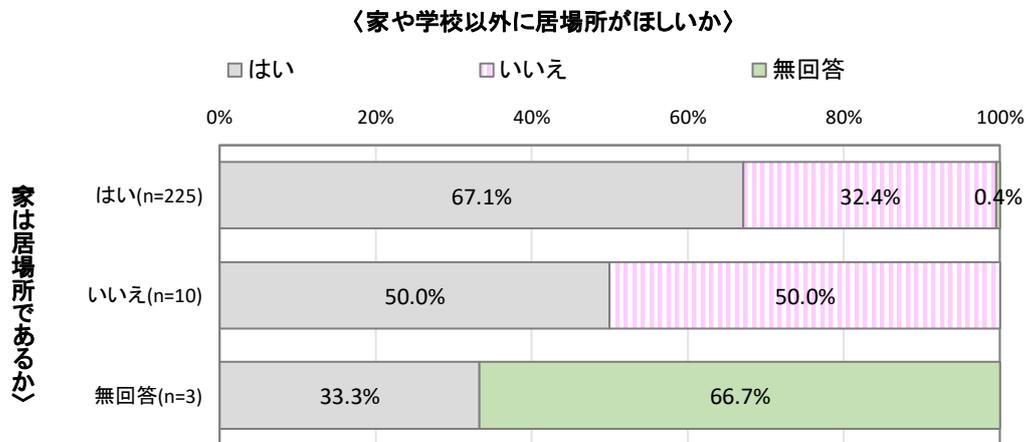
問21 あなたは、家(普段寝起きをしている場所)や学校(授業や部活、クラブ活動)以外に、「ここに居たい」と感じる居場所がほしいですか。(あてはまるものを1つえらんでください。)  
【例:友達の家、習い事、公園、図書館、お店、オンライン空間など】

家(普段寝起きをしている場所)や学校(授業や部活、クラブ活動)以外に、「ここに居たい」と感じる居場所がほしいかどうかについては、「はい」66.0%、「いいえ」32.8%となっている。



● (参考) : 【問 19】家は居場所であるか×【問 21】家や学校以外に居場所がほしいか

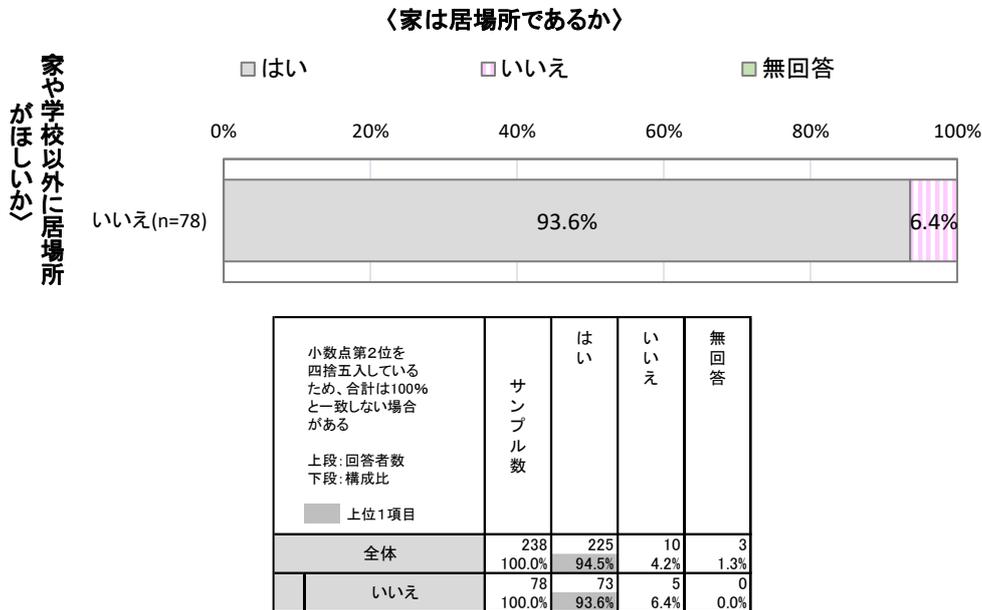
家は「ここに居たい」と感じる場所ではないと回答した方に、家や学校以外に「ここに居たい」と感じる居場所がほしいかをたずねたところ、「はい」と回答した割合は50.0%となっている。



小数点第2位を四捨五入しているため、合計は100%と一致しない場合がある 上段: 回答者数 下段: 構成比 ■ 上位1項目	サンプル数	はい	いいえ	無回答
		回答者数	構成比	回答者数
全体	238	157	78	3
	100.0%	66.0%	32.8%	1.3%
はい	225	151	73	1
	100.0%	67.1%	32.4%	0.4%
いいえ	10	5	5	0
	100.0%	50.0%	50.0%	0.0%
無回答	3	1	0	2
	100.0%	33.3%	0.0%	66.7%

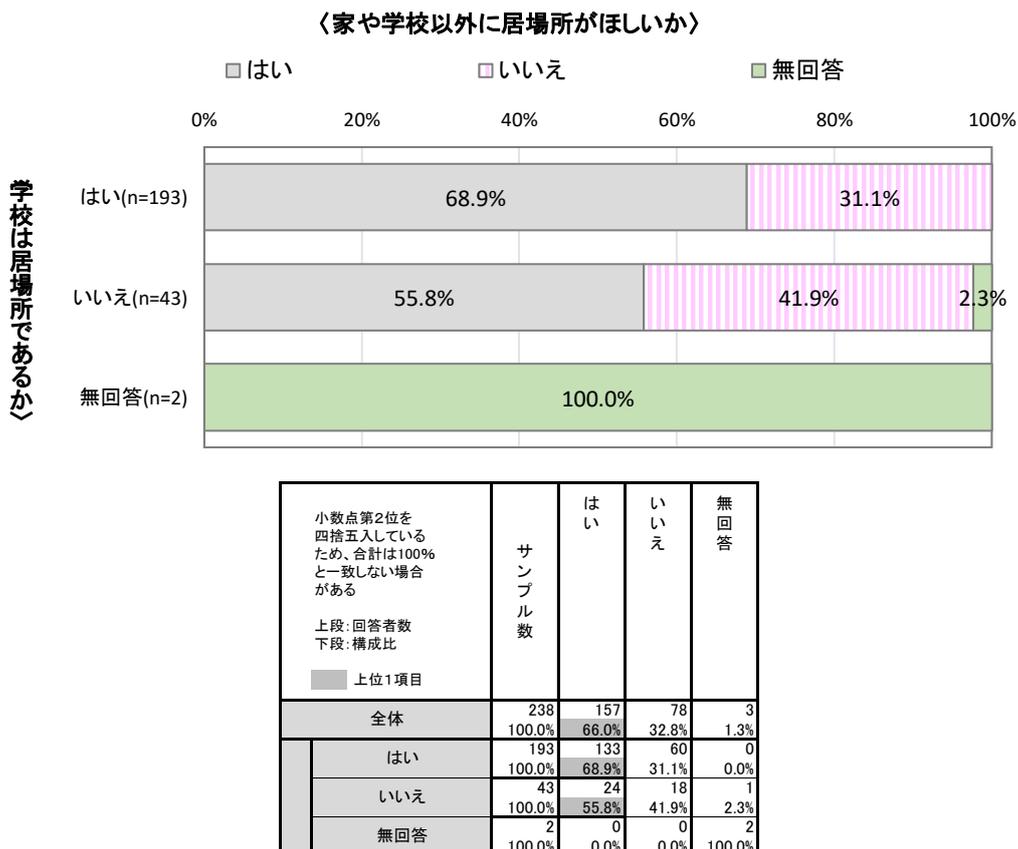
● (参考) : 【問 21】 家や学校以外に居場所がほしいか× 【問 19】 家は居場所であるか

家や学校以外に「ここに居たい」と感じる居場所がほしくないと感じた方に、家は「ここに居たい」と感じる居場所であるかをたずねたところ、「はい」と回答した割合は 93.6%となっている。



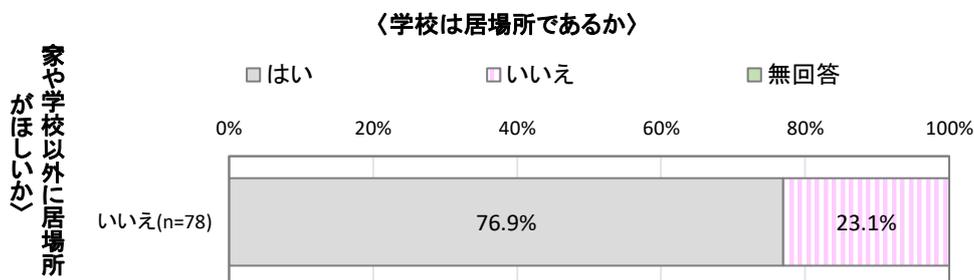
● (参考) : 【問 20】 学校は居場所であるか× 【問 21】 家や学校以外に居場所がほしいか

学校は「ここに居たい」と感じる場所ではないと感じた方に、家や学校以外に「ここに居たい」と感じる居場所がほしいかをたずねたところ、「はい」と回答した割合は 55.8%となっている。



● (参考) : 【問 21】 家や学校以外に居場所がほしいか × 【問 20】 学校は居場所であるか

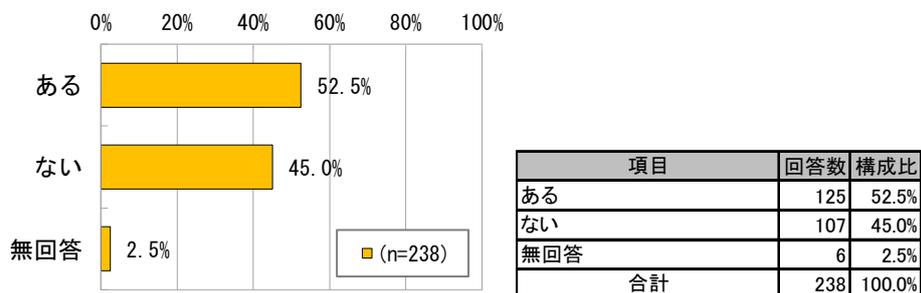
家や学校以外に「ここに居たい」と感じる居場所がほしくないと感じた方に、学校は「ここに居たい」と感じる居場所であるかをたずねたところ、「はい」と回答した割合は76.9%となっている。



小数点第2位を四捨五入しているため、合計は100%と一致しない場合がある 上段: 回答者数 下段: 構成比 ■ 上位1項目	サンプル数	はい	いいえ	無回答
		回答者数	構成比	回答者数
全体	238	193	43	2
	100.0%	81.1%	18.1%	0.8%
いいえ	78	60	18	0
	100.0%	76.9%	23.1%	0.0%

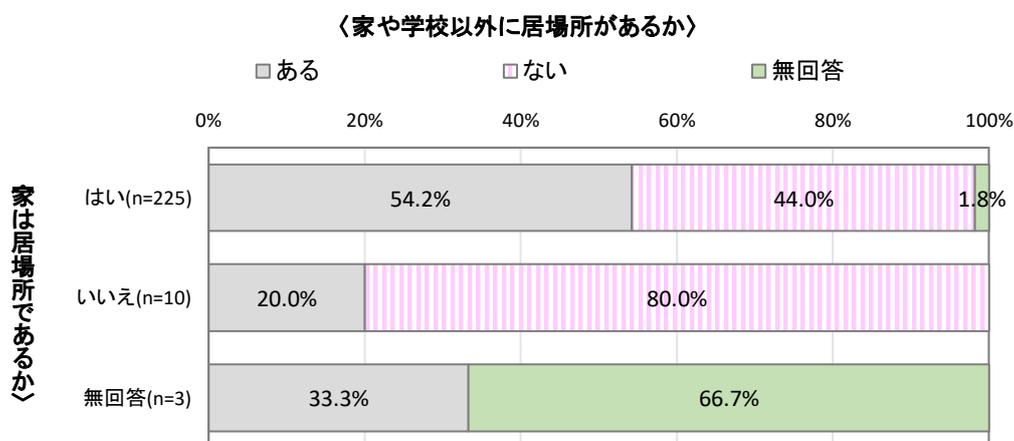
問22 あなたは、家(普段寝起きをしている場所)や学校(授業や部活、クラブ活動)以外に、「ここに居たい」と感じる居場所がありますか。(あてはまるものを1つえらんでください。)

家(普段寝起きをしている場所)や学校(授業や部活、クラブ活動)以外に、「ここに居たい」と感じる居場所があるかどうかについては、「ある」52.5%、「ない」45.0%となっている。



● (参考) : 【問 19】 家は居場所であるか× 【問 22】 家や学校以外に居場所があるか

家は「ここに居たい」と感じる場所ではないと回答した方に、家や学校以外に居場所があるかをたずねたところ、「はい」と回答した割合は 20.0%となっている。



小数点第2位を四捨五入しているため、合計は100%と一致しない場合がある 上段: 回答者数 下段: 構成比 ■ 上位1項目	サンプル数	ある	ない	無回答
		回答者数	構成比	回答者数
全体	238	125	107	6
	100.0%	52.5%	45.0%	2.5%
はい	225	122	99	4
	100.0%	54.2%	44.0%	1.8%
いいえ	10	2	8	0
	100.0%	20.0%	80.0%	0.0%
無回答	3	1	0	2
	100.0%	33.3%	0.0%	66.7%

● (参考) : 【問 19】 家は居場所であるか× 【問 20】 学校は居場所であるか× 【問 22】 家や学校以外に居場所があるか

サンプル数が少ないことに留意する必要があるが、家や学校に「ここに居たい」と感じる居場所がないと回答した方に、家や学校以外に居場所があるかをたずねたところ、「ない」と回答した割合は 100.0%となっている。

		ある(はい)	ない(いいえ)
問19	家に居場所	●	●
問20	学校に居場所	●	●
	=第3の居場所		

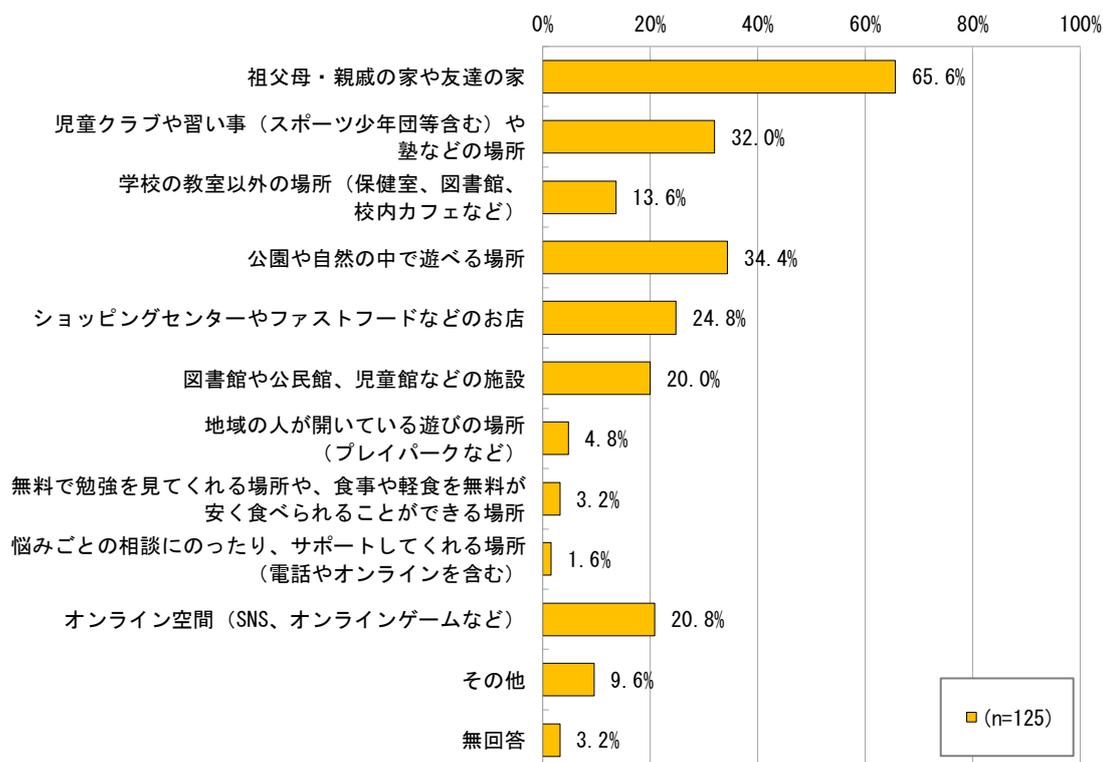
上記対象者×問22【家や学校以外に居場所があるか】

※対象者数:4人		回答数	%
複数回答	ある	0	0.0%
	ない	4	100.0%
	無回答	0	0.0%
	合計	4	100.0%

**問23 問22で「1 ある」と答えた方にお聞きします。**

そこは、どのような場所ですか。(あてはまるものをすべて教えてください。)

家（普段寝起きする場所）や学校（授業や部活、クラブ活動）以外の居場所については、「祖父母・親戚の家や友達の家」65.6%が最も高く、次いで「公園や自然の中で遊べる場所」34.4%、「児童クラブや習い事（スポーツ少年団等含む）や塾などの場所」32.0%となっている。



項目	回答数	構成比
祖父母・親戚の家や友達の家	82	65.6%
児童クラブや習い事(スポーツ少年団等含む)や塾などの場所	40	32.0%
学校の教室以外の場所(保健室、図書館、校内カフェなど)	17	13.6%
公園や自然の中で遊べる場所	43	34.4%
ショッピングセンターやファストフードなお店	31	24.8%
図書館や公民館、児童館などの施設	25	20.0%
地域の人が開いている遊びの場所(プレイパークなど)	6	4.8%
無料で勉強を見てくれる場所や、食事や軽食を無料が安く食べられることができる場所	4	3.2%
悩みごとの相談にのったり、サポートしてくれる場所(電話やオンラインを含む)	2	1.6%
オンライン空間(SNS、オンラインゲームなど)	26	20.8%
その他	12	9.6%
無回答	4	3.2%
サンプル数	125	-

**【その他の回答】**

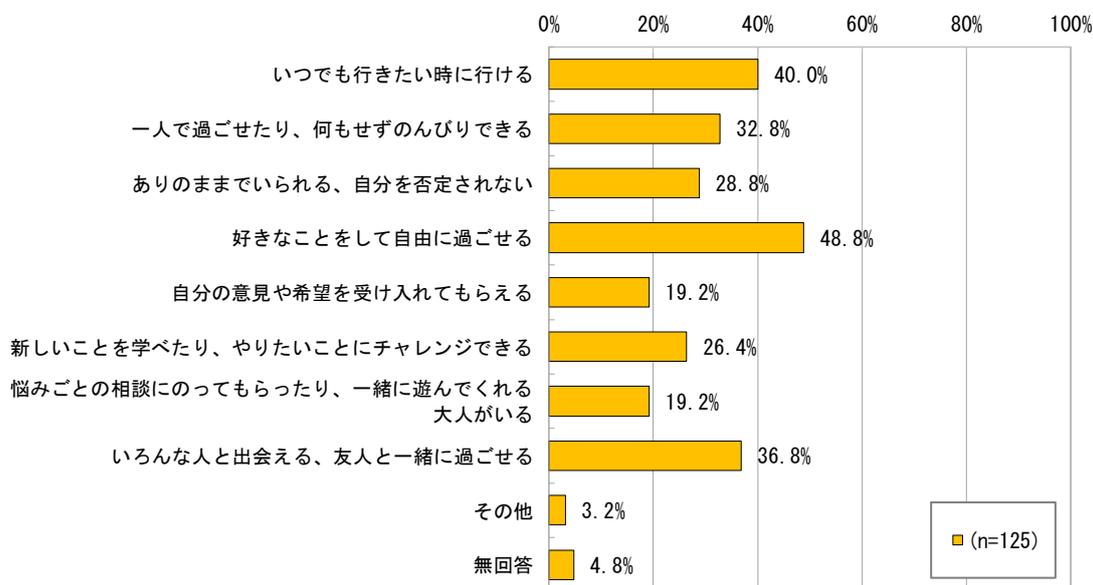
- ・ 家
- ・ 学童
- ・ 自分の家
- ・ 旅行先のホテル
- など

問24 問22で「1 ある」と答えた方にお聞きします。

問22でえらんだ場所は、あなたにとって、どのような場所ですか。

(あてはまるものをすべてえらんでください。)

選択した居場所がどのような場所であるかについては、「好きなことをして自由に過ごせる」48.8%が最も高く、次いで「いつでも行きたい時に行ける」40.0%、「いろいろな人と出会える、友人と一緒に過ごせる」36.8%となっている。



項目	回答数	構成比
いつでも行きたい時に行ける	50	40.0%
一人で過ごせたり、何もせずのんびりできる	41	32.8%
ありのままでいられる、自分を否定されない	36	28.8%
好きなことをして自由に過ごせる	61	48.8%
自分の意見や希望を受け入れてもらえる	24	19.2%
新しいことを学べたり、やりたいことにチャレンジできる	33	26.4%
悩みごとの相談にのってもらったり、一緒に遊んでくれる大人がいる	24	19.2%
いろいろな人と出会える、友人と一緒に過ごせる	46	36.8%
その他	4	3.2%
無回答	6	4.8%
サンプル数	125	-

【その他の回答】

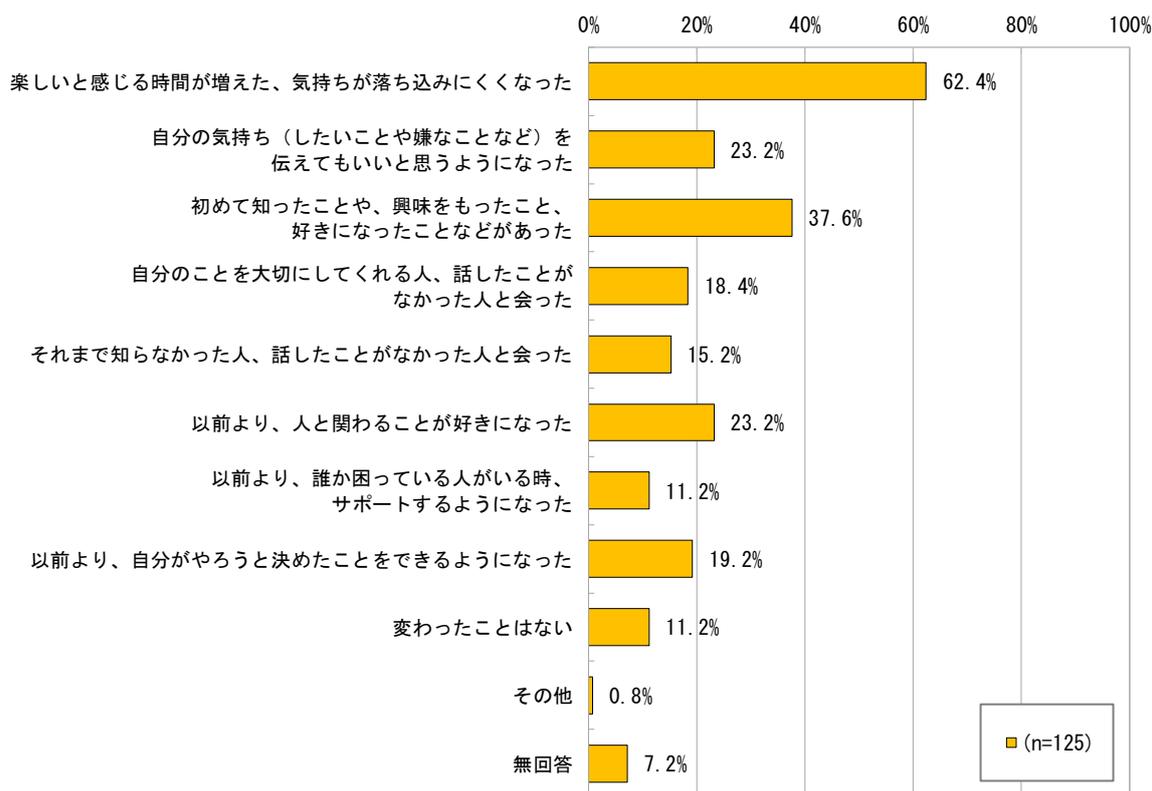
- ・好きなことに没頭できる 自由気ままに過ごせる
- ・人を気にしないで過ごせる など

問25 問22で「1 ある」と答えた方にお聞きします。

問21でえらんだ場所に行くようになって、変わったことがありますか。

(あてはまるものをすべてえらんでください。)

選択した居場所に行くようになっての変化については、「楽しいと感じる時間が増えた、気持ちが落ち込みにくくなった」62.4%が最も高く、次いで「初めて知ったことや、興味をもったこと、好きになったことなどがあった」37.6%、「自分の気持ち（したいことや嫌なことなど）を伝えてもいいと思うようになった」、「以前より、人と関わるのが好きになった」がいずれも23.2%となっている。



項目	回答数	構成比
楽しいと感じる時間が増えた、気持ちが落ち込みにくくなった	78	62.4%
自分の気持ち（したいことや嫌なことなど）を伝えてもいいと思うようになった	29	23.2%
初めて知ったことや、興味をもったこと、好きになったことなどがあった	47	37.6%
自分のことを大切にしてくれる人、話したことがなかった人と会った	23	18.4%
それまで知らなかった人、話したことがなかった人と会った	19	15.2%
以前より、人と関わるのが好きになった	29	23.2%
以前より、誰か困っている人がいる時、サポートするようになった	14	11.2%
以前より、自分がやろうと決めたことをできるようになった	24	19.2%
変わったことはない	14	11.2%
その他	1	0.8%
無回答	9	7.2%
サンプル数	125	-

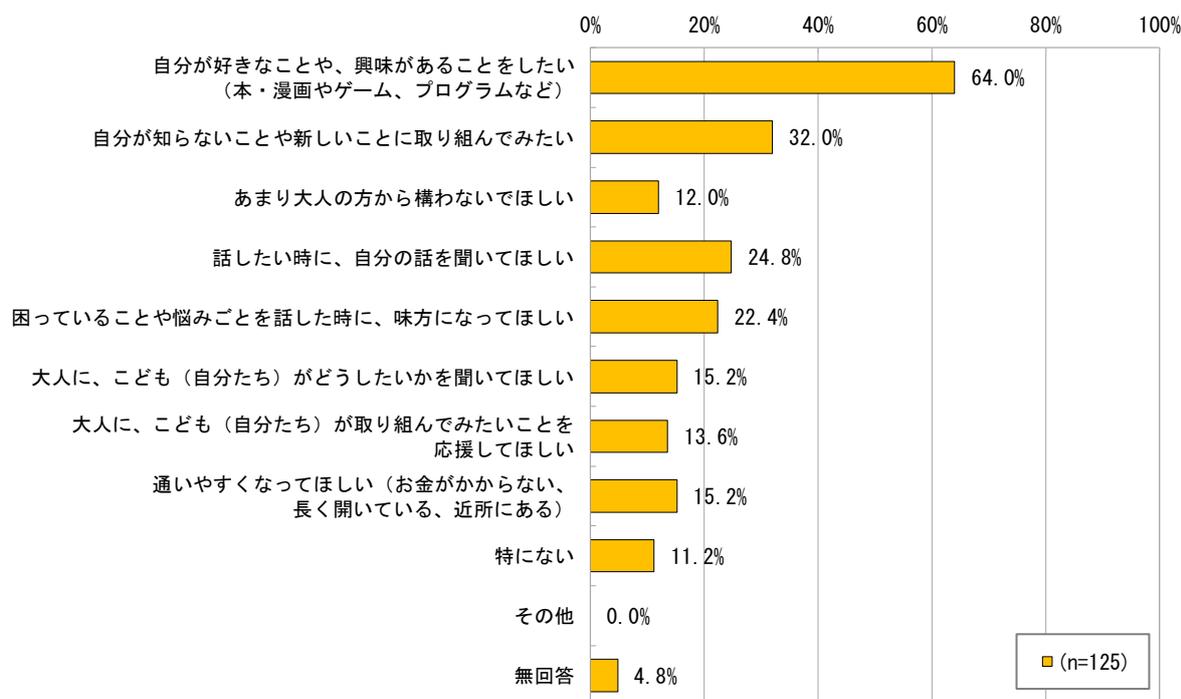
【その他の回答】

- ・ 苦手だった物が好きになった など

問26 問22で「1 ある」と答えた方にお聞きします。

あなたが、居場所でやってみたいことや、もっとこうだったらいいのと思うことはありますか。(あてはまるものをすべてえらんでください。)

居場所でやってみたいことや希望については、「自分が好きなことや、興味があることをしたい(本・漫画やゲーム、プログラムなど)」64.0%が最も高く、次いで「自分が知らないことや新しいことに取り組んでみたい」32.0%、「話したい時に、自分の話を聞いてほしい」24.8%となっている。



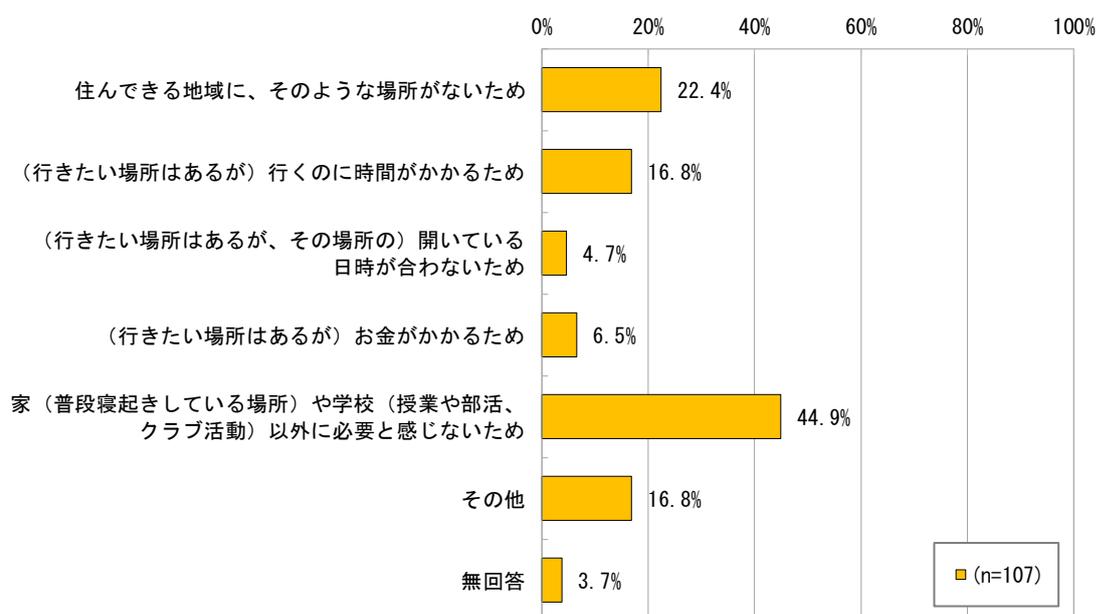
項目	回答数	構成比
自分が好きなことや、興味があることをしたい(本・漫画やゲーム、プログラムなど)	80	64.0%
自分が知らないことや新しいことに取り組んでみたい	40	32.0%
あまり大人の方から構わないでほしい	15	12.0%
話したい時に、自分の話を聞いてほしい	31	24.8%
困っていることや悩みごとを話した時に、味方になってほしい	28	22.4%
大人に、子ども(自分たち)がどうしたいかを聞いてほしい	19	15.2%
大人に、子ども(自分たち)が取り組んでみたいことを応援してほしい	17	13.6%
通いやすくなってほしい(お金がかからない、長く開いている、近所にある)	19	15.2%
特にない	14	11.2%
その他	0	0.0%
無回答	6	4.8%
サンプル数	125	-

問27 問22で「2 ない」と答えた方にお聞きします。

家(普段寝起きをしている場所)や学校(授業や部活、クラブ活動)以外に、「ここに居たい」と感じる場所がない理由は、なぜですか。

(あてはまるものをすべてえらんでください。)

家(普段寝起きをしている場所)や学校(授業や部活、クラブ活動)以外に、「ここに居たい」と感じる場所がない理由については、「家(普段寝起きをしている場所)や学校(授業や部活、クラブ活動)以外に必要と感じないため」44.9%が最も高く、次いで「住んでいる地域に、そのような場所がないため」22.4%、「(行きたい場所はあるが)行くのに時間がかかるため」16.8%、「(行きたい場所はあるが、その場所の)開いている日時が合わないため」4.7%、「(行きたい場所はあるが)お金がかかるため」6.5%、「その他」16.8%となっている。



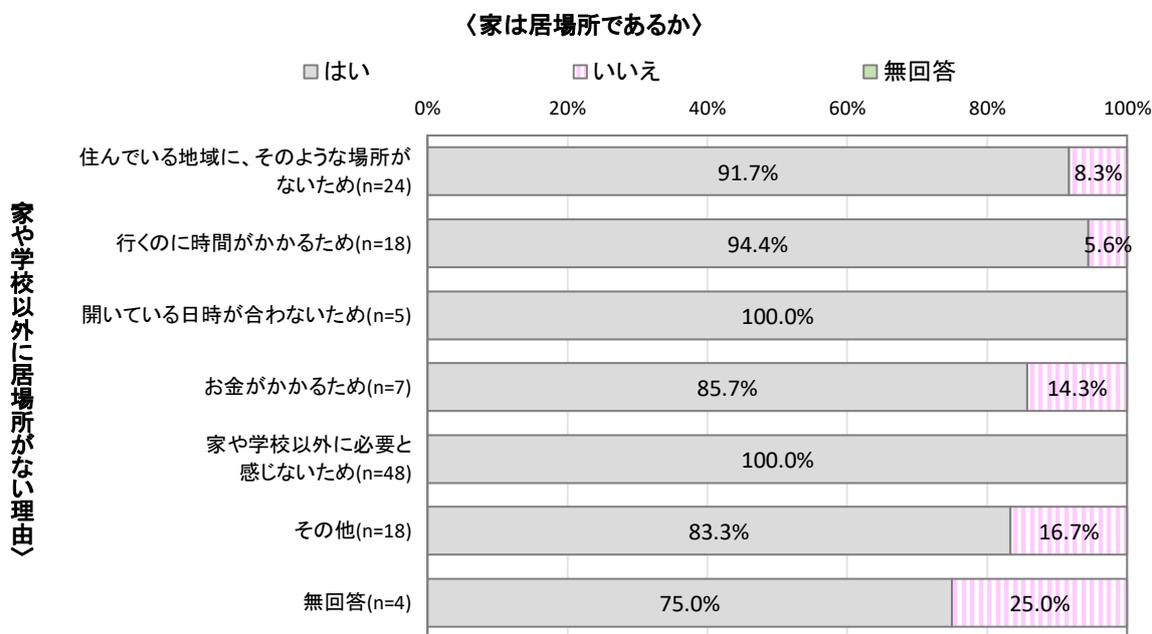
項目	回答数	構成比
住んでいる地域に、そのような場所がないため	24	22.4%
(行きたい場所はあるが)行くのに時間がかかるため	18	16.8%
(行きたい場所はあるが、その場所の)開いている日時が合わないため	5	4.7%
(行きたい場所はあるが)お金がかかるため	7	6.5%
家(普段寝起きしている場所)や学校(授業や部活、クラブ活動)以外に必要と感じないため	48	44.9%
その他	18	16.8%
無回答	4	3.7%
サンプル数	107	-

【その他の回答】

- ・ そのようなところより家が一番好きだから
- ・ 寝るところがないから
- ・ なじみのある人がいないから
- ・ 言いづらい
- ・ 行きたくないから
- ・ 怖い、事故らないか、事件に巻き込まれないか心配
- ・ 安心できない
- ・ 面倒くさいから
- ・ ママに怒られるから
- ・ なんか怖い、分からないから
- など

● (参考)：【問 27】家や学校以外に居場所がない理由×【問 19】家は居場所であるか

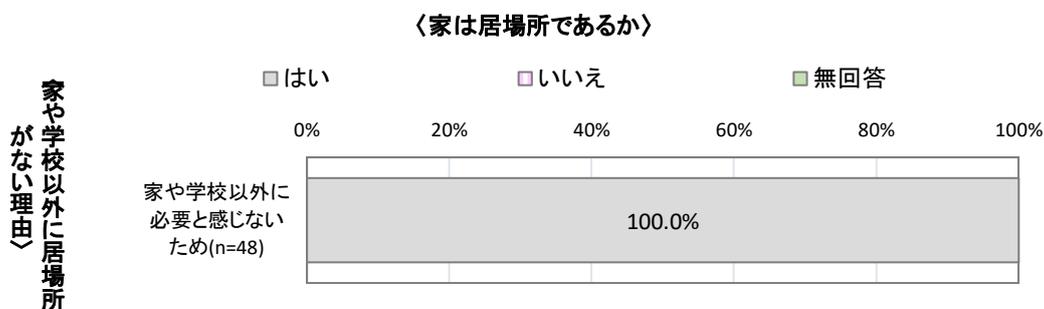
家や学校以外に「ここに居たい」と感じる居場所がない理由について、「家（普段寝起きしている場所）や学校（授業や部活、クラブ活動）以外に必要と感じないため」と回答した方に、家は居場所であるかをたずねたところ、「はい」と回答した割合は 100.0%となっている。



	サンプル数	はい	いいえ	無回答
小数点第2位を四捨五入しているため、合計は100%と一致しない場合がある  上段：回答者数 下段：構成比  <span style="display: inline-block; width: 15px; height: 10px; background-color: gray; border: 1px solid black;"></span> 上位1項目				
<b>全体</b>	238	225	10	3
	100.0%	94.5%	4.2%	1.3%
住んでいる地域に、そのような場所がないため	24	22	2	0
	100.0%	91.7%	8.3%	0.0%
行くのに時間がかかるため	18	17	1	0
	100.0%	94.4%	5.6%	0.0%
開いている日時が合わないため	5	5	0	0
	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%
お金がかかるため	7	6	1	0
	100.0%	85.7%	14.3%	0.0%
家や学校以外に必要と感じないため	48	48	0	0
	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%
その他	18	15	3	0
	100.0%	83.3%	16.7%	0.0%
無回答	4	3	1	0
	100.0%	75.0%	25.0%	0.0%

- (参考) : 【問 27】 家や学校以外に居場所がない理由⇒「家や学校以外に必要と感じないため」と回答した方×【問 19】 家は居場所であるか

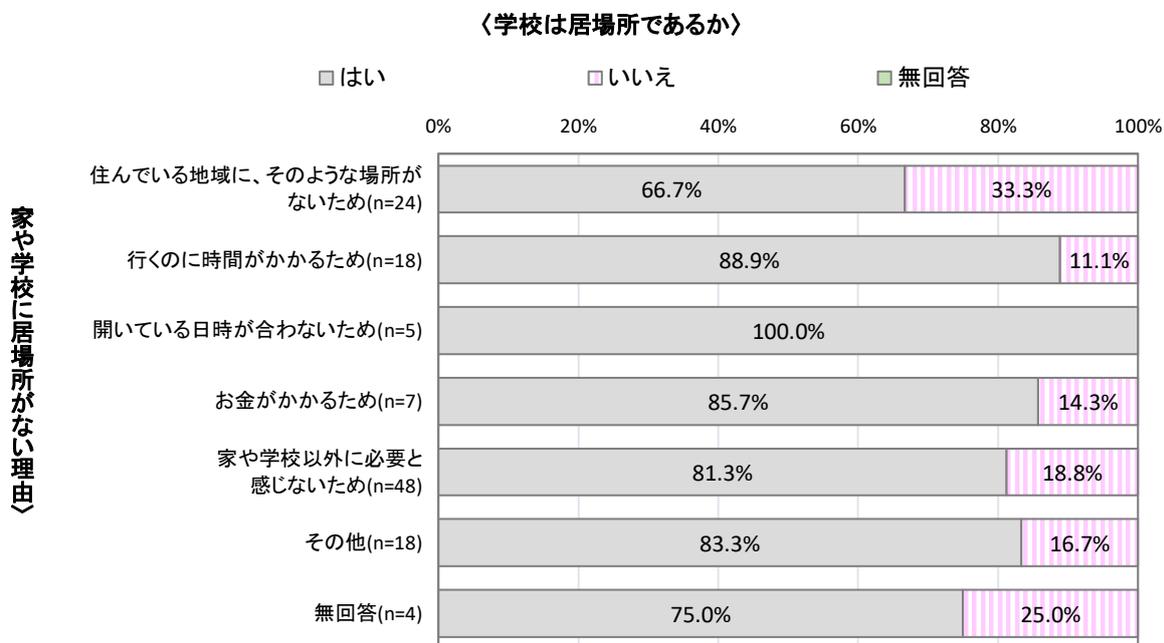
家や学校以外に「ここに居たい」と感じる居場所がない理由について、「家（普段寝起きしている場所）や学校（授業や部活、クラブ活動）以外に必要と感じないため」と回答した方に、家は居場所であるかをたずねたところ、「はい」と回答した割合は 100.0%となっている。



小数点第2位を四捨五入しているため、合計は100%と一致しない場合がある 上段: 回答者数 下段: 構成比 ■ 上位1項目	サンプル数	はい	いいえ	無回答
全体	238	225	10	3
	100.0%	94.5%	4.2%	1.3%
家や学校以外に必要と感じないため	48	48	0	0
	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%

● (参考) : 【問 27】 家や学校以外に居場所がない理由 × 【問 20】 学校は居場所であるか

家や学校以外に「ここに居たい」と感じる居場所がない理由について、「家（普段寝起きしている場所）や学校（授業や部活、クラブ活動）以外に必要と感じないため」と回答した方に、学校は居場所であるかをたずねたところ、「はい」と回答した割合は 81.3% となっている。

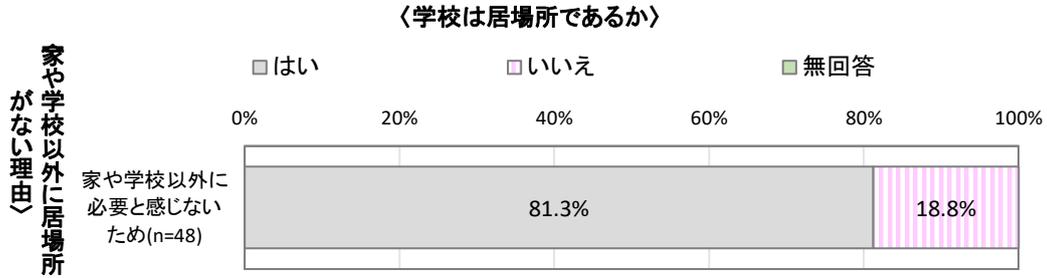


理由	サンプル数	はい	いいえ	無回答
		人数	人数	人数
全体	238	193	43	2
住んでいる地域に、そのような場所がないため	24	16	8	0
行くのに時間がかかるため	18	16	2	0
開いている日時が合わないため	5	5	0	0
お金がかかるため	7	6	1	0
家や学校以外に必要と感じないため	48	39	9	0
その他	18	15	3	0
無回答	4	3	1	0

小数点第2位を四捨五入しているため、合計は100%と一致しない場合がある  
 上段：回答者数  
 下段：構成比  
 ■ 上位1項目

- (参考) : 【問 27】 家や学校以外に居場所がない理由⇒「家や学校以外に必要と感じないため」と回答した方×【問 20】 学校は居場所であるか

家や学校以外に「ここに居たい」と感じる居場所がない理由について、「家（普段寝起きしている場所）や学校（授業や部活、クラブ活動）以外に必要と感じないため」と回答した方に、学校は居場所であるかをたずねたところ、「はい」と回答した割合は 81.3%となっている。



家や学校以外に居場所がない理由

小数点第2位を四捨五入しているため、合計は100%と一致しない場合がある 上段: 回答者数 下段: 構成比 ■ 上位1項目	サンプル数	はい	いいえ	無回答
		割合	割合	割合
全体	238	193 81.1%	43 18.1%	2 0.8%
家や学校以外に必要と感じないため	48	39 81.3%	9 18.8%	0 0.0%

- (参考) : 【問 27】 家や学校以外に居場所がない理由 × 【問 19】 家は居場所であるか ×  
【問 20】 学校は居場所であるか

家に居場所がなく、家や学校以外に居場所を必要と感じないと回答した方に、学校は居場所であるかをたずねたところ、対象者がいなかった。

		ある(はい)	ない(いいえ)
問19	家に居場所		●
問22	家や学校以外に居場所		●
問27	理由:家や学校以外に必要と感じない =学校に居場所があるか	●	

【問19→2いいえ、問22→いいえ 回答者】 × 問27【居場所がない理由】

※対象者数:8人		回答数	%
複数回答	住んでいる地域に、そのような場所がないから	2	25.0%
	(行きたい場所はあるが)行くのに時間がかかるため	1	12.5%
	(行きたい場所はあるが、その場所の)開いている日時が合わないため	0	0.0%
	(行きたい場所はあるが)お金がかかるため	1	12.5%
	家(普段寝起きをしている場所)や学校(授業や部活、クラブ活動)以外に必要と感じないため	0	0.0%
	その他	3	37.5%
	無回答	1	12.5%
	サンプル数	8	-

上記対象者 × 問20

※対象者無し		回答数	%
	はい	-	-
	いいえ	-	-
	無回答	-	-
	合計	-	-

- (参考) : 【問 27】 家や学校以外に居場所がない理由 × 【問 20】 学校は居場所であるか ×  
【問 19】 家は居場所であるか ×

学校に居場所がなく、家や学校以外に居場所を必要と感じないと回答した方に、家は居場所であるかをたずねたところ、「はい」と回答した割合は 100.0%となっている。

		ある(はい)	ない(いいえ)
問20	学校に居場所		●
問22	家や学校以外に居場所		●
問27	理由: 家や学校以外に必要と感じない =家に居場所があるか	●	

【問20→2いいえ、問22→いいえ 回答者】 × 問27【居場所がない理由】

※対象者数: 22人		回答数	%
複数回答	住んでいる地域に、そのような場所がないから	8	36.4%
	(行きたい場所はあるが)行くのに時間がかかるため	2	9.1%
	(行きたい場所はあるが、その場所の)開いている日時が合わないため	0	0.0%
	(行きたい場所はあるが)お金がかかるため	1	4.5%
	家(普段寝起きをしている場所)や学校(授業や部活、クラブ活動)以外に必要と感じないため	9	40.9%
	その他	3	13.6%
	無回答	2	9.1%
	サンプル数	22	-

上記対象者 × 問19

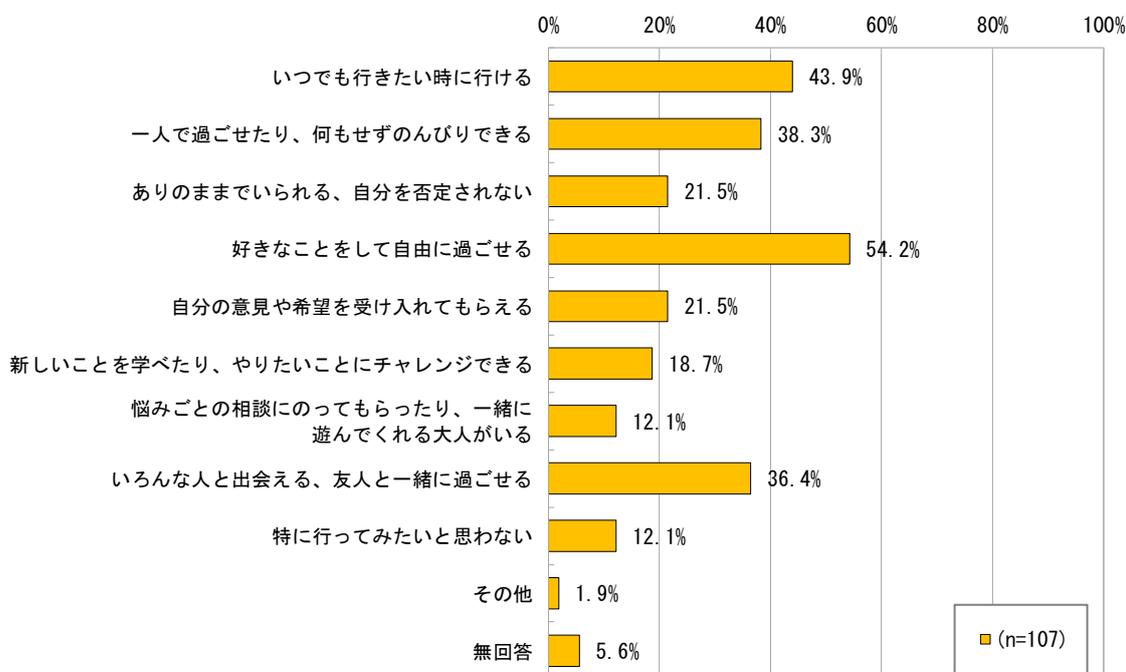
※対象者数: 9人		回答数	%
	はい	9	100.0%
	いいえ	0	0.0%
	無回答	0	0.0%
	合計	9	100.0%

問28 問22で「2 ない」と答えた方にお聞きします。

あなたは、どのような場所であれば行ってみたいと思いますか。

(あてはまるものをすべてえらんでください。)

どのような場所であれば行ってみたいかについては、「好きなことをして自由に過ごせる」54.2%が最も高く、次いで「いつでも行きたい時に行ける」43.9%、「一人で過ごせたり、何もせずのんびりできる」38.3%となっている。



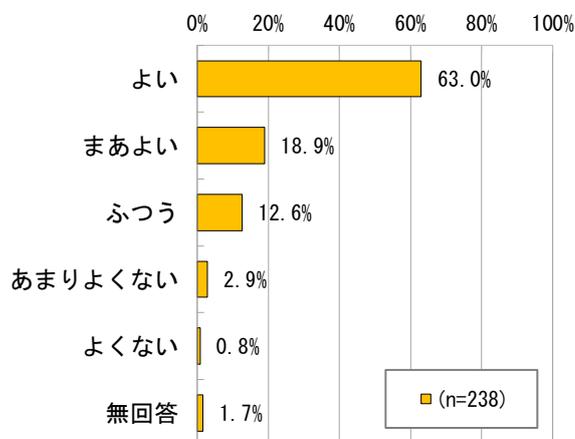
項目	回答数	構成比
いつでも行きたい時に行ける	47	43.9%
一人で過ごせたり、何もせずのんびりできる	41	38.3%
ありのままでいられる、自分を否定されない	23	21.5%
好きなことをして自由に過ごせる	58	54.2%
自分の意見や希望を受け入れてもらえる	23	21.5%
新しいことを学べたり、やりたいことにチャレンジできる	20	18.7%
悩みごとの相談にのってもらったり、一緒に遊んでくれる大人がいる	13	12.1%
いろんな人と出会える、友人と一緒に過ごせる	39	36.4%
特に行ってみたいと思わない	13	12.1%
その他	2	1.9%
無回答	6	5.6%
サンプル数	107	-

【その他の回答】

- ・無料で利用できる など

問29 あなたの健康状態について教えてください。(あてはまるものを1つえらんでください。)

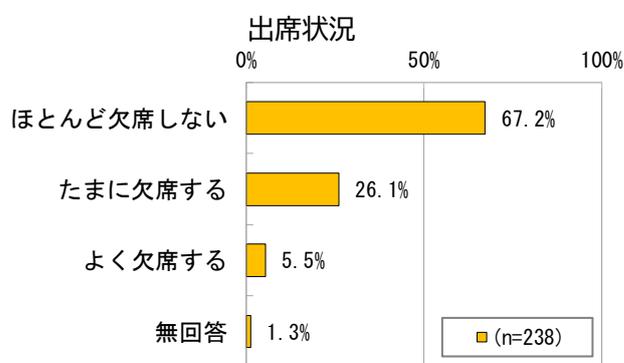
健康状態については、「よい」63.0%が最も高く、次いで「まあよい」18.9%、「ふつう」12.6%となっている。『よい』（「よい」＋「まあよい」）と回答した方の割合は全体の81.9%を占める。



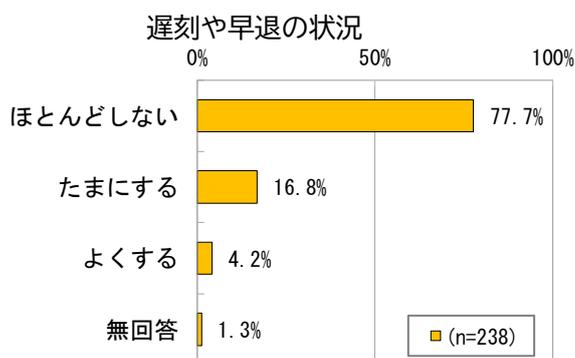
項目	回答数	構成比
よい	150	63.0%
まあよい	45	18.9%
ふつう	30	12.6%
あまりよくない	7	2.9%
よくない	2	0.8%
無回答	4	1.7%
合計	238	100.0%

問30 学校への通学状況等について教えてください。(あてはまるものを1つえらんでください。)

通学状況について、出席状況では「ほとんど欠席しない」67.2%が最も高く、次いで「たまに欠席する」26.1%となっている。遅刻や早退の状況では「ほとんどしない」77.7%が最も高く、次いで「たまにする」16.8%となっている。



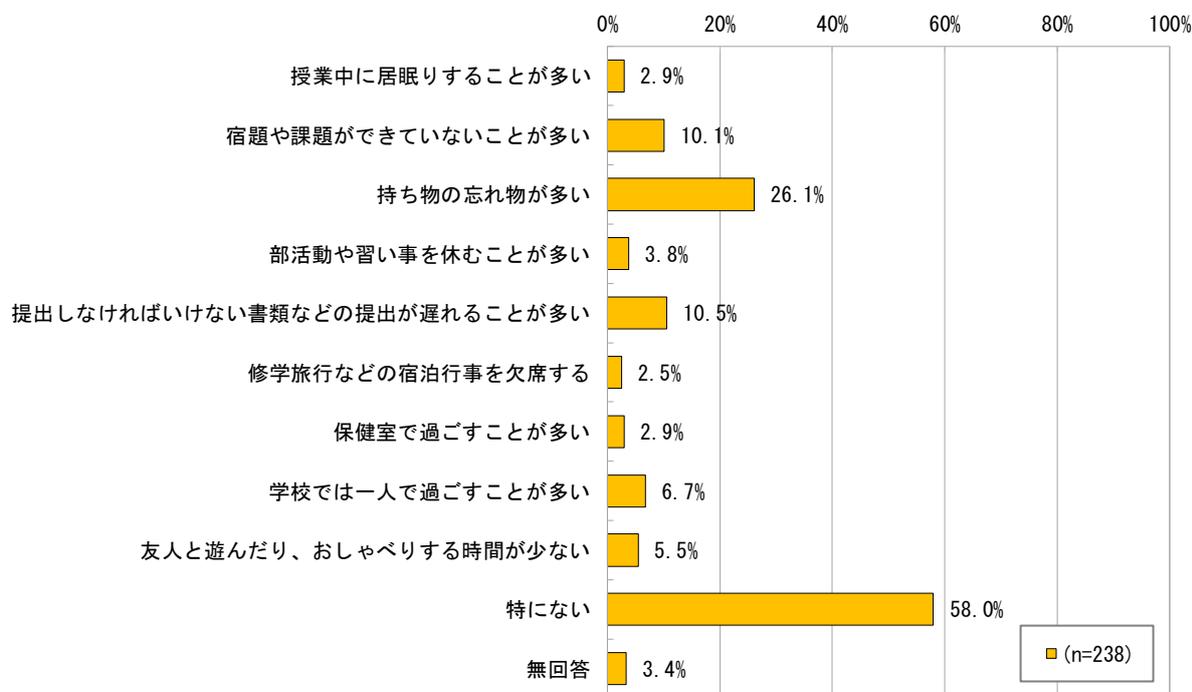
項目	回答数	構成比
ほとんど欠席しない	160	67.2%
たまに欠席する	62	26.1%
よく欠席する	13	5.5%
無回答	3	1.3%
合計	238	100.0%



項目	回答数	構成比
ほとんどしない	185	77.7%
たまにする	40	16.8%
よくする	10	4.2%
無回答	3	1.3%
合計	238	100.0%

問31 ふだんの学校生活等において、以下の中であてはまるものはありますか。  
 (あてはまるものをすべてえらんでください。)

ふだんの学校生活等において、あてはまるものがあるかについて、「特にない」58.0%が最も高く、次いで「持ち物の忘れ物が多い」26.1%、「提出しなければいけない書類などの提出が遅れることが多い」10.5%となっている。

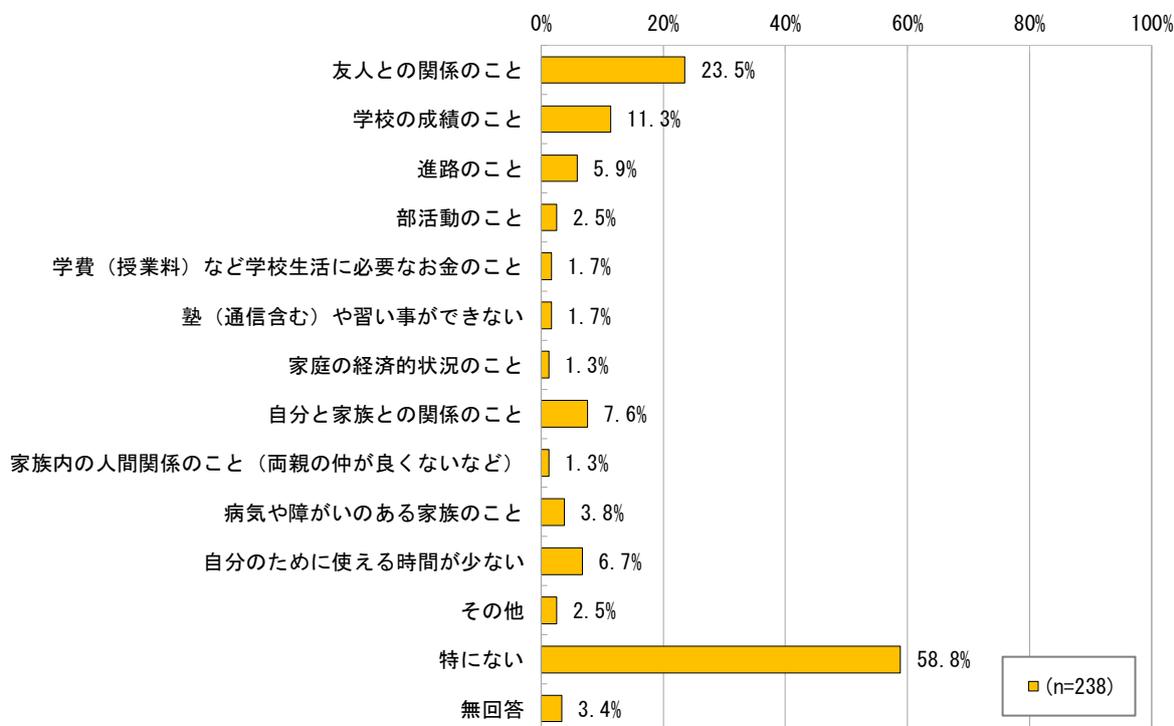


項目	回答数	構成比
授業中に居眠りすることが多い	7	2.9%
宿題や課題ができていないことが多い	24	10.1%
持ち物の忘れ物が多い	62	26.1%
部活動や習い事を休むことが多い	9	3.8%
提出しなければいけない書類などの提出が遅れることが多い	25	10.5%
修学旅行などの宿泊行事を欠席する	6	2.5%
保健室で過ごすことが多い	7	2.9%
学校では一人で過ごすことが多い	16	6.7%
友人と遊んだり、おしゃべりする時間が少ない	13	5.5%
特にない	138	58.0%
無回答	8	3.4%
サンプル数	238	-

問32 現在、悩んだり困っていることはありますか。

(あてはまるものをすべてえらんでください。)

現在、悩んだり困っていることについては、「特にない」58.8%が最も高く、次いで「友人との関係のこと」23.5%、「学校の成績のこと」11.3%となっている。



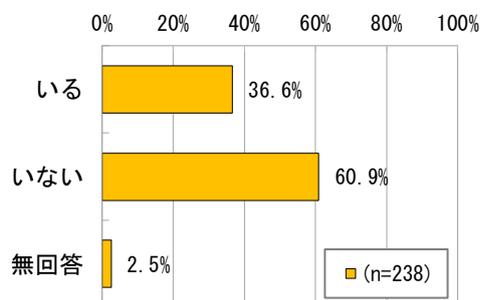
項目	回答数	構成比
友人との関係のこと	56	23.5%
学校の成績のこと	27	11.3%
進路のこと	14	5.9%
部活動のこと	6	2.5%
学費(授業料)など学校生活に必要なお金のこと	4	1.7%
塾(通信含む)や習い事ができない	4	1.7%
家庭の経済的状況のこと	3	1.3%
自分と家族との関係のこと	18	7.6%
家族内の人間関係のこと(両親の仲が良くないなど)	3	1.3%
病気や障がいのある家族のこと	9	3.8%
自分のために使える時間が少ない	16	6.7%
その他	6	2.5%
特にない	140	58.8%
無回答	8	3.4%
サンプル数	238	-

【その他の回答】

- ・ いじめ ・ 学校の班決め ・ 野球があり、土日に雨が降らないと辛くなる
- ・ 私と仲良しな2人の友達が、2人の中で性格や嫌いな所があるから仲が悪くなって私に嫌なことをぶちまけてくるからどうすればいいのか分からず悩んでいる など

**問33 家族の中にあなたがお世話をしている人はいますか。**  
 (あてはまるものを1つえらんでください。)

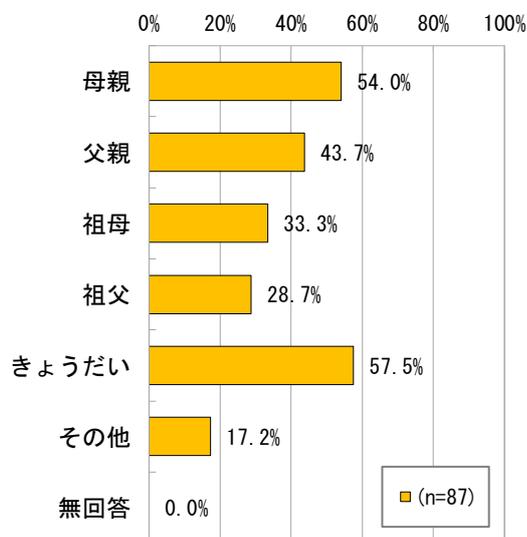
家族の中にお世話をしている人がいるかどうかについては、「いる」36.6%、「いない」60.9%となっている。



項目	回答数	構成比
いる	87	36.6%
いない	145	60.9%
無回答	6	2.5%
合計	238	100.0%

**問34 問33で「1 いる」と答えた方にお聞きします。**  
 お世話を必要としている方は誰ですか。(あてはまるものをすべてえらんでください。)

お世話を必要としている方については、「きょうだい」57.5%が最も高く、次いで「母親」54.0%、「父親」43.7%となっている。



項目	回答数	構成比
母親	47	54.0%
父親	38	43.7%
祖母	29	33.3%
祖父	25	28.7%
きょうだい	50	57.5%
その他	15	17.2%
無回答	0	0.0%
サンプル数	87	-

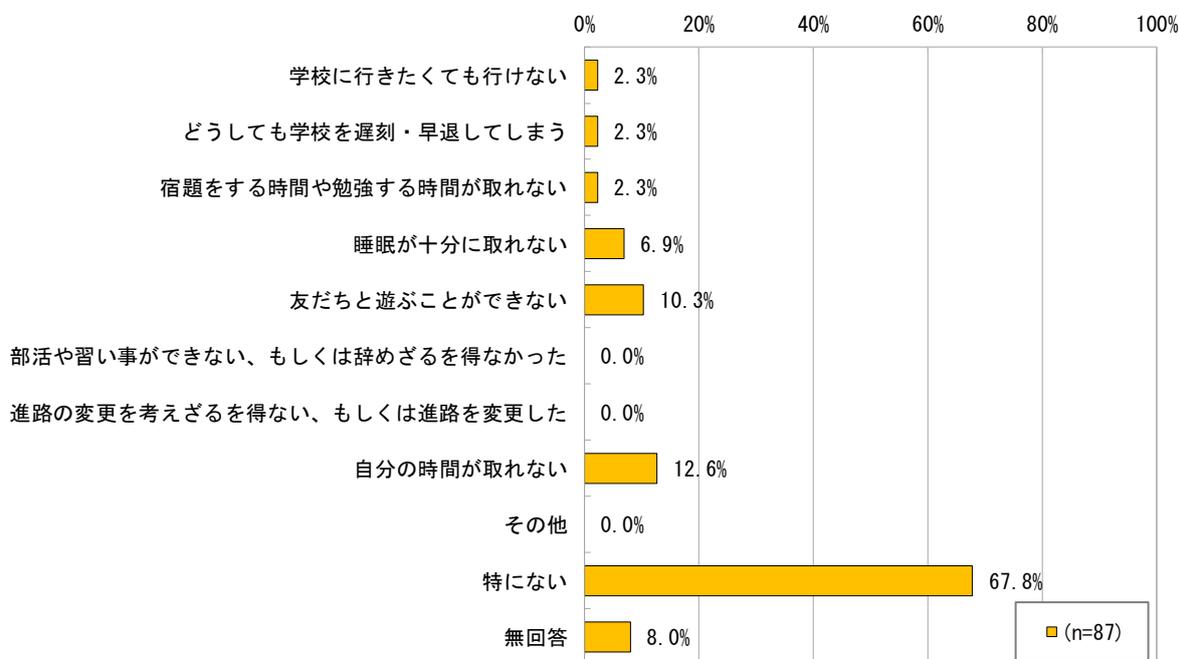
**【その他の回答】**

- ・ 親戚の子
- ・ 友達、先生
- ・ いとこ など

問35 問33で「1. いる」と答えた方にお聞きします。

お世話をしていることで、やりたいけど、できていないことはありますか。  
(あてはまるものをすべてえらんでください。)

お世話をしていることで、やりたいけどできていないことについては、「特にない」67.8%が最も高く、次いで「自分の時間が取れない」12.6%、「友だちと遊ぶことができない」10.3%となっている。

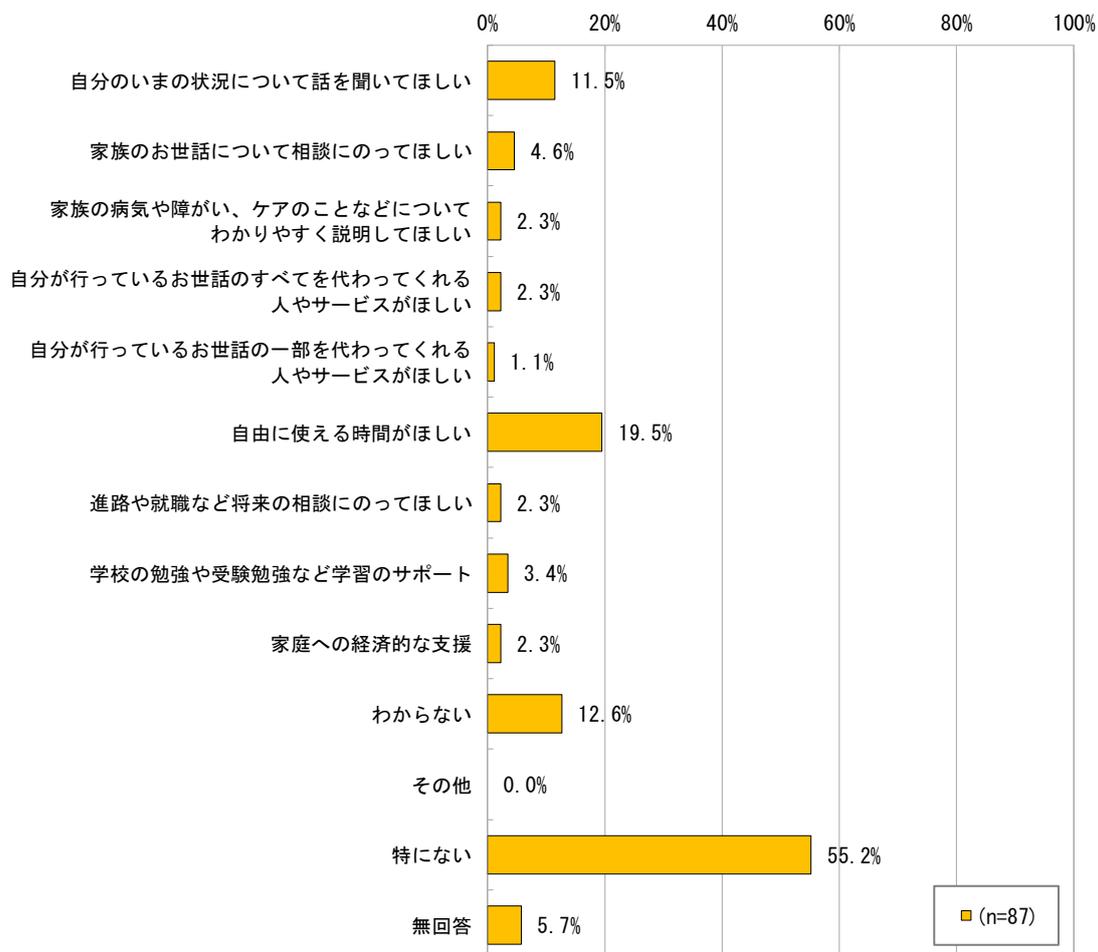


項目	回答数	構成比
学校に行きたくても行けない	2	2.3%
どうしても学校を遅刻・早退してしまう	2	2.3%
宿題をする時間や勉強する時間が取れない	2	2.3%
睡眠が十分に取れない	6	6.9%
友だちと遊ぶことができない	9	10.3%
部活や習い事ができない、もしくは辞めざるを得なかった	0	0.0%
進路の変更を考えざるを得ない、もしくは進路を変更した	0	0.0%
自分の時間が取れない	11	12.6%
その他	0	0.0%
特にない	59	67.8%
無回答	7	8.0%
サンプル数	87	-

問36 問33で「1.いる」と答えた方にお聞きします。

学校や周りの大人に助けてほしいことや、必要としている支援はありますか。  
(あてはまるものをすべてえらんでください。)

学校や周りの大人に助けてほしいことや、必要としている支援については、「特にない」55.2%が最も高く、次いで「自由に使える時間がほしい」19.5%、「わからない」12.6%となっている。

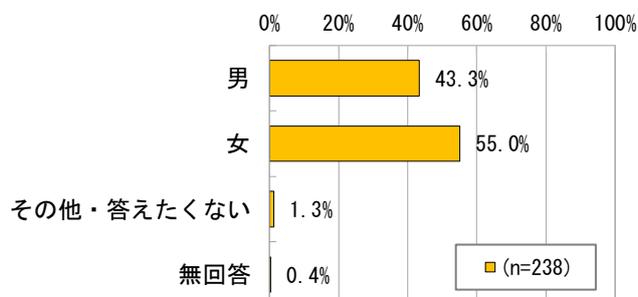


項目	回答数	構成比
自分のいまの状況について話を聞いてほしい	10	11.5%
家族のお世話について相談にのってほしい	4	4.6%
家族の病気や障がい、ケアのことなどについてわかりやすく説明してほしい	2	2.3%
自分が行っているお世話のすべてを代わってくれる人やサービスがほしい	2	2.3%
自分が行っているお世話の一部を代わってくれる人やサービスがほしい	1	1.1%
自由に使える時間がほしい	17	19.5%
進路や就職など将来の相談にのってほしい	2	2.3%
学校の勉強や受験勉強など学習のサポート	3	3.4%
家庭への経済的な支援	2	2.3%
わからない	11	12.6%
その他	0	0.0%
特にない	48	55.2%
無回答	5	5.7%
サンプル数	87	-

## V 調査結果（中学2年生）

問2 あなたの性別を教えてください。(あてはまるもの1つに○)

性別については、「男」43.3%、「女」55.0%、「その他・答えたくない」1.3%となっている。

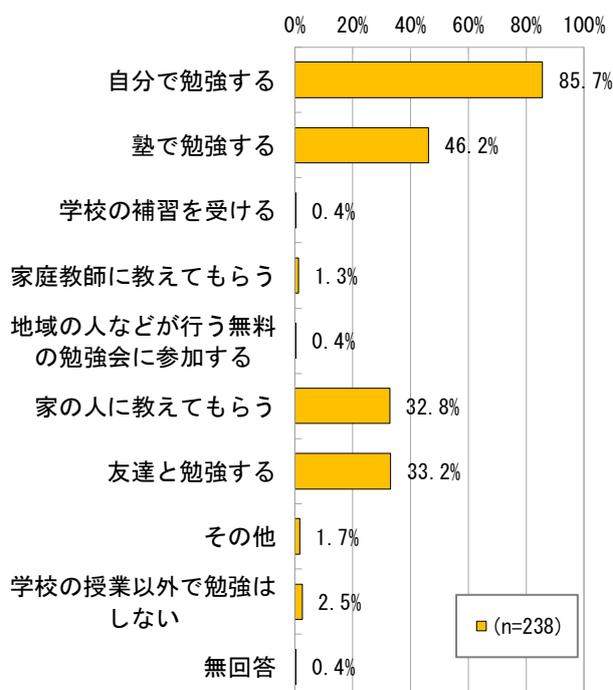


項目	回答数	構成比
男	103	43.3%
女	131	55.0%
その他・答えたくない	3	1.3%
無回答	1	0.4%
合計	238	100.0%

問3 あなたは、ふだん学校の授業以外で、どのように勉強をしていますか。

※勉強には学校の宿題もふくみます。(1~8については、あてはまるものすべてに○)

ふだんの学校の授業以外の勉強については、「自分で勉強する」85.7%が最も高く、次いで「塾で勉強する」46.2%、「友達と勉強する」33.2%となっている。



項目	回答数	構成比
自分で勉強する	204	85.7%
塾で勉強する	110	46.2%
学校の補習を受ける	1	0.4%
家庭教師に教えてもらう	3	1.3%
地域の人などが行う無料の勉強会に参加する	1	0.4%
家の人に教えてもらう	78	32.8%
友達と勉強する	79	33.2%
その他	4	1.7%
学校の授業以外で勉強はしない	6	2.5%
無回答	1	0.4%
サンプル数	238	-

問4 あなたは、ふだん学校の授業以外に、1日あたりどれくらいの時間勉強をしますか。

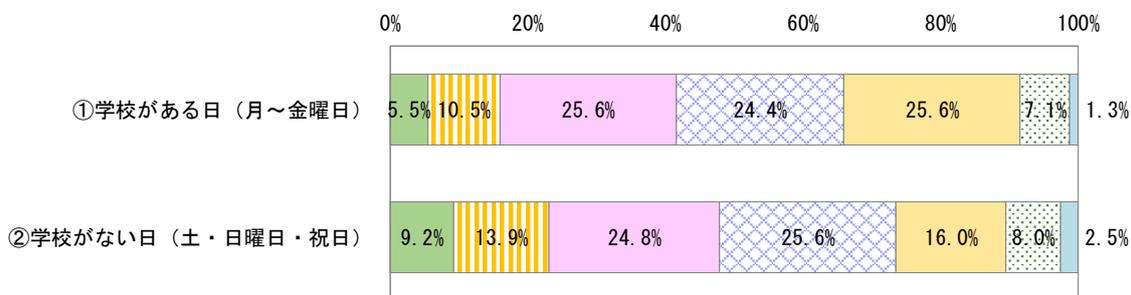
※学校の宿題をする時間や、塾などでの勉強時間もふくみます。

(a, b それぞれについて、あてはまるもの1つに○)

ふだんの学校の授業以外の1日あたりの勉強時間については、学校がある日(月～金曜日)では「30分以上、1時間より少ない」「2時間以上、3時間より少ない」がいずれも25.6%と最も高く、次いで「1時間以上、2時間より少ない」24.4%となっている。学校がない日(土・日曜日・祝日)では「1時間以上、2時間より少ない」25.6%が最も高く、次いで「30分以上、1時間より少ない」24.8%となっている。

(n=238)

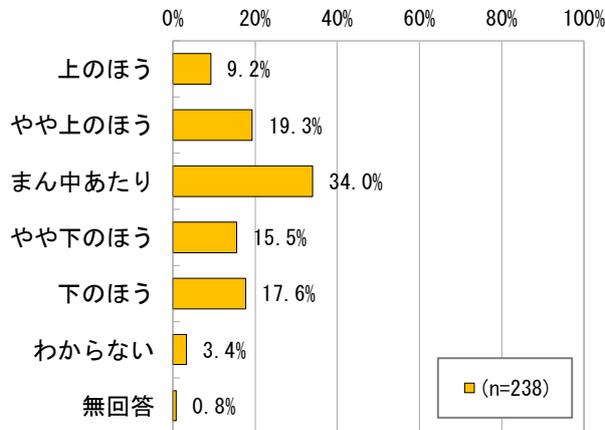
- まったくしない
- 30分以上、1時間より少ない
- 2時間以上、3時間より少ない
- 無回答
- 30分より少ない
- 1時間以上、2時間より少ない
- 3時間以上



小数点第2位を四捨五入しているため、合計は100%と一致しない場合がある	サンプル数	まったくしない	30分より少ない	30分以上、1時間より少ない	1時間以上、2時間より少ない	2時間以上、3時間より少ない	3時間以上	無回答
上段: 回答者数 下段: 構成比 ■ 上位1項目								
①学校がある日(月～金曜日)	238	13	25	61	58	61	17	3
	100.0%	5.5%	10.5%	25.6%	24.4%	25.6%	7.1%	1.3%
②学校がない日(土・日曜日・祝日)	238	22	33	59	61	38	19	6
	100.0%	9.2%	13.9%	24.8%	25.6%	16.0%	8.0%	2.5%

問5 あなたの成績は、クラスの中でどのくらいだと思いますか。(あてはまるもの1つに○)

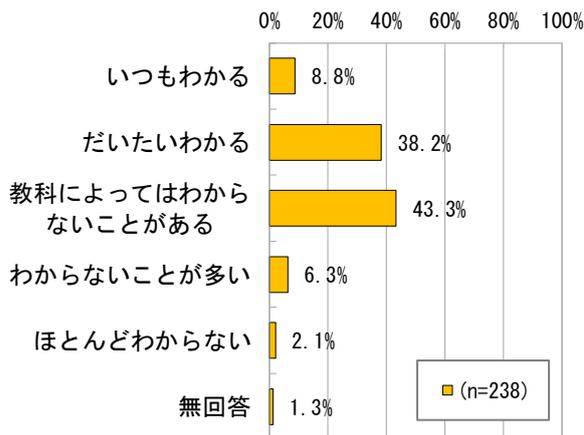
クラスの中で成績がどれくらいであるかについては、「まん中あたり」34.0%が最も高く、次いで「やや上のほう」19.3%、「下のほう」17.6%となっている。



項目	回答数	構成比
上のほう	22	9.2%
やや上のほう	46	19.3%
まん中あたり	81	34.0%
やや下のほう	37	15.5%
下のほう	42	17.6%
わからない	8	3.4%
無回答	2	0.8%
合計	238	100.0%

問6 あなたは、学校の授業がわからないことがありますか。(あてはまるもの1つに○)

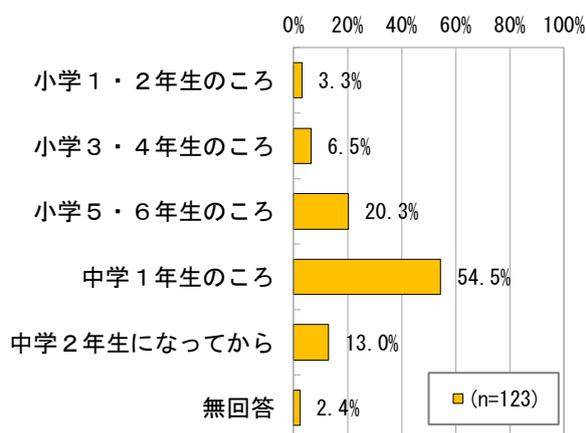
学校の授業がわからないことがあるかについては、「教科によってはわからないことがある」43.3%が最も高く、次いで「だいたいわかる」38.2%、「いつもわかる」8.8%となっている。



項目	回答数	構成比
いつもわかる	21	8.8%
だいたいわかる	91	38.2%
教科によってはわからないことがある	103	43.3%
わからないことが多い	15	6.3%
ほとんどわからない	5	2.1%
無回答	3	1.3%
合計	238	100.0%

問7 前の質問で「3. 教科によってはわからないことがある」「4. わからないことが多い」「5. ほとんどわからない」と答えた人にお聞きします。  
 いつごろから、授業がわからないことがあるようになりましたか。  
 (あてはまるもの1つに○)

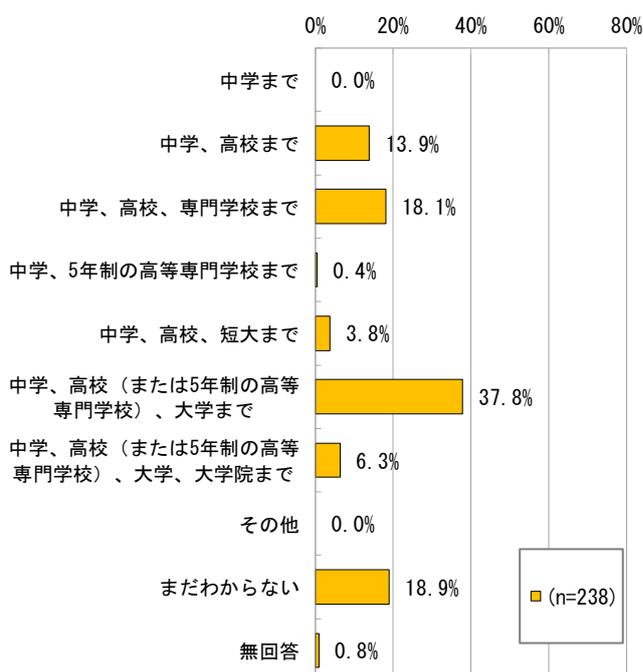
いつごろから、授業がわからないことがあるようになったかについては、「中学1年生のころ」54.5%が最も高く、次いで「小学5・6年生のころ」20.3%、「中学2年生になってから」13.0%となっている。



項目	回答数	構成比
小学1・2年生のころ	4	3.3%
小学3・4年生のころ	8	6.5%
小学5・6年生のころ	25	20.3%
中学1年生のころ	67	54.5%
中学2年生になってから	16	13.0%
無回答	3	2.4%
合計	123	100.0%

問8 あなたは、将来、どの学校に進学したいですか。(あてはまるもの1つに○)

将来、どの段階まで進学したいかについては、「中学、高校（または5年制の高等専門学校）、大学まで」37.8%が最も高く、次いで「まだわからない」18.9%、「中学、高校、専門学校まで」18.1%となっている。

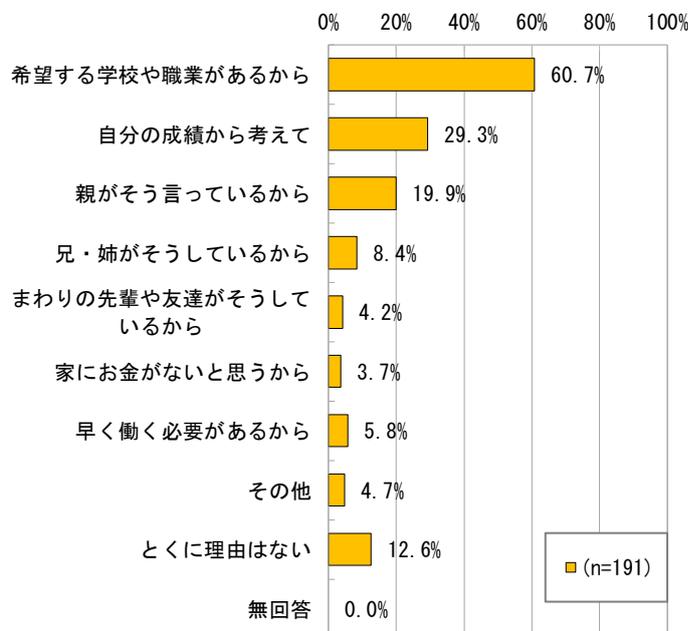


項目	回答数	構成比
中学まで	0	0.0%
中学、高校まで	33	13.9%
中学、高校、専門学校まで	43	18.1%
中学、5年制の高等専門学校まで	1	0.4%
中学、高校、短大まで	9	3.8%
中学、高校（または5年制の高等専門学校）、大学まで	90	37.8%
中学、高校（または5年制の高等専門学校）、大学、大学院まで	15	6.3%
その他	0	0.0%
まだわからない	45	18.9%
無回答	2	0.8%
合計	238	100.0%

問9 前の質問で1～8と答えた場合、その理由を教えてください。

(1～8については、あてはまるものすべてに○)

選択した進学先の回答理由については、「希望する学校や職業があるから」60.7%が最も高く、次いで「自分の成績から考えて」29.3%、「親がそう言っているから」19.9%となっている。

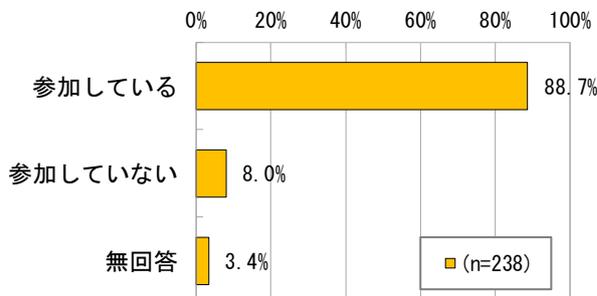


項目	回答数	構成比
希望する学校や職業があるから	116	60.7%
自分の成績から考えて	56	29.3%
親がそう言っているから	38	19.9%
兄・姉がそうしているから	16	8.4%
まわりの先輩や友達がそうしているから	8	4.2%
家にお金がないと思うから	7	3.7%
早く働く必要があるから	11	5.8%
その他	9	4.7%
とくに理由はない	24	12.6%
無回答	0	0.0%
サンプル数	191	-

問10 あなたは、地域のスポーツクラブや文化クラブ、学校の部活動に参加していますか。

(あてはまるもの1つに○)

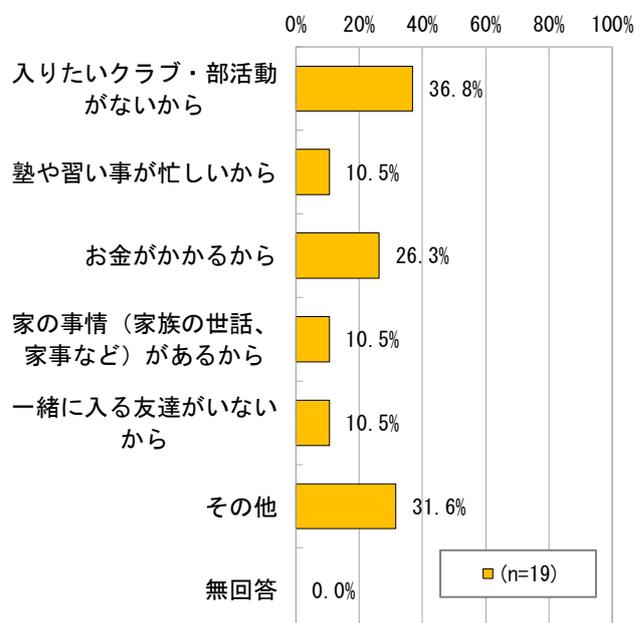
地域のスポーツクラブや文化クラブ、学校の部活動に参加しているかについては、「参加している」88.7%、「参加していない」8.0%となっている。



項目	回答数	構成比
参加している	211	88.7%
参加していない	19	8.0%
無回答	8	3.4%
合計	238	100.0%

問11 前の質問で「2. 参加していない」と答えた人にお聞きします。  
参加していない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

参加していない理由については、「入りたいクラブ・部活動がないから」36.8%が最も高く、次いで「その他」31.6%、「お金がかかるから」26.3%となっている。



項目	回答数	構成比
入りたいクラブ・部活動がないから	7	36.8%
塾や習い事が忙しいから	2	10.5%
お金がかかるから	5	26.3%
家の事情(家族の世話、家事など)があるから	2	10.5%
一緒にいる友達がないから	2	10.5%
その他	6	31.6%
無回答	0	0.0%
サンプル数	19	-

問12 あなたは週にどのくらい、食事をしていますか。  
(a~c それぞれについて、あてはまるもの1つに○)

週にどれくらい食事をしているかについては、全ての項目で「毎日食べる（週7日）」が8割以上を占めている。

(n=238)

■毎日食べる（週7日） ■週5～6日 ■週3～4日 ■週1～2、ほとんど食べない ■無回答



項目	サンプル数	日毎	週	週	食週	無
		（日）	5	3	週	回
		食べる	～	～	1	答
		（週	6	4	～	
		7	日	日	2、	
					ほと	
					んど	
①朝食	238	195	32	2	8	1
	100.0%	81.9%	13.4%	0.8%	3.4%	0.4%
②夕食	238	223	11	2	0	2
	100.0%	93.7%	4.6%	0.8%	0.0%	0.8%
③夏休みや冬休みなどの期間の昼食	238	204	23	4	3	4
	100.0%	85.7%	9.7%	1.7%	1.3%	1.7%

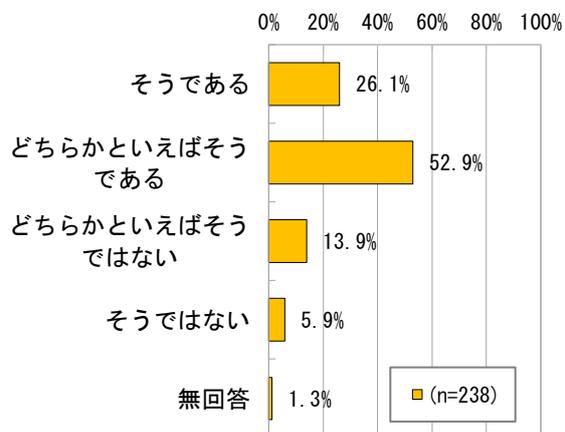
小数点第2位を四捨五入しているため、合計は100%と一致しない場合がある

上段: 回答者数  
下段: 構成比

■ 上位1項目

問13 あなたは、ふだん(月曜日～金曜日)、ほぼ同じ時間に寝ていますか。  
(あてはまるもの1つに○)。

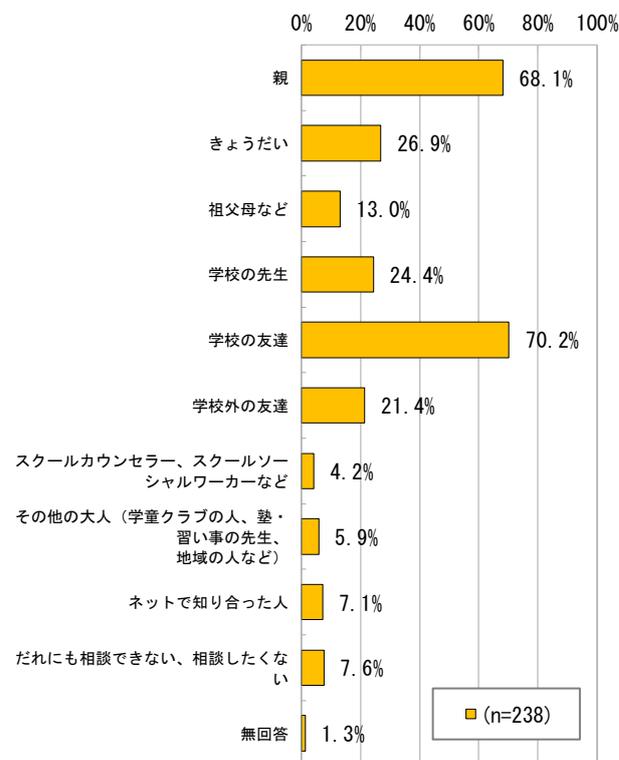
ふだん(月曜日～金曜日)、ほぼ同じ時間に寝ているかについては、「どちらかといえばそうである」52.9%が最も高く、次いで「そうである」26.1%、「どちらかといえばそうではない」13.9%となっている。



項目	回答数	構成比
そうである	62	26.1%
どちらかといえばそうである	126	52.9%
どちらかといえばそうではない	33	13.9%
そうではない	14	5.9%
無回答	3	1.3%
合計	238	100.0%

問14 あなたに困っていることや悩みごとがあるとき、あなたが相談できると思う人はだれですか。(1～9については、あてはまるものすべてに○)

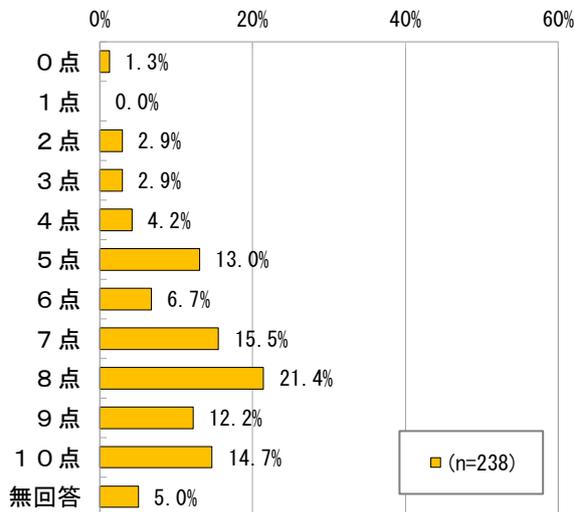
困りごとや悩みごとを相談できると思う相手については、「学校の友達」70.2%が最も高く、次いで「親」68.1%、「きょうだい」26.9%となっている。



項目	回答数	構成比
親	162	68.1%
きょうだい	64	26.9%
祖父母など	31	13.0%
学校の先生	58	24.4%
学校の友達	167	70.2%
学校外の友達	51	21.4%
スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーなど	10	4.2%
その他の大人(学童クラブの人、塾・習い事の先生、地域の人など)	14	5.9%
ネットで知り合った人	17	7.1%
だれにも相談できない、相談したくない	18	7.6%
無回答	3	1.3%
サンプル数	238	-

問15 全体として、あなたは最近の生活に、どのくらい満足していますか。「0」(まったく満足していない)から「10」(十分に満足している)の数字で教えてください。  
(あてはまるもの1つに○)。

最近の生活に対する満足度については、「8点」21.4%が最も高く、次いで「7点」15.5%、「10点」14.7%となっている。

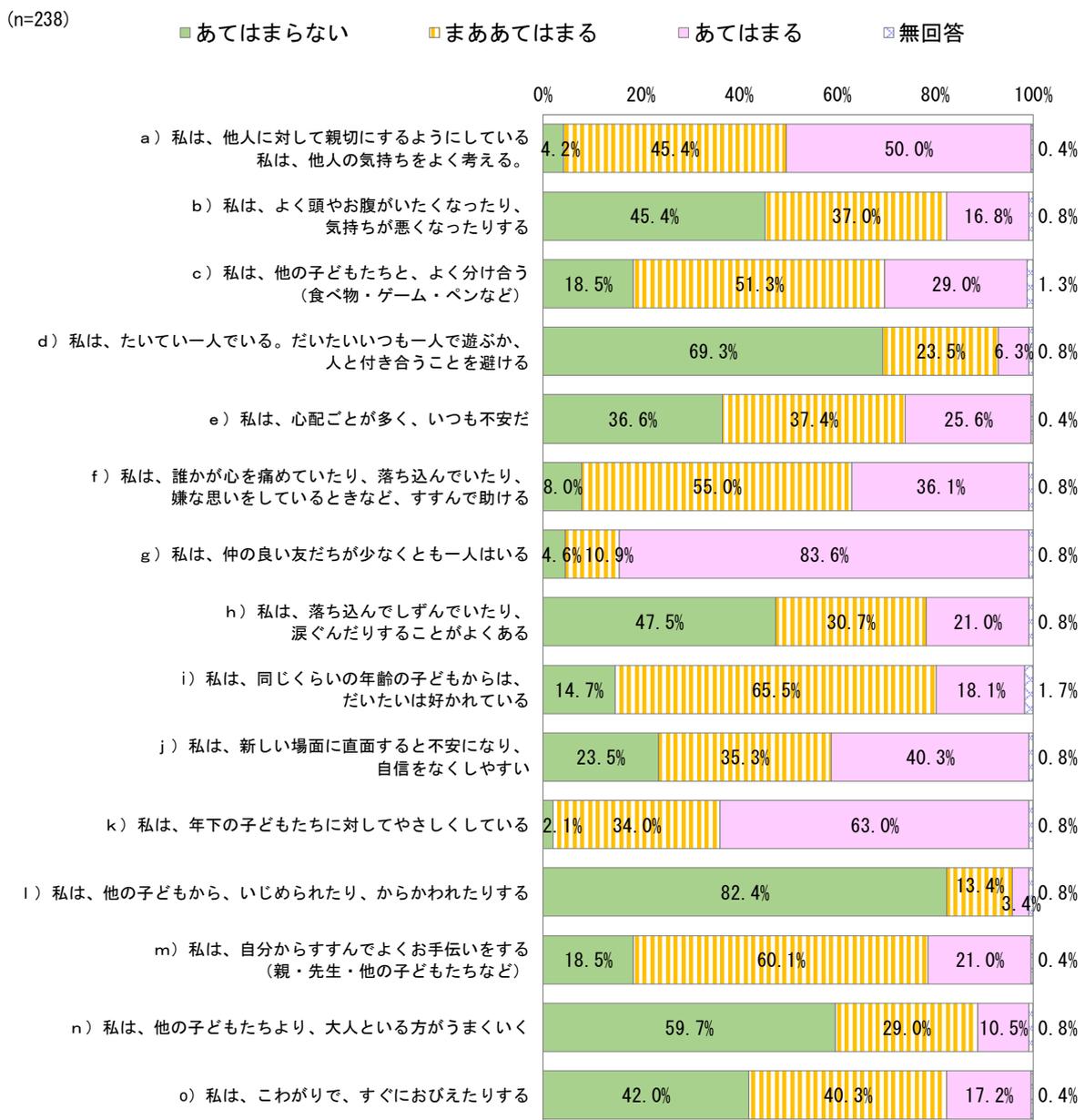


項目	回答数	構成比
0点	3	1.3%
1点	0	0.0%
2点	7	2.9%
3点	7	2.9%
4点	10	4.2%
5点	31	13.0%
6点	16	6.7%
7点	37	15.5%
8点	51	21.4%
9点	29	12.2%
10点	35	14.7%
無回答	12	5.0%
合計	238	100.0%

問16 以下のそれぞれの質問について、「1. あてはまらない」「2. まああてはまる」「3. あてはまる」のどれかから回答してください。答えに自信がなくても、あるいは、その質問がばからしいと思えたとしても、全部の質問に答えてください。あなたのご半年くらいのことを考えて答えてください。(a～o それぞれについて、あてはまるもの1つに○)。

『あてはまる』（「まああてはまる」＋「あてはまる」）は「私は、年下の子どもたちに対してやさしくしている。」97.0%が最も高く、次いで「私は、他人に対して親切にするようにしている。私は、他人の気持ちをよく考える。」が95.4%、「私は、仲の良い友だちが少なくとも一人はいる。」94.5%となっている。

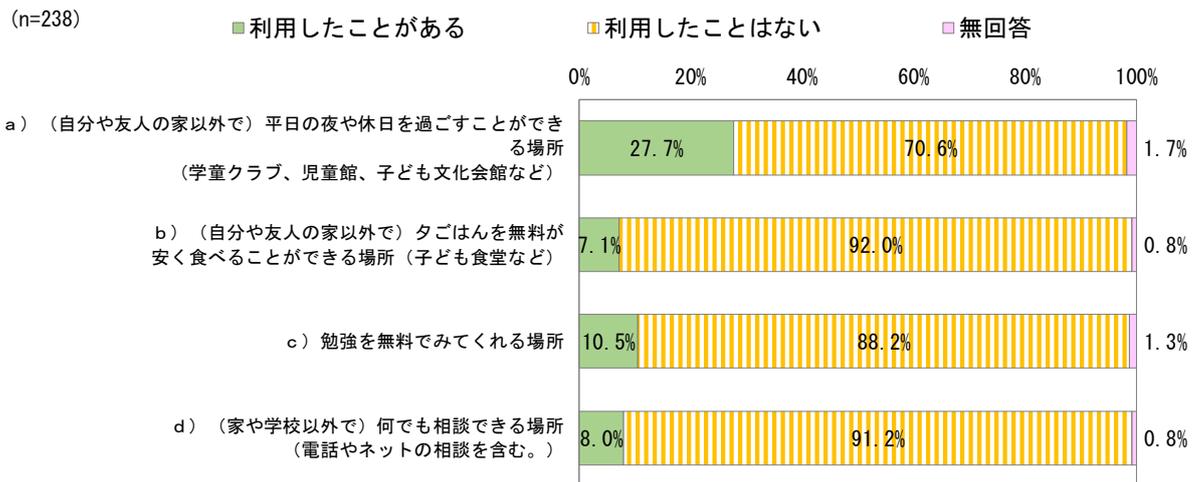
一方、『あてはまらない』では「私は、他の子どもから、いじめられたり、からかわれたりする。」82.4%が最も高く、次いで「私は、たいいてい一人でいる。だいたいいつも一人で遊ぶか、人と付き合うことを避ける。」69.3%、「私は、他の子供たちより、大人という方がうまくいく。」59.7%となっている。



<small>小数点第2位を 四捨五入しているため、 合計は100%と一致しない 場合がある</small>  <small>上段:回答者数 下段:構成比</small>  <small>■ 上位1項目</small>	サ ン プ ル 数	あ て は ま ら な い	ま あ て て は ま る	あ て は ま る	無 回 答
a) 私は、他人に対して親切にするよう ようにしている。私は、他人の気持ち をよく考える。	238 100.0%	10 4.2%	108 45.4%	119 50.0%	1 0.4%
b) 私は、よく頭やお腹がいたくなっ たり、気持ちが悪くなったりする。	238 100.0%	108 45.4%	88 37.0%	40 16.8%	2 0.8%
c) 私は、他の子どもたちと、よく分 け合う(食べ物・ゲーム・ペンな ど)。	238 100.0%	44 18.5%	122 51.3%	69 29.0%	3 1.3%
d) 私は、たいてい一人でいる。だい たいいつも一人で遊ぶか、人と付き 合うことを避ける。	238 100.0%	165 69.3%	56 23.5%	15 6.3%	2 0.8%
e) 私は、心配ごとが多く、いつも不 安だ。	238 100.0%	87 36.6%	89 37.4%	61 25.6%	1 0.4%
f) 私は、誰かが心を痛めていたり、 落ち込んでいたり、嫌な思いをして いるときなど、すすんで助ける。	238 100.0%	19 8.0%	131 55.0%	86 36.1%	2 0.8%
g) 私は、仲の良い友だちが少なくと も一人はいる。	238 100.0%	11 4.6%	26 10.9%	199 83.6%	2 0.8%
h) 私は、落ち込んでしずんでいた り、涙ぐんだりすることがよくある。	238 100.0%	113 47.5%	73 30.7%	50 21.0%	2 0.8%
i) 私は、同じくらいの年齢の子ども からは、だいたい好かれている。	238 100.0%	35 14.7%	156 65.5%	43 18.1%	4 1.7%
j) 私は、新しい場面に直面すると不 安になり、自信をなくしやすい。	238 100.0%	56 23.5%	84 35.3%	96 40.3%	2 0.8%
k) 私は、年下の子どもたちに対し てやさしくしている。	238 100.0%	5 2.1%	81 34.0%	150 63.0%	2 0.8%
l) 私は、他の子どもから、いじめら れたり、からかわれたりする。	238 100.0%	196 82.4%	32 13.4%	8 3.4%	2 0.8%
m) 私は、自分からすすんでよくお 手伝いをする(親・先生・他の子ど もたちなど)。	238 100.0%	44 18.5%	143 60.1%	50 21.0%	1 0.4%
n) 私は、他の子どもたちより、大人 という方がうまくいく。	238 100.0%	142 59.7%	69 29.0%	25 10.5%	2 0.8%
o) 私は、こわがりで、すぐにおびえ たりする。	238 100.0%	100 42.0%	96 40.3%	41 17.2%	1 0.4%

問17 あなたは、次の a~d のような場所を利用したことがありますか。また、利用したことはない場合、今後利用したいと思いますか。  
(a~d それぞれについて、あてはまるもの1つに○)

各施設の利用状況について、「利用したことがある」と回答した割合が高いのは、「(自分や友人の家以外で)平日の夜や休日を過ごすことができる場所(学童クラブ、児童館、子ども文化会館など)」27.7%が最も高くなっている。その他の項目については、「利用したことはない」が8割以上を占めている。

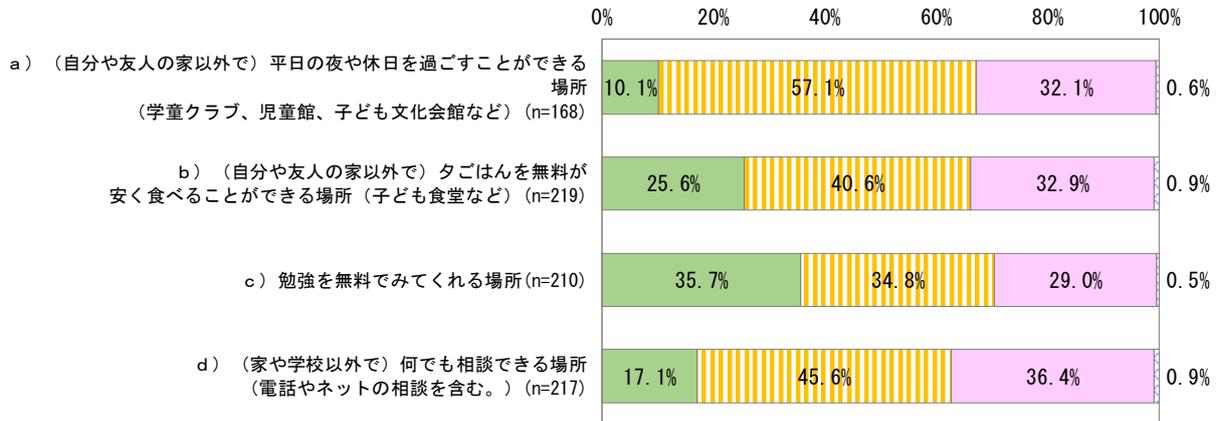


小数点第2位を四捨五入しているため、合計は100%と一致しない場合がある 上段: 回答者数 下段: 構成比 ■ 上位1項目	サンプル数	利用したことがある		無回答
		利用したことがある	利用したことはない	
a) (自分や友人の家以外で) 平日の夜や休日を過ごすことができる場所 (学童クラブ、児童館、子ども文化会館など)	238	66	168	4
	100.0%	27.7%	70.6%	1.7%
b) (自分や友人の家以外で) タごはんを無料が安く食べることができる場所 (子ども食堂など)	238	17	219	2
	100.0%	7.1%	92.0%	0.8%
c) 勉強を無料でみてくれる場所	238	25	210	3
	100.0%	10.5%	88.2%	1.3%
d) (家や学校以外で) 何でも相談できる場所 (電話やネットの相談を含む。)	238	19	217	2
	100.0%	8.0%	91.2%	0.8%

「利用したことはない」と答えた人の今後の利用意向について、「あれば利用したいと思う」と回答した割合が高いのは、「勉強を無料で見てくれる場所」35.7%が最も高く、次いで「(自分や友人の家以外で) タごはんを無料か安く食べることができる場所 (子ども食堂など)」25.6%となっています。

(n=168)

■ あれば利用したいと思う □ 今後も利用したいと思わない ▨ 今後利用したいかどうか分からない □ 無回答

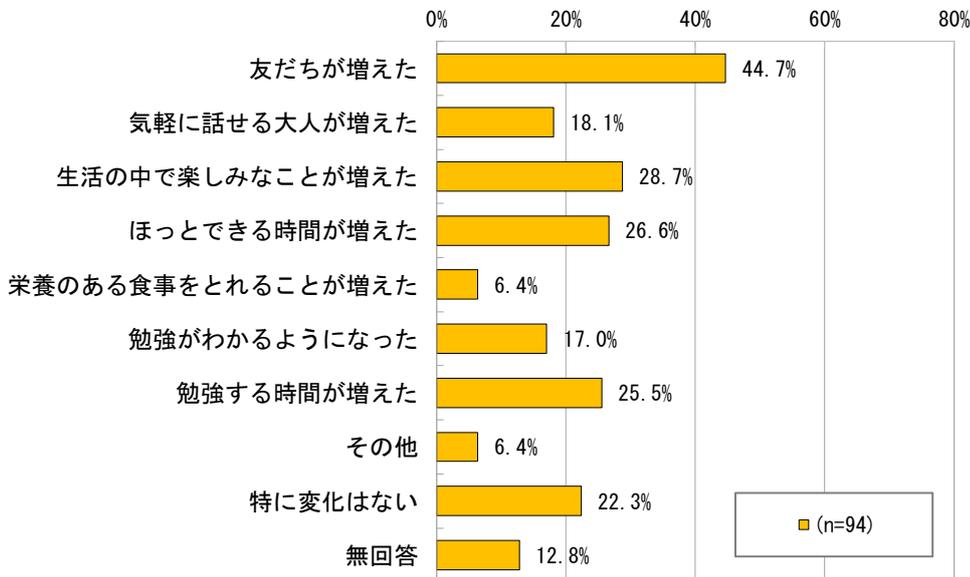


Category	サンプル数	思えば利用したい	思わぬも利用したい	う今後利用したいかどうか	無回答
a) (自分や友人の家以外で) 平日の夜や休日を過ごすことができる場所 (学童クラブ、児童館、子ども文化会館など)	168	17	96	54	1
b) (自分や友人の家以外で) タごはんを無料が安く食べることができる場所 (子ども食堂など)	219	56	89	72	2
c) 勉強を無料でみてくれる場所	210	75	73	61	1
d) (家や学校以外で) 何でも相談できる場所 (電話やネットの相談を含む。)	217	37	99	79	2

小数点第2位を四捨五入しているため、合計は100%と一致しない場合がある  
 上段: 回答者数  
 下段: 構成比  
 ■ 上位1項目

問18 前の質問で、1つでも「1. 利用したことがある」と答えた方にお聞きします。そこを利用したことで、以下のような変化がありましたか。  
(1～8については、あてはまるものすべてに○)

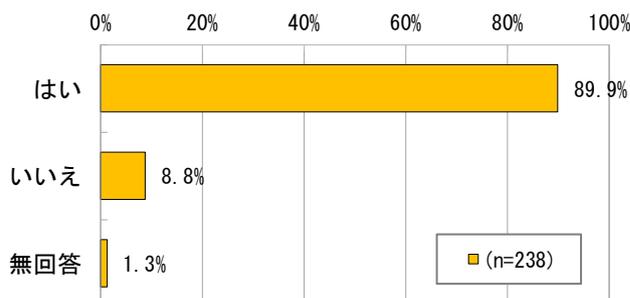
各施設等の利用後の変化については、「友だちが増えた」44.7%が最も高く、次いで「生活の中で楽しみなことが増えた」28.7%、「ほっとできる時間が増えた」26.6%となっている。



項目	回答数	構成比
友だちが増えた	42	44.7%
気軽に話せる大人が増えた	17	18.1%
生活の中で楽しみなことが増えた	27	28.7%
ほっとできる時間が増えた	25	26.6%
栄養のある食事をとれることが増えた	6	6.4%
勉強がわかるようになった	16	17.0%
勉強する時間が増えた	24	25.5%
その他	6	6.4%
特に変化はない	21	22.3%
無回答	12	12.8%
サンプル数	94	-

問19 あなたにとって、家(普段寝起きをしている場所)は「ここに居たい」と感じる場所ですか？

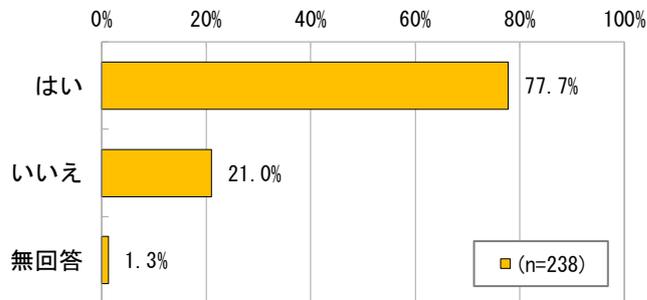
家(普段寝起きをしている場所)は「ここに居たい」と感じる場所かどうかについては、「はい」89.9%、「いいえ」8.8%となっている。



項目	回答数	構成比
はい	214	89.9%
いいえ	21	8.8%
無回答	3	1.3%
合計	238	100.0%

問20 あなたにとって、学校(授業や部活、クラブ活動)は「ここに居たい」と感じる居場所ですか？

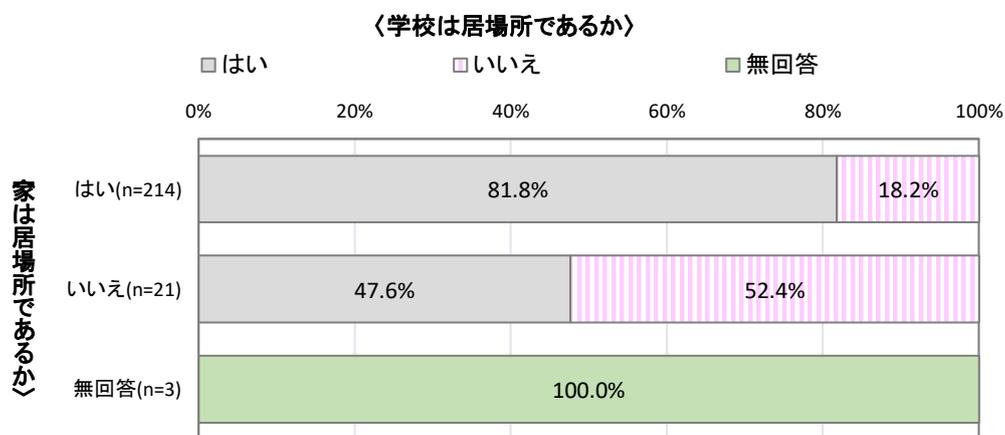
学校(授業や部活、クラブ活動)は「ここに居たい」と感じる居場所かどうかについては、「はい」77.7%、「いいえ」21.0%となっている。



項目	回答数	構成比
はい	185	77.7%
いいえ	50	21.0%
無回答	3	1.3%
合計	238	100.0%

● (参考) : 【問 19】家は居場所であるか×【問 20】学校は居場所であるか

家は「ここに居たい」と感じる場所ではないと回答した方に、学校は「ここに居たい」と感じる場所であるかをたずねたところ、「はい」と回答した割合は47.6%となっている。

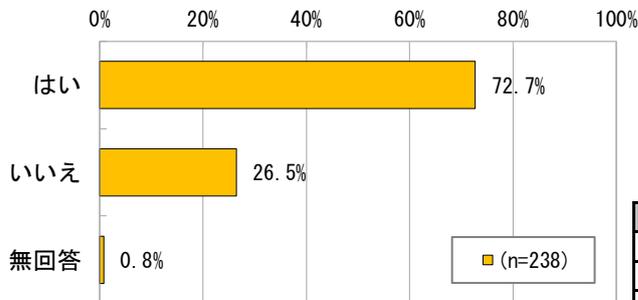


	サンプル数	はい	いいえ	無回答	
		回答数	割合	割合	
全体	238	185	50	3	
	100.0%	77.7%	21.0%	1.3%	
家は居場所であるか	はい	214	175	39	0
		100.0%	81.8%	18.2%	0.0%
	いいえ	21	10	11	0
	100.0%	47.6%	52.4%	0.0%	
無回答	3	0	0	3	
	100.0%	0.0%	0.0%	100.0%	

小数点第2位を四捨五入しているため、合計は100%と一致しない場合がある  
 上段: 回答者数  
 下段: 構成比  
 ■ 上位1項目

問 21 あなたは、家(普段寝起きをしている場所)や学校(授業や部活、クラブ活動)以外に、「ここに居たい」と感じる居場所がほしいですか。(あてはまるもの1つに○)  
 【例:友達の家、習い事、公園、図書館、お店、オンライン空間など】

家(普段寝起きをしている場所)や学校(授業や部活、クラブ活動)以外に、「ここに居たい」と感じる居場所がほしいかどうかについては、「はい」72.7%、「いいえ」26.5%となっている。

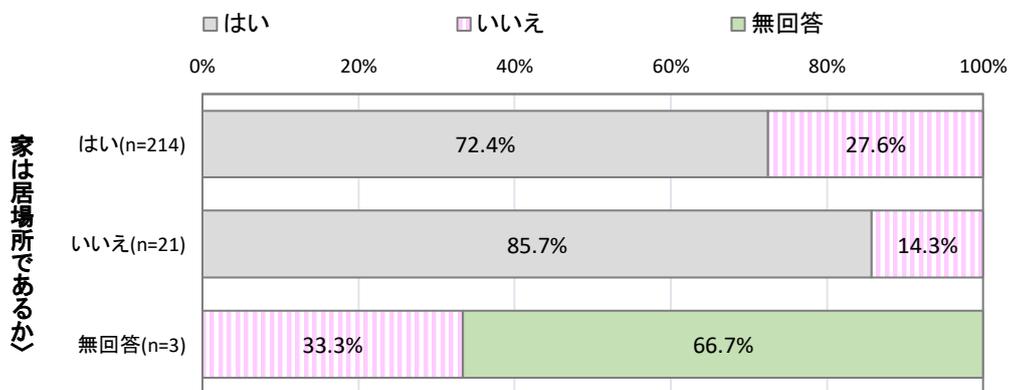


項目	回答数	構成比
はい	173	72.7%
いいえ	63	26.5%
無回答	2	0.8%
合計	238	100.0%

● (参考): 【問 19】家は居場所であるか×【問 21】家や学校以外に居場所がほしいか

家は「ここに居たい」と感じる場所ではないと回答した方に、家や学校以外に「ここに居たい」と感じる居場所がほしいかをたずねたところ、「はい」と回答した割合は85.7%となっている。

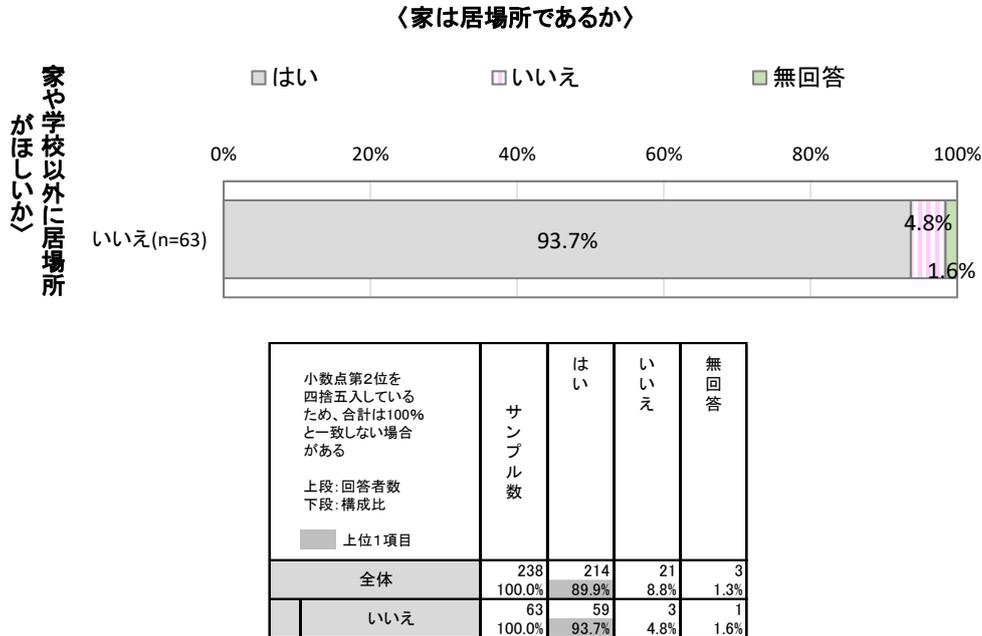
〈家や学校以外に居場所がほしいか〉



		サンプル数	はい	いいえ	無回答
小数点第2位を四捨五入しているため、合計は100%と一致しない場合がある					
上段: 回答者数 下段: 構成比					
■ 上位1項目					
全体	238	173	63	2	
	100.0%	72.7%	26.5%	0.8%	
家は居場所であるか	はい	214	59	0	
		100.0%	72.4%	0.0%	
	いいえ	21	3	0	
	100.0%	85.7%	14.3%	0.0%	
無回答	3	1	2		
	100.0%	0.0%	33.3%	66.7%	

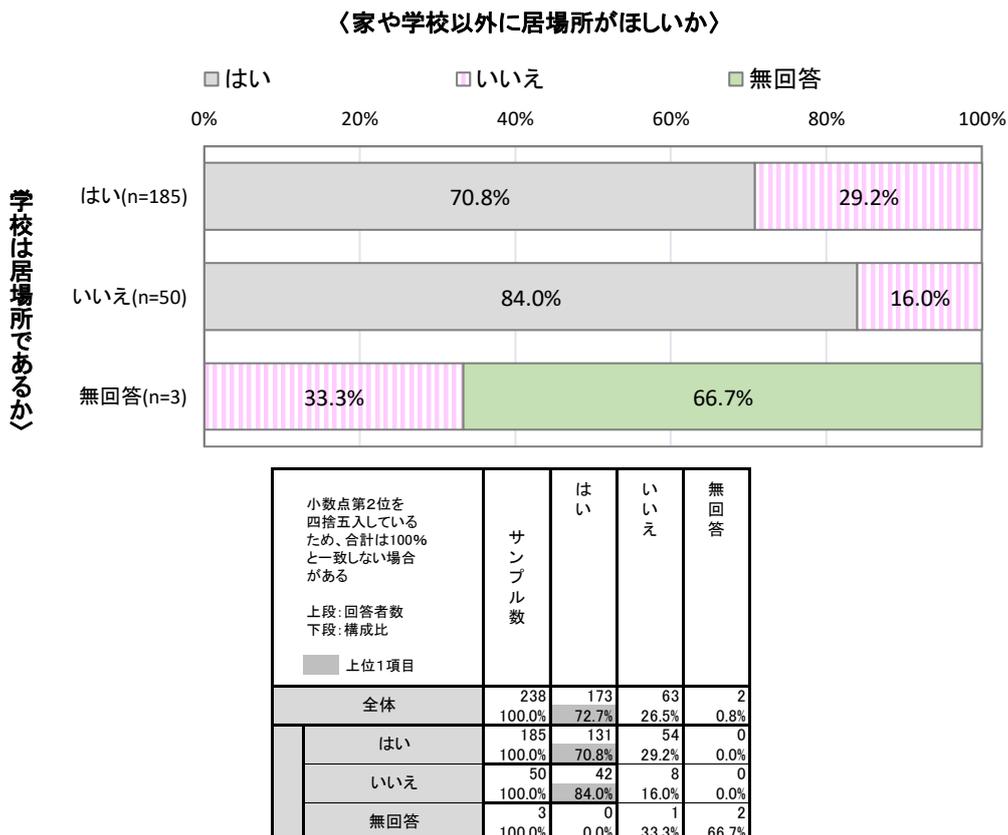
● (参考) : 【問 21】 家や学校以外に居場所がほしいか× 【問 19】 家は居場所であるか

家や学校以外に「ここに居たい」と感じる居場所がほしくないと感じた方に、家は「ここに居たい」と感じる居場所であるかをたずねたところ、「はい」と回答した割合は 93.7%となっている。



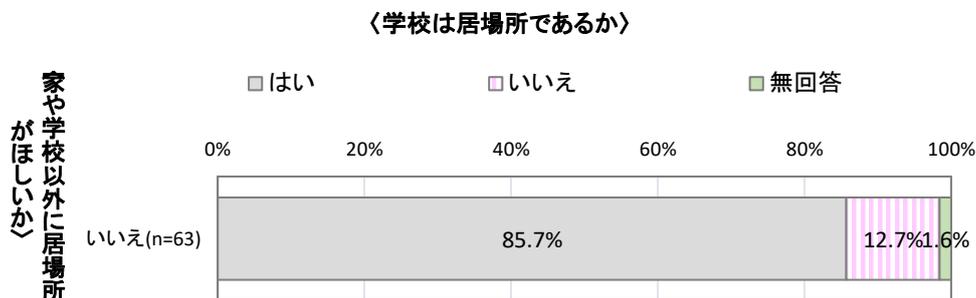
● (参考) : 【問 20】 学校は居場所であるか× 【問 21】 家や学校以外に居場所がほしいか

学校は「ここに居たい」と感じる場所ではないと感じた方に、家や学校以外に「ここに居たい」と感じる居場所がほしいかをたずねたところ、「はい」と回答した割合は 84.0%となっている。



● (参考) : 【問 21】 家や学校以外に居場所がほしいか×【問 20】 学校は居場所であるか

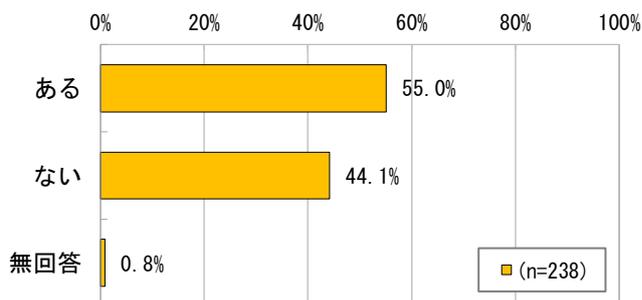
家や学校以外に「ここに居たい」と感じる居場所がほしくないと回答した方に、学校は「ここに居たい」と感じる居場所であるかをたずねたところ、「はい」と回答した割合は85.7%となっている。



小数点第2位を四捨五入しているため、合計は100%と一致しない場合がある 上段: 回答者数 下段: 構成比 ■ 上位1項目	サンプル数	はい	いいえ	無回答	
	全体	238 100.0%	185 77.7%	50 21.0%	3 1.3%
	いいえ	63 100.0%	54 85.7%	8 12.7%	1 1.6%

**問 22 あなたは、家(普段寝起きをしている場所)や学校(授業や部活、クラブ活動)以外に、「ここに居たい」と感じる居場所がありますか。(あてはまるもの1つに○)**

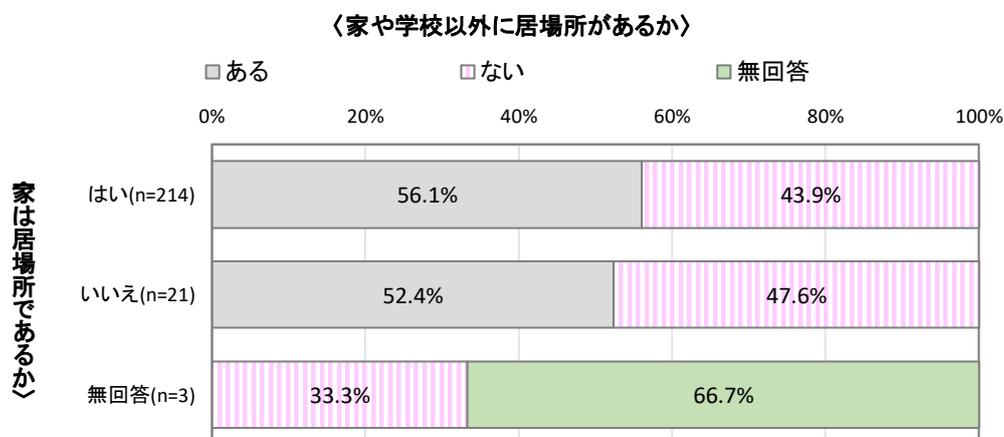
家(普段寝起きをしている場所)や学校(授業や部活、クラブ活動)以外に、「ここに居たい」と感じる居場所があるかどうかについては、「ある」55.0%、「ない」44.1%となっている。



項目	回答数	構成比
ある	131	55.0%
ない	105	44.1%
無回答	2	0.8%
合計	238	100.0%

● (参考) : 【問 19】 家は居場所であるか× 【問 22】 家や学校以外に居場所があるか

家は「ここに居たい」と感じる場所ではないと回答した方に、家や学校以外に居場所があるかをたずねたところ、「はい」と回答した割合は 52.4%となっている。



小数点第2位を四捨五入しているため、合計は100%と一致しない場合がある 上段: 回答者数 下段: 構成比 ■ 上位1項目	サンプル数	ある	ない	無回答
		回答者数	構成比	回答者数
全体	238	131	105	2
	100.0%	55.0%	44.1%	0.8%
はい	214	120	94	0
	100.0%	56.1%	43.9%	0.0%
いいえ	21	11	10	0
	100.0%	52.4%	47.6%	0.0%
無回答	3	0	1	2
	100.0%	0.0%	33.3%	66.7%

● (参考) : 【問 19】 家は居場所であるか× 【問 20】 学校は居場所であるか×  
【問 22】 家や学校以外に居場所があるか

家や学校に「ここに居たい」と感じる居場所がないと回答した方に、家や学校以外に居場所があるかをたずねたところ、「ない」と回答した割合は 45.5%となっている。

		ある(はい)	ない(いいえ)
問19	家に居場所	●	
問20	学校に居場所		●
	=第3の居場所		

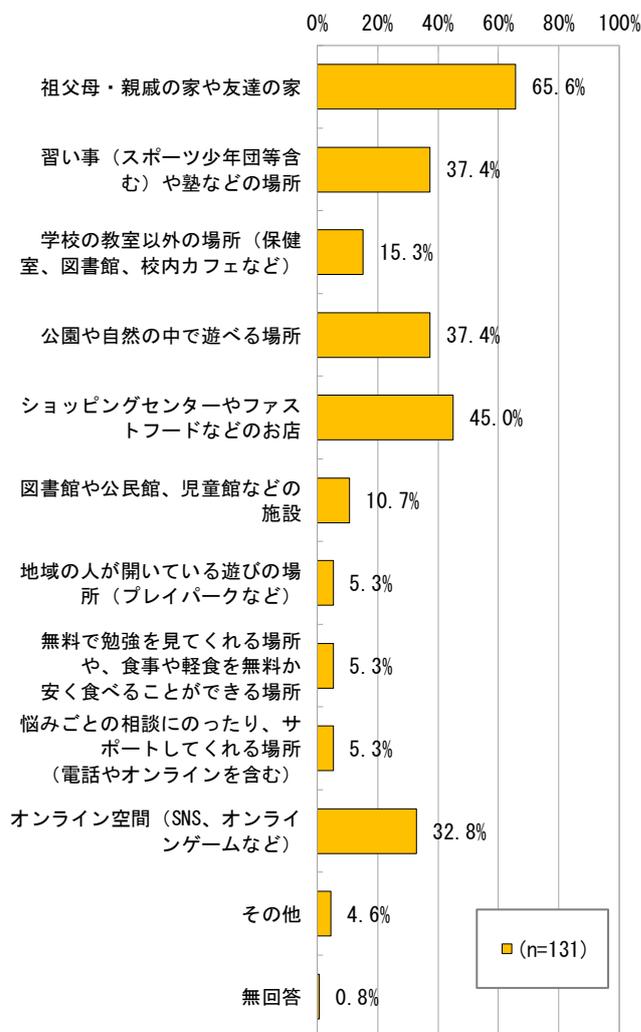
上記対象者×問22【家や学校以外に居場所があるか】

※対象者数: 11人		回答数	%
複数回答	ある	6	54.5%
	ない	5	45.5%
	無回答	0	0.0%
	合計	11	100.0%

問 23 問 22 で「1. ある」と答えた方にお聞きします。

そこは、どのような場所ですか。(あてはまるものすべてに○)

家（普段寝起きする場所）や学校（授業や部活、クラブ活動）以外の居場所については、「祖父母・親戚の家や友達の家」65.6%が最も高く、次いで「ショッピングセンターやファストフードなどのお店」45.0%、「習い事（スポーツ少年団等含む）や塾などの場所」「公園や自然の中で遊べる場所」がいずれも37.4%となっている。



項目	回答数	構成比
祖父母・親戚の家や友達の家	86	65.6%
習い事(スポーツ少年団等含む)や塾などの場所	49	37.4%
学校の教室以外の場所(保健室、図書館、校内カフェなど)	20	15.3%
公園や自然の中で遊べる場所	49	37.4%
ショッピングセンターやファストフードなどのお店	59	45.0%
図書館や公民館、児童館などの施設	14	10.7%
地域の人が開いている遊びの場所(プレイパークなど)	7	5.3%
無料で勉強を見てくれる場所や、食事や軽食を無料か安く食べることができる場所	7	5.3%
悩みごとの相談にのったり、サポートしてくれる場所(電話やオンラインを含む)	7	5.3%
オンライン空間(SNS、オンラインゲームなど)	43	32.8%
その他	6	4.6%
無回答	1	0.8%
サンプル数	131	-

【その他の回答】

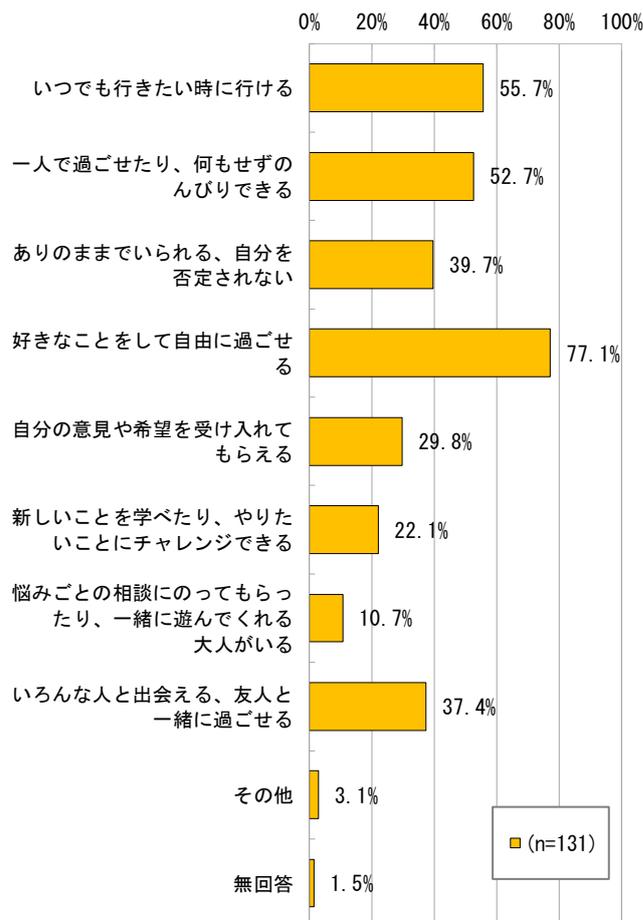
- ・自然の多い静かな場所
- ・スケボーパーク
- ・カラオケボックス
- ・学校
- ・親友と居る空間
- ・ホテル など

問24 問22で「1. ある」と答えた方にお聞きします。

問22でえらんだ場所は、あなたにとって、どのような場所ですか。

(あてはまるものすべてに○)

選択した居場所がどのような場所であるかについては、「好きなことをして自由に過ごせる」77.1%が最も高く、次いで「いつでも行きたい時に行ける」55.7%、「一人で過ごせたり、何もせずのんびりできる」52.7%、「一人で過ごせたり、何もせずのんびりできる」52.7%となっている。



項目	回答数	構成比
いつでも行きたい時に行ける	73	55.7%
一人で過ごせたり、何もせずのんびりできる	69	52.7%
ありのままでいられる、自分を否定されない	52	39.7%
好きなことをして自由に過ごせる	101	77.1%
自分の意見や希望を受け入れてもらえる	39	29.8%
新しいことを学べたり、やりたいことにチャレンジできる	29	22.1%
悩みごとの相談にのってもらったり、一緒に遊んでくれる大人がいる	14	10.7%
いろいろな人と出会う、友人と一緒に過ごせる	49	37.4%
その他	4	3.1%
無回答	2	1.5%
サンプル数	131	-

【その他の回答】

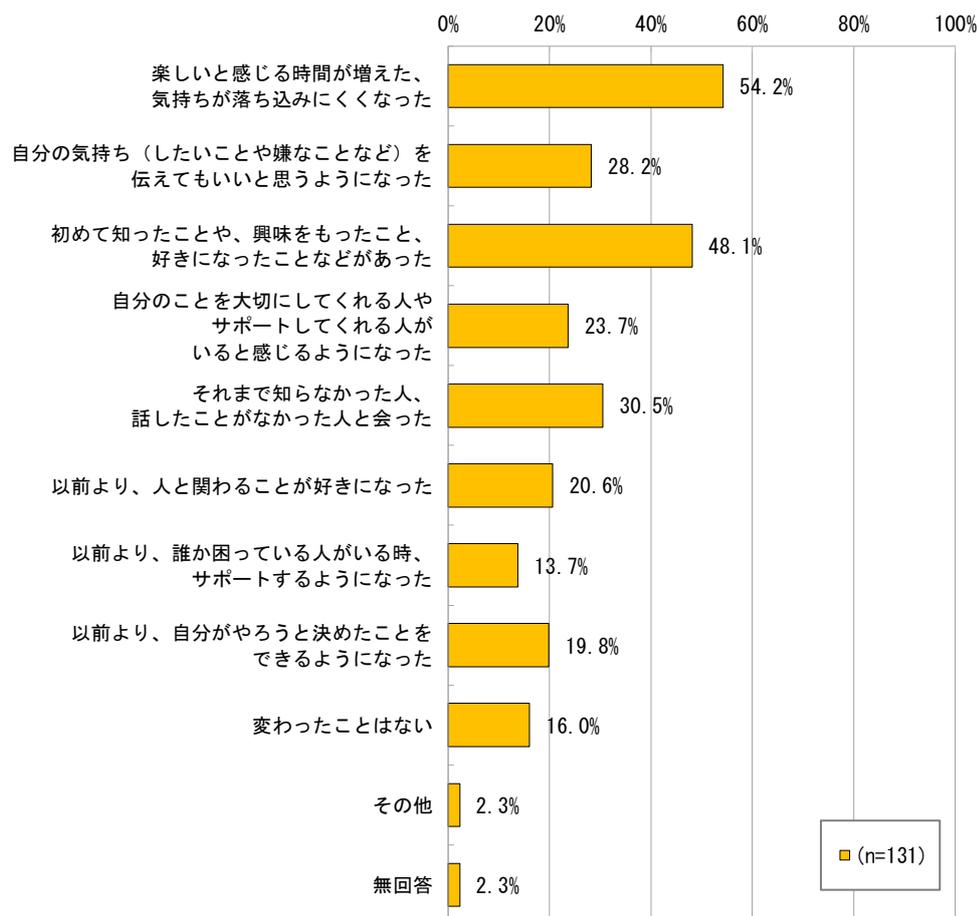
- ・ただ単に楽しい
- ・相談事が気軽に話せる
- ・余計な事を考えて不安にならない など

問25 問22で「1.ある」と答えた方にお聞きします。

問21でえらんだ場所に行くようになって、変わったことがありますか。

(あてはまるものすべてに○)

選択した居場所に行くようになっての変化については、「楽しいと感じる時間が増えた、気持ちが落ち込みにくくなった」54.2%が最も高く、次いで「初めて知ったことや、興味をもったこと、好きになったことなどがあつた」48.1%、「それまで知らなかった人、話したことがなかった人と会つた」30.5%となっている。



【その他の回答】

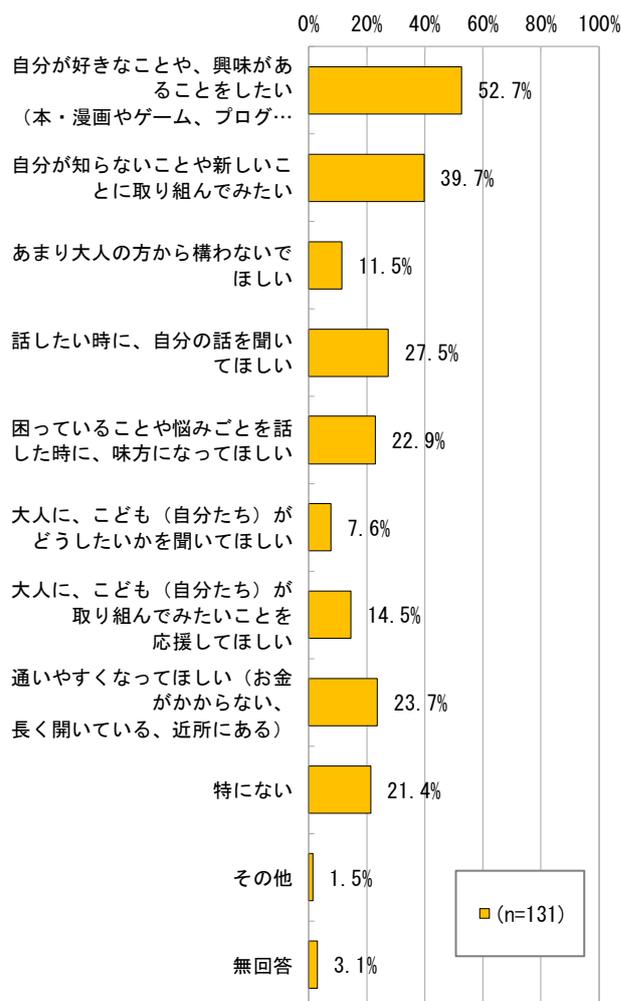
- ・ その場所に行くために、一週間頑張るようになった
- ・ 人との接し方を学んだ など

項目	回答数	構成比
楽しいと感じる時間が増えた、気持ちが落ち込みにくくなった	71	54.2%
自分の気持ち(したいことや嫌なことなど)を伝えてもいいと思うようになった	37	28.2%
初めて知ったことや、興味をもったこと、好きになったことなどがあつた	63	48.1%
自分のことを大切にしてくれる人やサポートしてくれる人がいると感じるようになった	31	23.7%
それまで知らなかった人、話したことがなかった人と会つた	40	30.5%
以前より、人と関わるのが好きになった	27	20.6%
以前より、誰か困っている人がいる時、サポートするようになった	18	13.7%
以前より、自分がやろうと決めたことをできる	26	19.8%
変わったことはない	21	16.0%
その他	3	2.3%
無回答	3	2.3%
サンプル数	131	-

問26 問22で「1. ある」と答えた方にお聞きします。

あなたが、居場所でやってみたいことや、もっとこうだったらいいのと思うことはありますか。(あてはまるものすべてに○)

居場所でやってみたいことや希望については、「自分が好きなことや、興味があることをしたい(本・漫画やゲーム、プログラムなど)」52.7%が最も高く、次いで「自分が知らないことや新しいことに取り組んでみたい」39.7%、「話したい時に、自分の話を聞いてほしい」27.5%となっている。



項目	回答数	構成比
自分が好きなことや、興味があることをしたい (本・漫画やゲーム、プログラムなど)	69	52.7%
自分が知らないことや新しいことに取り組んでみたい	52	39.7%
あまり大人の方から構わないでほしい	15	11.5%
話したい時に、自分の話を聞いてほしい	36	27.5%
困っていることや悩みごとを話した時に、味方になってほしい	30	22.9%
大人に、子ども(自分たち)がどうしたいかを聞いてほしい	10	7.6%
大人に、子ども(自分たち)が取り組んでみたいことを応援してほしい	19	14.5%
通いやすくなってほしい(お金がかからない、長く開いている、近所にある)	31	23.7%
特にない	28	21.4%
その他	2	1.5%
無回答	4	3.1%
サンプル数	131	-

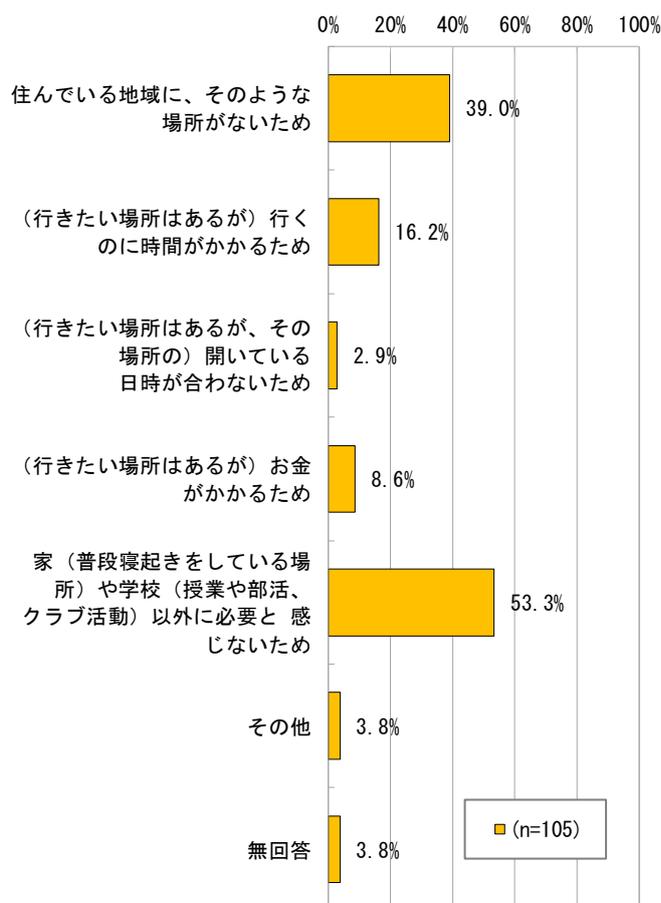
【その他の回答】

- ・スケボーパークが近くに欲しい など

問 27 問 22 で「2. ない」と答えた方にお聞きします。

家(普段寝起きをしている場所)や学校(授業や部活、クラブ活動)以外に、「ここに居たい」と感じる場所がない理由は、なぜですか。(あてはまるものすべてに○)

家(普段寝起きをしている場所)や学校(授業や部活、クラブ活動)以外に、「ここに居たい」と感じる場所がない理由については、「家(普段寝起きをしている場所)や学校(授業や部活、クラブ活動)以外に必要と感ぜないため」53.3%が最も高く、次いで「住んでいる地域に、そのような場所がないため」39.0%、「(行きたい場所はあるが)行くのに時間がかかるため」16.2%となっている。



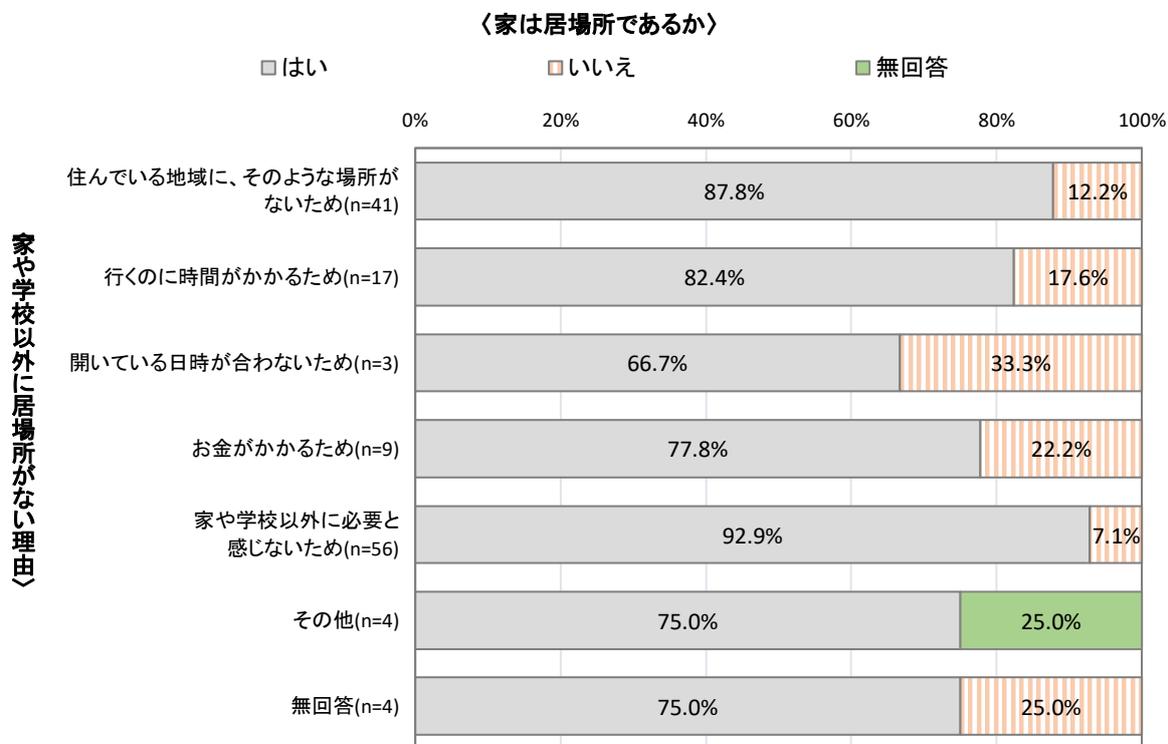
項目	回答数	構成比
住んでいる地域に、そのような場所がないため	41	39.0%
(行きたい場所はあるが)行くのに時間がかかるため	17	16.2%
(行きたい場所はあるが、その場所の)開いている日時が合わないため	3	2.9%
(行きたい場所はあるが)お金がかかるため	9	8.6%
家(普段寝起きをしている場所)や学校(授業や部活、クラブ活動)以外に必要と感ぜないため	56	53.3%
その他	4	3.8%
無回答	4	3.8%
サンプル数	105	-

【その他の回答】

- ・何とも思わない
- ・近くにないから
- ・家に居るだけで満足だから
- など

● (参考) : 【問 27】 家や学校以外に居場所がない理由 × 【問 19】 家は居場所であるか

家や学校以外に「ここに居たい」と感じる居場所がない理由について、「家（普段寝起きしている場所）や学校（授業や部活、クラブ活動）以外に必要と感じないため」と回答した方に、家は居場所であるかをたずねたところ、「はい」と回答した割合は 92.9% となっている。

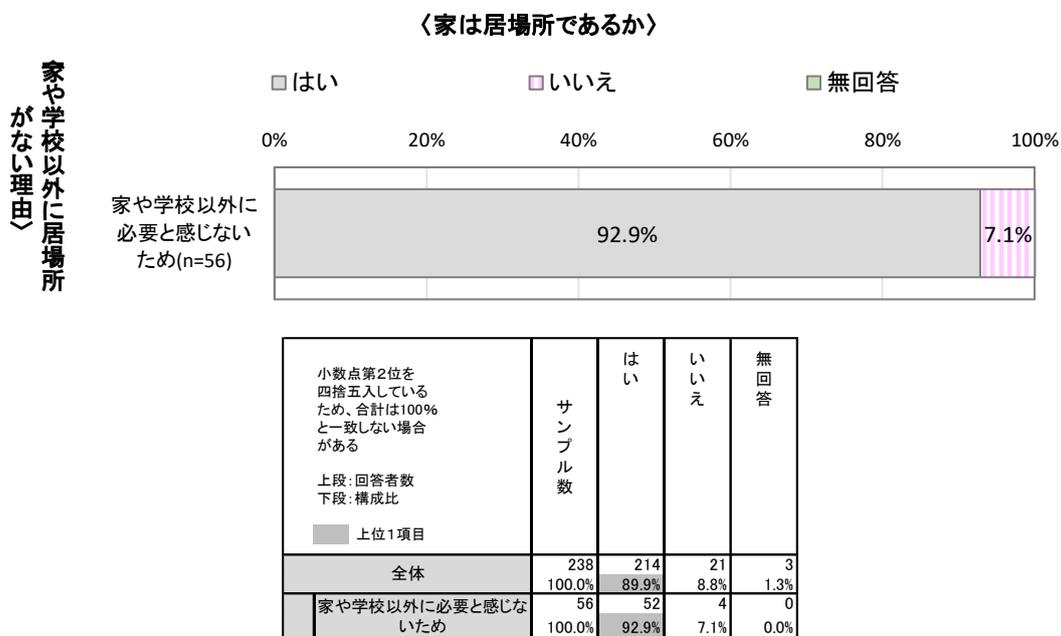


項目	サンプル数	はい	いいえ	無回答
		割合	割合	割合
全体	238	214 (89.9%)	21 (8.8%)	3 (1.3%)
住んでいる地域に、そのような場所がないため	41	36 (87.8%)	5 (12.2%)	0 (0.0%)
行くのに時間がかかるため	17	14 (82.4%)	3 (17.6%)	0 (0.0%)
開いている日時が合わないため	3	2 (66.7%)	1 (33.3%)	0 (0.0%)
お金がかかるため	9	7 (77.8%)	2 (22.2%)	0 (0.0%)
家や学校以外に必要と感じないため	56	52 (92.9%)	4 (7.1%)	0 (0.0%)
その他	4	3 (75.0%)	0 (0.0%)	1 (25.0%)
無回答	4	3 (75.0%)	1 (25.0%)	0 (0.0%)

小数点第2位を四捨五入しているため、合計は100%と一致しない場合がある  
 上段: 回答者数  
 下段: 構成比  
 ■ 上位1項目

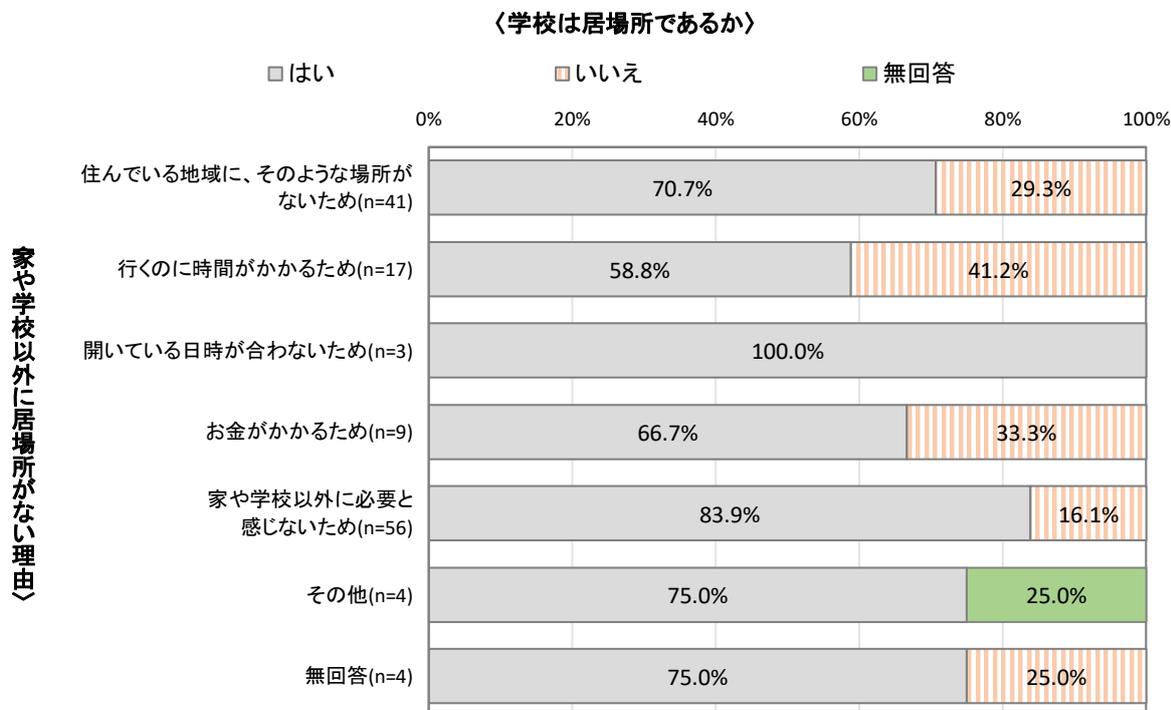
- (参考) : 【問 27】 家や学校以外に居場所がない理由⇒「家や学校以外に必要と感じないため」と回答した方×【問 19】 家は居場所であるか

家や学校以外に「ここに居たい」と感じる居場所がない理由について、「家（普段寝起きしている場所）や学校（授業や部活、クラブ活動）以外に必要と感じないため」と回答した方に、家は居場所であるかをたずねたところ、「はい」と回答した割合は 92.9%となっている



● (参考) : 【問 27】 家や学校以外に居場所がない理由 × 【問 20】 学校は居場所であるか

家や学校以外に「ここに居たい」と感じる居場所がない理由について、「家（普段寝起きしている場所）や学校（授業や部活、クラブ活動）以外に必要と感じないため」と回答した方に、学校は居場所であるかをたずねたところ、「はい」と回答した割合は 83.9% となっている。

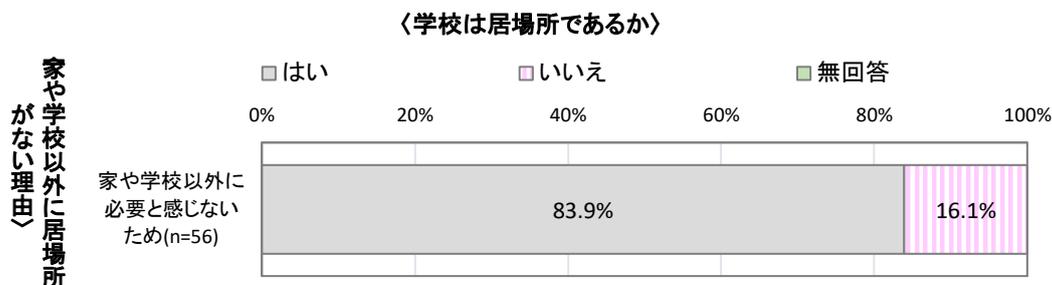


家や学校以外に居場所がない理由

小数点第2位を四捨五入しているため、合計は100%と一致しない場合がある 上段: 回答者数 下段: 構成比 ■ 上位1項目	サンプル数	はい	いいえ	無回答
全体	238	185	50	3
	100.0%	77.7%	21.0%	1.3%
住んでいる地域に、そのような場所がないため	41	29	12	0
	100.0%	70.7%	29.3%	0.0%
行くのに時間がかかるため	17	10	7	0
	100.0%	58.8%	41.2%	0.0%
開いている日時が合わないため	3	3	0	0
	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%
お金がかかるため	9	6	3	0
	100.0%	66.7%	33.3%	0.0%
家や学校以外に必要と感じないため	56	47	9	0
	100.0%	83.9%	16.1%	0.0%
その他	4	3	0	1
	100.0%	75.0%	0.0%	25.0%
無回答	4	3	1	0
	100.0%	75.0%	25.0%	0.0%

- (参考) : 【問 27】 家や学校以外に居場所がない理由⇒「家や学校以外に必要と感じないため」と回答した方×【問 20】 学校は居場所であるか

家や学校以外に「ここに居たい」と感じる居場所がない理由について、「家（普段寝起きしている場所）や学校（授業や部活、クラブ活動）以外に必要と感じないため」と回答した方に、学校は居場所であるかをたずねたところ、「はい」と回答した割合は 83.9%となっている。



小数点第2位を四捨五入しているため、合計は100%と一致しない場合がある 上段: 回答者数 下段: 構成比 ■ 上位1項目	サンプル数	はい	いいえ	無回答
全体	233	183	48	2
	100.0%	78.5%	20.6%	0.9%
家や学校以外に必要と感じないため	56	47	9	0
	100.0%	83.9%	16.1%	0.0%

- (参考) : 【問 27】 家や学校以外に居場所がない理由 × 【問 19】 家は居場所であるか ×  
【問 20】 学校は居場所であるか

サンプル数が少ないことに留意する必要があるが、家に居場所がなく、家や学校以外に居場所を必要と感じないと回答した方に、学校は居場所であるかをたずねたところ、「はい」と回答した割合は 100.0%となっている。

		ある(はい)	ない(いいえ)
問19	家に居場所		●
問22	家や学校以外に居場所		●
問27	理由:家や学校以外に必要と感じない =学校に居場所があるか	●	

【問19→2いいえ、問22→いいえ 回答者】 × 問27【居場所がない理由】

※対象者数:10人		回答数	%
複数回答	住んでいる地域に、そのような場所がないから	5	62.5%
	(行きたい場所はあるが)行くのに時間がかかるため	3	37.5%
	(行きたい場所はあるが、その場所の)開いている日時が合わないため	1	12.5%
	(行きたい場所はあるが)お金がかかるため	2	25.0%
	家(普段寝起きをしている場所)や学校(授業や部活、クラブ活動)以外に必要と感じないため	4	50.0%
	その他	0	0.0%
	無回答	0	0.0%
サンプル数		10	-

上記対象者 × 問20

※対象者数:4人		回答数	%
	はい	4	100.0%
	いいえ	0	0.0%
	無回答	0	0.0%
合計		4	100.0%

- (参考) : 【問 27】 家や学校以外に居場所がない理由 × 【問 20】 学校は居場所であるか × 【問 19】 家は居場所であるか

学校に居場所がなく、家や学校以外に居場所を必要と感じないと回答した方に、家は居場所であるかをたずねたところ、「はい」と回答した割合は 100.0%となっている。

		ある(はい)	ない(いいえ)
問20	学校に居場所		●
問22	家や学校以外に居場所		●
問27	理由:家や学校以外に必要と感じない =家に居場所があるか	●	

【問20→2いいえ、問22→いいえ 回答者】 × 問27【居場所がない理由】

※対象者数:26人		回答数	%
複数回答	住んでいる地域に、そのような場所がないから	12	46.2%
	(行きたい場所はあるが)行くのに時間がかかるため	7	26.9%
	(行きたい場所はあるが、その場所の)開いている日時が合わないため	0	0.0%
	(行きたい場所はあるが)お金がかかるため	3	11.5%
	家(普段寝起きをしている場所)や学校(授業や部活、クラブ活動)以外に必要と感じないため	9	34.6%
	その他	0	0.0%
	無回答	0	0.0%
サンプル数		26	-

上記対象者 × 問19

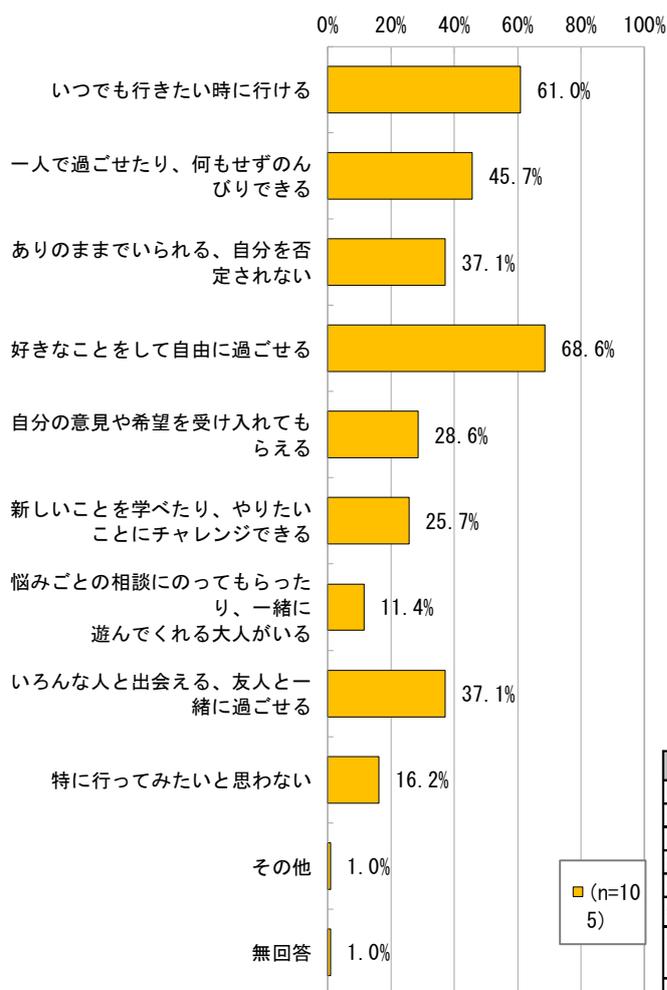
※対象者数:9人		回答数	%
	はい	9	100.0%
	いいえ	0	0.0%
	無回答	0	0.0%
合計		9	100.0%

問 28 問 22 で「2. ない」と答えた方にお聞きします。

あなたは、どのような場所であれば行ってみたいと思いますか。

(あてはまるものすべてに○)

どのような場所であれば行ってみたいかについては、「好きなことをして自由に過ごせる」68.6%が最も高く、次いで「いつでも行きたい時に行ける」61.0%、「一人で過ごせたり、何もせずのんびりできる」45.7%となっている。



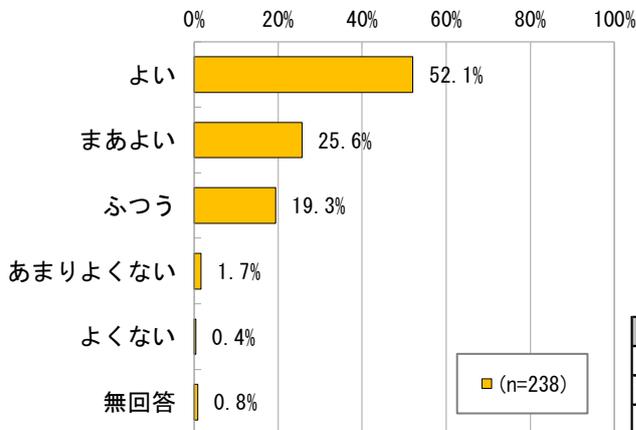
項目	回答数	構成比
いつでも行きたい時に行ける	64	61.0%
一人で過ごせたり、何もせずのんびりできる	48	45.7%
ありのままにいられる、自分を否定されない	39	37.1%
好きなことをして自由に過ごせる	72	68.6%
自分の意見や希望を受け入れてもらえる	30	28.6%
新しいことを学べたり、やりたいことにチャレンジできる	27	25.7%
悩みごとの相談にのってもらったり、一緒に遊んでくれる大人がいる	12	11.4%
いろんな人と出会える、友人と一緒に過ごせる	39	37.1%
特に行ってみたいと思わない	17	16.2%
その他	1	1.0%
無回答	1	1.0%
サンプル数	105	-

【その他の回答】

- ・近場で遊べる など

問 29 あなたの健康状態について教えてください。(あてはまるもの1つに○)

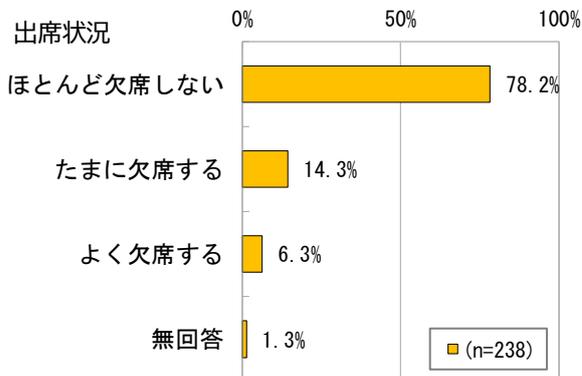
健康状態については、「よい」52.1%が最も高く、次いで「まあよい」25.6%、「ふつう」19.3%となっている。『よい』（「よい」＋「まあよい」）と回答した方の割合は全体の77.7%を占める。



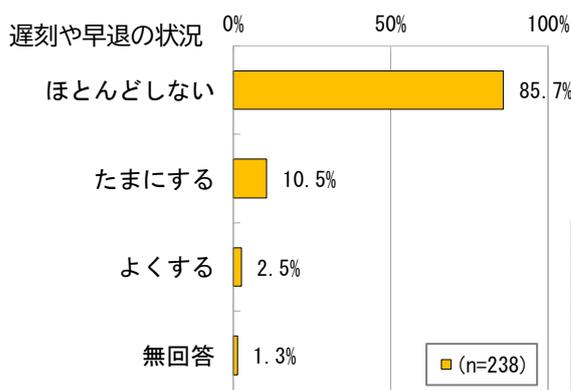
項目	回答数	構成比
よい	124	52.1%
まあよい	61	25.6%
ふつう	46	19.3%
あまりよくない	4	1.7%
よくない	1	0.4%
無回答	2	0.8%
合計	238	100.0%

問 30 学校への通学状況等について教えてください。(あてはまるもの1つに○)

通学状況について、出席状況では「ほとんど欠席しない」78.2%が最も高く、次いで「たまに欠席する」14.3%となっている。遅刻や早退の状況では「ほとんどしない」85.7%が最も高く、次いで「たまにする」10.5%となっている。



項目	回答数	構成比
ほとんど欠席しない	186	78.2%
たまに欠席する	34	14.3%
よく欠席する	15	6.3%
無回答	3	1.3%
合計	238	100.0%



項目	回答数	構成比
ほとんどしない	204	85.7%
たまにする	25	10.5%
よくする	6	2.5%
無回答	3	1.3%
合計	238	100.0%

問31 ふだんの学校生活等において、以下の中であてはまるものはありますか。  
(あてはまるものをすべてに○)

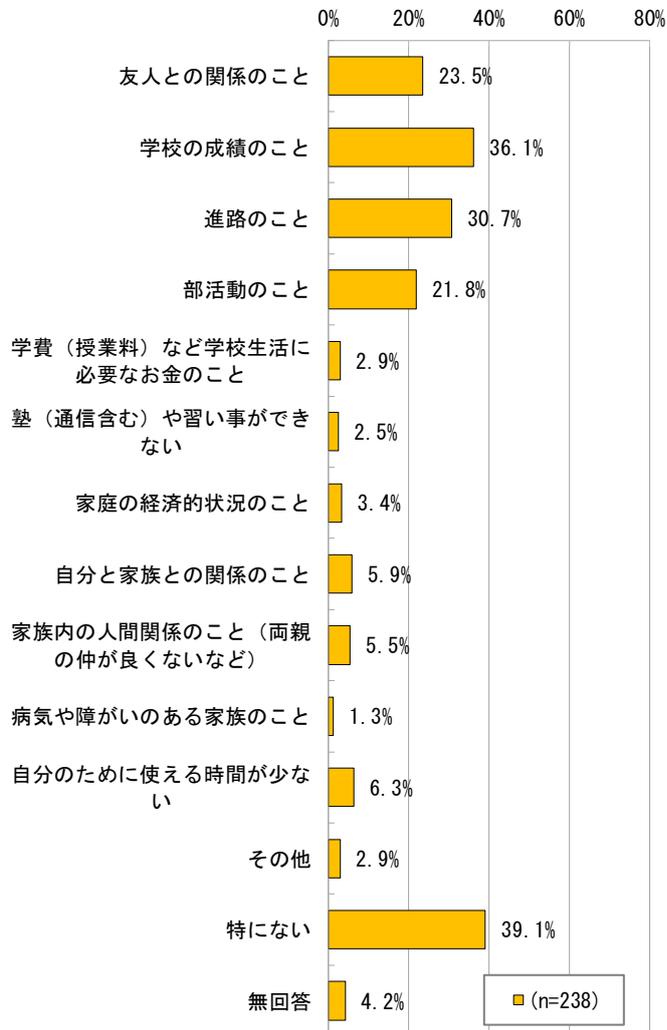
ふだんの学校生活等において、あてはまるものがあるかについて、「特にない」48.3%が最も高く、次いで「持ち物の忘れ物が多い」25.6%、「提出しなければいけない書類などの提出が遅れることが多い」17.2%となっている。



項目	回答数	構成比
授業中に居眠りすることが多い	33	13.9%
宿題や課題ができていないことが多い	27	11.3%
持ち物の忘れ物が多い	61	25.6%
部活動や習い事を休むことが多い	18	7.6%
提出しなければいけない書類などの提出が遅れることが多い	41	17.2%
修学旅行などの宿泊行事を欠席する	2	0.8%
保健室で過ごすことが多い	1	0.4%
学校では1人で過ごすことが多い	22	9.2%
友人と遊んだり、おしゃべりする時間が少ない	20	8.4%
特にない	115	48.3%
無回答	8	3.4%
サンプル数	238	-

問 32 現在、悩んだり困っていることはありますか。(あてはまるものすべてに○)

現在、悩んだり困っていることについては、「特にない」39.1%が最も高く、次いで「学校の成績のこと」36.1%、「進路のこと」30.7%となっている。



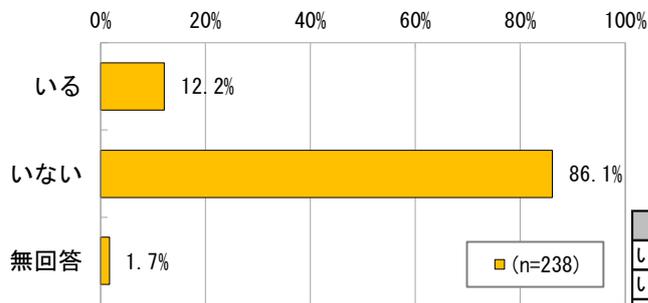
項目	回答数	構成比
友人との関係のこと	56	23.5%
学校の成績のこと	86	36.1%
進路のこと	73	30.7%
部活動のこと	52	21.8%
学費（授業料）など学校生活に必要なお金のこと	7	2.9%
塾（通信含む）や習い事ができない	6	2.5%
家庭の経済的状況のこと	8	3.4%
自分と家族との関係のこと	14	5.9%
家族内の人間関係のこと（両親の仲が良くないなど）	13	5.5%
病気や障がいのある家族のこと	3	1.3%
自分のために使える時間が少ない	15	6.3%
その他	7	2.9%
特にない	93	39.1%
無回答	10	4.2%
サンプル数	238	-

【その他の回答】

- ・ 将来の夢、スマホの使い方、視力 ・ 修学旅行のこと
- ・ 学校の先生との関係 ・ もっと遊びたい
- ・ 部活の先輩にいじめられ、顧問の先生は止めてくれないこと
- ・ 自分に任されている重大なこと など

問 33 家族の中にあなたがお世話をしている人はいますか。(あてはまるもの1つに○)

家族の中にお世話をしている人がいるかどうかについては、「いる」12.2%、「いない」86.1%となっている。

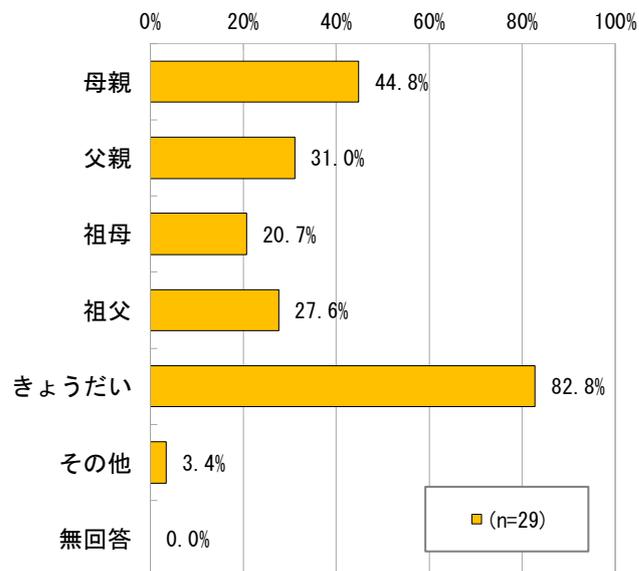


項目	回答数	構成比
いる	29	12.2%
いない	205	86.1%
無回答	4	1.7%
合計	238	100.0%

問 34 問 33 で「1. いる」と答えた方にお聞きします。

お世話を必要としている方は誰ですか。(あてはまるものすべてに○)

お世話を必要としている方については、「きょうだい」82.8%が最も高く、次いで「母親」44.8%、「父親」31.0%となっている。



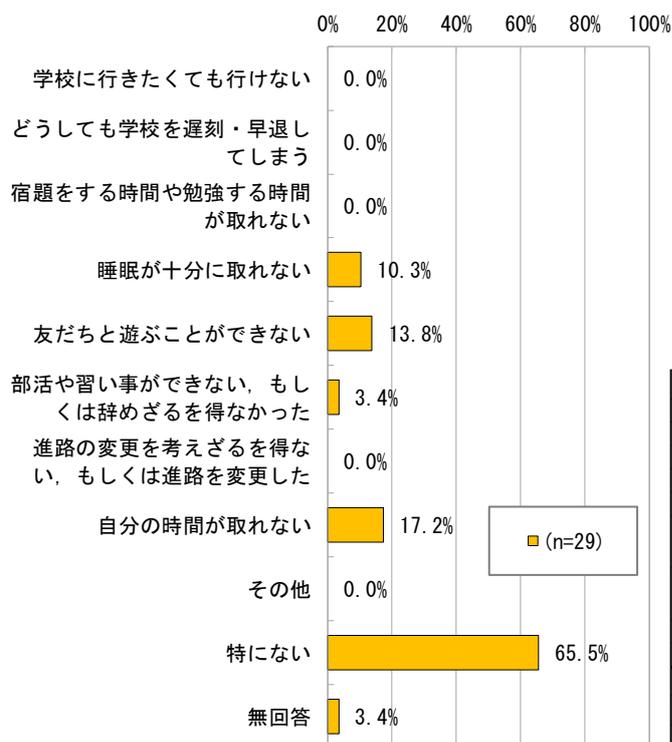
項目	回答数	構成比
母親	13	44.8%
父親	9	31.0%
祖母	6	20.7%
祖父	8	27.6%
きょうだい	24	82.8%
その他	1	3.4%
無回答	0	0.0%
サンプル数	29	-

問35 問33で「1. いる」と答えた方にお聞きします。

お世話をしていることで、やりたいけど、できていないことはありますか。

(あてはまるものをすべてえらんでください。)

お世話をしていることで、やりたいけどできていないことについては、「特にない」65.5%が最も高く、次いで「自分の時間が取れない」17.2%、「友だちと遊ぶことができない」13.8%となっている。

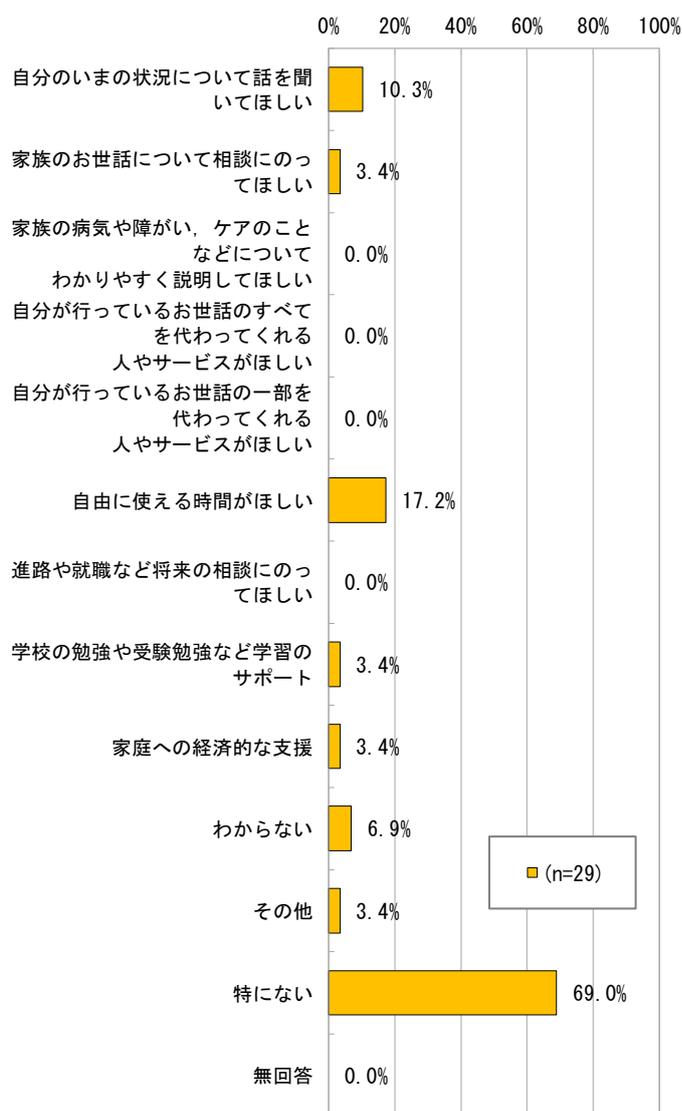


項目	回答数	構成比
学校に行きたくても行けない	0	0.0%
どうしても学校を遅刻・早退してしまう	0	0.0%
宿題をする時間や勉強する時間が取れない	0	0.0%
睡眠が十分に取れない	3	10.3%
友だちと遊ぶことができない	4	13.8%
部活や習い事ができない、もしくは辞めざるを得なかった	1	3.4%
進路の変更を考えざるを得ない、もしくは進路を変更した	0	0.0%
自分の時間が取れない	5	17.2%
その他	0	0.0%
特にない	19	65.5%
無回答	1	3.4%
サンプル数	29	-

問36 問33で「1. いる」と回答した方にお聞きします。

学校や周りの大人に助けてほしいことや、必要としている支援はありますか。  
(あてはまるものをすべてえらんでください。)

学校や周りの大人に助けてほしいことや、必要としている支援については、「特にない」69.0%が最も高く、次いで「自由に使える時間がほしい」17.2%、「自分のいまの状況について話を聞いてほしい」10.3%となっている。



項目	回答数	構成比
自分のいまの状況について話を聞いてほしい	3	10.3%
家族のお世話について相談にのってほしい	1	3.4%
家族の病気や障がい、ケアのことなどについてわかりやすく説明してほしい	0	0.0%
自分が行っているお世話のすべてを代わってくれる人やサービスがほしい	0	0.0%
自分が行っているお世話の一部を代わってくれる人やサービスがほしい	0	0.0%
自由に使える時間がほしい	5	17.2%
進路や就職など将来の相談にのってほしい	0	0.0%
学校の勉強や受験勉強など学習のサポート	1	3.4%
家庭への経済的な支援	1	3.4%
わからない	2	6.9%
その他	1	3.4%
特にない	20	69.0%
無回答	0	0.0%
サンプル数	29	-

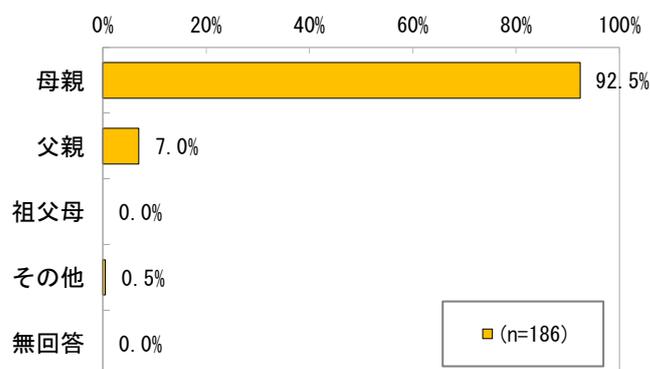
【その他の回答】

- ・部活をできるようにしてほしい など

## VI 調査結果（小学5年生保護者）

問2 お子さんとあなたとの関係は、次のどれにあたりますか。お子さんからみた続柄でお答えください。(あてはまるもの1つに○)

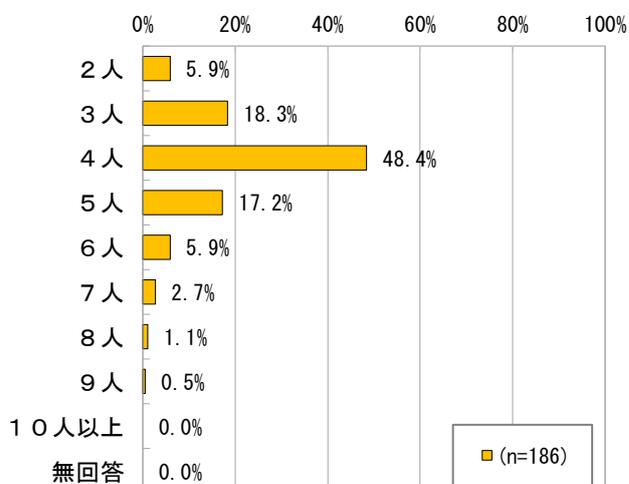
回答者の続柄については、「母親」92.5%が最も高く、次いで「父親」7.0%となっている。



項目	回答数	構成比
母親	172	92.5%
父親	13	7.0%
祖父母	0	0.0%
その他	1	0.5%
無回答	0	0.0%
合計	186	100.0%

問3 お子さんと同居し、生計を同一にしているご家族の構成と人数をお答えください。単身赴任中の方や学業のために世帯を離れているお子さんがいる場合には、ご家族の人数に含めて教えてください。(a~h それぞれについて、あてはまるもの1つに○)

生計を同一にしている家族の構成と人数については、「4人」48.4%が最も高く、次いで「3人」18.3%、「5人」17.2%となっている。

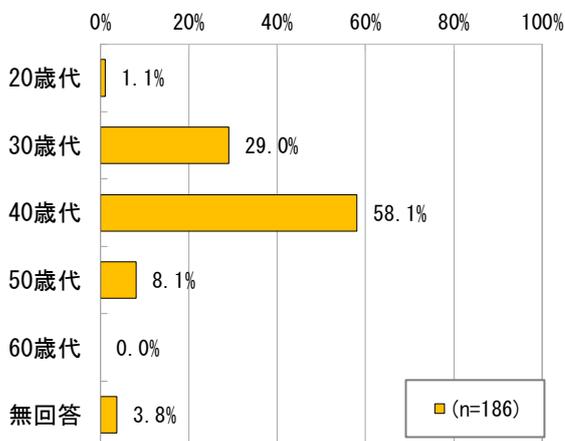


項目	回答数	構成比
2人	11	5.9%
3人	34	18.3%
4人	90	48.4%
5人	32	17.2%
6人	11	5.9%
7人	5	2.7%
8人	2	1.1%
9人	1	0.5%
10人以上	0	0.0%
無回答	0	0.0%
合計	186	100.0%

問4 お子さんの親の現在の年齢についてお答えください。

(1)母親

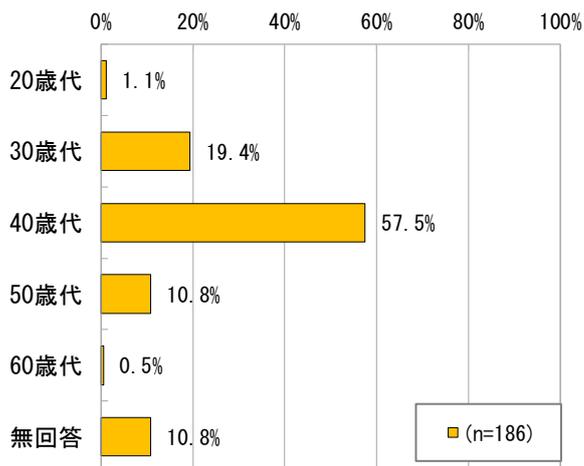
母親の現在の年齢については、「40歳代」58.1%が最も高く、次いで「30歳代」29.0%、「50歳代」8.1%となっている。



項目	回答数	構成比
20歳代	2	1.1%
30歳代	54	29.0%
40歳代	108	58.1%
50歳代	15	8.1%
60歳代	0	0.0%
無回答	7	3.8%
合計	186	100.0%

(2)父親

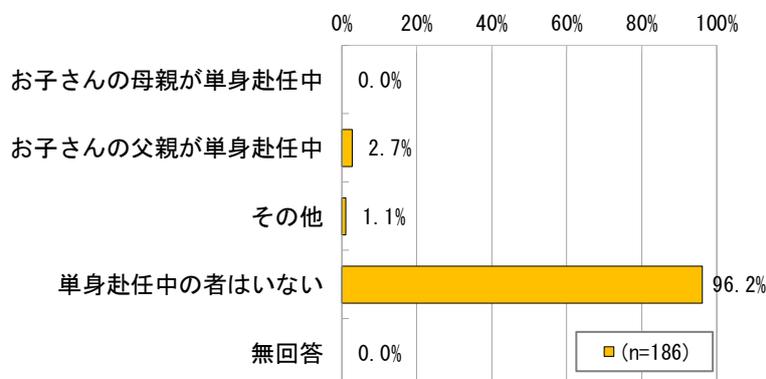
父親の現在の年齢については、「40歳代」57.5%が最も高く、次いで「30歳代」19.4%、「50歳代」10.8%となっている。



項目	回答数	構成比
20歳代	2	1.1%
30歳代	36	19.4%
40歳代	107	57.5%
50歳代	20	10.8%
60歳代	1	0.5%
無回答	20	10.8%
合計	186	100.0%

問5 お子さんのご家族のうち、現在単身赴任中の方はいらっしゃいますか。  
(1～3については、あてはまるものすべてに○)

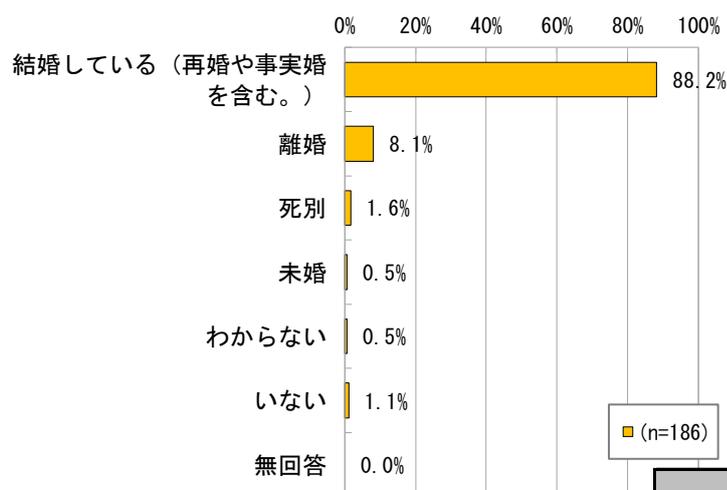
現在単身赴任中の家族については、「単身赴任中の者はいない」96.2%が最も高くなっている。



項目	回答数	構成比
お子さんの母親が単身赴任中	0	0.0%
お子さんの父親が単身赴任中	5	2.7%
その他	2	1.1%
単身赴任中の者はいない	179	96.2%
無回答	0	0.0%
サンプル数	186	-

問6 お子さんと同居し、生計を同一にしている親の婚姻状況を教えてください。  
(あてはまるもの1つに○)

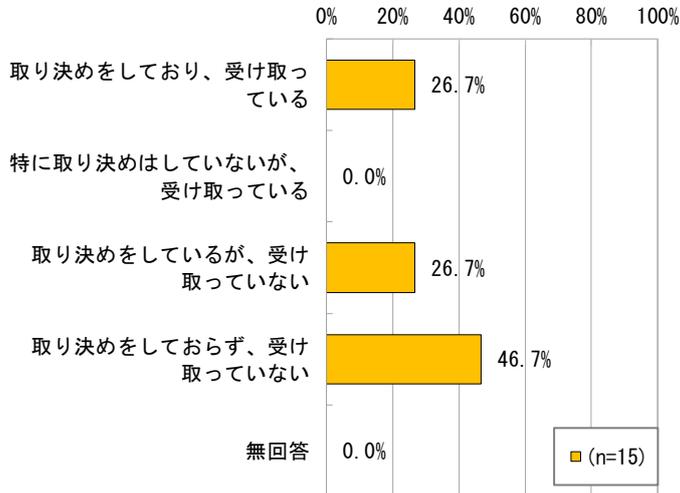
子どもと同居し、生計を同一にしている親の婚姻状況については、「結婚している（再婚や事実婚を含む。）」88.2%が最も高く、次いで「離婚」8.1%、「死別」1.6%となっている。



項目	回答数	構成比
結婚している（再婚や事実婚を含む。）	164	88.2%
離婚	15	8.1%
死別	3	1.6%
未婚	1	0.5%
わからない	1	0.5%
いない	2	1.1%
無回答	0	0.0%
合計	186	100.0%

問7 問6で「2. 離婚」を選んだ場合、離婚相手と子供の養育費の取り決めをしていますか。また養育費を現在受け取っていますか。(あてはまるもの1つに○)

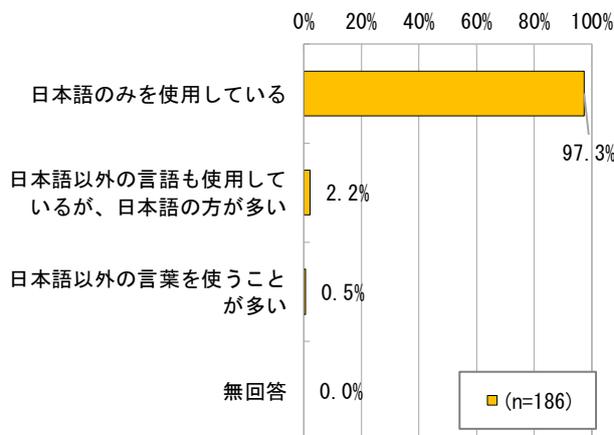
離婚している場合の養育費については、「取り決めをしておらず、受け取っていない」46.7%が最も高く、次いで「取り決めをしており、受け取っている」、「取り決めをしているが、受け取っていない」がいずれも26.7%となっている。



項目	回答数	構成比
取り決めをしており、受け取っている	4	26.7%
特に取り決めはしていないが、受け取っている	0	0.0%
取り決めをしているが、受け取っていない	4	26.7%
取り決めをしておらず、受け取っていない	7	46.7%
無回答	0	0.0%
合計	15	100.0%

問8 ご家庭ではどれくらい、日本語以外の言語を使用していますか。(あてはまるもの1つに○)

家庭での日本語以外の使用については、「日本語のみを使用している」97.3%が最も高くなっている。



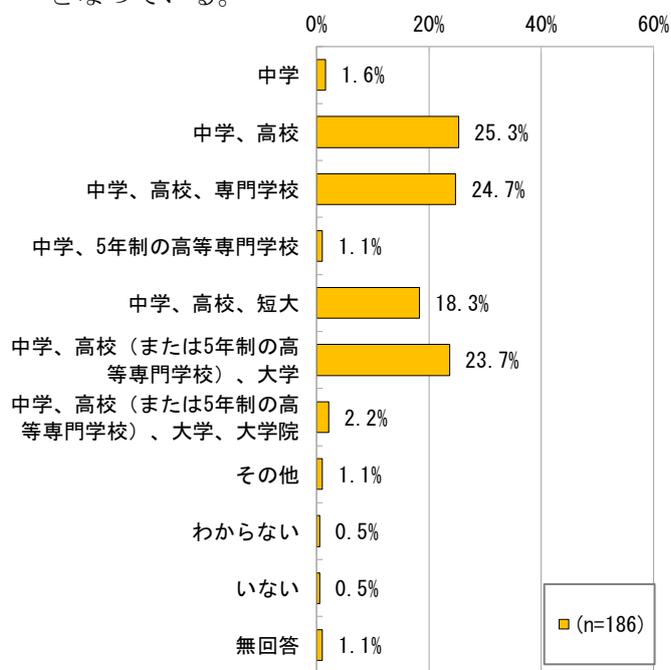
項目	回答数	構成比
日本語のみを使用している	181	97.3%
日本語以外の言語も使用しているが、日本語の方が多い	4	2.2%
日本語以外の言葉を使うことが多い	1	0.5%
無回答	0	0.0%
合計	186	100.0%

問9 お子さんの親が卒業・修了した学校をお答えください。

(a. b それぞれについて、あてはまるものひとつに○)

(a) 母親

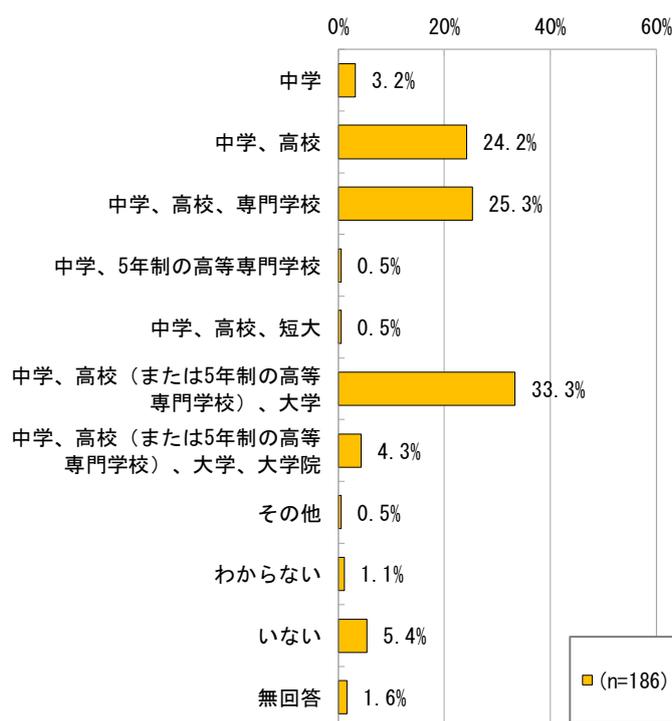
卒業・修了した学校について、母親では、「中学、高校」25.3%が最も高く、次いで「中学、高校、専門学校」24.7%、「中学、高校（または5年制の高等専門学校）、大学」23.7%となっている。



項目	回答数	構成比
中学	3	1.6%
中学、高校	47	25.3%
中学、高校、専門学校	46	24.7%
中学、5年制の高等専門学校	2	1.1%
中学、高校、短大	34	18.3%
中学、高校（または5年制の高等専門学校）、大学	44	23.7%
中学、高校（または5年制の高等専門学校）、大学、大学院	4	2.2%
その他	2	1.1%
わからない	1	0.5%
いない	1	0.5%
無回答	2	1.1%
合計	186	100.0%

(b) 父親

卒業・修了した学校について、父親では、「中学、高校（または5年制の高等専門学校）、大学」33.3%が最も高く、次いで「中学、高校、専門学校」25.3%、「中学、高校」24.2%となっている。



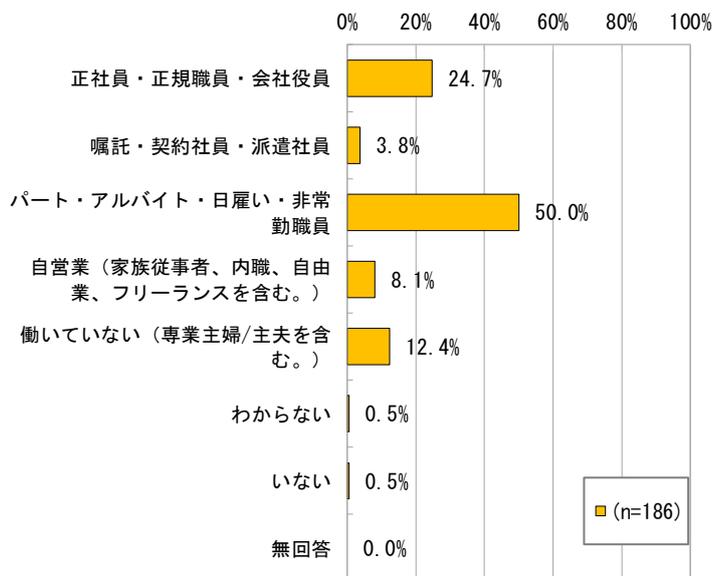
項目	回答数	構成比
中学	6	3.2%
中学、高校	45	24.2%
中学、高校、専門学校	47	25.3%
中学、5年制の高等専門学校	1	0.5%
中学、高校、短大	1	0.5%
中学、高校（または5年制の高等専門学校）、大学	62	33.3%
中学、高校（または5年制の高等専門学校）、大学、大学院	8	4.3%
その他	1	0.5%
わからない	2	1.1%
いない	10	5.4%
無回答	3	1.6%
合計	186	100.0%

問10 お子さんの親の就労状況について、あてはまるものを回答してください。

(a. b それぞれについて、あてはまるもの1つに○)

(a) 母親

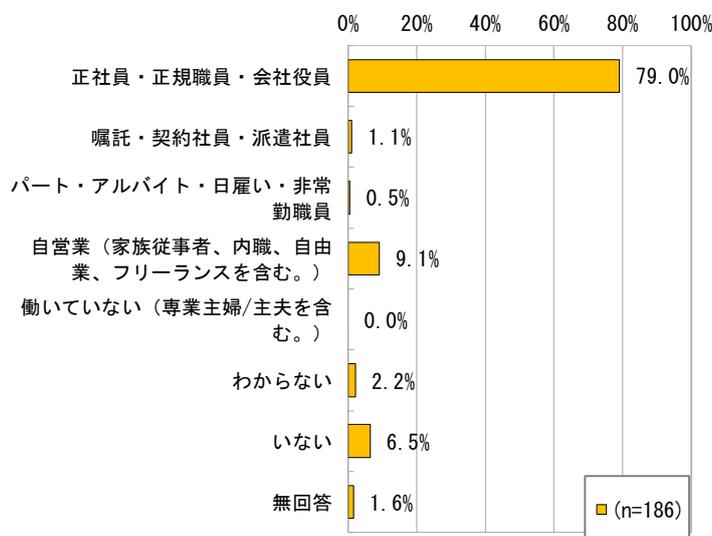
母親の就労状況については、「パート・アルバイト・日雇い・非常勤職員」50.0%が最も高く、次いで「正社員・正規職員・会社役員」24.7%、「働いていない（専業主婦/主夫を含む。）」12.4%となっている。



項目	回答数	構成比
正社員・正規職員・会社役員	46	24.7%
嘱託・契約社員・派遣社員	7	3.8%
パート・アルバイト・日雇い・非常勤職員	93	50.0%
自営業 (家族従事者、内職、自由業、フリーランスを含む。)	15	8.1%
働いていない (専業主婦/主夫を含む。)	23	12.4%
わからない	1	0.5%
いない	1	0.5%
無回答	0	0.0%
合計	186	100.0%

(b) 父親

父親の就労状況については、「正社員・正規職員・会社役員」79.0%が最も高く、次いで「自営業 (家族従事者、内職、自由業、フリーランスを含む。）」9.1%、「いない」6.5%となっている。



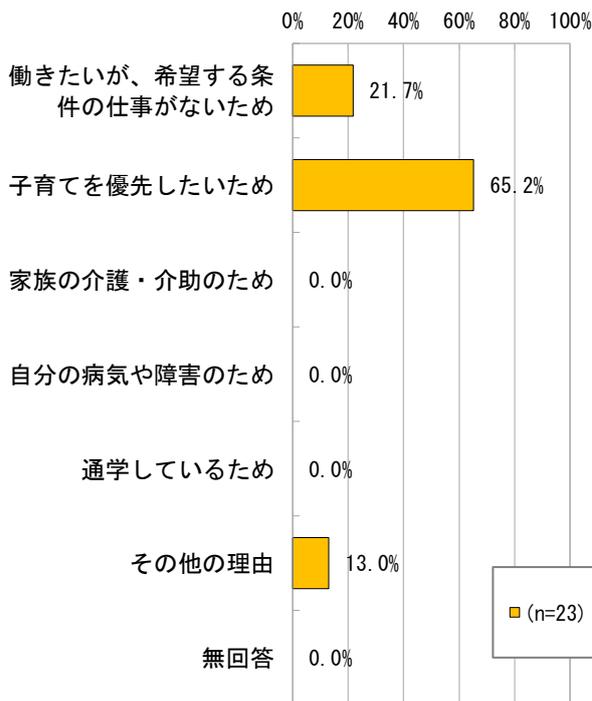
項目	回答数	構成比
正社員・正規職員・会社役員	147	79.0%
嘱託・契約社員・派遣社員	2	1.1%
パート・アルバイト・日雇い・非常勤職員	1	0.5%
自営業 (家族従事者、内職、自由業、フリーランスを含む。)	17	9.1%
働いていない (専業主婦/主夫を含む。)	0	0.0%
わからない	4	2.2%
いない	12	6.5%
無回答	3	1.6%
合計	186	100.0%

問11 前の質問で「5. 働いていない」と答えた場合、働いていない最も主な理由を教えてください。(a. b それぞれについて、あてはまるもの1つに○)

(a) 母親

働いていない理由について、母親では、「子育てを優先したいため」65.2%が最も高く、次いで「働きたいが、希望する条件の仕事がないため」21.7%、「その他の理由」13.0%となっている。

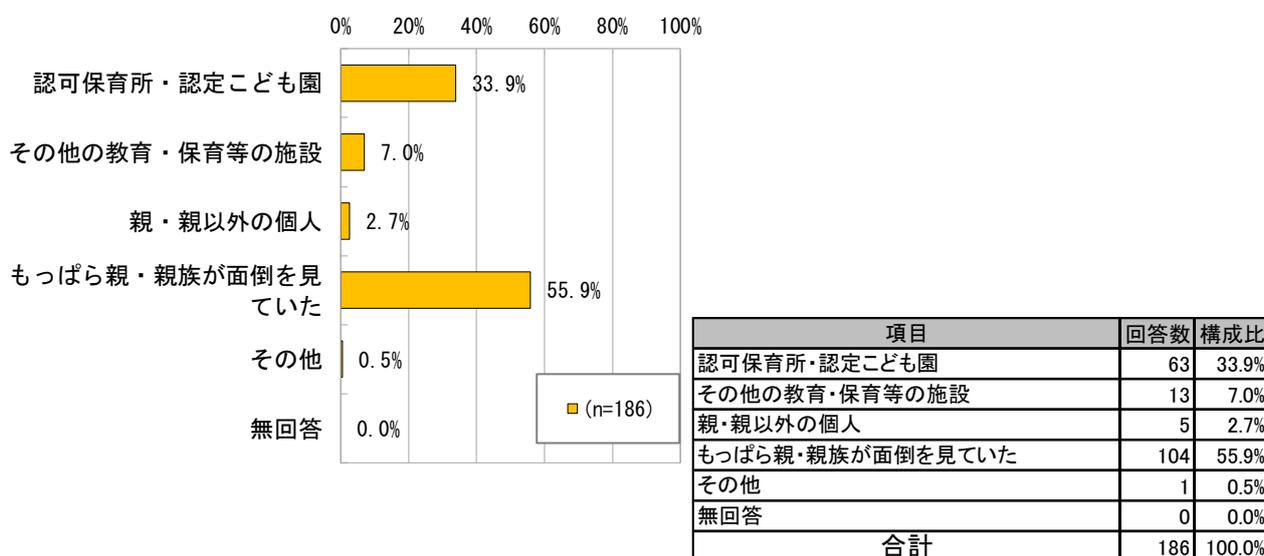
父親については、該当者がいなかった。



項目	回答数	構成比
働きたいが、希望する条件の仕事がないため	5	21.7%
子育てを優先したいため	15	65.2%
家族の介護・介助のため	0	0.0%
自分の病気や障害のため	0	0.0%
通学しているため	0	0.0%
その他の理由	3	13.0%
無回答	0	0.0%
合計	23	100.0%

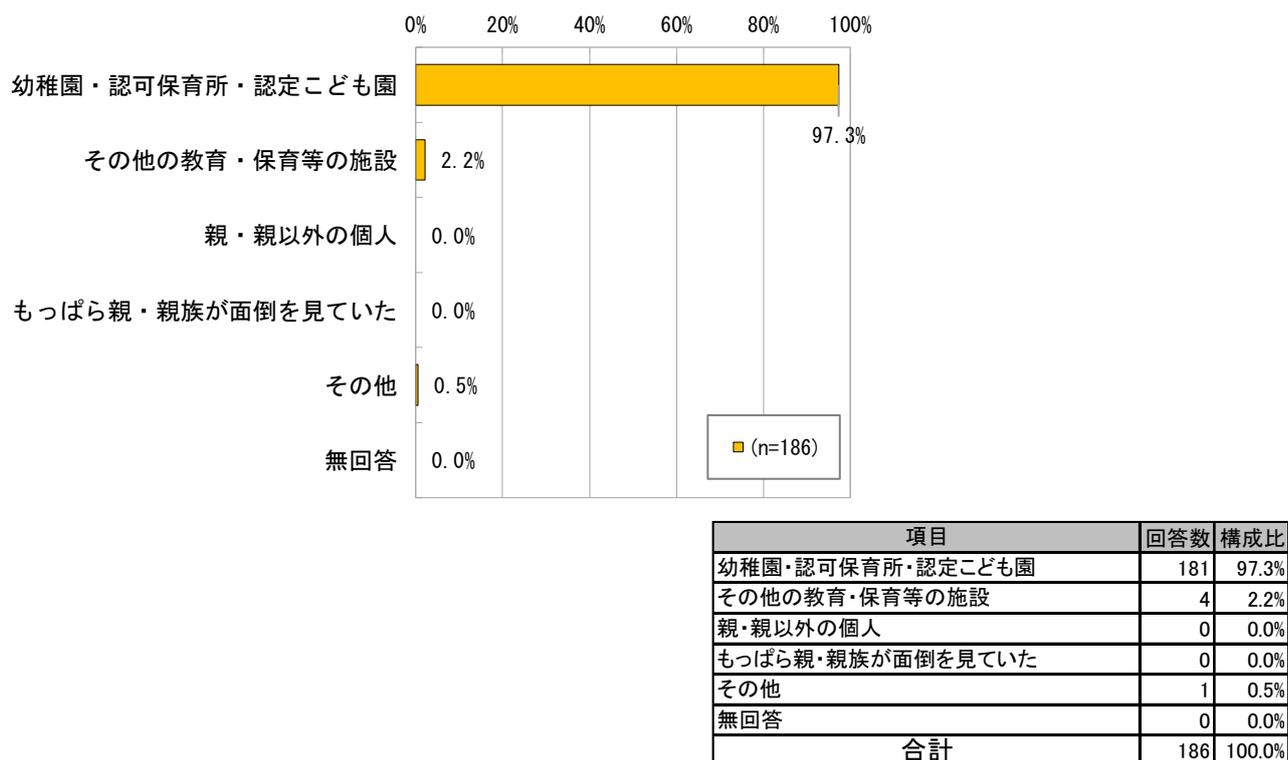
問12 お子さんが0～2歳の間に通っていた教育・保育施設等で最も主なもの(期間が長いもの)をお答えください。(あてはまるもの1つに○)

子どもが0～2歳の間に通っていた教育・保育施設等で最も主なものについては、「もっぱら親・親族が面倒を見ていた」55.9%が最も高く、次いで「認可保育所・認定こども園」33.9%、「その他の教育・保育等の施設」7.0%となっている。



問13 お子さんが3～5歳の間に通っていた教育・保育施設等で最も主なもの(期間が長いもの)をお答えください。(あてはまるもの1つに○)

子どもが3～5歳の間に通っていた教育・保育施設等で最も主なものについては、「幼稚園・認可保育所・認定こども園」97.3%が最も高く、次いで「その他の教育・保育等の施設」2.2%となっている。

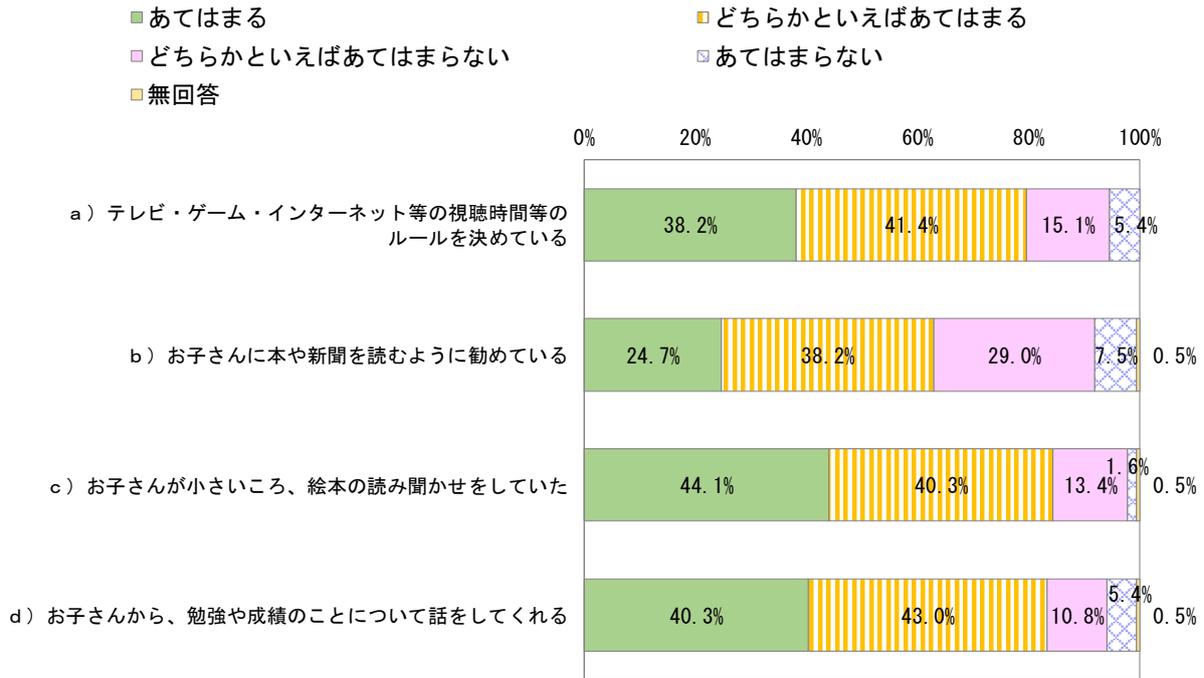


問14 あなたとお子さんの関わり方について、次のようなことにどれくらい当てはまりますか。  
(a~d それぞれについて、あてはまるもの1つに○)

子どもとの関わり方について、『あてはまる』（「あてはまる」＋「どちらかといえばあてはまる」）では、「お子さんが小さいころ、絵本の読み聞かせをしていた」84.4%が最も高く、次いで「お子さんから、勉強や成績のことについて話をしてくれる」83.3%となっている。

一方、『あてはまらない』（「どちらかといえばあてはまらない」＋「あてはまらない」）では「お子さんに本や新聞を読むように勧めている」36.5%が最も高くなっている。

(n=186)



項目	サンプル数	あてはまる	どちらかといえばあてはまる	どちらかといえばあてはまらない	あてはまらない	無回答
小数点第2位を四捨五入しているため、合計は100%と一致しない場合がある						
上段: 回答者数						
下段: 構成比						
■ 上位1項目						
a) テレビ・ゲーム・インターネット等の視聴時間等のルールを決めている	186	71	77	28	10	0
	100.0%	38.2%	41.4%	15.1%	5.4%	0.0%
b) お子さんに本や新聞を読むように勧めている	186	46	71	54	14	1
	100.0%	24.7%	38.2%	29.0%	7.5%	0.5%
c) お子さんが小さいころ、絵本の読み聞かせをしていた	186	82	75	25	3	1
	100.0%	44.1%	40.3%	13.4%	1.6%	0.5%
d) お子さんから、勉強や成績のことについて話をしてくれる	186	75	80	20	10	1
	100.0%	40.3%	43.0%	10.8%	5.4%	0.5%

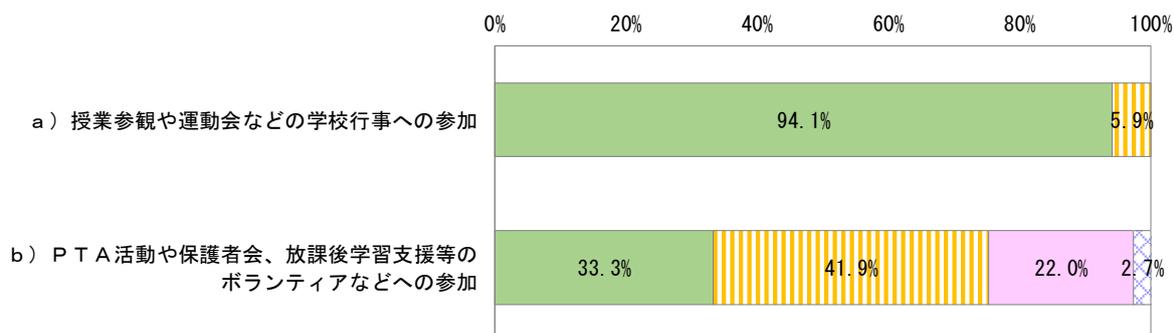
問15 あなたは、次のようなことをどの程度していますか。

(a. b それぞれについて、あてはまるもの1つに○)

学校行事、ボランティアなどへの参加については、『参加している』（「よく参加している」＋「ときどき参加している」）はいずれの項目でも7割以上を占めている。

(n=186)

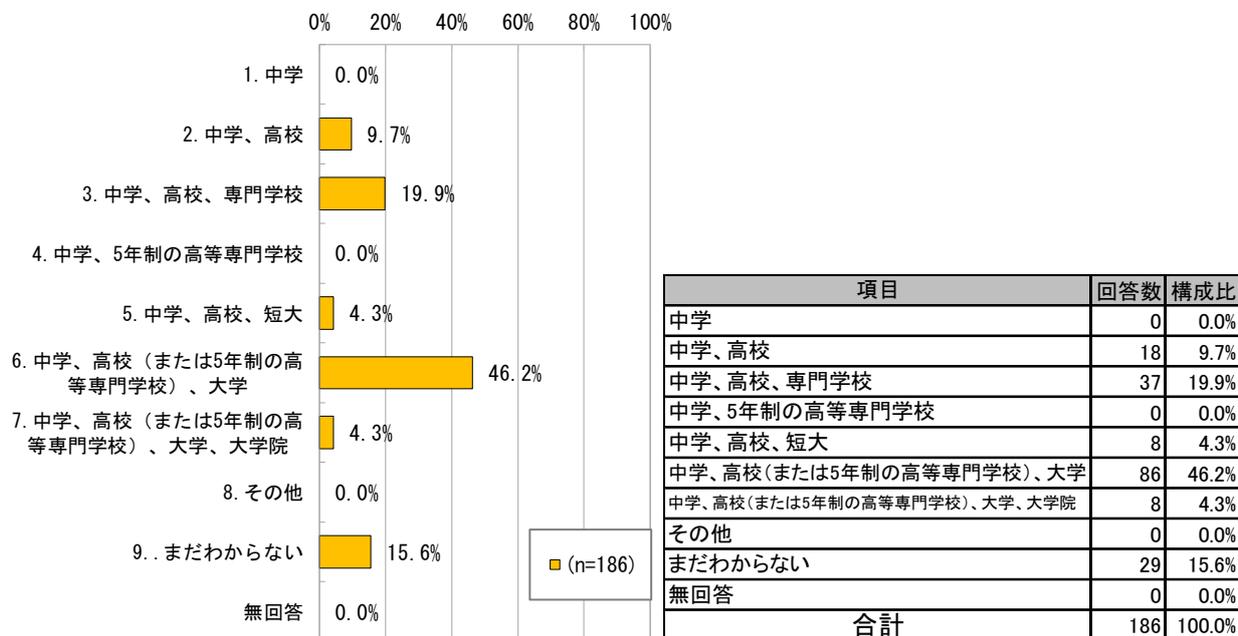
■よく参加している ■ときどき参加している ■あまり参加していない ■まったく参加していない ■無回答



小数点第2位を四捨五入しているため、合計は100%と一致しない場合がある  上段: 回答者数 下段: 構成比  ■ 上位1項目	サンプル数	よく参加している	ときどき参加している	あまり参加していない	まったく参加していない	無回答
a) 授業参観や運動会などの学校行事への参加	186	175	11	0	0	0
	100.0%	94.1%	5.9%	0.0%	0.0%	0.0%
b) PTA活動や保護者会、放課後学習支援等のボランティアなどへの参加	186	62	78	41	5	0
	100.0%	33.3%	41.9%	22.0%	2.7%	0.0%

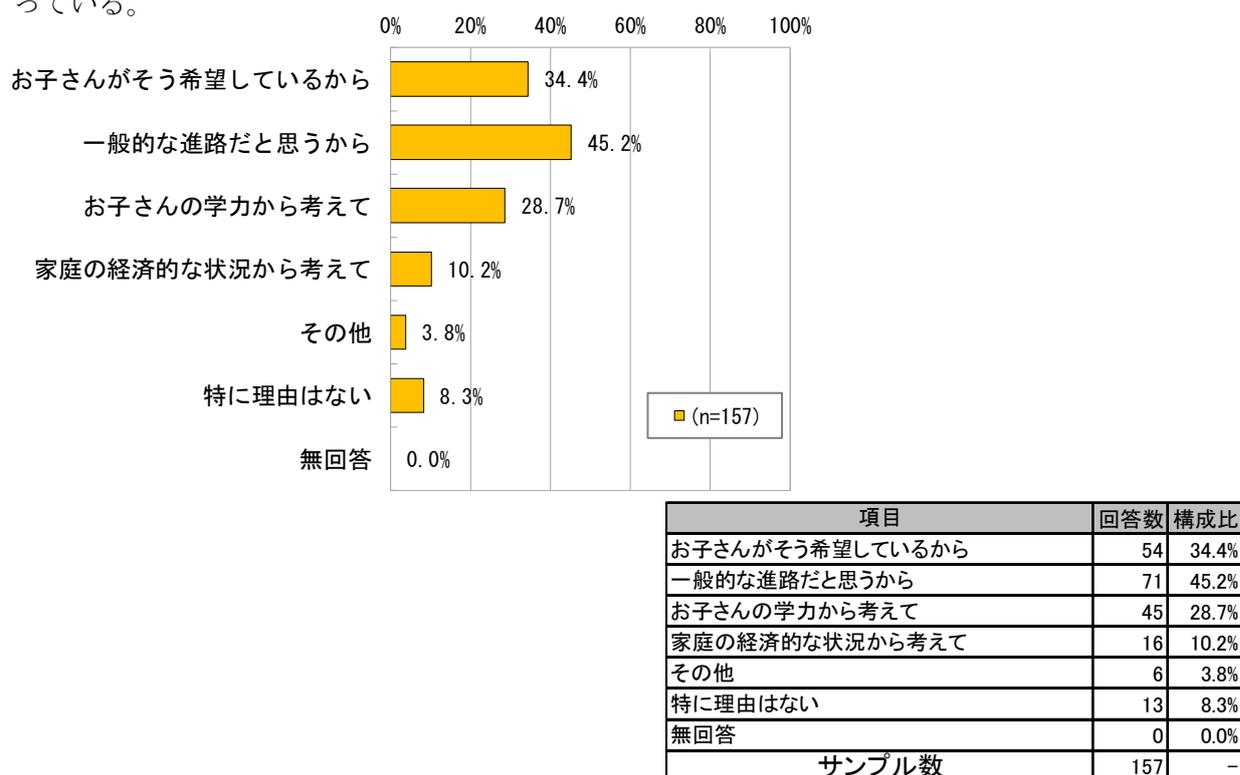
**問16 お子さんは将来、現実的に見てどの学校に進学すると思いますか。**  
(あてはまるものひとつに○)

子どもが進学すると思う学校については、「中学、高校（または5年制の高等専門学校）、大学」46.2%が最も高く、次いで「中学、高校、専門学校」19.9%、「まだわからない」15.6%となっている。



**問17 前の質問で1～8と答えた場合、その理由は何ですか。**  
(1～5については、あてはまるものすべてに○)

問16の回答をした理由については、「一般的な進路だと思うから」45.2%が最も高く、次いで「お子さんがそう希望しているから」34.4%、「お子さんの学力から考えて」28.7%となっている。

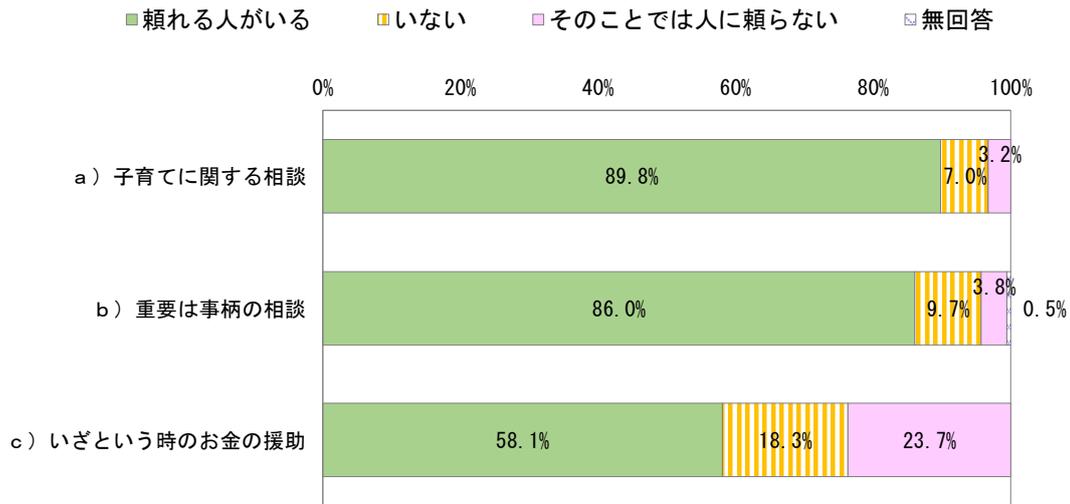


問18 あなたは次に挙げる事柄で頼れる人はいますか。  
 (a~c それぞれについて、1~3のあてはまるもの1つに○)  
 また、「1. 頼れる人がいる」場合、それはだれですか。(あてはまるものすべてに○)

頼れる人の有無については、「子育てに関する相談」、「重要は事柄の相談」についてはいずれも「頼れる人がいる」が8割を超えている。

一方、頼れる人が「いない」では「いざという時のお金の援助」が18.3%と他の項目と比較して高くなっている。

(n=186)



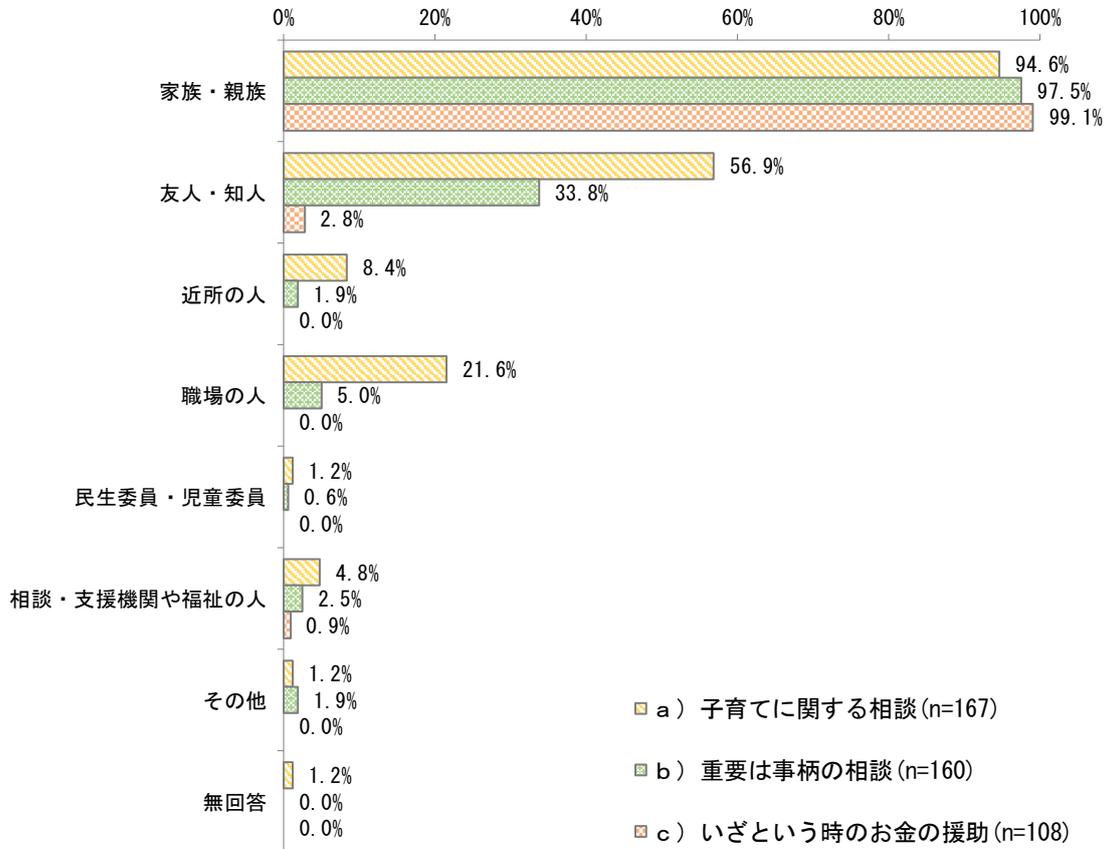
項目	サンプル数	頼れる人がいる	いない	そのことでは人に頼らない	無回答
a) 子育てに関する相談	186	167	13	6	0
b) 重要は事柄の相談	186	160	18	7	1
c) いざという時のお金の援助	186	108	34	44	0

小数点第2位を四捨五入しているため、合計は100%と一致しない場合があります

上段: 回答者数  
下段: 構成比

■ 上位1項目

相談をする人がいる場合、それは誰かについては、全ての項目で「家族・親族」が9割を超え最も高くなっている。

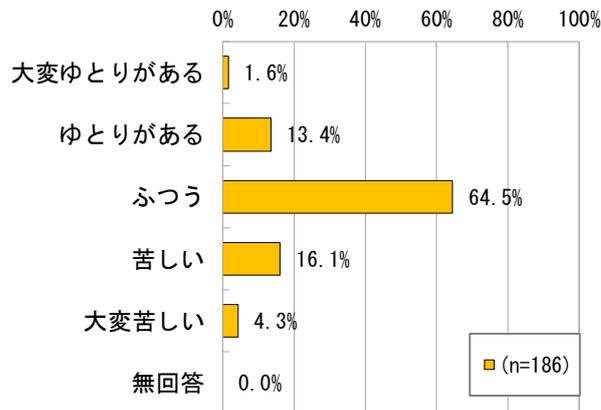


<small>小数点第2位を四捨五入しているため、合計は100%と一致しない場合がある</small> <small>上段: 回答者数</small> <small>下段: 構成比</small> <small>■ 上位1項目</small>	サンプル数	家族・親族	友人・知人	近所の人	職場の人	民生委員・児童委員	相談・支援機関や福祉の人	その他	無回答
		人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
a) 子育てに関する相談	167	158 94.6%	95 56.9%	14 8.4%	36 21.6%	2 1.2%	8 4.8%	2 1.2%	2 1.2%
b) 重要は事柄の相談	160	156 97.5%	54 33.8%	3 1.9%	8 5.0%	1 0.6%	4 2.5%	3 1.9%	0 0.0%
c) いざという時のお金の援助	108	107 99.1%	3 2.8%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 0.9%	0 0.0%	0 0.0%

問19 あなたは、現在の暮らしの状況をどのように感じていますか。(あてはまるもの1つに○)

現在の暮らしの状況について、「ふつう」64.5%が最も高く、次いで「苦しい」16.1%、「ゆとりがある」13.4%となっている。

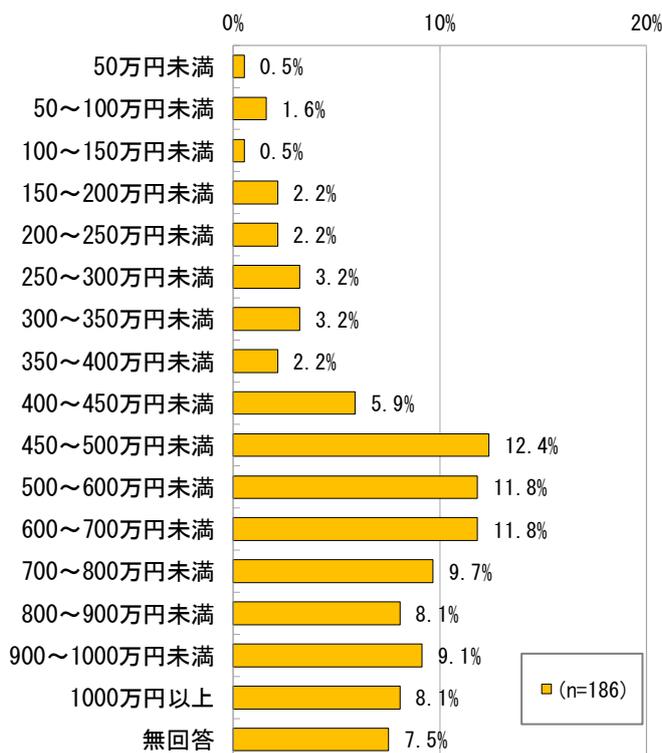
『ゆとりがある』（「大変ゆとりがある」＋「ゆとりがある」）と回答した人の割合は全体で15.0%である一方、『苦しい』（「苦しい」＋「大変苦しい」）と回答した人の割合は全体で20.4%となっている。



項目	回答数	構成比
大変ゆとりがある	3	1.6%
ゆとりがある	25	13.4%
ふつう	120	64.5%
苦しい	30	16.1%
大変苦しい	8	4.3%
無回答	0	0.0%
合計	186	100.0%

問20 世帯全体のおおよその年間収入(税込)はいくらですか。(あてはまるもの1つに○)

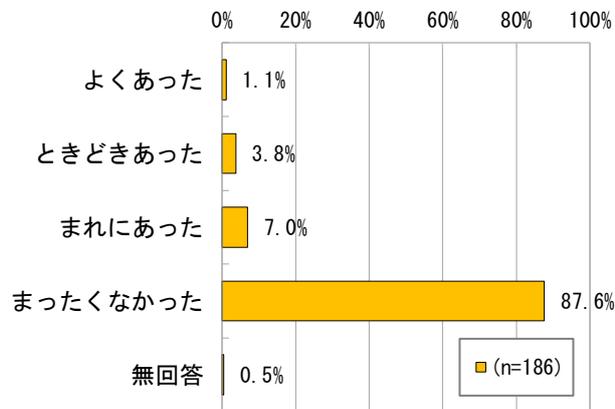
帯全体のおおよその年間収入については、「450～500万円未満」12.4%が最も高く、次いで「500～600万円未満」、「600～700万円未満」がいずれも11.8%、「700～800万円未満」9.7%となっている。



項目	回答数	構成比
50万円未満	1	0.5%
50～100万円未満	3	1.6%
100～150万円未満	1	0.5%
150～200万円未満	4	2.2%
200～250万円未満	4	2.2%
250～300万円未満	6	3.2%
300～350万円未満	6	3.2%
350～400万円未満	4	2.2%
400～450万円未満	11	5.9%
450～500万円未満	23	12.4%
500～600万円未満	22	11.8%
600～700万円未満	22	11.8%
700～800万円未満	18	9.7%
800～900万円未満	15	8.1%
900～1000万円未満	17	9.1%
1000万円以上	15	8.1%
無回答	14	7.5%
合計	186	100.0%

問21 あなたの世帯では、過去1年の間に、お金が足りなくて、家族が必要とする食料が買えないことがありましたか。ただし、嗜好品は含みません。(あてはまるもの1つに○)

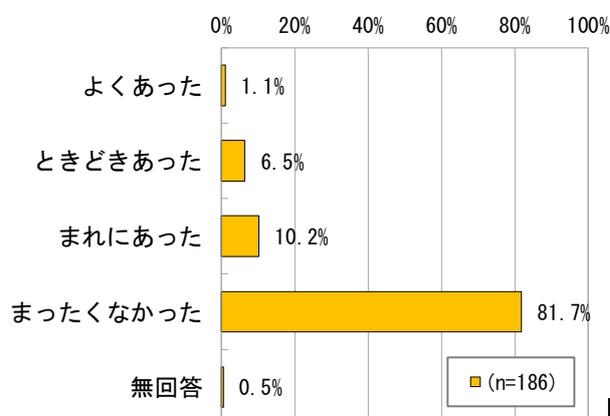
過去の1年の間に、お金が足りなくて、家族が必要とする食料が買えないことがあったかについて、『あった』(「よくあった」+「ときどきあった」+「まれにあった」)と回答した人の割合は全体で11.9%となっている。



項目	回答数	構成比
よくあった	2	1.1%
ときどきあった	7	3.8%
まれにあった	13	7.0%
まったくなかった	163	87.6%
無回答	1	0.5%
合計	186	100.0%

問22 あなたの世帯では、過去1年の間に、お金が足りなくて、家族が必要とする衣服が買えないことがありましたか。ただし、高価な衣服や貴金属・宝飾品は含みません。(あてはまるもの1つに○)

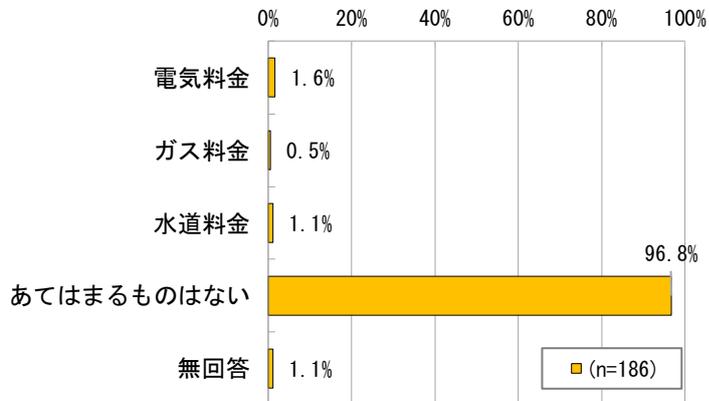
過去の1年の間に、お金が足りなくて、家族が必要とする衣服が買えないことがあったかについて、『あった』(「よくあった」+「ときどきあった」+「まれにあった」)と回答した人の割合は全体で17.8%となっている。



項目	回答数	構成比
よくあった	2	1.1%
ときどきあった	12	6.5%
まれにあった	19	10.2%
まったくなかった	152	81.7%
無回答	1	0.5%
合計	186	100.0%

問23 あなたの世帯では、過去1年の間に、以下の料金について、経済的な理由で未払いになったことがありましたか。(1～3については、あてはまるものすべてに○)

過去1年の間に、経済的な理由で未払いになったことがあったかについては、「あてはまるものはない」96.8%が最も高くなっている。

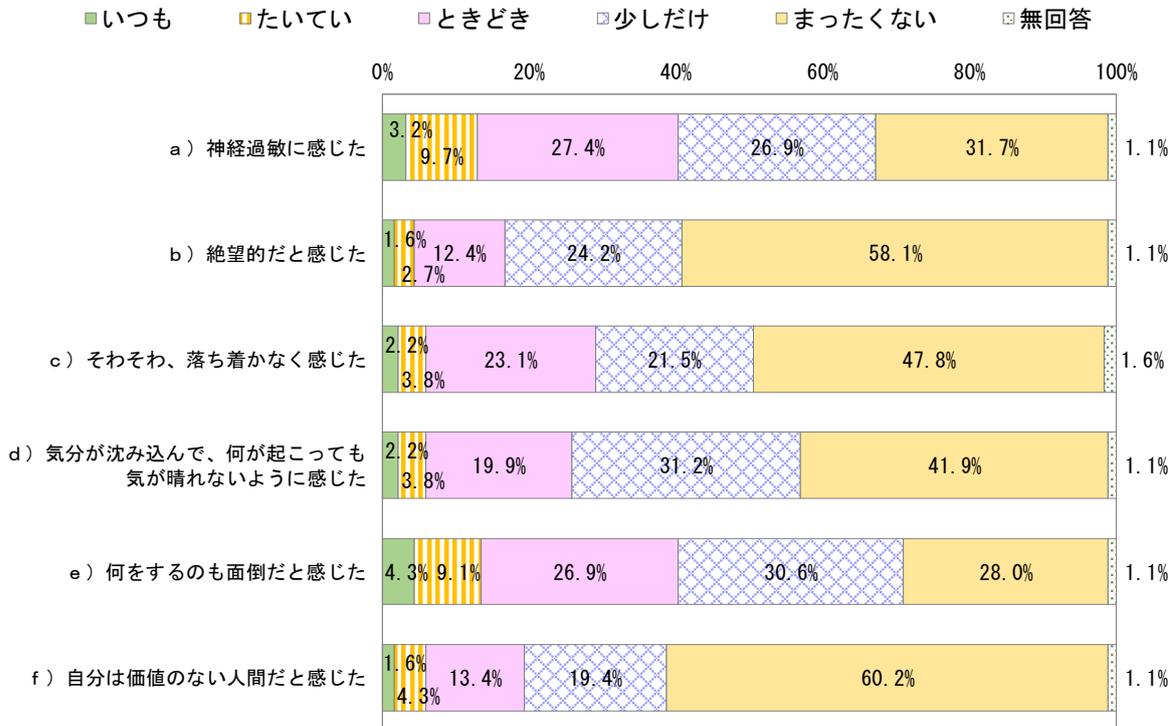


項目	回答数	構成比
電気料金	3	1.6%
ガス料金	1	0.5%
水道料金	2	1.1%
あてはまるものはない	180	96.8%
無回答	2	1.1%
サンプル数	186	-

問24 次の a)~f)の質問について、この1か月間のあなたの気持ちはどのようなでしたか。  
(a~f それぞれについて、あてはまるもの1つに○)

この1か月間の気持ちについては、『該当する』（「いつも」+「たいてい」+「ときどき」+「少しだけ」）人の割合は、「何もするのにも面倒だと感じた」が70.9%で最も高く、次いで「神経過敏に感じた」67.2%となっている。

(n=186)

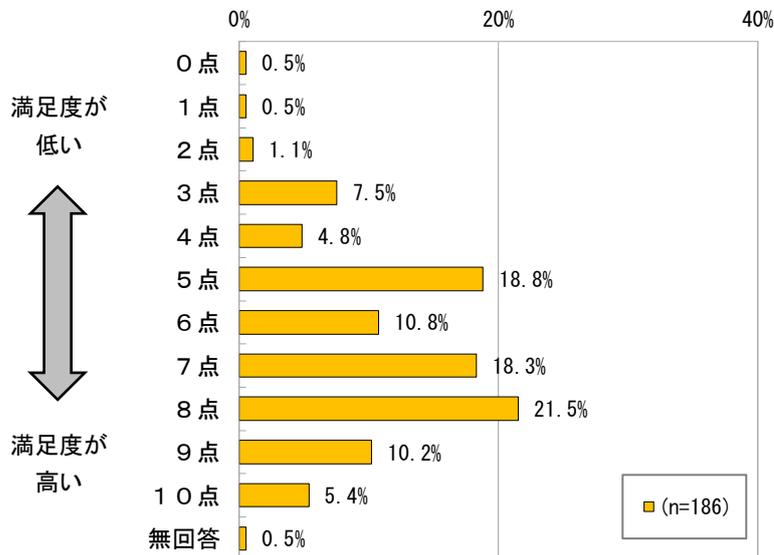


質問	サンプル数	いつも	たいてい	ときどき	少しだけ	まったく	無回答
		人数	人数	人数	人数	人数	人数
a) 神経過敏に感じた	186	6	18	51	50	59	2
b) 絶望的だと感じた	186	3	5	23	45	108	2
c) そわそわ、落ち着かなく感じた	186	4	7	43	40	89	3
d) 気分が沈み込んで、何が起ころうとも気が晴れないように感じた	186	4	7	37	58	78	2
e) 何をすることも面倒だと感じた	186	8	17	50	57	52	2
f) 自分は価値のない人間だと感じた	186	3	8	25	36	112	2

小数点第2位を四捨五入しているため、合計は100%と一致しない場合がある  
 上段: 回答者数  
 下段: 構成比  
 ■ 上位1項目

問25 全体として、あなたは最近の生活に、どのくらい満足していますか。「0」(まったく満足していない)から「10」(十分に満足している)の数字で教えてください。  
(あてはまるもの1つに○)

最近の生活の満足度については、「8点」21.5%が最も高く、次いで「5点」18.8%、「7点」18.3%となっている。



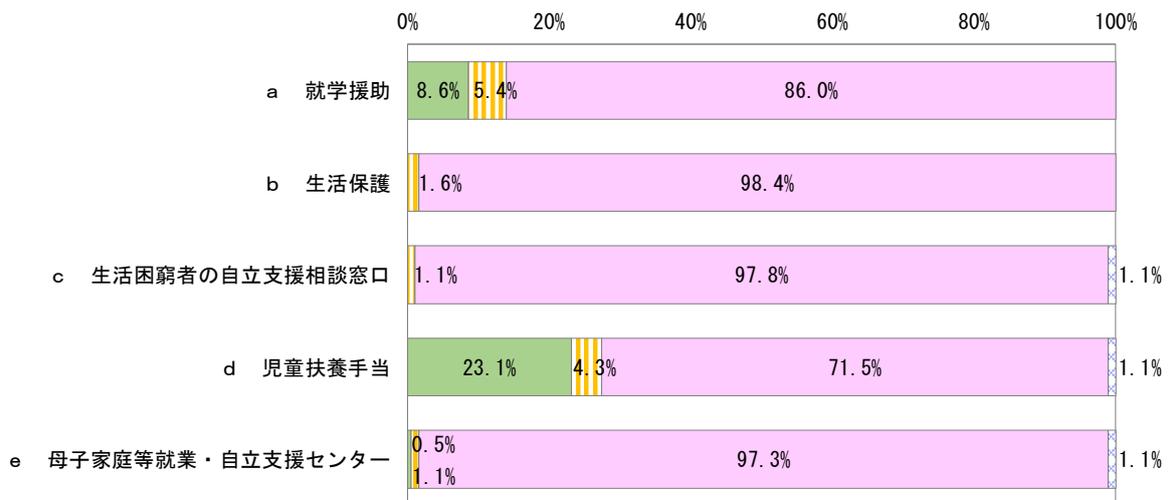
項目	回答数	構成比
0点	1	0.5%
1点	1	0.5%
2点	2	1.1%
3点	14	7.5%
4点	9	4.8%
5点	35	18.8%
6点	20	10.8%
7点	34	18.3%
8点	40	21.5%
9点	19	10.2%
10点	10	5.4%
無回答	1	0.5%
合計	186	100.0%

問26 あなたのご家庭では、以下の支援制度をこれまでに利用したことがありますか。  
 (a～e それぞれについて、1～3のあてはまるもの1つに○)  
 また、「3. 利用したことがない」場合、その理由は何ですか。

支援制度の利用経験について、「現在利用している」では「児童扶養手当」23.1%が最も高く、次いで「就学援助」8.6%となっている。「児童扶養手当」を除く全ての項目で、「利用したことがない」が8割以上を占めている。

(n=186)

■ 現在利用している ■ 現在利用していないが、以前利用したことがある □ 利用したことがない □ 無回答



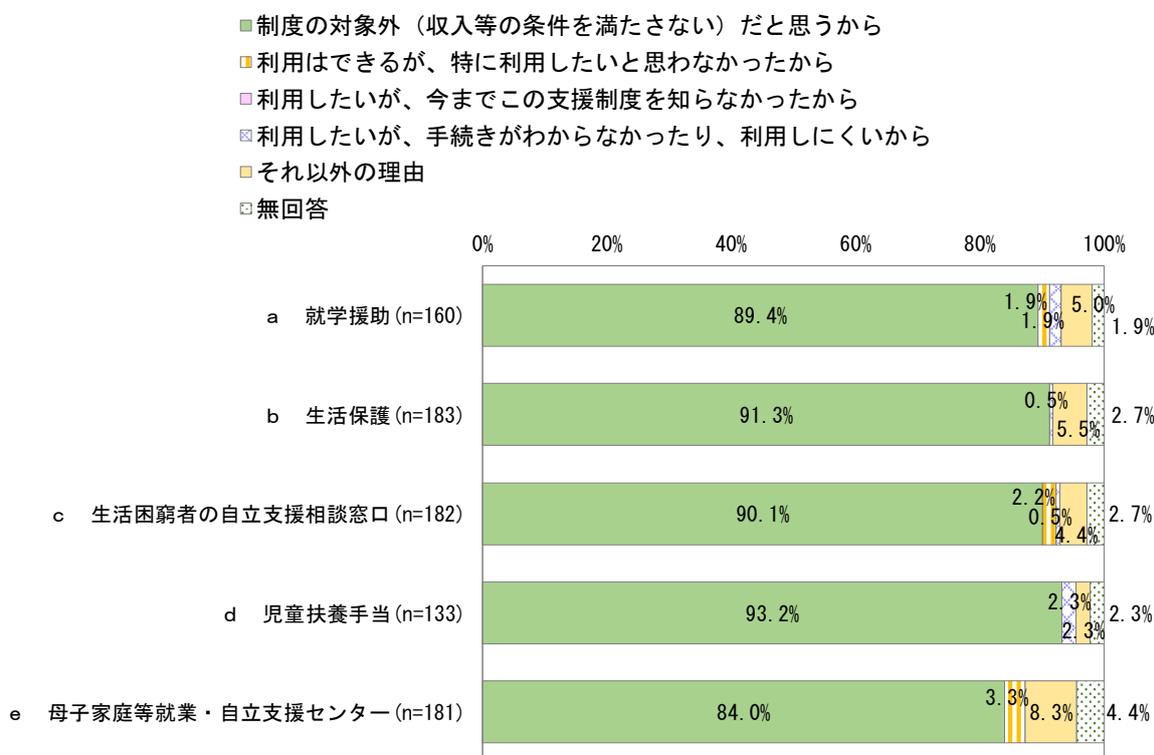
項目	サンプル数	現在利用している	現在利用していないが、以前利用したことがある	利用したことがない	無回答
a 就学援助	186	16	10	160	0
b 生活保護	186	0	3	183	0
c 生活困窮者の自立支援相談窓口	186	0	2	182	2
d 児童扶養手当	186	43	8	133	2
e 母子家庭等就業・自立支援センター	186	1	2	181	2

小数点第2位を四捨五入しているため、合計は100%と一致しない場合がある

上段: 回答者数  
下段: 構成比

■ 上位1項目

利用したことがない理由については、全ての項目で「制度の対象外（収入等の条件を満たさない） だと思うから」が8割以上を占めている。

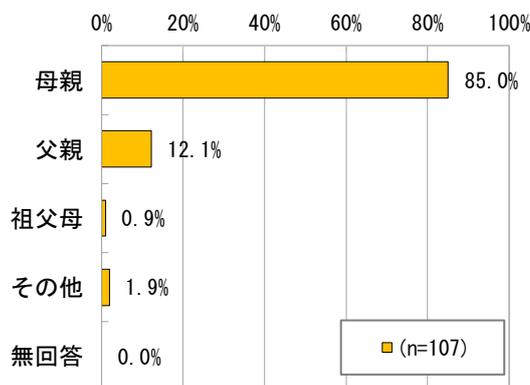


項目	サンプル数	理由					
		制度の対象外（収入等の条件を満たさない） だと思うから	利用はできるが、特に利用したいと思わなかったから	利用したいが、今までこの支援制度を知らなかったから	利用したいが、手続きがわからなかったり、利用しにくいから	それ以外の理由	無回答
a 就学援助	160	143 (89.4%)	3 (1.9%)	0 (0.0%)	3 (1.9%)	8 (5.0%)	3 (1.9%)
b 生活保護	183	167 (91.3%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (0.5%)	10 (5.5%)	5 (2.7%)
c 生活困窮者の自立支援相談窓口	182	164 (90.1%)	4 (2.2%)	0 (0.0%)	1 (0.5%)	8 (4.4%)	5 (2.7%)
d 児童扶養手当	133	124 (93.2%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	3 (2.3%)	3 (2.3%)	3 (2.3%)
e 母子家庭等就業・自立支援センター	181	152 (84.0%)	6 (3.3%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	15 (8.3%)	8 (4.4%)

## VII 調査結果（中学2年生保護者）

問2 お子さんとあなたとの関係は、次のどれにあたりますか。お子さんからみた続柄でお答えください。(あてはまるもの1つに○)

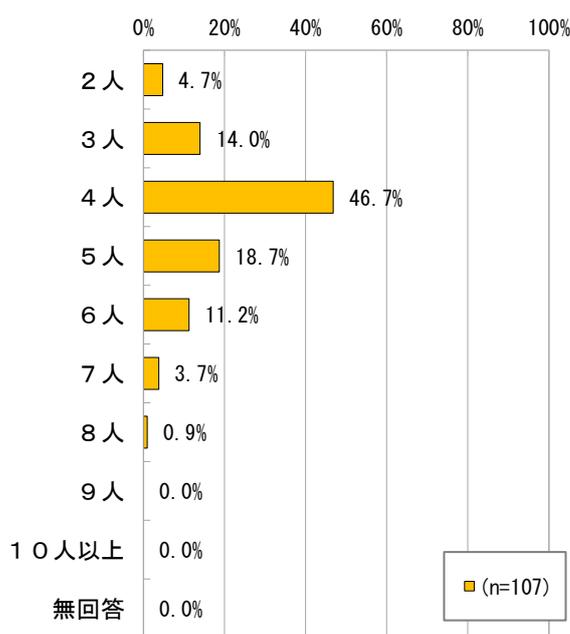
回答者の続柄については、「母親」85.0%、「父親」12.1%、「その他」1.9%となっている。



項目	回答数	構成比
母親	91	85.0%
父親	13	12.1%
祖父母	1	0.9%
その他	2	1.9%
無回答	0	0.0%
合計	107	100.0%

問3 お子さんと同居し、生計を同一にしているご家族の構成と人数をお答えください。単身赴任中の方や学業のために世帯を離れているお子さんがいる場合には、ご家族の人数に含めて教えてください。(a~h それぞれについて、あてはまるもの1つに○)

生計を同一にしている家族の構成と人数については、「4人」46.7%が最も高く、次いで「5人」18.7%、「3人」14.0%となっている。

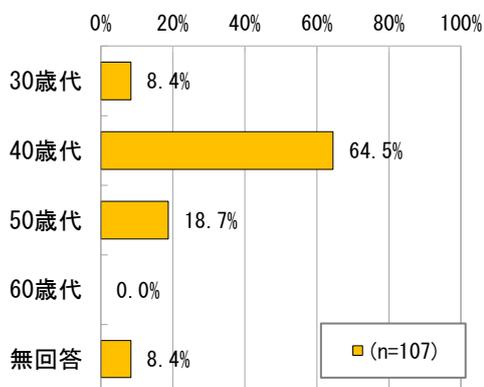


項目	回答数	構成比
2人	5	4.7%
3人	15	14.0%
4人	50	46.7%
5人	20	18.7%
6人	12	11.2%
7人	4	3.7%
8人	1	0.9%
9人	0	0.0%
10人以上	0	0.0%
無回答	0	0.0%
合計	107	100.0%

問4 お子さんの親の現在の年齢についてお答えください。

(1)母親

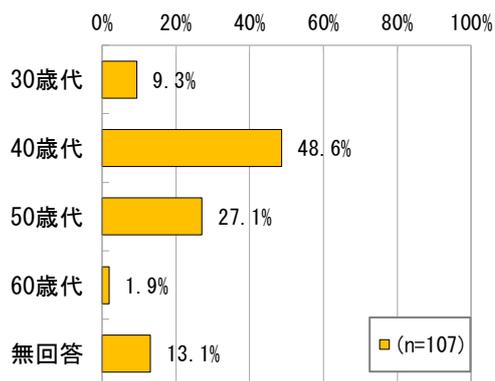
母親の現在の年齢については、「40歳代」64.5%が最も高く、次いで「50歳代」18.7%、「30歳代」8.4%となっている。



項目	回答数	構成比
30歳代	9	8.4%
40歳代	69	64.5%
50歳代	20	18.7%
60歳代	0	0.0%
無回答	9	8.4%
合計	107	100.0%

(2)父親

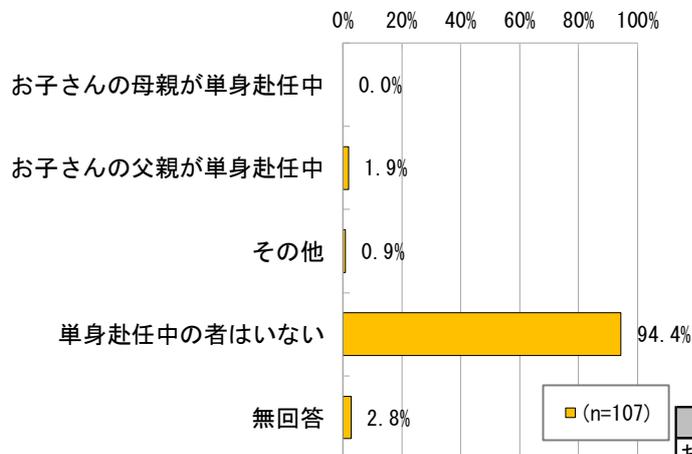
父親の現在の年齢については、「40歳代」48.6%が最も高く、次いで「50歳代」27.1%、「30歳代」9.3%となっている。



項目	回答数	構成比
30歳代	10	9.3%
40歳代	52	48.6%
50歳代	29	27.1%
60歳代	2	1.9%
無回答	14	13.1%
合計	107	100.0%

問5 お子さんのご家族のうち、現在単身赴任中の方はいらっしゃいますか。  
(1～3については、あてはまるものすべてに○)

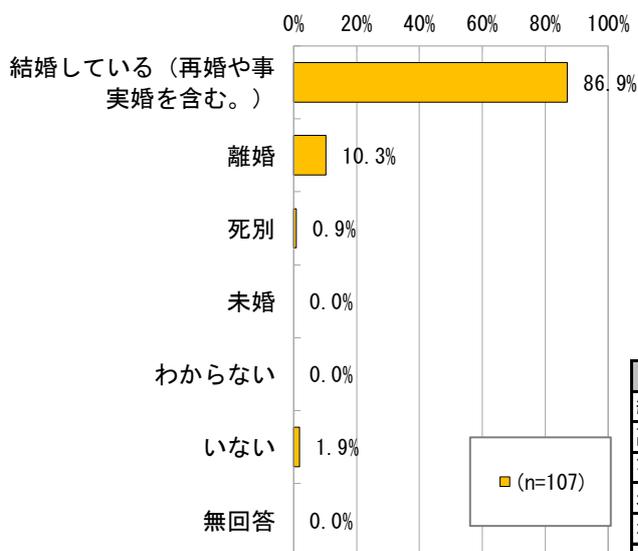
現在単身赴任中の家族については、「単身赴任中の者はいない」94.4%が最も高くなっている。



項目	回答数	構成比
お子さんの母親が単身赴任中	0	0.0%
お子さんの父親が単身赴任中	2	1.9%
その他	1	0.9%
単身赴任中の者はいない	101	94.4%
無回答	3	2.8%
サンプル数	107	-

問6 お子さんと同居し、生計を同一にしている親の婚姻状況を教えてください。  
(あてはまるもの1つに○)

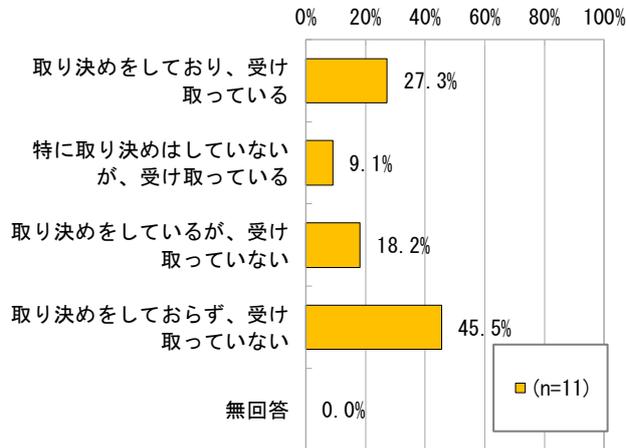
子どもと同居し、生計を同一にしている親の婚姻状況については、「結婚している（再婚や事実婚を含む。）」86.9%が最も高く、次いで「離婚」10.3%となっている。



項目	回答数	構成比
結婚している（再婚や事実婚を含む。）	93	86.9%
離婚	11	10.3%
死別	1	0.9%
未婚	0	0.0%
わからない	0	0.0%
いない	2	1.9%
無回答	0	0.0%
合計	107	100.0%

問7 問6で「2. 離婚」を選んだ場合、離婚相手と子供の養育費の取り決めをしていますか。また養育費を現在受け取っていますか。(あてはまるもの1つに○)

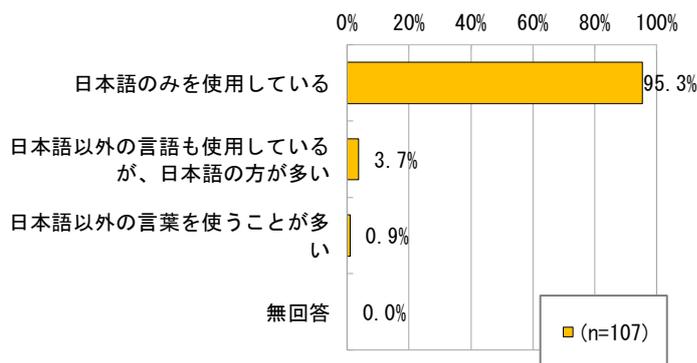
離婚している場合の養育費については、「取り決めをしておらず、受け取っていない」45.5%が最も高く、次いで「取り決めをしており、受け取っている」27.3%、「取り決めをしているが、受け取っていない」18.2%となっている。



項目	回答数	構成比
取り決めをしており、受け取っている	3	27.3%
特に取り決めはしていないが、受け取っている	1	9.1%
取り決めをしているが、受け取っていない	2	18.2%
取り決めをしておらず、受け取っていない	5	45.5%
無回答	0	0.0%
合計	11	100.0%

問8 ご家庭ではどれくらい、日本語以外の言語を使用していますか。

家庭での日本語以外の使用については、「日本語のみを使用している」95.3%が最も高くなっている。



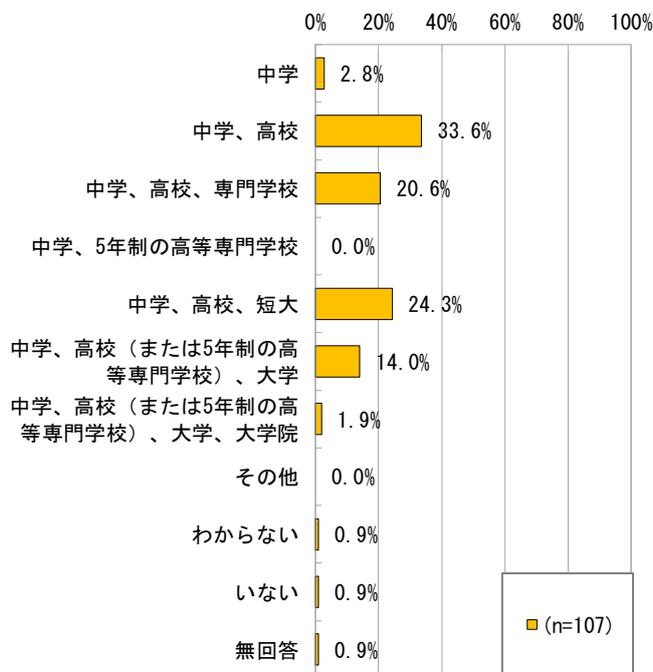
項目	回答数	構成比
日本語のみを使用している	102	95.3%
日本語以外の言語も使用しているが、日本語の方が多い	4	3.7%
日本語以外の言葉を使うことが多い	1	0.9%
無回答	0	0.0%
合計	107	100.0%

問9 お子さんの親が卒業・修了した学校をお答えください。

(a. b それぞれについて、あてはまるものひとつに○)

(a) 母親

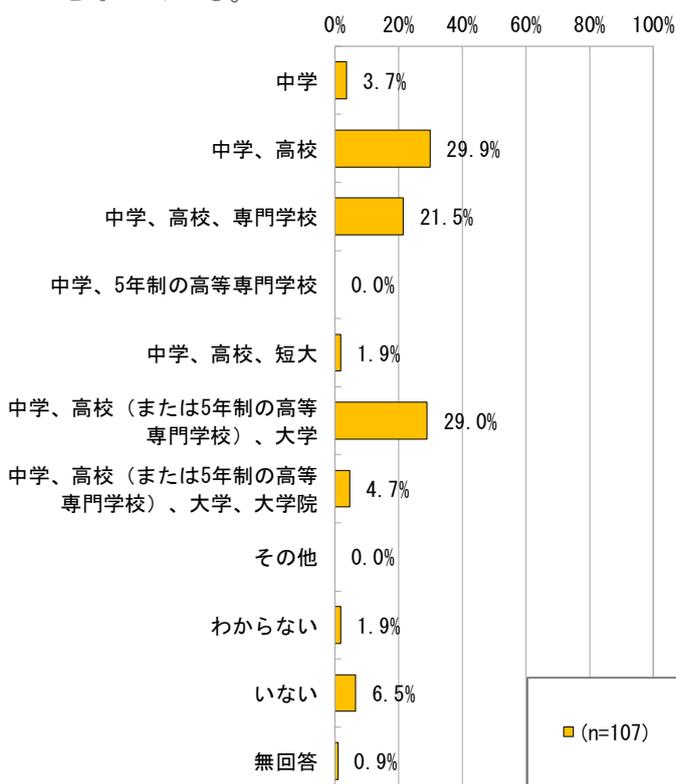
卒業・修了した学校について、母親では、「中学、高校」33.6%が最も高く、次いで「中学、高校、短大」24.3%、「中学、高校、専門学校」20.6%となっている。



項目	回答数	構成比
中学	3	2.8%
中学、高校	36	33.6%
中学、高校、専門学校	22	20.6%
中学、5年制の高等専門学校	0	0.0%
中学、高校、短大	26	24.3%
中学、高校（または5年制の高等専門学校）、大学	15	14.0%
中学、高校（または5年制の高等専門学校）、大学、大学院	2	1.9%
その他	0	0.0%
わからない	1	0.9%
いない	1	0.9%
無回答	1	0.9%
合計	107	100.0%

(b) 父親

卒業・修了した学校について、父親では、「中学、高校」29.9%が最も高く、次いで「中学、高校（または5年制の高等専門学校）、大学」29.0%、「中学、高校、専門学校」21.5%となっている。



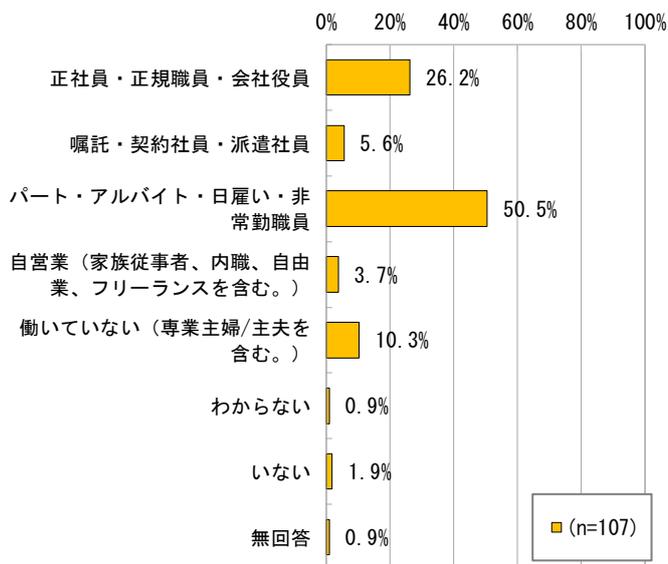
項目	回答数	構成比
中学	4	3.7%
中学、高校	32	29.9%
中学、高校、専門学校	23	21.5%
中学、5年制の高等専門学校	0	0.0%
中学、高校、短大	2	1.9%
中学、高校（または5年制の高等専門学校）、大学	31	29.0%
中学、高校（または5年制の高等専門学校）、大学、大学院	5	4.7%
その他	0	0.0%
わからない	2	1.9%
いない	7	6.5%
無回答	1	0.9%
合計	107	100.0%

問10 お子さんの親の就労状況について、あてはまるものを回答してください。

(a. b それぞれについて、あてはまるもの1つに○)

(a) 母親

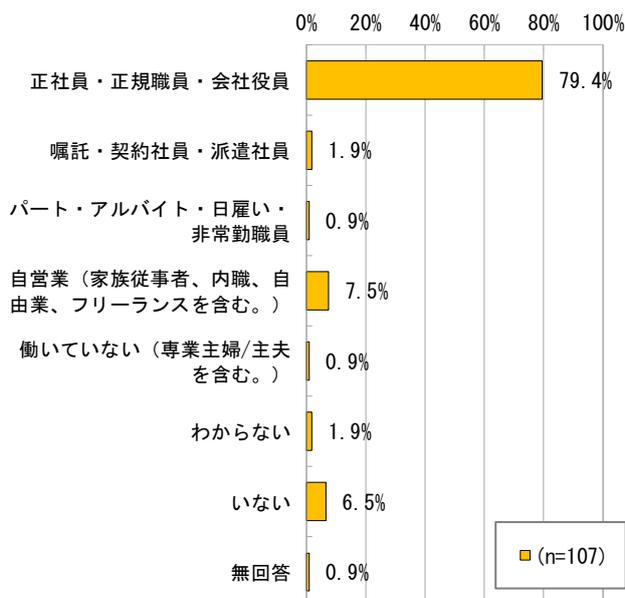
母親の就労状況については、「パート・アルバイト・日雇い・非常勤職員」50.5%が最も高く、次いで「正社員・正規職員・会社役員」26.2%、「働いていない（専業主婦/主夫を含む。）」10.3%となっている。



項目	回答数	構成比
正社員・正規職員・会社役員	28	26.2%
嘱託・契約社員・派遣社員	6	5.6%
パート・アルバイト・日雇い・非常勤職員	54	50.5%
自営業 (家族従事者、内職、自由業、フリーランスを含む。)	4	3.7%
働いていない (専業主婦/主夫を含む。)	11	10.3%
わからない	1	0.9%
いない	2	1.9%
無回答	1	0.9%
合計	107	100.0%

(b) 父親

父親の就労状況については、「正社員・正規職員・会社役員」79.4%が最も高く、次いで「自営業 (家族従事者、内職、自由業、フリーランスを含む。）」7.5%となっている。

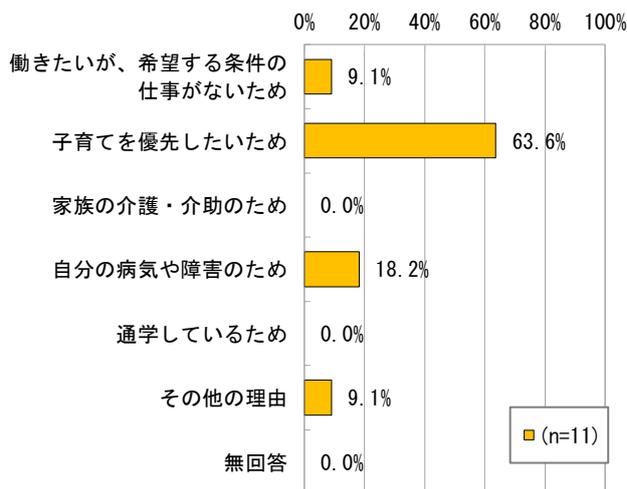


項目	回答数	構成比
正社員・正規職員・会社役員	85	79.4%
嘱託・契約社員・派遣社員	2	1.9%
パート・アルバイト・日雇い・非常勤職員	1	0.9%
自営業 (家族従事者、内職、自由業、フリーランスを含む。)	8	7.5%
働いていない (専業主婦/主夫を含む。)	1	0.9%
わからない	2	1.9%
いない	7	6.5%
無回答	1	0.9%
合計	107	100.0%

問11 前の質問で「5. 働いていない」と答えた場合、働いていない最も主な理由を教えてください。(a. b それぞれについて、あてはまるもの1つに○)

(a) 母親

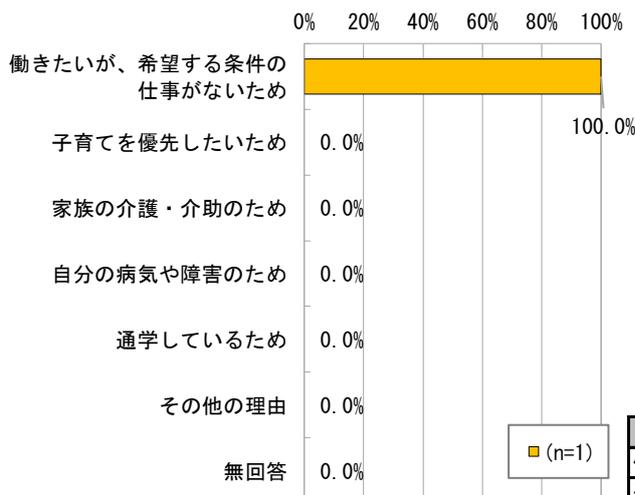
働いていない理由について、母親では、「子育てを優先したいため」63.6%が最も高く、次いで「自分の病気や障害のため」18.2%、「働きたいが、希望する条件の仕事がないため」、「その他の理由」がいずれも9.1%となっている。



項目	回答数	構成比
働きたいが、希望する条件の仕事がないため	1	9.1%
子育てを優先したいため	7	63.6%
家族の介護・介助のため	0	0.0%
自分の病気や障害のため	2	18.2%
通学しているため	0	0.0%
その他の理由	1	9.1%
無回答	0	0.0%
合計	11	100.0%

(b) 父親

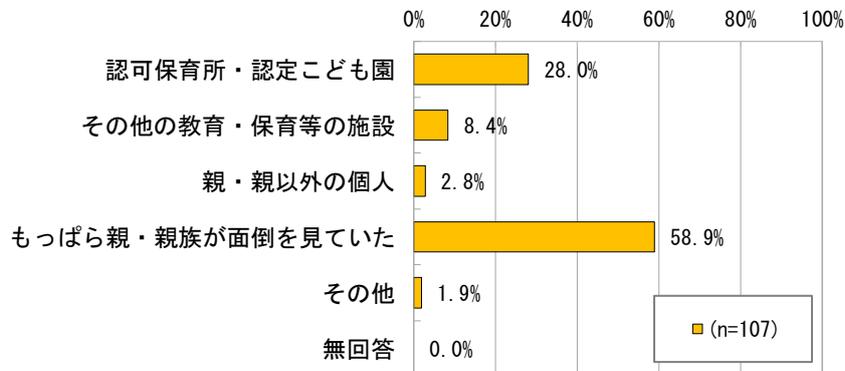
働いていない理由について、父親では、サンプル数が少ないことに留意する必要があるが、「働きたいが、希望する条件の仕事がないため」が100.0%となっている。



項目	回答数	構成比
働きたいが、希望する条件の仕事がないため	1	100.0%
子育てを優先したいため	0	0.0%
家族の介護・介助のため	0	0.0%
自分の病気や障害のため	0	0.0%
通学しているため	0	0.0%
その他の理由	0	0.0%
無回答	0	0.0%
合計	1	100.0%

問12 お子さんが0～2歳の間に通っていた教育・保育施設等で最も主なもの(期間が長いもの)をお答えください。(あてはまるもの1つに○)

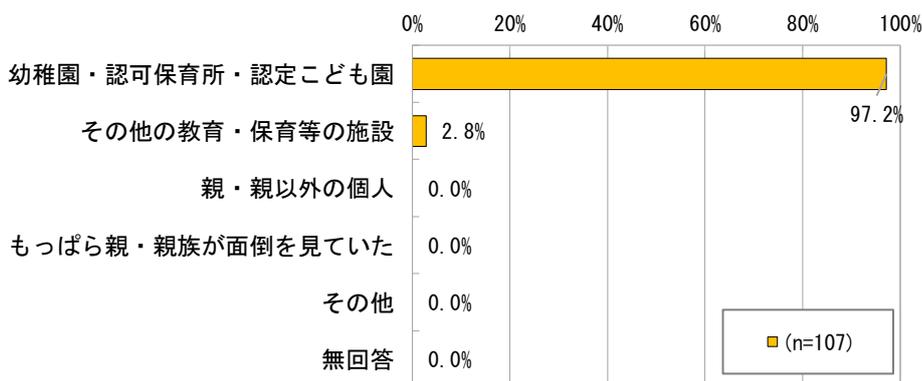
子どもが0～2歳の間に通っていた教育・保育施設等で最も主なものについては、「もっばら親・親族が面倒を見ていた」58.9%が最も高く、次いで「認可保育所・認定こども園」28.0%、「その他の教育・保育等の施設」8.4%となっている。



項目	回答数	構成比
認可保育所・認定こども園	30	28.0%
その他の教育・保育等の施設	9	8.4%
親・親以外の個人	3	2.8%
もっばら親・親族が面倒を見ていた	63	58.9%
その他	2	1.9%
無回答	0	0.0%
合計	107	100.0%

問13 お子さんが3～5歳の間に通っていた教育・保育施設等で最も主なもの(期間が長いもの)をお答えください。(あてはまるもの1つに○)

子どもが3～5歳の間に通っていた教育・保育施設等で最も主なものについては、「幼稚園・認可保育所・認定こども園」97.2%が最も高く、次いで「その他の教育・保育等の施設」2.8%となっている。



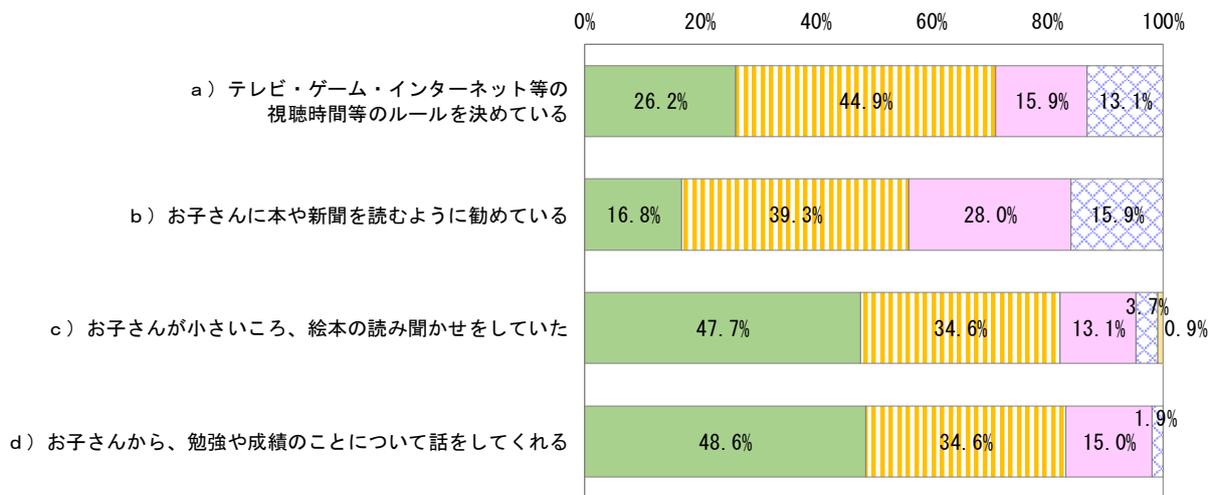
項目	回答数	構成比
幼稚園・認可保育所・認定こども園	104	97.2%
その他の教育・保育等の施設	3	2.8%
親・親以外の個人	0	0.0%
もっばら親・親族が面倒を見ていた	0	0.0%
その他	0	0.0%
無回答	0	0.0%
合計	107	100.0%

問14 あなたとお子さんの関わり方について、次のようなことにどれくらい当てはまりますか。  
(a~d それぞれについて、あてはまるもの1つに○)

子どもとの関わり方については、『あてはまる』（「あてはまる」+「どちらかといえばあてはまる」）では、「お子さんから、勉強や成績のことについて話をしてくれる」83.2%が最も高く、次いで「お子さんが小さいころ、絵本の読み聞かせをしていた」82.3%となっている。一方、『あてはまらない』（「どちらかといえばあてはまらない」+「あてはまらない」）では「お子さんに本や新聞を読むように勧めている」43.9%が最も高くなっている。

(n=107)

■あてはまる ■どちらかといえばあてはまる ■どちらかといえばあてはまらない ■あてはまらない ■無回答



小数点第2位を四捨五入しているため、合計は100%と一致しない場合がある	サンプル数	あてはまる	どちらかといえばあてはまる	どちらかといえばあてはまらない	あてはまらない	無回答
上段: 回答者数 下段: 構成比 ■ 上位1項目						
a) テレビ・ゲーム・インターネット等の視聴時間等のルールを決めている	107	28	48	17	14	0
	100.0%	26.2%	44.9%	15.9%	13.1%	0.0%
b) お子さんに本や新聞を読むように勧めている	107	18	42	30	17	0
	100.0%	16.8%	39.3%	28.0%	15.9%	0.0%
c) お子さんが小さいころ、絵本の読み聞かせをしていた	107	51	37	14	4	1
	100.0%	47.7%	34.6%	13.1%	3.7%	0.9%
d) お子さんから、勉強や成績のことについて話をしてくれる	107	52	37	16	2	0
	100.0%	48.6%	34.6%	15.0%	1.9%	0.0%

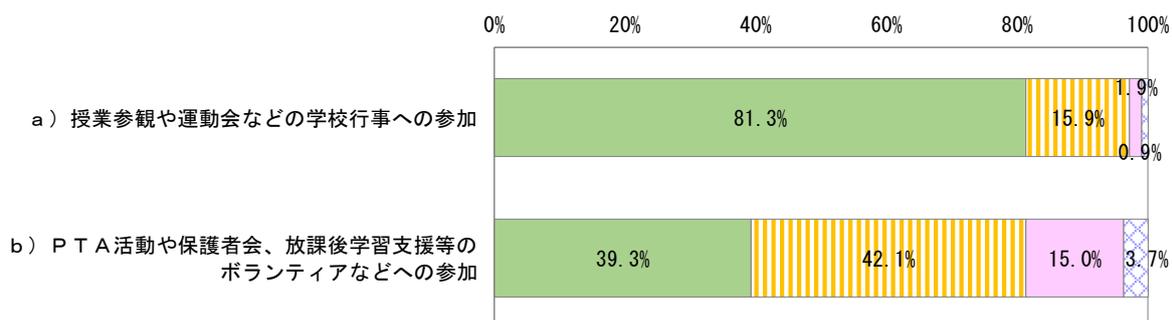
問15 あなたは、次のようなことをどの程度していますか。

(a. b それぞれについて、あてはまるもの1つに○)

学校行事、ボランティアなどへの参加について、『参加している』（「よく参加している」＋「ときどき参加している」）ではいずれの項目でも8割以上を占めている。

(n=107)

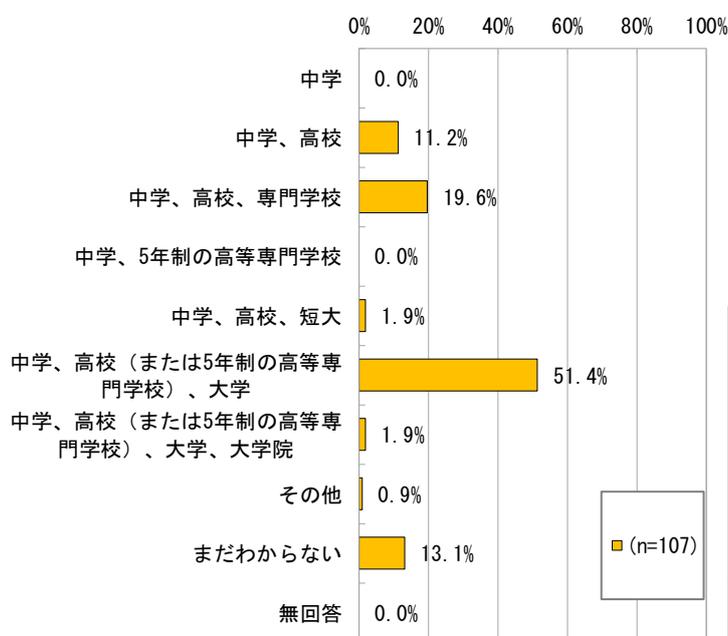
■よく参加している ■ときどき参加している ■あまり参加していない ■まったく参加していない ■無回答



小数点第2位を四捨五入しているため、合計は100%と一致しない場合がある	サンプル数	よく参加している	ときどき参加している	あまり参加していない	まったく参加していない	無回答
上段: 回答者数 下段: 構成比 ■ 上位1項目						
a) 授業参観や運動会などの学校行事への参加	107	87	17	2	1	0
	100.0%	81.3%	15.9%	1.9%	0.9%	0.0%
b) PTA活動や保護者会、放課後学習支援等のボランティアなどへの参加	107	42	45	16	4	0
	100.0%	39.3%	42.1%	15.0%	3.7%	0.0%

問16 お子さんは将来、現実的に見てどの学校に進学すると思いますか。  
(あてはまるものひとつに○)

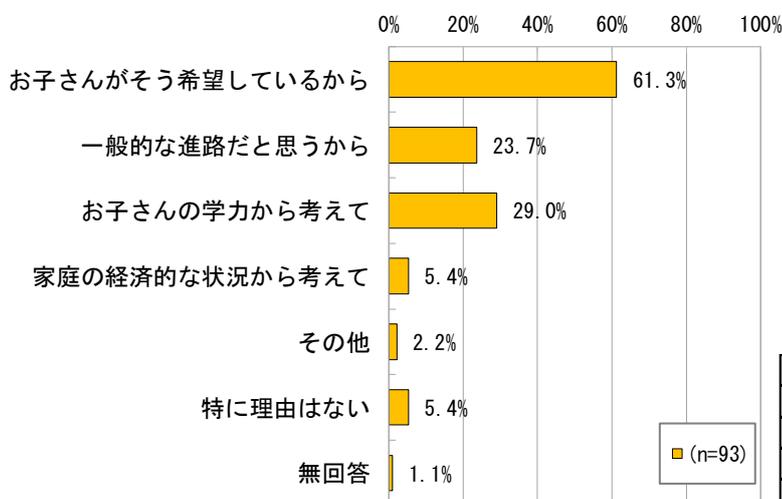
子どもが進学すると思う学校については、「中学、高校（または5年制の高等専門学校）、大学」51.4%が最も高く、次いで「中学、高校、専門学校」19.6%、「まだわからない」13.1%となっている。



項目	回答数	構成比
中学	0	0.0%
中学、高校	12	11.2%
中学、高校、専門学校	21	19.6%
中学、5年制の高等専門学校	0	0.0%
中学、高校、短大	2	1.9%
中学、高校（または5年制の高等専門学校）、大学	55	51.4%
中学、高校（または5年制の高等専門学校）、大学、大学院	2	1.9%
その他	1	0.9%
まだわからない	14	13.1%
無回答	0	0.0%
合計	107	100.0%

問17 前の質問で1～8と答えた場合、その理由は何ですか。  
(1～5については、あてはまるものすべてに○)

問16の回答をした理由については、「お子さんがそう希望しているから」61.3%が最も高く、次いで「お子さんの学力から考えて」29.0%、「一般的な進路だと思うから」23.7%となっている。



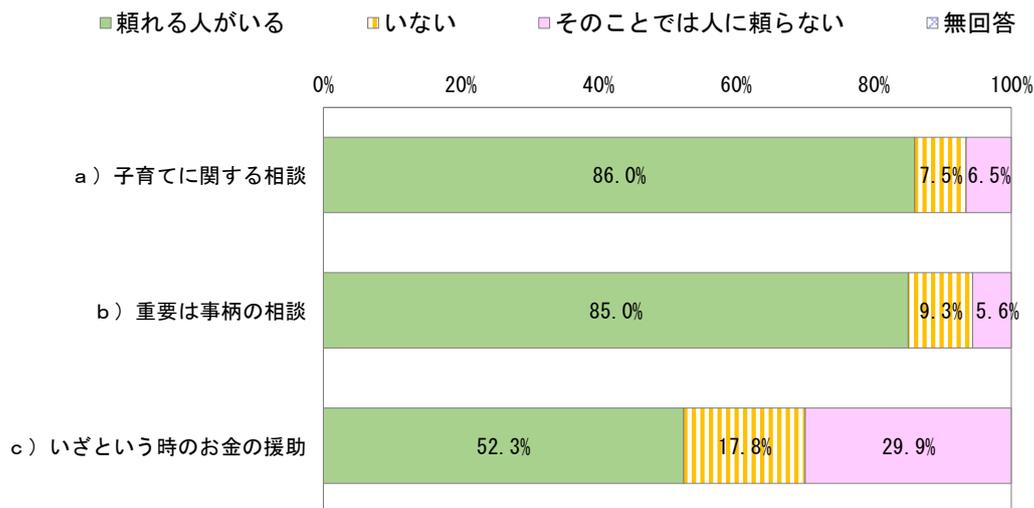
項目	回答数	構成比
お子さんがそう希望しているから	57	61.3%
一般的な進路だと思うから	22	23.7%
お子さんの学力から考えて	27	29.0%
家庭の経済的な状況から考えて	5	5.4%
その他	2	2.2%
特に理由はない	5	5.4%
無回答	1	1.1%
サンプル数	93	-

問18 あなたは次に挙げる事柄で頼れる人はいますか。  
 (a～c それぞれについて、1～3のあてはまるもの1つに○)  
 また、「1. 頼れる人がいる」場合、それはだれですか。(あてはまるものすべてに○)

頼れる人の有無については、「子育てに関する相談」、「重要は事柄の相談」についてはいずれも「頼れる人がいる」が8割を超えている。

一方、頼れる人が「いない」では「いざという時のお金の援助」が17.8%と他の項目と比較して高くなっている。

(n=107)



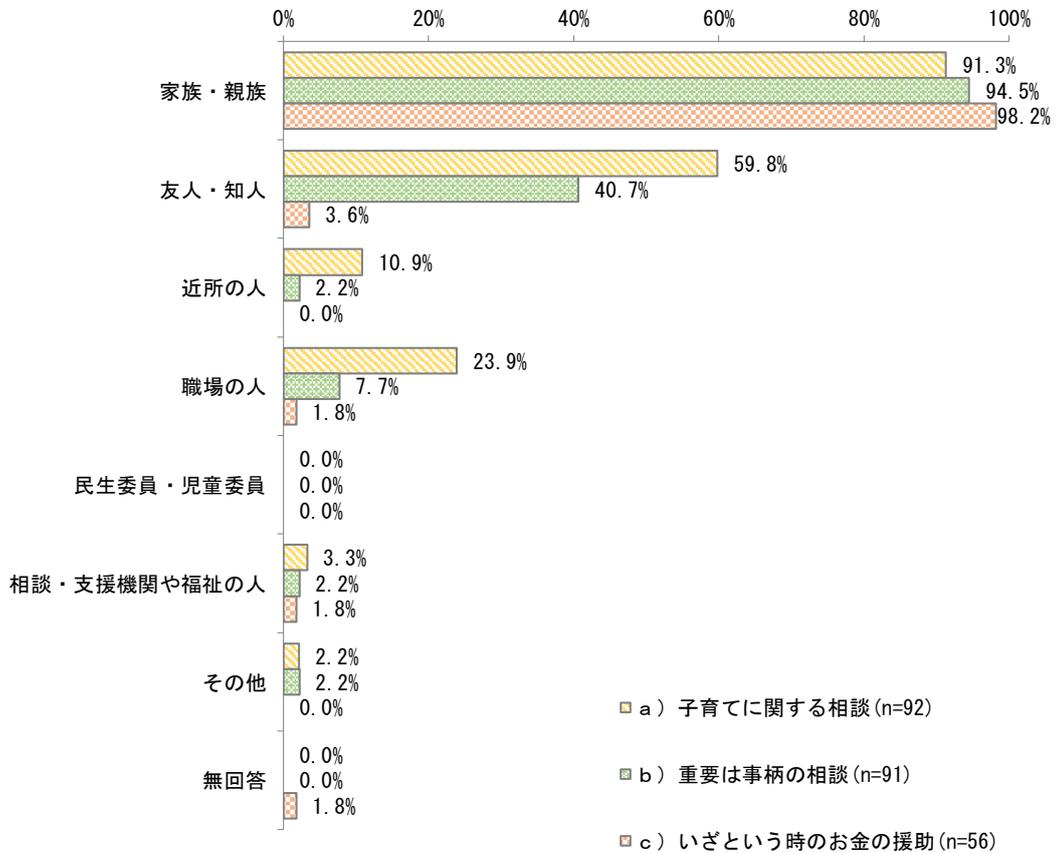
項目	サンプル数	頼れる人がいる	いない	そのことでは人に頼らない	無回答
		割合	割合	割合	割合
a) 子育てに関する相談	107	92	8	7	0
b) 重要は事柄の相談	107	91	10	6	0
c) いざという時のお金の援助	107	56	19	32	0

小数点第2位を四捨五入しているため、合計は100%と一致しない場合があります

上段: 回答者数  
下段: 構成比

■ 上位1項目

相談をする人がいる場合、それは誰かについては、全ての項目で「家族・親族」が9割を超え最も高くなっている。

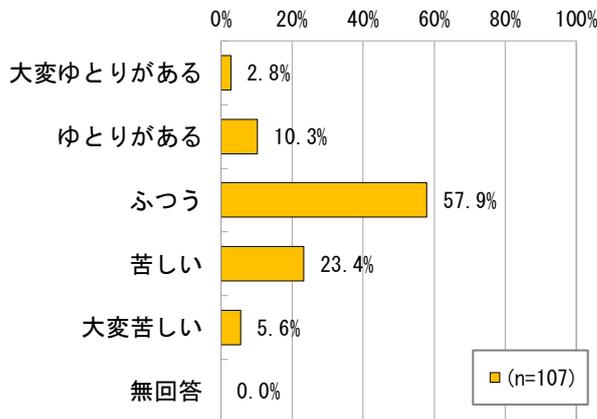


小数点第2位を 四捨五入しているため、 合計は100%と一致しない 場合がある  上段: 回答者数 下段: 構成比  ■ 上位1項目	サンプル数	家族・親族	友人・知人	近所の人	職場の人	民生委員・児童委員	相談・支援機関や福祉の人	その他	無回答
	a) 子育てに関する相談	92	84 91.3%	55 59.8%	10 10.9%	22 23.9%	0 0.0%	3 3.3%	2 2.2%
b) 重要は事柄の相談	91	86 94.5%	37 40.7%	2 2.2%	7 7.7%	0 0.0%	2 2.2%	2 2.2%	0 0.0%
c) いざという時のお金の援助	56	55 98.2%	2 3.6%	0 0.0%	1 1.8%	0 0.0%	1 1.8%	0 0.0%	1 1.8%

問19 あなたは、現在の暮らしの状況をどのように感じていますか。(あてはまるもの1つに○)

現在の暮らしの状況について、「ふつう」57.9%が最も高く、次いで「苦しい」23.4%、「ゆとりがある」10.3%となっている。

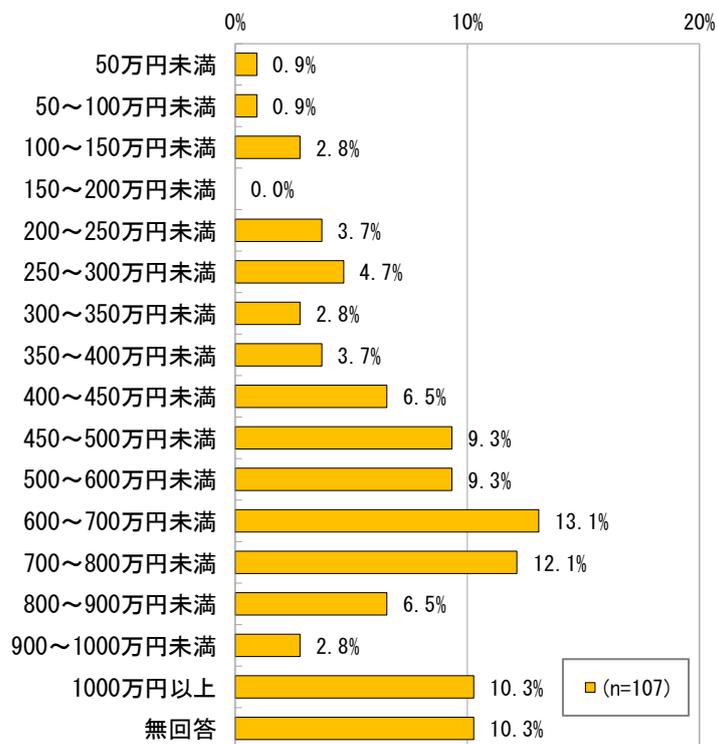
『ゆとりがある』（「大変ゆとりがある」＋「ゆとりがある」）と回答した人の割合は全体で13.1%である一方、『苦しい』（「苦しい」＋「大変苦しい」）と回答した人の割合は全体で29.0%となっている。



項目	回答数	構成比
大変ゆとりがある	3	2.8%
ゆとりがある	11	10.3%
ふつう	62	57.9%
苦しい	25	23.4%
大変苦しい	6	5.6%
無回答	0	0.0%
合計	107	100.0%

問20 世帯全体のおおよその年間収入(税込)はいくらですか。(あてはまるもの1つに○)

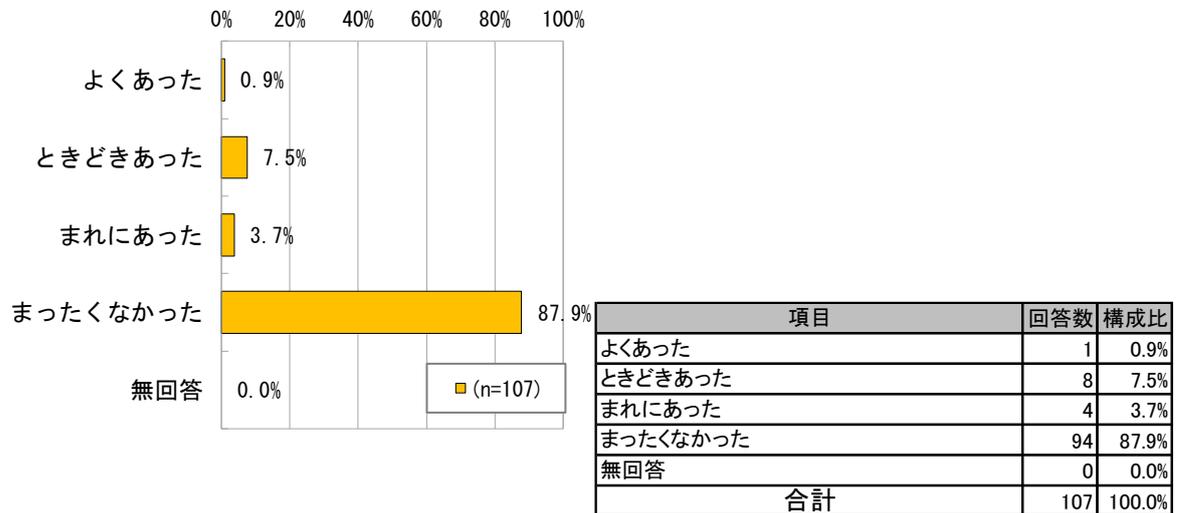
世帯全体のおおよその年間収入については、「600万円～700万円未満」13.1%が最も高く、次いで「700～800万円未満」12.1%、「1000万円以上」10.3%となっている。



項目	回答数	構成比
50万円未満	1	0.9%
50～100万円未満	1	0.9%
100～150万円未満	3	2.8%
150～200万円未満	0	0.0%
200～250万円未満	4	3.7%
250～300万円未満	5	4.7%
300～350万円未満	3	2.8%
350～400万円未満	4	3.7%
400～450万円未満	7	6.5%
450～500万円未満	10	9.3%
500～600万円未満	10	9.3%
600～700万円未満	14	13.1%
700～800万円未満	13	12.1%
800～900万円未満	7	6.5%
900～1000万円未満	3	2.8%
1000万円以上	11	10.3%
無回答	11	10.3%
合計	107	100.0%

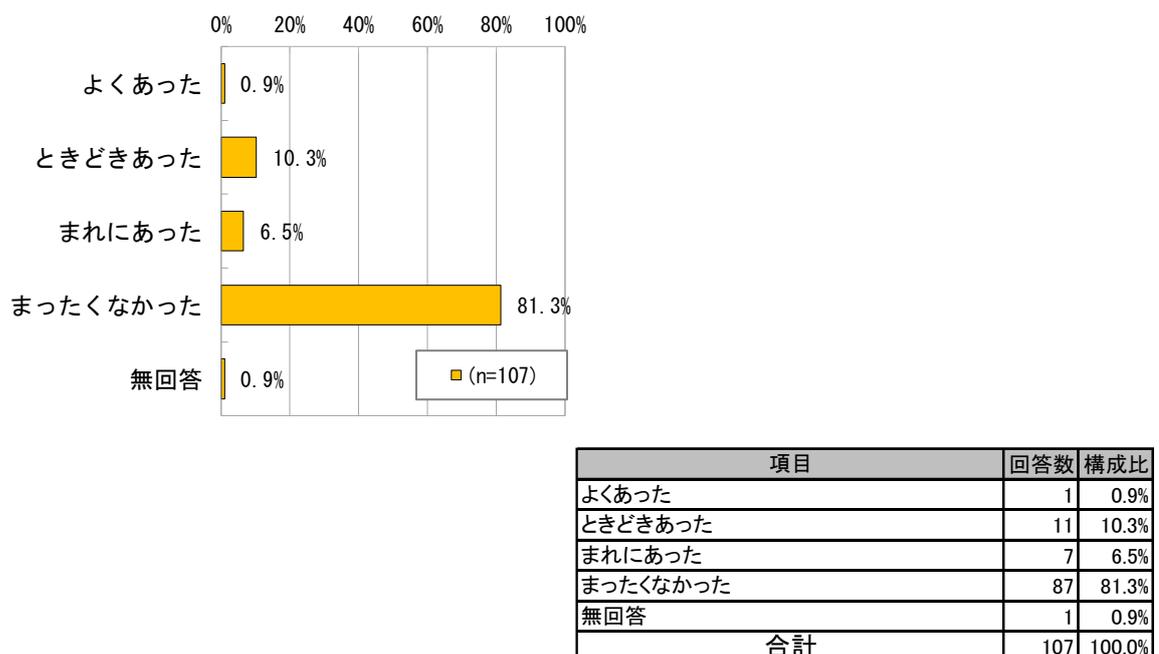
問21 あなたの世帯では、過去1年の間に、お金が足りなくて、家族が必要とする食料が買えないことがありましたか。ただし、嗜好品は含みません。(あてはまるもの1つに○)

過去の1年の間に、お金が足りなくて、家族が必要とする食料が買えないことがあったかについて、『あった』(「よくあった」+「ときどきあった」+「まれにあった」)と回答した人の割合は全体で12.1%となっている。



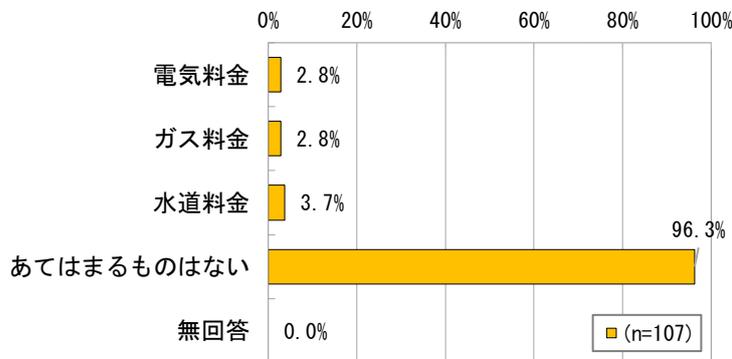
問22 あなたの世帯では、過去1年の間に、お金が足りなくて、家族が必要とする衣服が買えないことがありましたか。ただし、高価な衣服や貴金属・宝飾品は含みません。(あてはまるもの1つに○)

過去の1年の間に、お金が足りなくて、家族が必要とする衣服が買えないことがあったかについて、『あった』(「よくあった」+「ときどきあった」+「まれにあった」)と回答した人の割合は全体で17.7%となっている。



問23 あなたの世帯では、過去1年の間に、以下の料金について、経済的な理由で未払いになったことがありましたか。(1～3については、あてはまるものすべてに○)

過去1年の間に、経済的な理由で未払いになったことがあったかについては、「あてはまるものはない」96.3%が最も高くなっている。

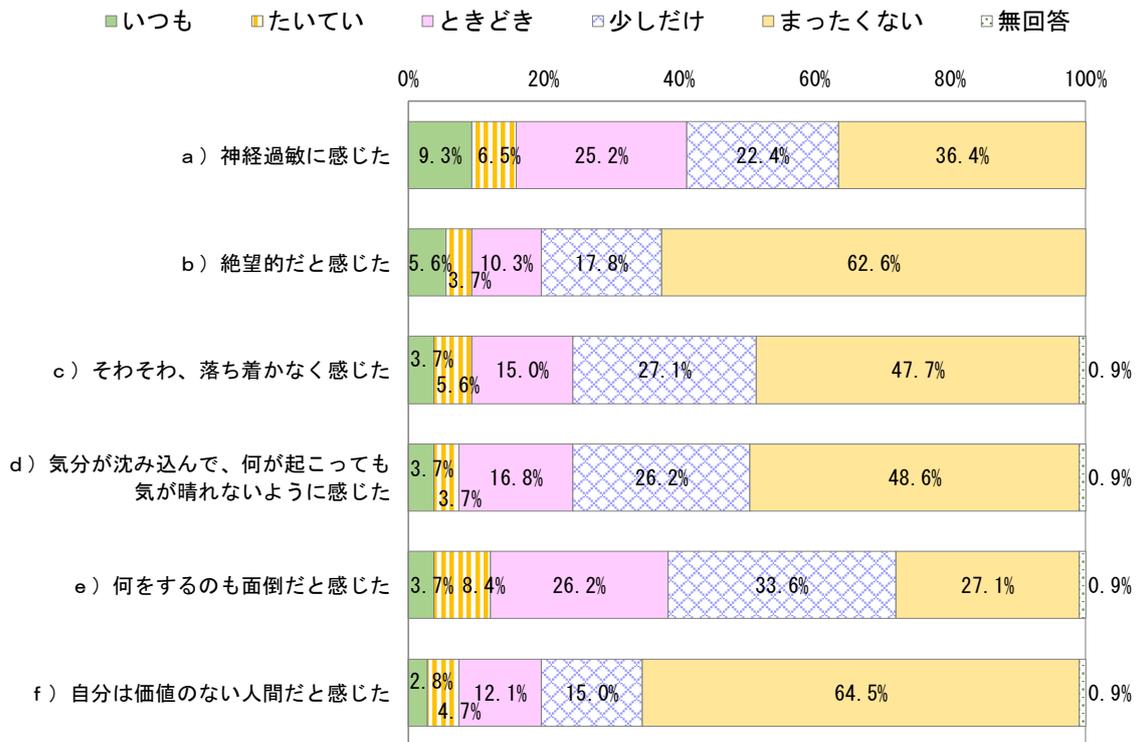


項目	回答数	構成比
電気料金	3	2.8%
ガス料金	3	2.8%
水道料金	4	3.7%
あてはまるものはない	103	96.3%
無回答	0	0.0%
サンプル数	107	-

問24 次の a)~f)の質問について、この1か月間のあなたの気持ちはどのようなでしたか。  
(a~f それぞれについて、あてはまるもの1つに○)

この1か月間の気持ちについて、『該当する』（「いつも」+「たいてい」+「ときどき」+「少しだけ」）人の割合は、「何もするの面倒だと感じた」71.9%が最も高く、次いで「神経過敏に感じた」63.4%となっている。

(n=107)



項目	サンプル数	いつも	たいてい	ときどき	少しだけ	まったくない	無回答
		人数	人数	人数	人数	人数	人数
a) 神経過敏に感じた	107	10	7	27	24	39	0
b) 絶望的だと感じた	107	6	4	11	19	67	0
c) そわそわ、落ち着かなく感じた	107	4	6	16	29	51	1
d) 気分が沈み込んで、何が起っても気が晴れないように感じた	107	4	4	18	28	52	1
e) 何をすることも面倒だと感じた	107	4	9	28	36	29	1
f) 自分は価値のない人間だと感じた	107	3	5	13	16	69	1

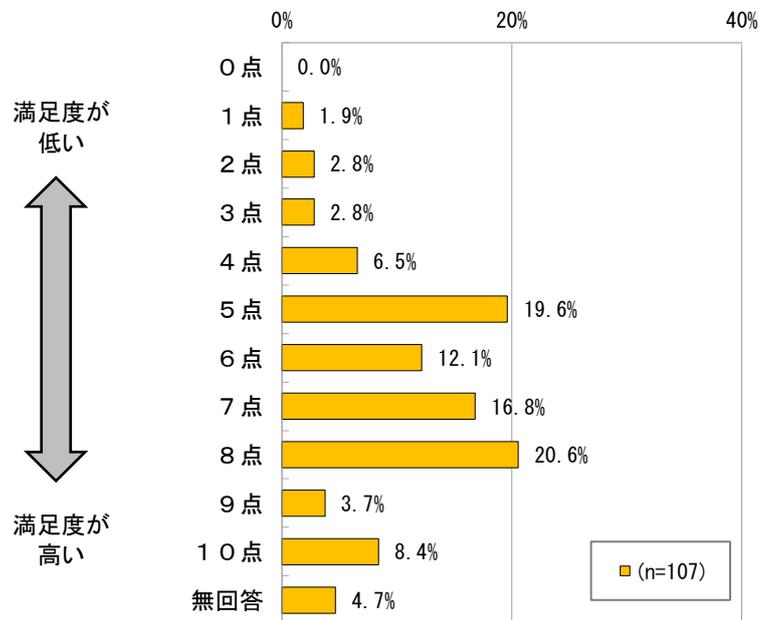
小数点第2位を四捨五入しているため、合計は100%と一致しない場合がある

上段: 回答者数  
下段: 構成比

■ 上位1項目

問25 全体として、あなたは最近の生活に、どのくらい満足していますか。「0」(まったく満足していない)から「10」(十分に満足している)の数字で教えてください。  
(あてはまるもの1つに○)

最近の生活の満足度については、「8点」20.6%が最も高く、次いで「5点」19.6%、「7点」16.8%となっている。



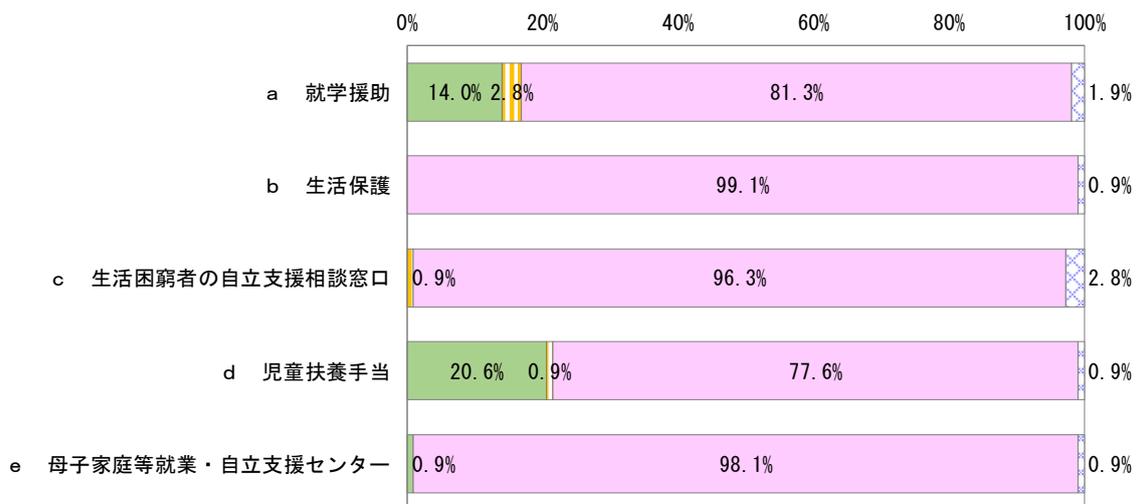
項目	回答数	構成比
0点	0	0.0%
1点	2	1.9%
2点	3	2.8%
3点	3	2.8%
4点	7	6.5%
5点	21	19.6%
6点	13	12.1%
7点	18	16.8%
8点	22	20.6%
9点	4	3.7%
10点	9	8.4%
無回答	5	4.7%
合計	107	100.0%

問26 あなたのご家庭では、以下の支援制度をこれまでに利用したことがありますか。  
 (a～e それぞれについて、1～3のあてはまるもの1つに○)  
 また、「3. 利用したことがない」場合、その理由は何ですか。

支援制度の利用経験については、「現在利用している」では「児童扶養手当」20.6%が最も高く、次いで「就学援助」14.0%となっている。「児童扶養手当」を除く全ての項目で、「利用したことがない」が8割以上を占めている。

(n=107)

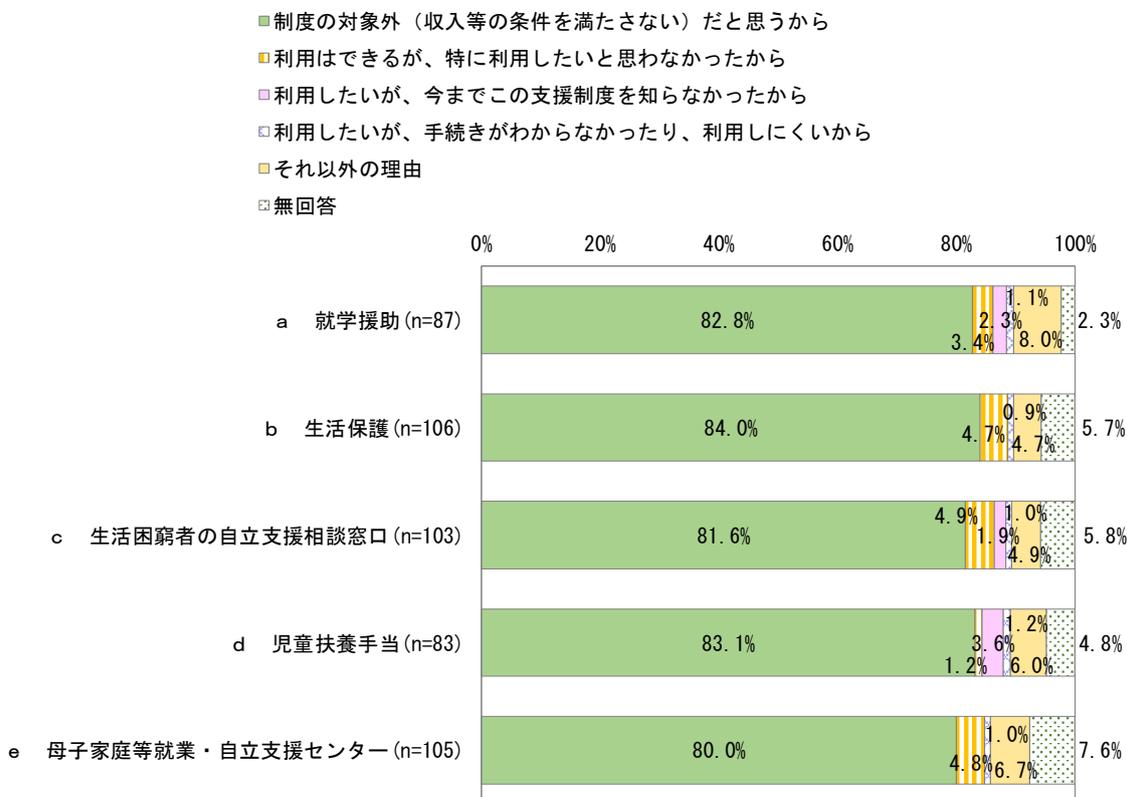
■現在利用している ■現在利用していないが、以前利用したことがある □利用したことがない □無回答



項目	サンプル数	現在利用している	現在利用していないが、以前利用したことがある	利用したことがない	無回答
a 就学援助	107	15	3	87	2
b 生活保護	107	0	0	106	1
c 生活困窮者の自立支援相談窓口	107	0	1	103	3
d 児童扶養手当	107	22	1	83	1
e 母子家庭等就業・自立支援センター	107	1	0	105	1

小数点第2位を四捨五入しているため、合計は100%と一致しない場合があります  
 上段: 回答者数  
 下段: 構成比  
 ■ 上位1項目

利用したことがない理由については、全ての項目で「制度の対象外（収入等の条件を満たさない） だと思うから」が8割以上を占めている。



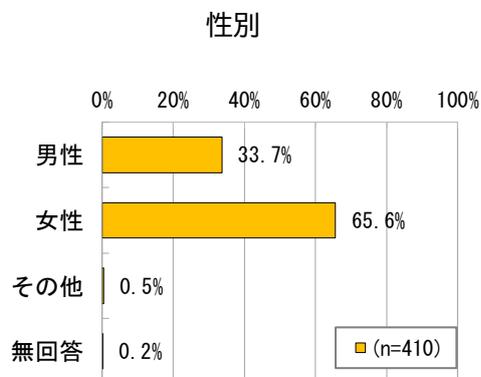
項目	サンプル数	理由					
		制度の対象外（収入等の条件を満たさない） だと思うから	利用できるが、特に利用したいと思わなかったから	利用したいが、今までこの支援制度を知らなかったから	利用したいが、手続きがわからなかったり、利用しにくいから	それ以外の理由	無回答
a 就学援助	87	72 (82.8%)	3 (3.4%)	2 (2.3%)	1 (1.1%)	7 (8.0%)	2 (2.3%)
b 生活保護	106	89 (84.0%)	5 (4.7%)	0 (0.0%)	1 (0.9%)	5 (4.7%)	6 (5.7%)
c 生活困窮者の自立支援相談窓口	103	84 (81.6%)	5 (4.9%)	2 (1.9%)	1 (1.0%)	5 (4.9%)	6 (5.8%)
d 児童扶養手当	83	69 (83.1%)	1 (1.2%)	3 (3.6%)	1 (1.2%)	5 (6.0%)	4 (4.8%)
e 母子家庭等就業・自立支援センター	105	84 (80.0%)	5 (4.8%)	0 (0.0%)	1 (1.0%)	7 (6.7%)	8 (7.6%)

小数点第2位を四捨五入しているため、合計は100%と一致しない場合がある  
 上段: 回答者数  
 下段: 構成比  
 ■ 上位1項目

## Ⅷ 調査結果（市民（18～39歳））

### 問1 あなたの性別をお答えください。(1つに○)

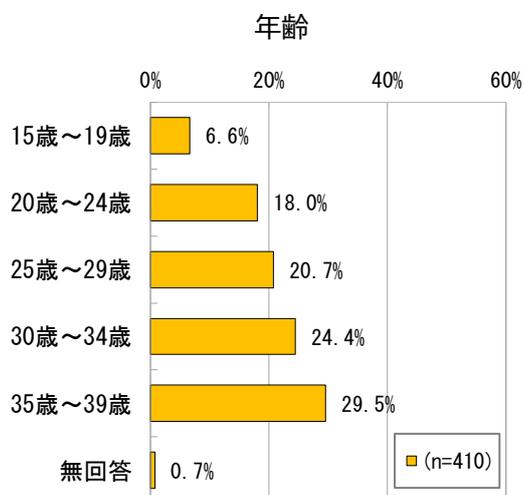
性別については、「男性」33.7%、「女性」65.6%、「その他」0.5%となっている。



項目	回答数	構成比
男性	138	33.7%
女性	269	65.6%
その他	2	0.5%
無回答	1	0.2%
合計	410	100.0%

### 問2 あなたの年齢をお答えください。(1つに○)

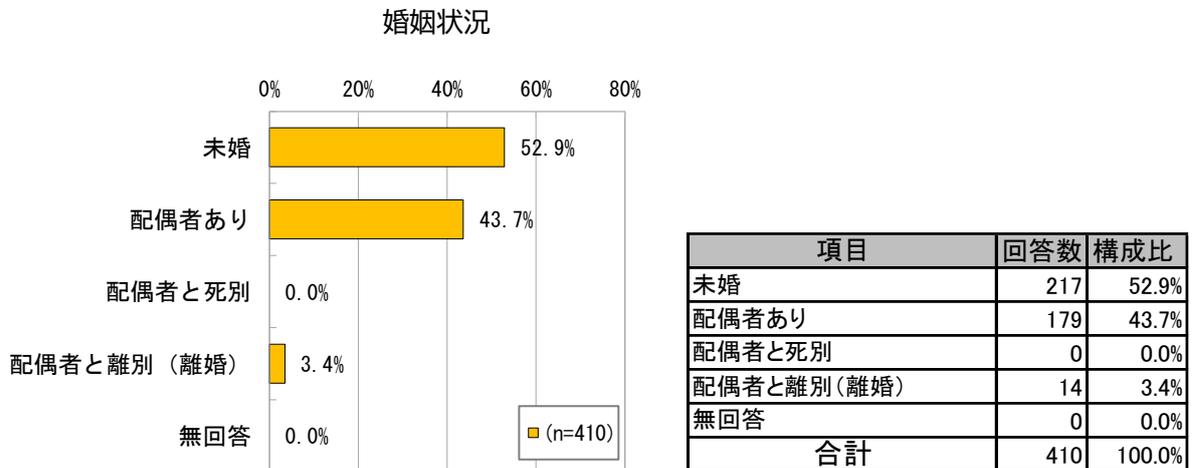
年齢については、「35歳～39歳」29.5%が最も多く、次いで「30歳～34歳」24.4%、「25歳～29歳」20.7%となっている。



項目	回答数	構成比
15歳～19歳	27	6.6%
20歳～24歳	74	18.0%
25歳～29歳	85	20.7%
30歳～34歳	100	24.4%
35歳～39歳	121	29.5%
無回答	3	0.7%
合計	410	100.0%

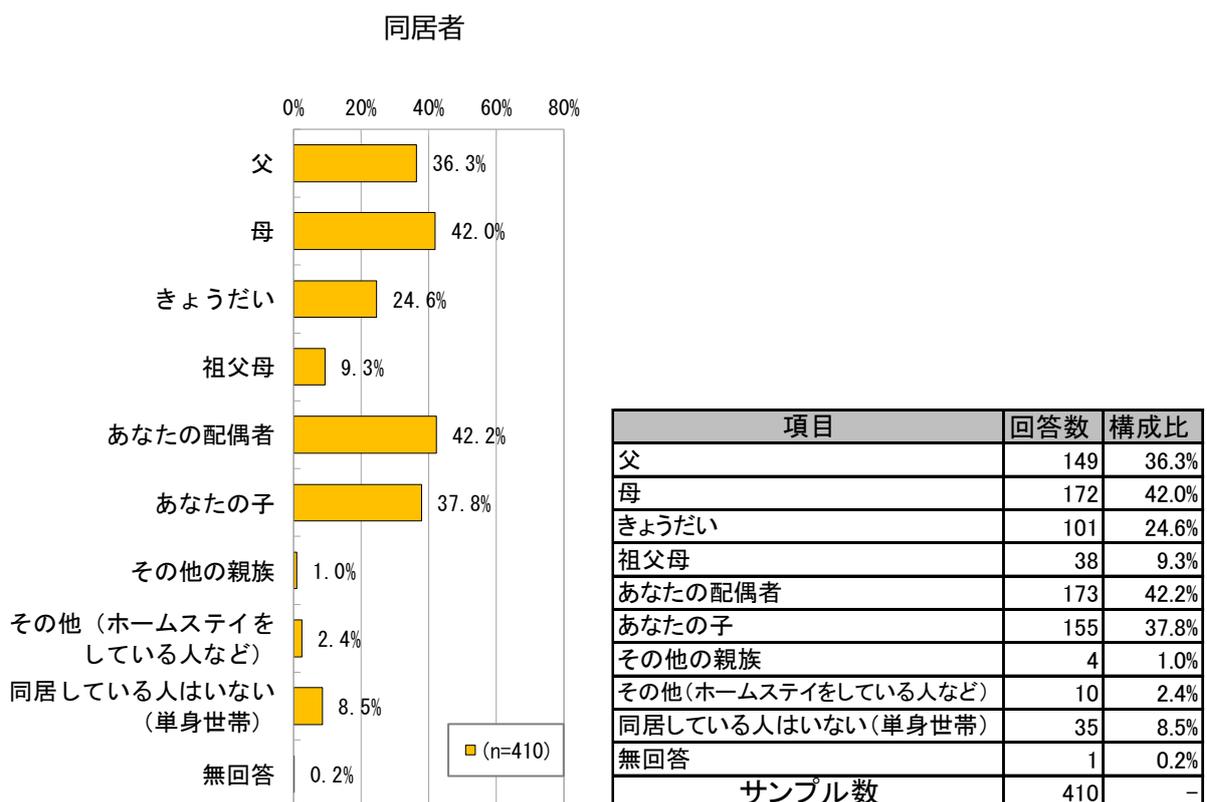
問3 あなたの現在の婚姻状況をお答えください。なお、「配偶者」には、婚姻の届出をしていないが、事実上婚姻と同様の状態にある方を含めます。(1つに○)

現在の婚姻状況については、「未婚」52.9%が最も高く、次いで「配偶者あり」43.7%、「配偶者と離別（離婚）」3.4%となっている。



問4 現在、あなたと同居している方をお答えください。なお、「配偶者」には、婚姻の届出をしていないが、事実上婚姻と同様の状態にある方を含めます。(いくつでも○)  
 ※里親や児童養護施設などで暮らしている方は、「8 その他」をお選びください。

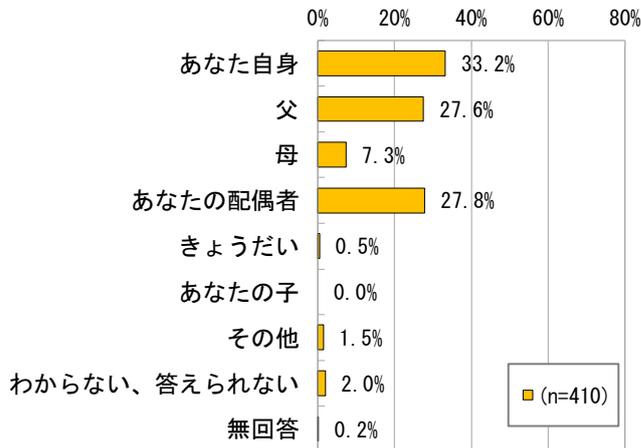
現在の同居者については、「あなたの配偶者」42.2%が最も高く、次いで「母」42.0%、「あなたの子」37.8%となっている。



問5 あなたの家の生計を支えている方は主にどなたですか。また、仕送りで生計を立てている方は、その仕送りを主にしてくれている人をお答えください。(1つに○)

家の生計を主に支えている方については、「あなた自身」33.2%が最も高く、次いで「あなたの配偶者」27.8%、「父」27.6%となっている。

生計を支えている方



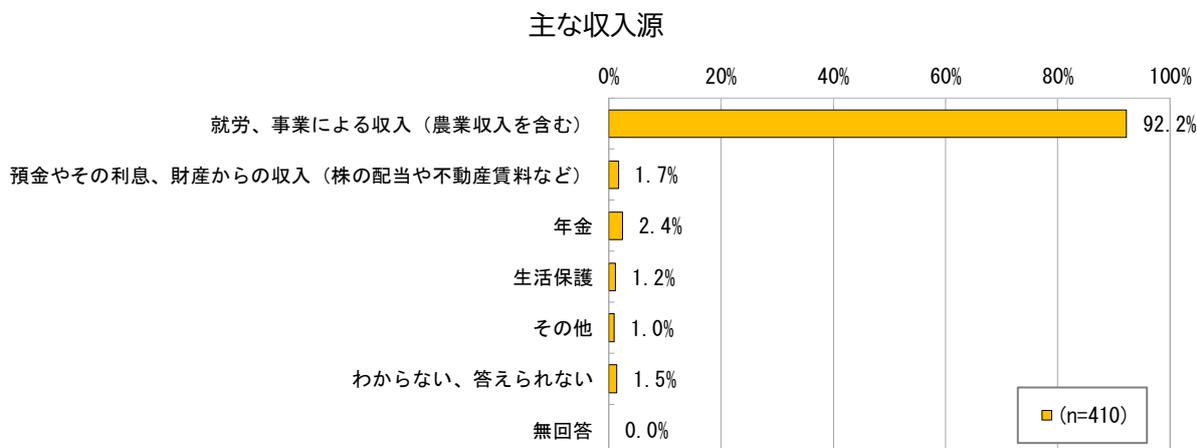
項目	回答数	構成比
あなた自身	136	33.2%
父	113	27.6%
母	30	7.3%
あなたの配偶者	114	27.8%
きょうだい	2	0.5%
あなたの子	0	0.0%
その他	6	1.5%
わからない、答えられない	8	2.0%
無回答	1	0.2%
合計	410	100.0%

【その他の回答】

- ・祖父母      ・自分と配偶者      ・祖母以外全員
- ・「主な」とはいいますが、複合的な場合も想定した回答欄を作るべき      など

問6 あなたの家の生計を支えている方の主な収入源は何ですか。(1つに○)

生計を支えている方の主な収入源については、「就労、事業による収入（農業収入を含む）」92.2%が最も高く、次いで「年金」2.4%となっている。



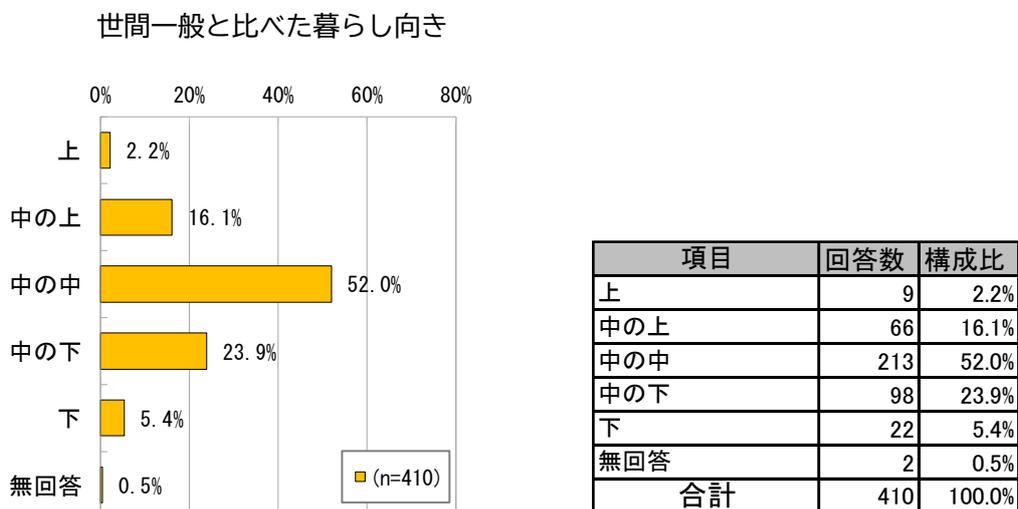
【その他の回答】

- ・従業員 ・祖父母
- ・本人、きょうだいの収入と父母の年金 など

項目	回答数	構成比
就労、事業による収入（農業収入を含む）	378	92.2%
預金やその利息、財産からの収入（株の配当や不動産賃料など）	7	1.7%
年金	10	2.4%
生活保護	5	1.2%
その他	4	1.0%
わからない、答えられない	6	1.5%
無回答	0	0.0%
合計	410	100.0%

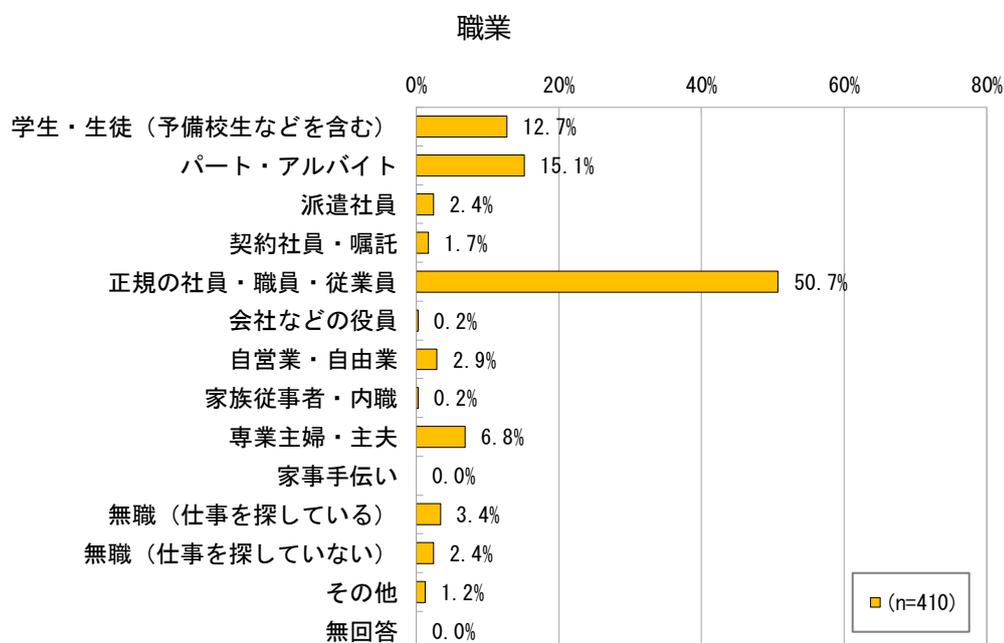
問7 あなたの暮らし向き(衣・食・住・レジャーなどの物質的な生活水準)は、世間一般と比べてみて、上から下までのどれにあたると思いますか。あなたの実感でお答えください。(1つに○)

暮らし向きが世間一般と比べてどうであるかについては、「中の中」52.0%が最も高く、次いで「中の下」23.9%、「中の上」16.1%となっている。



問8 あなたの現在の仕事をお答えください。(1つに○)

現在の仕事については、「正規の社員・職員・従業員」50.7%が最も高く、次いで「パート・アルバイト」15.1%、「学生・生徒（予備校生などを含む）」12.7%となっている。



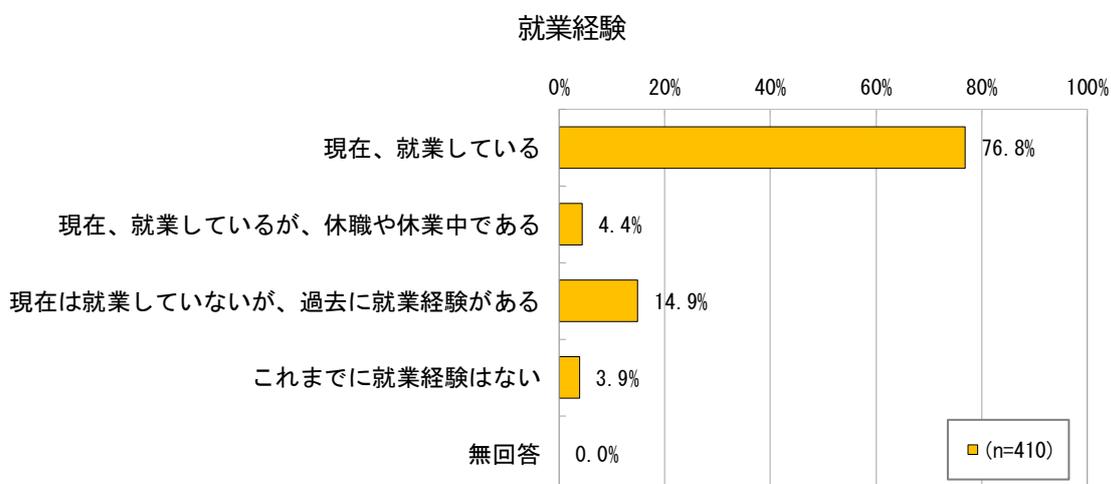
項目	回答数	構成比
学生・生徒（予備校生などを含む）	52	12.7%
パート・アルバイト	62	15.1%
派遣社員	10	2.4%
契約社員・嘱託	7	1.7%
正規の社員・職員・従業員	208	50.7%
会社などの役員	1	0.2%
自営業・自由業	12	2.9%
家族従事者・内職	1	0.2%
専業主婦・主夫	28	6.8%
家事手伝い	0	0.0%
無職（仕事を探している）	14	3.4%
無職（仕事を探していない）	10	2.4%
その他	5	1.2%
無回答	0	0.0%
合計	410	100.0%

【その他の回答】

- ・福祉作業所    ・重度障害者    ・パート・アルバイト、家事手伝いをする自由業
- ・就労継続支援A型    障害者雇用    など

問9 あなたの就業経験についてお答えください。(パート・アルバイトを含む)(1つに○)

就業経験については、「現在、就業している」76.8%が最も高く、次いで「現在は就業していないが、過去に就業経験がある」14.9%となっている。



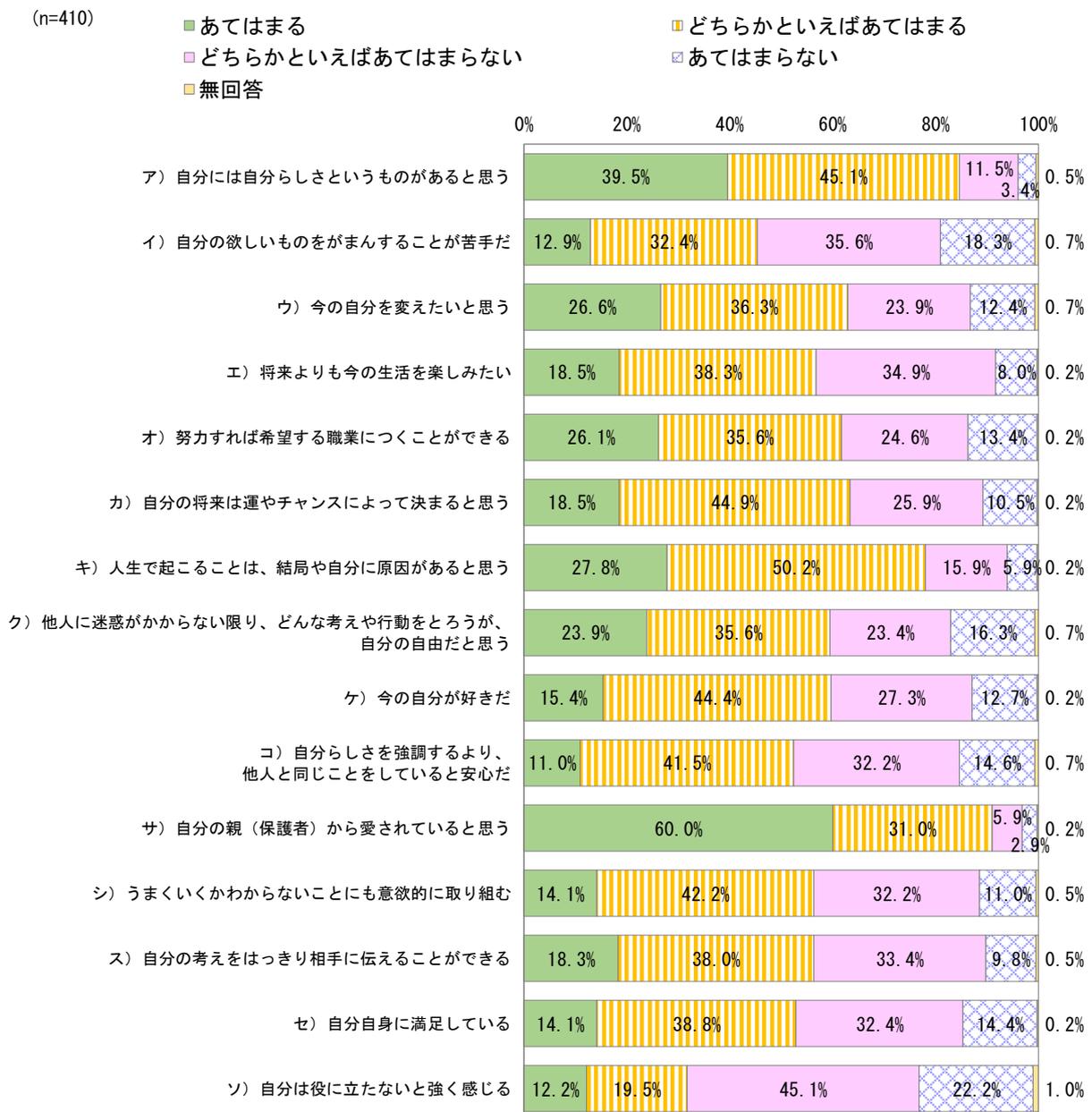
項目	回答数	構成比
現在、就業している	315	76.8%
現在、就業しているが、休職や休業中である	18	4.4%
現在は就業していないが、過去に就業経験がある	61	14.9%
これまでに就業経験はない	16	3.9%
無回答	0	0.0%
合計	410	100.0%

問10 あなた自身について、次のようなことにどれくらい当てはまりますか。(ア～ソ)のそれぞれについて、あてはまるもの1つに○)

『あてはまる』（「あてはまる」＋「どちらかといえばあてはまる」）と回答した割合が高いのは、「自分の親（保護者）から愛されていると思う」が91.0%で最も高く、次いで「自分には自分らしさというものがあると思う」84.6%、「人生で起こることは、結局は自分に原因があると思う」78.0%となっている。

一方で、『あてはまらない』（「どちらかといえばあてはまらない」＋「あてはまらない」）では、「自分は役に立たないと強く感じる」67.3%が最も高く、次いで「自分の欲しいものをがまんすることが苦手だ」54.9%、「自分らしさを強調するより、他人と同じことをしていると安心だ」「自分自身に満足している」がいずれも46.8%となっている。

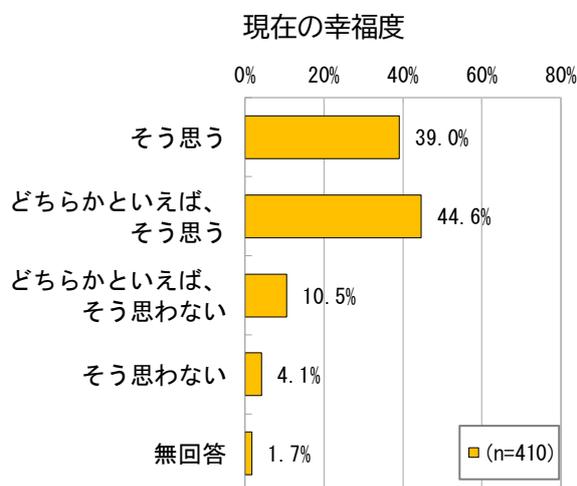
自分自身のことについて



小数点第2位を四捨五入しているため、合計は100%と一致しない場合がある  上段:回答者数 下段:構成比  ■ 上位1項目	サンプル数	あてはまる	どちらかといえばあ	どちらかといえあ	あてはまらない	無回答
ア)自分には自分らしさというものがあると思う	410 100.0%	162 39.5%	185 45.1%	47 11.5%	14 3.4%	2 0.5%
イ)自分の欲しいものをがまんすることが苦手だ	410 100.0%	53 12.9%	133 32.4%	146 35.6%	75 18.3%	3 0.7%
ウ)今の自分を変えたいと思う	410 100.0%	109 26.6%	149 36.3%	98 23.9%	51 12.4%	3 0.7%
エ)将来よりも今の生活を楽しまたい	410 100.0%	76 18.5%	157 38.3%	143 34.9%	33 8.0%	1 0.2%
オ)努力すれば希望する職業に就くことができる	410 100.0%	107 26.1%	146 35.6%	101 24.6%	55 13.4%	1 0.2%
カ)自分の将来は運やチャンスによって決まると思う	410 100.0%	76 18.5%	184 44.9%	106 25.9%	43 10.5%	1 0.2%
キ)人生で起こることは、結局や自分に原因があると思う	410 100.0%	114 27.8%	206 50.2%	65 15.9%	24 5.9%	1 0.2%
ク)他人に迷惑がかからない限り、どんな考えや行動をとろうが、自分の自由だと思う	410 100.0%	98 23.9%	146 35.6%	96 23.4%	67 16.3%	3 0.7%
ケ)今の自分が好きだ	410 100.0%	63 15.4%	182 44.4%	112 27.3%	52 12.7%	1 0.2%
コ)自分らしさを強調するより、他人と同じことをしていると安心だ	410 100.0%	45 11.0%	170 41.5%	132 32.2%	60 14.6%	3 0.7%
サ)自分の親(保護者)から愛されていると思う	410 100.0%	246 60.0%	127 31.0%	24 5.9%	12 2.9%	1 0.2%
シ)うまくいくかわからないことにも意欲的に取り組む	410 100.0%	58 14.1%	173 42.2%	132 32.2%	45 11.0%	2 0.5%
ス)自分の考えをはっきり相手に伝えることができる	410 100.0%	75 18.3%	156 38.0%	137 33.4%	40 9.8%	2 0.5%
セ)自分自身に満足している	410 100.0%	58 14.1%	159 38.8%	133 32.4%	59 14.4%	1 0.2%
ソ)自分は役に立たないと強く感じる	410 100.0%	50 12.2%	80 19.5%	185 45.1%	91 22.2%	4 1.0%

問11 あなたは、今、自分が幸せだと思いますか。あなたの実感をお答えください。(1つに○)

現在自分が幸せであると感じているかについては、「どちらかといえば、そう思う」44.6%が最も高く、次いで「そう思う」39.0%となっている。『思う』(「そう思う」+「どちらかといえば、そう思う」)と回答した方の割合は全体の83.6%を占める。

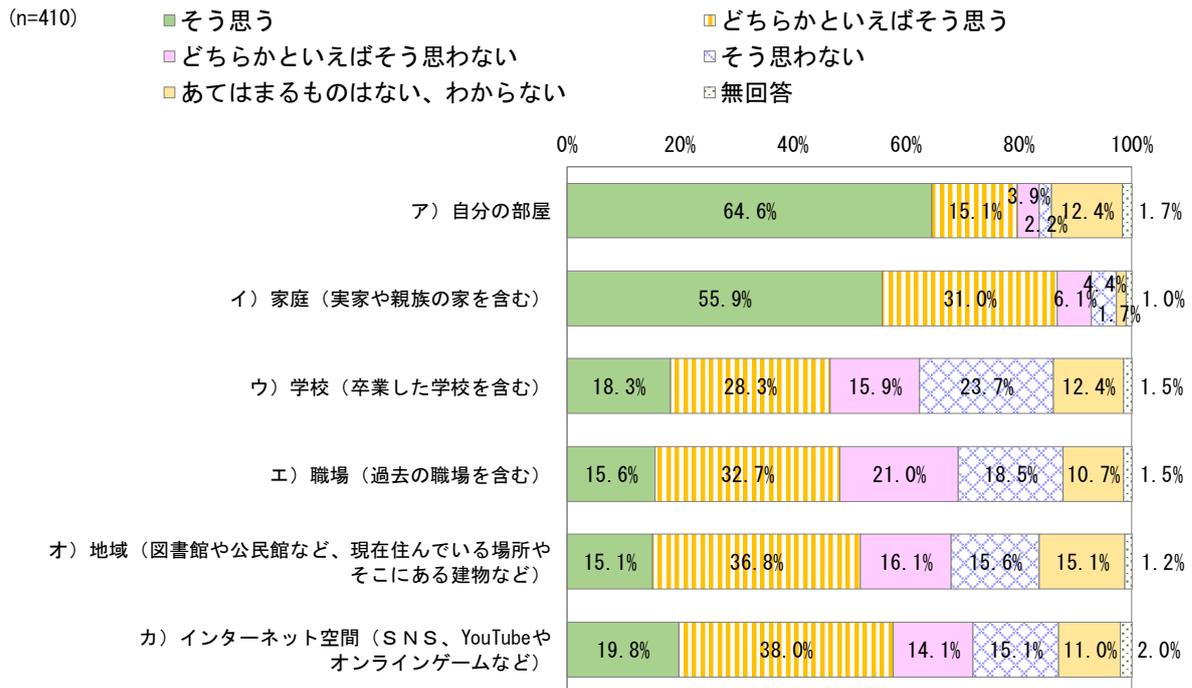


項目	回答数	構成比
そう思う	160	39.0%
どちらかといえば、そう思う	183	44.6%
どちらかといえば、そう思わない	43	10.5%
そう思わない	17	4.1%
無回答	7	1.7%
合計	410	100.0%

問12 次の場所は、今のあなたにとって居場所(ほっとできる場所、居心地の良い場所など)になっていますか。(ア～カ)のそれぞれについて、あてはまるもの1つに○)

以下の項目の場所が、自分の居場所となっているかについて、『思う』(「そう思う」+「どちらかといえばそう思う」と回答した割合が高いのは、「家庭(実家や親族の家を含む)」が86.9%で最も高く、次いで「自分の部屋」79.7%、「インターネット空間(SNS、YouTubeやオンラインゲームなど)」57.8%となっている。

ア)～カ)が居場所となっているか



項目	サンプル数	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	あてはまるものはない、わからない	無回答
ア) 自分の部屋	410	265	62	16	9	51	7
イ) 家庭(実家や親族の家を含む)	410	229	127	25	18	7	4
ウ) 学校(卒業した学校を含む)	410	75	116	65	97	51	6
エ) 職場(過去の職場を含む)	410	64	134	86	76	44	6
オ) 地域(図書館や公民館など、現在住んでいる場所やそこにある建物など)	410	62	151	66	64	62	5
カ) インターネット空間(SNS、YouTubeやオンラインゲームなど)	410	81	156	58	62	45	8

小数点第2位を四捨五入しているため、合計は100%と一致しない場合がある

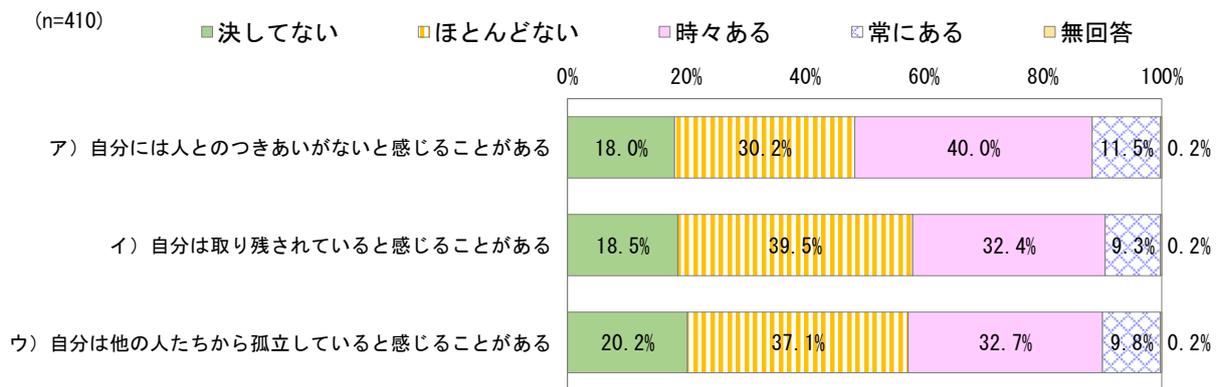
上段: 回答者数  
下段: 構成比

■ 上位1項目

問13 以下のア)～ウ)の項目について、あなたはどれくらいの頻度で感じていますか。  
(それぞれについて、あてはまるもの1つに○)

以下の項目について、どれくらいの頻度で感じているかについて、『ある』（「時々ある」＋「常にある」）では、「自分には人とのつきあいが無いと感じることがある」51.5%が最も高くなっている。「自分は取り残されていると感じることがある」「自分は他の人たちから孤立していると感じることがある」がいずれも『ない』（「決してない」＋「ほとんどない」）が半数以上を占めている。いずれの項目でも「常にある」は1割程度となっている。

ア)～ウ)のことをどれくらいの頻度で感じているか

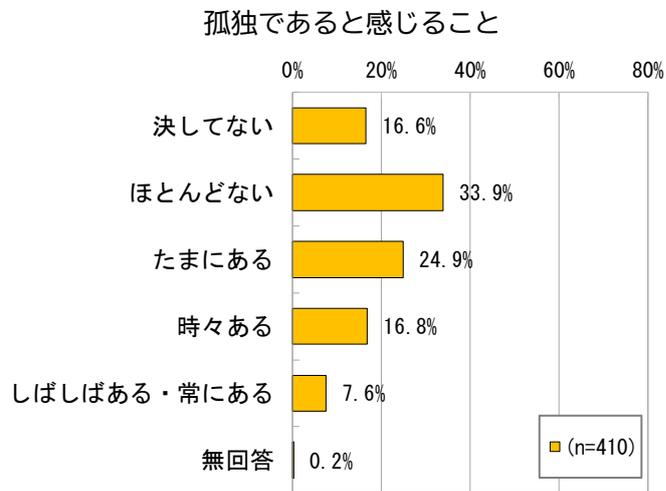


項目	サンプル数	決してない	ほとんどない	時々ある	常にある	無回答
ア) 自分には人とのつきあいが無いと感じることがある	410	74	124	164	47	1
イ) 自分は取り残されていると感じることがある	410	76	162	133	38	1
ウ) 自分は他の人たちから孤立していると感じることがある	410	83	152	134	40	1

小数点第2位を四捨五入しているため、合計は100%と一致しない場合があります  
上段: 回答者数  
下段: 構成比  
■ 上位1項目

問14 あなたはどの程度、孤独であると感じることがありますか。(1つに○)

孤独であると感じることがどの程度あるかについては、「ほとんどない」33.9%が最も高く、次いで「たまにある」24.9%、「時々ある」16.8%となっている。『ある』（「たまにある」＋「時々ある」＋「しばしばある・常にある」）は49.3%となっている。



項目	回答数	構成比
決してない	68	16.6%
ほとんどない	139	33.9%
たまにある	102	24.9%
時々ある	69	16.8%
しばしばある・常にある	31	7.6%
無回答	1	0.2%
合計	410	100.0%

問15 家族・親族とあなたのかかわりは、どのようなものですか。

(ア～カ)のそれぞれについて、あてはまるもの1つに○

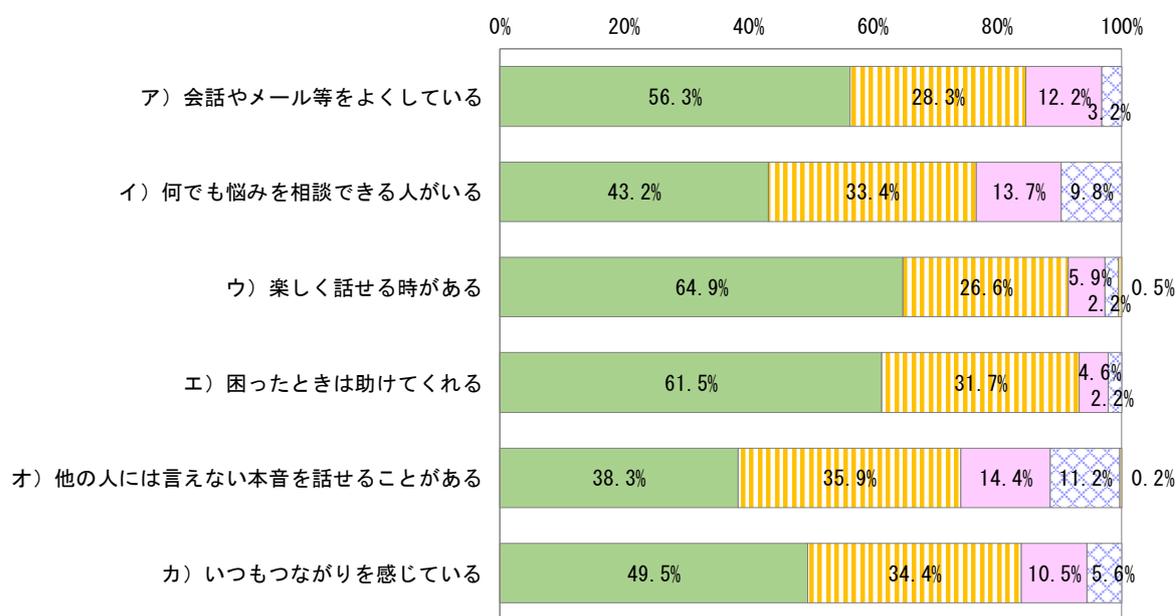
家族・親族とのかかわりについて、『思う』（「そう思う」＋「どちらかといえばそう思う」）は「困ったときは助けてくれる」93.2%が最も高く、次いで「楽しく話せる時がある」91.5%、「会話やメール等をよくしている」84.6%となっている。

一方、『思わない』（「どちらかといえばそう思わない」＋「そう思わない」）では「他の人には言えない本音を話せることがある」が25.6%で最も高くなっている。

家族・親族とのかかわりについて

(n=410)

■ そう思う ■ どちらかといえばそう思う ■ どちらかといえばそう思わない ■ そう思わない ■ 無回答



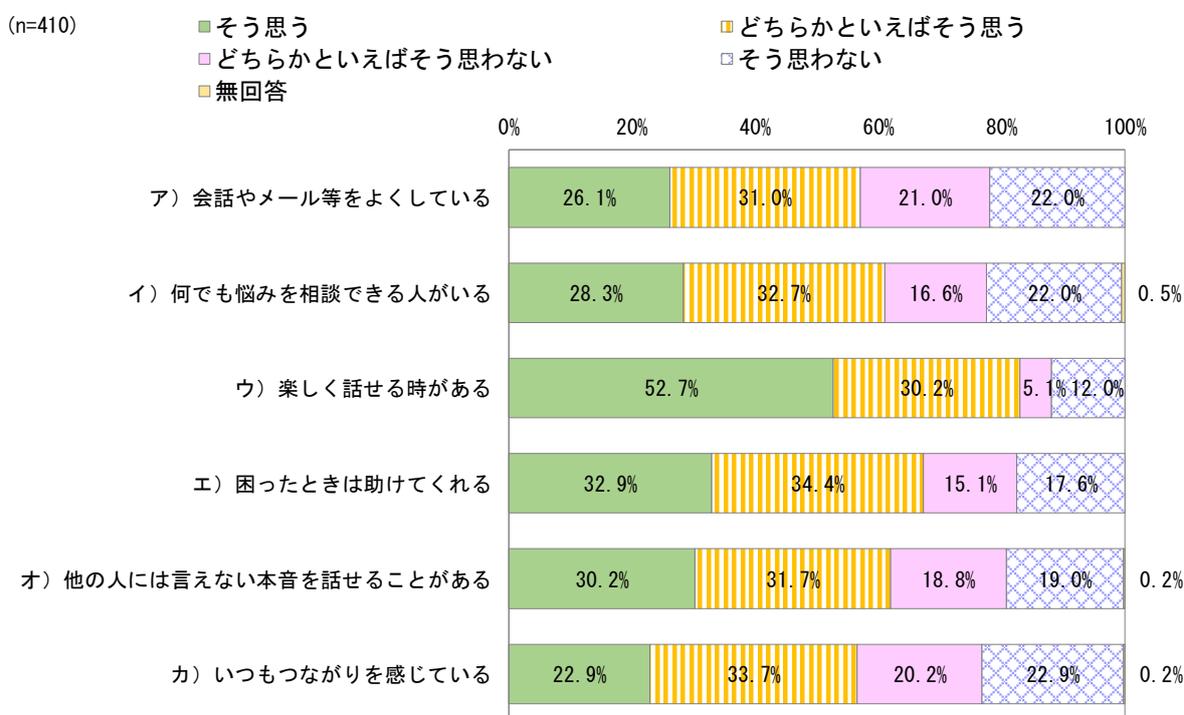
項目	サンプル数	割合				
		そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	無回答
ア) 会話やメール等をよくしている	410	231	116	50	13	0
イ) 何でも悩みを相談できる人がいる	410	177	137	56	40	0
ウ) 楽しく話せる時がある	410	266	109	24	9	2
エ) 困ったときは助けてくれる	410	252	130	19	9	0
オ) 他の人には言えない本音を話せることがある	410	157	147	59	46	1
カ) いつもつながりを感じている	410	203	141	43	23	0

問16 学校で出会った友人(現在通っている学校の友人、かつての同窓生など)と、あなたの現在のかかわりは、どのようなものですか。  
(ア～カ)のそれぞれについて、あてはまるもの1つに○

学校で出会った友人とのかかわりについて、『思う』(「そう思う」+「どちらかといえばそう思う」)は「楽しく話せる時がある」82.9%が最も高く、次いで「困ったときは助けてくれる」67.3%、「他の人には言えない本音を話せることがある」61.9%となっている。

一方、『思わない』(「どちらかといえばそう思わない」+「そう思わない」)では「いつもつながりを感じている」43.1%、「会話やメール等をよくしている」43.0%がそれぞれ高くなっている。

### 学校で出会った友人とのかかわりについて



項目	サンプル数	そう思う		どちらかといえばそう思う		どちらかといえばそう思わない		そう思わない		無回答
		人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	
ア) 会話やメール等をよくしている	410	107	26.1%	127	31.0%	86	21.0%	90	22.0%	0
イ) 何でも悩みを相談できる人がいる	410	116	28.3%	134	32.7%	68	16.6%	90	22.0%	2
ウ) 楽しく話せる時がある	410	216	52.7%	124	30.2%	21	5.1%	49	12.0%	0
エ) 困ったときは助けてくれる	410	135	32.9%	141	34.4%	62	15.1%	72	17.6%	0
オ) 他の人には言えない本音を話せることがある	410	124	30.2%	130	31.7%	77	18.8%	78	19.0%	1
カ) いつもつながりを感じている	410	94	22.9%	138	33.7%	83	20.2%	94	22.9%	1

小数点第2位を四捨五入しているため、合計は100%と一致しない場合がある  
上段: 回答者数  
下段: 構成比  
■ 上位1項目

問9で「1 現在、就業している」、「2 現在、就業しているが、休職や休業中である」、「3 現在は就業していないが、過去に就業経験がある」を選んだ方のみ、お答えください。

問17 職場・アルバイト関係の人(現在及び過去の職場の同僚・上司・部下、その他仕事の関係で知り合った人など)と、あなたの現在のかかわりは、どのようなものですか。  
(ア～カ)のそれぞれについて、あてはまるもの1つに○)

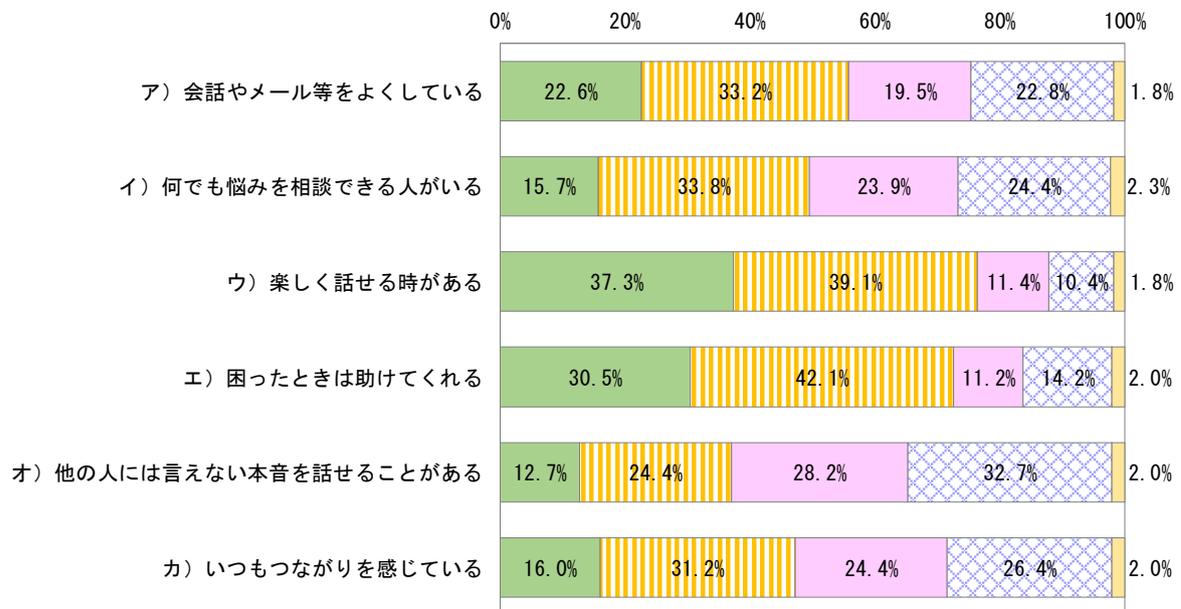
職場・アルバイト関係の人とのかかわりについては、『思う』(「そう思う」+「どちらかといえばそう思う」)では「楽しく話せる時がある」76.4%が最も高く、次いで「困ったときは助けてくれる」72.6%、「会話やメール等をよくしている」55.8%となっている。

一方、『思わない』(「どちらかといえば思わない」+「そう思わない」)では「他の人には言えない本音を話せることがある」60.9%が最も高くなっている。

### 職場・アルバイト関係の人とのかかわりについて

(n=394)

■ そう思う ■ どちらかといえばそう思う ■ どちらかといえば思わない ■ そう思わない ■ 無回答



項目	サンプル数	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえば思わない	そう思わない	無回答
		上段: 回答者数 下段: 構成比				
ア) 会話やメール等をよくしている	394	89 22.6%	131 33.2%	77 19.5%	90 22.8%	7 1.8%
イ) 何でも悩みを相談できる人がいる	394	62 15.7%	133 33.8%	94 23.9%	96 24.4%	9 2.3%
ウ) 楽しく話せる時がある	394	147 37.3%	154 39.1%	45 11.4%	41 10.4%	7 1.8%
エ) 困ったときは助けてくれる	394	120 30.5%	166 42.1%	44 11.2%	56 14.2%	8 2.0%
オ) 他の人には言えない本音を話せることがある	394	50 12.7%	96 24.4%	111 28.2%	129 32.7%	8 2.0%
カ) いつもつながりを感じている	394	63 16.0%	123 31.2%	96 24.4%	104 26.4%	8 2.0%

問18 地域の人(近所の人、町内会などの知人、消防団などの地域活動での知人、塾や習い事での知人、参加している NPO 法人など)と、あなたのかかわりは、どのようなものですか。(ア～カ)のそれぞれについて、あてはまるもの1つに○))

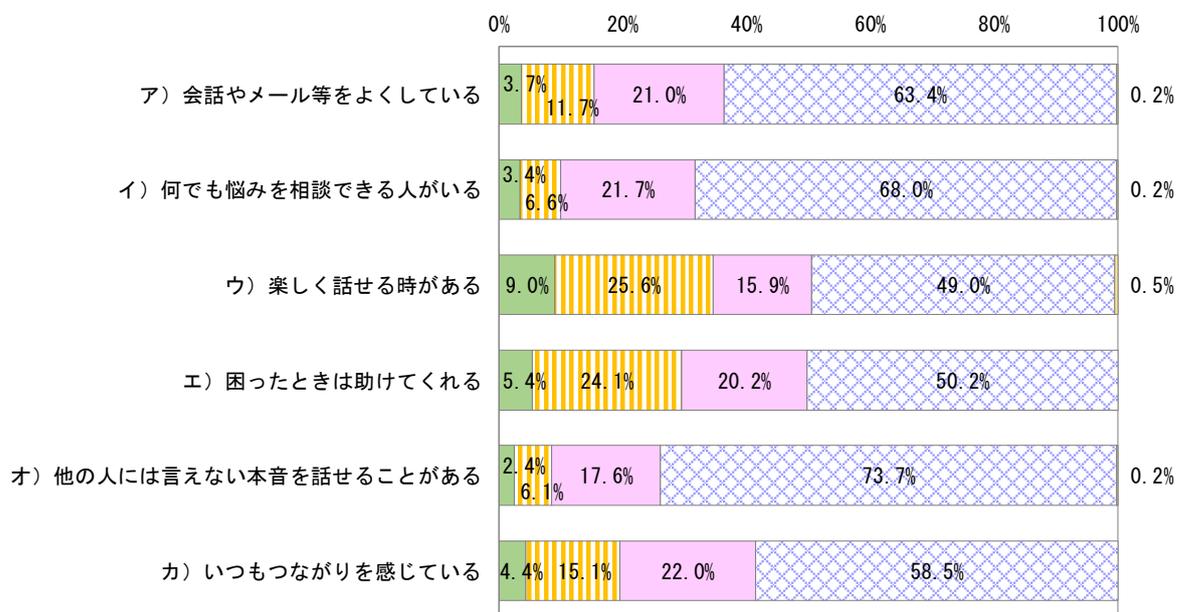
地域の人などのかかわりについて、『思う』(「そう思う」+「どちらかといえばそう思う」)は「楽しく話せる時がある」34.6%が最も高く、次いで「困ったときは助けてくれる」29.5%、「いつもつながりを感じている」19.5%となっている。

『思わない』(「どちらかといえばそう思わない」+「そう思わない」)では、「何でも悩みを相談できる人がいる」、「他の人には言えない本音を話せることがある」がいずれも約9割を占めている。

### 地域の人などのかかわりについて

(n=410)

■ そう思う ■ どちらかといえばそう思う ■ どちらかといえばそう思わない ■ そう思わない ■ 無回答



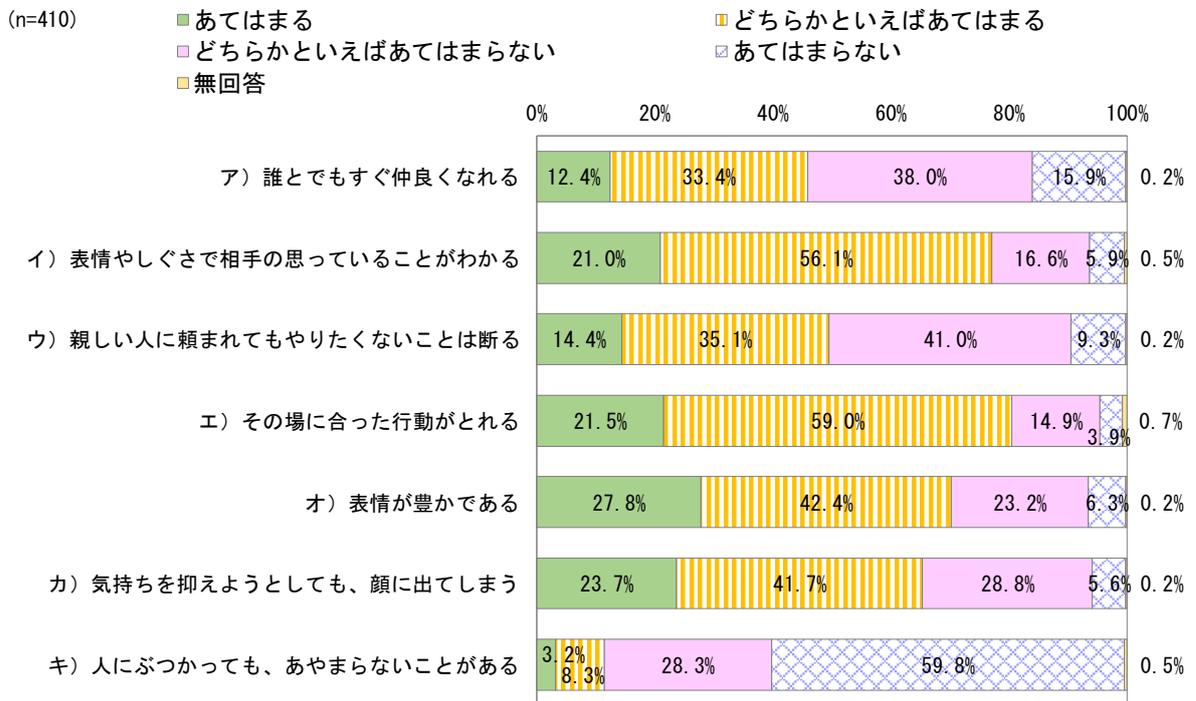
項目	サンプル数	割合				無回答
		そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	
ア) 会話やメール等をよくしている	410	15	48	86	260	1
	100.0%	3.7%	11.7%	21.0%	63.4%	0.2%
イ) 何でも悩みを相談できる人がいる	410	14	27	89	279	1
	100.0%	3.4%	6.6%	21.7%	68.0%	0.2%
ウ) 楽しく話せる時がある	410	37	105	65	201	2
	100.0%	9.0%	25.6%	15.9%	49.0%	0.5%
エ) 困ったときは助けてくれる	410	22	99	83	206	0
	100.0%	5.4%	24.1%	20.2%	50.2%	0.0%
オ) 他の人には言えない本音を話せることがある	410	10	25	72	302	1
	100.0%	2.4%	6.1%	17.6%	73.7%	0.2%
カ) いつもつながりを感じている	410	18	62	90	240	0
	100.0%	4.4%	15.1%	22.0%	58.5%	0.0%

問19 あなたは、他の人と付き合う時、次のようなことがどのくらいあてはまりますか。  
 (ア～キ)のそれぞれについて、あてはまるもの1つに○))

他人と付き合う時にあてはまることについて、『あてはまる』（「あてはまる」＋「どちらかといえばあてはまる」）では、「その場に合った行動がとれる」80.5%が最も高く、次いで「表情やしぐさで相手の思っていることがわかる」77.1%、「表情が豊かである」70.2%となっている。

一方、『あてはまらない』（「どちらかといえばあてはまらない」＋「あてはまらない」）では「人にぶつかっても、あやまらないことがある」88.1%が最も高くなっている。

### 他人と付き合う時にあてはまること

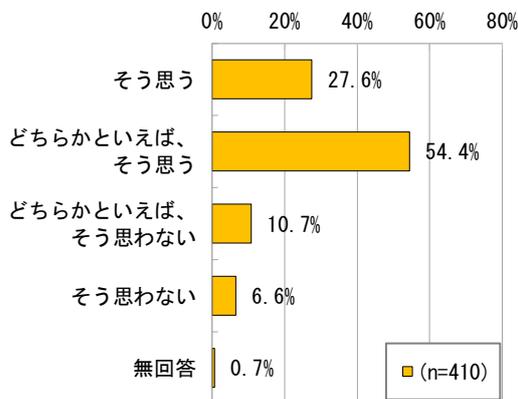


小数点第2位を四捨五入しているため、合計は100%と一致しない場合がある 上段: 回答者数 下段: 構成比 ■ 上位1項目	サンプル数	あてはまる		どちらかといえばあてはまる		どちらかといえばあてはまらない		あてはまらない		無回答	
		回答者数	構成比	回答者数	構成比	回答者数	構成比	回答者数	構成比		
ア) 誰とでもすぐ仲良くなれる	410	51	12.4%	137	33.4%	156	38.0%	65	15.9%	1	0.2%
イ) 表情やしぐさで相手の思っていることがわかる	410	86	21.0%	230	56.1%	68	16.6%	24	5.9%	2	0.5%
ウ) 親しい人に頼まれてもやりたくないことは断る	410	59	14.4%	144	35.1%	168	41.0%	38	9.3%	1	0.2%
エ) その場に合った行動がとれる	410	88	21.5%	242	59.0%	61	14.9%	16	3.9%	3	0.7%
オ) 表情が豊かである	410	114	27.8%	174	42.4%	95	23.2%	26	6.3%	1	0.2%
カ) 気持ちを抑えようとしても、顔に出てしまう	410	97	23.7%	171	41.7%	118	28.8%	23	5.6%	1	0.2%
キ) 人にぶつかっても、あやまらないことがある	410	13	3.2%	34	8.3%	116	28.3%	245	59.8%	2	0.5%

問20 あなたは、「社会のために役立つことをしたい」と思いますか。(1つに○)

社会のために役立つことをしたいかについて、「どちらかといえば、そう思う」54.4%が最も高く、次いで「そう思う」27.6%となっている。『思う』（「そう思う」＋「どちらかといえば、そう思う」）と回答した方の割合は全体の82.0%を占める。

「社会のために役立つことをしたい」と思うか

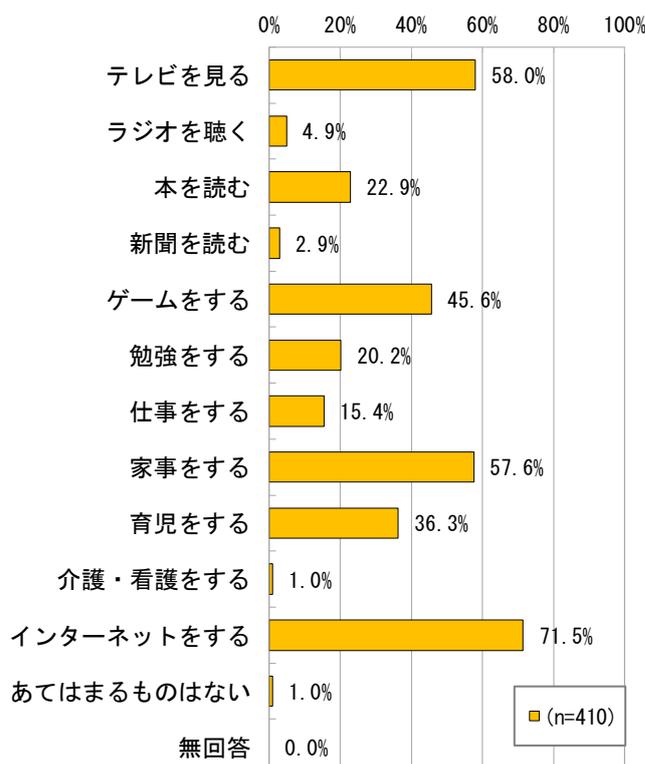


項目	回答数	構成比
そう思う	113	27.6%
どちらかといえば、そう思う	223	54.4%
どちらかといえば、そう思わない	44	10.7%
そう思わない	27	6.6%
無回答	3	0.7%
合計	410	100.0%

問21 普段ご自宅(暮らしている場所)にいるときは、どんなことに時間を使っていますか。よくしていることをすべて選んでください。(いくつでも○)

普段自宅でどんなことに時間を使っているかについて、「インターネットをする」71.5%が最も高く、次いで「テレビを見る」58.0%、「家事をする」57.6%となっている。

普段自宅で時間を使っていること

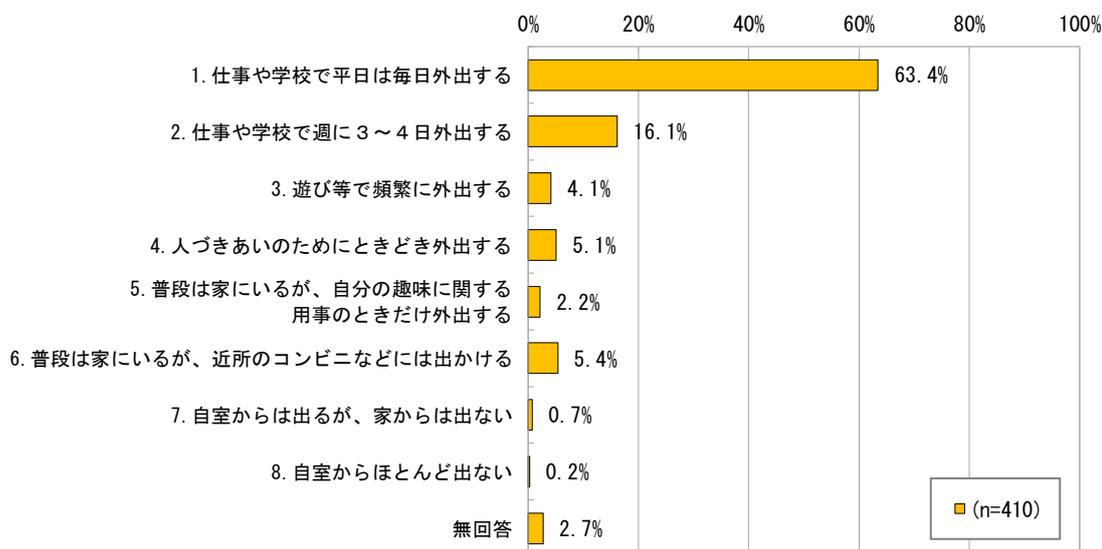


項目	回答数	構成比
テレビを見る	238	58.0%
ラジオを聴く	20	4.9%
本を読む	94	22.9%
新聞を読む	12	2.9%
ゲームをする	187	45.6%
勉強をする	83	20.2%
仕事をする	63	15.4%
家事をする	236	57.6%
育児をする	149	36.3%
介護・看護をする	4	1.0%
インターネットをする	293	71.5%
あてはまるものはない	4	1.0%
無回答	0	0.0%
サンプル数	410	-

問22 あなたは普段どのくらい外出しますか。現在のことについてお答えください。(1つに○)

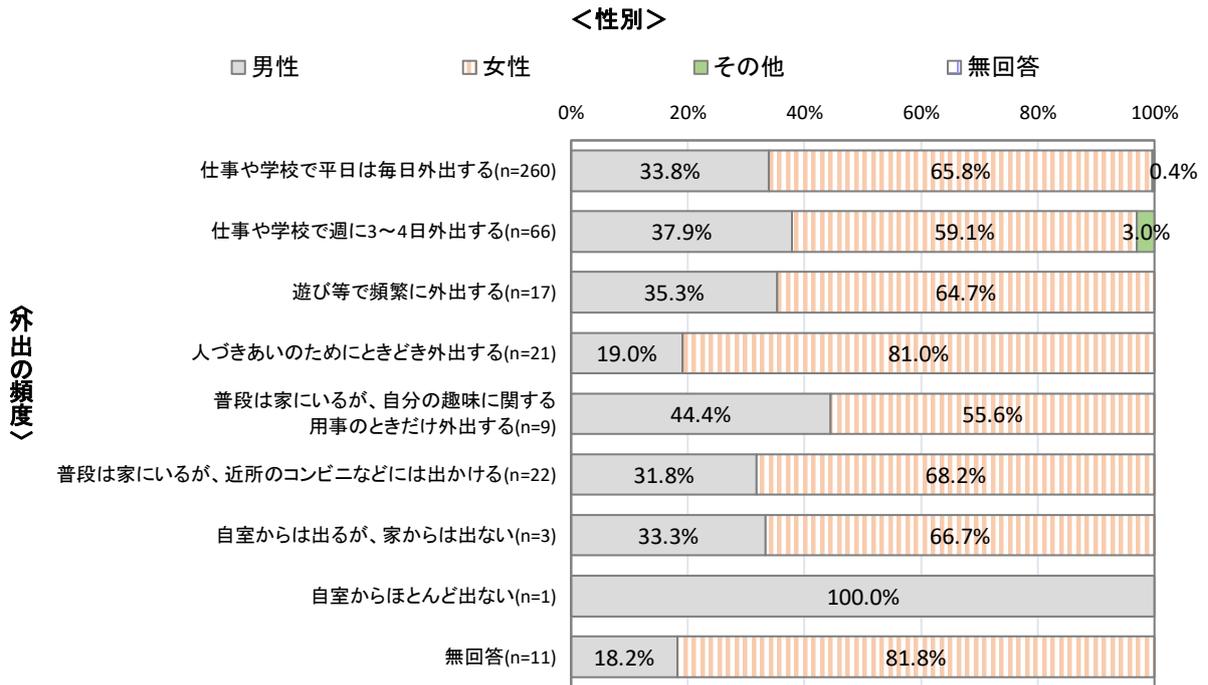
普段どのくらい外出するかについて、「仕事や学校で平日は毎日外出する」63.4%が最も高く、次いで「仕事や学校で週に3～4日外出する」16.1%、「普段は家にいるが、近所のコンビニなどには出かける」5.4%となっている。

普段の外出頻度

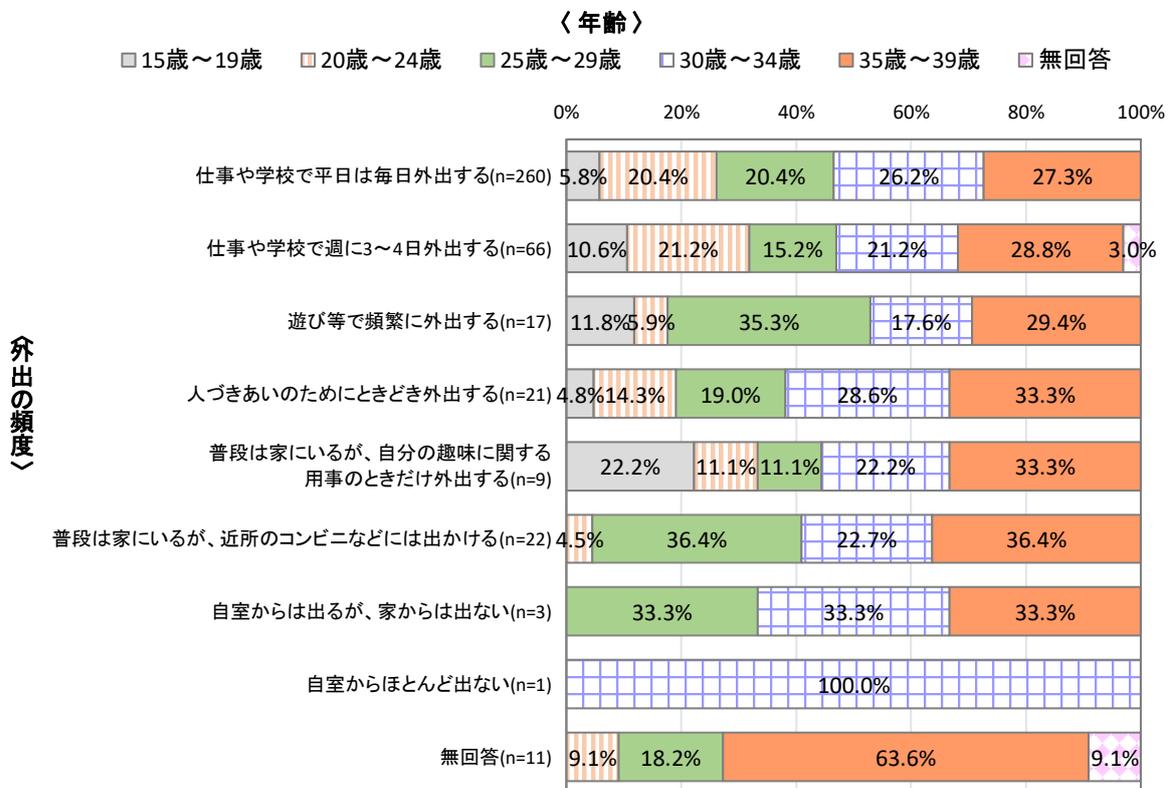


項目	回答数	構成比
仕事や学校で平日は毎日外出する	260	63.4%
仕事や学校で週に3～4日外出する	66	16.1%
遊び等で頻繁に外出する	17	4.1%
人づきあいのためにときどき外出する	21	5.1%
普段は家にいるが、自分の趣味に関する用事のときだけ外出する	9	2.2%
普段は家にいるが、近所のコンビニなどには出かける	22	5.4%
自室からは出るが、家からは出ない	3	0.7%
自室からほとんど出ない	1	0.2%
無回答	11	2.7%
合計	410	100.0%

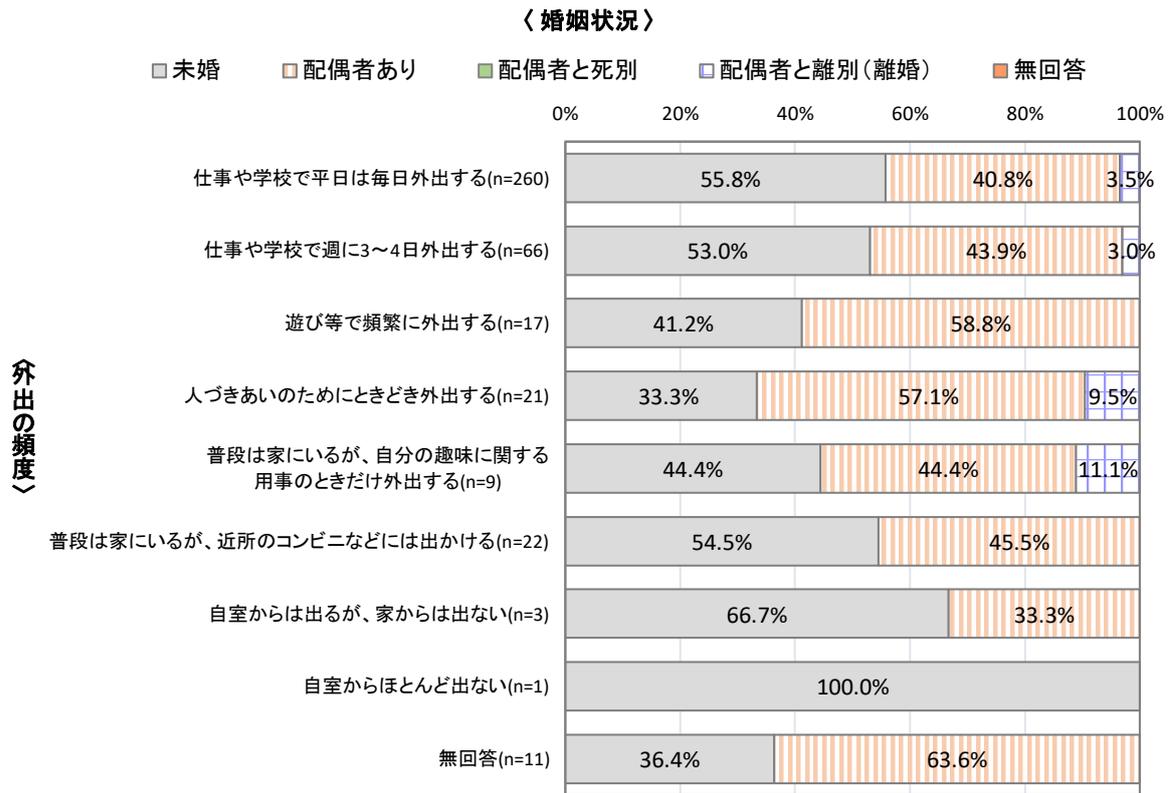
● (参考) : 【問 22】 外出の頻度 × 【問 1】 性別



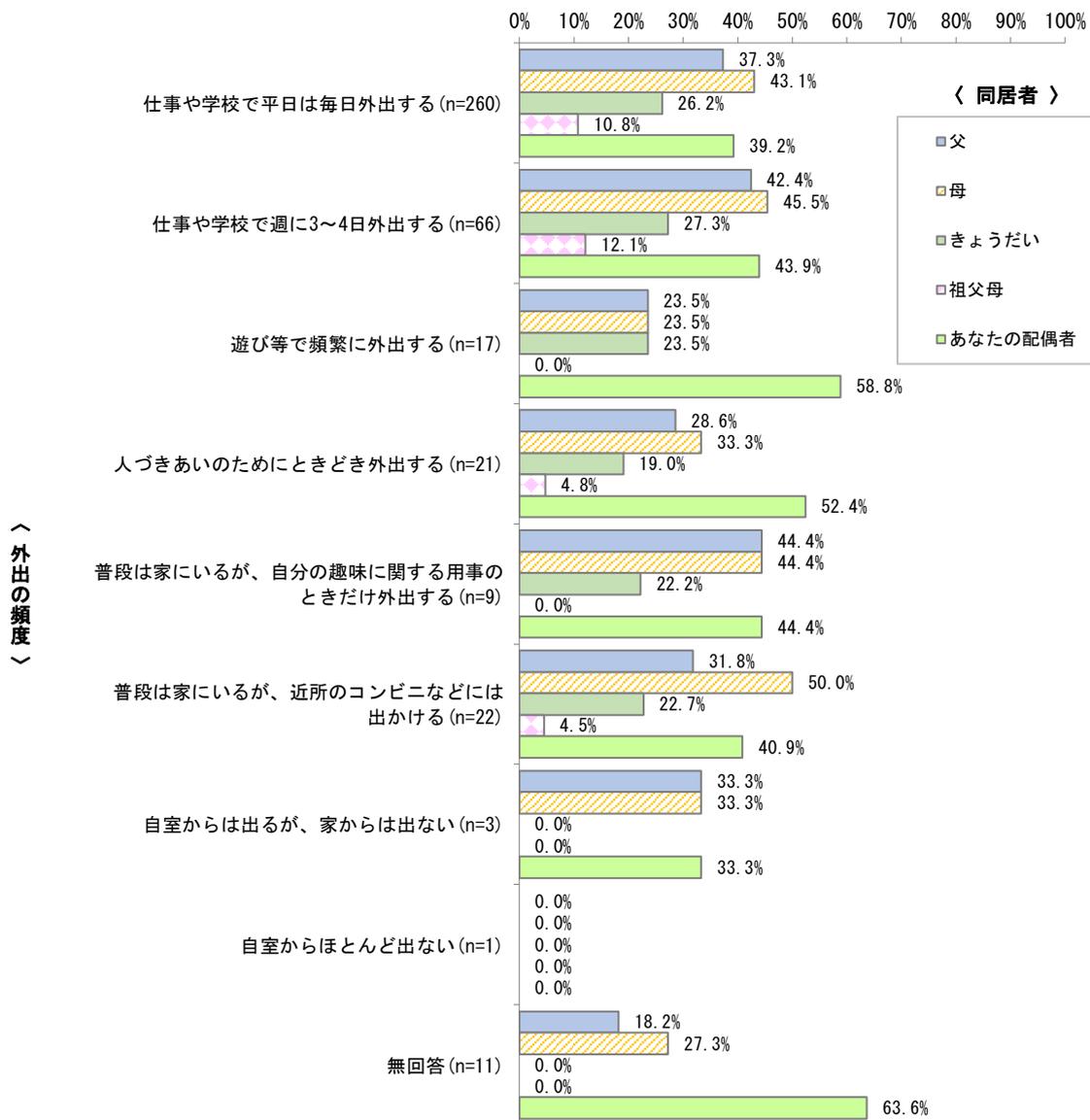
● (参考) : 【問 22】 外出の頻度 × 【問 2】 年齢

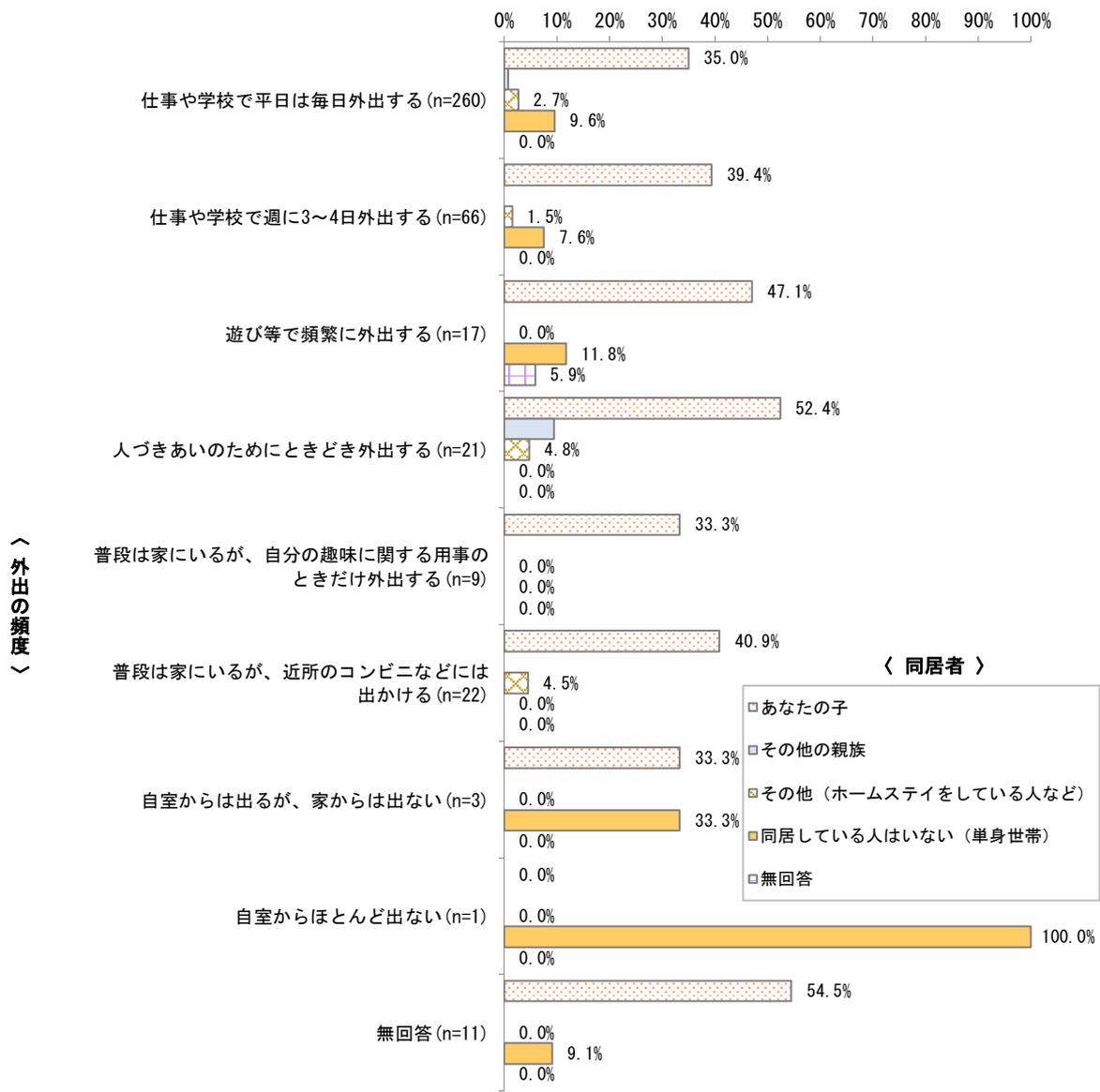


● (参考) : 【問 22】 外出の頻度 × 【問 3】 現在の婚姻状況

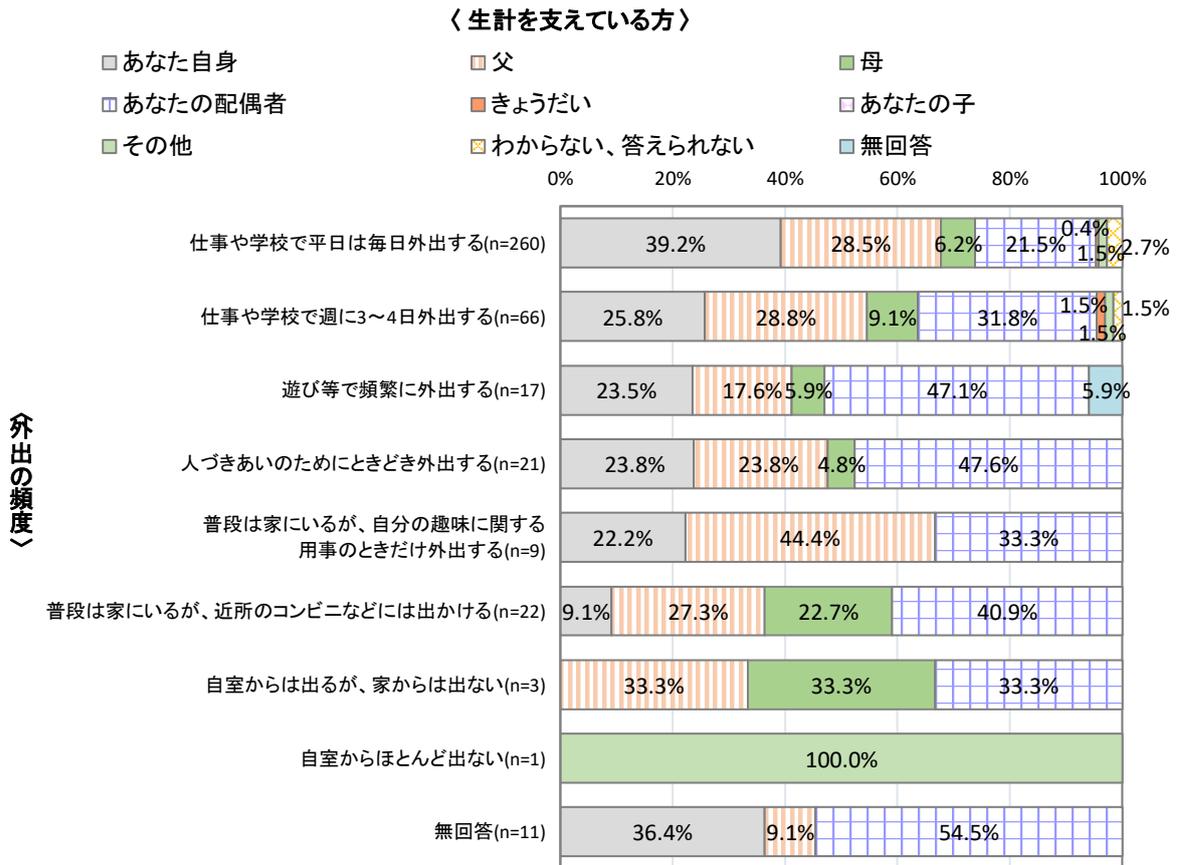


● (参考) : 【問 22】 外出の頻度 × 【問 4】 同居者

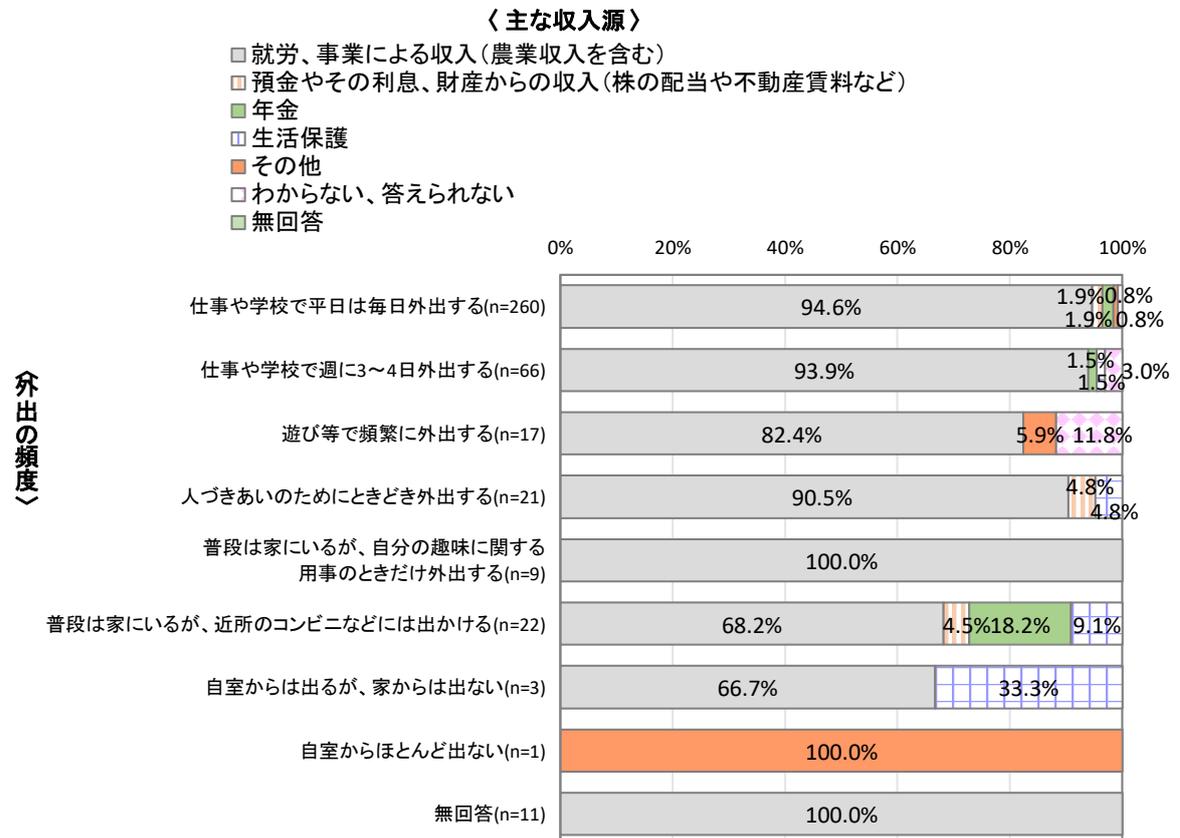




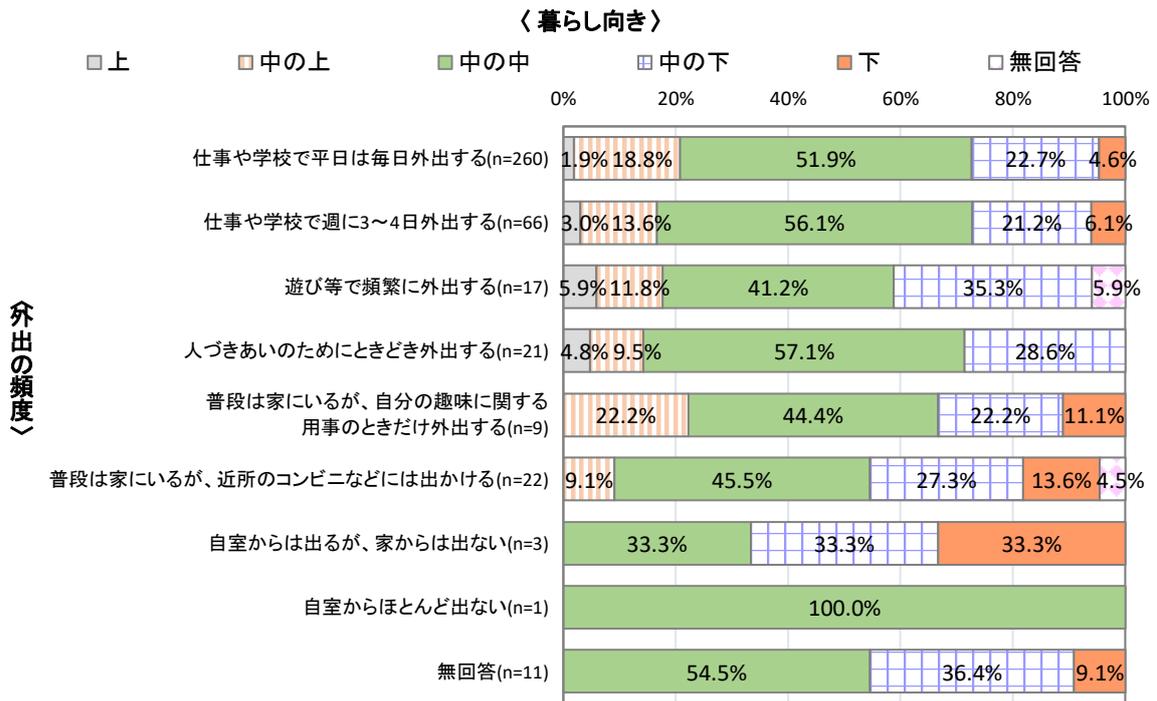
● (参考) : 【問 22】 外出の頻度 × 【問 5】 生計を支えている方



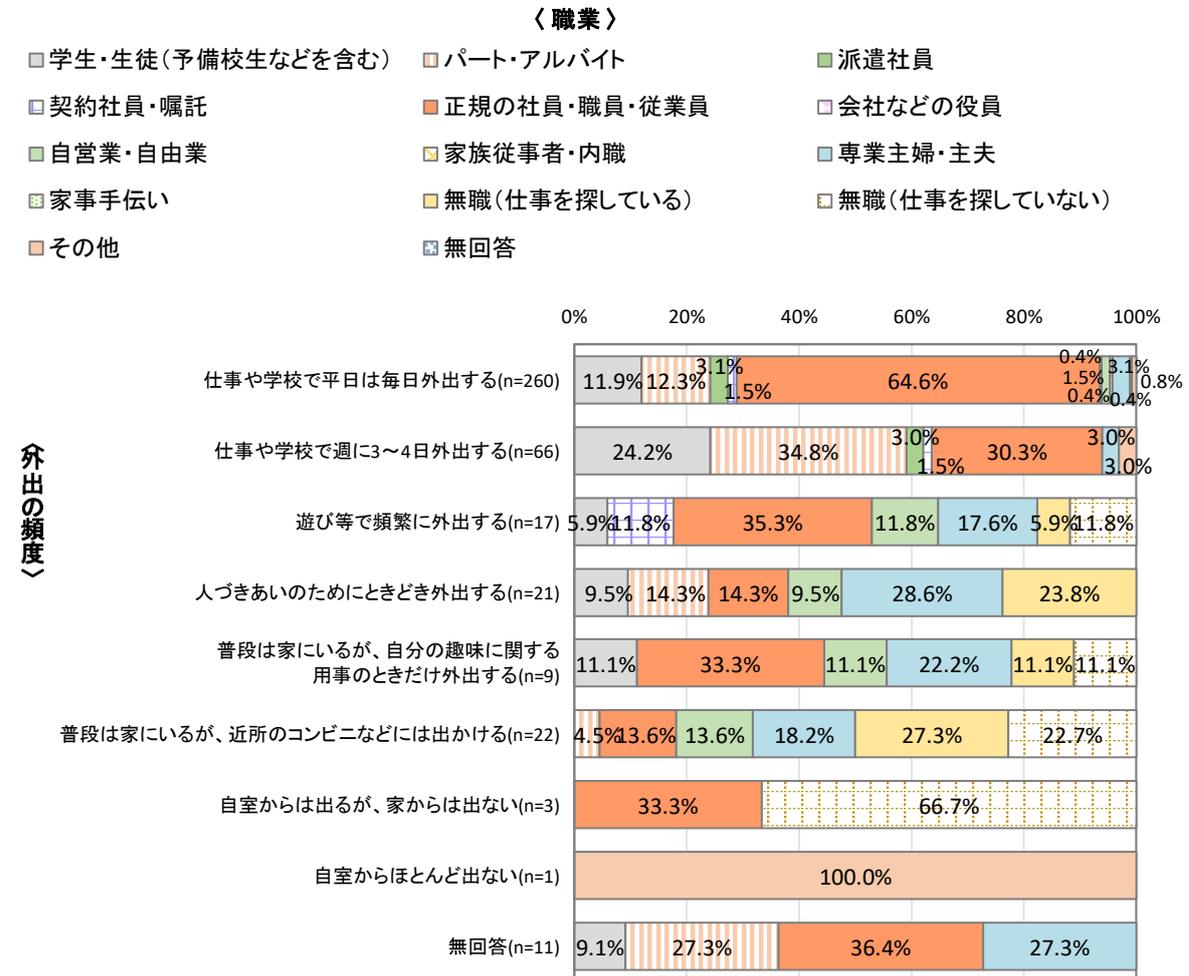
● (参考) : 【問 22】 外出の頻度 × 【問 6】 主な収入源



● (参考) : 【問 22】 外出の頻度 × 【問 7】 世間一般と比べた暮らし向き



● (参考) : 【問 22】 外出の頻度 × 【問 8】 現在の職業

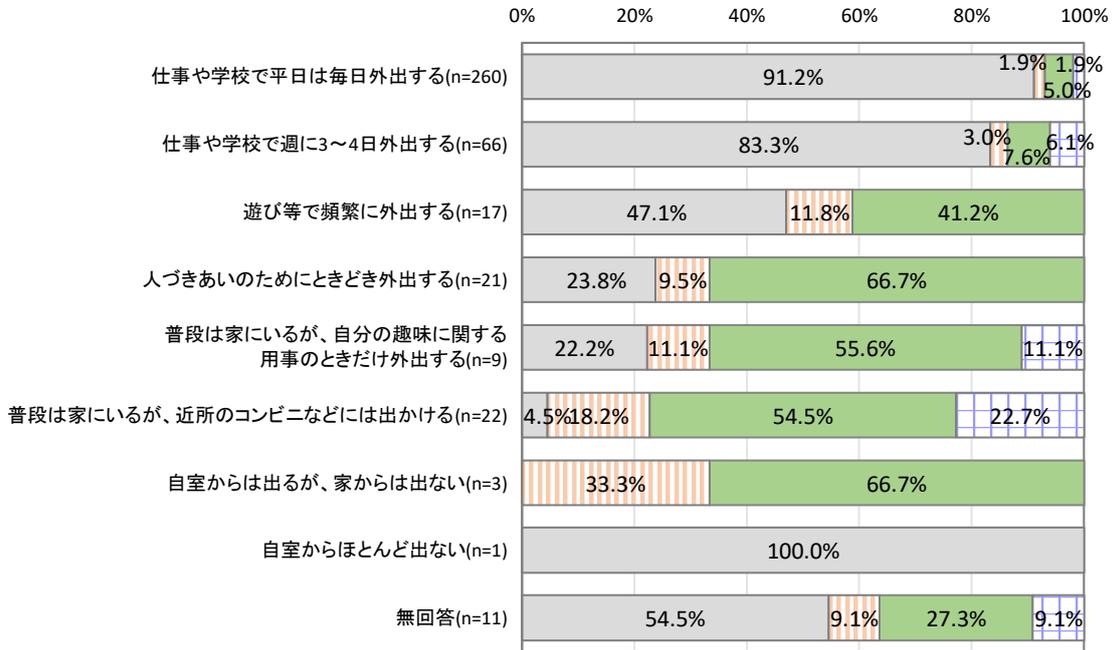


● (参考) : 【問 22】 外出の頻度 × 【問 9】 就業経験

〈 就業経験 〉

- 現在、就業している
- 現在、就業しているが、休職や休業中である
- 現在は就業していないが、過去に就業経験がある
- これまでに就業経験はない
- 無回答

外出の頻度

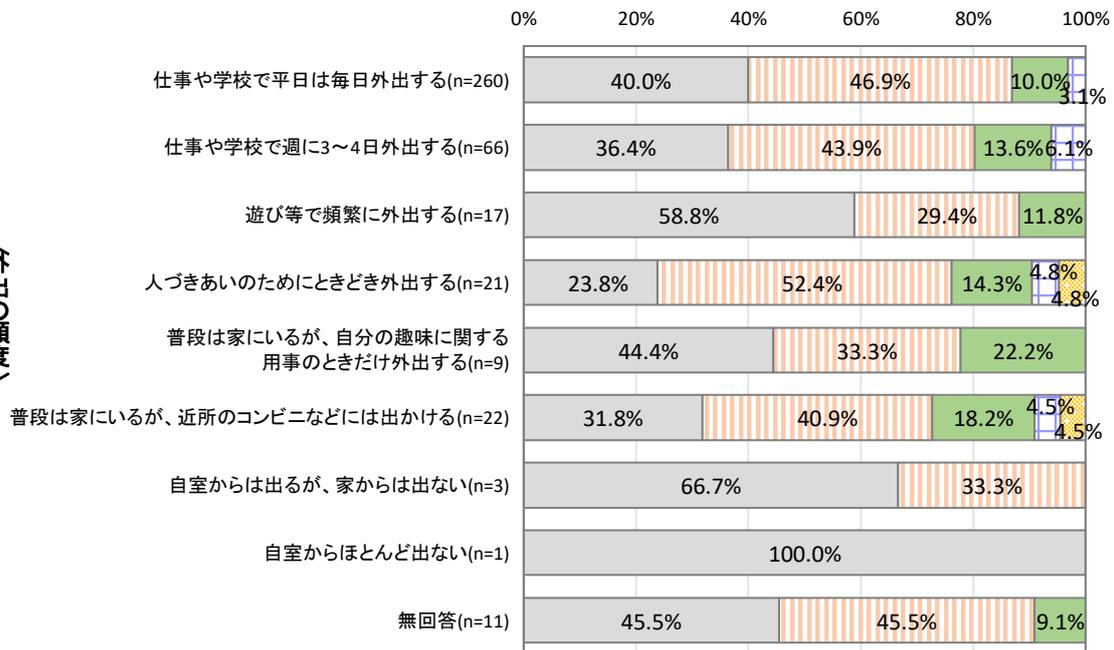


● (参考) : 【問 22】 外出の頻度 × 【問 10】 自分自身のことについて

〈 自分自身のことについて 〉

- ア) 自分には自分らしさというものがあると思う
- イ) 自分の欲しいものをがまんすることが苦手だ
- ウ) 今の自分を変えたいと思う
- エ) 将来よりも今の生活を楽みたい
- オ) 努力すれば希望する職業につくことができる
- カ) 自分の将来は運やチャンスによって決まると思う
- キ) 人生で起こることは、結局や自分に原因があると思う
- ク) 他人に迷惑がかからない限り、どんな考えや行動をとろうが、自分の自由だと思う
- ケ) 今の自分が好きだ
- コ) 自分らしさを強調するより、他人と同じことをしていると安心だ
- サ) 自分の親(保護者)から愛されていると思う
- シ) うまくいかかわからないことにも意欲的に取り組む
- ス) 自分の考えをはっきり相手に伝えることができる
- セ) 自分自身に満足している
- ソ) 自分は役に立たないと強く感じる
- 無回答

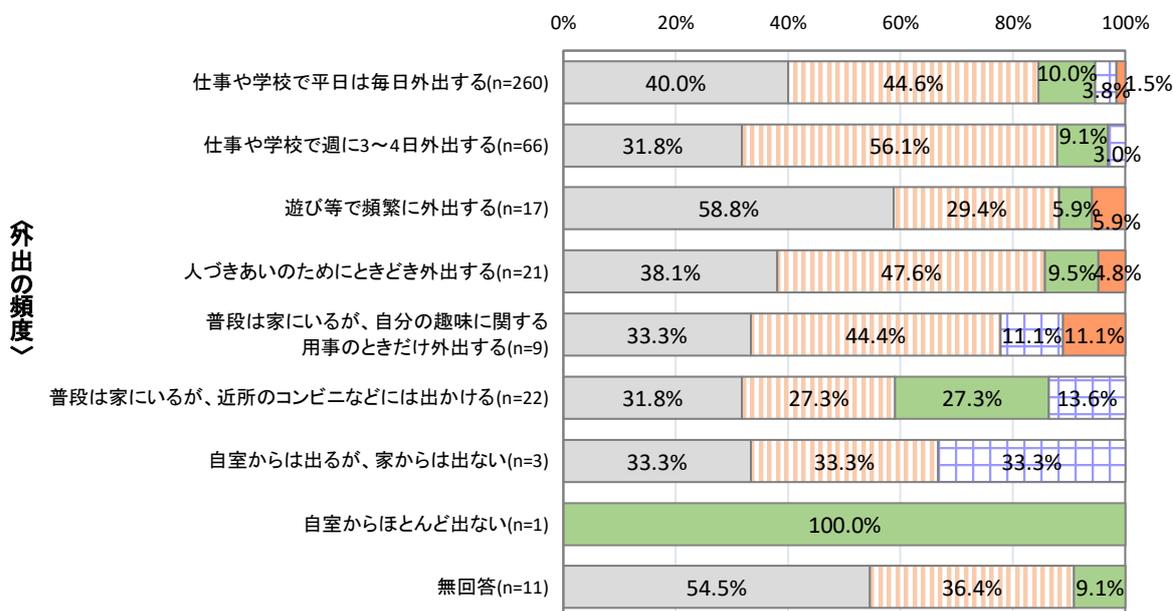
外出の頻度



● (参考) : 【問 22】 外出の頻度 × 【問 11】 現在の幸福度

〈現在の幸福度〉

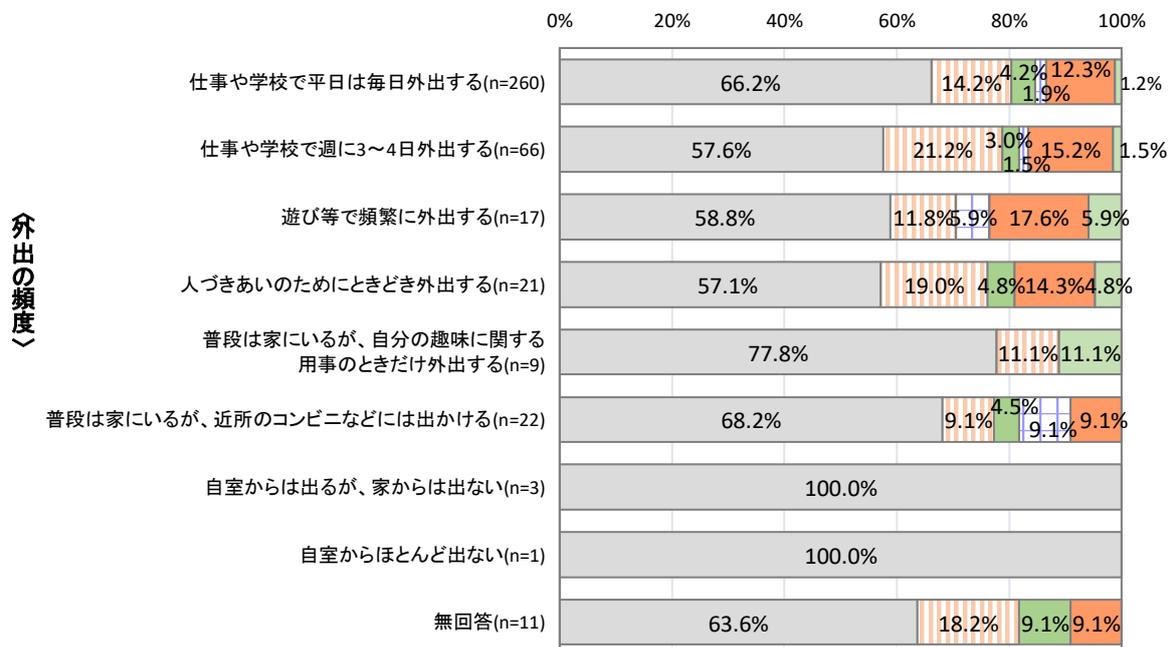
□ そう思う   □ どちらかといえば、そう思う   □ どちらかといえば、そう思わない   □ そう思わない   □ 無回答



● (参考) : 【問 22】 外出の頻度 × 【問 12】 ア) ~カ) が居場所となっているか

〈ア)~カ)が居場所となっているか〉

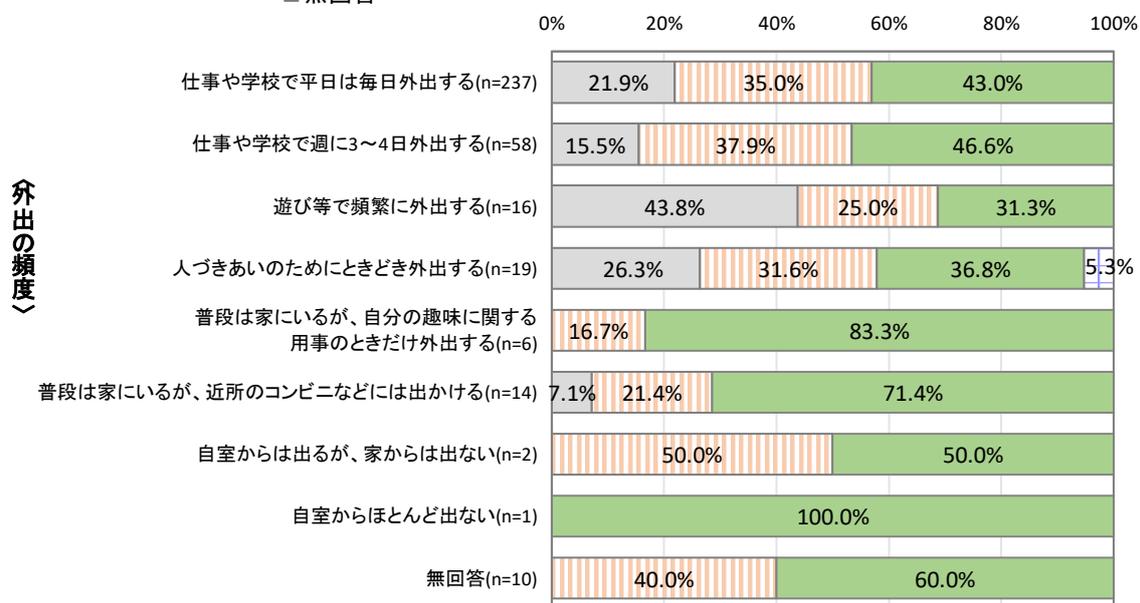
□ ア) 自分の部屋  
 □ イ) 家庭(実家や親族の家を含む)  
 □ ウ) 学校(卒業した学校を含む)  
 □ エ) 職場(過去の職場を含む)  
 □ オ) 地域(図書館や公民館など、現在住んでいる場所やそこにある建物など)  
 □ カ) インターネット空間(SNS、YouTubeやオンラインゲームなど)  
 □ 無回答



- (参考) : 【問 22】 外出の頻度 × 【問 13】 ア) ~ウ) のことをどれくらいの頻度で感じるか

〈ア)~ウ)のことをどれくらいの頻度で感じるか〉

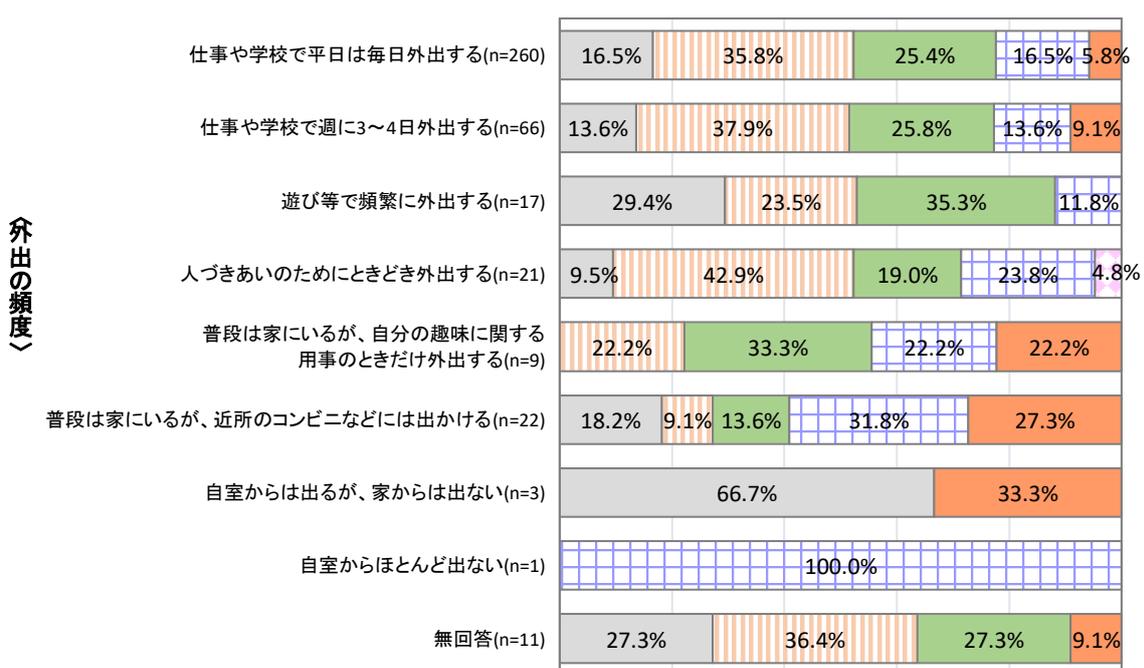
- ア) 自分には人とのつきあいが無いと感じることがある
- ▨ イ) 自分は取り残されていると感じることがある
- ウ) 自分は他の人たちから孤立していると感じることがある
- 無回答



- (参考) : 【問 22】 外出の頻度 × 【問 14】 孤独であると感じること

〈孤独であると感じること〉

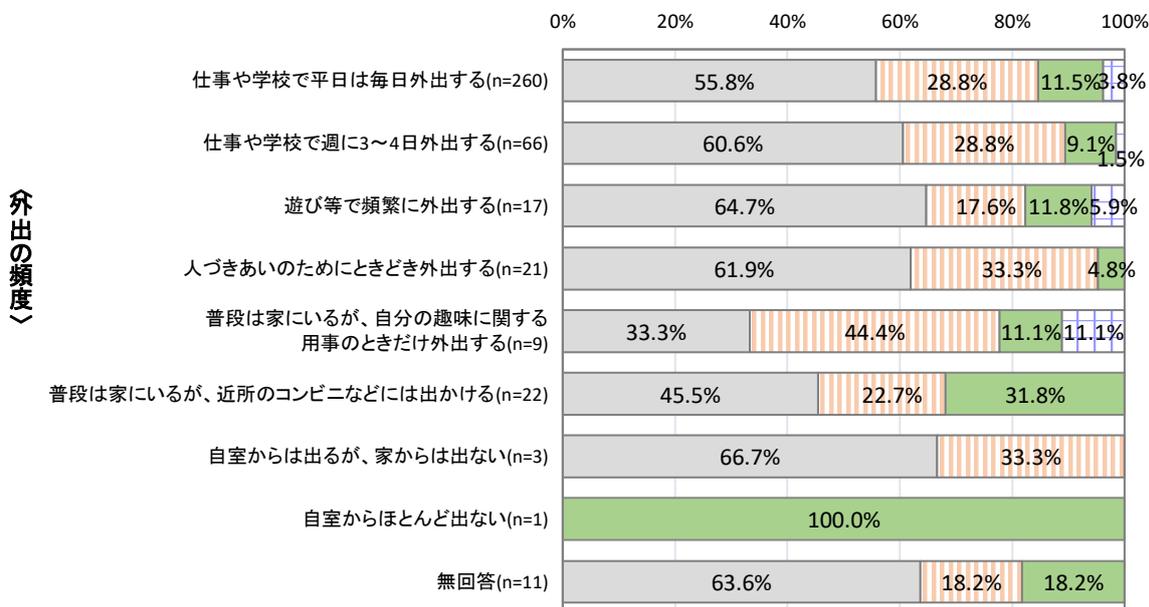
- 決してない
- ▨ ほとんどない
- たまにある
- ▨ 時々ある
- しばしばある・常にある
- 無回答



● (参考) : 【問 22】 外出の頻度 × 【問 15】 家族・親族とのかかわりについて

〈家族・親族とのかかわり〉

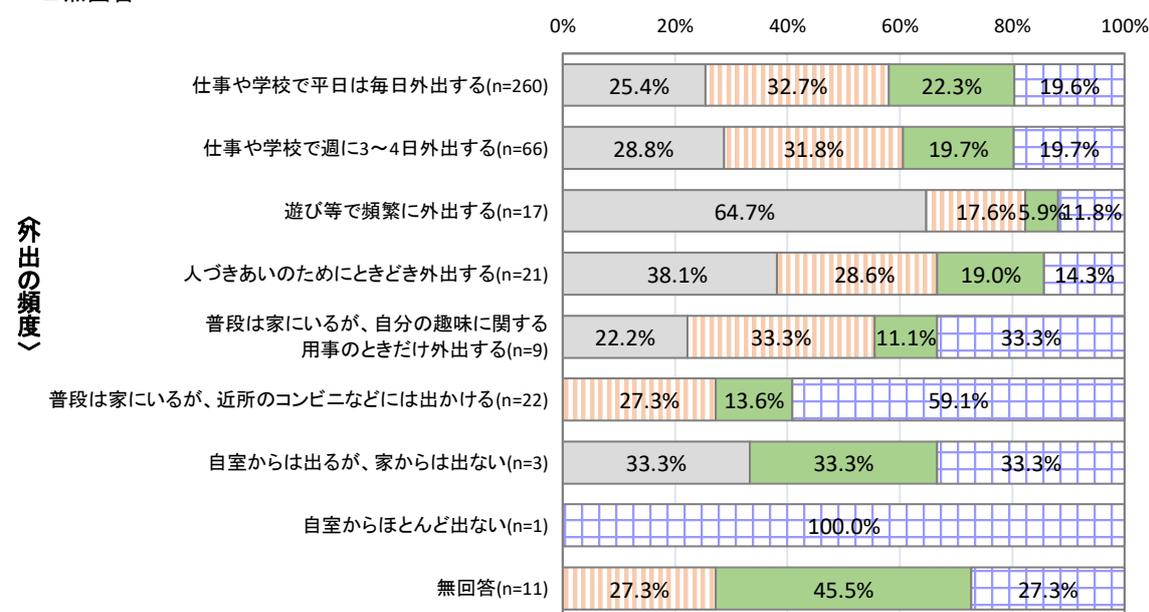
- ア) 会話やメール等をよくしている
- イ) 何でも悩みを相談できる人がいる
- ウ) 楽しく話せる時がある
- エ) 困ったときは助けてくれる
- オ) 他の人には言えない本音話せることがある
- カ) いつもつながりを感じている
- 無回答



● (参考) : 【問 22】 外出の頻度 × 【問 16】 学校で出会った友人とのかかわりについて

〈学校で出会った友人とのかかわり〉

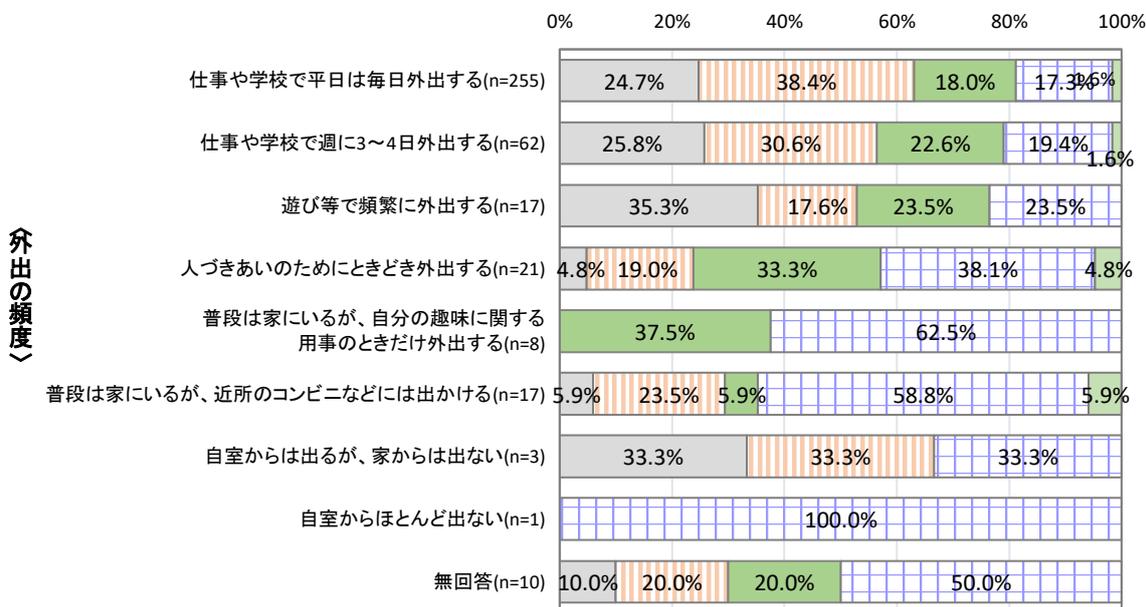
- ア) 会話やメール等をよくしている
- イ) 何でも悩みを相談できる人がいる
- ウ) 楽しく話せる時がある
- エ) 困ったときは助けてくれる
- オ) 他の人には言えない本音話せることがある
- カ) いつもつながりを感じている
- 無回答



● (参考) : 【問 22】 外出の頻度 × 【問 17】 職場・アルバイト関係の人とのかかわりについて

〈職場・アルバイト関係の人とのかかわり〉

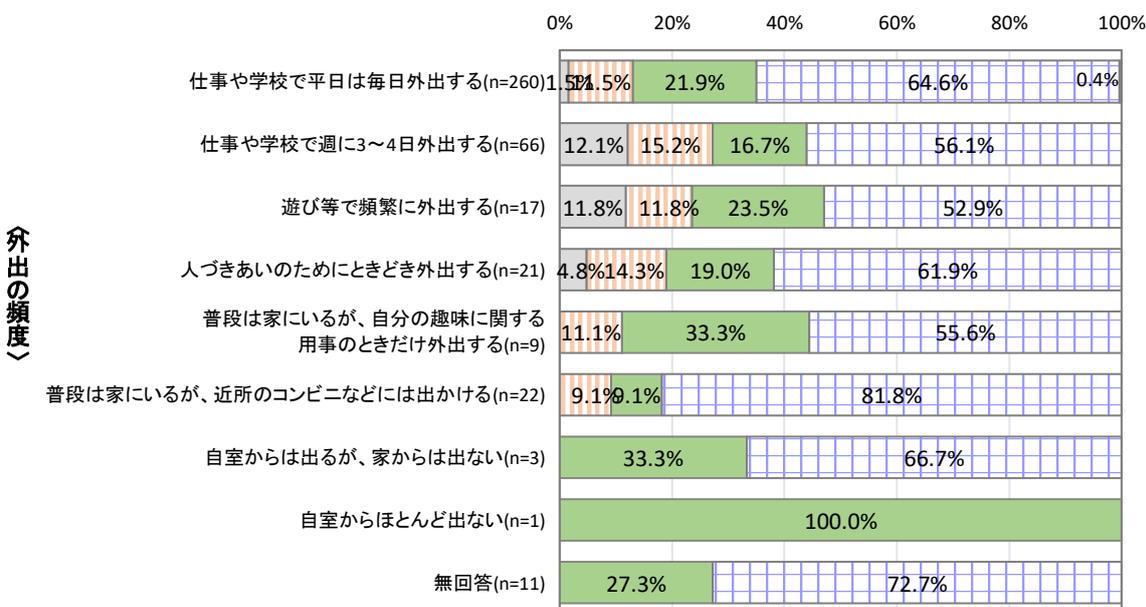
- ア) 会話やメール等をよくしている
- イ) 何でも悩みを相談できる人がいる
- ウ) 楽しく話せる時がある
- エ) 困ったときは助けてくれる
- オ) 他の人には言えない本音を話せることがある
- カ) いつもつながりを感じている
- 無回答



● (参考) : 【問 22】 外出の頻度 × 【問 18】 地域の人などとのかかわりについて

〈地域の人などとのかかわり〉

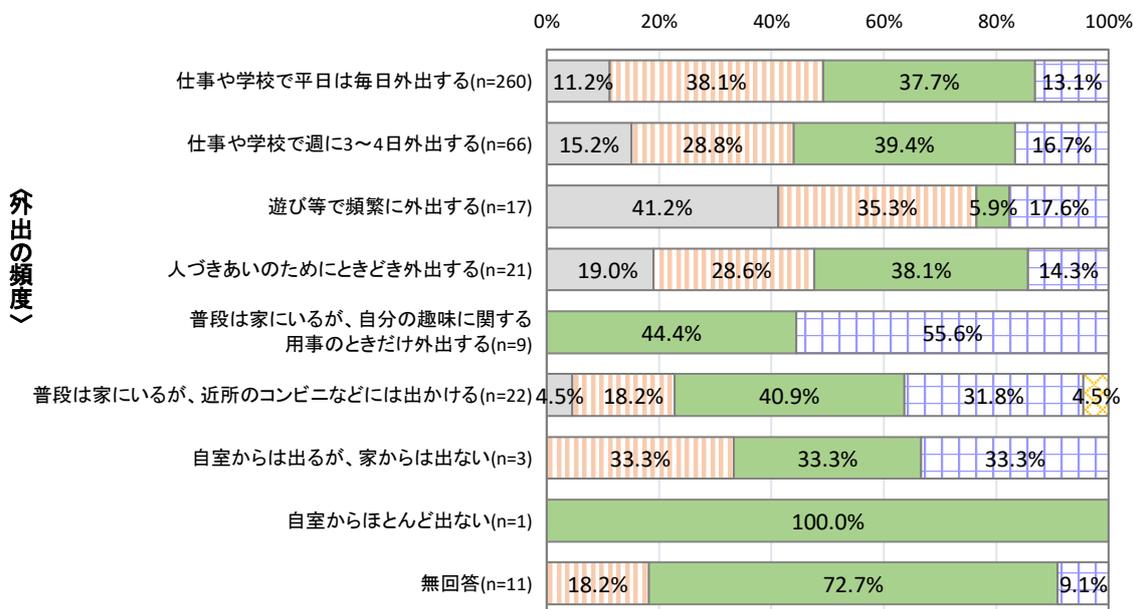
- ア) 会話やメール等をよくしている
- イ) 何でも悩みを相談できる人がいる
- ウ) 楽しく話せる時がある
- エ) 困ったときは助けてくれる
- オ) 他の人には言えない本音を話せることがある
- カ) いつもつながりを感じている
- 無回答



● (参考) : 【問 22】 外出の頻度 × 【問 19】 他人と付き合う時にあてはまること

〈 他人と付き合う時にあてはまること〉

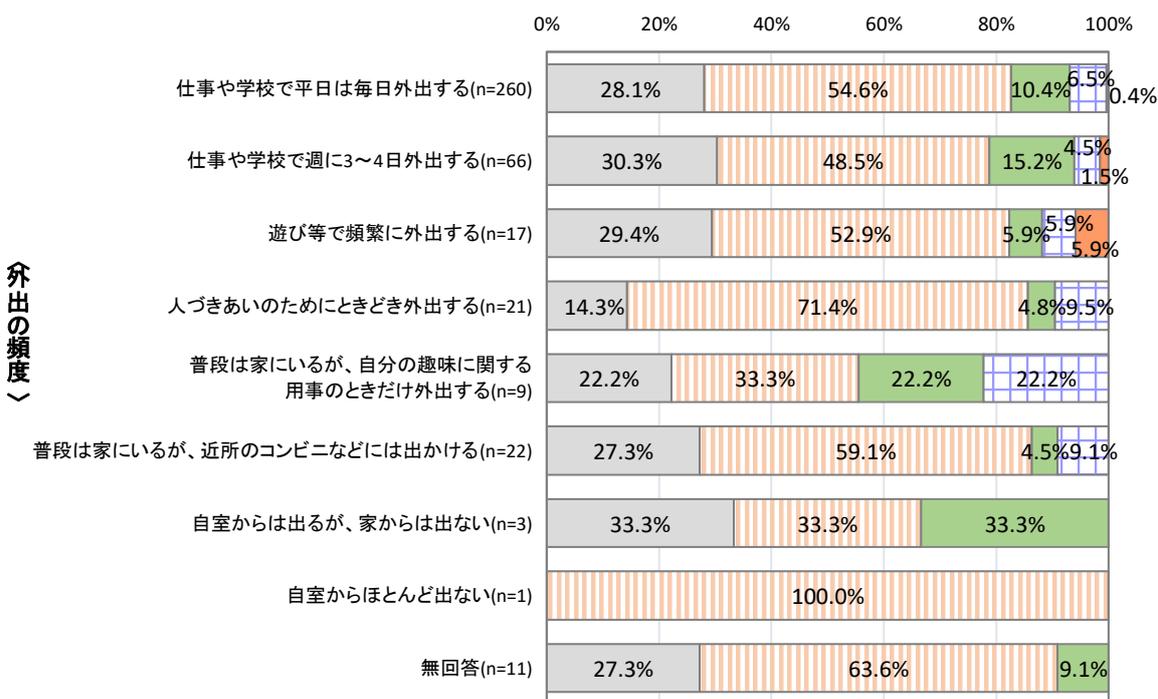
- ア) 誰とでもすぐ仲良くなれる
- ウ) 親しい人に頼まれてもやりたくないことは断る
- オ) 表情が豊かである
- キ) 人にぶつかっても、あやまらないことがある
- イ) 表情やしぐさで相手の思っていることがわかる
- エ) その場に合った行動がとれる
- カ) 気持ちを抑えようとしても、顔に出てしまう
- 無回答



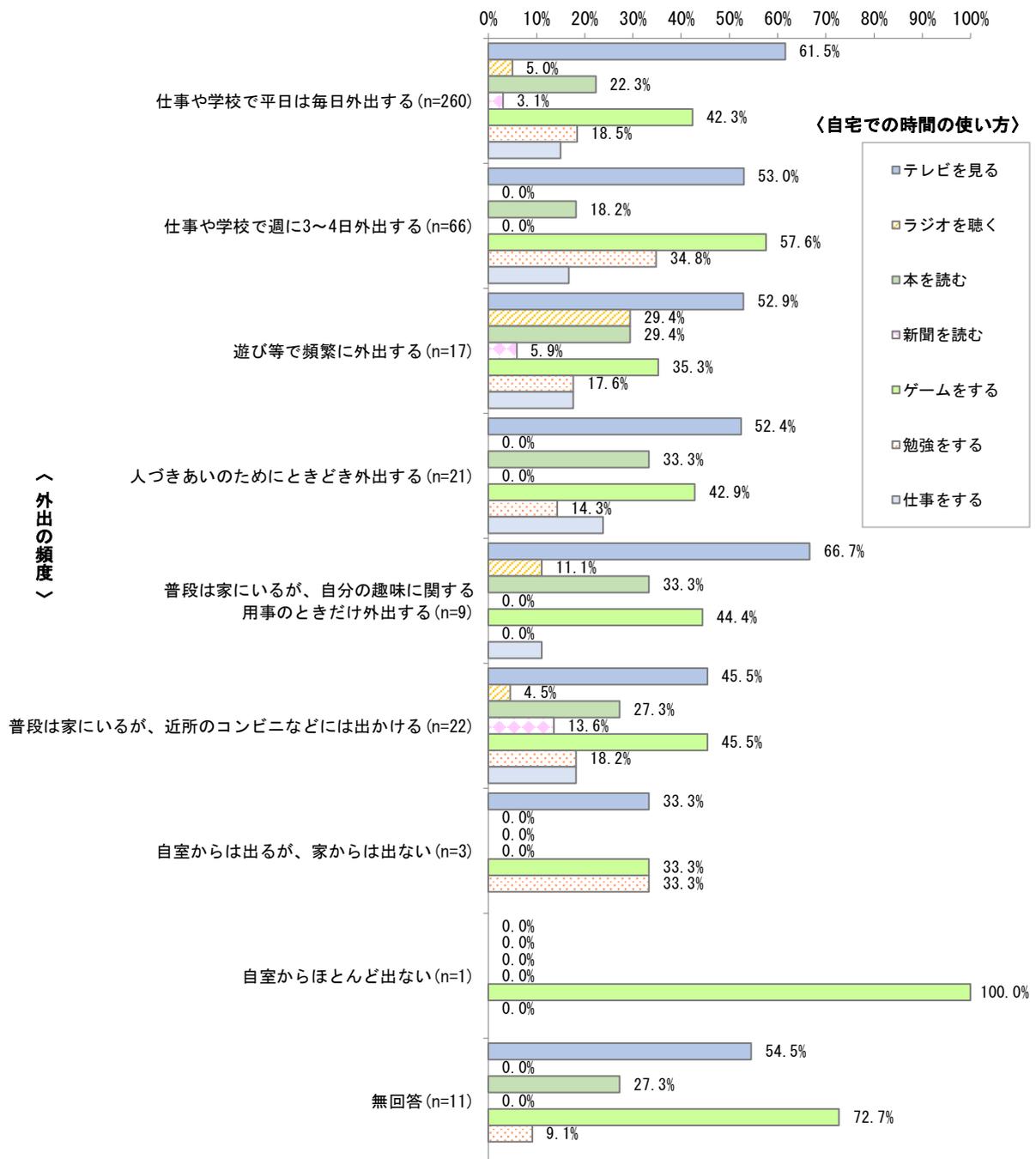
● (参考) : 【問 22】 外出の頻度 × 【問 20】 社会のために役立つことをしたいと思うか

〈 社会のために役立つことをしたいか〉

- そう思う
- どちらかといえば、そう思う
- どちらかといえば、そう思わない
- そう思わない
- 無回答



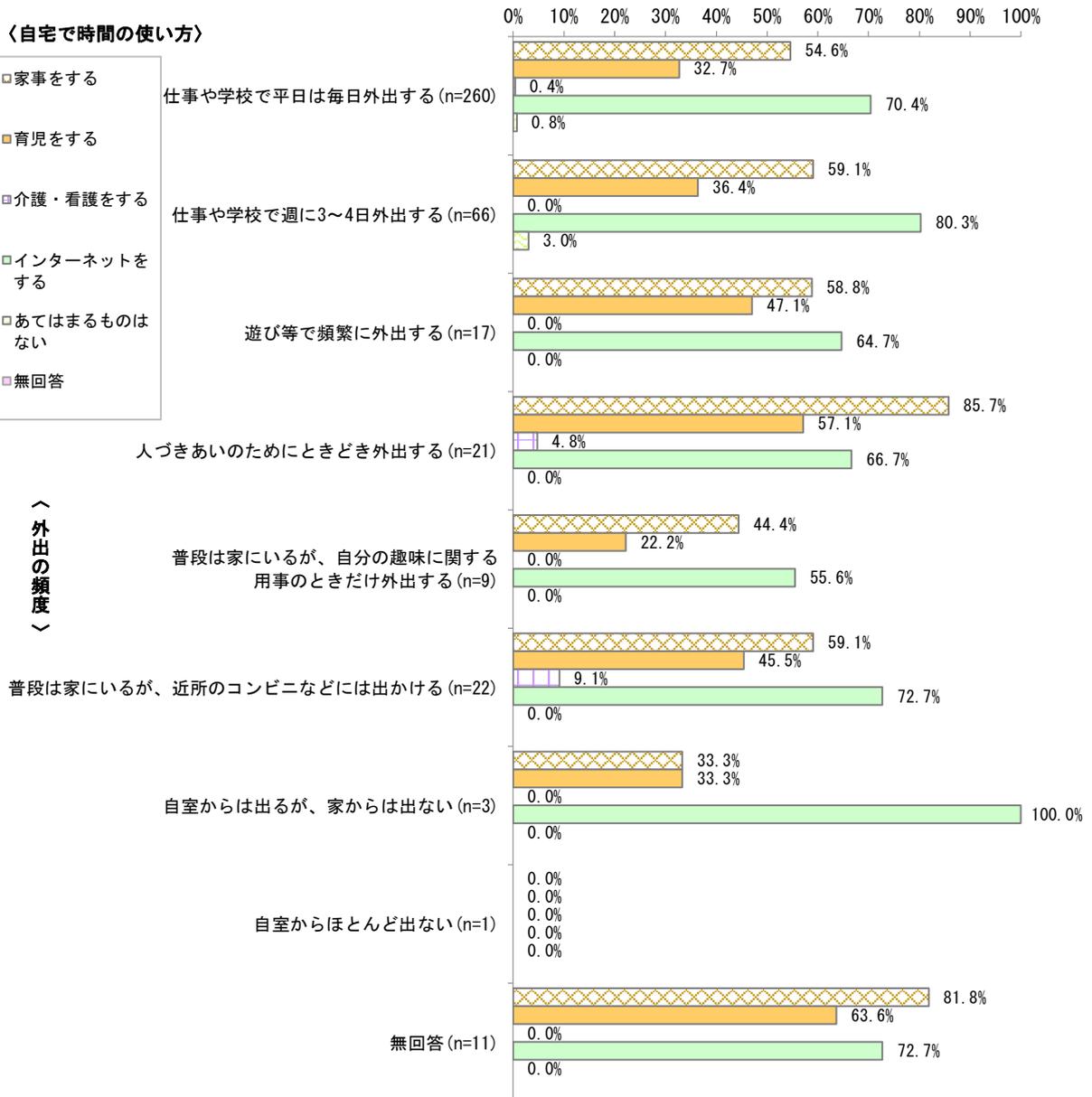
● (参考) : 【問 22】 外出の頻度 × 【問 21】 普段自宅で時間を使っていること



〈自宅で時間の使い方〉

- 家事をする
- 育児をする
- 介護・看護をする
- インターネットをする
- あてはまるものはない
- 無回答

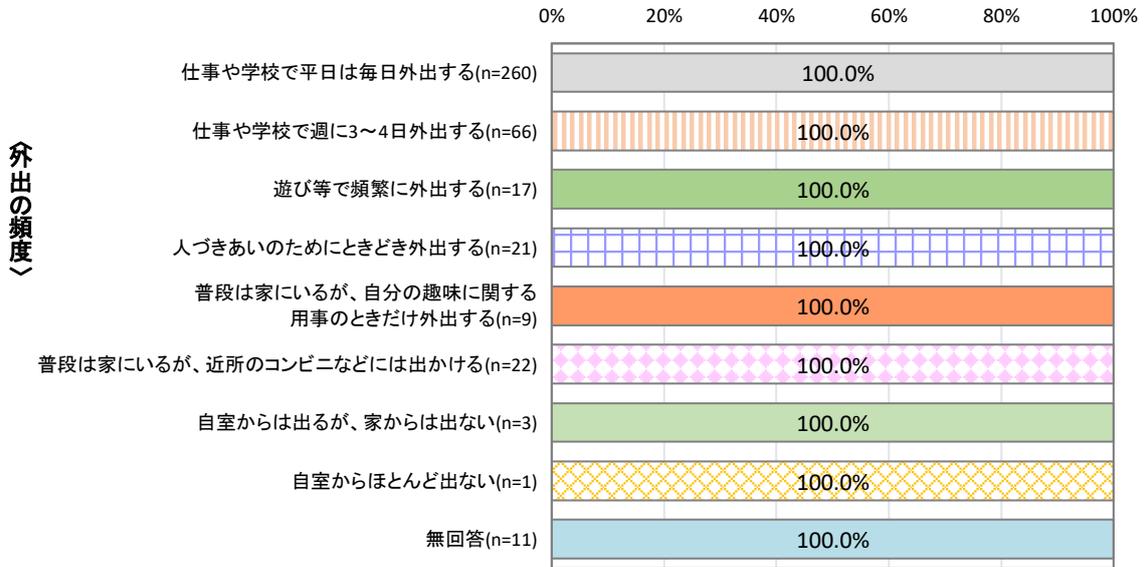
〈外出の頻度〉



● (参考) : 【問 22】 外出の頻度 × 【問 22】 外出の頻度

〈外出の頻度〉

- 仕事や学校で平日は毎日外出する
- 仕事や学校で週に3~4日外出する
- 遊び等で頻繁に外出する
- 人づきあいのためにときどき外出する
- 普段は家にいるが、自分の趣味に関する用事の時だけ外出する
- 普段は家にいるが、近所のコンビニなどには出かける
- 自室からは出るが、家からは出ない
- 自室からほとんど出ない
- 無回答

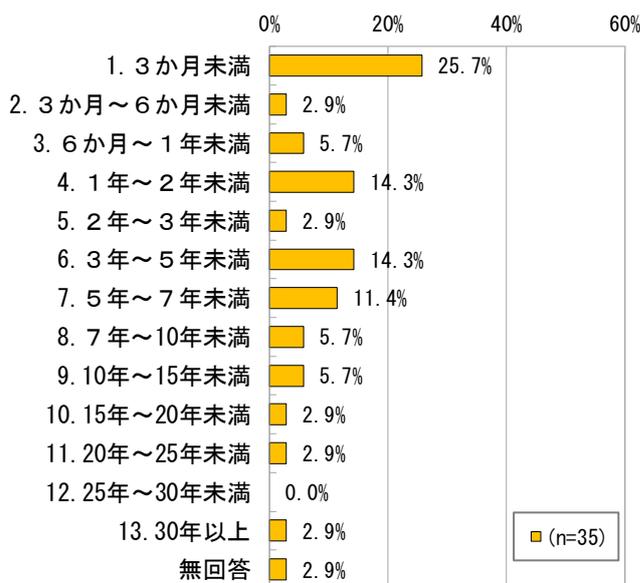


問22で「5」～「8」を選んだ方のみ、お答えください。

問23 あなたの外出状況が現在の状態となって、どのくらい経ちますか。(1つに○)

外出状況が現在の状態となってからのどのくらい経つかについて、「3か月未満」25.7%が最も高く、次いで「1年～2年未満」「3年～5年未満」がいずれも14.3%、「5年～7年未満」11.4%となっている。

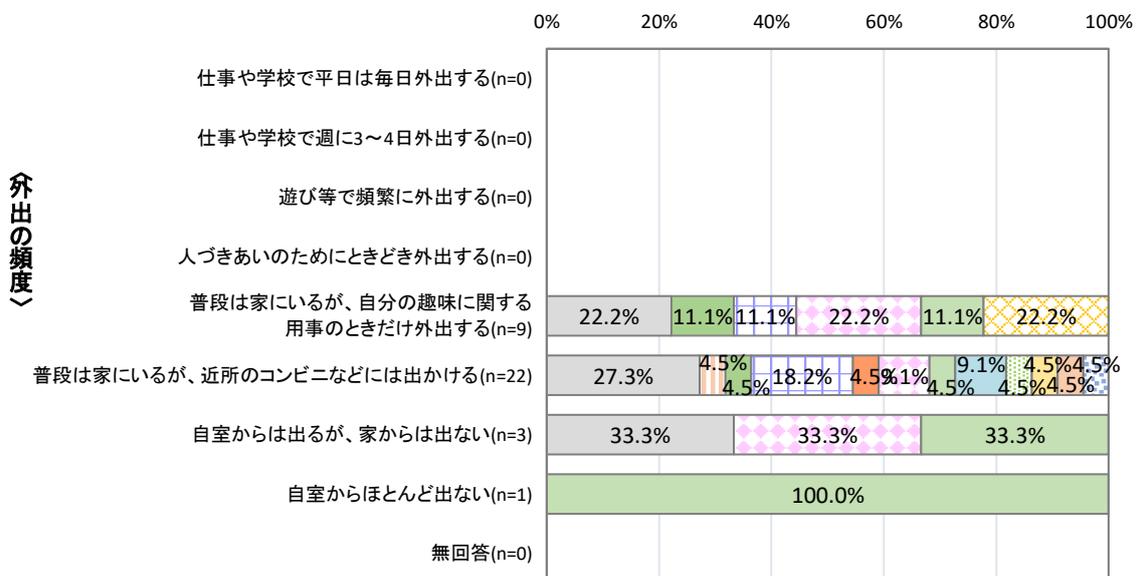
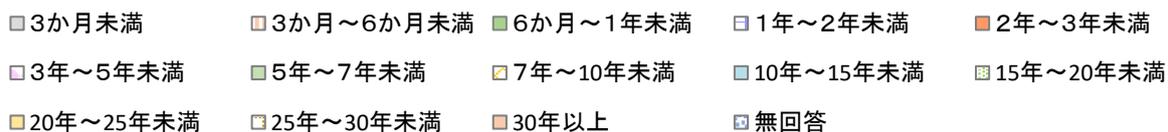
外出状況が現在の状態となってからの経過期間



項目	回答数	構成比
3か月未満	9	25.7%
3か月～6か月未満	1	2.9%
6か月～1年未満	2	5.7%
1年～2年未満	5	14.3%
2年～3年未満	1	2.9%
3年～5年未満	5	14.3%
5年～7年未満	4	11.4%
7年～10年未満	2	5.7%
10年～15年未満	2	5.7%
15年～20年未満	1	2.9%
20年～25年未満	1	2.9%
25年～30年未満	0	0.0%
30年以上	1	2.9%
無回答	1	2.9%
合計	35	100.0%

● (参考) : 【問 22】 外出の頻度 × 【問 23】 外出状況が現在の状態になってからの経過期間

〈経過期間〉

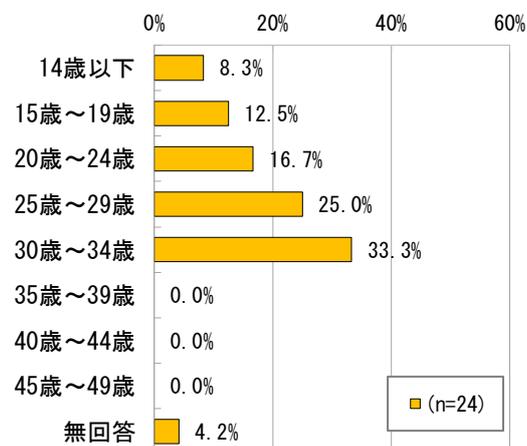


**問24～問26は問23で「3」～「13」を選んだ方のみ、お答えください。**

**問24 あなたの外出状況が現在の状態になったのは、何歳の頃ですか。(1つに○)**

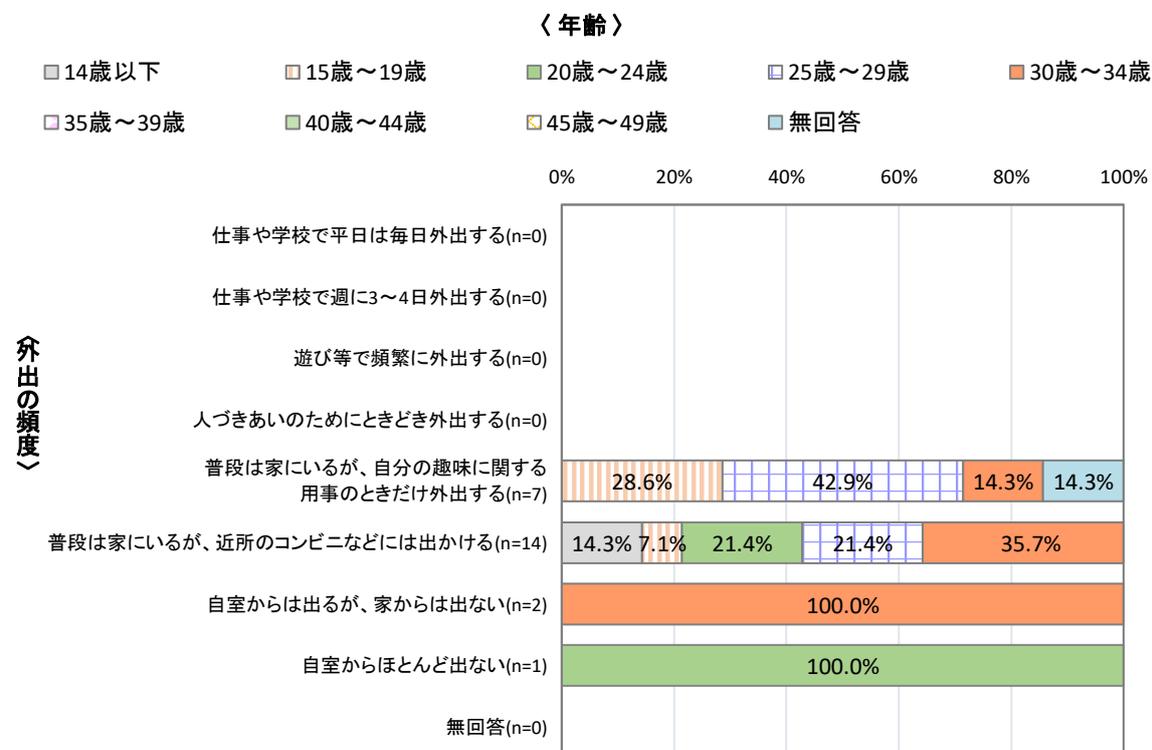
外出状況が現在の状態になった頃の年齢については、「30歳～34歳」33.3%が最も高く、次いで「25歳～29歳」25.0%、「20歳～24歳」16.7%となっている。

外出状況が現在の状態になった頃の年齢



項目	回答数	構成比
14歳以下	2	8.3%
15歳～19歳	3	12.5%
20歳～24歳	4	16.7%
25歳～29歳	6	25.0%
30歳～34歳	8	33.3%
35歳～39歳	0	0.0%
40歳～44歳	0	0.0%
45歳～49歳	0	0.0%
無回答	1	4.2%
合計	24	100.0%

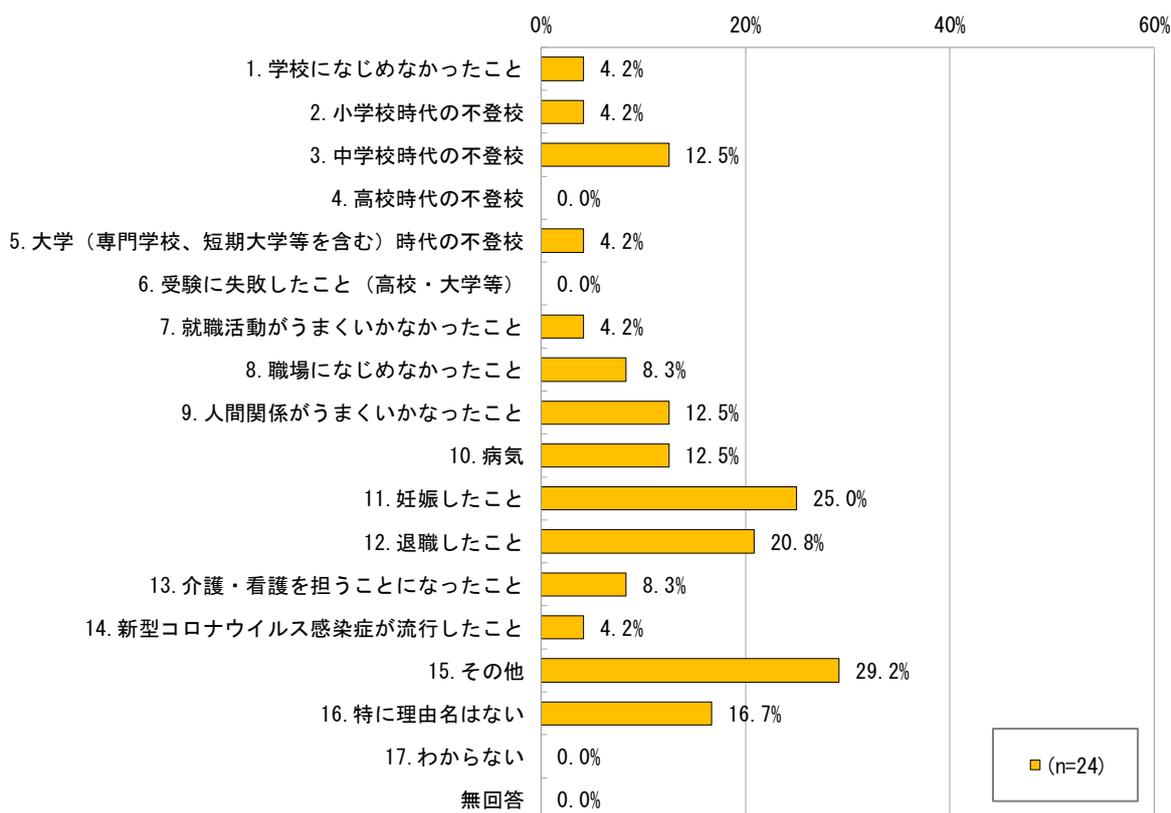
● (参考) : 【問 22】 外出の頻度 × 【問 24】 外出状況が現在の状態になった頃の年齢



問25 あなたの外出状況が現在の状態になった主な理由は何ですか。(いくつでも○)

外出状況が現在の状態になった主な理由については、「その他」29.32%が最も高く、次いで「妊娠したこと」25.0%、「退職したこと」20.8%となっている。

外出状況が現在の状態になった主な理由



【病名】

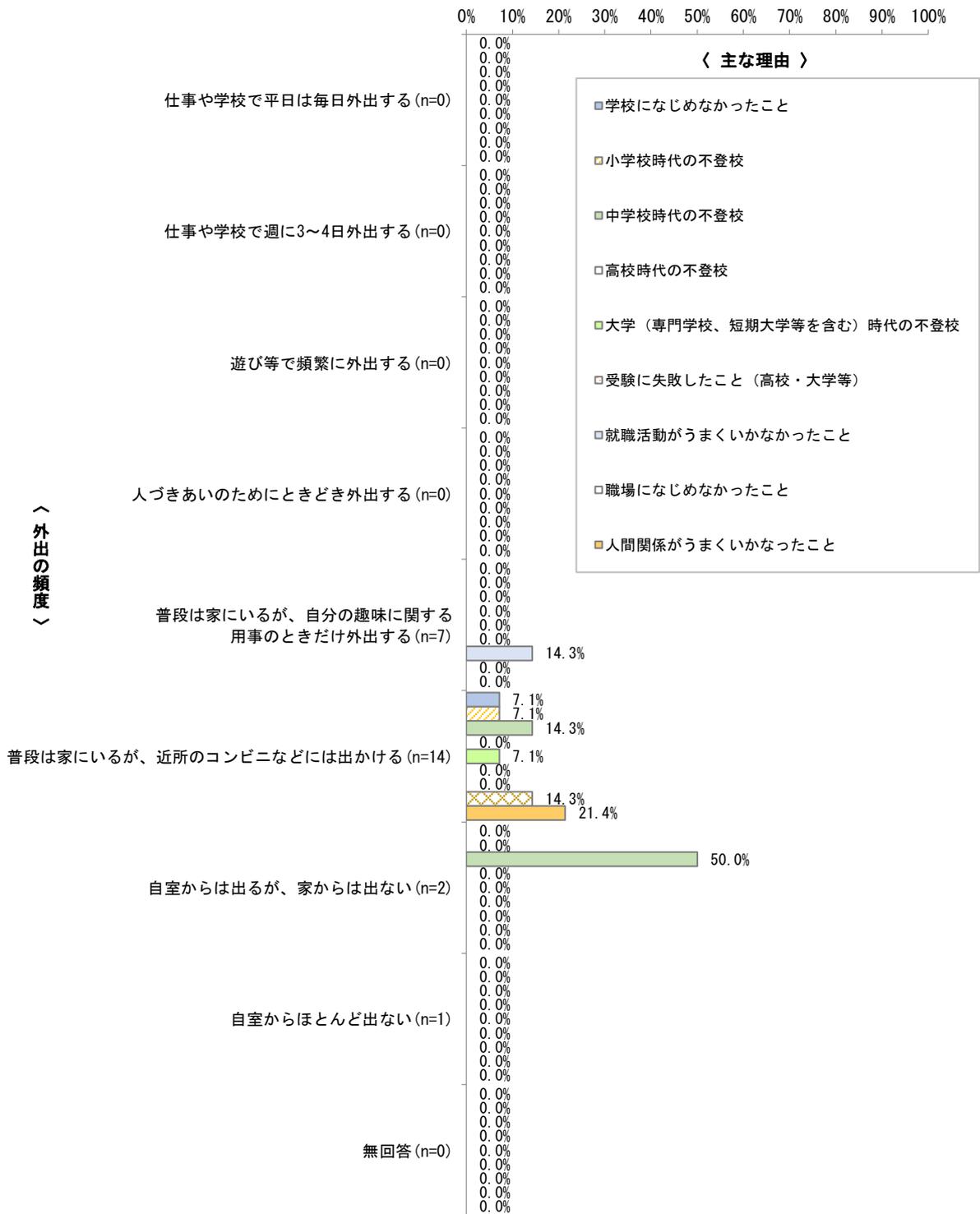
- ・ 適応障害 ・ 鬱
- ・ バーニングフィート など

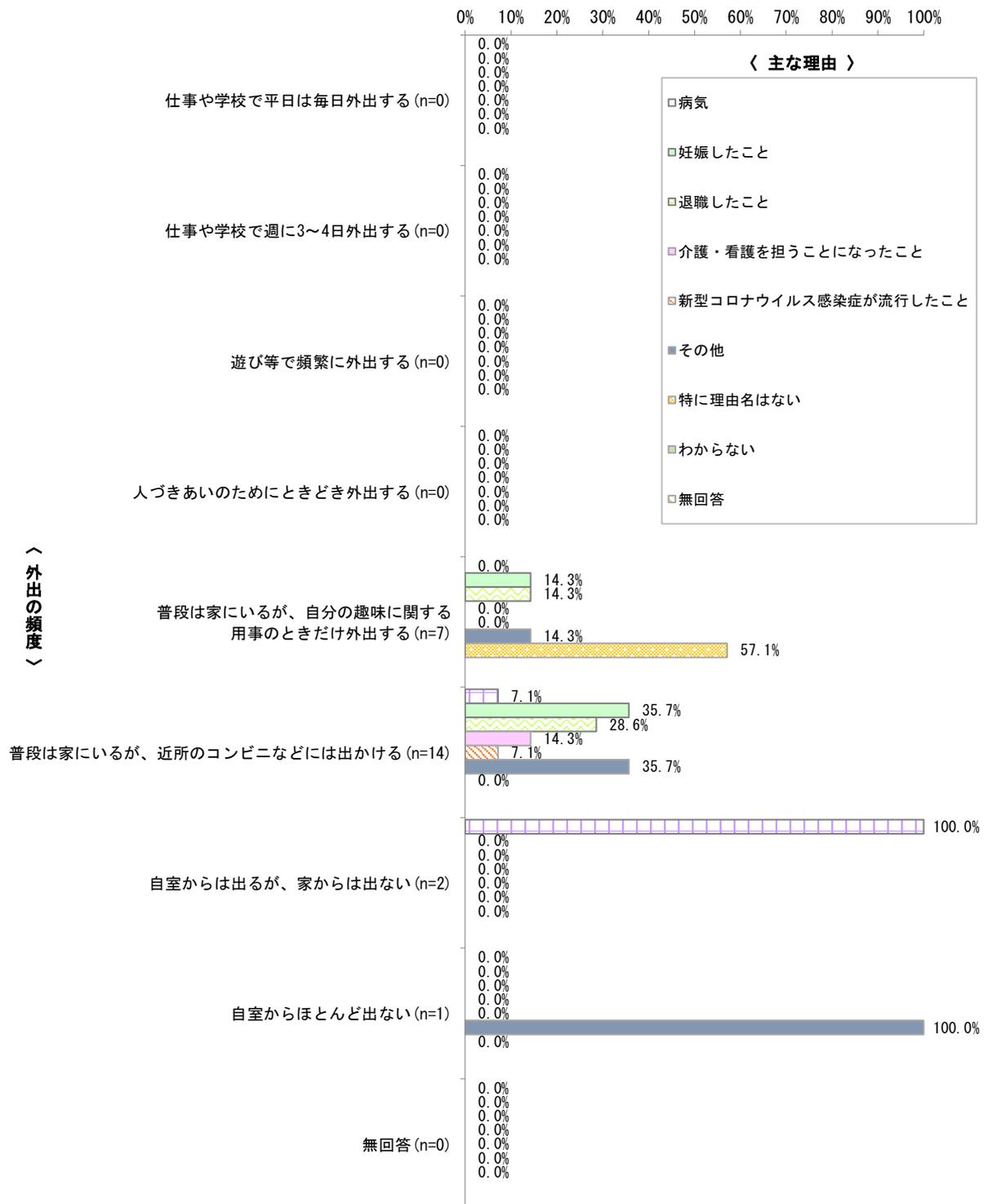
【病名】

- ・ 家で仕事をしている
- ・ 施設に入ったから ・ 留学
- ・ 自宅療養
- ・ いじめにあった など

項目	回答数	構成比
学校になじめなかったこと	1	4.2%
小学校時代の不登校	1	4.2%
中学校時代の不登校	3	12.5%
高校時代の不登校	0	0.0%
大学(専門学校、短期大学等を含む)時代の不登校	1	4.2%
受験に失敗したこと(高校・大学等)	0	0.0%
就職活動がうまくいかなかったこと	1	4.2%
職場になじめなかったこと	2	8.3%
人間関係がうまくいかなかったこと	3	12.5%
病気	3	12.5%
妊娠したこと	6	25.0%
退職したこと	5	20.8%
介護・看護を担うことになったこと	2	8.3%
新型コロナウイルス感染症が流行したこと	1	4.2%
その他	7	29.2%
特に理由名はない	4	16.7%
わからない	0	0.0%
無回答	0	0.0%
サンプル数	24	-

● (参考) : 【問 22】 外出の頻度 × 【問 25】 外出状況が現在の状態になった主な理由



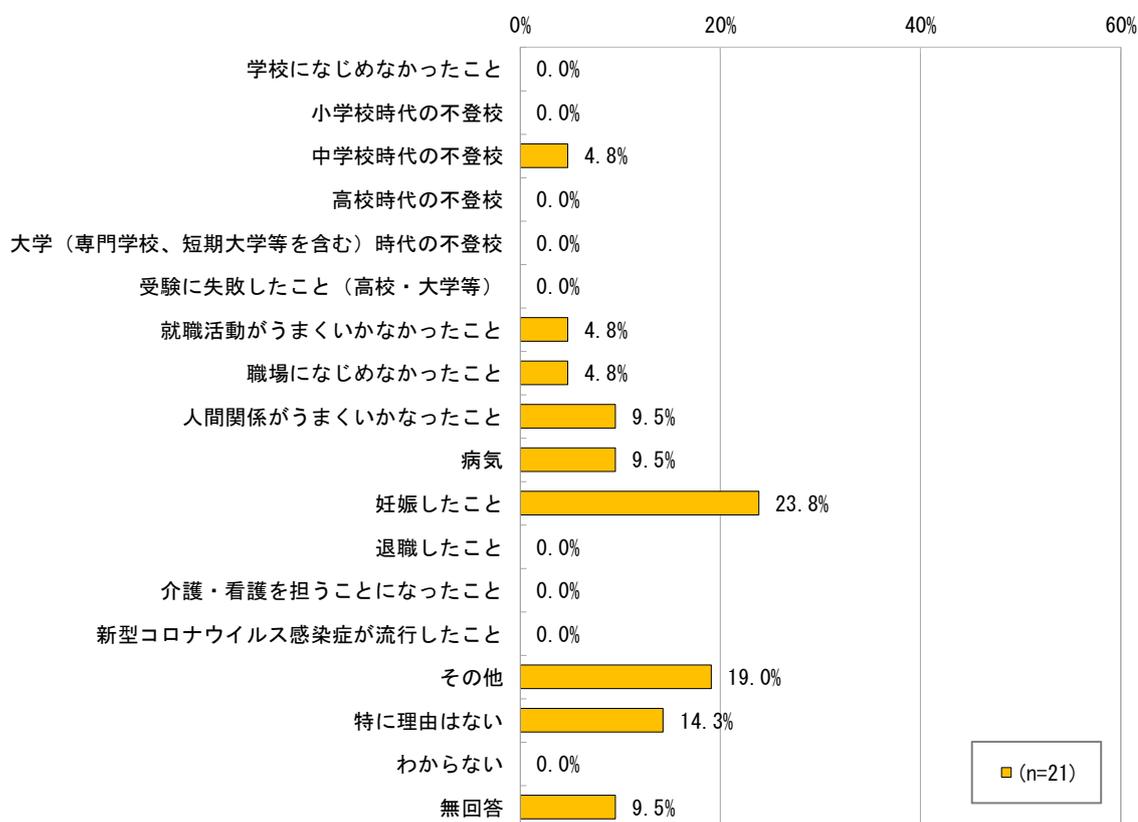


**問25で「1」～「15」を選んだ方のみ、お答えください。**

**問26 あなたの外出状況が現在の状態になった最も大きな理由は何ですか。(1つに○)**

外出状況が現在の状態になった最も大きな理由については、「妊娠したこと」23.8%が最も高く、次いで「その他」19.0%、「特に理由はない」14.3%となっている。

外出状況が現在の状態になった最も大きな理由



**【病名】**

・バーニングフィート など

**【その他の回答】**

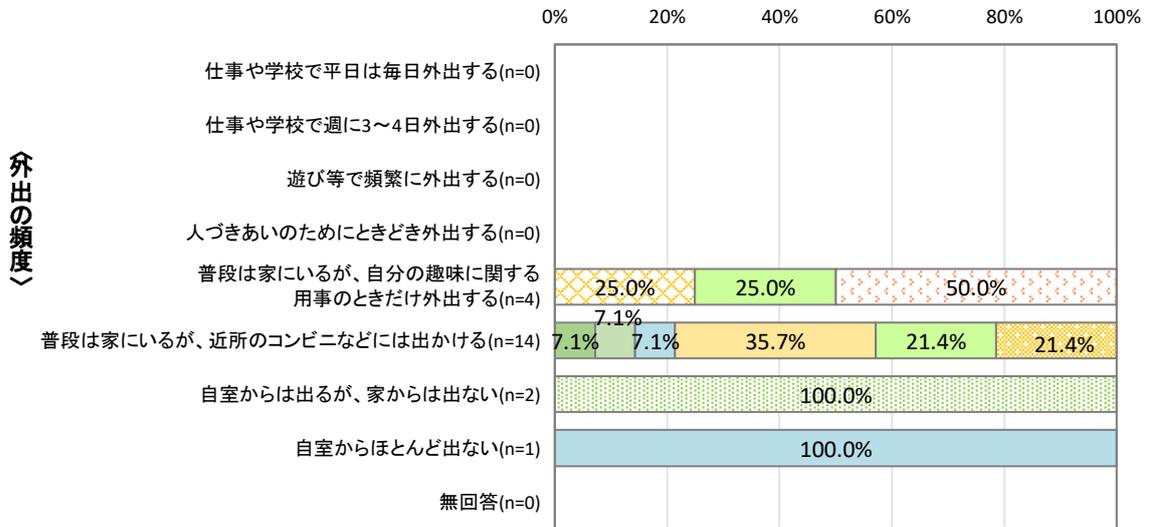
・家で仕事をしている  
 ・児童施設から移った 留学など

項目	回答数	構成比
学校になじめなかったこと	0	0.0%
小学校時代の不登校	0	0.0%
中学校時代の不登校	1	4.8%
高校時代の不登校	0	0.0%
大学(専門学校、短期大学等を含む)時代の不登校	0	0.0%
受験に失敗したこと(高校・大学等)	0	0.0%
就職活動がうまくいかなかったこと	1	4.8%
職場になじめなかったこと	1	4.8%
人間関係がうまくいかなかったこと	2	9.5%
病気	2	9.5%
妊娠したこと	5	23.8%
退職したこと	0	0.0%
介護・看護を担うことになったこと	0	0.0%
新型コロナウイルス感染症が流行したこと	0	0.0%
その他	4	19.0%
特に理由はない	3	14.3%
わからない	0	0.0%
無回答	2	9.5%
合計	21	100.0%

● (参考) : 【問 22】 外出の頻度 × 【問 26】 外出状況が現在の状態になった最も大きな理由

〈最も大きな理由〉

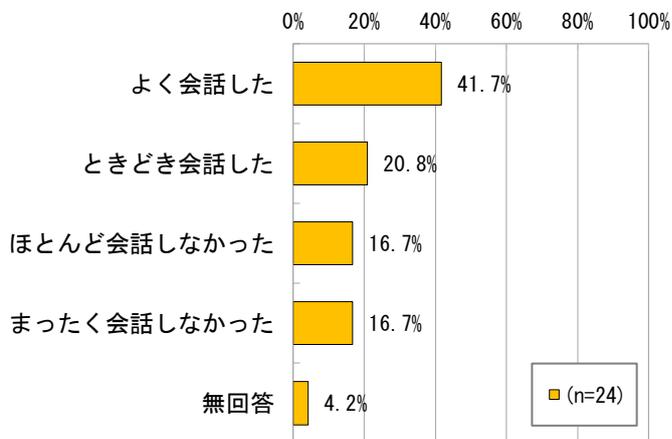
- 学校になじめなかったこと
- 中学校時代の不登校
- 大学(専門学校、短期大学等を含む)時代の不登校
- 就職活動がうまくいかなかったこと
- 人間関係がうまくいかなかったこと
- 妊娠したこと
- 介護・看護を担うことになったこと
- その他
- わからない
- 小学校時代の不登校
- 高校時代の不登校
- 受験に失敗したこと(高校・大学等)
- 職場になじめなかったこと
- 病気
- 退職したこと
- 新型コロナウイルス感染症が流行したこと
- 特に理由はない
- 無回答



問27 最近6か月間に、家族以外の人と会話しましたか。(1つに○)

最近6か月間に家族以外の人と会話をしたかについては、「よく会話した」41.7%が最も高く、次いで「ときどき会話した」20.8%となっている。

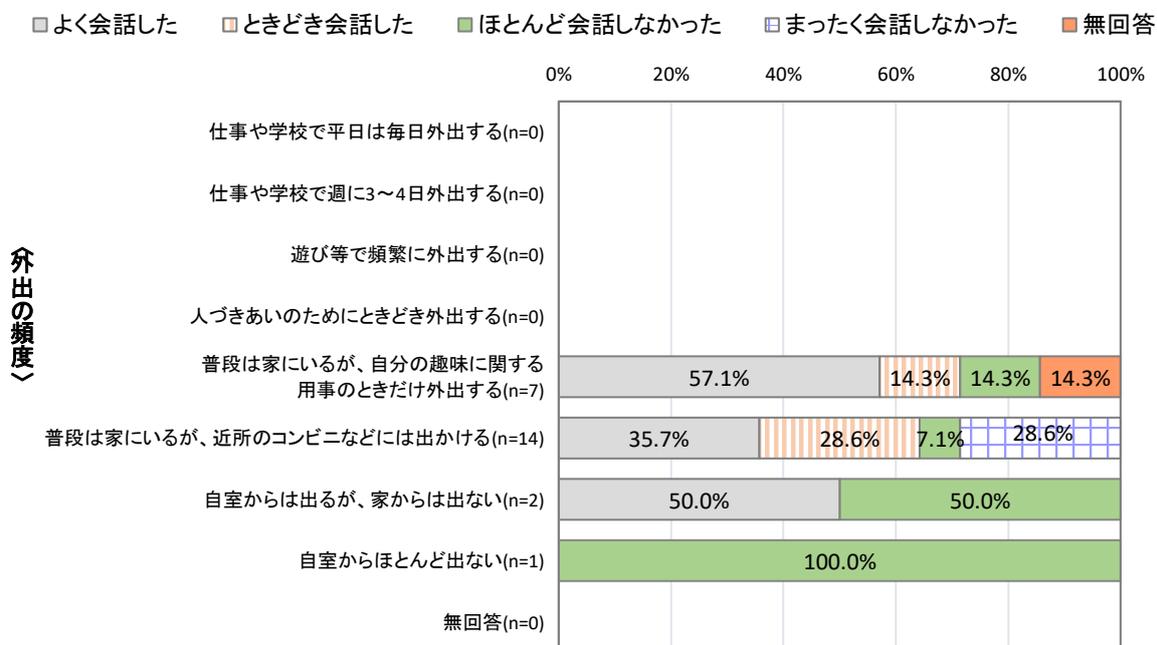
この半年間での家族以外の人との会話



項目	回答数	構成比
よく会話した	10	41.7%
ときどき会話した	5	20.8%
ほとんど会話しなかった	4	16.7%
まったく会話しなかった	4	16.7%
無回答	1	4.2%
合計	24	100%

● (参考) : 【問 22】 外出の頻度 × 【問 27】 この半年間での家族以外の人との会話

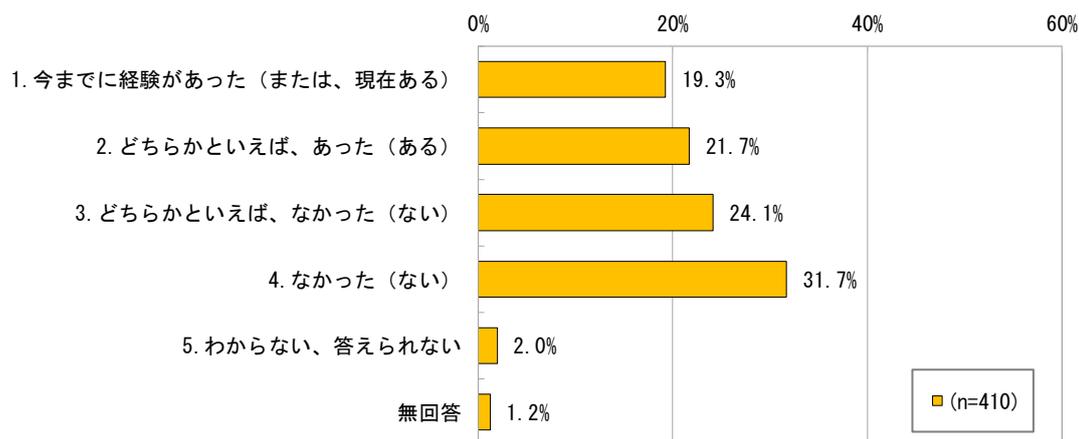
〈家族以外の人との会話〉



問28 あなたは今までに、社会生活や日常生活を円滑に送ることができなかった経験がありましたか。または、現在、社会生活や日常生活を円滑に送れていない状況がありますか。最もあてはまるものを選んでください。(1つに○)

社会生活や日常生活を円滑に送れなかった経験や現在の状況については、「なかった（ない）」31.7%が最も高く、次いで「どちらかといえば、なかった（ない）」24.1%、「どちらかといえば、あった（ある）」21.7%となっている。『あった』（「今までに経験があった（または、現在ある）」 + 「どちらかといえば、あった（ある）」）と回答した方の割合は全体の41.0%を占める。

社会生活や日常生活を円滑に送れなかった経験・現在の状況



項目	回答数	構成比
今までに経験があった(または、現在ある)	79	19.3%
どちらかといえば、あった(ある)	89	21.7%
どちらかといえば、なかった(ない)	99	24.1%
なかった(ない)	130	31.7%
わからない、答えられない	8	2.0%
無回答	5	1.2%
合計	410	100.0%

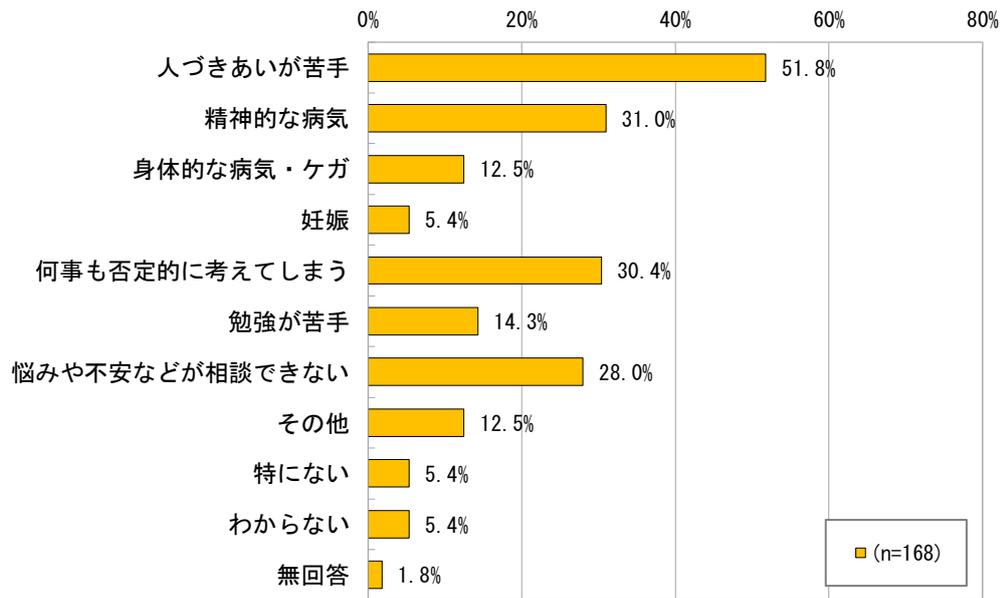
問29～問31は問28で「1」又は「2」を選んだ方のみ、お答えください。

問29 そうした問題を経験した、又は現在経験している主な原因は何ですか。以下の(1)～(4)のそれぞれにお答えください。

(1) 自分自身について (いくつでも○)

自分自身についての主な原因では、「人づきあいが苦手」51.8.%が最も高く、次いで「精神的な病気」31.0%、「何事も否定的に考えてしまう」30.4%となっている。

『自分自身について』主な原因



項目	回答数	構成比
人づきあいが苦手	87	51.8%
精神的な病気	52	31.0%
身体的な病気・ケガ	21	12.5%
妊娠	9	5.4%
何事も否定的に考えてしまう	51	30.4%
勉強が苦手	24	14.3%
悩みや不安などが相談できない	47	28.0%
その他	21	12.5%
特にない	9	5.4%
わからない	9	5.4%
無回答	3	1.8%
サンプル数	168	-

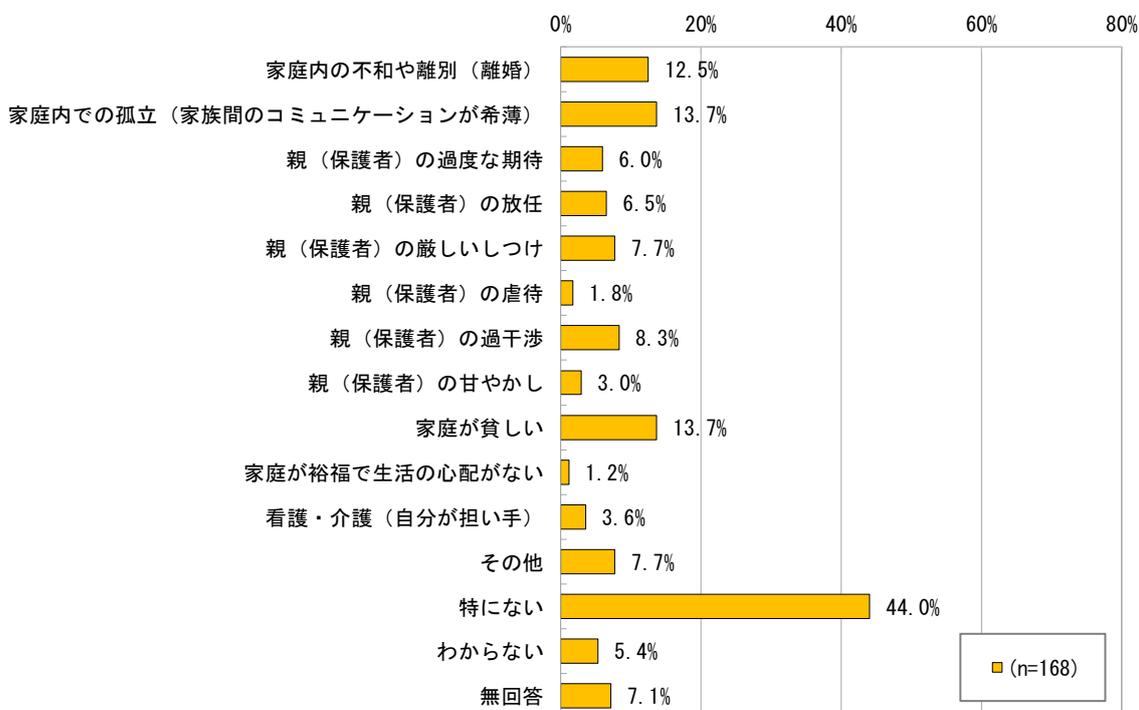
【その他の回答】

- ・職場でのパワハラ、トラブル、休みが少ない
- ・いじめ
- ・客からのカスハラ
- ・個性が強い、協調性がない など

## (2) 家族・家庭について (いくつでも○)

家族・家庭についての主な原因では、「特にない」44.0%が最も高く、次いで「家庭内での孤立(家族間のコミュニケーションが希薄)」、「家庭が貧しい」がいずれも13.7%、「家庭内の不和や離別(離婚)」12.5%となっている。

『家族・家庭について』主な原因



項目	回答数	構成比
家庭内の不和や離別(離婚)	21	12.5%
家庭内での孤立(家族間のコミュニケーションが希薄)	23	13.7%
親(保護者)の過度な期待	10	6.0%
親(保護者)の放任	11	6.5%
親(保護者)の厳しいしつけ	13	7.7%
親(保護者)の虐待	3	1.8%
親(保護者)の過干渉	14	8.3%
親(保護者)の甘やかし	5	3.0%
家庭が貧しい	23	13.7%
家庭が裕福で生活の心配がない	2	1.2%
看護・介護(自分が担い手)	6	3.6%
サンプル数	168	-

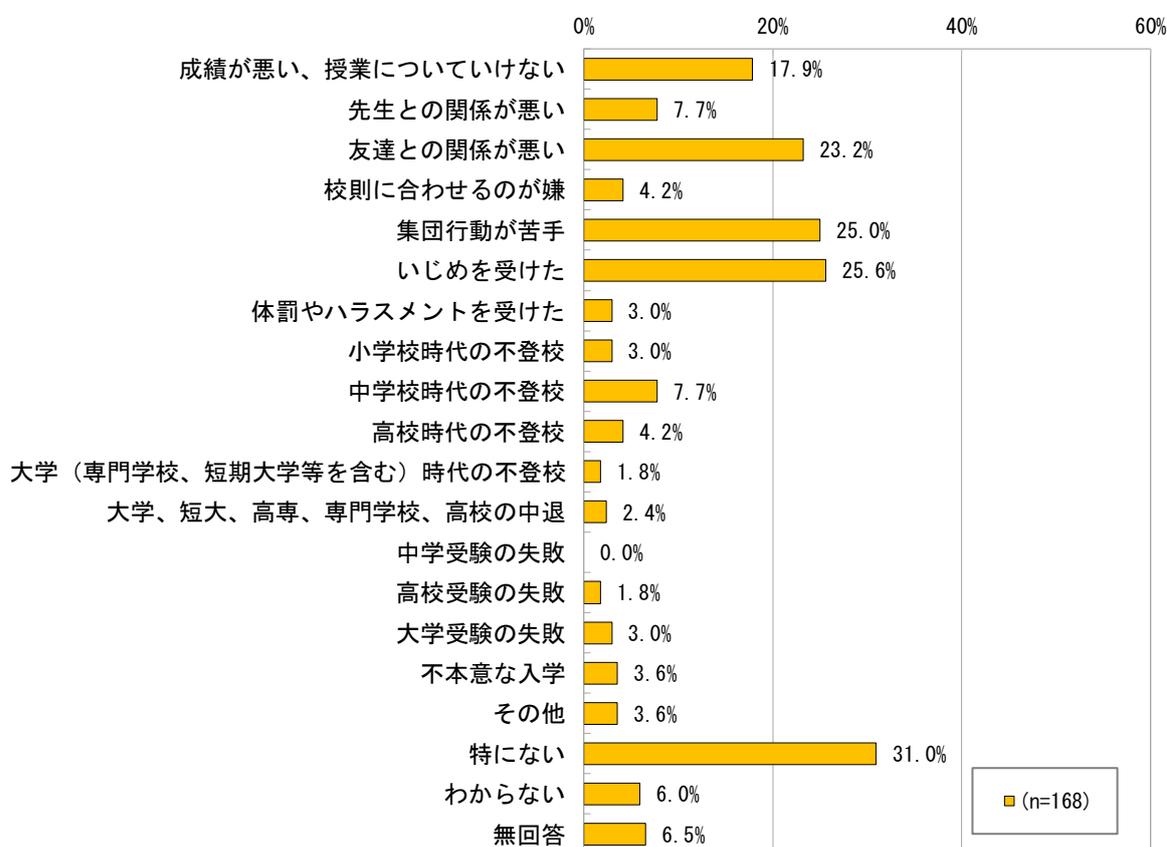
### 【その他の回答】

- ・夫の仕事が激務で話しかけづらい
- ・父母のうつ病
- ・兄弟間の不和
- ・ひとり親で仕事と家事育児のオーバーワーク
- ・配偶者が働かない、DV、借金 など

### (3) 学校について (いくつかでも○)

学校についての主な原因では、「特にない」31.0%が最も高く、次いで「いじめを受けた」25.6%、「集団行動が苦手」25.0.%となっている。

『学校について』主な原因



#### 【その他の回答】

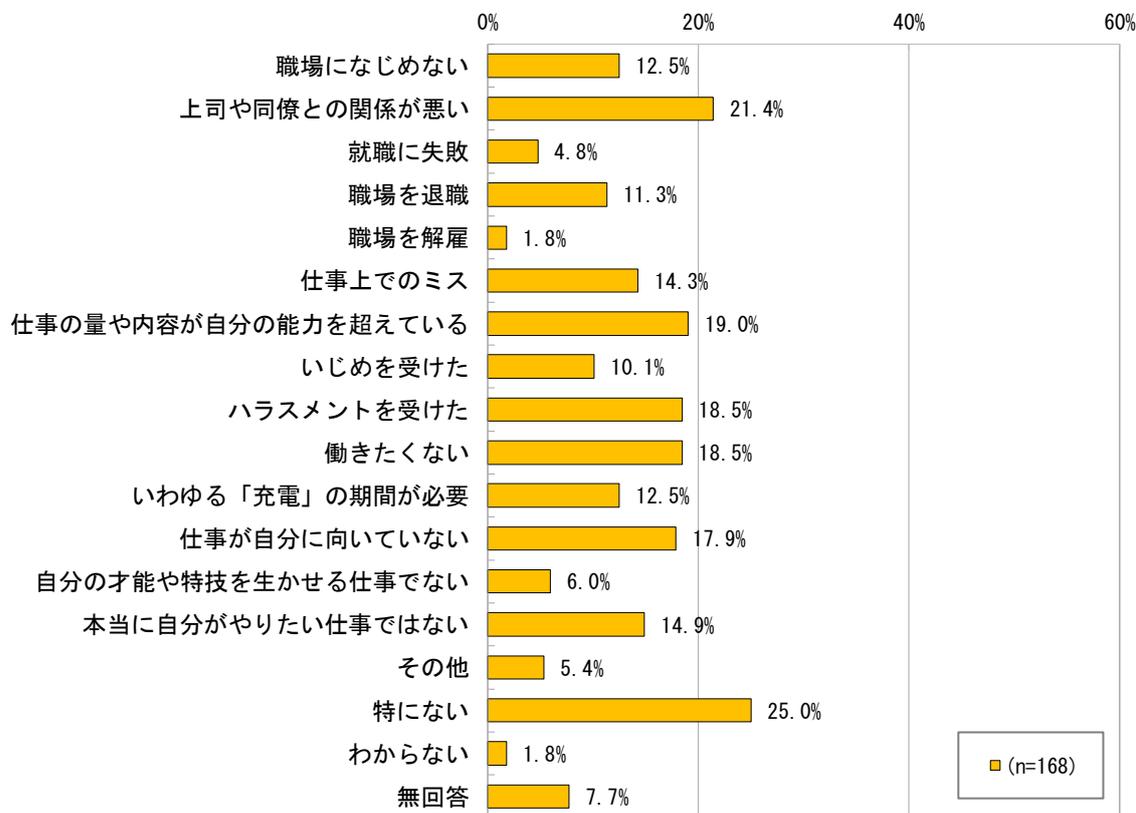
- ・ 担任のひいき、差別、いじめ
- ・ 学校の環境、雰囲気が合わない
- ・ 対人関係のトラブル など

項目	回答数	構成比
成績が悪い、授業についていけない	30	17.9%
先生との関係が悪い	13	7.7%
友達との関係が悪い	39	23.2%
校則に合わせるのが嫌	7	4.2%
集団行動が苦手	42	25.0%
いじめを受けた	43	25.6%
体罰やハラスメントを受けた	5	3.0%
小学校時代の不登校	5	3.0%
中学校時代の不登校	13	7.7%
高校時代の不登校	7	4.2%
大学(専門学校、短期大学等を含む)時代の不登校	3	1.8%
大学、短大、高専、専門学校、高校の中退	4	2.4%
中学受験の失敗	0	0.0%
高校受験の失敗	3	1.8%
大学受験の失敗	5	3.0%
不本意な入学	6	3.6%
その他	6	3.6%
特にない	52	31.0%
わからない	10	6.0%
無回答	11	6.5%
サンプル数	168	-

#### (4) 仕事・職場について (いくつでも○)

仕事・職場についての主な原因では、「特にない」25.0%が最も高く、次いで「上司や同僚との関係が悪い」21.4%、「仕事の量や内容が自分の能力を超えている」19.0%となっている。

『仕事・職場について』主な原因



#### 【その他の回答】

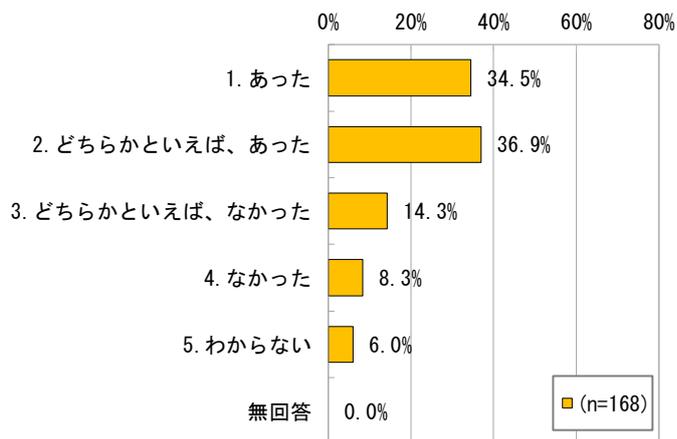
- ・社会が怖い
- ・自分に向いている仕事が見つからない
- ・障がいがあり昇給できない
- ・働き方に対する考え方の違い
- ・上司の監視があり、コミュニケーションがとりづらい など

項目	回答数	構成比
職場になじめない	21	12.5%
上司や同僚との関係が悪い	36	21.4%
就職に失敗	8	4.8%
職場を退職	19	11.3%
職場を解雇	3	1.8%
仕事上でのミス	24	14.3%
仕事の量や内容が自分の能力を超えている	32	19.0%
いじめを受けた	17	10.1%
ハラスメントを受けた	31	18.5%
働きたくない	31	18.5%
いわゆる「充電」の期間が必要	21	12.5%
仕事が自分に向いていない	30	17.9%
自分の才能や特技を生かせる仕事でない	10	6.0%
本当に自分がやりたい仕事ではない	25	14.9%
その他	9	5.4%
特にない	42	25.0%
わからない	3	1.8%
無回答	13	7.7%
サンプル数	168	-

問30 あなたは今までに、社会生活や日常生活を円滑に送ることができなかった状態が改善した経験がありましたか。最もあてはまるものを選んでください。(1つに○)

今までに、社会生活や日常生活を円滑に送ることが改善した経験があるかについて、「どちらかといえば、あった」36.9%が最も高く、次いで「あった」34.5%、「どちらかといえば、なかった」14.3%となっている。改善した経験が『あった』（「あった」＋「どちらかといえば、あった」）と回答した方の割合は全体の71.4%を占める。

状態が改善した経験



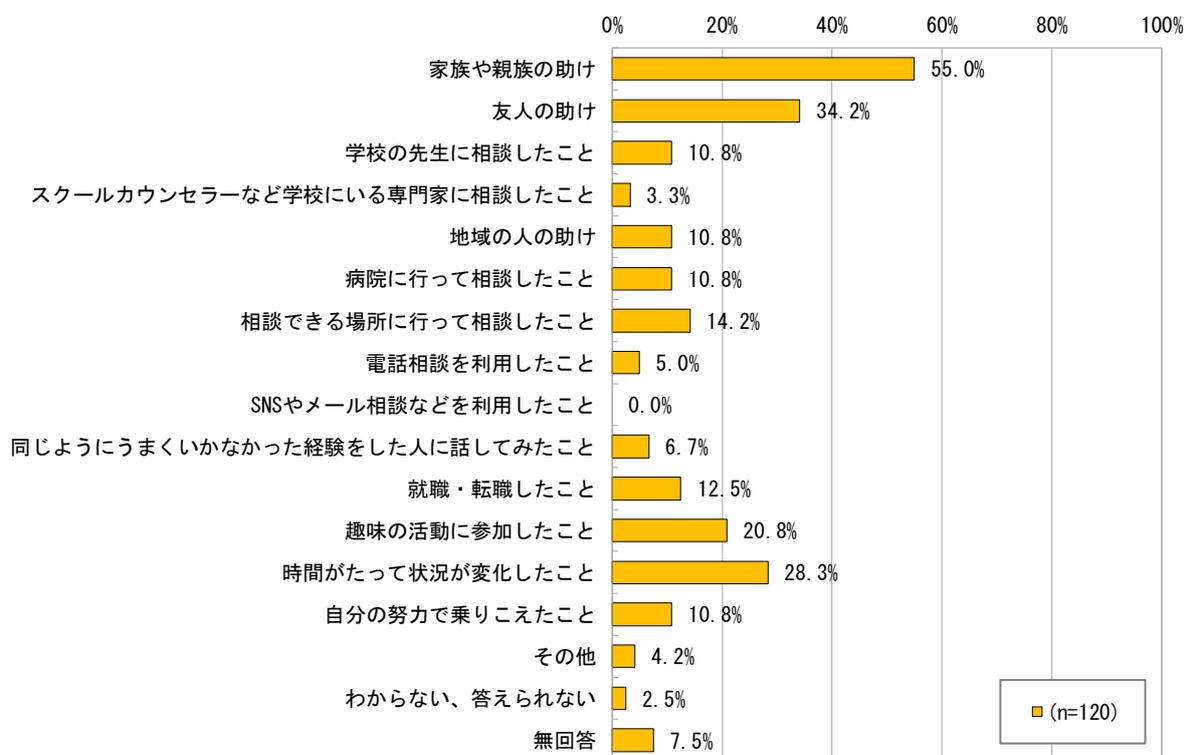
項目	回答数	構成比
あった	58	34.5%
どちらかといえば、あった	62	36.9%
どちらかといえば、なかった	24	14.3%
なかった	14	8.3%
わからない	10	6.0%
無回答	0	0.0%
合計	168	100.0%

**問30で「1」又は「2」を選んだ方のみ、お答えください。**

**問31 状態が改善したきっかけや改善に役立ったことは何だと思えますか。(いくつでも○)**

状態が改善したきっかけや改善に役立ったことについては、「家族や親族の助け」55.0%が最も高く、次いで「友人の助け」34.2%、「時間がたって状況が変化したこと」28.3%となっている。

きっかけや役立ったこと



項目	回答数	構成比
家族や親族の助け	66	55.0%
友人の助け	41	34.2%
学校の先生に相談したこと	13	10.8%
スクールカウンセラーなど学校にいる専門家に相談したこと	4	3.3%
地域の人への助け	13	10.8%
病院に行って相談したこと	13	10.8%
相談できる場所に行って相談したこと	17	14.2%
電話相談を利用したこと	6	5.0%
SNSやメール相談などを利用したこと	0	0.0%
同じようにうまくいかなかった経験をした人に話してみたこと	8	6.7%
就職・転職したこと	15	12.5%
趣味の活動に参加したこと	25	20.8%
時間がたって状況が変化したこと	34	28.3%
自分の努力で乗り越えたこと	13	10.8%
その他	5	4.2%
わからない、答えられない	3	2.5%
無回答	9	7.5%
サンプル数	120	-

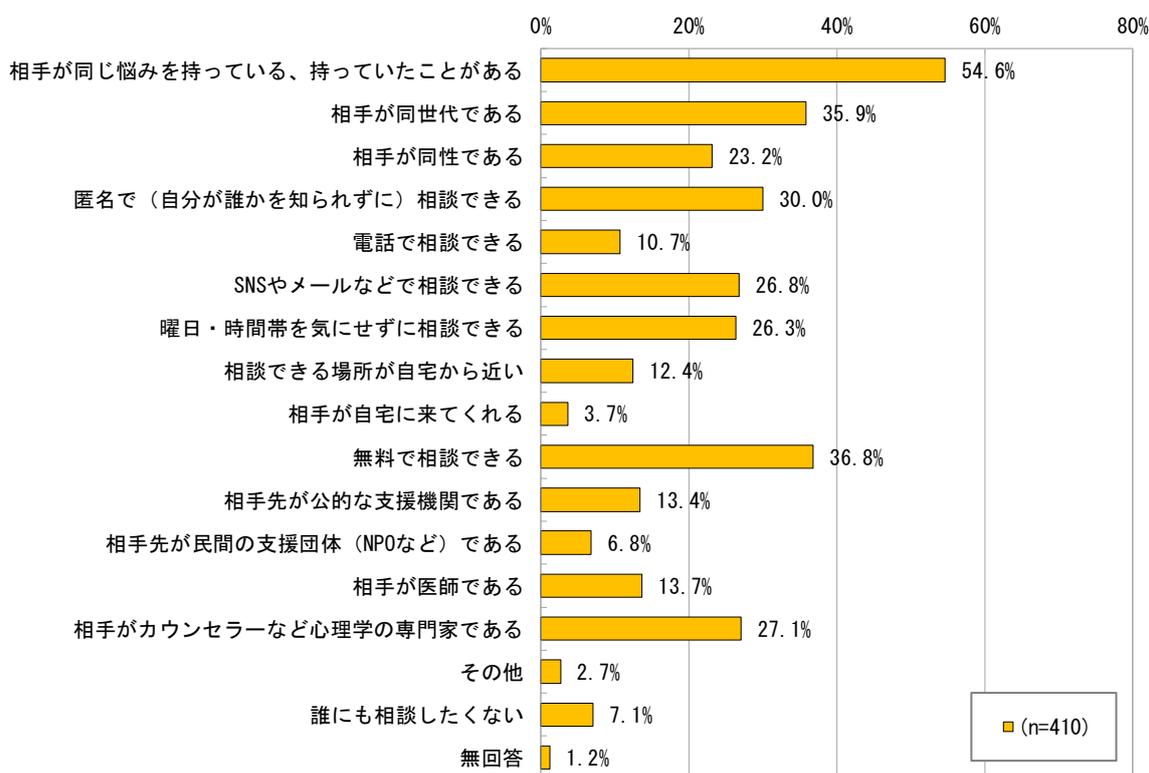
**【その他の回答】**

- ・クラスでいじめられていたが、部活があったため登校できた 気にしないようにした
- ・同僚に相談したこと ・関わるのをやめた 学生時代のことは進学により解決 など

問32 あなたが、社会生活や日常生活を円滑に送ることができない状態となったときに、家族や知り合い以外に相談するとすれば、どのような人や場所なら、相談したいと思いますか。(いくつかでも○)

家族や知り合い以外に相談したいと思う人や場所などについては、「相手と同じ悩みを持っている、持っていたことがある」54.6%が最も高く、次いで「無料で相談できる」36.8%、「相手が同世代である」35.9%となっている。

### 相談したいと思う人や場所



#### 【その他の回答】

- ・個性を否定しない
- ・派遣会社の人 ・ 弁護士
- ・行政の専門家
- ・解決してくれそうな人 など

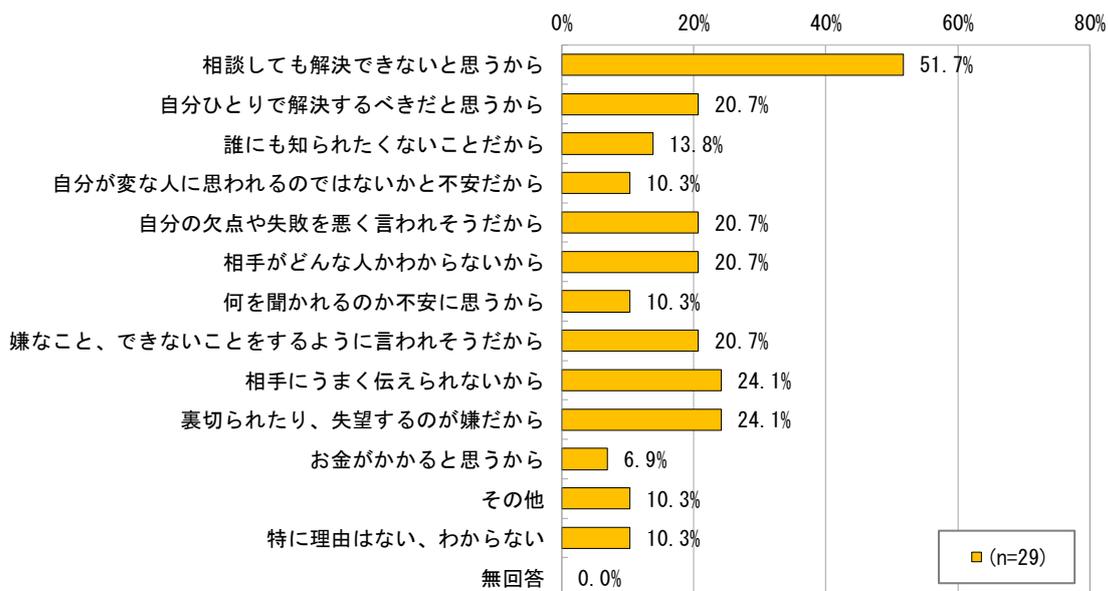
項目	回答数	構成比
相手と同じ悩みを持っている、持っていたことがある	224	54.6%
相手が同世代である	147	35.9%
相手が同性である	95	23.2%
匿名で（自分が誰かを知られずに）相談できる	123	30.0%
電話で相談できる	44	10.7%
SNSやメールなどで相談できる	110	26.8%
曜日・時間帯を気にせずに相談できる	108	26.3%
相談できる場所が自宅から近い	51	12.4%
相手が自宅に来てくれる	15	3.7%
無料で相談できる	151	36.8%
相手先が公的な支援機関である	55	13.4%
相手先が民間の支援団体(NPOなど)である	28	6.8%
相手が医師である	56	13.7%
相手がカウンセラーなど心理学の専門家である	111	27.1%
その他	11	2.7%
誰にも相談したくない	29	7.1%
無回答	5	1.2%
サンプル数	410	-

**問32で「16 誰にも相談したくない」を選んだ方のみ、お答えください。**

**問33 相談したくないと思う理由は何ですか。(いくつでも○)**

相談したくないと思う理由については、「相談しても解決できないと思うから」51.7%が最も高く、次いで「相手にうまく伝えられないから」、「裏切られたり、失望するのが嫌だから」がいずれも24.1%、「自分の欠点や失敗を悪く言われそうだから」、「相手がどんな人かわからないから」がいずれも20.7%となっている。

相談したくないと思う理由



項目	回答数	構成比
相談しても解決できないと思うから	15	51.7%
自分ひとりで解決すべきだと思うから	6	20.7%
誰にも知られたくないことだから	4	13.8%
自分が変な人に思われるのではないかと不安だから	3	10.3%
自分の欠点や失敗を悪く言われそうだから	6	20.7%
相手がどんな人かわからないから	6	20.7%
何を聞かれるのか不安に思うから	3	10.3%
嫌なこと、できないことをするように言われそうだから	6	20.7%
相手にうまく伝えられないから	7	24.1%
裏切られたり、失望するのが嫌だから	7	24.1%
お金がかかると思うから	2	6.9%
その他	3	10.3%
特に理由はない、わからない	3	10.3%
無回答	0	0.0%
サンプル数	29	-

**【その他の回答】**

- ・記録に残ったりしたら、今後の人生が不利になるから
- ・悩みを誰に相談したらいいかわからない、内容によっては否定されることが怖いと感じる
- ・誰かに話すほうが辛い、普段の自分が崩れてしまうのを許せない など

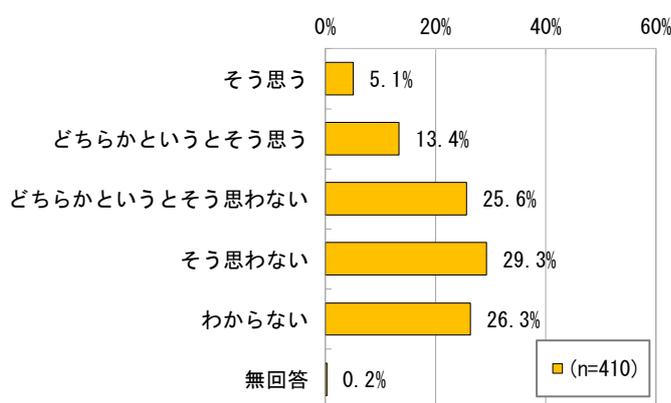
問34 以下のことについて、どのように思いますか。(それぞれ1つに○)

(1) 令和5年12月に「こども大綱」が閣議決定され、大綱が目指す姿として、「こどもまんなか社会」(全てのこども・若者が身体的・精神的・社会的に幸福な生活を送ることができる社会)が掲げられています。

「こどもまんなか社会の実現に向かっている」と思いますか。

「こどもまんなか社会の実現に向かっている」と思うかについては、「そう思わない」29.3%が最も高く、次いで「わからない」26.3%、「どちらかというと思わない」25.6%となっている。『思う』(「そう思う」+「どちらかといえばそう思う」)は18.5%となっている。

「こどもまんなか社会の実現に向かっている」と思うか

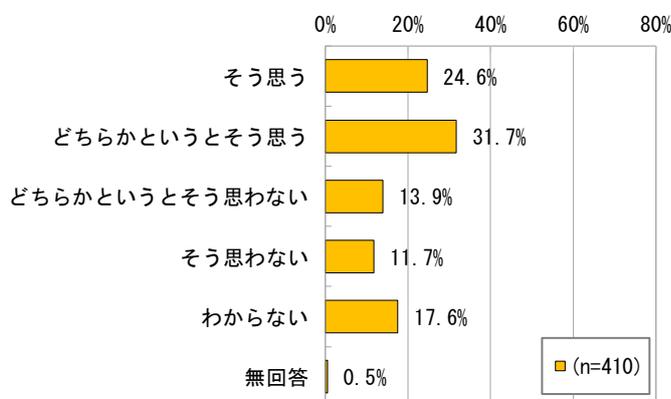


項目	回答数	構成比
そう思う	21	5.1%
どちらかというと思おう	55	13.4%
どちらかというと思わない	105	25.6%
そう思わない	120	29.3%
わからない	108	26.3%
無回答	1	0.2%
合計	410	100.0%

(2) 「子どもは権利の主体である」と思いますか。

「子どもは権利の主体である」と思うかについては、「どちらかというと思おう」31.7%が最も高く、次いで「そう思う」24.6%、「わからない」17.6%となっている。『思う』は56.3%となっている。

「子どもは権利の主体である」と思うか

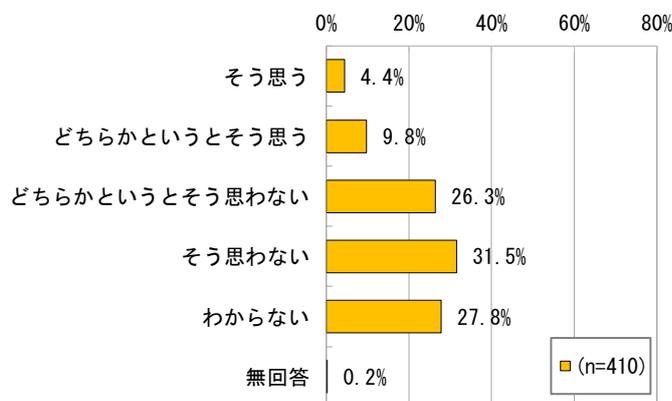


項目	回答数	構成比
そう思う	101	24.6%
どちらかというと思おう	130	31.7%
どちらかというと思わない	57	13.9%
そう思わない	48	11.7%
わからない	72	17.6%
無回答	2	0.5%
合計	410	100.0%

### (3) 「子ども政策に関して自身の意見が聴いてもらえている」と思いますか。

「子ども政策に関して自身の意見が聴いてもらえている」と思うかについては、「そう思わない」31.5%が最も高く、次いで「わからない」27.8%、「どちらかというと思わない」26.3%となっている。『思う』は14.2%となっている。

「子ども政策に関して自身の意見が聴いてもらえている」と思うか

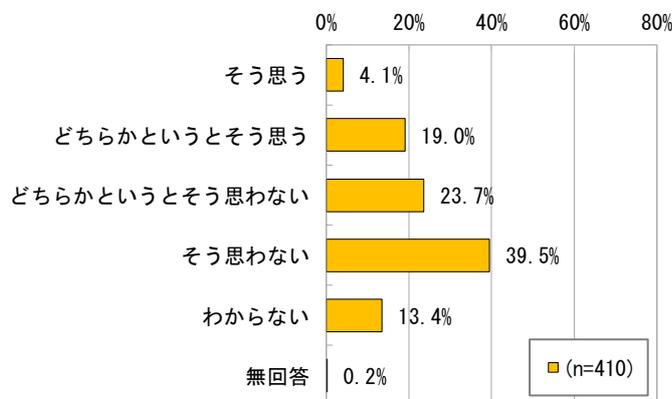


項目	回答数	構成比
そう思う	18	4.4%
どちらかというと思おう	40	9.8%
どちらかというと思わない	108	26.3%
そう思わない	129	31.5%
わからない	114	27.8%
無回答	1	0.2%
合計	410	100.0%

### (4) 「結婚、妊娠、子ども・子育てに温かい社会の実現に向かっている」と思いますか。

「結婚、妊娠、子ども・子育てに温かい社会の実現に向かっている」と思うかについては、「そう思わない」39.5%が最も高く、次いで「どちらかというと思わない」23.7%、「どちらかというと思おう」19.0%となっている。『思う』は23.1%となっている。

「結婚、妊娠、子ども・子育てに温かい社会の実現に向かっている」と思うか

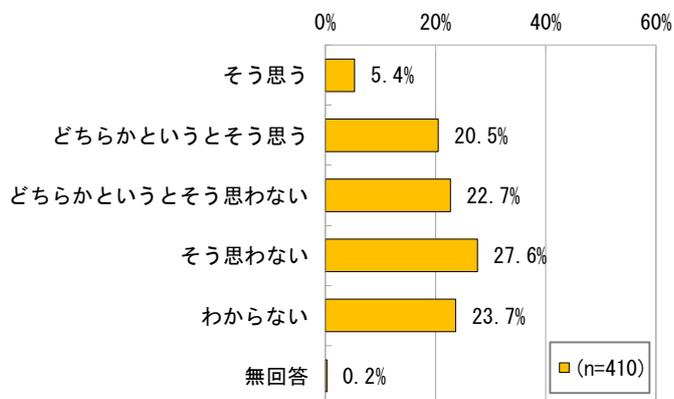


項目	回答数	構成比
そう思う	17	4.1%
どちらかというと思おう	78	19.0%
どちらかというと思わない	97	23.7%
そう思わない	162	39.5%
わからない	55	13.4%
無回答	1	0.2%
合計	410	100.0%

(5) 「保護者の子育てが地域で支えられている」と思いますか。

「保護者の子育てが地域で支えられている」と思うかについては、「そう思わない」27.6%が最も高く、次いで「わからない」23.7%、「どちらかというと思わない」22.7%となっている。『思う』は25.9%となっている。

「保護者の子育てが地域で支えられている」と思うか

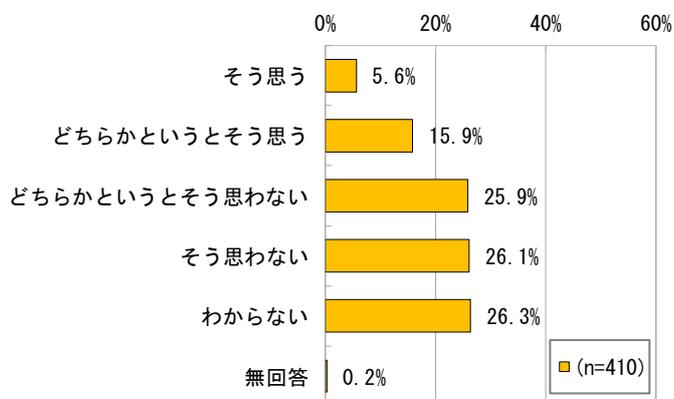


項目	回答数	構成比
そう思う	22	5.4%
どちらかというと思おう	84	20.5%
どちらかというと思わない	93	22.7%
そう思わない	113	27.6%
わからない	97	23.7%
無回答	1	0.2%
合計	410	100.0%

(6) 「保護者が、子どもの基本的な生活習慣や自立心等を育む教育を家庭で行うための支援がされている」と思いますか。

「保護者が、子どもの基本的な生活習慣や自立心等を育む教育を家庭で行うための支援がされている」と思うかについては、「わからない」26.3%が最も高く、次いで「そう思わない」26.1%、「どちらかというと思わない」25.9%となっている。『思う』は21.5%となっている。

「保護者が、子どもの基本的な生活習慣や自立心等を育む教育を家庭で行うための支援がされている」と思うか

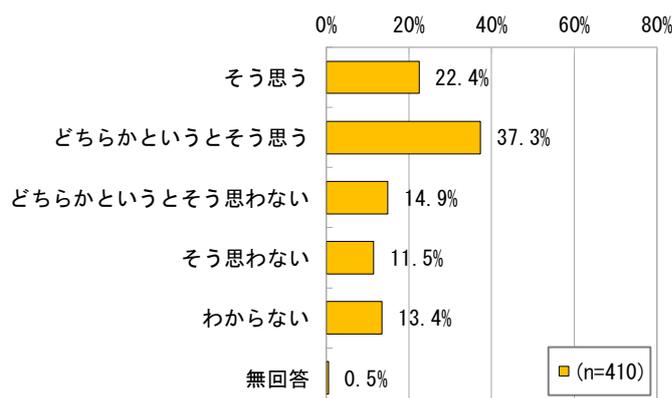


項目	回答数	構成比
そう思う	23	5.6%
どちらかというと思おう	65	15.9%
どちらかというと思わない	106	25.9%
そう思わない	107	26.1%
わからない	108	26.3%
無回答	1	0.2%
合計	410	100.0%

(7)「学校は、子どもが安全に安心して過ごすことができる、子どもにとって大切な居場所の1つである」と思いますか。

「学校は、子どもが安全に安心して過ごすことができる、子どもにとって大切な居場所の1つである」と思うかについては、「どちらかというと思う」37.3%が最も高く、次いで「そう思う」22.4%、「どちらかというと思わない」14.9%となっている。『思う』は59.7%となっている。

「学校は、子どもが安全に安心して過ごすことができる、子どもにとって大切な居場所の1つである」と思うか

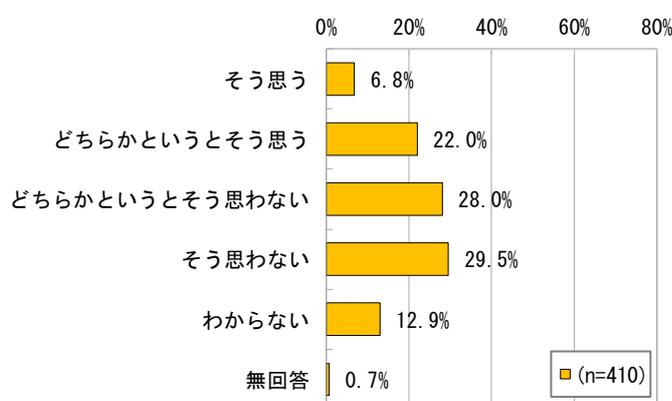


項目	回答数	構成比
そう思う	92	22.4%
どちらかというと思う	153	37.3%
どちらかというと思わない	61	14.9%
そう思わない	47	11.5%
わからない	55	13.4%
無回答	2	0.5%
合計	410	100.0%

(8)「あなたの周りには、こどもや若者の遊びや体験活動の機会や場が十分にある」と思いますか。

「あなたの周りには、こどもや若者の遊びや体験活動の機会や場が十分にある」と思うかについては、「そう思わない」29.5%が最も高く、次いで「どちらかというと思わない」28.0%、「どちらかというと思う」22.0%となっている。『思う』は28.8%となっている。

「あなたの周りには、こどもや若者の遊びや体験活動の機会や場が十分にある」と思うか

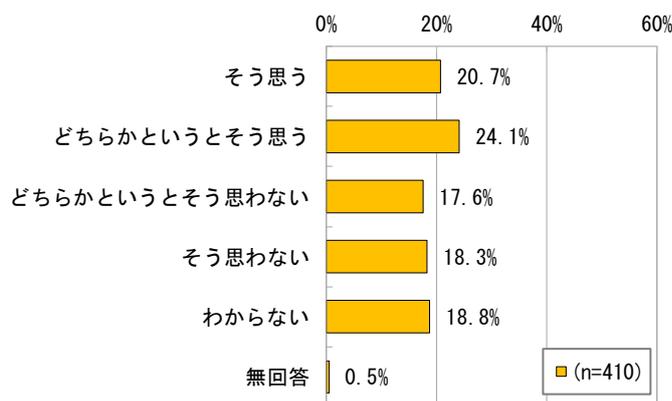


項目	回答数	構成比
そう思う	28	6.8%
どちらかというと思う	90	22.0%
どちらかというと思わない	115	28.0%
そう思わない	121	29.5%
わからない	53	12.9%
無回答	3	0.7%
合計	410	100%

(9) 「子ども・若者の心身の健康等についての情報提供やこころのケアが十分だ」と思いますか。

「子ども・若者の心身の健康等についての情報提供やこころのケアが十分だ」と思うかについては、「どちらかというと思う」24.1%が最も高く、次いで「思う」20.7%、「わからない」18.8%となっている。『思う』は44.8%となっている。

「子ども・若者の心身の健康等についての情報提供やこころのケアが十分だ」と思うか

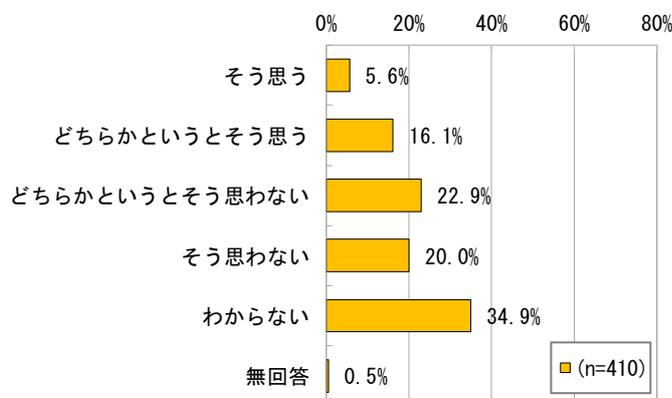


項目	回答数	構成比
思う	85	20.7%
どちらかというと思う	99	24.1%
どちらかというと思わない	72	17.6%
と思わない	75	18.3%
わからない	77	18.8%
無回答	2	0.5%
合計	410	100.0%

(10) 「障がいのある子ども・若者、発達に特性のある子ども・若者の地域社会への参加・包容（インクルージョン）が推進されている」と思いますか。

「障がいのある子ども・若者、発達に特性のある子ども・若者の地域社会への参加・包容（インクルージョン）が推進されている」と思うかについては、「わからない」34.9%が最も高く、次いで「どちらかというと思わない」22.9%、「と思わない」20.0%となっている。『思う』は21.7%となっている。

「障がいのある子ども・若者、発達に特性のある子ども・若者の地域社会への参加・包容（インクルージョン）が推進されている」と思うか

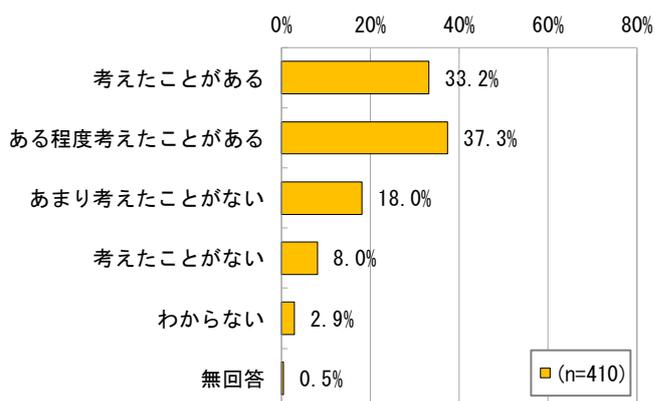


項目	回答数	構成比
思う	23	5.6%
どちらかというと思う	66	16.1%
どちらかというと思わない	94	22.9%
と思わない	82	20.0%
わからない	143	34.9%
無回答	2	0.5%
合計	410	100.0%

(11)「自分の将来についての人生設計(ライフプラン)について」考えたことがありますか。

「自分の将来についての人生設計(ライフプラン)について」考えたことがあるかについては、「ある程度考えたことがある」37.3%が最も高く、次いで「考えたことがある」33.2%、「あまり考えたことがない」18.0%となっている。『考えたことがある』(「考えたことがある」+「ある程度考えたことがある」)は70.5%となっている

「自分の将来についての人生設計(ライフプラン)について」  
考えたことがあるか



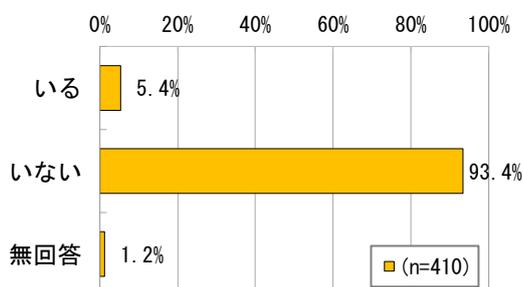
項目	回答数	構成比
考えたことがある	136	33.2%
ある程度考えたことがある	153	37.3%
あまり考えたことがない	74	18.0%
考えたことがない	33	8.0%
わからない	12	2.9%
無回答	2	0.5%
合計	410	100.0%

問35 家族の中にあなたがケアをしている人はいますか。(1つに○)

※ケアとは、「介護、看護、日常生活上の世話その他の援助を提供すること」を言います。

家族の中にケアをしている人がいるかについては、「いる」5.4%、「いない」93.4%となっている。

ケアをしている人の有無



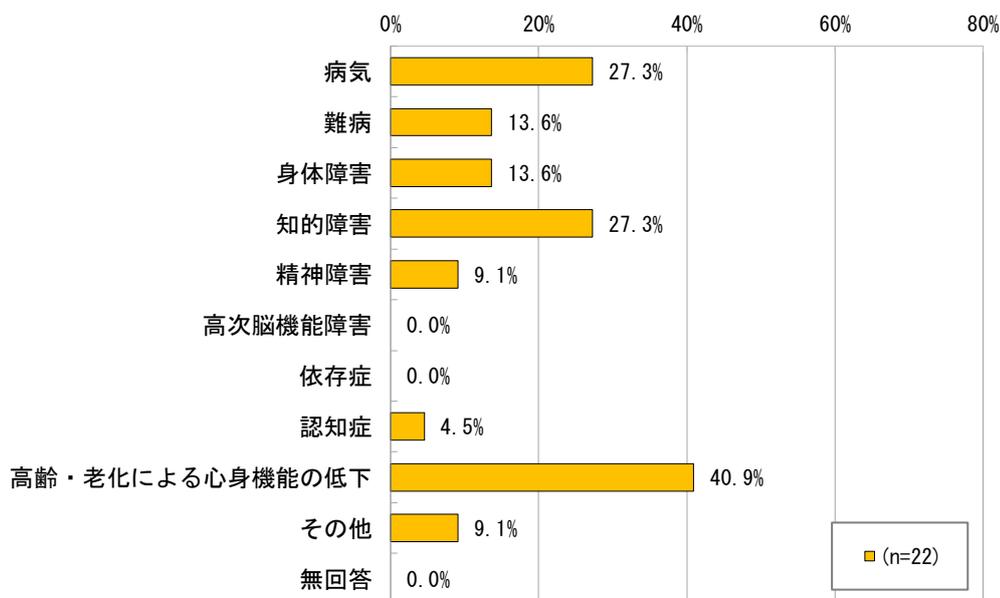
項目	回答数	構成比
いる	22	5.4%
いない	383	93.4%
無回答	5	1.2%
合計	410	100.0%

問36～問37は問35で「1.いる」を選んだ方のみ、お答えください。

問36 ケアをしている相手の状況について教えてください。(いくつでも○)

ケアをしている相手の状況については、「高齢・老化による心身機能の低下」40.9%が最も高く、次いで「病気」、「知的障害」がいずれも27.3%、「難病」、「身体障害」がいずれも13.6%となっている。

ケアをしている相手の状況

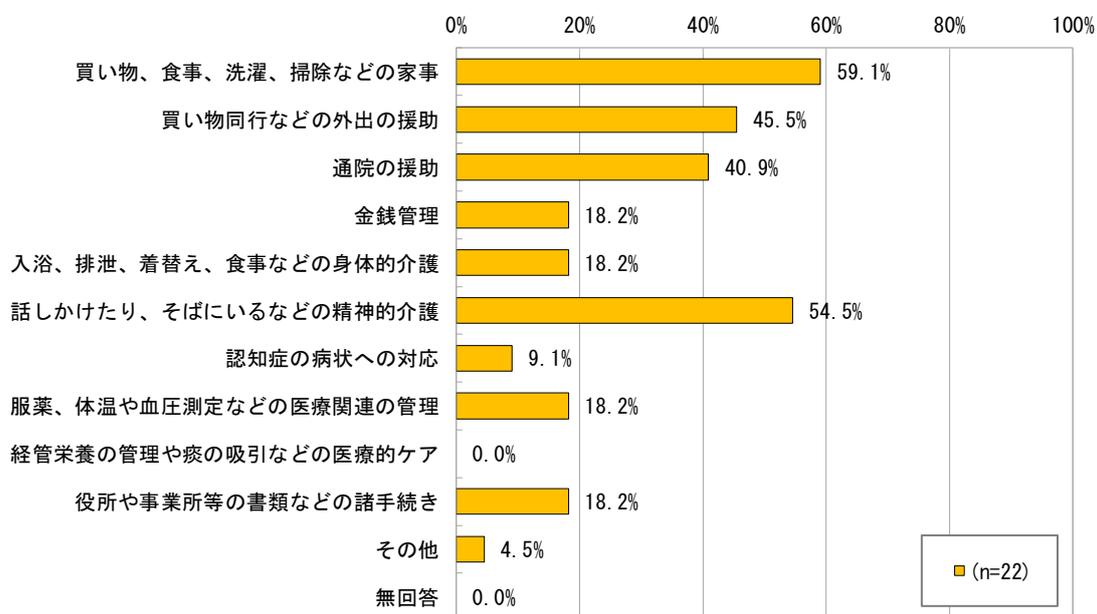


項目	回答数	構成比
病気	6	27.3%
難病	3	13.6%
身体障害	3	13.6%
知的障害	6	27.3%
精神障害	2	9.1%
高次脳機能障害	0	0.0%
依存症	0	0.0%
認知症	1	4.5%
高齢・老化による心身機能の低下	9	40.9%
その他	2	9.1%
無回答	0	0.0%
サンプル数	22	-

問37 あなたが行っているケアの内容について教えてください。(いくつでも○)

行っているケアの内容については、「買い物、食事、洗濯、掃除などの家事」59.1%が最も高く、次いで「話しかけたり、そばにいるなどの精神的介護」54.5%、「買い物同行などの外出の援助」45.5%となっている。

ケアの内容



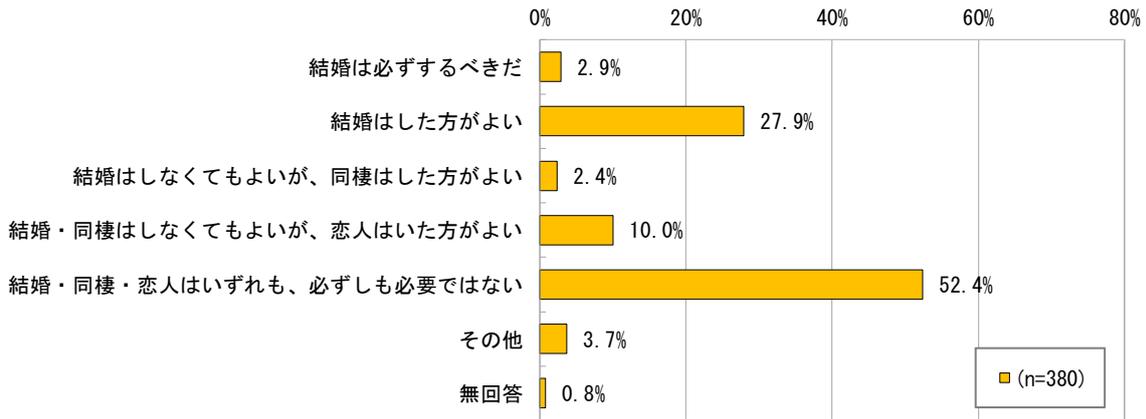
項目	回答数	構成比
買い物、食事、洗濯、掃除などの家事	13	59.1%
買い物同行などの外出の援助	10	45.5%
通院の援助	9	40.9%
金銭管理	4	18.2%
入浴、排泄、着替え、食事などの身体的介護	4	18.2%
話しかけたり、そばにいるなどの精神的介護	12	54.5%
認知症の病状への対応	2	9.1%
服薬、体温や血圧測定などの医療関連の管理	4	18.2%
経管栄養の管理や痰の吸引などの医療的ケア	0	0.0%
役所や事業所等の書類などの諸手続き	4	18.2%
その他	1	4.5%
無回答	0	0.0%
サンプル数	22	-

問38以降は、20歳以上の方にお聞きします。

問38 人生における結婚や同棲の必要性に対する以下のような考え方のうち、あなたの意見にもっとも近いものを1つだけ選んでください。(1つに○)

結婚や同棲の必要性に対する意見については、「結婚・同棲・恋人はいずれも、必ずしも必要ではない」52.4%が最も高く、次いで「結婚はした方がよい」27.9%、「結婚・同棲はしなくてもよいが、恋人はいた方がよい」10.0%となっている。

### 結婚や同棲の必要性に対する意見



項目	回答数	構成比
結婚は必ずすべきだ	11	2.9%
結婚はした方がよい	106	27.9%
結婚はしなくてもよいが、同棲はした方がよい	9	2.4%
結婚・同棲はしなくてもよいが、恋人はいた方がよい	38	10.0%
結婚・同棲・恋人はいずれも、必ずしも必要ではない	199	52.4%
その他	14	3.7%
無回答	3	0.8%
合計	380	100.0%

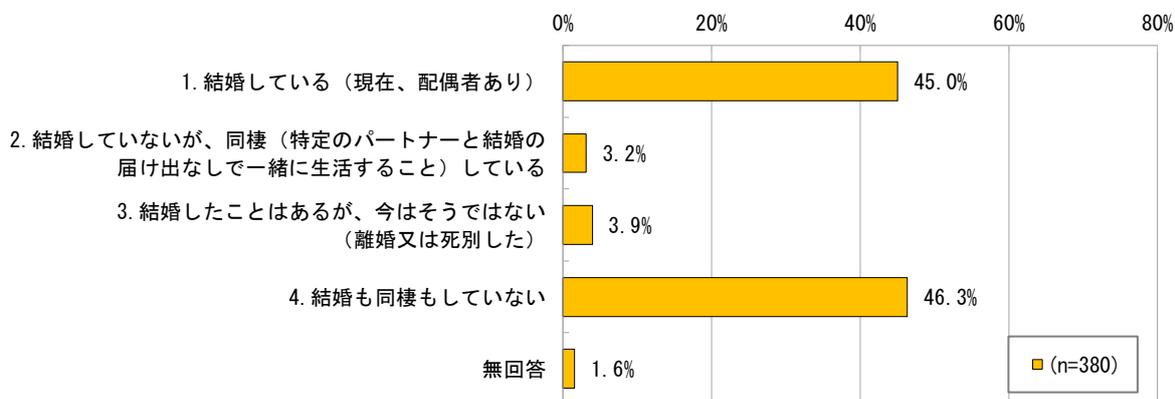
#### 【その他の回答】

- ・人それぞれなので、自由に決めたらいい ・個人の自由なので気にならない
- ・時間がたつと慣れてきて、同じ熱量の愛は永遠ではない どちらでもよい
- ・重度障害者のため したくなったらすればいい など

問39 あなたは結婚していますか。この中から1つ選んでください。なお、この調査の中で、「結婚」とは法律に基づく結婚のことを指します。(1つに〇)

結婚をしているかについては、「結婚も同棲もしていない」46.3%が最も高く、次いで「結婚している（現在、配偶者あり）」45.0%となっている。

### 結婚しているか



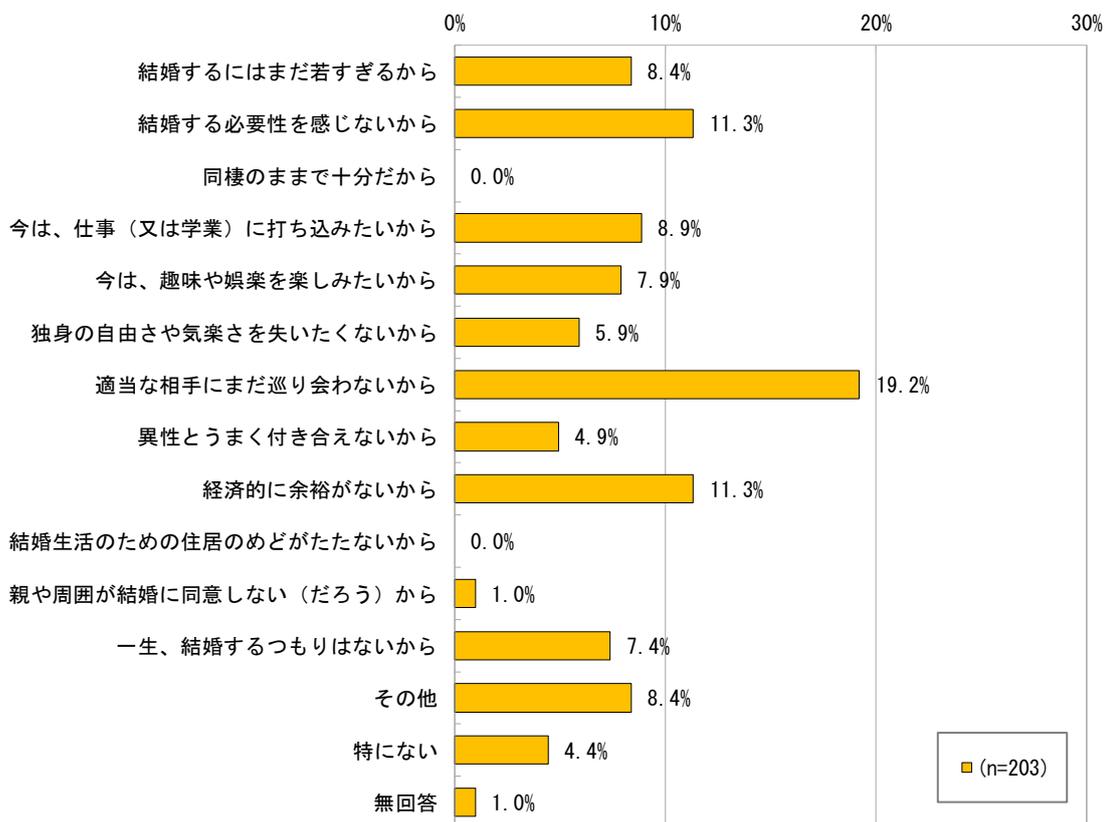
項目	回答数	構成比
結婚している（現在、配偶者あり）	171	45.0%
結婚していないが、同棲（特定のパートナーと結婚の届け出なしで一緒に生活すること）している	12	3.2%
結婚したことはあるが、今はそうではない（離婚又は死別した）	15	3.9%
結婚も同棲もしていない	176	46.3%
無回答	6	1.6%
合計	380	100%

**問39で「2」～「4」を選んだ方のみ、お答えください。**

**問40 現在結婚していない理由で、1番当てはまるものはなんですか。(1つに○)**

現在結婚していない理由については、「適当な相手にまだ巡り会わないから」19.2%が最も高く、次いで「結婚する必要性を感じないから」、「経済的に余裕がないから」がいずれも11.3%、「今は、仕事（又は学業）に打ち込みたいから」8.9%となっている。

**結婚していない理由**



項目	回答数	構成比
結婚するにはまだ若すぎるから	17	8.4%
結婚する必要性を感じないから	23	11.3%
同棲のままで十分だから	0	0.0%
今は、仕事(又は学業)に打ち込みたいから	18	8.9%
今は、趣味や娯楽を楽しみたいから	16	7.9%
独身の自由さや気楽さを失いたくないから	12	5.9%
適当な相手にまだ巡り会わないから	39	19.2%
異性とうまく付き合えないから	10	4.9%
経済的に余裕がないから	23	11.3%
結婚生活のための住居のめどがたたないから	0	0.0%
親や周囲が結婚に同意しない(だろう)から	2	1.0%
一生、結婚するつもりはないから	15	7.4%
その他	17	8.4%
特にない	9	4.4%
無回答	2	1.0%
合計	203	100.0%

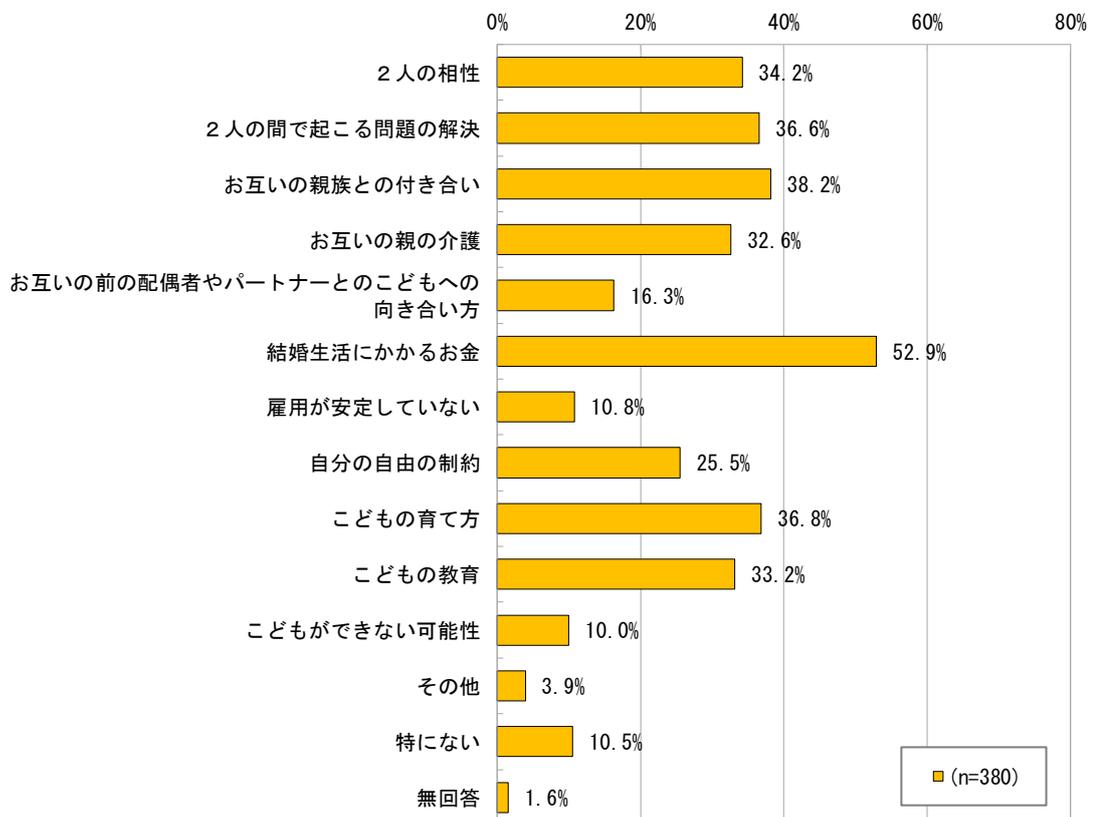
【その他の回答】

- ・ 苗字を変えたくない
- ・ 親の影響で結婚に良いイメージがない
- ・ 未婚で出産したから
- ・ 子どもが自立するまでは結婚をすることができない
- ・ 子どもとの生活でいっぱい 自分を含め人間が嫌いだから など

問41 あなたが、結婚生活について不安に感じることは何ですか。この中からあなたの考えに近いものを、選んでください。(いくつでも○)

結婚生活について不安に感じることについては、「結婚生活にかかるお金」52.9%が最も高く、次いで「お互いの親族との付き合い」38.2%、「こどもの育て方」36.8%となっている。

結婚生活について不安に感じること



【その他の回答】

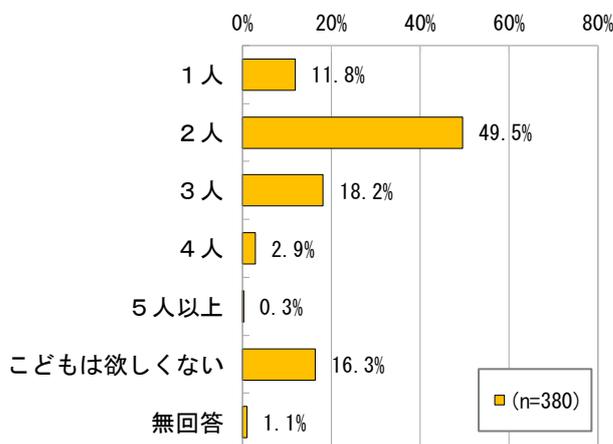
- ・離婚すると腫れ物扱いする人がたくさんいる
- ・教育資金 ・自分には必要ないから
- ・子どもを産みたくないが、相手の家族に悪く  
思われる不安がある
- ・姓が変わる可能性 ・重度障害者
- ・子どもと相手の相性 など

項目	回答数	構成比
2人の相性	130	34.2%
2人の間で起こる問題の解決	139	36.6%
お互いの親族との付き合い	145	38.2%
お互いの親の介護	124	32.6%
お互いの前の配偶者やパートナーとのこ どもへの向き合い方	62	16.3%
結婚生活にかかるお金	201	52.9%
雇用が安定していない	41	10.8%
自分の自由の制約	97	25.5%
こどもの育て方	140	36.8%
こどもの教育	126	33.2%
こどもができない可能性	38	10.0%
その他	15	3.9%
特にない	40	10.5%
無回答	6	1.6%
サンプル数	380	-

問42 あなたは、全部で何人の子どもが欲しいですか。既にお子さんがいる場合には、そのお子  
さんも含めてお答えください。(1つに○)

持ちたい子どもの人数は、「2人」49.5%が最も高く、次いで「3人」18.2%、「こどもは  
欲しくない」16.3%となっている。

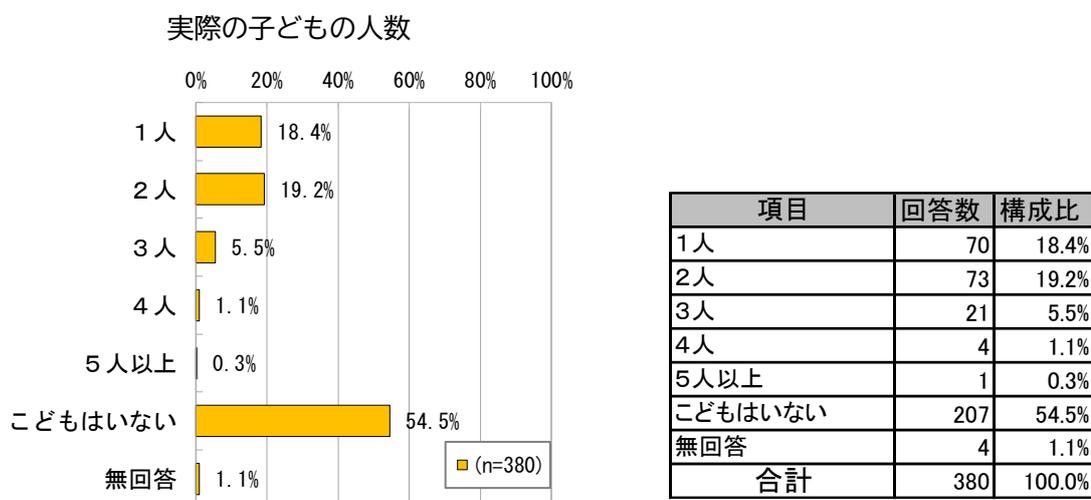
持ちたい子どもの人数



項目	回答数	構成比
1人	45	11.8%
2人	188	49.5%
3人	69	18.2%
4人	11	2.9%
5人以上	1	0.3%
こどもは欲しくない	62	16.3%
無回答	4	1.1%
合計	380	100.0%

問43 実際のあなたのお子さん(養子を含む)の数は何人ですか。(1つに○)

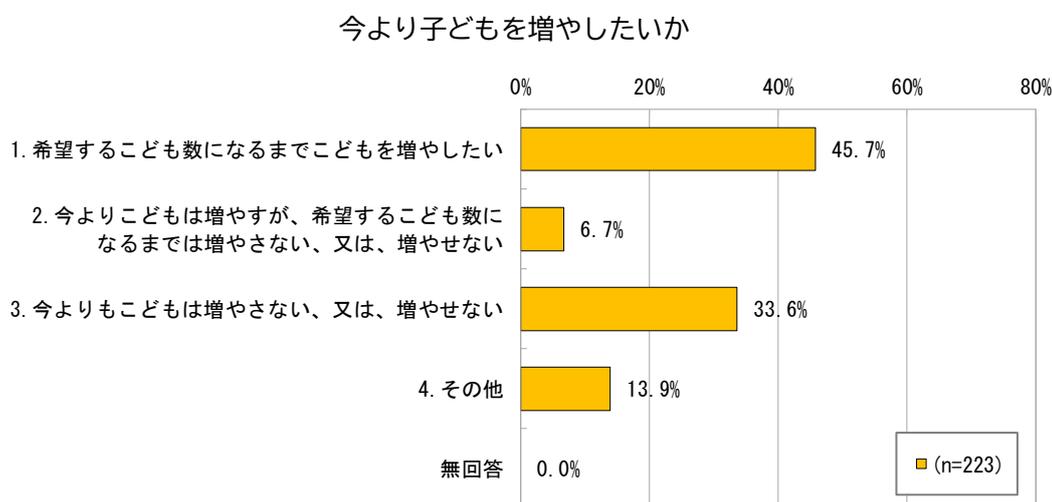
実際の子ども的人数については、「こどもはいない」54.5%が最も高く、次いで「2人」19.2%、「1人」18.4%となっている。



問42で答えた欲しい子どもの数よりも、問43で答えた実際の子ども数が少ない方のみ、お答えください。

問44 あなたは、今よりも、子どもを増やしたいと思いますか。(1つに○)

今より子どもを増やしたいかについては、「希望するこども数になるまで子どもを増やしたい」45.7%が最も高く、次いで「今よりもこどもは増やさない、又は、増やせない」33.6%、「その他」13.9%となっている。



項目	回答数	構成比
希望するこども数になるまで子どもを増やしたい	102	45.7%
今よりこどもは増やすが、希望するこども数になるまでは増やさない、又は、増やせない	15	6.7%
今よりもこどもは増やさない、又は、増やせない	75	33.6%
その他	31	13.9%
無回答	0	0.0%
合計	223	100.0%

【その他の回答】

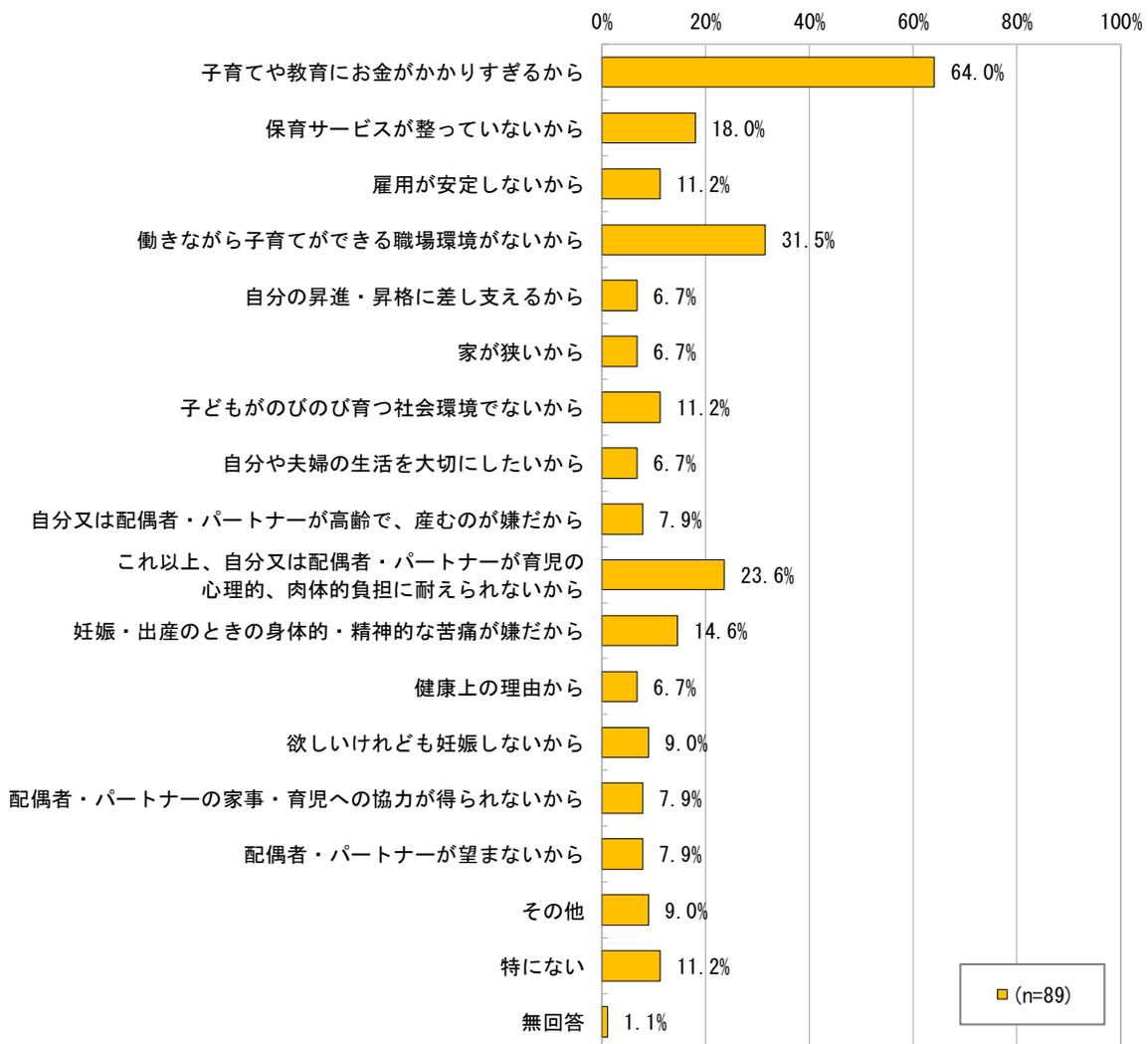
- ・子どもはほしくない    ・年齢的に難しい    ・独身    ・考えていない
- ・収入が少ないのに増やせるわけがない    ・できたらよい    など

**問44で「2」又は「3」を選んだ方のみ、お答えください。**

問45 希望する数まで、又は今よりも子どもを増やさない、又は、増やせない理由は何ですか。  
(いくつでも○)

子どもを増やさない又は増やせない理由については、「子育てや教育にお金がかかりすぎるから」64.0%が最も高く、次いで「働きながら子育てができる職場環境がないから」31.5%、「これ以上、自分又は配偶者・パートナーが育児の心理的、肉体的負担に耐えられないから」23.6%となっている。

子どもを増やさない又は増やせない理由



【その他の回答】

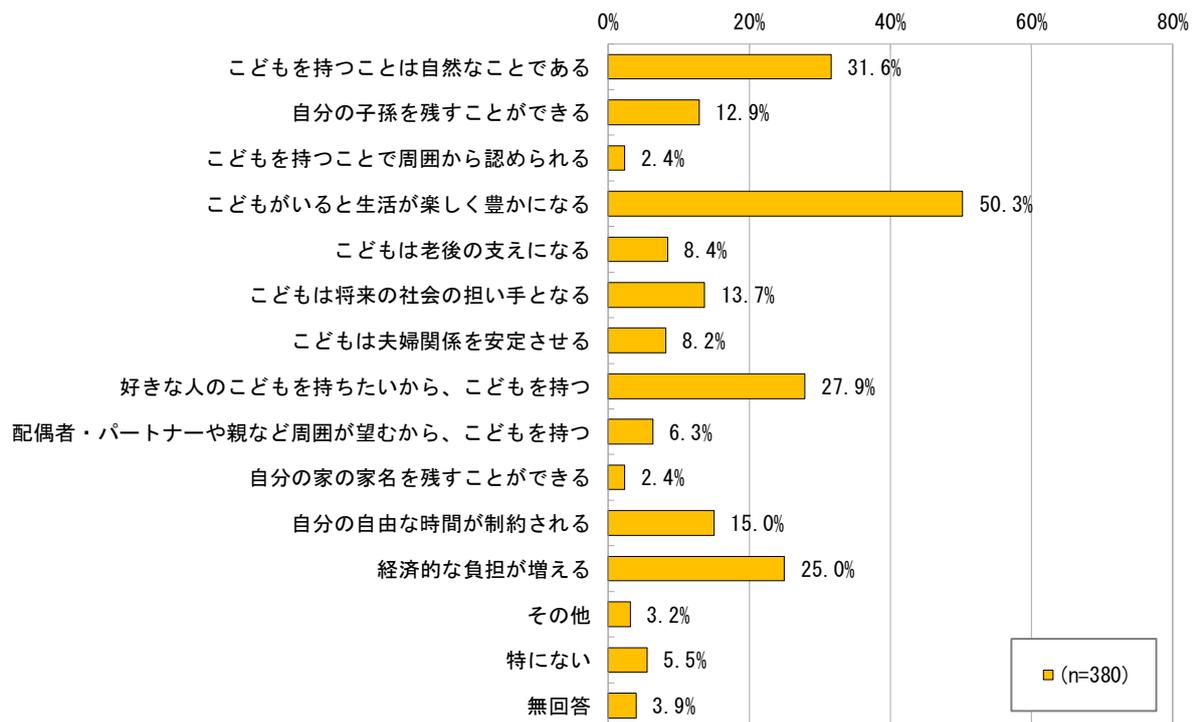
- ・ 3人の子を見る場合危険が伴う、  
見きれない
- ・ 兄弟を作ってあげたいがまずは結婚
- ・ 結婚していないから
- ・ 離婚しているため
- ・ 帝王切開3回、4回目の危険 など

項目	回答数	構成比
子育てや教育にお金がかかりすぎるから	57	64.0%
保育サービスが整っていないから	16	18.0%
雇用が安定しないから	10	11.2%
働きながら子育てができる職場環境がないから	28	31.5%
自分の昇進・昇格に差し支えるから	6	6.7%
家が狭いから	6	6.7%
子どもがのびのび育つ社会環境でないから	10	11.2%
自分や夫婦の生活を大切にしたいから	6	6.7%
自分又は配偶者・パートナーが高齢で、産むのが嫌だから	7	7.9%
これ以上、自分又は配偶者・パートナーが育児の心理的、肉体的負担に耐えられないから	21	23.6%
妊娠・出産のときの身体的・精神的な苦痛が嫌だから	13	14.6%
健康上の理由から	6	6.7%
欲しいけれども妊娠しないから	8	9.0%
配偶者・パートナーの家事・育児への協力が得られないから	7	7.9%
配偶者・パートナーが望まないから	7	7.9%
その他	8	9.0%
特になし	10	11.2%
無回答	1	1.1%
サンプル数	89	-

問46 あなたは、自分の子どもを持つことに対して、どのように考えていますか。既にお子さんがいらっしゃる方は、子どもを持つ前にどのように考えていたかということについてお答えください。(3つまで○)

子どもを持つことに対してどのように考えているかについては、「こどもがいると生活が楽しく豊かになる」50.3%が最も高く、次いで「こどもを持つことは自然なことである」31.6%、「好きな人のこどもを持ちたいから、こどもを持つ」27.9%となっている。

### 子どもを持つことに対する考え方

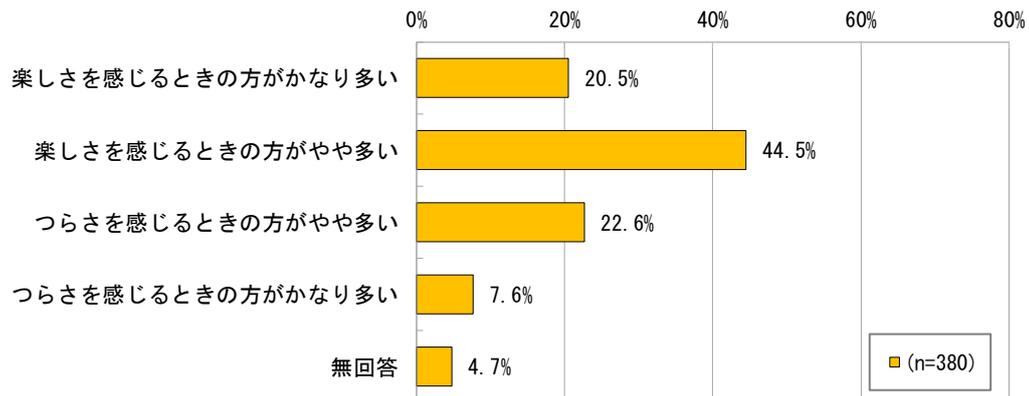


項目	回答数	構成比
こどもを持つことは自然なことである	120	31.6%
自分の子孫を残すことができる	49	12.9%
こどもを持つことで周囲から認められる	9	2.4%
こどもがいると生活が楽しく豊かになる	191	50.3%
こどもは老後の支えになる	32	8.4%
こどもは将来の社会の担い手となる	52	13.7%
こどもは夫婦関係を安定させる	31	8.2%
好きな人のこどもを持ちたいから、こどもを持つ	106	27.9%
配偶者・パートナーや親など周囲が望むから、こどもを持つ	24	6.3%
自分の家の家名を残すことができる	9	2.4%
自分の自由な時間が制約される	57	15.0%
経済的な負担が増える	95	25.0%
その他	12	3.2%
特にない	21	5.5%
無回答	15	3.9%
サンプル数	380	-

問47 あなたは、子育てに楽しさを感じるときが多いですか、それともつらさを感じるときが多いですか。(お子さんがいない方は、仮にご自分が子育てをする場合を想定して選んでください。)(1つに○)

子育てに楽しさを感じるときが多いか、つらさを感じるときが多いかについては、「楽しさを感じるときの方がやや多い」44.5%が最も高く、次いで「つらさを感じるときの方がやや多い」22.6%、「楽しさを感じるときの方がかなり多い」20.5%となっている。

子育てに楽しさを感じるときが多いか、つらさを感じるときが多いか

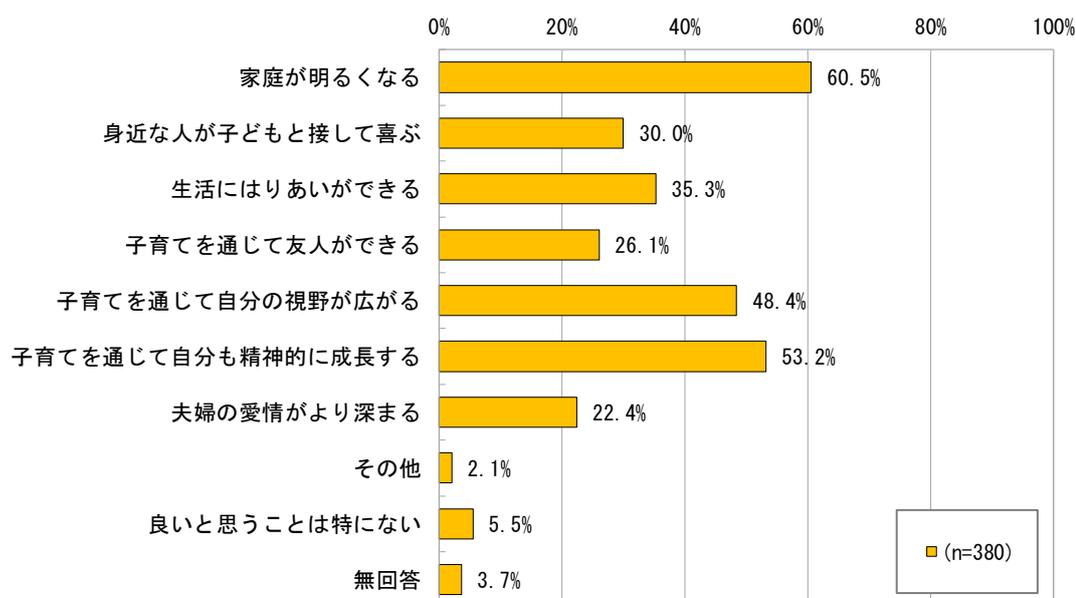


項目	回答数	構成比
楽しさを感じるときの方がかなり多い	78	20.5%
楽しさを感じるときの方がやや多い	169	44.5%
つらさを感じるときの方がやや多い	86	22.6%
つらさを感じるときの方がかなり多い	29	7.6%
無回答	18	4.7%
合計	380	100.0%

問48 あなたが、子育てをしていて、良かったと思うことは何ですか。(お子さんがいない方は、仮にご自分が子育てをする場合を想定して選んでください。)(いくつでも○)

子育てをしていて良かったと思うことについては、「家庭が明るくなる」60.5%が最も高く、次いで「子育てを通じて自分も精神的に成長する」53.2%、「子育てを通じて自分の視野が広がる」48.4%となっている。

### 子育てをしていて良かったと思うこと



項目	回答数	構成比
家庭が明るくなる	230	60.5%
身近な人が子どもと接して喜ぶ	114	30.0%
生活にはりあいができる	134	35.3%
子育てを通じて友人ができる	99	26.1%
子育てを通じて自分の視野が広がる	184	48.4%
子育てを通じて自分も精神的に成長する	202	53.2%
夫婦の愛情がより深まる	85	22.4%
その他	8	2.1%
良いと思うことは特にない	21	5.5%
無回答	14	3.7%
サンプル数	380	-

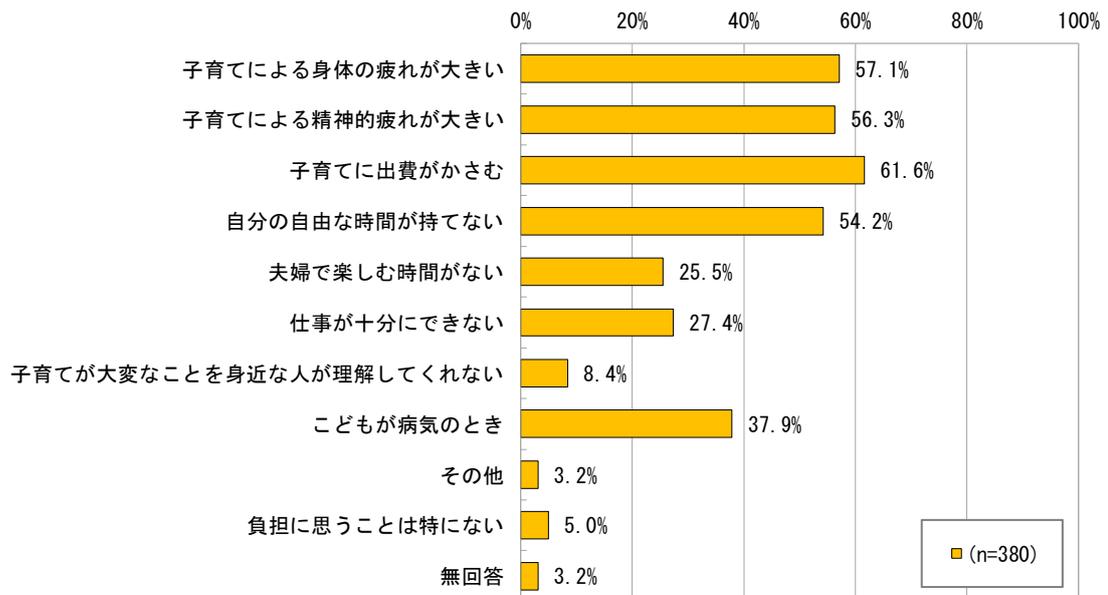
#### 【その他の回答】

- ・両親への感謝の気持ち
- ・自分を顧みることができる、親の気持ちがわかる
- ・子ども時代をもう一度体験したような気持ちになる
- ・自分の魂の心意気の後継者ができる喜び など

問49 あなたが、子育てをされていて、自分にとって負担に思うことはどんなことですか。(お子さんがいない方は、仮にご自分が子育てをする場合を想定して選んでください。)  
(いくつでも○)

子育てをされていて負担に思うことについては、「子育てに出費がかさむ」61.6%が最も高く、次いで「子育てによる身体の疲れが大きい」57.1%、「子育てによる精神的疲れが大きい」56.3%となっている。

### 子育てをされていて負担に思うこと



項目	回答数	構成比
子育てによる身体の疲れが大きい	217	57.1%
子育てによる精神的疲れが大きい	214	56.3%
子育てに出費がかさむ	234	61.6%
自分の自由な時間が持てない	206	54.2%
夫婦で楽しむ時間がない	97	25.5%
仕事が十分にできない	104	27.4%
子育てが大変なことを身近な人が理解してくれない	32	8.4%
こどもが病気の時	144	37.9%
その他	12	3.2%
負担に思うことは特にない	19	5.0%
無回答	12	3.2%
サンプル数	380	-

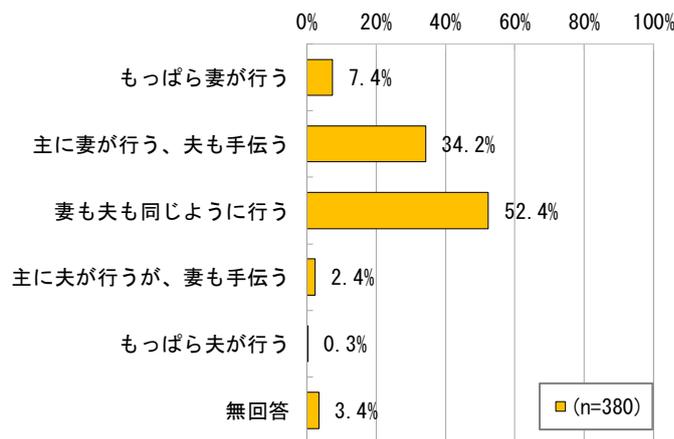
#### 【その他の回答】

- ・お金
- ・子どもが体調不良の時に親の支援が必要
- ・学校や児童会の行事や役員
- ・母親なんだからとレッテルを貼られる
- ・子ども自身の教育やいじめ問題等によるストレスの心配
- ・子どもを思えば働く時間は短いほうが良いが、経営的に考えるとフルで働かないといけないなどのジレンマが大部分
- など

問50 小学校入学前の子どもの育児における夫・妻の役割について、あなたの考えに近いものを選んでください。(1つに○)

小学校入学前の子どもの育児における夫・妻の役割についての考えは、「妻も夫も同じように行く」52.4%が最も高く、次いで「主に妻が行う、夫も手伝う」34.2%、「もっぱら妻が行う」7.4%となっている。

小学校入学前の子どもの育児における、夫・妻の役割

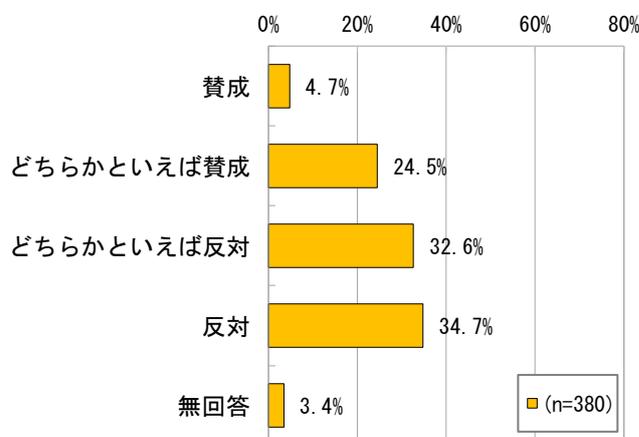


項目	回答数	構成比
もっぱら妻が行う	28	7.4%
主に妻が行う、夫も手伝う	130	34.2%
妻も夫も同じように行く	199	52.4%
主に夫が行うが、妻も手伝う	9	2.4%
もっぱら夫が行う	1	0.3%
無回答	13	3.4%
合計	380	100.0%

問51 「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」という考え方について、あなたは、どのように考えますか。(1つに○)

「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」という考え方については、「反対」34.7%が最も高く、次いで「どちらかといえば反対」32.6%、「どちらかといえば賛成」24.5%となっている。『反対』（「どちらかといえば反対」＋「反対」）と回答した方の割合は全体の67.3%を占める。

「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」という考え方について

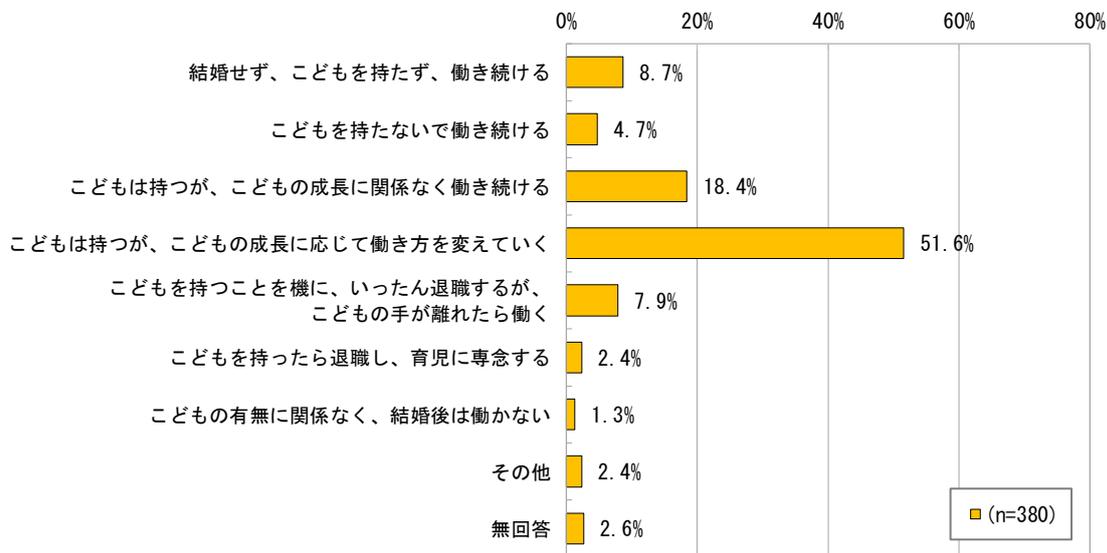


項目	回答数	構成比
賛成	18	4.7%
どちらかといえば賛成	93	24.5%
どちらかといえば反対	124	32.6%
反対	132	34.7%
無回答	13	3.4%
合計	380	100.0%

問52 育児と仕事との関係で、あなたの理想の生き方は次のどれですか。(1つに○)

育児と仕事との関係における理想の生き方については、「こどもは持つが、こどもの成長に応じて働き方を変えていく」51.6%が最も高く、次いで「こどもは持つが、こどもの成長に関係なく働き続ける」18.4%、「結婚せず、こどもを持たず、働き続ける」8.7%となっている。

育児と仕事との関係における理想の生き方



項目	回答数	構成比
結婚せず、こどもを持たず、働き続ける	33	8.7%
こどもを持たないで働き続ける	18	4.7%
こどもは持つが、こどもの成長に関係なく働き続ける	70	18.4%
こどもは持つが、こどもの成長に応じて働き方を変えていく	196	51.6%
こどもを持つことを機に、いったん退職するが、こどもの手が離れたら働く	30	7.9%
こどもを持ったら退職し、育児に専念する	9	2.4%
こどもの有無に関係なく、結婚後は働かない	5	1.3%
その他	9	2.4%
無回答	10	2.6%
合計	380	100.0%

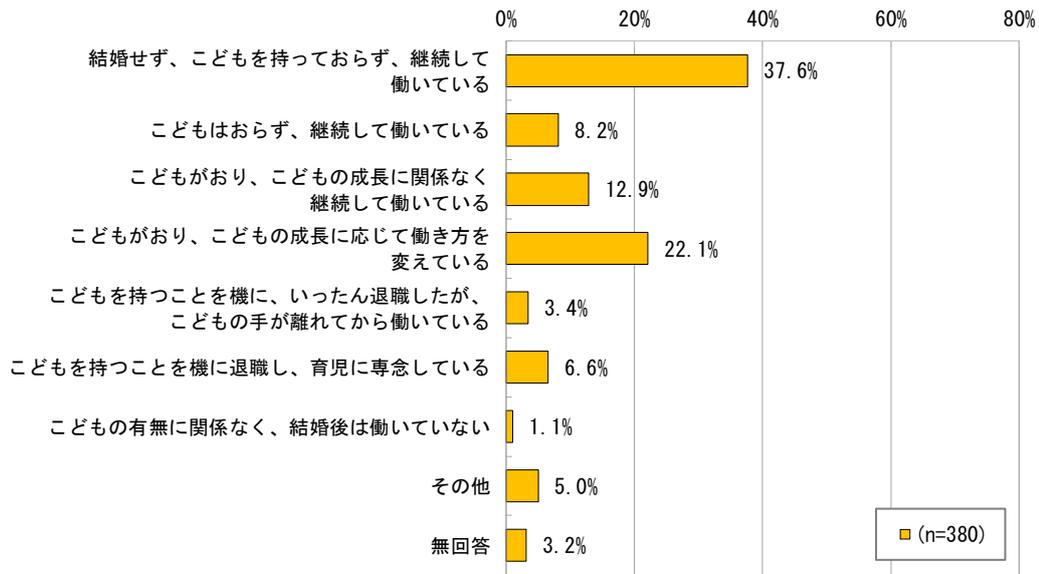
【その他の回答】

- ・ 好きに生きる    ・ 結婚もせず働かない    ・ 重度障害者    ・ 理想はない
- ・ 結婚はしてもよいが、子どもについては配偶者と相談して考える
- ・ 子どもも仕事も大切    など

問53 育児と仕事との関係で、あなたの現時点での状況は次のどれですか。(学生の方は、「働いている」を「勉強している」と考えてお答えください。)(1つに○)

育児と仕事との関係で、現時点の状況については、「結婚せず、子どもを持っておらず、継続して働いている」37.6%が最も高く、次いで「子どもがおり、子どもの成長に応じて働き方を変えている」22.1%、「子どもがおり、子どもの成長に関係なく継続して働いている」12.9%となっている。

育児と仕事との関係における現時点での状況



項目	回答数	構成比
結婚せず、子どもを持っておらず、継続して働いている	143	37.6%
子どもはおらず、継続して働いている	31	8.2%
子どもがおり、子どもの成長に関係なく継続して働いている	49	12.9%
子どもがおり、子どもの成長に応じて働き方を変えている	84	22.1%
子どもを持つことを機に、いったん退職したが、子どもの手が離れてから働いている	13	3.4%
子どもを持つことを機に退職し、育児に専念している	25	6.6%
子どもの有無に関係なく、結婚後は働いていない	4	1.1%
その他	19	5.0%
無回答	12	3.2%
合計	380	100.0%

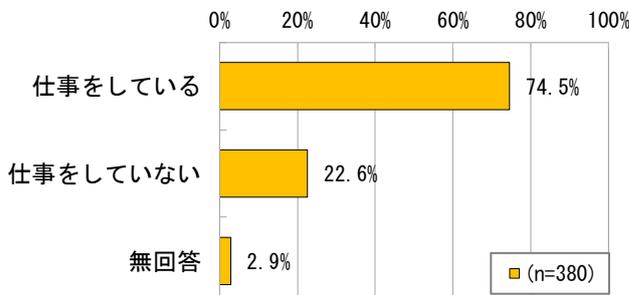
【その他の回答】

- ・勉強している
- ・働いていない
- ・病気療養中
- ・育児休暇中
- ・仕事を探している
- ・不妊治療の為、退職し今はパート勤務
- ・重度障害者
- ・以前、夫の海外駐在のため一旦退職 など

問54 あなたは仕事をしていますか。(1つに○)

現在仕事をしているかについては、「仕事をしている」74.5%、「仕事をしていない」22.6%となっている。

現在仕事をしているか



項目	回答数	構成比
仕事をしている	283	74.5%
仕事をしていない	86	22.6%
無回答	11	2.9%
合計	380	100.0%

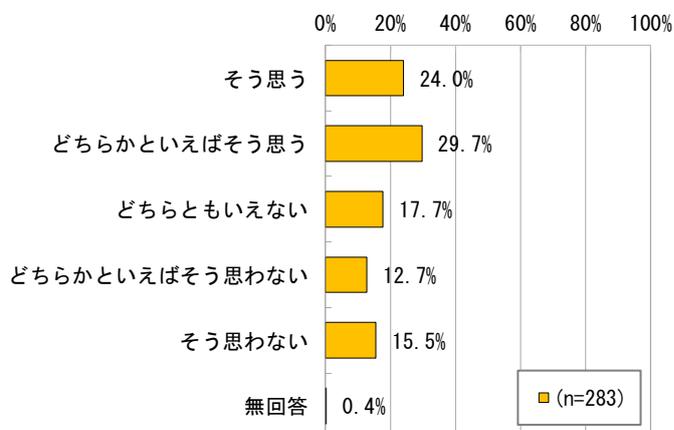
問54で「1 仕事をしている」を選んだ方のみ、お答えください。

問55 この1年間を振り返って、あなたご自分の仕事と家庭生活のバランスについてどのよう  
に感じていますか。あなたのお気持ちに当てはまるものをそれぞれ1つずつ選んでくださ  
い。

(1) 仕事で疲れ切ってしまうと、しなければならない家事や育児ができなくなっていると感じる(1つに○)

「仕事で疲れ切ってしまうと、しなければならない家事や育児ができなくなっていると感じる」については、「どちらかといえばそう思う」29.7%が最も高く、次いで「そう思う」24.0%、「どちらともいえない」17.7%となっている。『思う』(「そう思う」+「どちらかといえばそう思う」)は53.7%となっている。

「仕事で疲れ切ってしまうと、しなければならない家事や育児ができなくなっていると感じる」か

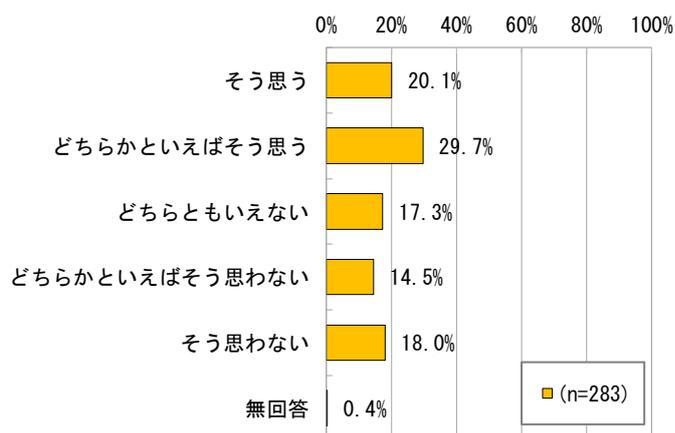


項目	回答数	構成比
そう思う	68	24.0%
どちらかといえばそう思う	84	29.7%
どちらともいえない	50	17.7%
どちらかといえばそう思わない	36	12.7%
そう思わない	44	15.5%
無回答	1	0.4%
合計	283	100%

## (2) 仕事に充てる時間が長すぎるために、家事や育児を果たすことが難しくなっていると感じる（1つに○）

「仕事に充てる時間が長すぎるために、家事や育児を果たすことが難しくなっていると感じる」については、「どちらかといえばそう思う」29.7%が最も高く、次いで「そう思う」20.1%となっている。『思う』は49.8%となっている。

「仕事に充てる時間が長すぎるために、家事や育児を果たすことが難しくなっていると感じる」か

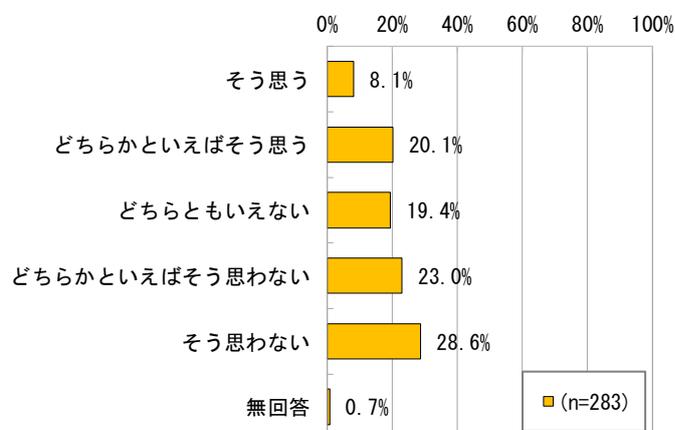


項目	回答数	構成比
そう思う	57	20.1%
どちらかといえばそう思う	84	29.7%
どちらともいえない	49	17.3%
どちらかといえばそう思わない	41	14.5%
そう思わない	51	18.0%
無回答	1	0.4%
合計	283	100%

## (3) 家事や育児の負担があるために仕事に集中することが難しくなっていると感じる（1つに○）

「家事や育児の負担があるために仕事に集中することが難しくなっていると感じる」かについては、「そう思わない」28.6%が最も高く、次いで「どちらかといえばそう思わない」23.0%となっている。『思う』は28.2%となっている。

「家事や育児の負担があるために仕事に集中することが難しくなっていると感じる」か



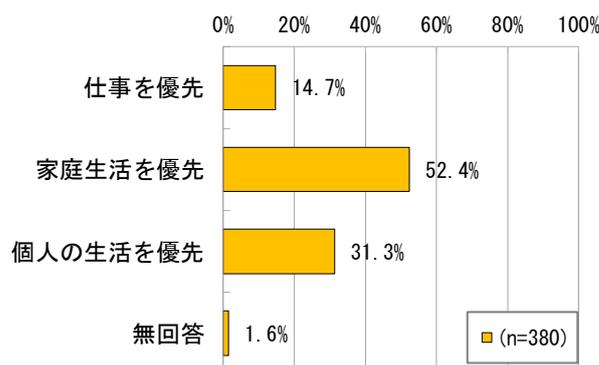
項目	回答数	構成比
そう思う	23	8.1%
どちらかといえばそう思う	57	20.1%
どちらともいえない	55	19.4%
どちらかといえばそう思わない	65	23.0%
そう思わない	81	28.6%
無回答	2	0.7%
合計	283	100%

問56 現在のあなたの日常における、仕事、家庭生活、個人の生活等の優先度についてお聞かせください。

(1) あなたの希望にもっとも近いものを選んでください。(1つに○)

仕事、家庭生活、個人の生活等の優先度の希望については、「家庭生活を優先」52.4%が最も高く、次いで「個人の生活を優先」31.3%、「仕事を優先」14.7%となっている。

仕事、家庭生活、個人の生活等の優先度(希望)



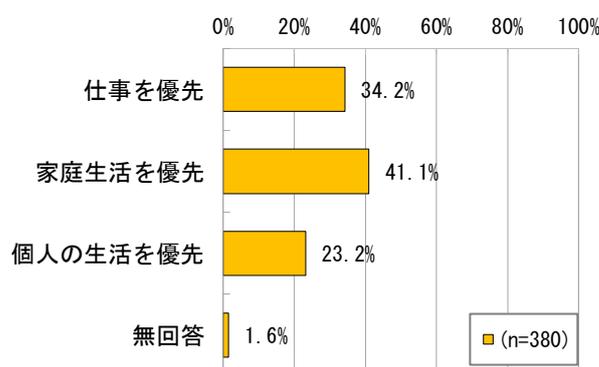
項目	回答数	構成比
仕事を優先	56	14.7%
家庭生活を優先	199	52.4%
個人の生活を優先	119	31.3%
無回答	6	1.6%
合計	380	100%

(2) あなたの現実にもっとも近いものを1つだけ選んでください。

(学生の方は、「仕事」を「学業」と考えてお答えください。)(1つに○)

仕事、家庭生活、個人の生活等の優先度の現実については、「家庭生活を優先」41.1%が最も高く、次いで「仕事を優先」34.2%、「個人の生活を優先」23.2%となっている。

仕事、家庭生活、個人の生活等の優先度(現実)

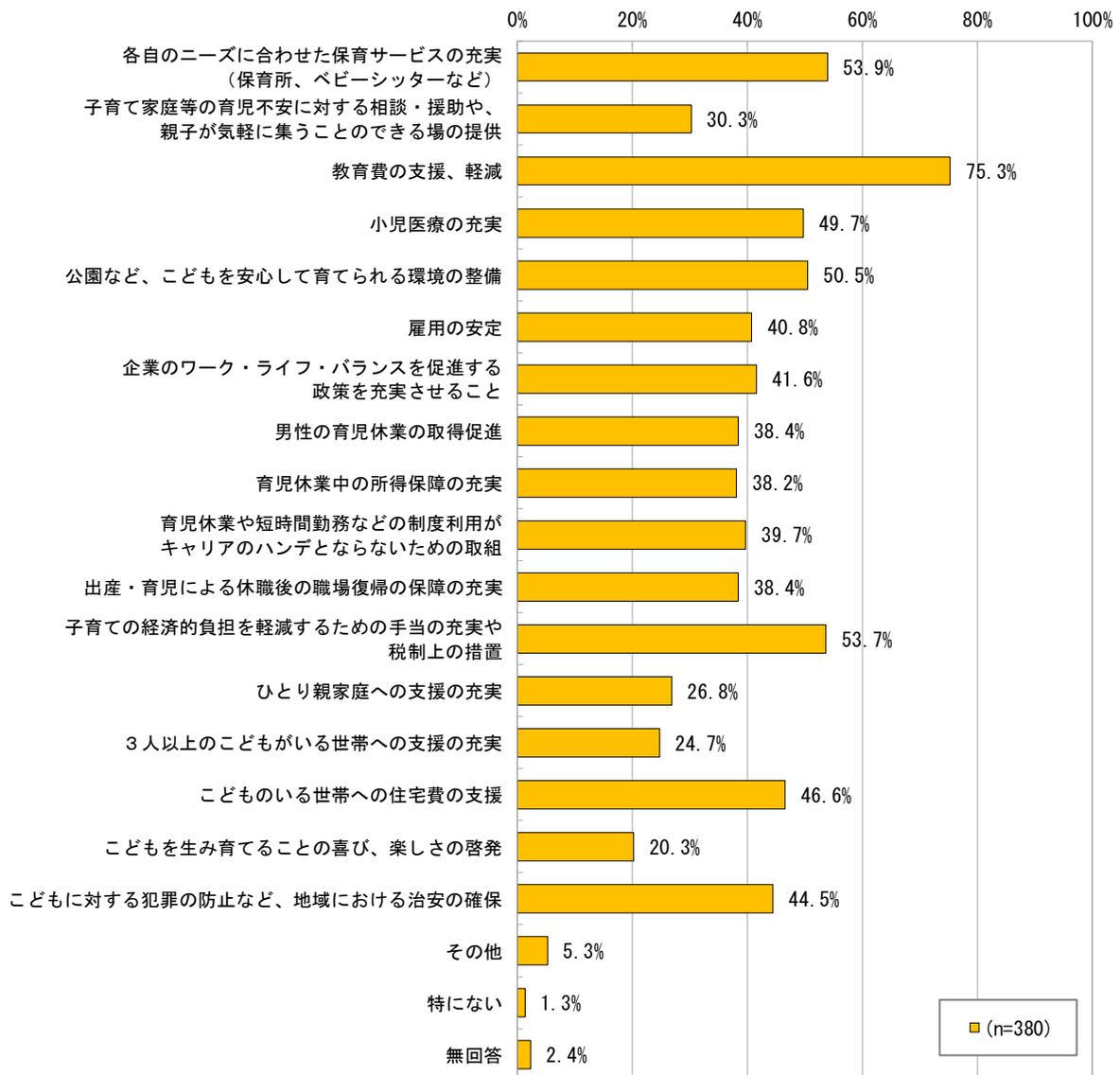


項目	回答数	構成比
仕事を優先	130	34.2%
家庭生活を優先	156	41.1%
個人の生活を優先	88	23.2%
無回答	6	1.6%
合計	380	100%

問57 育児を支援する施策として何が重要だと思いますか。(いくつでも○)

育児を支援する施策として重要だと思うものについては、「教育費の支援、軽減」75.3%が最も高く、次いで「各自のニーズに合わせた保育サービスの充実（保育所、ベビーシッターなど）」53.9%、「子育ての経済的負担を軽減するための手当の充実や税制上の措置」53.7%となっている。

育児を支援する施策として重要だと思うもの



項目	回答数	構成比
各自のニーズに合わせた保育サービスの充実 (保育所、ベビーシッターなど)	205	53.9%
子育て家庭等の育児不安に対する相談・援助や、 親子が気軽に集うことのできる場の提供	115	30.3%
教育費の支援、軽減	286	75.3%
小児医療の充実	189	49.7%
公園など、こどもを安心して育てられる環境の整備	192	50.5%
雇用の安定	155	40.8%
企業のワーク・ライフ・バランスを促進する政策を 充実させること	158	41.6%
男性の育児休業の取得促進	146	38.4%
育児休業中の所得保障の充実	145	38.2%
育児休業や短時間勤務などの制度利用がキャリア アのハンデとならないための取組	151	39.7%
出産・育児による退職後の職場復帰の保障の充実	146	38.4%
子育ての経済的負担を軽減するための手当の充 実や税制上の措置	204	53.7%
ひとり親家庭への支援の充実	102	26.8%
3人以上のこどもがいる世帯への支援の充実	94	24.7%
こどものいる世帯への住宅費の支援	177	46.6%
こどもを生き育てることの喜び、楽しさの啓発	77	20.3%
こどもに対する犯罪の防止など、地域における治安の確保	169	44.5%
その他	20	5.3%
特になし	5	1.3%
無回答	9	2.4%
サンプル数	380	-

#### 【その他の回答】

- ・個性を持った子もいるのでどんな子も腫物扱いされないようになってほしい
- ・子ども3人以上とか関係なくこどもいる世帯に支援を ・ 一人一人の意識をかえる施策
- ・公立学校で発達グレーの子に対する取り組みが学校や地域でバラツキがあるため支援の充実を進めて頂きたいです
- ・一人親や3人以上の子どもがいる世帯とかの制限なく子どもがいると大変ということを理解して欲しい
- ・企業の人手不足をなくして残業をなくす ・ 扶養内で働けるようにライフバランスを整える
- ・育児休暇や休業という言葉を見直し印象を変える ・ 子どもを預かってくれる場所の充実
- ・中学校部活の数が少ない、何か策を考えないのか
- ・子育てに対する社会の理解が足りない ・ とにかく税金が高く生活が苦しい
- ・育休取得者のいる職場や部署への補助金
- ・教師の再教育（表に出ていないだけで子供が弱い立場であることをいいことに好き勝手する教師が多すぎる、正直口が悪すぎる、連帯責任ばかりを押し付けてくる）
- ・時短等の働き方を推進するためには、そういった職員がいる職場に対する人的フォローが必要
- ・公営の学童の質があまりよくないので、お金がかがってもいいから安心して子供を預けられる場所がほしい
- ・養子縁関連の充実・見直し・寛容性の向上への取り組み など

